

神戸大学工学研究集報

Vol. 33

2005

神戸大学工学部

Faculty of Engineering, Kobe University

平成 17 年度工学部広報委員会評価データベースワーキンググループ

広報委員会委員長

教授 川谷充郎

ワーキング主査

教授 大村直人

ワーキング委員

助教授 三輪康一

助教授 竹林幹雄

助教授 土屋英昭

助教授 深尾隆則

助教授 安村禎明

神戸大学工学研究集報

第33巻

平成17年

神戸大学工学部

2005. 12

神戸大学工学研究集報

目 次

Vol. 33 2005

1	研究組織	1
2	研究活動	2
2.1	研究業績	2
2.2	研究関連図書・出版物	2
2.3	学会活動状況	3
2.3.1	学会役員	3
2.3.2	学会開催	4
2.4	社会活動状況	5
2.5	国際交流関係	5
2.6	受託研究員等	5
2.7	科学研究費補助金	6
2.8	共同研究、受託研究、奨学寄附金等	12
2.9	学位の授与及び指導件数	12
2.10	公開講座	12
2.11	「KOBE工学サミット」（旧「工学部サミット」）	13
2.12	神戸大学工学部「工学フォーラム2004－出会いと連携－」	14
3	学術研究成果一覧	
3.1	建設学科	16
3.2	電気電子工学科	58
3.3	機械工学科	108
3.4	応用化学科	157
3.5	情報知能工学科	206
3.6	都市安全研究センター	238
4	研究指導一覧	
4.1	建設学科	253
4.2	電気電子工学科	260
4.3	機械工学科	266
4.4	応用化学科	274
4.5	情報知能工学科	281
4.6	都市安全研究センター	286

1 研究組織

平成17年10月1日現在における研究組織として、平成4年4月に改組した工学部の各学科、平成8年5月に従来の工学部附属土地造成工学研究施設を発展的に解消し、設置された神戸大学都市安全研究センター（工学系）における教授、助教授・講師および助手の実員数を示す。従来の工学研究科（修士課程）は、平成6年度の改組に伴い、自然科学研究科博士前期課程として新しく発足したので、ここでは割愛している。なお、非常勤講師については、これとは別に外部への非常勤講師と外部からの非常勤講師にわけて総数を示す。

工学部

学科名	教授	助教授・講師	助手	計
建設学	17	14	12	43
電気電子工学	9	11	4	24
機械工学	11	11	6	28
応用化学	9	10	8	27
情報知能工学	11	12	7	30
合計	57	58	37	152

都市安全研究センター（工学系）

研究分野	教授	助教授・講師	助手	計
都市構成	1	0	2	3
都市基盤	2	1	1	4
都市情報システム	1	1	0	2
都市安全マネジメント	0	1	0	1
合計	4	3	3	10

非常勤講師（平成15年度）

外部への非常勤講師	18人
外部からの非常勤講師	130人

2 研究活動

平成16年度（平成16年4月1日から平成17年3月31日）の工学部、都市安全研究センター（工学系）における研究活動を項目別に、工学部各学科・研究施設ごとにまとめた。

2.1 研究業績

学術論文、学術著書、学術報告、学術講演、作品および特許の業績数を下表に示す。
5学科および1研究センター162名の教官が1人平均学術論文7.5編（うち欧文5.1編）、学術著書0.4編、学術報告2.1編、学術講演9.5件等の研究活動を行ったことを示している。

（ ）内は欧文論数を内数で示す

学科・施設名	学術論文	学術著書	学術報告	学術講演	作品	特許
建設学	196(121)	13(1)	67(2)	261(4)	1	
電気電子工学	252(173)	14(6)	39(2)	287(32)		8
機械工学	311(247)	13(2)	58(7)	328(45)		4
応用化学	210(222)	17(1)	58(5)	368(106)		26
情報知能工学	148(112)	7(2)	76(13)	199(41)		1
都市安全研究センター	64(40)	3(0)	39(4)	94(4)		1
合計	1,211(825)	67(12)	337(33)	1,537(232)	1	40

2.2 研究関連図書・出版物

工学部において発行している研究関連図書・出版物は以下のものがある。巻および号数は、平成16年度のもの示している。なお、研究成果報告以外の定期刊行物の紹介はここでは省略した。

神戸大学工学研究集報 第32巻

神戸大学工学部公開講座テキスト

第22回「身近な工学技術－安全で暮らしやすい社会を目指して－」

工作技術センターレポート No. 28

2.3 学会活動状況

平成16年度の、工学部、都市安全研究センター（工学系）の教官の学会活動状況を以下に示している。

2.3.1 学会役員

平成16年度に教官がそれぞれの専門分野の国際・国内の学会等で担当した役員等の総数を下表に示す。

国際・海外学会

学科・施設名	会長	副会長	理事	評議員	支部長	支部幹事	委員長	委員	主査	その他役職
建設学	1		2	1			5	11	4	
電気電子工学								11		7
機械工学		1	2				1	20	1	1
応用化学							1	4		1
情報知能工学		1		1		1		13	2	1
都市安全研究センター								1		
合計	1	2	4	2		1	7	60	7	10

国内学会

学科・施設名	会長	副会長	理事	評議員	支部長	支部幹事	委員長	委員	主査	その他役職
建設学		3	9	12		9	9	89	13	6
電気電子工学			1	1		2	2	28		3
機械工学	1		8	15		10	2	47	3	6
応用化学		1	7	11	2	13	2	21	1	1
情報知能工学			1	4		2	1	13	3	1
都市安全研究センター			2	3	2		4	27	3	
合計	1	4	28	46	4	36	20	225	23	17

2.3.2 学会開催

平成16年度に実施された国際・国内会議、講演会、研究会、談話会において、教官が果たした役割ならびにその規模を下表に示す。なお、「規模・参加者」欄も該当分の合計数である。

国際会議の開催

学科・施設名	主催者	委員	規模・参加者
建設学	4	13	2,358
電気電子工学	1	6	3,030
機械工学	2	30	9,970
応用化学	2	9	4,050
情報知能工学	1	13	3,700
都市安全研究センター	3	2	500
合計	13	73	23,608

国内会議の開催

学科・施設名	主催者	委員	規模・参加者
建設学	3	9	24,350
電気電子工学		5	1,350
機械工学	1	8	4,270
応用化学		2	150
情報知能工学	1	5	1,320
都市安全研究センター			
合計	5	29	31,440

講演会の開催

学科・施設名	主催者	委員	規模・参加者
建設学	56	8	2,430
電気電子工学	8	5	510
機械工学		8	430
応用化学	7	4	480
情報知能工学	2	6	390
都市安全研究センター	1		100
合計	74	31	4,340

研究会・談話会の開催

学科・施設名	主催者	委員	規模・参加者
建設学	34	14	1,910～1,950
電気電子工学	12	2	860
機械工学	26	17	1,360
応用化学	10	5	590
情報知能工学	15		230
都市安全研究センター	6		122
合計	103	38	5,072～5,112

2.4 社会活動状況

研究成果を社会に還元するための社会活動に、教官が平成16年度に果たした役割を下表に示す。

学科・施設名	役職					依頼先								
	長	副	主査	委員	その他	国	県	市	法人	協会	大学	民間	その他	
建設学	45	9	11	127	4	22	30	51	40	30	6	10	7	
電気電子工学	3	1	1	13	10	4	6		11	1	3	4		
機械工学	11		1	31		5	3		25	7	1	2	1	
応用化学	3			18	6	3	5	2	6	5	2	2	2	
情報知能工学	1		1	7	2		2	1	4	2		1		
都市安全研究センター	14	3	1	37	3	7	8	11	24	4		2	2	
合計	77	13	15	233	25	41	54	65	110	49	12	21	12	

2.5 国際交流関係

教官の平成16年度の国際交流・国際研究活動状況を示す。教官一人あたり平均1回の海外出張または海外研修を行っている。

招へい外国人研究員	1月以上	9人	1月未満	101人
在外研究員（平成15年度中の渡航者）	長期（甲種）	1人	短期	0人
短期海外出張（3月以内）	出張	255人		
	海外研修	43人		

2.6 受託研究員等

本学部が平成16年度に学外から受託した研究員を以下に示す。

受託研究員	3人
共同研究員（民間との共同研究）	6人

2.7 科学研究費補助金

平成16年度に、教官が代表となって交付を受けた科学研究費補助金の種目ごとの採択件数等
を示す。

種目	採択件数	金額(千円)
基盤研究 (A) (1)	1	7,400
基盤研究 (A) (2)	4	51,900
基盤研究 (B) (1)	2	4,900
基盤研究 (B) (2)	20	110,919
基盤研究 (C) (1)	2	5,100
基盤研究 (C) (2)	20	27,900
萌芽研究	9	13,000
特定領域研究 (2)	6	57,100
若手研究 (A)	1	4,900
若手研究 (B)	14	23,000
合計	79	306,119

平成16年度 科学技術研究補助金 一覧表

工学部

●特定領域研究

研究課題名	所属学科	職名	代表者名	備考
金属ガラスの破壊と疲労のマクロ特性の解明と寿命予測	機械工学科	教授	富田佳宏	継：H17, H18, H19
電子的励起によるクラスター反応と相転移の非線形応答とダイナミクスのその場観察	機械工学科	教授	保田英洋	
REASONING WEB：UMLシステム検証の統合フレームワークにむけて	情報知能工学科	教授	林 晋	
有機分子表面修飾金属ナノ粒子の光子場励起ダイナミクス	機械工学科	助教授	田中章順	
能動素子状態のアクチュエーションに関する研究	情報知能工学科	助教授	田所 諭	継：H17, H18, H19, H20
液相析出法による希土類系物質のパノスコピック形態制御と材料機能の高度発現	応用化学科	教授	出来成人	継：H17, H18, H19, H20

●基盤研究(A)(1)

研究課題名	所属学科	職名	代表者名	備考
複雑系科学による人間・環境に適応する建築・都市・社会のシステムデザイン	建設学科	教授	河村 廣	

●基盤研究(A)(2)

研究課題名	所属学科	職名	代表者名	備考
機能性物質を担持した中空微粒子の創製とその応用	応用化学科	教授	大久保政芳	
液相析出法による高次セラミックナノ構造体の構築	応用化学科	教授	出来成人	継：H17, H18
ナノ結晶を介したエネルギー移動現象の解明と新奇光機能性発現に関する研究	電気電子工学科	教授	林 真至	継：H17, H18
カーボンナノチューブを中枢材料としたナノトライボロジーの研究	機械工学科	教授	大前伸夫	継：H17, H18

●基盤研究(B)(1)

研究課題名	所属学科	職名	代表者名	備考
地震時救命ライフラインの機能維持と人的被災軽減に関する研究	建設学科	教授	高田至郎	
大阪湾共積粘土地盤の構造特性と変形メカニズムの解明に関する研究	建設学科	教授	澁谷 啓	

●基盤研究(B)(2)

研究課題名	所属学科	職名	代表者名	備考
変形誘起変態のマルチスケールモデルの構築と材料の組織と機能の創生	機械工学科	教授	富田佳宏	
橋梁交通振動のアクティブ制御に関する実験的・解析的研究	建設学科	教授	川谷充郎	
学校環境ストックを評価し環境共生的で創発的な教育空間をつくるリノベーション方法	建設学科	教授	重村 力	
コンタミネーションコントロールのための宇宙用高分子材料の表面エネルギー制御制御	機械工学科	助教授	田川雅人	
サンドイッチ型宇宙太陽発電衛星の実証モデルによる開発研究	情報知能工学科	教授	賀谷信幸	
e-ビジネス環境下における戦略的意思決定支援のための分散型バーチャルファクトリ	情報知能工学科	教授	藤井 進	継：H17

可変空間分解能型マルチスケール混相流統合解析技術の開発	機械工学科	教授	富山明男	継：H17
形状制御した量子ドットによる偏光無依存吸収端の実現	電気電子工学科	助教授	喜多 隆	
自己組織化低次元結晶を用いた有機FET/LDの開発	応用化学科	助手	柳 久雄	継：H17
一次元分子配列制御有機ナノ構造の構築と異方性光・電子デバイスの創成	応用化学科	教授	上田裕清	継：H17, H18
円振動切削機能を具備したマシニングセンター主軸の開発	機械工学科	教授	森脇俊道	継：H17
軸流タービン遠心圧縮機の不安定振動総合解明研究	機械工学科	教授	神吉 博	継：H17, H18
多元制御量子ドットと超高速光機能デバイス応用	電気電子工学科	教授	和田 修	継：H17
わが国コンテナ埠頭ストックの最適運用方式に関する研究	建設学科	教授	黒田勝彦	継：H17
公共空間における音声・音響情報伝達手法の最適化に関する研究	建設学科	教授	森本政之	継：H17, H18
流体輸送時の微粒子分散系における抵抗低減効果の発現機構の解明	応用化学科	教授	薄井洋基	継：H17
酵母細胞表層への超分子ナノファブリケーション法の開発とバイオプロセスへの展開	応用化学科	教授	近藤昭彦	継：H17
接合部変形・柱脚変形を伴う鉄骨架構の地震応答挙動	建設学科	教授	大井謙一	
水環境の健全な維持に貢献する有機－無機ナノ構造を備えた 浄水処理中空糸膜の設計開発	応用科学科	助教授	松山秀人	
地盤調査技術基準の国際化と地盤の地域特性に関する研究	建設学科	教授	澁谷 啓	

●基盤研究(C)(1)

研究課題名	所属学科	職名	代表者名	備考
国際シンポジウムIS-Georgiaの企画とTC29国際連携研究	建設学科	教授	澁谷 啓	
コンクリート構造物の性能保証のための維持管理手法の検討 とシステム化	建設学科	助教授	森川英典	継：H17

●基盤研究(C)(2)

研究課題名	所属学科	職名	代表者名	備考
グリッド進化計算環境を用いた社会性自律群ロボットシステムの構築	機械工学科	助教授	大倉和博	
Siナノ結晶中への量子閉じ込め等電荷トラップの形成と高効率発光	電気電子工学科	助教授	藤井 稔	継：H17
境界制御系のスペクトラム構造に対する代数的・解析学的方法と数値解析に関する研究	情報知能工学科	教授	南部隆夫	
長時間安定な負性電子親和力表面の実現と高輝度エミッターの作成	電気電子工学科	助教授	本郷昭三	
人口移動現象を表すエージェント・ベースド・モデルの計算機シミュレーション	情報知能工学科	助教授	田畑 稔	継：H17
シリコン集積化デバイスの量子輸送特性に関する研究	電気電子工学科	助教授	土屋英昭	継：H17
ナノスケールMOS素子の量子効果を配慮した電流雑音の研究	電気電子工学科	教授	三好旦六	
情報場におけるインタラクションをベースとした創発的問題解決システムに関する研究	情報知能工学科	助教授	玉置 久	
移動体通信用SAWデバイスのロバスト最適設計に関する研究	電気電子工学科	助手	田川聖治	継：H17

区分的線形リヤプノフ関数を用いた制御系の解析・設計に関する研究	情報知能工学科	教授	太田有三	
不飽和土構造物における最適補強効果の同定と経年品質変化の予測	建設学科	助教授	飯塚 敦	
山麓密集住宅市街地における住環境性能と連携型住環境形成手法に関する研究	建設学科	教授	安田丑作	
宇宙線環境場における有機材料の劣化に関する研究 ―原子状酸素と電子線のシナジー―	機械工学科	教務職員	横田久美子	
電子地図に対する高度なラベル配置アルゴリズム	電気電子工学科	教授	増田澄男	継：H17
A F MとE B S Pの併用による疲労損傷評価とそのMEMS材料への適用	機械工学科	教授	中井善一	継：H17
放送型暗号通信システムにおけるグループ鍵管理方法に関する研究	電気電子工学科	教授	田中初一	継：H17, H18
攪拌槽内に生じる流動パターンの動的変化を応用した混合・反応の精密制御法の確立	応用化学科	助教授	大村直人	継：H17
共振DCリンクによるソフトスイッチング・マルチレベル電力変換装置の特性と性能評価	電気電子工学科	助手	米森秀登	継：H17
場の理論に基づくマルチスケール多結晶塑性モデリングに関する研究	機械工学科	助教授	長谷部忠司	継：H17, H18, H19
非線形発展方程式の最適制御と逆問題解析の研究	情報知能工学科	教授	中桐信一	継：H17, H18

●萌芽研究

研究課題名	所属学科	職名	代表者名	備考
柔軟な結晶を有し、液体ヘリウム温度で強靱な高分子材料の創製	応用化学科	助教授	西野 孝	
偏光制御量子ドット材料とザブバンド間遷移面型受光デバイスへの応用	電気電子工学科	教授	和田 修	
ディーゼルエンジンの燃料噴射ノズル内キャビテーション現象に関する研究	機械工学科	教授	竹中信幸	継：H17
P A C学習の論理	情報知能工学科	教授	林 晋	継：H17, H18
ガスフェーズレーザーアブレーションによる反応性高強度超音速原子線の創成	機械工学科	助教授	田川雅人	継：H17
電界制御によるカーボンナノチューブ3次元中空構造物の作製	機械工学科	教授	大前伸夫	継：H17
テレワークの都市居住空間への影響～米国の制度とテレワーカーの住宅・行動領域	建設学科	教授	塩崎賢明	継：H17, H18
カメラ運動による連続画像からの実時間3次元構造復元における収束性に関する研究	機械工学科	助教授	深尾隆則	
衣服内における熱・湿気・空気の同時移動を考慮した汗の放出過程の定量的検討	建設学科	助教授	高田 暁	

●若手研究(A)

研究課題名	所属学科	職名	代表者名	備考
高分解能レーザ光電子分光装置の開発と金属ナノ構造体励起量子化電子状態の研究	機械工学科	助教授	田中章順	継：H17

●若手研究(B)

研究課題名	所属学科	職名	代表者名	備考
放物型非線形問題における自己相似性と解構造	情報知能工学科	助教授	内藤雄基	
並列計算環境を対象とした効率的オブジェクトレイアウト法とその自動化	情報知能工学科	助手	鎌田十三郎	
テラバイトセキュリティホログラフィック光メモリディスク	情報知能工学科	助教授	的場 修	

建築物屋上、屋根面を利用した冷気生成による夏季夜間市街地冷却効果に関する研究	建設学科	助手	竹林英樹	
災害復興過程にあらわれた新しい「家族形態」と新しい居住状態	建設学科	助手	浅井 保	
モバイルアドホック網におけるピア・ツー・ピア情報共有技術に関する研究	情報知能工学科	助教授	太田 能	継：H17
新規な無機リン系難燃材料の創製	応用化学科	助手	牧 秀志	継：H17, H18
カーボンナノチューブ薄膜のマイクロトライボロジー	機械工学科	助手	木之下 博	継：H17
局所キャビテーション制御による高効率液体微粒化ノズルの開発	機械工学科	助手	宋 明良	継：H17
内部告発を支援する情報セキュリティ技術に関する研究	電気電子工学科	助教授	桑門秀典	継：H17
BeowulfクラスタによるBMI大域的最適化と制御系解析・設計に関する研究	機械工学科	助手	川西通裕	継：H17
多層ネットワーク上での包括的数理交通モデルの構築と実証	建設学科	助手	井料隆雅	継：H17
生物学との比較に見る近代の有機的建築論ー20世紀初期のドイツを中心に	建設学科	助手	中江 研	継：H17
可視光応答性酸化チタン光触媒による水とメタンからの水素製造	応用化学科	助手	市橋祐一	継：H17

平成 16 年度 科学技術研究補助金 一覧表

都市安全研究センター

●基盤研究(A)(1)

研究課題名	職名	代表者名	備考
古代・中世の全地震史資料の校訂・電子化と国際標準震度データベース構築に関する研究	教授	石橋克彦	継続：H17, H18
人間の動作解析に基づく感情と意図の理解およびそのコミュニケーションへの応用	教授	有木康雄	

●基盤研究(B)(2)

研究課題名	職名	代表者名	備考
伝統的町並みの景観保存と防災性向上に関する研究	教授	北後明彦	

●基盤研究(B)(2) 海外

研究課題名	職名	代表者名	備考
国内外のまちづくり・住宅再建事例から見た被災地復興システムの構築に関する研究	教授	北後明彦	

●若手研究(B)

研究課題名	職名	代表者名	備考
地震後の降雨による山腹斜面崩壊発生危険度評価に関する研究	助手	鳥居宣之	
不連続面の力学的不安定現象に関する理論的研究	助手	上西幸司	

2.8 共同研究、受託研究、奨学寄附金等

平成16年度に、教官の学外との共同研究の実施状況及び学外からの研究費の導入状況を項目別に下表に示す。

種目	受入件数	金額(千円)
共同研究	71	169,633
受託研究	36	160,652
奨学寄附金	148	144,058

2.9 学位の授与及び指導件数

平成16年度に工学部の教官が兼任している大学院自然科学研究科において研究指導を行った学位の総数を以下に示す。

工学修士	385件
博士(工学)	24件
博士(理学)	1件
博士(学術)	2件

2.10 公開講座

開かれた大学を目指して、開講してきた公開講座は、平成16年度で22回に達する。平成16年度のテーマならびに講師数等を以下に示す。

テーマ:身近な工学技術－安全で暮らしやすい社会を目指して－

講師数	10人
受講者数	83人
修了者数	65人

2.11 「KOBЕ工学サミット」（旧「工学部サミット」）

工学部では、地域に貢献する大学として積極的に研究成果を地域の産業界、学界、地方自治体、民間団体などとも共有し、地域に密着した研究・教育を推進するため、平成13年1月から「神戸大学工学部サミット」を開催してきた。平成16年度からは、神戸大学工学部の同窓会組織である社団法人神戸大学工学振興会のご協力を得て、学術団体「KOBЕ工学振興懇話会」を設立し、平成16年10月22日（金）より、従来「工学部サミット」を発展、拡充化した「KOBЕ工学サミット」を開催している。

平成16年度の「工学部サミット」および、「KOBЕ工学サミット」の開催状況を以下に示す。

「工学部サミット」

第36回 平成16年4月23日

講師：建設学科 谷 明勲 助教授

演題：知的システムを用いた建築構造物の構造計画・制御

第37回 平成16年5月28日

講師：都市安全研究センター 有木康雄 教授

演題：気持ち分かる装置に向けて－対話型テレビの開発－

第38回 平成16年7月23日

講師：薄井 洋基 教授（工学部長）

演題：工学部サミットの新展開について

講師：近藤 昭彦 教授

演題：産学連携によるバイオ技術実用化の試み

「KOBЕ工学サミット」

第1回 平成16年10月22日

講演会（14：20～16：00）

「企業との産学連携について」

連携創造センター・電気電子工学科 教授 中井哲男

「レスキューロボットの研究開発と産業へのインパクト」

機械工学科 教授 大須賀公一

見学会（16：00～17：00）

工学部 機械工学科（工学部機械工学科棟1F 大須賀公一教授 研究室）

工学部 電気電子工学科（自然科学総合研究棟3号館2F 林 真至教授 研究室）

科学技術交流会（17：15～18：30）

第2回 平成17年1月21日

講演会（14：20～16：00）

「マルチメディアとネットワークのためのS&S（Silicon & Software）アーキテクチャ」

情報知能工学科 教授 吉本雅彦

「地盤工学における研究と実務－大学の研究は実務に役立つか？－」

建設学科 教授 澁谷 啓

見学会（16：00～17：00）

工学部 情報知能工学科（工学部システム棟201号室 吉本雅彦 教授 研究室）

工学部 建設学科（都市安全研究センター実験棟 澁谷 啓 教授，加藤正司 助教授）

科学技術交流会（17：00～18：30）

2.12 神戸大学工学部「工学フォーラム2004－出会いと連携－」

工学部の研究シーズを広く近畿一円の産業界に紹介して、将来の産学連携を促進するために、神戸大学連携創造センター、都市安全研究センターそして神戸市、財団法人神戸市産業振興財団、神戸大学工学振興会の共催により、平成16年12月8日（水）神戸市中央区の神戸市産業振興センターにおいて開催しました。本フォーラムには工学部から71の研究グループがパネル展示を行うと共に、多くの催しを行いました。フォーラムには700名余りの出席者がありました。工学フォーラムの詳細は以下のとおりです。

- 展示会 (2階展示場) 13時から17時30分
 パネル展示および各展示担当者による説明 (15時30分から17時30分)
- 講演会 (3階大ホール) 13時30分から14時30分
- 挨拶
 神戸大学副学長 北村新三
 神戸大学工学部長 薄井洋基
- 特別講演
 「企業から見た産学連携への期待と課題」
 松下電器産業（株）特別顧問、神戸大学経営協議会委員 谷井昭雄氏
- 産学連携事例紹介
 「産学連携の試みと経験から一開かれた大学を目指して」
 神戸大学工学部教授 森脇俊道氏
- 産学連携事例紹介
 「神戸大学における産学官民連携制度と知的財産の取扱いについて」
 神戸大学イノベーション支援本部副本部長 石井良知氏
- 交流会 (10階交流サロン) 18時から

3 学術研究成果一覧

工学部各学科・都市安全研究センター（工学系）の最初の項は、教官名（各学科の講座、研究分野順、平成16年4月1日～平成17年9月末日までの間に着任・異動・退職のあった教官については、[]で示す）、学科に関連した分野の特徴、各学科の教育・研究目的と講座の研究分野ならびに学科の活動状況の概要、卒業生、大学院自然科学研究科への進学数ならびに留学生の数を示している。

続いて、平成16年度（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）の教官の研究業績一覧を、学術論文、学術著書、学術報告、学術講演、作品の順に掲載している。

なお、それぞれの分類は以下による。

- | | |
|---------|--|
| 1. 学術論文 | 学協会の刊行する論文誌、またはそれに準ずる学術雑誌・会議録に掲載された論文で、学会等の審査により独創性があると認められた原著論文 |
| 2. 学術著書 | 学術図書の出版社や学協会の刊行する単行本 |
| 3. 学術報告 | 公表された総説、技術報告および学術調査報告 |
| 4. 学術講演 | 学協会などの主催する公開の会合（年会、討論会、シンポジウム等）における口頭発表の講演 |
| 5. 作 品 | 都市、建築構造物の計画・設計 |

新任の教官については、学術論文・学術著書・学術報告は過去10年分、学術講演は過去3年分を掲載した。

3.1 建設学科

教授

足立裕司, 安田丑作, 塩崎賢明, [河村 廣], [谷 明勲], 黒田勝彦, 川谷充郎, 朝倉康夫, 沖村 孝*, 中山昭彦, 田淵基嗣, 長尾直治, [北村泰寿], 大井謙一, 田中泰雄*, 重村 力, 森本政之, 松下敬幸, 三谷 勲, 高田至郎, 森山正和, 藤田一郎, 道奥康治, [川谷 健*], 澁谷啓, [森川英典], [飯塚 敦*]

助教授・講師

黒田龍二, 末包伸吾, 大西一嘉, 山崎寿一, 三輪康一, 竹林幹雄, 芥川真一, 富田安夫, 北後明彦*, 田中 剛, 福住忠裕, 加藤正司*, 吉田信之*, 藤谷秀雄, 阪上公博, 高田 暁, 大谷恭弘, 宮本仁志

助手

中江 研, 栗山尚子, 山邊友一郎, 井料隆雅, 鳥居宣之*, 上西幸司*, 河井克之, 浅井 保, 難波 尚, 佐藤逸人, 藤永 隆, 野村泰稔, 神吉和夫, 竹林英樹, 齋藤雅彦*, 鋤田泰子, 長江剛志

*印の教官の業績は、都市安全研究センターのページに掲載

わが国は経済大国にもかかわらず、その社会的基盤はまだまだ貧しいものがある。その大きな要因として資源の不足と国土の狭隘さが指摘されているが、建設技術の発展により人間活動の場はウォーターフロント、傾斜地、地下空間へと拡大を見せている。一方、社会の高度技術化、高度情報化への変革に伴い、人間生活の場、社会生活の基盤に対する要求は非常に多様化し、そのレベルは高度化している。そのため、豊かで調和のとれた人間や自然にやさしい建築、都市、社会基盤の創造が従来にも増して要求されるようになっていく。

建設学科は、自然科学のみならず人文・社会科学の知識をも兼ね備えた幅広い学際的視点と高度な専門知識を有する有能な人材を育成するため、（１）建築・都市及び土木の歴史、建築を具体化する上で最も基本となる計画、意匠、設計と建築造形および建築製図に関する教育研究を行う“建築計画学大講座（建築史、建築計画、建築意匠、建築設計、建築造形学、コミュニティ施設計画学）”、（２）豊かで快適な都市環境を作り上げるために都市の土地利用の最適化、新都市の建設、景観形成、再開発、保全とともに、交通システム、供給処理システム、防災安全計画等に関する教育研究を行う“都市設計学大講座（都市計画・都市景観学、安全計画、交通システム計画、都市基盤工学、都市経営情報学、都市人間工学、都市地盤情報学、都市流体工学）”、（３）各種構造物に使用される材料の力学特性と構造解析、構造設計に関する基礎的な理論とその応用に関する教育研究を行う“構造工学大講座（構造力学、空間構造工学、構造材料学、地盤基礎工学、耐震工学、構造設計学、地盤防災工学、構造システム学）”、（４）快適で健全な人間社会を創造するために必要な生活空間と人間の生活環境の関係および高度技術化、情報化社会に対する構造システムの防災と設計に関する教育研究を行う“社会環境工学大講座（生活空間学、社会空間工学、人間環境工学、防災工学、構造情報工学）”、（５）地域環境を支配する水圏・地圏・大気圏における熱や物質輸送過程および適切な地域環境施設の計画、設計に関する教育研究を行う“地域環境工学大講座（環境熱工学、環境流体工学、水圏工学、環境設備計画、地球環境学、地盤環境工学）”から成り立っている。

建設学科の研究者の主要研究活動は広範多岐にわたり、上記全ての研究分野を網羅しており、学会も、建築、土木、建築史、美術史、建築意匠、図学、都市計画、制御、情報、不動産、材料、地震、自然災害、火災、溶接、造船、地盤工学、ファジィ、人工知能、住宅、生活、社会政策、土地法、音響、環境科学、伝熱、エネルギー、水理、流体力学、気象、風工学、熱物性、衛生等に関連した、数多くの国内外の学会で指導的役割を果たしている。さらに、研究成果を社会に還元する

ことを主たる目的とした社会活動としては、国、地方自治体等の各種委員会において、委員長あるいは委員として活躍している。一方、創造的な研究活動を支えるための主要な研究設備として、200トン構造物試験機、200トン万能試験機、100トン油圧式万能試験機、構造物載荷装置、載荷床版、GPS精密測位システム測量機、不飽和土用自動三軸試験装置、AE計測併用力学試験装置、構造物動的耐震解析機、無響室並びに音環境心理実験装置、残響室、恒温恒湿室、小型境界層風洞、流れの画像計測システム、多項目水質計、大型開水路実験施設、廃水処理実験装置、ギヤー式小型引張試験機、各種ワークステーション等がある。

H15年度に採択された21世紀COEプログラムには建設学科から主要メンバーが参加して、自然科学研究科地域空間創生科学、シアトル研究拠点、神戸長田フィールドスタジオを中心に安全と共生のための都市空間デザイン戦略の研究拠点の形成を目指して教育研究活動を実施している。

大学院自然科学研究科博士課程前期課程（修士課程）へは、卒業生150名の70%以上が進学し、さらに、後期課程（博士課程）へは毎年数名が進学している。留学生は大学院（修士課程）、学部あわせて32名在籍している。

以下に、建設学科に所属する教官の、平成16年4月から平成17年3月までの研究業績を、学術論文、学術著書、学術報告、学術講演、作品に分類し掲載する。

学術論文(レフェリー付き)(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文分類

A: 学術論文誌(国際会議等で、通常の査読過程を経て発刊された学術論文誌等の特集号を含む)および、国際会議のSelected Paper

B: Full Paperの査読により掲載が決定した国際会議のProceedings

C: Abstractの査読のみで掲載が決定した国際会議のProceedings(ただし、Abstractのみを掲載した予稿集を除く)

D: 大学、研究機関等の紀要

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Youngjin Jan, Hiroshi Adachi, MyungHai Yea*	A Study on the Practical Use and Conservation of the Korea RuJung Architecture	Proceedings of the 5th International Symopjium on Architectural Interchanges in Asia	B
栗山尚子, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾	斜面市街地の眺望景観保全施策の現状と今後の展開への考察—米国ワシントン州シアトル市の中心市街地を事例として—	都市研究第3号, 近畿都市学会学術雑誌2003年第3号, 147-167 (2003)	A
Masafumi KIMURA, Chusaku YASUDA, Koichi MIWA, Shingo SUEKANE	Study on the special characteristics in the slope city area for the renewal of the residence	Proceedings, 5th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia, 292-295 (2004)	B
Masafumi KIMURA, Chusaku YASUDA, Koichi MIWA, Shingo SUEKANE	The Study on the classification and the spatial characteristics of the sloping city area by the inclination angle	Proceedings, International Symposium on City Planning, 2004, 323-332 (2004)	B
Naoko KURIYAMA, Chusaku YASUDA, Koichi MIWA, Shingo SUEKANE	Study on the roles of view protection methods in the case of Seattle, USA	Proceedings, 5th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia, 296-300 (2004)	B
Naoko KURIYAMA, Chusaku YASUDA, Koichi MIWA, Shingo SUEKANE	A Study on the effect on streetscape with scenic views by the layout of street trees -The analysis of north-south streets in the hillside urban area of Kobe City-	Proceedings, International Symposium on City Planning 2004, 187-196 (2004)	B
木村政文, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾	山麓市街地における更新活動の現況と更新性の評価に関する研究	神戸大学大学院自然科学研究科紀要, 23-B, 51-59 (2005)	D
栗山尚子, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾	斜面市街地における眺望の類型と眺望景観行政の現状に関する研究 —国内11都市に着目して—	神戸大学大学院自然科学研究科紀要, 23-B, 109-118 (2005)	D
葛西リサ, 塩崎賢明	母子世帯と一般世帯の居住状況の相違—住宅所有関係, 居住面積, 住居費, 家賃分析—	日本建築学会計画系論文集 NO. 581 P. 119-127 2004年7月	A
塩崎賢明, 堀田祐三子	自力仮設住宅の経年的変化と住宅復興における位置-阪神・淡路大震災における自力仮設住宅に関する研究(その4)	日本建築学会計画系論文集 NO. 587 P. 121-128 2005年1月	A
葛西リサ, 塩崎賢明, 堀田祐三子	母子世帯の住宅確保の実態と問題に関する研究	日本建築学会計画系論文集 NO. 588 P. 147-154 2005年2月	A
塩崎賢明	南海地震被害想定地域における住民の予防対策の阻害要因に関する研究 —高知市種崎地区・浦戸地区を対象として—	日本都市計画学会論文集 NO. 39-3 P. 583-588 2004年	A
Akinori Tani, Kousuke Takagi and Hiroshi Kawamura	Research on Intelligent Fuzzy Optimal Active and Hybrid Control Systems of Building Structures - Verification of Optimization Method on Switching Rules of Control Forces -	Proceeding of the Xth International Conference on Computing in Civil and Building Engineering (ICCCBE-X), CD-ROM, Paper No. 089, pp. 1-12, 2004. 6	C
Yuichiro Yamabe, Hiroshi Kawamura and Akinori Tani	Optimal Design for Recurrent Architecture Network Harmonized with Circulation-type Societies by Applying Genetic Algorithms to Multi-agent Model	Proceeding of the Xth International Conference on Computing in Civil and Building Engineering (ICCCBE-X), CD-ROM, Paper No. 097, pp. 1-9, 2004. 6	C

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Naokazu KOUZUE, Akinori TANI and Hiroshi KAWAMURA	RESEARCH ON INTELLIGENT FUZZY OPTIMAL AND ACTIVE CONTROL SYSTEM OF BUILDING STRUCTURES WITH UNIAXIAL ECCENTRICITY	Proceeding of International Symposium on Network and Center-Based Research for Smart Structures Technologies and Earthquake Engineering (SE'04), Paper No. SE04-080, pp. 335-340, 2004. 6	C
Akinori TANI, Takashi YAMAMURA, Yuko WARIDASHI, Hiroshi KAWAMURA and Atsushi TAKIZAWA*	SIMULATION ON RESCUE IN CASE OF EARTHQUAKE DISASTER BY MULTI-AGENT SYSTEM	Proceeding of the 13th World Conference on Earthquake Engineering, DVD-ROM, Paper No. 636, pp. 1-12, 2004. 8	C
Kentaro Yano, Akinori Tani, Hiroshi Kawamura and Atushi Takizawa*	Shaking Table Tests on Intelligent Fuzzy Optimal Active Control System of Building Structures Adapting to Vibration Mode	Proceeding of the 13th World Conference on Earthquake Engineering, DVD-ROM, Paper No. 762, pp. 1-14, 2004. 8	C
Akinori Tani, Masanori Amimoto and Hiroshi Kawamura	Intelligent Fuzzy Optimal Active Control System of Building Structures with Elasto-plastic Restoring Force Characteristic	Proceeding of WCCM VI in conjunction with APCOM'04, CD-ROM, pp. 1-10, 2004. 9	C
Yoko Shimada, Hiroshi Kawamura, Akinori Tani and Atsushi Takizawa*	Pedestrian Walking Agent Model Trained by Multilayered Neural Network and Parameter-free Genetic Algorithms	Proceeding of Joint 2nd International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 5th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS & ISIS 2004), CD-ROM, THE-8-4, pp. 1-6, 2004. 9	C
Keiji Yamori, Hiroshi Kawamura, Akinori Tani and Atsushi Takizawa*	Optimization System for Arranging Photovoltaic Modules Using Genetic Algorithms	Proceeding of Joint 2nd International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 5th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS & ISIS 2004), CD-ROM, THE-8-4, pp. 1-6, 2004. 9	C
Akinori Tani, Kousuke Takagi and Hiroshi Kawamura	Research on Intelligent Fuzzy Optimal Active and Hybrid Control Systems of Building Structures - Verification of Control Effects -	Proceeding of the JSSI 10th Anniversary Symposium on Performance of Response Controlled Buildings, CD-ROM, S11-9, pp. 1-8, 2004. 11	C
島田陽子, 河村廣, 谷明勲, 瀧澤重志*	ニューラルネットワークとパラメーターフリー 遺伝的アルゴリズムを併用した人間歩行モデル —識別センサを有する複数対向・可変速度型エ ージェントの場合—	第27回情報・システム・利用・技術 シンポジウム論文集(論文), pp. 1-6, 2004. 12	B
矢守啓二, 河村廣, 谷明勲, 瀧澤重志*	GAを用いた太陽光発電モジュールの最適配置シ ステム〜ルーバー体型タイプにおける最適形 態の探求〜	第27回情報・システム・利用・技術 シンポジウム論文集(論文), pp. 151-156, 2004. 12	B
神末直和, 谷明勲, 河村廣	偏心を有する構造物のアクティブ制御に関する 研究〜1層建物における1軸偏心の場合〜	第27回情報・システム・利用・技術 シンポジウム論文集(論文), pp. 157-162, 2004. 12	B
難波 尚, 田渕基嗣, 田中 剛, 北岡 聡	テーパ管形式角形鋼管柱梁接合部パネルの弾 塑性挙動	日本建築学会構造系論文集, NO. 579, P. 95-102, (2004. 5)	A
白髪誠一, 田渕基嗣, 田中 剛	前面斜交すみ肉溶接継目の強度評価—すみ肉溶 接による柱, 梁仕口に関する研究 (その3)—	日本建築学会構造系構造系論文集, NO. 585, P. 199-206, (2004. 11)	A

建設学科

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
難波 尚, 田淵基嗣, 田中 剛	鋼管柱梁接合部パネルの全塑性耐力の評価	鋼構造論文集, Vol. 11, No. 42, P. 1-14, (2004. 6)	A
難波 尚, 田淵基嗣, 田中 剛	各種断面を有する柱梁接合部パネルの復元力特性の評価	鋼構造論文集, Vol. 11, No. 42, P. 15-28, (2006. 6)	A
江見卓郎, 田淵基嗣, 田中剛, 難波尚, 長谷洋司	現場混用接合形式角形鋼管柱梁接合部の高力ボルト接合部における応力伝達に関する研究	鋼構造論文集, Vol. 11, No. 43, P. 25-40, (2004. 9)	A
横山重和, 田淵基嗣, 田中剛, 吉村鉄也, 西田祐三, 中野利彦	入熱量およびパス間温度が溶接金属の機械的性質に及ぼす影響	鋼構造論文集, Vol. 11, No. 44, P. 15-26, (2004. 12)	A
難波 尚, 田淵基嗣, 田中 剛	弱軸H形断面柱梁接合部パネルの耐力評価	鋼構造年次論文報告集, 第12巻, P. 253-260, (2004. 11)	A
トウ奕*, 布野修司*, 重村力	乾隆京城全図(1750)にみる居住単位に関する考察	日本建築学会計画系論文集 NO. 582, pp. 65-72 (2004)	A
稲地秀介, 伊藤昭裕*, 浅井保, 重村力	記憶される学校空間要素とその特性-尼崎市立開明小学校を事例として-	第22回地域施設計画研究シンポジウム 地域施設計画研究 22, pp. 107-112 (2004)	A
Terdsak Tachakitkachorn, Tsutomu Shigemura	Land formation process through the orchard system in Amphwa Neighborhood	日本建築学会計画系論文集 NO. 589, pp. 99-105 (2005)	A
八木健太郎*, 竹田直樹*, 重村力	アート作品としての自然景観の再生に関する考察	日本建築学会総合論文集第3号, pp. 78-83 (2005)	A
重村力, 重村桂子*	井上医院デイケアセンター“Casa”	日本建築学会作品選集2005, pp. 156-157 (2005)	A
Shusuke INACHI, Tsutomu SHIGEMURA	Agenda and Direction for Renovation of School Environment Stocks	Proceedings of the 5th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia: Global Environment and Diversity of Asian Architecture, pp. 512-515 (2004)	C
Retna Hidayah, Tsutomu Shigemura	Culture, Continuity, and Change: The Shift of Single into Multifamily in Individual Javanese Dwelling	Proceedings of the 5th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia: Global Environment and Diversity of Asian Architecture, pp. 416-419 (2004)	C
Tachakitkachorn T., Shigemura T.	Pursuing a Sustainable Community in the Chaophraya Delta - Redefinition of Urban design for the BMA through the application of local wisdom	Proceedings of the 5th International Symposium on Architecture Interchanges in Asia: Global Environment and Diversity of Asian Architecture, pp. 477-482 (2004)	C
Takayuki Uchihra, Juichi Yamazaki, Tsutomu Shigemura	Contemporary Spatial Functions of Rural Environmental Stocks in Urban Areas	Proceedings of the 5th International Symposium on Architecture Interchanges in Asia: Global Environment and Diversity of Asian Architecture, pp. 391-394 (2004)	C
稲地秀介, 重村力	心理的評価に着目した記憶される空間とその抽出手法	神戸大学大学院自然科学研究科紀要 第23号, pp. 87-92 (2005)	D

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
稲地秀介, 伊藤昭裕*, 浅井保, 重村力	記憶される学校空間とその構造に関する考察 - 尼崎市立開明小学校を事例として -	神戸大学大学院自然科学研究科紀要 第23号, pp. 81-86 (2005)	D
内平隆之, 山崎寿一, 重村力	農的環境ストックの空間特性に応じた環境再生のあり方に関する考察-工業都市・尼崎市を事例に-	神戸大学大学院自然科学研究科紀要 第23号, pp. 93-100 (2005)	D
三笠友洋, 重村力	計画的住宅地の成熟過程における環境単位の変容に関する研究	神戸大学大学院自然科学研究科紀要 第23号, pp. 35-40 (2005)	D
佐藤逸人, 森本政之, 袴田篤史, 小林正明, 佐藤洋*	単語の聴き取りにくさの聴感試験法について - 学習効果の検証および文脈効果の低減 -	神戸大学大学院自然科学研究科紀要, 22-B, 47-58 (2004)	D
Masayuki Morimoto, Hiroshi Sato* and Masaaki Kobayashi	Listening difficulty as a subjective measure for evaluation of speech transmission performance in public spaces	Journal of the Acoustical Society of America 116(3), 1607-1613 (2004)	A
Hiroshi Sato*, John S. Bradley* and Masayuki Morimoto	Using listening difficulty ratings of conditions for speech communication in rooms	Journal of the Acoustical Society of America 117(3), 1157-1167 (2005)	A
Masayuki Morimoto and Kazuhiro Iida*	Appropriate frequency bandwidth in measuring interaural cross-correlation as a physical measure of auditory source width	Acoustical Science and Technology, 26(2), 179-184 (2005)	A
Kimihiro Sakagami, Masayuki Morimoto and Motoki Yairi*	A note on the effect of vibration of a microperforated panel on its sound absorption characteristics	Acoustical Science and Technology, 26(2), 204-207 (2005)	A
Kazuhiro Iida*, Atsunobu Murase* and Masayuki Morimoto	A method of 3-D sound image localization with externalization through headphones using a new correction filter of headphone-to-eardrum transfer functions	CD-ROM Proceedings of The 18th International Congress on Acoustics, Kyoto, Japan, [Tu2. D. 3] (invited paper) (2004)	C
Hayato Sato, Masayuki Morimoto, Ryo Ota and Hiroshi Sato*	Optimal speech level by public address system for young and elderly listeners	CD-ROM Proceedings of The 18th International Congress on Acoustics, Kyoto, Japan, [Tu4. B1. 3] (invited paper) (2004)	C
Takashi Sato, Hayato Sato, Masayuki Morimoto and Hiroshi Sato*	Sound environment for speech communication at railway stations in Japan	CD-ROM Proceedings of The 18th International Congress on Acoustics, Kyoto, Japan, [Tu4. B1. 4] (invited paper) (2004)	C
Motoki Yairi, Kimihiro Sakagami, Masayuki Morimoto, Atsuo Minemura* and Kei Andow*	Effect of a microperforated panel inside the cavity on structure-borne sound radiation from a double-leaf structure	CD-ROM Proceedings of The 18th International Congress on Acoustics, Kyoto, Japan, [Tu5. B2. 1] (invited paper) (2004)	C
Shinsuke Nakanishi*, Kimihiro Sakagami and Masayuki Morimoto	Effect of constructions on an acoustic gain by a stage riser	CD-ROM Proceedings of The 18th International Congress on Acoustics, Kyoto, Japan, [We2. B2. 3] (2004)	C
Kimihiro Sakagami, Masayuki Morimoto and Wakana Koike	A basic study on double-leaf microperforated panel absorbers	CD-ROM Proceedings of The 18th International Congress on Acoustics, Kyoto, Japan, [We. P2. 16] (2004)	C
Masayuki Morimoto and Aiko Asaoka	Multi-dimensional analysis of "Reverberance"	CD-ROM Proceedings of The 18th International Congress on Acoustics, Kyoto, Japan, [Th2. B1. 6] (invited paper) (2004)	C

建設学科

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Masayuki Morimoto	Measuring method of interaural cross-correlation as a physical measure for auditory source width	CD-ROM Proceedings of International Symposium on Room Acoustics: Design & Science 2004 (RADS2004), Awaji, Japan (invited paper) (2004)	C
Shinsuke Nakanishi*, Kimihiro Sakagami and Masayuki Morimoto	Theoretical analysis of an acoustic gain by a stage riser with periodic ribs	CD-ROM Proceedings of International Symposium on Room Acoustics: Design & Science 2004 (RADS2004), Awaji, Japan (2004)	C
Kimihiro Sakagami, Masayuki Morimoto and Motoki Yairi	Detailed analysis of the effect of vibration of a microperforated panel on its sound absorption characteristics	CD-ROM Proceedings of International Symposium on Room Acoustics: Design & Science 2004 (RADS2004), Awaji, Japan (2004)	C
Masaaki Kobayashi, Masayuki Morimoto, Hiroshi Sato* and Hayato Sato	Effects of speech to noise ratio on listening difficulty in reverberant sound fields	CD-ROM Proceedings of International Symposium on Room Acoustics: Design & Science 2004 (RADS2004), Awaji, Japan (2004)	C
Kimihiro Sakagami, Toru Uyama, Masayuki Morimoto, Masakazu Kiyama*	Prediction of the reverberation absorption coefficient of finite-size membrane absorbers	Applied Acoustics, 66, 653-668 (2005)	A
古賀修*, 松下敬幸, 小椋大輔, 菊澤浩之	家庭用調理機器の上昇気流性状および室内温熱環境に関する実測 その1	日本建築学会技術報告集, 20号, 141-146(2004)	A
三谷勲, 片平崇*	不均等純ラーメン骨組の座屈荷重及び座屈モード判別法	日本建築学会構造系論文集, No. 585, 163-168(2004)	A
田中秀宣*, 三谷勲, 嶋村洋子, 伊藤倫夫*	変動軸力を受ける露出型柱脚を有する鋼構造骨組の弾塑性挙動	鋼構造論文集, 第12巻第45号, 171-184(2004)	A
藤永隆, 三谷勲, 成原正人, 山田正人*, 竹本博紀*	耐震診断を受けた兵庫県下のSRC造建築物の耐震性分布	構造工学論文集, Vol. 51B, 85-90(2005年)	A
藤永隆, 張永吉*, 三谷勲	CFT長柱の耐力評価に関する一考察	構造工学論文集, Vol. 51B, 475-476(2005年)	A
宮川和明*, 三谷勲, 大谷恭弘, 藤永隆, 木下陵二*	ピン接合鋼管ブレースによるRC造骨組の外付け耐震補強法に関する実験的研究	第6回日中建築構造技術交流会論文集, 617-628(2004)	C
田中秀宣*, 三谷勲, 嶋村洋子, 伊藤倫夫*	柱脚の復元力特性が鋼構造骨組の弾塑性性状に与える影響に関する実験的研究	第6回日中建築構造技術交流会論文集, 811-818(2004)	C
M. Hasegawa, T. Fujinaga, I. Mitani, N. Uchida, M. Narihara, Y. Ohtani and T. Fukusumi	Strength And Deformation Characteristics Of SRC Frames Having Weak Axis Bending Columns	13th World Conference on Earthquake Engineering (Paper ID 1214), (2004)	C
M. Narihara, T. Fujinaga, I. Mitani, Y. Ohtani, M. Hasegawa and N. Uchida	Structural Seismic Performance of SRC Frames Having Strong Axis Bending Column	13th World Conference on Earthquake Engineering (Paper ID 1257), (2004)	C
竹林英樹, 森山正和	夏季夜間の都市表面熱収支に関する研究	日本建築学会環境系論文集, 第579号, pp. 61-65 (2004)	A
Masakazu Moriyama, Hideki Takebayashi, Setsu Nogami	Experimental Study on the Measurement of Sensible Heat Flux at the Roof Surface Coated by High Reflectivity Paints	Fifth Conference on Urban Environment (CD-ROM) (2004)	C

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Hideki Takebayashi, Masakazu Moriyama	Study on the influence of sensible heat flux distribution on air temperature in the built-up area	Fifth Conference on Urban Environment (CD-ROM) (2004)	C
Takahiro Tanaka, Masakazu Moriyama	Application of GIS to make 'Urban Environmental Climate Map' for Urban Planning	Fifth Conference on Urban Environment (CD-ROM) (2004)	C
Masakazu Moriyama, Hideki Takebayashi	"Urban Environmental Climate Map" as a Countermeasure of Urban Heat Island	Proc. The 7th International Symposium on Building and Urban Environmental Engineering, pp.200-206 (2004)	C
Hideki Takebayashi, Masakazu Moriyama	The Thermal Storage Prevention Effect of Roadside Tree Shade in a Street Canyon	Proc. The 7th International Symposium on Building and Urban Environmental Engineering (2004)	C
Noriko Mori, Masakazu Moriyama	A Study on the Hourly Variation in Hot Water Consumption and Performance of High-Efficiency Equipment for Hot Water Supply Under the Actual Use Condition	MEMOIRS OF GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE AND TECHNOLOGY KOBE UNIVERSITY, No. 23-A, pp. 51-66 (2005)	D
森郁恵*, 鉾井修一*, 高田暁	高温環境における局所冷却時の生理応答—人体熱モデルによる解析と被験者実験—	日本生気象学会雑誌Vol. 41, No. 1, pp. 19-30, 2004. 8.	A
中澤和弘*, 鉾井修一*, 高田暁	着衣—人体間における熱・水分・空気移動解析のための基礎的検討	日本建築学会計画系論文集 第580号, pp. 23-30, 2004. 6.	A
S. Takada, S. Hokoi*, and K. Nakazawa*	Measurement of Moisture Conductivity of Clothing	Journal of the Human-Environment System, Vol. 7, No. 1, pp. 29-34, 2004. 2.	A
森郁恵*, 鉾井修一*, 高田暁, 田中宏明*	非定常状態における温冷感予測に関する実験的考察	日本建築学会計画系論文集 第563号, pp. 9-15, 2003. 1.	A
Huang Yinong*, Shuichi Hokoi*, Nobuo Nakahara*, Satoru Takada and Hisashi Miura*	Influence of air exchange through small openings between rooms	ASHRAE Transactions, Vol. 109, Part 1, CH-03-2-2, 2003.	A
Huang Yinong*, Shuichi Hokoi*, Nobuo Nakahara*, Satoru Takada and Hisashi Miura*	Influence of air exchange through small openings between rooms - Consideration of Resident' s Lifestyle -	Journal of Asian Architecture and Building Engineering, Vol. 1, No. 2, pp. 79-86, 2002. 11.	A
鉾井修一*, 高田暁, 小森敏史*	寝具における熱水分移動とその人体温熱生理応答への影響	睡眠と環境, 第6巻第1号, pp. 71-77, 2002. 9.	A
高田暁, 鉾井修一*	Two-Node Modelにおける発汗調節モデルの検討	睡眠と環境, 第6巻第1号, pp. 62-70, 2002. 9.	A
高田暁, 鉾井修一*, 工藤正則*, 川上直紀*	着衣における熱・水分の移動と蓄積を考慮した人体の非定常温熱生理応答 —被験者実験と Two-node modelを用いた解析—	日本建築学会計画系論文集 第549号, pp. 23-30, 2001. 11.	A
T. Umeno*, S. Hokoi* and S. Takada	Prediction of skin and clothing temperatures under thermal transient considering moisture accumulation in clothing	ASHRAE Transactions, Vol. 107, Part 1, 4418, pp. 71-81, 2001.	A
S. Takada, S. Hokoi*, N. Kawakami* and M. Kudo*	Experimental Study on Thermophysiological Response of Clothed Subjects Exposed to Thermal Transients - Sweating and Evaporation Process -	Journal of the Human-Environment System, Vol. 2, No. 1, pp. 57-67, 1999.	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
高田暁, 鉾井修一*, 梅野徹也*	布の水分拡散係数の同定	熱物性, 12巻3号, pp.120-125, 1998. 7.	A
永井久也*, 松本衛*, 高田暁	地盤蓄熱性状への地下水流の影響について 年周期蓄熱媒体としての地盤利用に関する研究 (その3)	日本建築学会計画系論文集 第493号, pp.39-45, 1997. 3.	A
S.Takada, S.Hokoi*	Adaptability of Thermophysiological Model of Human Body to Non-Steady State in Sweating and Evaporation Process	7th REHVA World Congress CLIMA 2000/Napoli 2001, Napoli, Italy, 2001. 9	B
S.Takada, S.Hokoi*, N.Kawakami* and M.Kudo*	Effect of Sweat Accumulation in Clothing on Transient Thermophysiological Response of Human Body to the Environment	Proceedings of Building Simulation ' 99, Kyoto, Japan, pp.385-392, 1999. 9.	B
Yasuko Kuwata, Shiro Takada	Effective Emergency Transportation for Saving Human lives	Natural Hazards 33, 2004, pp. 23-46 (2004)	A
Yasuko Kuwata, Shiro Takada	COLLAPSE OF WOODEN HOUSES CONSIDERING INSTANTANEOUS INSTRUMENTAL SEISMIC INTENSITY	ASIAN JOURNAL OF CIVIL ENGINEERING (BUILDING AND HOUSING), vol. 5, NOS1-2, pp. 1-23 (2004)	A
鎌田泰子, *本多寿, 高田至郎	地震発生後の救助要請に関わる情報伝達プロセス	地域安全学会論文集No. 6, 2004, 297-304 (2004)	A
*片桐信, 高田至郎	連続体破壊解析のためのFEM-DEM結合解析法の提案	土木学会地震工学論文集, Vol. 780 1-7 15-25, 2005 (2005)	A
高田至郎, *上田智宏, 鎌田泰子, *岡田健二	下水道管路横断面設計と周面せん断力の影響評価	構造工学論文集 Vol. 51A, pp.1589-1596 (2005)	A
鎌田泰子, 森田典和, 岡本大寿, 高田至郎	断層を横断する硬質塩化ビニル管路とダクトイル管路の許容断層変位簡易推定式の提案	構造工学論文集 Vol. 51A, pp.1597-1604 (2005)	A
高田至郎, 市原大助, 鎌田泰子	二層構造管の荷重分担評価と設計手法の提案	構造工学論文集 Vol. 51A, pp.1579-1588 (2005)	A
Yasuko Kuwata, Shiro Takada, Morteza Bastami	Building damage and human casualties during the Bam, Iran, earthquake	Asian Journal of Civil Engineering (Building and housing), Vol.6, Nos.1-2, pp.1-19 (2004)	A
*Junichi Ueno, Shiro Takada, *Yasuo Ogawa, * Masaaki Matsumoto, *Shusuke Fujita, *Nemat Hassani	Research and Development on Fragility of Components for the Gas Distribution System in Greater Tehran, Iran	13thWorld Conference on Earthquake Engineering, B. C., Canada, August 1-6, No. 193, 2004 (2004)	B
*Radan Ivanov, Shiro Takada, *Norikazu Morita	Analytical Assessment of The Vulnerability of Underground Jointed Pipelines to Fault Displacements	13thWorld Conference on Earthquake Engineering, B. C., Canada, August 1-6, 2004 (2004)	B
*Ai-Wen Liu, Shiro Takada, *Yu-Xian Hu	A Shell Model with an Equivalent Boundary for Buried pipelines under The Fault Movement	13thWorld Conference on Earthquake Engineering, B. C., Canada, August 1-6, No. 613, 2004 (2004)	B
Shiro Takada, Yasuko Kuwata, *Abbas Mahadavian, * Reza Rasti, *Tsutomu Imai	Dislocation and Strong Ground Motion Zoning Under Scenario Faults for Lifelines	13thWorld Conference on Earthquake Engineering, B. C., Canada, August 1-6, No. 125, 2004 (2004)	B
*Tengyan Li, *Ichiro Ogi, Shiro Takada	Influence of Nonlinearity in Shield Tunnels on Seismic Response	13thWorld Conference on Earthquake Engineering, B. C., Canada, August 1-6, 2004 (2004)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Shiro Takada, Morteza Bastami, Yasuko Kuwata	Performance and Emergency Responses of Lifeline Systems During the Bam Earthquake	Proceedings of the Third Taiwan-Japan Workshop on Lifeline Performance and Disaster Mitigation, pp.17-24 (2004)	C
*Junichi Ueno, Shiro Takada, Yasuko Kuwata	Performance of Water Supply Systems During The 2003 Tokachi-Oki Earthquake	Proceedings of the Third Taiwan-Japan Workshop on Lifeline Performance and Disaster Mitigation, pp.79-86 (2004)	C
*Shunji Higashi, *Jun Onishi, *Hajime Naito, *Yuji Noda, *Yasushi Hattori, Shiro Takada	Development of Secondary Lining Flexible Joint For FRPM Sewage Pipe That Crossing a Fault	Proceedings of the Third Taiwan-Japan Workshop on Lifeline Performance and Disaster Mitigation, pp.113-122 (2004)	C
Yasuko Kuwata, Shiro Takada	Seismic Risk Assessment for Hospital Lifeline Considering SRM METHOD	Proceedings of the Third Taiwan-Japan Workshop on Lifeline Performance and Disaster Mitigation, pp.265-272 (2004)	C
*Radan Ivanov, Shiro Takada, *Norikazu Morita	Analytical Assessment of The Bearing Capacity of Underground Jointed PVC Pipelines Crossing Active Faults	Proceedings of International Conference VSU (Higher Building School 2004, 20 may -22 may, 2004, Sofia Bulgaria (2004)	B
*Takeshi Koike, Shiro Takada, *Yasuo Ogawa, *Masaaki Matsumoto, *Tomoharu Tajima, *Nemat Hassani	SEISMIC DAMAGE PREDICTIONS FOR THE GAS DISTRIBUTION SYSTEMS IN GREAT TEHRAN, IRAN	13th World Conference on Earthquake Engineering, B. C., Canada, August 1-6, No. 3394, 2004 (2004)	B
Shiro Takada, *Aiwen Liu	Performance and Design Formulae for Large-Diameter Steel Pipelines Crossing Faults	International Conference in Commemoration of 5TH ANNIVERSARY OF THE 1999 CHI CHI EARTHQUAKE, TAIWAN pp.104 (2004)	B
Shiro Takada	INTEGRATED EARTHQUAKE DISASTER MITIGATION STRATEGY	Iran-Work Shop (2004)	B
Shiro Takada	Recent Seismic Retrofit of Bridge Structures in Japan	PROCEEDINGS OF 2004 BEIJING INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON BRIDGE STRUCTURE ASSESMENT, CHINA, pp16-21, pp199-206 (2004)	B
Yasuko Kuwata, *Hitomi Murakami, *Yutaka Ohta, *Maki Koyama	Factor analysis of human entrapment and casualty occurrence due to dwelling collapses in the 1995 Hanshin-Awaji earthquake	Proceedings of the 13th World Conference on Earthquake Engineering, Paper no. 529, Vancouver, CA (2004)	B
Houman Pezeshki, *Junichi Ueno, Shiro Takada	PERFORMANCE AND ALLOWABLE FAULT DISLOCATION FOR STEEL AND POLYETHYLENE PIPELINES CROSSING FAULTS	建設工学研究所論文集第46号, pp.153-170 (2004)	B
Shiro Takada, Morteza Bastami, Yasuko Kuwata, Mohammad Bagher Javanbarg	PERFORMANCE OF ELECTRIC POWER SYSTEMS DURING THE BAM EARTHQUAKE AND ITS FRAGILITY ANALYSES	建設工学研究所論文集第46号, pp.141-152 (2004)	D
森田典和, 鎌田泰子, 高田至郎	材料非線形を考慮した断層横断塩化ビニル管路の個別要素法による挙動解析	建設工学研究所論文集第46号, pp.127-139 (2004)	D

建設学科

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
高田至郎	2004年5月28日イラン・バラディ(Baladeh)地震調査報告	建設工学研究所論文集第46号, pp. 319-326 (2004)	D
Yasuko Kuwata, Shiro Takada	SEISMIC HAZARD MAP OF TEHRAN, IRAN	建設工学研究所論文集第46号, pp. 279-292 (2004)	D
高田至郎, 勤息義弘, 鎌田泰子	水道消火栓稼動不可による火災延焼と人的被害波及	建設工学研究所論文集第46号, pp. 189-203 (2004)	D
高田至郎, 市原大助, 鎌田泰子	老朽ヒューム管の耐力と二層構造管路の荷重分担	建設工学研究所論文集第46号, pp. 205-222 (2004)	D
高田至郎, 鎌田泰子	イラン・バム地震の建物倒壊と死者・負傷者の関係	建設工学研究所論文集第46号, pp. 223-232 (2004)	D
山本聡, 鎌田泰子, 高田至郎	橋梁桁上に停止する車両の地震応答とドライバーの安全性	建設工学研究所論文集第46号, pp. 171-188 (2004)	D
北川隆*, 中山範一*, 松長剛*, 芥川真一, 小西真治*	地表面沈下予測に向けたひずみ軟化モデルによる検討	トンネル工学論文集, 第14巻, pp. 53-60 (2004)	A
Jae-Ho Lee, Naoki Doba, Yasuhiro Yokota, Shinichi Akutagawa, Takashi Kitagawa*, Shinji Konishi* and Takeshi Matsunaga*	COMPARATIVE STUDIES OF DEFORMATIONAL BEHAVIOR OF A SHALLOW NATM TUNNEL IN SAND GROUND	Memoirs of Construction Engineering Research Institute Vol. 46 (paper), pp. 113-125, (2004)	D
大井健史, 志村常彰, 李在浩, 芥川真一, 桜井春輔*, 森誠一郎*, 佐藤淳*, 恩田雅也*	大断面トンネルの鋼製支保工に作用する荷重の非破壊計測と考察	建設工学研究所論文報告集第46号〔論文〕, pp. 99-111, (2004)	D
S. Akutagawa, K. Ohi, T. Shimura, M. Ota & K. Yasuhara and K. Matsuoka*	Application of nondestructive stress measurement technique for safety assessment of underground structures	Proceedings of the Fifth International Symposium on Ground Support in Mining and Underground Construction, Perth, Australia, pp. 457-464, (2004)	B
S. Akutagawa, Hasegawa and J. H. Lee	Incorporation of elastic strain distribution for improvement of back analysis in nonlinear problems	Proceedings of the 3rd Asian Rock Mechanics Symposium, November 30 to December 2, pp. 1085-1088, (2004)	B
J. H. Lee, N. Doba, Y. Yokota, S. Akutagawa, Kitagawa* & N. Nakayama*	On the systematic identification of deformational mechanism of shallow NATM tunnels during excavation	Proceedings of the 3rd Asian Rock Mechanics Symposium, November 30 to December 2, pp. 723-726, (2004)	B
美濃智広*・橋本欣也*・狩野裕之*・森川英典	性能評価パラメータの不確定性を考慮した塩害劣化PC橋の安全性評価	コンクリート工学年次論文集, Vol. 26, No. 1, pp. 2055-2060 (2004)	A
小林雅人・森川英典	支承と入力地震動の不確定性を考慮したRC橋脚を有する橋梁構造系の耐震信頼性解析	コンクリート工学年次論文集, Vol. 26, No. 2, pp. 1369-1374 (2004)	A
岡本早夏・森川英典・菊田亮一*	塩害劣化RC橋の安全性評価と外ケーブル補強の最適化に関する検討	コンクリート工学年次論文集, Vol. 26, No. 2, pp. 1705-1710 (2004)	A
狩野裕之*・森川英典	目視点検に基づく評点法による塩害劣化PC橋の劣化度評価における不確定要因の検討	コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, 第4巻, pp. 329-336 (2004)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
梶田宏行・森川英典・鴨谷知繁*・小林秀恵	鉄筋損傷を導入した炭素繊維シート補強RC部材の性能評価	コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, 第4巻, pp. 369-376 (2004)	A
Atsushi Shirakura*, Motoshi Kawashima*, Yasuo Yonezawa* and Hidenori Morikawa	Condition rating method for performance evaluation of existing RC bridges	Proc. of 2nd International Conference on Bridge Maintenance, Safety and Management, (CD-ROM) (2004)	B
Yasushi Yamanaka*, Yasuo Yonezawa*, Hidenori Morikawa and Toyoaki Miyagawa*	Calibration of safety factors for performance evaluation of deteriorating existing RC bridges	Proc. of 2nd International Conference on Bridge Maintenance, Safety and Management, (CD-ROM) (2004)	B
森川英典・尾崎健・森田祐介*・小林秀恵・古田久人*	RC部材における鉄筋腐食モニタリングと局部腐食を考慮した部材性能の評価	建設工学研究所論文報告集, Vol. 46, pp. 27-46 (2004)	D
徳井恵美・小林雅人・森川英典	支那破壊条件の不確定性と地盤条件の違いを考慮したRC橋脚を有する橋梁構造系の耐震信頼性解析	神戸大学大学院自然科学研究科紀要, No. 23-B, pp. 27-34 (2004)	D
道奥康治, 石垣泰輔*, 前野詩朗*, 竹原幸生*, 江藤剛治*, 南條雅志*, 羽根田正則*	捨石で構築された堰・水制の水理機能	京都大学防災研究所年報, 47号B, 581-600 (2004)	D
Kohji Michioku, Toru Kanda*	Contamination of reservoir hypolimnion caused by chemically stratified flow	Proc. 3rd Civil Engineers Civil Conference in the Asian Region, CD-ROM (2004)	B
Kohji Michioku, Masakazu Matsuo*	Modeling of Thermosolutal Plume and Biochemical Processes in a Eutrophic Reservoir	Proc. 5th International Symposium on Ecohydraulics, Vol. II, 803-807 (2004)	B
和田安彦*, 道奥康治, 和田有朗	住民の暮らしからみた水辺環境の評価	土木学会論文集, No. 776/VII-33, 83-95 (2004)	A
和田有朗, 道奥康治	利用者からみた水辺環境の評価	環境情報科学論文集, 18, 95-100 (2004)	A
Kohji Michioku, Shiro Maeno*	Study on Flow Structure and Discharge over a Permeable Rubble Mound Weir	Proc. 4th Int. Symp. on Environ. Hydraulics and 14th APD-IAHR, Vol. 2, 1801-1808 (2004)	B
Shiro Maeno*, Kohji Michioku	Numerical simulation of the flow around a rubble mound weir	Proc. 4th Int. Symp. on Environ. Hydraulics and 14th APD-IAHR, Vol. 2, 1809-1815 (2004)	B
Kohji Michioku, Shiro Maeno*, Takaaki Furusawa*, Masanori Haneda*	Discharge through a permeable rubble mound weir	J. Hydraulic Engineering, ASCE, Vol. 131, No. 1, 1-10 (2005)	A
道奥康治, 南條雅志*, 石垣泰輔*, 前野詩朗*	捨石水制が冠水した開水路流の二次元二層流モデル	土木学会論文集, No. 782/II-70, 31-50 (2005)	A
道奥康治, 小谷英之, 佐々木茂太, 西口祐輝	水温躍層における貧酸素水の成長機構について	水工学論文集, 第49巻, 1177-1182 (2005)	A
和田有朗, 道奥康治, 辻義和	都市流域の流出汚濁解析と負荷特性におよぼす降雨形態の影響	水工学論文集, 第49巻, 1579-1584 (2005)	A
前野詩朗*, 道奥康治, 加瀬瑛斗*, 菊池慶太*	個別要素法を用いた捨石堰の破壊予測	水工学論文集, 第49巻, 787-792 (2005)	A

建設学科

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Nariaki Wada, Kohji Michioku	Evaluation of riverside environment from local inhabitants by factor analysis	J. Environmental Information Science, Vol. 33, No. 5, 33-42 (2005)	A
Miyamoto, H. and Shimoyama, K.*	Experimental study on influence range of water surface fluctuations in turbulent open-channel flows	The Sixth International Conference on Hydrosience and Engineering (ICHE-2004), Proc. CD-ROM (2004)	B
Miyamoto, H. and Shimoyama, K.*	Free surface behavior in turbulent open-channel flows	Proceedings of the 21st International Congress of Theoretical and Applied Mechanics, Proc. CD-ROM (2004)	C
宮本仁志, 岡本早夏*	小規模都市河川における流域住民の水環境意識調査	建設工学研究所論文報告集, 46, 67-78 (2004)	D
Miyamoto, H. and Shimoyama, K.*	Spatial correlation structures of water surface fluctuation with turbulence in open-channel shear flows	Journal of Hydrosience and Hydraulic Engineering, 22(1), 37-50 (2004)	A
Shibuya, S., Li, D.J.*, Noda, T.* and Nakano, H.*	Mechanical behaviour of structured clay and its simulation, Geomechanics - Testing, modelling and simulation	ASCE Special Technical Publication No.143, pp.286-306, 2004.	A
Shibuya, S., Mitachi, T.* and Kawaguchi, T.*	Natural cementation of Singapore clay	Geotechnical Engineering Journal, SEAGS, Vol.35, No.2, pp. 10-18, 2004	A
Shibuya, S., Mitachi, T.* and Kawaguchi, T.*	Engineering properties of some hardened fly ashes	Geotechnical Engineering Journal, Vol.35, No.3, pp.12-20, 2004	A
Li, D.J.*, Shibuya, S. and Mitachi, T.*	Engineering properties of Osaka bay clay	Proc. of the International Symposium on Engineering Practice and Performance of Soft Deposits (IS-Osaka 2004) (Matsui, T. et al edns), the Japanese Geotechnical Society, pp.53-58, 2004.	A
Shibuya, S., Yamashita, S.*, Watabe, T.* and Lo Presti., D.C.F.*	In-situ seismic survey in characterizing engineering properties of geomaterials	Geotechnical and Geophysical Site Characterization (A. Viana da Fonseca and P.W. Mayne edns), Millpress, Vol.1, 167-186, 2004.	A
Shibuya, S. and Li, D.J. *	Characterizsing artificial and natural bonding of clays	Geotechnical and Geophysical Site Characterization (A. Viana da Fonseca and P.W. Mayne edns), Millpress, Vol.2, 1869-1874, 2004.	A
Shibuya, S., Koseki, J.* and Kawaguchi, T.*	Recent developments in deformation and strength testing of geomaterials	Deformation Characteristics of Geomaterials - Recent Investigations and Prospects (Di Benedetto H. et al edns), Taylor Francis Group London, pp.3-28, 2005.	A
加藤正司, 榊原辰雄*, 畑中憲彦*	三軸試験時の不飽和砂の変形強度特性に与えるサクシヨンの影響に関する基礎的研究	土木学会論文集, No. 785, pp.93-106, 2005.	A
Fujita, I., *Muto, Y., Shimazu, Y., Tsubaki, R., *Aya, S.	Velocity measurements around non-submerged and submerged spur dykes by means of large-scale particle image velocimetry	Journal of Hydrosience and Hydraulic Engineering Vol.22, No.1, pp.51-61	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
藤田一郎, 椿涼太, 竹島雄介	側岸凹部を有する開水路流れの水面変動特性に関する研究	応用力学論文集, Vol. 7, pp. 969-977 (2004)	A
藤田一郎, 椿涼太	ステレオ水面計測法とPODを用いた側岸凹部流れの水面振動構造の解析	水工学論文集, 49巻, pp. 535-540 (2004)	A
神吉和夫, 金築亮*	江戸中期の河道直線化策と室鳩巢	土木史研究論文集, 23, 1-4 (2004)	A
Mikio Takebayashi	The Network Competition in Air Transport Market: Bi-level approach	Annual Meeting of Air Transport Research Society, 2004 (CD-ROM) (2004)	C
Katsuhiko Kuroda and Mikio Takebayashi	Equilibrium Approach on International Maritime Transport Market by Concerning Sea Way Route Making Strategy	WCTR 2004 (CD-ROM)	B
Katsuhiko Kuroda, Mikio Takebayashi, Shingo Hara and Mamoru Fukumoto	Equilibrium Approach on International Maritime Transport Market under Global Carrier's Alliances	International Conference on Maritime Transport and Logistics, 7-19 (2004)	B
V.Ganesh Babu K, Yasuo Asakura, Katsuhiko Kuroda	A Structural Equations Analysis of Variable Message Signs, Mean Speed and Speed Deviations	Proceedings of 8th Conference of Hong Kong Society for Transportation Studies-Transportation and Logistics, 372-380 (2004)	B
Syafi' i, Katsuhiko Kuroda	Development of Asian Container Shipping Under Change of Maritime Environment	Proc. of the 1st International Conference on Logistics Strategy for Ports, 39-47 (2004)	B
Syafi' i, Katsuhiko Kuroda, Mikio Takebayashi	An Estimation Method of OD Table of International Container Cargo	建設工学研究所・論文集, Vol. 46, 89-98 (2004)	D
Syafi' i, Katsuhiko Kuroda	Container Port Competition: A Southeast Case Study	Proc. of The 9th Conf. of Hong Kong Society for Transport Studies, 536-545 (2004)	B
V.Ganesh Babu K, Yasuo Asakura, Katsuhiko Kuroda	ITS Around the World and Need for ITS on Indian Roads	Indian Highways, Vol.33, No.2, 5-27 (2005)	B
Nakayama, A, Noda, H. and Maeda,	Similarity of instantaneous and filtered velocity fields in the near wall region of zero-pressure gradient boundary layer	Fluid Dynamics Research, 35(4), 299-321 (2004)	A
Vengadesan, S.* and Nakayama, A.	Evaluation of LES models for flow over bluff body from engineering application perspective	Sadhana, 30(1), 11-20 (2005)	A
Vengadesan, S.*, Nakayama, A. and Yokojima, S.*	An investigation on the applicability of Cartesian grid approach to calculate flow over arbitrary terrain	Indian Journal of Engineering and Material Sciences, 11, 465-472 (2004)	A
中山 昭彦, 江田智行, 松村友宏	修正HSMAC法による開水路乱流のLES	水工学論文集, 49, 661-666 (2005)	A
堀 高太郎, 中山 昭彦	LESによるタンデム角柱の応答解析	土木学会応用力学論文集, 7, 987-996 (2004)	A
Bricker, J.D., Okabe, I. and Nakayama, A.	Behavior of a small river plume in a strong tidal cross-flow in the Akashi Strait	Mem. Grad. School of Sci. & Technol., Kobe Univ., 23-A, 19-35 (2005)	D
寺嶋大輔, 富田安夫	段階的建設オプションを考慮した市街地再開発事業のリアルオプション的評価手法	日本不動産学会誌(論文), 18(1), 41-48, (2004)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
富田安夫, 寺嶋大輔	CUE型土地利用交通モデルを用いた都市内人口分布の最適化手法	土木計画学研究論文集, 21(1), 225-232, (2004)	A
C. W. Kim, M. Kawatani and *Y. S. Chung	Assessment of code specified impact factor for deck slabs of steel highway bridge	Proc. of Asian-Pacific Symposium on Structural Reliability and its Applications (APSSRA'04), 281-292 (2004)	B
M. Kawatani, X. He, R. Sobukawa and *S. Nishiyama	Traffic-Induced Dynamic Response Analysis of High-speed Railway Bridges	Proc. of Asian-Pacific Symposium on Structural Reliability and its Applications (APSSRA'04), 569-580 (2004)	B
M. Kawatani, C. W. Kim, *C. H. Lee, T. Kamizono and *N. Nishimura	Traffic-induced vibration analysis of monorail bridge under earthquake	Proc. of the Third International Conference on Advances in Structural Engineering and Mechanics (ASEM04), (2004)	B
C. W. Kim and M. Kawatani	Sensitivity of random variables for impact factor of RC decks of highway bridges and probabilistic assessments	Proc. of the Second International Conference on Bridge Maintenance, Safety and Management (IABMAS04), (2004)	B
Mitsuo Kawatani, Yasutoshi Nomura and Masanori Tsujii	Non-linear seismic response of steel rigid-frame bridge pier considering live load	Proc. of the Second International Conference on Bridge Maintenance, Safety and Management (IABMAS04), (2004)	B
*Hitoshi Furuta, Yasutoshi Nomura and *Naoki Nishimura	SHORT-TERM PREDICTION OF TIME SERIES DATA CONSIDERING CHAOTIC AND STATIC COMPONENTS	Proc. of The 3rd China-Japan-Korea Joint Symposium on Optimization of Structural and Mechanical Systems (CJK-OSM3), 687-692 (2004)	B
C. W. Kim, M. Kawatani and *W. S. Hwang	Reduction of traffic-induced vibration of two-girder steel bridges seated on elastomeric bearings	Engineering Structures, 26 (14), 2185-2195 (2004)	A
*C. H. Lee, C. W. Kim, M. Kawatani and *N. Nishimura	Effect of vehicle dynamics on seismic response of steel monorail bridges	Proc. of 3rd International Symposium on Steel Structures (ISSS'05), 306-317 (2005)	B
吉田幸司, *関 雅樹, 曾布川 竜, *西山誠治, 川谷充郎	鉄道高架橋の部材剛性低下による振動特性への影響評価	構造工学論文集, 51A, 447-458 (2005)	A

学術論文(レフェリー無し)(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
足立裕司	歴史的建造物・町並みの防災の現況と課題	国連防災世界会議パブリックフォーラム「文化遺産を災害から守るために」 pp. 44-45, 2005
足立裕司	災害時における歴史的環境保全の課題ー阪神大震災の経験から緊急時の体制を再考する	国連防災世界会議エクスカーショント・フォーラム「文化遺産から発想する防災体制」 pp. 1-6, 2005
足立裕司	阪神大震災による歴史的環境被害とその後の課題／身近な文化遺産と環境の保全を考える	帝京大学山梨文化財研究所研究報告第12集, pp. 1-6, (2005)
黒田龍二	福山敏男の神社建築研究の一端	古代文化56-9, pp.41~47 (2004)
Tsutomu SHIGEMURA	Architectural design for sustainable society	"Urban Safety and its Future" KU-UW International Symposium #1 on Design Strategy towards Safety and Symbiosis of Urban Space, pp. 100-108 (2004)
重村力	生徒の知的冒険、人格形成の空間をどうつくるかー教科教室方式とワークスペースの計画についてー	季刊文教施設16 2004秋号, pp. 22-27 (2004)
重村力	共生と復興ー日本と世界の災害からー	神戸大学・阪神淡路大震災10周年事業10周年メモリアルシンポジウム(理工系シンポジウム)「震災から10年:安全で安心な社会の構築に向けて」 (2004)
山崎寿一	景観づくりの感性を育む	農村建築 農村建築研究会 第112号, pp.28-39 (2004)
重村力	生徒の自主性と創造性を尊重する新しい学校空間	韓国教育施設学会講演会報告 (2004)
高田暁	体温調節系の解析モデル	日本生気象学会雑誌Vol. 40. No. 4, pp. 225-234, 2003. 12.
S. Hokoi*, N. Koumoto*, S. Takada, A. Ishiguro*, A. Iwamae*	Environmental control for comfortable sleeping, considering both physiological responses of human body and influence of heat and moisture transfer in bedding	Proceedings CIB W40 meeting, Glasgow, UK, 2004. 9.
S. Hokoi*, S. Takada, S. Komori*	Heat and Moisture Transfer in Bed and its Influence on Human Thermo-Physiological Responses	Proceedings CIB W40 meeting, Wellington, New Zealand, pp. 170-178, 2001. 4.
S. Takada, S. Hokoi*, K. Nakazawa*	Measurement of Moisture Conductivity of Clothing	Proceedings CIB W40 meeting, Wellington, New Zealand, 2001. 4.
Y. Kishimoto*, S. Hokoi*, S. Takada, M. Matsumoto*, R. Cerny*, J. Toman*	Influence of Crack on Heat and Moisture Transfer in Concrete Wall	Proceedings CIB W40 meeting, Prague, Czech, pp. 87-92, 1999. 9.
S. Takada, S. Hokoi*, K. Kumaran*	Moisture Movement in Clothing under Gravity	Proceedings CIB W40 meeting, Prague, Czech, pp. 69-74, 1999. 9.
S. Takada, S. Hokoi*, T. Umeno*	Heat and Moisture Movement in Clothes	Proceedings CIB W40 meeting, Kyoto, Japan, pp. 277-290, 1997. 10.
S. Takada, M. Matsumoto*, and H. Nagai*	An Analysis of the Thermal Behavior of the Ground for Annual Ground Heat Storage	Proceedings 7th International Conference on Thermal Energy Storage, Sapporo, Japan, pp. 25-30, 1997. 6.

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
S. Takada, M. Matsumoto*, and H. Nagai*	An Analysis of the Thermal Behavior of the Ground for Annual Ground Heat Storage	Proceedings 7th International Conference on Thermal Energy Storage, Sapporo, Japan, pp. 25-30, 1997. 6.
Yasuko Kuwata, Shiro Takada	SEISMIC RISK MITIGATION OF URBAN LIFELINES	KU-UW International Symposium #1 on Design Strategy towards Safely & Symbiosis of Urban Space, pp. 72-79 Seattle, USA, June 14-15, 2004 (2004)
Shiro Takada	SEISMIC RISK MITIGATION OF URBAN LIFELINES	China-Japan Joint Workshop on Lifeline Disaster Mitigation Strategy
Shiro TAKADA, Yasuko KUWATA, Morteza BASTAMI	DAMAGE AND RESTORATION OF LIFELINES DURING THE BAM, IRAN, EARTHQUAKE	China-Japan Joint Workshop on Lifeline Disaster Mitigation Strategy, Oct. 25-26., pp. 41-59 (2004)
Kato, S., Sakakibara, T* and Yoshimori, H*.	Effects of intergranular adhesive force on behavior of granular material	Numerical Modeling in Micromechanics via Particle Methods, pp. 347-354, 2004.
藤田一郎, 渡辺英樹	時空間画像の輝度勾配テンソルを用いた主流速分布の新計測 法	可視化情報, Vol. 24, Suppl. No. 1, pp. 207-210 (2004)
藤田一郎, 椿涼太, 西塚隆志	時空間微分に基づくPIVを用いたシミュレーションおよび 実河川画像への適用	可視化情報, Vol. 24, Suppl. No. 1, pp. 349-352 (2004)
黒田勝彦	みなとの防災の取り組み	「なぎさ」平成16年1月号 (2004)
黒田勝彦	モーダルシフトと海上輸送	都市問題研究, 第56巻12号, 19-27 (2004)
黒田勝彦	グローバル社会の港湾と空港	CDIT, 平成17年1月号 (2005)
黒田勝彦	関西三空港時代を迎えて	KANSAI空港レビュー, No. 314, 1 (2005)
黒田勝彦	今後の港湾環境政策の基本的な方向	港湾, Vol. 82, NO. 4, 6-11 (2005)
黒田勝彦	ネットワーク社会の運輸交通政策研究	運輸政策研究, Vol. 8, No. 1, 86 (2005)
竹林幹雄	ネットワーク・キャリアの支配は永遠か	第29回土木計画学研究講演会 (2005)

学術著書(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術著書名	発行所 (年)	備考
足立裕司, 中江研	写真集「生野鉱山」	兵庫県生野町(2005)	写真を足立が担当, 本文の監修は両名が担当
黒田龍二, 木村展子*, 尾瀬耕司*, 西桂*, 黒田淑正*	加西市史第5巻本編5 文化財(建造物)	加西市(2005)	全建造物の調査および全851頁のうち461頁執筆
黒田龍二, 山岸常人*	太子町の寺社建築	兵庫県太子町(2005)	全建造物の調査および全118頁のうち半分を執筆
塩崎賢明	都市のアメニティとエコロジー(植田・神野・西村・間宮編)	岩波書店(2005)	「第5章 環境・災害リスクと都市生活」を分担執筆
SHIOZAKI Yoshimitsu, NISHIKAWA Eiichi, DEGUCHI Toshikazu	Lessons from the Great Hanshin Earthquake	Creates Kamogawa(2005)	
塩崎賢明, 西川栄一, 出口俊一	大震災10年と災害列島	クリエイツかもがわ(2005)	
塩崎賢明	持続可能な地域社会のデザイン(植田和弘編)	有斐閣(2004)	「第7章 誇らしい住宅・住環境の形成」を分担執筆
山崎寿一(分担執筆)	地域環境デザインと継承	日本建築学会編, 彰国社(2004)	校庭環境の成長と環境教育- 尼崎市立成徳小学校 (pp. 341-342), 集落のエコロジカルデザイン (pp. 184-189) を分担執筆
山崎寿一(分担執筆)	住まいの事典	朝倉書店(2004)	農村コミュニティ(346-347)を分担執筆
山崎寿一(分担執筆)	建築とまちなみ景観	建築とまちなみ景観編集委員会, ぎょうせい(2005)	農村の景観づくり(pp. 60-71)を分担執筆
松井千秋*, 森野捷輔*, 崎野健治*, 津田恵吾*, 河野昭彦*, 南宏一*, 三谷勲, 堺純一*	建築学構造シリーズ 建築合成構造	オーム社(2004)	共著
森山正和, 竹林英樹, 田中貴宏 他12名著 森山正和編	ヒートアイランドの対策と技術	学芸出版社(2004)	
森山正和 他多数 日本建築学会編	シリーズ地球環境建築・専門編2 資源・エネルギーと建築	彰国社(2004)	
銚井修一*, 高田暁, ほか10名	建築材料の熱・空気・湿気物性値	日本建築学会(2001)	
Hidenori Morikawa et. al	Standard Specification for Concrete Structures-2001 "Maintenance"	Japan Society of Civil Engineers	
道奥康治(分担執筆)	日本沿岸域学会編 沿岸域事典	共立出版(2004)	
編 堀内克明 蟹江幸博	プロフェッショナル英和辞典 SPED TERRA 工学・物質編	小学館 2004	分担執筆
地盤工学会編	不飽和地盤の挙動と評価	地盤工学会 2004	分担執筆 第2章2.5.2 第3章3.2.1, 3.3.1, 3.3.2, 3.4.4, 3.5.1, 3.5.2, 3.6, 3.7 資料2章2.3.1, 2.3.2

建設学科

著者名（*は学外研究者）	学術著書名	発行所（年）	備考
渋谷 啓ほか221名	プロフェッショナル英和辞典 スペ ッドテラ	小学館	地盤工学分野を分担執筆
神吉和夫(共著)	古市公威とその時代	土木学会(2004)	第7章古市公威と水利事業を 分担執筆
神吉和夫(共著)	荒川下流誌	リバーフロント整備センタ ー	第3編第2章第1節江戸の上水 を分担執筆

学術報告(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
足立裕司	やきものに憑かれた人々の住まい	季刊陶次郎, No39, pp. 45-56 (2005)
足立裕司	鉱山遺産の保存活用事例の調査, 他	「鉱石の道」観光事業化計画報告書, pp. 19-46他 (2005)
中江研	「鉱石の道」の経路図の作成	「鉱石の道」観光事業化計画報告書, 47-72 (2005)
安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 木村政文, 栗山尚子	山麓密集住宅市街地におけるアクセシビリティの評価に関する研究	神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第8号, 277-285 (2004)
安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 木村政文, 栗山尚子	山麓密集住宅市街地における共用的利用に着目した領域構成に関する研究	神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第8号, 287-293 (2004)
安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 木村政文, 栗山尚子	山麓市街地にふさわしい住環境モデルの提案 — 街区協同再生システムの事例検証を通じて —	神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第8号, 295-315 (2004)
安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 木村政文, 栗山尚子	山麓密集住宅市街地における住環境性能と連携型住環境形成手法に関する研究	平成15-16年度 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(c)(2):課題番号15560535)研究成果報告書, (2005)
安田丑作, 三輪康一, 栗山尚子, 森崎輝行*	協働のまちづくり推進と地域まちづくり組織の役割に関する調査研究報告書(その2) — 神戸市におけるまちづくり組織の新たな活動とその事例検証を通じて — (平成16年度)	神戸市調査研究報告書, (2004)
安田丑作	神戸の旧居留地—街の遺伝子を読む	都市計画, 252号, 1 (2004)
末包伸吾	神戸大学における建築設計教育への取り組み	2004年度日本建築学会大会21世紀計画系建築教育特別委員会研究協議会資料
末包伸吾, 松本明*	タイルに未来はあるか	The Tile Front 2005, vol. 5, 48-57 (2004)
末包伸吾	「まちをつかう」ことによる被災地の住宅地景観形成	建築士, vol. 54, No. 630, 14 (2004)
三輪康一, 中井検裕*他	国, 地方自治体および地域住民の新しい関係性—まちづくり法制の再構築にあたって—	日本建築学会建築基準法・都市計画法特別研究委員会, 資料編p. 123, p. 128 (2004)
安田丑作	神戸大学百年史 部局史 神戸大学部局史 第2章・建築系	神戸大学百年史 部局史 神戸大学部局史, 681-700, 709-715
三輪康一	地域まちづくりの交流と連携の現在	日本都市計画学会関西支部だより, No. 19, p. 2, (2005)
SHIOZAKI Yoshimitsu	Japanese Contemporary Urban Redevelopment and the Restoration Program after the great Hanshin Earthquake in Kobe	Urban Safety and its Future, 109-123 (2004)
塩崎賢明	開発的復興か早期回復か—阪神大震災の10年から	建築とまちづくり, No. 329, p6-10, 2005年1月
塩崎賢明	住宅・コミュニティは復興したか—阪神大震災の10年と新たな災害	月刊自治研, Vol. 46, No. 543, 26-33, 2004年12月
塩崎賢明	光と影から何を学ぶのか—阪神大震災の10年	住民と自治, 503号, 11-17, 2005年3月
塩崎賢明, 乾亨*, 幸陶一*	私たちは震災とどう向き合うのか (上)	ねっとわーく京都, 193号, 15-24, 2005年2月

建設学科

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
塩崎賢明, 乾亨*, 幸陶一*	私たちは震災とどう向き合うのか(下)	ねっとわーく京都, 194号, 23-35, 2005年3月
塩崎賢明	阪神大震災10年の復興戦略を問う	住宅会議63号, 26-27, 2005年2月
塩崎賢明, 出口俊一*, 武貞直人*, 池田清*, 西川栄一*	阪神・淡路大震災10年の教訓	経済, No. 112, 132-177, 2005年1月
塩崎賢明, 杉原五郎*, 斉藤浩*	災害とその復興に学ぶ	おおさかの街, No. 59, 6-13, 2005年3月
塩崎賢明	今日の都市再生戦略と住環境政策	2005年度日本建築学会大会, 都市計画部門, パネルディスカッション資料, 都市再生と住環境政策, 1-6, 2004年8月
河村廣, 朝山秀一*, 奥俊信*, 新宮清志*, 谷本潤*, 堤和敏*, 谷明勲, 藤井晴行*, 藤谷秀雄, 瀧澤重志*, 山邊友一郎	複雑系科学による人間・環境に適応する建築・都市・社会のシステムデザイン	文部科学省科学研究費補助金 研究成果報告書(基盤研究(A)(1))(研究代表者:河村廣)
重村力	学校環境ストックを評価し環境共生的で創発的な教育空間をつくるリノベーション方法	平成14年度～平成16年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))研究成果報告書(研究代表者 重村力)(2005)
重村力	「美しいまちやむらがつくられているか?」=建築設計教育のめざすべきもの	2004年度日本建築学会大会(北海道)21世紀計画系建築教育特別研究委員会研究協議会資料「<建築設計者をそだてるデザイン教育>」, pp. 9-14 (2004)
重村力, TeamZ00いるか設計集団*	今井町の試み 町並みの持続と共生	近代建築2005年1月号, Vol. 59, pp130-131 (2005)
重村力, 三笠友洋, 山崎義人, 浅井保	第5節 東灘区(住吉地区)	街の復興カルテ2004年度版, pp17-19, 62-66, 116-117, 153-159 (2005)
重村力	主役から演出家へ	日刊建設工業新聞 2005. 1. 14 (2005)
山崎寿一	加美町・岩座神の棚田・景観・交流	日本都市計画学会関西支部だより, 2005/2 No. 19, pp10 (2005)
山崎寿一	豊橋・浜松 地方都市計画研究の視点と可能性	三宅醇先生豊橋技術科学大学退官記念論文集, 三宅醇先生退官記念事業会, pp189-200 (2004)
佐藤洋*, 羽入敏樹*, 森本政之	快適な音環境の創造	計測と制御, Vol. 43 (4), 319-324 (2004)
森本政之	小特集「室内音響における最近の話題」にあたって	日本音響学会誌, Vol. 61 (1), 27-28 (2005)
羽入敏樹*, 阪上公博, 坂本慎一*	室内音場の物理測定の課題と将来展望	日本音響学会誌, Vol. 61 (1), 50-55 (2005)
恩村定幸*, 小南和也*, 松本衛*, 鉾井修一*, 松下敬幸, 小椋大輔*, 安井義貴	強度の異なるコンクリートの熱・湿気物性	GBRC, No. 119, 24-32 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
エレベータ利用避難特別研究委員会(松下敬幸3節分担執筆)	エレベータを利用した避難の可能性	日本建築学会シンポジウム, 55-67 (2005)
エレベータ利用避難特別研究委員会(松下敬幸3節分担執筆)	エレベータを利用した避難に関する研究成果報告書	日本建築学会特別研究30, 27-49 (2005)
三谷勲, 宮川和明*, 大谷恭弘, 藤永隆, 木下陵二*	RC造建築物の外付け鉄骨ブレース耐震補強	神戸大学阪神・淡路大震災10周年事業メモリアル学術シンポジウム報告書, 54-63 (2005)
西岡利晃*, 竹林英樹, 他12名	関西における密集市街地再開発住宅の空気環境ー夏季・冬季のアンケート調査ー	日本建築学会技術報告集, 第19号, pp. 173-176 (2004)
足永靖信*, 竹林英樹	第6回都市気候対策小委員会公開勉強会報告ヒートアイランド対策外皮技術の動向 クールルーフを事例として	建築雑誌, Vol. 119, No. 1522, pp. 82-84 (2004)
渡辺浩文*, 森山正和, 竹林英樹, 他18名	クリマアトラスの実用化に関する研究(その3) 仙台都市域を対象としたワークショップによる気候解析図と計画指針図作成の試み	日本建築学会技術報告集, 第20号, pp. 183-186 (2004)
竹林英樹	建築物屋上, 屋根面を利用した冷氣生成による夏季夜間の市街地冷却効果に関する研究	平成15年度～平成16年度科学研究費補助金(若手研究(B))研究成果報告書 (2005)
森山正和	都市排熱処理とヒートアイランド緩和	熱供給, vol. 57, pp. 8-9 (2004)
森山正和	ヒートアイランド対策から建築の外皮を考える	月刊建築仕上技術, Vol. 30, NO. 350, pp. 15 (2004)
鍬田泰子, 高田至郎	イラン・バム地震におけるライフライン被害と復旧	土木学会イランバム地震報告会 (2004)
高田至郎	地震予知について	イラン国営テレビインタビュー (2004)
高田至郎	日本の地震予知と警報システム	イラン・ラジオジャパンインタビュー (2004)
高田至郎	災害対策部門 震災対策関係水量関係 今後の展開を注視	日本水道新聞 (2004)
高田至郎	カナトの街バムに住みたい	みずのわ 第128号, pp. 7 (2004)
高田至郎	総括インタビュー救命の視点で細やかな整備を	神戸新聞 (2004)
Shiro Takada, Yasuko Kuwata, Morteza Bastami	Damage and Restoration of Lifelines During The BAM, IRAN, Earthquake	土木学会バム報告 (2004)
高田至郎	水道耐震化急げ	読売新聞 (2004)
高田至郎	座談会震災対策を語る 阪神・淡路大震災の教訓と水道ビジョンの実現に向けて	日本水道新聞 (2004)
高田至郎	耐震化や消火用水確保を'消火栓と被害回避'を研究	水道産業新聞 (2004)
高田至郎	第4節 伊丹市の震災と復興	阪神・淡路大震災復興誌 第8巻 2002年度版, pp. 85-90 (2004)
高田至郎	第5節 宝塚市の震災と復興	阪神・淡路大震災復興誌 第8巻 2002年度版, pp. 91-96 (2004)
高田至郎	第6節 川西市の震災と復興	阪神・淡路大震災復興誌 第8巻 2002年度版, pp. 97-101 (2004)

建設学科

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
高田至郎	6433人 震災死を問う	毎日新聞 平成16年10月4日 朝刊 (2004)
高田至郎	地震防災力で検証シンポ	水道産業新聞 平成16年 1月6日 (2005)
高田至郎	救命ライフライン	公明新聞 平成17年1月20日 (2005)
高田至郎	「救命水道システム」構築を	日本水道新聞 平成17年1月31日 (2005)
高田至郎	中越地震の教訓を未来に ～調査団報告書の発表に寄せて～	水道産業新聞 平成17年2月24日 (2005)
高田至郎	ライフライン地中化を	神戸新聞 平成17年3月24日 (2005)
高田至郎	特別講演 ～救命ライフラインの重点整備を～	台風23号被害及び新潟県中越地震に伴う災害相互応援特別報告会 pp. 24-29, (2005)
高田至郎	下水道管路施設の地震対策と更生工法 ー下水管路の更生と耐震性及び更生時期の決定ー	下水道管渠の改築・修繕技術実務者研修会 管渠更生技術と品質管理 2005年シリーズ第2回 pp. 1-10 (2005)
高田至郎, 鋤田泰子, 勸息義弘	水道消火栓稼動不可による火災延焼と人的被害の波及評価と消火用水道施設の提案	工学フォーラム2004 ー出会いと連携ー (2005)
高田至郎, 鋤田泰子, 中尾真紀	地震時における病院ライフラインの機能評価と費用便益を考慮した防災投資方法の検討	工学フォーラム2004 ー出会いと連携ー (2005)
高田至郎	水は生命の源	「市民と考える水道の未来」～水道の地震対策～ Thinking about "Future of Water Service" with Kobe Citizens (2005)
高田至郎他	1章. スマトラ沖地震・津波調査概要 2章. 地震と津波の概要 3章. タイ沿岸部の津波被害とLiDAR計測 4章. プーケット・パンガー県のライフライン被害	神戸大学スマトラ沖大地震・津波調査報告 pp. 1-2, pp. 3-6, pp. 7-24, pp. 25-44 (2005)
鋤田泰子, *土木学会・イラン・バム地震被害調査団	2003年12月26日イラン・バム地震被害調査速報	土木学会誌4月号, Vol. 89, pp47-50. (2004)
鋤田泰子, *宮島昌克, *黒公郎, *伯野元彦, *幸左賢二, *飛田哲男, *吉村美保, *高島正典, *Paola Mayorca, *Abdolhossein Fallahi, *林亜紀夫	2003年12月26日イラン・バム地震被害調査速報	自然災害科学, Vol. 23, No. 1, pp. 117-126. (2004)
鋤田泰子, *大友敬三, *朱牟田善治, *天見正和, *後藤洋三	土木学会 (第1次) ・地盤工学会合同調査団 調査速報 (Ver1. 0)	9. 4 電力 (http://shake.iis.u-tokyo.ac.jp/chuetsu/9-) (2005)
高田至郎	地震防災力で検証シンポ	水道産業新聞 平成16年 1月6日 (2005)
芥川真一	RockNet による岩盤工学関連情報の発信, 共有などについて	岩の力学ニュース, No. 71, pp. 5-6, (2004)
森川英典	劣化予測技術の現状と課題	コンクリート工学, Vol. 42, NO. 5, pp. 52-62 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
道奥康治	播磨地方における川づくりの事例	土木学会関西支部講習会「歴史と地域に学ぶ川づくり」テキスト, 45-55 (2004)
道奥康治	台風0423号による水害	土木学会誌(台風21～23号による豪雨災害緊急調査(速報)), Vol. 12, 27-29 (2004)
渋谷 啓	4章4.2 補強盛土の崩壊事例	平成16年台風23号による関西圏地盤災害調査報告書, pp. 87-135, 2005.
渋谷 啓, 金田博志, 守屋敏明	補強盛土の崩壊事例から学ぶ	平成16年度突発災害調査報告書, pp. 104-154, 2005
地盤工学会	3章3.2河川被害事例	平成16年台風23号による関西圏地盤災害調査報告書, pp. 55-62, 2005.
藤田一郎, 川谷健, 椿涼太, 富尾恒一, *武藤裕則, *竹原幸生, *高野保英, *神田佳一	神戸大学都市安全研究センター研究報告	Vol. 8, 219-226 (2004)
Nakayama, A., Hori, K. and Street, R.L.*	Filtering and LES of flow over irregular rough boundary	Proc. Summer 2004 Program, Center for Turbulence Research, NASA/Stanford University, 145-156 (2004)
川谷充郎	橋梁交通振動のアクティブ制御に関する実験的・解析的研究	平成14年度～平成16年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))研究成果報告書, 平成17年3月

学術講演(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
足立裕司	産業遺産のある風景—地域の歴史的環境を残していくために	ひょうご都市景観会議(2004)
足立裕司	阪神大震災と文化遺産—未来に活かしていくために	ICOMOS日本講演会(2004)
足立裕司	歴史的環境を活かした町づくり—歴史遺産を未来に活かすために	アメニティ2000協会講演会(2004)
足立裕司, 村上裕道*	産業遺産の保存と活用—地域の再生のために(コーディネーター)	「鉱石の道」東京シンポジウム「地域から産業遺産を考える」(2004)
足立裕司	文化遺産保護—領域を越えた連携とその課題(コーディネーター)	日本建築学会文化遺産災害対策小委員会シンポジウム(2005)
足立裕司	旧赤穂塩務局庁舎と大蔵省臨時建築部について	日本建築学会大会学術講演(2004)
黒田龍二	高家寺本堂とその修理工事について	兵庫県明石市文化博物館企画展「発掘された明石の歴史展 太寺廃寺と高家寺」講演(2004)
黒田龍二	篠山の町並みの建築史的意義	文化庁/篠山市主催 伝統的建造物群保護行政研修会(2004)
黒田龍二	寺院建築について	兵庫県加古川市市民生涯学習大学(2004)
中江研	Alexander Kleinの評価に見るHugo Haeringの『成長する家』設計競技案	日本建築学会大会学術講演(2004)
岩田章吾, 足立裕司	ミースファン・デル・ローエのモンタージュに関する研究	日本建築学会大会学術講演(2004)
山本一貴, 足立裕司, 中江研	『Neues Wohnen — Neues Bauen』における図版展開について Adolf Behneの建築理論に関する研究(5)	日本建築学会大会学術講演(2004)
金刺礼子, 足立裕司, 中江研	ヨーロッパにおける日本の建築文化の理解と受容に関する研究 VI Fletcher著『A history of architecture on the comparative method(第6版)』に記述される日本建築の特質について	日本建築学会大会学術講演(2004)
張榮晋, 足立裕司, 中江研	朝鮮時代の建築規制から見た楼亭建築 韓国楼亭建築の保存と活用に関する研究4	日本建築学会大会学術講演(2004)
高田絵美, 中江研, 足立裕司	明治初期の生野鉱山における官舎に関する研究	日本建築学会大会学術講演(2004)
中江研	Hugo Haeringの収納家具を構造支持体とする2つの住宅案について	日本建築学会近畿支部研究発表会(2004)
山本一貴, 足立裕司, 中江研	『Neues Wohnen—Neues Bauen』における図版「事例と反例」について—Adolf Behneの建築理論に関する研究(4)—	日本建築学会近畿支部研究発表会(2004)
金刺礼子, 足立裕司, 中江研	ヨーロッパにおける日本の建築文化の理解と受容に関する研究V—” Sir Banister Fletcher's 『A history of architecture on the comparative method』 ” 全20版を通して—	日本建築学会近畿支部研究発表会(2004)
三井理恵, 足立裕司, 中江研	民家論の系譜に関する研究 —白樺派の活動を中心として—	日本建築学会近畿支部研究発表会(2004)
原田貴嗣, 足立裕司, 中江研	Peter Eisenmanの形態生成プロセスに関する考察	日本建築学会近畿支部研究発表会(2004)
中江研	「鉱石の道」産業遺産ミニツアー	兵庫県生野町銀谷まつり(2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
中江研	地域の現状と活用への動きー生野・神子畑・明延の産業遺産	シンポジウム「鉱石の道ー明延・神子畑・生野ー」ー地域から産業遺産について考えるー(2004)
中江研	「鉱石の道」産業遺産の現状	「鉱石の道」地域活性化報告会ー輝いた鉱山(やま)の記憶を未来にー(2005)
安田丑作	記憶の継承の意味 神戸栄光協会の再建をめぐって	神戸新聞, 2004年12月30日, (2004)
萩山恭朋*, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 栗山尚子	設計競技応募案にみる公園, 広場の設計手法とその評価に関する研究 - 「ヨコハマポートサイド地区水際公園」と「日本におけるイタリア2001年記念広場」の分析を通して -	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004), 計画系, 449-452 (2004)
渋谷俊典*, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 栗山尚子, 木村政文	山麓密集住宅市街地におけるアクセシビリティの評価に関する研究 - 神戸市長田区上池田地区における現地調査を通して -	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004), 計画系, 613-616 (2004)
木村政文, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 栗山尚子, 渋谷俊典*	山麓密集住宅市街地における住宅更新モデルによる住環境改善に関する研究 - 神戸市長田区上池田地区におけるシミュレーションを通して -	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004), 計画系, 609-612 (2004)
村上玲子*, 安田丑作, 木山正典	大都市近郊の初期公団住宅団地及び団地周辺の住環境形成に関する考察 (その1) - 生活利便施設及び団地内施設の利用実態を通して -	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004), 計画系, 617-620 (2004)
木山正典, 安田丑作, 村上玲子*	大都市近郊の初期公団住宅団地及び団地周辺の住環境形成に関する考察 (その2) - 周辺との交流, 景観的調和, 居住環境評価を通して -	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004), 計画系, 621-624 (2004)
榊原洋平*, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 木村政文, 栗山尚子	山麓密集住宅市街地における共用的利用に着目した領域構成に関する研究 - 神戸市長田区上池田地区における事例調査を通して -	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004), 計画系, 717-720 (2004)
西尾昌之*, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 栗山尚子	居住者ニーズからみた住宅ストック形成の課題に関する研究 - 神戸市住宅相談カルテの分析を通して -	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004), 計画系, 909-912 (2004)
下向実子*, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 栗山尚子	緑化建築物の空間構成と緑化手法に関する研究 - わが国の1970年代以降の現代建築作品の事例分析を通して -	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004), 計画系, 1153-1156 (2004)
延東 治*, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 栗山尚子	石井修の独立住宅作品の空間構成とその手法に関する研究 - 阪神間独立住宅地における街並み形成への展開の可能性に着目して -	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004), 計画系, 1149-1152 (2004)
萩山恭朋*, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 栗山尚子	設計競技応募案にみる公園, 広場の設計手法とその評価に関する研究 - 「ヨコハマポートサイド地区水際公園」と「日本におけるイタリア2001年記念広場」の分析を通して -	日本建築学会大会学術講演会 (2004), E-1分冊, 565-566 (2004)
榊原洋平*, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 木村政文, 栗山尚子	山麓密集住宅市街地における共用的利用に着目した領域構成に関する研究 - 神戸市長田区上池田地区における事例調査を通して -	日本建築学会大会学術講演会 (2004), F-1分冊, 427-428 (2004)
渋谷俊典*, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 木村政文, 栗山尚子	山麓密集住宅市街地におけるアクセシビリティの評価に関する研究 - 神戸市長田区上池田地区における現地調査を通して -	日本建築学会大会学術講演会 (2004), F-1分冊, 429-430 (2004)
木村政文, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 栗山尚子, 渋谷俊典*	山麓密集住宅市街地における住宅更新モデルによる住環境改善に関する研究 - 神戸市長田区上池田地区におけるシミュレーションを通して -	日本建築学会大会学術講演会 (2004), F-1分冊, 431-432 (2004)
延東 治*, 安田丑作, 三輪康一, 末包伸吾, 栗山尚子	石井修の独立住宅作品の空間構成とその手法に関する研究 - 阪神間独立住宅地における街並み形成への展開の可能性に着目して -	日本建築学会大会学術講演会 (2004), F-2分冊, 663-664 (2004)

建設学科

著者名（*は学外研究者）	学術講演題目	講演会名（年）
村上玲子*, 安田丑作, 木山正典	大都市近郊の初期公団住宅団地及び団地周辺の住環境形成に関する考察 その1 - 生活利便施設及び団地内施設の利用実態を通して -	日本建築学会大会学術講演会 (2004), F-1分冊, 579-580 (2004)
木山正典, 安田丑作, 村上玲子*	大都市近郊の初期公団住宅団地及び団地周辺の住環境形成に関する考察 その2 - 景観的調和及び居住環境に関する評価を通して -	日本建築学会大会学術講演会 (2004), F-1分冊, 581-582 (2004)
栗山尚子	大学とまちづくり-神戸の場合-	いきいき下町協議会PD” まちづくりの新しい担い手” (2004)
三輪康一	神戸のまちなみ景観	こうべまちづくり学校 (2004)
三輪康一	魚崎郷の景観まちづくりに学ぶ	魚崎郷まちなみ委員会記念講演 (2004)
三輪康一, 荏原明則*, 森崎輝行*, 山本俊貞*	景観法とまちづくり (パネルディスカッション)	空間像研究会第3回オープンセミナー (2004)
三輪康一	景観法とまちづくり	伊丹景観アドバイザー養成カレッジ (2004)
三輪康一, 高田光雄*, 藤本真理*他	みんなで考えよう! 宝塚のすまい・まちづくり	宝塚住宅フォーラムパネルディスカッション (2004)
三輪康一	兵庫のまちづくり活動史	兵庫ヘリテージマネージャー養成講座 (2004)
三輪康一, 安田丑作, 小浦久子*他	討論: 神戸のすまい・まちは安全・安心へと向かっているか	まちづくり法制研究会 (2005)
三輪康一, 森栗茂一*他	新しいまちづくりの担い手たち	兵庫県建築関係団体震災10周年事業分科会 (2005)
三輪康一, 加藤晃規*他	進歩! 協働と参画のまちづくり	進歩! 協働と参画のまちづくり大講演会 (2005)
安田丑作	直言 進まぬ密集市街地再開発—街区単位・住民発意で促進	日経産業新聞, 2004年4月13日 (2004)
清水崇史, 塩崎賢明	住宅営団名古屋支所による住宅地の建設実態に関する研究	日本建築学会大会近畿 (2004)
小川知弘, 塩崎賢明	京阪神地域における遠郊外住宅地の動向に関する研究	日本建築学会大会近畿 (2004)
福原由美, 塩崎賢明, 鈴木浩*	地方都市の街なか居住に関する研究 包括的な居住環境整備の必要性	日本建築学会大会近畿 (2004)
塩崎賢明, 寺村省吾, 堀田祐三子	東南海・南海地震による被害の軽減に関する研究 津波からの避難と住宅の耐震化に着目して (その1)	日本建築学会大会近畿 (2004)
寺村省吾, 塩崎賢明, 堀田祐三子	東南海・南海地震による被害の軽減に関する研究 津波からの避難と住宅の耐震化に着目して (その2)	日本建築学会大会近畿 (2004)
清水崇史, 塩崎賢明	住宅営団名古屋支所による住宅地の建設実体に関する研究	日本建築学会近畿支部研究発表会 (平成16年度)
塩崎賢明, 堀田祐三子, 寺村省吾, 北尾真哉	津波被害が想定される地域における住宅耐震化の促進に関する研究 —高知市種崎地区・浦戸地区を対象として—	日本建築学会近畿支部研究発表会 (平成16年度)
寺村省吾, 北尾真哉, 塩崎賢明	東南海・南海地震による被害の軽減に関する研究 —津波からの避難と住宅の耐震化に着目して—	日本建築学会近畿支部研究発表会 (平成16年度)
松尾紘子, 塩崎賢明	震災復興土地区画整理事業と住宅地区改良事業の合併施行地区におけるコミュニティの変化に関する研究 —尼崎市築地地区を事例として—	日本建築学会近畿支部研究発表会 (平成16年度)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
堀田祐三子	住宅政策の復権とハウジング・アソシエーションの動向	日本建築学会大会近畿 (2004)
高坂公也, 河村廣, 谷明勲, 瀧澤重志*	リユース可能なブロック建築構法に関する研究	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号構造系, pp. 33-36, 2004. 6
山邊友一郎, 河村廣, 谷明勲	GAによる耐震補強計画の多重最適化システムの有効性に関する考察—全数探索との比較—	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号構造系, pp. 37-40, 2004. 6
中尾浩紀, 谷明勲, 河村廣, 山邊友一郎	ピン接合された建築構造物の最適設計	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号構造系, pp. 93-96, 2004. 6
森本和明, 河村廣, 谷明勲, 山邊友一郎	RFIDを用いた有害物質を含む住宅建材の確認システム	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号構造系, pp. 97-100, 2004. 6
長谷川英樹, 河村廣, 谷明勲, 山邊友一郎	リカレント型構造物の耐震設計に関する研究	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号構造系, pp. 165-168, 2004. 6
竹下勝弘, 谷明勲, 河村廣	多層振り子構造を有する建築構造物の地震応答性状—3層供試体を用いた振動台実験—	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号構造系, pp. 181-184, 2004. 6
神末直和, 谷明勲, 河村廣	偏心を有する構造物のアクティブ制御に関する研究—1層建物における1軸偏心の場合—	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号構造系, pp. 217-220, 2004. 6
矢野健太郎, 谷明勲, 河村廣	2層構造物の知的ファジィ最適アクティブ制御に関する実験的研究—振動モードに適応する実験システムの構築—	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号構造系, pp. 221-224, 2004. 6
網元正憲, 谷明勲, 河村廣, 山邊友一郎	弾塑性復元力特性を有する建築構造物の知的ファジィ最適アクティブ制御システム—地震動入力レベル, 2次剛性比, 降伏震度に関する検討—	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号構造系, pp. 225-228, 2004. 6
高木浩輔, 谷明勲, 河村廣, 山邊友一郎	建築構造物の知的ファジィ最適アクティブハイブリッド制御システム	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号構造系, pp. 229-232, 2004. 6
伊藤慎也, 谷明勲, 河村廣, 山邊友一郎	リスク軽減を目的とした知的ファジィアクティブ最適制御デバイスの最適配置	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号構造系, pp. 233-236, 2004. 6
佐藤浩之, 河村廣, 谷明勲, 瀧澤重志*	インタラクティブ都市空間構成システム	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号計画系, pp. 597-600, 2004. 6
田川和正, 河村廣, 谷明勲, 瀧澤重志*	対話型進化計算法を用いた建築物内装デザインの合意形成に関する研究	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号計画系, pp. 301-304, 2004. 6
梶原優樹, 竹野美和, 河村廣, 山邊友一郎, 谷明勲	建築・都市景観のフラクタル次元解析	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号計画系, pp. 305-308, 2004. 6
島田陽子, 河村廣, 谷明勲, 瀧澤重志*	障害物識別センサを有するニューラルネットワーク学習型人間歩行モデル—エージェントの速度変化を考慮した場合—	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号計画系, pp. 309-312, 2004. 6
杜宇, 河村廣, 谷明勲, 山邊友一郎	GAを用いたリカレント建築リフォームにおける情報管理支援システム	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号計画系, pp. 313-316, 2004. 6
齋藤暁, 河村廣, 谷明勲, 山邊友一郎	人工生命理論を用いた建築空間の最適化	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号計画系, pp. 317-320, 2004. 6
河野正浩, 河村廣, 山邊友一郎, 谷明勲	人工生命的手法を用いた建築形態形成と共生進化システムの構築	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号計画系, pp. 321-324, 2004. 6
河村廣	時系列量を出力する動的建築・都市における多重フィードバック制御システムに関する考案—ユビキタスなフィードバックエージェントを目指して—	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号計画系, pp. 541-544, 2004. 6
谷明勲, 割出祐子, 河村廣, 瀧澤重志*	セルオートマトンとマルチエージェントモデルを用いた震災救助時空間システム	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号計画系, pp. 561-564, 2004. 6

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
保手浜拓也, 安藤四一*, 河村廣, 谷明勲	GAを用いたオペラハウス音響指標最適化—反射板の導入による空間音響指標改善の検討—	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号環境系, pp. 41-44, 2004. 6
矢守啓二, 河村廣, 谷明勲, 瀧澤重志*	GAを用いた太陽光発電モジュールの最適配置システム	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号環境系, pp. 61-64, 2004. 6
Yuichiro Yamabe, Hiroshi Kawamura and Akinori Tani	AN IDEA OF EMERGENT AND MULTIPLE-EVOLUTIONARY DESIGN SYSTEM OF ARCHITECTURES, CITIES AND SOCIETIES BY MULTIPLE GAs	DESIGN COMPUTING + COGNITION '04 POSTER ABSTRACTS, pp. 69-70, 2004. 7
森本和明, 河村廣, 谷明勲, 山邊友一郎	リカレント建築システムにおけるRFID・Webデータベースを利用したリユース部材管理システム	日本建築学会大会学術講演梗概集, A-2, pp. 551-552, 2004. 8
保手浜拓也, 安藤四一*, 河村廣, 谷明勲	GA を用いたオペラハウス音響指標最適化—天井反射板の最適音響設計—	日本建築学会大会学術講演梗概集, A-2, pp. 557-558, 2004. 8
河村廣	ユビキタスなフィードバックエージェントのアルゴリズム—動的建築・都市の多重フィードバックシステム—	日本建築学会大会学術講演梗概集, A-2, pp. 567-568, 2004. 8
矢野健太郎, 谷明勲, 河村廣	2層構造物の知的アクティブ最適アクティブ制御に関する実験的研究—振動モードに適応する実験システムの構築—	日本建築学会大会学術講演梗概集, A-2, pp. 575-576, 2004. 8
神末直和, 谷明勲, 河村廣	偏心を有する構造物の知的アクティブ制御に関する研究—1層建物における1軸偏心の場合—	日本建築学会大会学術講演梗概集, A-2, pp. 577-578, 2004. 8
中尾浩紀, 谷明勲, 河村廣, 山邊友一郎	ピン接合された建築構造物の部材最適配置システム	日本建築学会大会学術講演梗概集, A-2, pp. 579-580, 2004. 8
伊藤慎也, 谷明勲, 河村廣, 山邊友一郎	知的ファジィアクティブ最適制御デバイスの複数配置	日本建築学会大会学術講演梗概集, A-2, pp. 581-582, 2004. 8
山邊友一郎, 河村廣, 谷明勲	GA による耐震補強計画の多重最適化システムに関する考察 (一重最適化との比較)	日本建築学会大会学術講演梗概集, A-2, pp. 583-584, 2004. 8
杜宇, 河村廣, 谷明勲, 山邊友一郎	GA を用いたリカレント建築リフォームにおける情報支援システムの構築	日本建築学会大会学術講演梗概集, A-2, pp. 585-586, 2004. 8
矢守啓二, 河村廣, 谷明勲, 瀧澤重志*	GA を用いた太陽光発電モジュールの最適配置システム	日本建築学会大会学術講演梗概集, A-2, pp. 587-588, 2004. 8
河野正浩, 河村廣, 山邊友一郎, 谷明勲	人工生命的手法を用いた建築形態形成と共生進化システムの構築	日本建築学会大会学術講演梗概集, A-2, pp. 589-590, 2004. 8
齋藤暁, 河村廣, 谷明勲, 山邊友一郎	人工生命理論を用いた建築空間の最適化	日本建築学会大会学術講演梗概集, A-2, pp. 591-592, 2004. 8
島田陽子, 河村廣, 谷明勲, 瀧澤重志*	障害物識別センサを有するニューラルネットワーク学習型人間歩行モデル—エージェントの速度変化を考慮した場合—	日本建築学会大会学術講演梗概集, A-2, pp. 593-594, 2004. 8
梶原優樹, 竹野美和, 河村廣, 谷明勲, 山邊友一郎	建築・都市景観のフラクタル次元解析	日本建築学会大会学術講演梗概集, A-2, pp. 605-606, 2004. 8
山邊友一郎, 河村廣, 谷明勲	多重最適化による建築・都市・社会モデルの共創進化システム—枠組みの提案と実行例の検証—	第27回情報・システム・利用・技術 シンポジウム論文集(報告), pp. 209-212, 2004. 12
河村廣, 太田裕*	ユビキタス強震観測ネットワーク構想	第27回情報・システム・利用・技術 シンポジウム論文集(報告), pp. 217-220, 2004. 12
森本和明, 河村廣, 谷明勲, 山邊友一郎	無線ICタグとデータベースシステムを用いた建築安心システム—住宅建材・構造部材を対象とした確認システム—	第27回情報・システム・利用・技術 シンポジウム論文集(報告), pp. 221-224, 2004. 12

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
王翊, 河村廣, 谷明勲, 山邊友一郎	3次元建築形態の容量次元的手法による解析	第27回情報・システム・利用・技術 シンポジウム論文集(報告), pp. 229-232, 2004. 12
梶原優樹, 河村廣, 谷明勲, 山邊友一郎	建築・都市景観のフラクタル次元解析—景観分割手法による 解析—	第27回情報・システム・利用・技術 シンポジウム論文集(報告), pp. 233-236, 2004. 12
齋藤曉, 河村廣, 谷明勲, 山邊友一郎	人工生命理論を用いた建築空間創生—集合住宅における多重 最適化システムの構築—	第27回情報・システム・利用・技術 シンポジウム論文集(報告), pp. 237-240, 2004. 12
河野正浩, 河村廣, 山邊友一郎, 谷明勲	人工生命的手法を用いた群建築形態形成の共進化システム— GAによる単体形態評価と全体形態評価の多重最適化—	第27回情報・システム・利用・技術 シンポジウム論文集(報告), pp. 241-244, 2004. 12
中尾浩紀, 谷明勲, 河村廣, 山邊友一郎	ピン接合された建築構造物の部材最適配置システム—多層・ 多スパン構造—	第27回情報・システム・利用・技術 シンポジウム論文集(報告), pp. 277-280, 2004. 12
伊藤慎也, 谷明勲, 河村廣, 山邊友一郎	地震力を受ける建築構造物の多重フィードバック制御システ ム	第27回情報・システム・利用・技術 シンポジウム論文集(報告), pp. 297-300, 2004. 12
矢野健太郎, 谷明勲, 河村廣	建築構造物の知的アクティブ制御に関する実験的研究—2層 頂部にアクチュエータを設置した2層供試体の場合—	第27回情報・システム・利用・技術 シンポジウム論文集(報告), pp. 301-304, 2004. 12
鈴木孝彦, 下川弘海, 森田耕次, 田淵基嗣, 岡本晴仁, 島貫広志, 石井匠, 藤澤一善, 宋勇勲	エレクトロスラグ溶接部の破壊性状に関する研究 その1 素材特性試験	日本建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
下川弘海, 鈴木孝彦, 森田耕次, 田淵基嗣, 岡本晴仁, 島貫広志, 石井匠, 藤澤一善, 宋勇勲	エレクトロスラグ溶接部の破壊性状に関する研究 その2 部分モデル試験	日本建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
宋勇勲, 鈴木孝彦, 下川弘海, 森田耕次, 田淵基嗣, 岡本晴仁, 島貫広志, 石井匠, 藤澤一善	エレクトロスラグ溶接部の破壊性状に関する研究 その3 FEM解析による検討	日本建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
藤本俊宏, 田淵基嗣, 田中剛, 井口智晴	断面形状の異なる柱に鋼製エンドタブを用いて溶接接合され た梁の塑性変形能力 その1. 実験概要	日本建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
井口智晴, 田淵基嗣, 田中剛, 藤本俊宏	断面形状の異なる柱に鋼製エンドタブを用いて溶接接合され た梁の塑性変形能力 その2. 破壊状況	日本建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
太田悠紀, 田淵基嗣, 田中剛, 難波尚	スプリットティー形式引張接合部の有限要素解析	日本建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
江見卓郎, 田淵基嗣, 田中剛, 難波尚, 長谷洋司, 三輪剛	現場混用接合形式による角形鋼管柱梁接合部の力学的性状に 関する研究 その4. 1列配置時の挙動	日本建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
三輪剛, 田淵基嗣, 田中剛, 難波尚, 江見卓郎, 長谷洋司	現場混用接合形式による角形鋼管柱梁接合部の力学的性状に 関する研究 その5. 2列配置時の挙動	日本建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
難波尚, 田淵基嗣, 田中剛	弱軸H形断面柱梁接合部パネルの全塑性耐力の評価 その1. 有限要素解析	日本建築学会大会学術講演梗概集 (2004)

建設学科

著者名（*は学外研究者）	学術講演題目	講演会名（年）
山本義徳, 田淵基嗣, 田中剛, 難波尚, 森田隆司	2方向載荷を受ける増厚形式角形鋼管柱梁接合部の弾塑性挙動 その1. 実験概要	日本建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
森田隆司, 田淵基嗣, 田中剛, 難波尚, 山本義徳	2方向載荷を受ける増厚形式角形鋼管柱梁接合部の弾塑性挙動 その2. 実験結果	日本建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
米田直樹, 田淵基嗣, 田中剛, 難波尚, 日浦博和, 森田隆司	2方向加力を受ける鋼管柱梁接合部パネルの弾塑性挙動に関する研究 その5 軸力比の影響	日本建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
日浦博和, 田淵基嗣, 田中剛, 難波尚, 米田直樹, 森田隆司	2方向加力を受ける鋼管柱梁接合部パネルの弾塑性挙動に関する研究 その6 有限要素解析	日本建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
田中剛, 田淵基嗣, 益居綾	引張軸力とせん断力を受けるあと施工アンカーの弾塑性挙動 その1. 要素実験	日本建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
重村力	森の国の学校づくり＝緒方中学校のデザイン-学校生活と地域環境を重視して-	文教施設協会「木材を活用した学校施設に関する講習会」, 大分市 (2004)
重村力	サステナブルな地域社会と建築デザインの課題	日本建築学会四国支部講演会, 高知県土佐山田町 (2004)
重村力	紙芝居吉阪隆正 ことばとかたち1950〜	2004吉阪隆正展「頭と手」シンポジウム「21世紀の吉阪隆正」, 東京都港区 (2004)
重村力	建築デザインと共生の哲学	神戸大学COE神戸フィールドスタジオ 安全と共生の都市空間セミナー (2004)
重村力	日本建築学会 阪神淡路大震災10周年行事 どう活かす地震の教訓 -地震防災総合研究の10年に学ぶ-での報告	日本建築学会 阪神淡路大震災10周年行事 どう活かす地震の教訓 -地震防災総合研究の10年に学ぶ- (2005)
重村力	主題解説	2004年度日本建築学会大会(北海道) 総合研究協議会「都市建築の発展と制御」 (2004)
小畦雅史*, 稲地秀介, 浅井保, 重村力	教科教室型中学校における生徒の行動展開からみた拠点的空間に関する研究 その1 倉敷市立玉島北中学校を事例として	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
稲地秀介, 小畦雅史*, 浅井保, 重村力	教科教室型中学校における生徒の行動展開からみた拠点的空間に関する研究 その2 聖籠町立聖籠中学校を事例として	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
藤井正嗣, 上田昌弘*, 重村力, 山崎寿一	大阪市における小学校の転用に関する研究-1	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
上田昌弘*, 重村力, 山崎寿一, 藤井正嗣	大阪市における小学校の転用に関する研究-2	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
伊藤昭裕*, 稲地秀介, 浅井保, 重村力, 寒野誠規	記憶される学校の空間要素とその特性 尼崎市立開明小学校を事例として その1	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
寒野誠規, 伊藤昭裕*, 稲地秀介, 浅井保, 重村力	記憶される学校の空間要素とその特性 その2 尼崎市立開明小学校を事例として	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
山口秀文, 重村力	水との関わりからみた前庭の空間構成に関する考察 大徳寺・妙心寺の塔頭の前庭を事例として	日本建築学会大会学術講演会 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
栗野瞳, 兼ふみ代*, 重村力, 山崎寿一, 浅井保	参加型住宅群における環境の成熟に関する研究 川西市コンヴィレッジ移瀬を対象にして その1	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
兼ふみ代*, 栗野瞳, 重村力, 山崎寿一, 浅井保	参加型住宅群における環境の成熟に関する研究 川西市コンヴィレッジ移瀬を対象にして その2	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
濱田徹, 小笠原友里*, 重村力, 山崎寿一, 浅井保	都心居住者の生活領域の特性と住居の意味 -その1- 大阪・船場地区を中心として	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
小笠原友里*, 濱田徹, 重村力, 山崎寿一, 浅井保	都心居住者の生活領域の特性と住居の意味 -その2- 大阪・船場地区を中心として	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
タードサク・テーシャギットカチョン, 重村力	アンパワー地域における果樹園システムと水路網の形成過程 マグロング下部デルタ地帯における持続的農村社会の形成過程その三	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
安藤絵里子, 三笠友洋, 重村力, 山崎寿一, 浅井保, 山口秀文	計画的住宅地の環境単位とその長期的変容 池田市室町を対象に その1	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
三笠友洋, 安藤絵里子, 重村力, 山崎寿一, 浅井保, 山口秀文	計画的住宅地の環境単位とその長期的変容 池田市室町を対象に その2	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
阪野直子*, 重村力, 山崎寿一, 横山こころ	まちづくりにおける近代の環境資産の活用に関する研究 旧川口居留地及び九条地区を対象として その1	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
横山こころ, 重村力, 山崎寿一, 阪野直子*	まちづくりにおける近代の環境資産の活用に関する研究 旧川口居留地及び九条地区を対象として その2	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
兼ふみ代*, 重村力, 山崎寿一, 浅井保	参加型住宅群における環境の成熟に関する研究-川西市コンヴィレッジ移瀬を対象にして-	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004)
小笠原友里*, 濱田徹, 重村力, 山崎寿一, 浅井保	都心居住者の生活領域の特性と住居の意味 -大阪・船場地区を中心として-	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004)
伊藤昭裕*, 重村力, 浅井保, 稲地秀介	記憶される学校の空間要素とその特性 -尼崎市立開明小学校を事例として-	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004)
小畦雅史*, 重村力, 山崎寿一, 浅井保, 稲地秀介, 寒野誠規	教科教室型中学校における生徒の行動展開からみた拠点的空間に関する研究その1 倉敷市立玉島北中学校におけるケーススタディ	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004)
稲地秀介, 重村力, 山崎寿一, 浅井保, 小畦雅史*, 寒野誠規	教科教室型中学校における生徒の行動展開からみた拠点的空間に関する研究その2 聖籠町立聖籠中学校におけるケーススタディ	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004)
寒野誠規, 重村力, 浅井保, 稲地秀介, 小畦雅史*	倉敷市立玉島北中学校の多目的スペースに関する考察-教科教室型中学校における休み時間中の生徒の滞留行為の分析を通じて-	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004)
上田昌弘*, 重村力, 山崎寿一	大阪市における小学校の転用に関する研究	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004)
文瑛岩, 重村力, 山崎寿一	町並み保存運動とまちづくり課題の変遷に関する研究	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004)
三笠友洋, 重村力, 山崎寿一, 浅井保, 山口秀文	計画的住宅地の環境単位とその長期的変容 -大阪府池田市室町地区を対象に-	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
阪野直子*, 重村力, 山崎寿一	まちづくりにおける近代の環境資産の活用に関する研究 — 旧川口居留地及び九条地区を対象として—	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004)
山崎寿一	ある集落の研究 —四国山村・中久保集落のフィールド調査 ノート	日本建築学会農村計画委員会2004年 度春季学術研究会「美しい集落—私 のフィールドノートから—」(2004)
中島 幸祐, 阪上 公博, 森本 政之	2重微小穿孔板と背後壁からなる吸音構造の吸音特性に関す る研究—背後構造の影響—	日本建築学会近畿支部研究発表会 (2004)
和田 恵, 森本 政之, 佐藤 逸人, 太田 涼	聴き取りにくさによる最適S/Nの検討—若年者と高齢者の混 在を考慮した場合—	日本建築学会近畿支部研究発表会 (2004)
仙波 祐一, 森本 政之, 佐藤 逸人, 高岡 知康	暗騒音の空間特性が音声伝達性能に及ぼす影響	日本建築学会近畿支部研究発表会 (2004)
阪上 公博, 小池 若菜, 森本 政之	2重Microperforated panelの吸音特性に関する基礎的考察	日本音響学会建築音響研究会(2004)
佐藤 隆, 佐藤 逸人, 佐藤 洋*, 森本 政之	駅における音環境に関する調査研究その2 駅構内変動騒音 下における聴感実験	日本建築学会大会学術講演会(2004)
白石 枇芳*, 田中 正一, 宇都宮 慶, 森本 政之	建物群背後における騒音予測のための建物立地状況指標につ いて(その2)	日本騒音制御工学会秋季研究発表会 (2004)
田中 正一, 白石 枇芳*, 宇都宮 慶, 森本 政之	高架道路沿道建物群背後における騒音予測のための建物立地 状況指標	日本騒音制御工学会秋季研究発表会 (2004)
谷川 将規, 阪上 公博, 森本 政之	任意形状の周期構造物周辺の音場解析に関する基礎的考察 —周期境界条件を満たすGreen関数を用いた境界積分方程式 法—	日本音響学会 秋季研究発表会 (2004)
伊藤 元邦*, 飯田 一博*, 西久保 進一, 森本 政之	方向決定帯域と頭部伝達関数との関係について —I. 方向 決定帯域の個人差—	日本音響学会 秋季研究発表会 (2004)
飯田 一博*, 伊藤 元邦*, 西久保 進一, 森本 政之	方向決定帯域と頭部伝達関数との関係について —II. マス キングを考慮した卓越周波数帯域と方向決定帯域との関係—	日本音響学会 秋季研究発表会 (2004)
太田 涼, 佐藤 逸人, 森本 政之, 佐藤 洋*	騒音付加音場における拡声音の最適レベルについて	日本音響学会 秋季研究発表会 (2004)
宇都宮 慶, 田中 正一, 白石 枇芳*, 森本 政之	建物群背後における騒音予測のための建物立地状況指標につ いて	日本音響学会騒音・振動研究会 (2004)
森本 政之, 浅岡 亜以子	残響感の多次元分析	日本音響学会 建築音響研究会 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
谷川 将規, 阪上 公博, 森本 政之	任意形状の周期構造物周辺の音場解析に関する基礎的考察その2 -有限個構造物周辺の音場解析への適用-	日本音響学会 春季研究発表会 (2005)
森本 政之	招待講演: 音声情報伝達性能の主観評価指標としての聴き取りにくさ	日本音響学会 春季研究発表会 (2005)
高岡 知康, 森本 政之, 佐藤 逸人, 仙波 祐一	音声と暗騒音の空間特性が音声聴取に及ぼす影響	日本音響学会 春季研究発表会 (2005)
田中 正一, 宇都宮 慶, 森本 政之, 白石 彬芳*	建物群背後での騒音レベル予測に用いる建物立地状況指標-各種道路構造への適用性の検討-	日本音響学会 騒音・振動研究会 (2005)
佐藤 逸人, 森本 政之, 佐藤 洋*	建物群背後での騒音レベル予測に用いる建物立地状況指標-各種道路構造への適用性の検討-	シンポジウム「音声伝送性能の評価技術の確立に向けて」-日本建築学会音声伝送品質研究SWG活動成果報告会 (2005)
小椋大輔*, 松下敬幸	建築多孔質材の吸放湿履歴に関する研究-年周期変動の結露性状解析-	建築学会近畿支部研究報告集, 第44号(環境系) (2004)
恩村定幸*, 松本衛*, 銚井修一*, 松下敬幸, 小椋大輔*, 小南和也*, 安井義貴	異なる強度のコンクリートにおける熱・湿気物性に関する研究 その1 平衡含水率の測定	建築学会近畿支部研究報告集, 第44号(環境系) (2004)
安井義貴, 松本衛*, 銚井修一*, 恩村定幸*, 松下敬幸, 小椋大輔*, 小南和也*	異なる強度のコンクリートにおける熱・湿気物性に関する研究 その2 熱伝導率, 湿気伝導率の測定	建築学会近畿支部研究報告集, 第44号(環境系) (2004)
金山友貴, 松下敬幸, 小椋大輔*, 安積弘高*, 中西康夫	床断熱住宅床下の温湿度性状に関する研究-空間分布性状の実測と分析-	建築学会近畿支部研究報告集, 第44号(環境系) (2004)
菊澤浩之, 松下敬幸, 小椋大輔*, 古賀修*	IH調理器及び換気扇が室内熱環境に及ぼす影響に関する研究	建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
恩村定幸*, 松本衛*, 銚井修一*, 松下敬幸, 小椋大輔*, 小南和也*, 安井義貴	強度の異なるコンクリートにおける熱・湿気物性に関する研究 その1 平衡含水率の測定	建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
安井義貴, 松本衛*, 銚井修一*, 恩村定幸*, 松下敬幸, 小椋大輔*, 小南和也*	強度の異なるコンクリートにおける熱・湿気物性に関する研究 その2 熱伝導率, 湿気伝導率の測定	建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
金山友貴, 松下敬幸, 小椋大輔*, 安積弘高*, 中西康夫	床断熱住宅床下の温湿度性状に関する研究-空間分布性状の実測と分析-	建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
小椋大輔*, 松下敬幸	建築多孔質材の吸放湿履歴に関する研究-年周期変動の結露性状解析-	建築学会大会学術講演梗概集 (2004)
中澤和弘*, 山ノ内和久*, 山口弘雅*, 松下敬幸, 高揚*, 山本昭文*	トレーサーガスをを用いた業務用電化厨房専用フードの補修性能評価	建築学会大会学術講演梗概集 (2004)

建設学科

著者名（*は学外研究者）	学術講演題目	講演会名（年）
山口弘雅*, 山本昭文*, 山ノ内和久*, 中澤和弘*, 松下敬幸, 高揚*	業務用厨房の環境改善に関する研究 第3報 IH調理器の隔離距離とその専用フードの捕集性能評価	空気調和衛生工学会学術講演会 (2004)
菊澤浩之, 松下敬幸, 小椋大輔*, 高田暁, 古賀修*	住宅厨房のIH調理機器に適した排気システム及びキッチン形態に関する研究-温度測定による気流性状の把握および数値計算-	空気調和衛生工学会近畿支部学術研究発表会論文集 (2005)
嶋村洋子, 三谷勲, 田中秀宣*, 大谷恭弘, 藤永隆	露出型柱脚の復元力特性が鋼構造骨組の弾塑性性状に与える影響に関する実験的研究	日本建築学会近畿支部研究報告会 (2004)
嶋村洋子, 三谷勲, 田中秀宣*, 伊藤倫夫*	柱脚の復元力特性が鋼構造骨組の弾塑性性状に及ぼす影響に関する実験的研究(その1 実験計画及び水平荷重一層間変形角関係)	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
伊藤倫夫*, 田中秀宣*, 三谷勲, 嶋村洋子	柱脚の復元力特性が鋼構造骨組の弾塑性性状に及ぼす影響に関する実験的研究(その2 鋼構造骨組内の柱脚部の挙動)	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
田中秀宣*, 三谷勲, 嶋村洋子, 伊藤倫夫*	柱脚の復元力特性が鋼構造骨組の弾塑性性状に及ぼす影響に関する実験的研究(その3 鋼構造骨組の挙動)	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
藤永隆, 三谷勲, 大谷恭弘, 長谷川正雄	SRC骨組の耐力と変形性状に関する実験的研究(その5 実験挙動と骨格曲線モデルとの比較)	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
中山哲宏, 大谷恭弘, 三谷勲	引張領域に配置されたずれ止めがコンクリートのひび割れに及ぼす影響	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
萬喜一, 市岡大幸, 大谷恭弘, 三谷勲	引き抜き力を受ける鉄筋の抜け出し量と付着性状に関する実験的研究 その1 内部ひびわれ伝播と付着性状の関係について	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
市岡大幸, 萬喜一, 大谷恭弘, 三谷勲	引き抜き力を受ける鉄筋の抜け出し量と付着性状に関する実験的研究 その2 抜け出し量の定量的評価	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
成原正人, 三谷勲	兵庫県下における既存SRC造建築物の耐震性について	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
小田悟史, 福住忠裕, 三谷勲, 内田直樹	耐震診断における既存鉄筋コンクリート造耐震壁の評価に関する研究(その2)	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
喜多村亘*, 宮川和明*, 與田香二*, 鈴木和彦, 藤永隆, 大谷恭弘, 三谷勲	鋼管ブレースを使用した既存RC造建築物の耐震補強工法に関する実験的研究 その8. 高力ボルト接合された鉄骨枠付きブレース補強の効果	日本建築学会大会学術講演会 (2004)
竹林英樹	環境整備目標の合意形成支援（ワークショップ紹介）	第7回都市気候対策小委員会公開勉強会, pp. 21-23 (2004)
竹林英樹, 森山正和, 木村哲治	顕熱の発生分布が市街地の気温形成に与える影響に関する研究	平成16年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号, 環境系, pp. 133-136 (2004)
前野達弥, 森山正和, 長谷川梨沙	屋上緑化空間の熱環境評価に関する研究	平成16年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号, 環境系, pp. 213-216 (2004)
石井悦子, 森山正和, 芝池英樹*	外断熱改修住宅の多数室熱負荷特性に関する研究	平成16年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号, 環境系, pp. 281-284 (2004)
一谷匡陸, 森山正和, 竹林英樹, 松本卓也	太陽電池パネルのヒートアイランド抑制効果に関する予備的検討	平成16年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号, 環境系, pp. 297-300 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
萩原研二*, 升井幸男*, 奥田孝史*, 鳴海大典*, 竹林英樹, 鍋島美奈子*, 宮本征一*, 吉田篤正*	住宅地内に近接する裸地および芝生地の熱環境評価に関する現地観測調査	平成16年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号, 環境系, pp. 317-320 (2004)
佐野公俊, 森山正和, 竹林英樹	クールルーフに関する研究 (その1) - 高反射性塗料を塗装した屋上表面の放射特性評価に関する研究 -	平成16年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号, 環境系, pp. 397-400 (2004)
野上摂, 森山正和, 竹林英樹, 佐川朋子	クールルーフに関する研究 (その2) - 熱収支残差法による顕熱流の測定 -	平成16年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第44号, 環境系, pp. 401-404 (2004)
竹林英樹, 森山正和, 野上摂, 佐野公俊, 佐川朋子	屋上緑化等の建物外皮技術による屋外熱環境の緩和効果に関する研究	ハウスクリマ研究ノート, 第30号, pp. 35-42 (2004)
高見公大, 森山正和	六甲アイランドセンター地区の地域冷暖房を対象とした広域排熱利用システムに関する研究	日本建築学会大会学術講演梗概集 D-1分冊, pp. 627-628 (2004)
米田峰之, 森山正和	大学食堂における厨芥・廃食用油によるバイオ燃料発生量と省エネルギー効果に関する研究	日本建築学会大会学術講演梗概集 D-1分冊, pp. 639-640 (2004)
竹林英樹, 森山正和, 木村哲治	地域熱供給システムの普及によるヒートアイランド抑制効果に関する研究	日本建築学会大会学術講演梗概集 D-1分冊, pp. 653-654 (2004)
松本卓也, 森山正和, 竹林英樹, 一谷匡陸	太陽電池パネルのヒートアイランド抑制効果に関する研究 その1 実測による考察	日本建築学会大会学術講演梗概集 D-1分冊, pp. 791-792 (2004)
一谷匡陸, 森山正和, 竹林英樹, 松本卓也	太陽電池パネルのヒートアイランド抑制効果に関する研究 その2 数値解析による考察	日本建築学会大会学術講演梗概集 D-1分冊, pp. 793-794 (2004)
野上摂, 森山正和, 竹林英樹, 佐川朋子, 佐野公俊	クールルーフに関する研究 (その1) - 熱収支残差法による顕熱流の測定 -	日本建築学会大会学術講演梗概集 D-1分冊, pp. 795-796 (2004)
佐野公俊, 森山正和, 竹林英樹, 野上摂	クールルーフに関する研究 (その2) - 高反射性塗料を塗装した屋上表面の放射特性評価 -	日本建築学会大会学術講演梗概集 D-1分冊, pp. 797-798 (2004)
多田裕貴, 森教子, 森山正和	高効率給湯機の使用実態に関する研究 - その1 給湯用エネルギー消費量の時刻変動の考察 -	日本建築学会大会学術講演梗概集 D-2分冊, pp. 171-172 (2004)
森教子, 多田裕貴, 森山正和	高効率給湯機の使用実態に関する研究 - その2 給湯機の効率に関する考察 -	日本建築学会大会学術講演梗概集 D-2分冊, pp. 173-174 (2004)
田ノ岡正紀, 森山正和, 竹林英樹	大学研究棟屋上の防災実験可能な太陽光発電システムの稼動状況に関する調査研究	日本建築学会大会学術講演梗概集 D-2分冊, pp. 1539-1540 (2004)
森教子, 多田裕貴, 森山正和	給湯用エネルギー消費量の時刻変動と高効率給湯機の効率に関する考察	空気調和・衛生工学会大会学術講演論文集, pp. 41-44 (2004)
石井悦子, 森山正和, 芝池英樹*	木造断熱改修住宅の多数室熱負荷特性に関する研究	空気調和・衛生工学会大会学術講演論文集, pp. 369-372 (2004)
木村哲治, 森山正和, 竹林英樹	都市キャノピーモデルを組み込んだ数値気候モデルによるヒートアイランド対策効果に関する研究	空気調和・衛生工学会近畿支部学術研究発表会論文集, pp. 133-136 (2005)
野上摂, 森山正和, 竹林英樹, 佐野公俊	屋上緑化及び高反射塗料の熱・水分収支に関する研究	空気調和・衛生工学会近畿支部学術研究発表会論文集, pp. 137-140 (2005)
森山正和	建築学から見たヒートアイランドの対策と技術	2005年度日本地理学会春季学術大会 (2005)

建設学科

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
森山正和	都市環境気候図による都市ヒートアイランド対策	2004年度日本建築学会大会(北海道)地球環境部門研究協議会(2004)
岸本嘉彦*, 銚井修一*, 原田和典*, 高田暁	コンクリート壁体の中性化進行予測モデルについての検討	日本建築学会大会学術講演梗概集(環境工学Ⅱ), pp. 407-408, 2004. 8.
伊藤泰世*, 銚井修一, 原田和典, 高田暁, 永井廉子	浴室において発生する水分の移動過程に関する研究(その3)浴室の乾燥過程における換気量と蒸発速度の関係	日本建築学会大会学術講演梗概集(環境工学Ⅱ), pp. 435-436, 2004. 8.
沢俊和, 銚井修一, 原田和典, 高田暁	非定常状態における温冷感予測式に関する研究 代謝量が大い場合への適用性の検討	日本建築学会大会学術講演梗概集(環境工学Ⅱ), pp. 503-504, 2004. 8.
田中宏明*, 銚井修一*, 高田暁	重ね着した人体各部位における温熱生理量の非定常応答(その1) 着衣における水分蓄積を考慮した着衣間空気温湿度性状の検討	日本建築学会大会学術講演梗概集(環境工学Ⅱ), pp. 505-506, 2004. 8.
高田至郎, *片桐信	共同研究グループ「地震時を含む生活ライフライン系の信頼性向上に関する研究」活動状況	土木学会関西支部発表会(2004)
勤息義弘, 高田至郎	兵庫県南部地震における水道消火栓稼働不可による火災延焼・人的被害への影響	土木学会関西支部発表会(2004)
鎌田泰子, 高田至郎, 本多寿	震後救助要請伝達プロセスの効率化に関する基礎研究	平成16年度土木学会関西支部年次学術講演会(2004)
高田至郎, *榎厚, *上野淳一	配水管として敷設されたポリエチレン管の耐震性 -2003年十勝沖地震のケーススタディ-	第55回全国水道研究発表会(2004)
高田至郎	ライフライン地震工学の現状	イラン通信会社(2004)
鎌田泰子, 高田至郎	イラン・バム地震における建物崩壊と死者・負傷者分析	第23回日本自然災害学会学術講演会(2004)
勤息義弘, 高田至郎	阪神・淡路大震災 ～水道消火栓が使用可能なら何人の焼死者が助かったか～	第23回日本自然災害学会学術講演会(2004)
高田至郎, 篠原聖二, 市原大助	2層構造を有する地中管路の設計手法に関する研究	土木学会第59回年次学術講演会(2004)
勤息義弘, 高田至郎	兵庫県南部地震における水道消火栓稼働不可による火災延焼・人的被害への影響	土木学会第59回年次学術講演会(2004)
鎌田泰子, 高田至郎, 金芸花	SRM手法を用いた病院ライフラインの地震リスク評価法	土木学会第59回年次学術講演会(2004)
鎌田泰子, 高田至郎, Radan Ivanov, 山本聡	橋梁桁上の静止トラックドライバーの体感震度特性	土木学会第59回年次学術講演会(2004)
高田至郎	二層構造管に関する研究展望	管路診断コンサルタント協会(2004)
高田至郎	阪神・淡路大震災の恐怖と今後の防災対策	町田市文化講演会(2004)
Shiro Takada, Yasuko Kuwata, M. B. Javanbarg	地形影響を考慮した新潟県中越地震におけるGIS水道管路被災分析	日本水道協会講演会(2005)
高田至郎, 鎌田泰子	新潟県中越地震における病院水道ライフラインの被害と対応	日本水道協会講演会(2005)
高田至郎	ライフライン地震防災の視点での下水道の地震対策	下水道の地震対策に関するシンポジウム講演(2005)
志村常彰, 芥川真一, 大井健史, 安原幸二, 口池尚子	磁歪法と切断法を用いたトンネル鋼製支保工の応力状態に関する基礎的研究	土木学会関西支部年次学術講演会(2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
Shinichi AKUTAGAWA, Kenji OHI, Tsuneaki SHIMURA, Naoko KUCHIIKE, Jaeho LEE and Kei MATSUOKA*	USE OF MEGNETIC ANISOTROPY SENSOR FOR NONDESTRUCTIVE STRESS MEASUREMENT OF STEEL STRUCTURES FOR SAFETY ASSESSMENT PURPOSES	KU-UW International Symposium #1 on Design Strategy towards Safety & Symbiosis of Urban Space Seattle, USA, June 14-15, pp. 268-279, (2004)
芥川真一	地下構造物の設計・施工管理と新しい計測手法の可能性につ いて	安全と共生の都市空間セミナー, 長 田フィールドスタジオ, 7. 24, (2004)
芥川真一	地下空間の利用に関する最近の話題について	神戸大学工学部公開講座, 51-55, (2004)
飯田廣臣*, 井浦智実*, 芥川真一, 堂場直樹, 小西真治*	ひずみ軟化モデルを適用した沈下予測に関する検討	第59回土木学会年次学術講演会, 3-123, (2004)
横田泰宏, 堂場直樹, 李在浩, 芥川真一	土被りの浅いNATMトンネルの非線形挙動評価と側圧係数の関 係について	第59回土木学会年次学術講演会, 3-348, (2004)
志村常彰, 芥川真一, 大井健史, 安原幸二, 口池尚子	トンネル鋼製支保工の残留応力状態に関する基礎的研究	第59回土木学会年次学術講演会, 3-124, (2004)
芥川真一, 長谷川明子, 李在浩	弾性解析結果を有効に利用した非線形問題における逆解析の 一例	トンネル工学研究論文・報告集, 14 (2004)
北川隆*, 中山範一*, 松長剛*, 芥川真一, 小西真治*	地表面沈下予測に向けたひずみ軟化モデルによる検討	トンネル工学研究論文・報告集, 14 (2004)
大井健史, 志村常彰, 芥川真一, 桜井春輔*, 佐藤淳*, 恩田雅也*	大断面トンネルの鋼アーチ支保工に作用する荷重の非破壊計 測の一例	第34回岩盤力学に関するシンポジウ ム講演論文集, (2005)
李在浩, 堂場直樹, 芥川真一, 北川隆*, 小西真治*, 松長剛*	Numerical simulation of deformational behavior of a shallow NATM tunnel excavated in a sandy ground	第34回岩盤力学に関するシンポジウ ム講演論文集, (2005)
芥川真一	山岳トンネルに関わる解析技術	地盤工学会講習会, 最新のトンネル 技術に関する講習会, (2005)
尾崎健・森川英典・森田 祐介*・古田久人*	RC部材の電気化学的腐食測定における散水处理の影響	平成16年度土木学会関西支部年次学 術講演会 (2004)
小島大祐・森川英典・森 田祐介*	実橋における変状を考慮した塩害劣化RC橋の劣化予測と安全 性評価	平成16年度土木学会関西支部年次学 術講演会 (2004)
梶田宏行・森川英典・鴨 谷知繁*・小林秀恵	鉄筋に局部損傷を有するRCはりの炭素繊維シート補強	平成16年度土木学会関西支部年次学 術講演会 (2004)
岡本早夏・森川英典	塩害劣化RC橋の安全性評価と外ケーブル補強の最適化に関す る検討	土木学会第59回年次学術講演会 (2004)
梶田宏行・森川英典・小 林秀恵	鉄筋に局部損傷を有するRCはりの炭素繊維シート補強	土木学会第59回年次学術講演会 (2004)
小林雅人・森川英典・小 林秀恵	鉄筋の局部腐食を考慮したRC部材のせん断耐荷性能評価	土木学会第59回年次学術講演会 (2004)
森川英典・岡本早夏	塩害劣化RC橋の安全性評価と外ケーブル補強の最適化に関す る検討	セメントコンクリート技術大会関西 発表会 (2004)
南條雅志*, 道奥康治, 石垣泰輔*, 藤井淳, 高橋亮介*	透過性構造物が設置された平面二次元流の二層流モデルによ る解析	平成16年度土木学会関西支部年次学 術講演会 (2004)

建設学科

著者名（*は学外研究者）	学術講演題目	講演会名（年）
道奥康治, 竹原幸生*, 南條雅志*, 高橋亮介*, 江藤剛治*	捨石構造物の乱れと水交換特性に関する計測	平成16年度土木学会関西支部年次学術講演会(2004)
酒谷祐輔, 道奥康治, 佐々木茂太, 西口祐輝, 香川健一*	熱塩循環による有機汚濁現象の解析	平成16年度土木学会関西支部年次学術講演会(2004)
小谷英之, 道奥康治, 佐々木茂太, 西口祐輝, 香川健一*	水温躍層における貧酸素水塊の消長について	平成16年度土木学会関西支部年次学術講演会(2004)
道奥康治, 竹原幸生*, 江藤剛治*, 南條雅志*, 高橋亮介*	捨石堰を越流する開水路流と堰内との水交換特性	第59回土木学会年次学術講演会(2004)
酒谷祐輔, 道奥康治, 西口祐輝, 佐々木茂太	貯水池の熱塩循環におよぼす深層曝気の影響	第59回土木学会年次学術講演会(2004)
小谷英之, 道奥康治, 佐々木茂太, 西口祐輝	水温躍層における溶存酸素動態を支配する要因	第59回土木学会年次学術講演会(2004)
和田有朗, 辻義和, 道奥康治, 石塚正秀*	都市雨水排除系における汚濁負荷流出のモデル化	第59回土木学会年次学術講演会(2004)
藤井淳, 道奥康治, 南條雅志*, 石垣泰輔*, 前野詩朗*	捨石水制が設置された開水路における流れと流体力の二層流解析	第59回土木学会年次学術講演会(2004)
道奥康治	ダム貯水池の体内検診ー水質汚濁の謎解きと対症療法ー	防災研究所フォーラムin京都(2004)
道奥康治	逆転水温層をともなう部分循環貯水池の有機汚濁とマイクロバブルを用いた水質浄化実験	第20回筑波大学リスク工学研究会講演(2004)
道奥康治	台風0423号による兵庫県下の河川災害	緊急ディスカッション, 但馬・丹後・淡路水害と新潟中越地震を考える(2004)
川谷健, 道奥康治, 齊藤雅彦	台風0423号による 兵庫県下の河川災害	平成16年度京都大学防災研究所研究発表会(2005)
道奥康治, 神田佳一*	台風0423号による淡路島の河川災害	土木学会台風23号水害緊急調査団報告会(2005)
宮本仁志, 岡本早夏*	流域住民の意識調査に基づく小規模都市河川の親水性の一評価	土木学会水理委員会環境水理部会研究集会(2004)
宮本仁志, 山中大輔*	開水路凹部流れにおける組織運動と平均流構造の二次元ウェーブレット解析	第32回可視化情報シンポジウム(2004)
宮本仁志, 神田 徹*, 道奥康治, 神吉和夫	表六甲河川の地震被害とその復興 ～都賀川の親水整備を例として～	神戸大学 阪神・淡路大震災十周年事業 理工系プレシンポジウム(2004)
宮本仁志	二次元ウェーブレットによるPIVデータからの流れの組織構造の抽出	PIVセミナー: PIVの海岸工学への適用について(2004)
藤田一郎, 江見崇	水面近傍の流れ特性に関するLESと画像計測による検討	平成16年度関西支部年次学術講演会(2004)
椿涼太, 藤田一郎, *武藤裕則, *竹原幸生, 富尾恒一	宇治川水制へのLSPIV法の適用	平成16年度関西支部年次学術講演会(2004)
藤田一郎, *岡部健士, 椿涼太	レーザープロファイラーを利用した氾濫解析メッシュの生成	土木学会第59回年次学術講演会(2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
富尾 恒一, 藤田 一郎, *武藤 裕則, 椿 涼太, *竹原 幸生	越流・非越流状態の宇治川水制周辺流れの現地計測	土木学会第59回年次学術講演会 (2004)
渡辺 英樹, 藤田 一郎, *武藤 裕則, 椿 涼太, *神田 圭一	河川表面流速計測手法 (STIV法) に関する研究	土木学会第59回年次学術講演会 (2004)
藤田 一郎, 椿 涼太	開水路拡幅部で発生する二次元水面振動の特性抽出	第54回理論応用力学講演会 (2005)
神吉和夫	東京市区改正委員会における古市公威	土木史研究講演集 (2004)
松浦茂樹*, 神吉和夫, 小野田滋*, 原口征人*, 坂本真至*	土木学会初代会長古市公威についてのトークショウ	土木学会第59回年次学術講演会 (2004)
神吉和夫	土木史からみた近代都市神戸のまちづくりと港	第2回技調セミナー (2004)
黒田勝彦	ポスト・パナマックス船の導入とアジアの海運市場	日本港湾協会講演会 (2004)
黒田勝彦	社会基盤整備の現状と問題点	日本PFI協会関西講演会 (2004)
黒田勝彦	瀬戸内沿岸域の総合管理	国土交通省・瀬戸内海沿岸域あり方 調査研究会・講演会 (2004)
黒田勝彦	知識創造型社会と空港の役割	神戸商工会議所・講演会 (2004)
黒田勝彦	港から世界が見える	神戸大学長田フィールド・スタディ オ (COE連続講演会) (2004)
竹林幹雄, 小八重晴子, 原進吾, 黒田勝彦	国際海運における空コンテナ取り扱いのモデル化	第30回土木計画学研究・講演会 (2004)
原進悟, 竹林幹雄, 金井仁志, 黒田勝彦	国際海上コンテナ輸送市場モデルの開発: 定期航路における ループの戦略的再編	第30回土木計画学研究・講演会 (2004)
溝端翔平, 竹林幹雄, 黒沢直紀	複数ハブ空港下におけるリスケジューリング法に関する研究	第30回土木計画学研究・講演会 (2004)
三船善和, 竹林幹雄, 黒田勝彦	関西3空港における需要推計モデルの構築	第30回土木計画学研究・講演会 (2004)
竹林幹雄	Current Topics of International Maritime Transport and Port Management	JICAプログラム, 近畿地方整備局 (2004)
竹林幹雄	世界の航空輸送市場の動向と日本の政策について	建設工学研究所学術講演会 (2004)
中山 昭彦, 江田 智行, 松村友宏:	LESによる開水路段落ち流れの解析	第18回数値流体力学シンポジウム (2004)
中山 昭彦, 江田 智行, 松村友宏	LESによる開水路段落ち流れの解析	第18回数値流体力学シンポジウム (2004)
江田 智行, 中山 昭彦	水面変動を考慮した揚水発電貯水池のLESの試み	土木学会第59回年次学術講演会 (2004)
中山 昭彦, 崎尾 幸司, 江田 智行	境界移動方程式を用いない自由水面流の計算法	土木学会第59回年次学術講演会 (2004)
堀 高太郎, 中山 昭彦	LESによる実橋梁周り流れの解析の試み	土木学会第59回年次学術講演会 (2004)
中山 昭彦, 崎尾幸司, 堀 高太郎	粗面境界上乱流のフィルタ平均とサブフィルタモデル	日本流体力学会年会2004 (2004)
川江 友勝, 中山 昭彦	シグマ座標を用いた地形上乱流の数値シミュレーション	平成15年度土木学会関西支部年次学 術講演会 (2004)

建設学科

著者名（*は学外研究者）	学術講演題目	講演会名（年）
江田 智行, 中山 昭彦	水面変化を考慮した実河川流のLES	平成15年度土木学会関西支部年次学術講演会(2004)
川谷充郎, 金 哲佑, 河田直樹, 坂田智基	道路桁橋交通振動に及ぼす車両初期条件の影響	平成16年度土木学会関西支部年次学術講演会, I-71
*李 昌勲, 神蘭卓海, *小林義和, 金 哲佑, *西村宣男, 川谷充郎	跨座型モノレール鋼軌道桁交通振動の現地実測と三次元解析	平成16年度土木学会関西支部年次学術講演会, I-72
曾布川 竜, 川谷充郎, 何 興文, *関 雅樹, *西山誠治, 笹川 剛	列車走行時の高速鉄道高架橋周辺地盤振動解析	平成16年度土木学会関西支部年次学術講演会, I-73
坂田智基, 金 哲佑, 川谷充郎, 河田直樹	道路桁橋交通振動における車両モデル化の影響	土木学会全国大会第59回年次学術講演会, I-427 (2004)
*李 昌勲, *蒲原武志, *西村宣男, 川谷充郎, 神蘭卓海, 金 哲佑	跨座型モノレール合理化鋼軌道桁上走行車両の乗り心地評価	土木学会全国大会第59回年次学術講演会, I-430 (2004)
川谷充郎, *関 雅樹, *西山誠治, 何 興文, 曾布川 竜, 笹川 剛	高速鉄道高架橋の列車走行による周辺地盤振動評価	土木学会全国大会第59回年次学術講演会, I-431 (2004)

作品(2004年4月1日～2005年3月31日)

設計者名 (*は外部者)	作品名	備考(構造、規模、施工者、施工年等)
安田丑作, 三輪康一, 栗山尚子, 森崎輝行*	太子町の家(IZ邸)	W+RC造, 地上2階, 敷地面積516.10㎡ , 建築面積205.65㎡, 延床面積244.55 ㎡, 施工者:山本工務店, 2005年1月竣 工
重村力, いるか設計集団*	山東町埋蔵文化財センター	RC造1階, 1630m2, 但南建設, 兵庫県 朝来市, 2004～
重村力, いるか設計集団*	南但馬歴史・文化ミュージアム推進計画	兵庫県, 2005

3.2 電気電子工学科

教 授

林 真至, 三好旦六, 小川真人, 和田 修, 沼 昌宏, [塚本昌彦], [田中初一],
増田澄男, 八坂保能, 中井哲男, 阿部重夫

助教授・講師

森脇和幸, 藤井 稔, 土屋英昭, 小林利彦, 青木和徳, 本間康浩, 喜多 隆,
本郷昭三, 浦野俊夫, [田川聖治], 桑門秀典, 竹野裕正, 小澤誠一

助 手

黒木修隆, 栗林 稔, 山口一章, 米森秀登

我が国の繁栄は科学と技術の進歩によりもたらされたものであり、中でもエレクトロニクスを中心とした先端分野における絶え間ない技術革新による所が大きい。これはエレクトロニクスが情報化社会におけるIT技術の担い手であるばかりでなく、他の殆どあらゆる工学分野に不可欠な基盤技術としての役割を持つことによる。

近年、電気電子工学の対象とする学問・技術分野は、電力、新エネルギー、交通、自動車、情報、通信、海洋、航空、宇宙、医療環境、安全といった最先端の技術を要求される分野から、身近な家電・民生分野にいたる広範囲かつ多岐にわたる領域において急速に発展している。そのため、対象とする研究分野もますます拡大し、他の学問分野との境界領域での研究・技術開発が必要とされ、いわゆる“学際化”が進んでいる。また一方では、既存の学問分野の成果のみでは対応できない、ナノ材料・ナノエレクトロニクス、光エレクトロニクス、情報ネットワーク・IT、ユビキタス・ウェアラブルコンピューティング、メカトロニクス、バイオエレクトロニクス等の分野においては、研究・開発の専門・高度化が進んでいる。

この様なトレンドを念頭におき、電気電子工学科では、次世代の電気電子工学の新しい展開に柔軟に対応できる高度な専門基礎学力を持ち、関連する異分野の科学と技術にも十分な興味を持つ、学際的、かつ創造性豊かな人材の育成に努めている。一方、研究機関としての大学という面では、主要な基礎研究分野において、世界的水準の研究を遂行し、先端的情報の発信基地として活発な活動を行っている。また、社会活動としては、国あるいは地方自治体などの各種委員会に積極的に参加することにより研究成果を社会に還元し寄与している。

【電気電子工学科の教育・研究組織と分野】

電子物理工学

電子、光子現象の工学的応用の基礎となる固体物理学、表面物理学、光電子物性、電子材料工学、その応用としての集積回路デバイス、光電子デバイス、量子効果デバイス、ナノデバイス等のデバイスの物理と設計・製作等に関連した教育・研究を行っている。

電子情報工学

IT・情報通信システム、情報セキュリティ、符号理論、暗号理論、コンピュータハードウェア、CADによるシステム設計、ユビキタス・ウェアラブルコンピューティング、コンピュータアルゴリズム、パターン認識、言語理論等の教育・研究を行っている。

電気エネルギー制御工学

パワーエレクトロニクス、超電導エネルギーシステム、核融合発電、電気エネルギー変換システム、プラズマエネルギー、コンピュータシステム制御、ニューラルネット、ファジー推論、統計的学習理論等の教育・研究を行っている。

研究設備としては、創造的な研究活動を支えるために、種々の半導体プロセス・デバイス製作装置、材料物性・デバイス特性評価装置、並列コンピューティングシステム、高電圧実験装置などを配備し、充実した研究活動が行えるようになっている。全ての研究室がギガビットネットワークで結ばれており、世界中の研究者や学生達との学術研究交流並びに情報発信手段として日々活用されている。

大学院自然科学研究科博士前期課程（修士課程）へは、学部入学定員90名の中約60名が進学し、さらに毎年数名が後期課程（博士課程）へ進学している。留学生は大学院、学部あわせて15名在籍している。

以下に、電気電子工学科に所属する教員の、平成16年4月から17年3月までの研究業績を、学術論文、学術著書、学術報告、学術講演に分類して掲載する。新任の教員については、学術論文・学術著書・学術報告は過去10年分、学術講演は過去3年分を掲載した。

学術論文(レフェリー付き)(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文分類

A: 学術論文誌(国際会議等で、通常の査読過程を経て発刊された学術論文誌等の特集号を含む)および、国際会議のSelected Paper

B: Full Paperの査読により掲載が決定した国際会議のProceedings

C: Abstractの査読のみで掲載が決定した国際会議のProceedings(ただし、Absreactのみを掲載した予稿集を除く)

D: 大学、研究機関等の紀要

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Minoru Fujii, Motofumi Usui, Shinji Hayashi, Egon Gross*, Dmitri Kovalev*, Nicolai Kunzner*, Joachim Diener*, and Victor Yu. Timoshenko*	Chemical Reaction Mediated by Excited States of Si Nanocrystals -Singlet Oxygen Formation in Solution	Journal of Applied Physics, Vol. 95, No. 7, pp.3689-3693, April (2004)	A
Satoshi Tomita*, Masayuki Hagiwara*, Takanari Kashiwagi*, Chusei Tsuruta*, Yoshio Matsui*, Minoru Fujii, and Shinji Hayashi	Ferromagnetic Resonance Study of Diluted Fe Nanogranular Films	Journal of Applied Physics, Vol. 95, No. 12, pp.8194-8198, June (2004)	A
Satoshi Tomita*, Minoru Fujii, and Shinji Hayashi	Defective Carbon Onions in the Interstellar Space as the Origin of the Optical Extinction Bump at 217.5 nm	Astrophysical Journal, Vol. 609, pp.220-224, July (2004)	A
Minoru Fujii, Yasuhiro Yamaguchi, Yuji Takase, Keiichi Ninomiya, and Shinji Hayashi	Control of Photoluminescence Properties of Si Nanocrystals by Simultaneously Doping n- and p-type Impurities	Applied Physics Letters, Vol. 85, No. 7, pp.1158-1160, August (2004)	A
Minoru Fujii, Shingo Minobe, Motofumi Usui, Shinji Hayashi, Egon Gross*, Joachim Diener*, and Dmitri Kovalev*	Generation of Singlet Oxygen at Room Temperature Mediated by Energy Transfer from Photo-excited Porous Si	Physical Review B, Vol. 70, 085311, pp.1-5, August (2004)	A
Dmitri Kovalev*, Egon Gross*, Victor Yu. Timoshenko*, and Minoru Fujii	Photodegradation of porous silicon induced by photogenerated singlet oxygen molecules	Applied Physics Letters, Vol. 85, pp.3590-3592, August (2004)	A
Hiroshi Tabata, Minoru Fujii, and Shinji Hayashi	Laser ablation of diamond nanoparticles suspended in solvent: synthesis of polyyenes	Chemical Physics Letters, Vol. 395, pp.138-1421, September (2004)	A
Kenji Imakita, Minoru Fujii, Yasuhiro Yamaguchi, and Shinji Hayashi	Interaction between Er ions and shallow impurities in Si nanocrystals	Physical Review B, Vol. 71, 115440 March (2005)	A
V. Yu. Timoshenko*, O. A. Shalygina*, M. G. Lisachenko*, D. M. Zhigunov*, S. A. Teterukov*, P. K. Kashkarov*, D. Kovalev*, M. Zacharias*, K. Imakita, and M. Fujii	Erbium Ion Luminescence of Silicon Nanocrystal Layers in a Silicon Dioxide Matrix Measured under Strong Optical Excitation	Physics of the Solid State, January 2005, Vol. 47, pp. 121-124	B
Hideo Kawano, Atsushi Matsumoto and Tanroku Miyoshi	Analysis of Light Wave Propagation in In-Plane Switching Liquid-Crystal Devices by Finite-Difference Time-Domain Method	IEICE Trans. Electron., E87-C (12), 2172-2178 (2004)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Hideo Kawano, Atsushi Matsumoto, Jiro Hirano and Tanroku Miyoshi	Analysis of Light Leakage in Liquid-Crystal Devices with In-Plane Switching Electrodes	IEEJ Trans. FM, 124 (12), 1159-1164 (2004)	A
Tanroku Miyoshi, Hideaki Tsuchiya, Matsuto Ogawa and Akihiko Asanuma	Current Noise in Semiconductor nanoscale Devices	Second Int. Symposium on Fluctuations and Noise, Proceedings of SPIE, Noise in Devices and Circuits II, 5470-03, 28-36 (2004)	B
Tomohito Umegaki, Matsuto Ogawa, Yasuyuki Makino and Tanroku Miyoshi	Electronic transport in carbon nanotubes using the transfer-matrix method	J. Appl. Phys. 96 (11), 6669-6678 (2004)	A
Matsuto Ogawa, Naoaki Kagotani, Masaki Ohta and Tanroku Miyoshi	Quantum Mechanical Simulation in DG MOSFETs Based on a Tight Binding Green's Function Formalism	Simulation of Semiconductor Processes and Devices 2004, eds. G. Wachutka and G. Schrag, Springer (Wien, New York), 29-32 (2004)	B
Tomohito Umegaki, Matsuto Ogawa, Yasuyuki Makino and Tanroku Miyoshi	An Analysis of Electronic Propagating Waves in Carbon Nanotubes	Extended Abstract of International Conference on Carbon: Carbon2004, E040, E040-1--E040-4 (2004)	B
Tomohito Umegaki, Matsuto Ogawa, Yasuyuki Makino and Tanroku Miyoshi	Electronic Propagating Waves in Carbon Nanotubes for the Electrodes of the Spin Wave Device	Abstract of the 5th International Conference on the Science and Application of Nanotubes: NANOTUBE 2004, 270 (2004)	B
Tomohito Umegaki, Matsuto Ogawa, Yasuyuki Makino and Tanroku Miyoshi	Quantum Transport in Carbon Nanotubes with Arbitrary Chirality	Mem. Grad. School Sci. & Technol. Kobe Univ., 22A, 103-114 (2004)	D
Hideaki Tsuchiya, Alexei Svizhenko, M. P. Anantran, Matsuto Ogawa and Tanroku Miyoshi	Comparison of Non-Equilibrium Green's Function and Quantum-Corrected Monte Carlo Approaches in Nano MOS Simulation	Proc. 10th Int. Workshop on Computational Electronics (IWCE10), 93-94 (2004)	B
Andrew D. Prins*, Jonathan L. Sly*, David J. Dunstan*, Atsushi Nagata, Toshihiko Kobayashi	Measurement of Conduction Band Minima in Ordered and Disordered GaInP	Journal of Crystal Growth, 268 (3-4), 378-383 (2004)	A
A. D. Prins*, J. L. Sly*, D. J. Dunstan*, A. Nagata, C. Haslam*, T. Kobayashi	Determination of Ordering Effects on GaInP Pressure Coefficients	physica status solidi (b), 241(14), 3123-3127 (2004)	A
A. Nagata, T. Kobayashi, A. D. Prins*, Y. Homma, K. Uchida*, J. Nakahara*	Excitation and Pressure Effects on Low Temperature Photoluminescence from GaAs/GaInP Heterostructures	physica status solidi (b), 241(14), 3279-3284 (2004)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
A.D. Prins*, Y. Ishibashi*, S. Sasahara*, J. Nakahara*, M. A. Lourenco*, R. M. Gwilliam*, T. Kobayashi, A. Nagata, K. P. Homewood*	Silicon-Based Light Emitting Diode Material Studied under High Pressure	physica status solidi (b), 241(14), 3387-3390 (2004)	A
T. Kobayashi, A. Nagata, A.D. Prins*, Y. Homma, K. Uchida*, J. Nakahara*	Low Temperature Photoluminescence of GaAs/GaN Heterostructures Measured under Hydrostatic Pressure	AIP Conference Proceedings Volume 772, 931-932 (2005)	A
P. Jayavel, H. Tanaka, T. Kita, O. Wada, *Y. Nakata, *T. Akiyama, *H. Ebe, *M. Sugawara, *J. Tatebayashi, and *Y. Arakawa	Control of InGaAs Capping Layer Induced Optical Polarization in Edge-Emitting Photoluminescence of InAs Quantum Dots	Jpn. J. Appl. Phys., Vol. 43, No. 4B, pp. 1978-1980, 2004	A
S. Nagahara, Y. Matsuura, R. Naganuma, T. Kita, O. Wada, *L. Marsal, and *H. Mariette	Anisotropic Exchange Interaction in CdTe/CdMnTe Quantum Wires	Physica E, Vol. 21, pp. 345-348, 2004	A
P. Jayavel, T. Kita, O. Wada, Y. Nakata, *T. Akiyama, *H. Ebe, *M. Sugawara, *J. Tatebayashi, and *Y. Arakawa	Control of Optical Polarization Anisotropy in Edge Emitting Luminescence of InAs/GaAs Self-Assembled Quantum Dots	Appl. Phys. Lett., Vol. 84, No. 11, pp. 1820-1822, 2004	A
S. Nagahara, T. Kita, O. Wada, *L. Marsal, and *H. Mariette	Anisotropic Magneto-Optical Effects in $(\text{CdTe})_{0.5}(\text{Cd}_{0.75}\text{Mn}_{0.25}\text{Te})_{0.5}$ Tilted Superlattices	Phys. Rev. B, Brief Report Vol. 69, 233308, 2004	A
T. Kita, Y. Masuda, T. Mori, and O. Wada	Nitridized InAs/GaAs Self-Assembled Quantum Dots for Optical Communication Wavelength	Proc. 16th International Conference on Indium Phosphide and Related Materials, Kagoshima, pp. 640-642, May 31-June 4, 2004	B
R. Naganuma, T. Kita, S. Nagahara, O. Wada, *L. Marsal, and *H. Mariette	Ultrafast Anisotropic Processes of Exciton Magnetic Polarons in CdTe/CdMnTe Quantum Wires	Proc. The 2004 International Conference on Ultrafast Phenomena, Niigata, July 25-30, 2004	B
近藤謙治, 坂口宗司, 松尾隆司, 川井望, 本郷昭三, 浦野俊夫	Fe/Si(111)の低速電子線回折(LEED)パターンの観察と強度-エネルギー (I-V) 曲線の評価	真空, 48 (2005) 226-228	A
福岡一樹, 飯島正章, 濱田健司, 沼 昌宏, 多田 章	PD-SOIのクロック・ゲーティング機構に対応したリーク電力削減手法	情報処理学会論文誌, 45(5), 1236-1243(2004)	A
福岡一樹, 藤田克也, 飯島正章, 沼 昌宏, 山本啓輔, 高田賢吾	先見型動的ボディ制御によるSOI LSIの高速化手法	情報処理学会論文誌, 45(5), 1244-1250(2004)	A
K. Fukuoka, M. Iijima, K. Hamada, M. Numa, and A. Tada	A novel layout approach using dual supply voltage technique on body-tied PD-SOI	IEICE Trans. Fundamentals, E87-A(12), 3244-3250(2004)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
黒木修隆, 山根知之, 小西晋平, 沼 昌宏, 山本啓輔	車内環境における頭部追跡を目的とした赤外線 マルチカメラシステムの開発	電子情報通信学会論文誌, J88-A(2), 142-151(2005)	A
H. Kobatake, T. Umaba, M. Numa, K. Yamamoto, and K. Kawashima	An approach for reducing circuit size of equalizer in 8PSK demodulator for BS digital broadcasting	Workshop on Wireless Circuits and Systems, , 16-17(2004)	B
M. Iijima, K. Fujita, K. Fukuoka, M. Numa, K. Yamamoto, and K. Takata	A technique for high-speed circuits on SOI using look-ahead type activebody bias cotrol	2004 IEEE International Symposium on Circuits and Systems (ISCAS 2004), II, 405-408(2004)	B
K. Fukuoka, M. Iijima, K. Hamada, M. Numa, and A. Tada	Leakage power reduction for clock gating scheme on PD-SOI	2004 IEEE International Symposium on Circuits and Systems (ISCAS 2004), II, 613-616(2004)	B
N. Kuroki, T. Manabe, and M. Numa	Adaptive arithmetic coding for image prediction errors	2004 IEEE International Symposium on Circuits and Systems (ISCAS 2004), III, 961-964(2004)	B
N. Kuroki, T. Yamane, and M. Numa	Lossless coding of color quantized images based on pseudo distance	47th IEEE International Midwest Symposium on Circuits and Systems (MWSCAS2004), I, 245-247(2004)	B
T. Manabe, N. Kuroki, M. Numa, and K. Yamamoto	Improvement of image quality by optical image processing suitable for pixel	47th IEEE International Midwest Symposium on Circuits and Systems (MWSCAS2004), I, 305-308(2004)	B
T. Sugane, T. Iida, H. Inoue, N. Kuroki, M. Numa, and K. Yamamoto	An LUT-based error diagnosis technoque improved in multiplicity of rectifiable errors	47th IEEE International Midwest Symposium on Circuits and Systems (MWSCAS2004), I, 525-528(2004)	B
H. Kobatake, K. Hirano, N. Kuroki, M. Numa, H. Nishida, K. Kawashima, and K. Yamamoto	An approach for integration of demodulators for digital broadcasting	4th IEEE Asia-Pacific Conference on Advanced System Integrated Circuits (AP-ASIC2004), , 416-417(2004)	B
K. Nakanishi, H. Kobatake, N. Kobayashi, N. Kuroki, M. Numa, K. Kawashima, and K. Yamamoto	Reduction of FFT circuit area for OFDM demodulator based on skipping point expression	4th IEEE Asia-Pacific Conference on Advanced System Integrated Circuits (AP-ASIC2004), , 430-431(2004)	B
K. Fukuoka, M. Iijima, K. Hamada, M. Numa, and A. Tada	A novel layout approach on body-tied PD-SOI	14th International Workshop on Power and Timing Modeling, Optimization and Simulation (PATMOS2004), , 423-432(2004)	B
T. Sugane, R. Arai, T. Iida, H. Inoue, N. Kuroki, and M. Numa	Error diagnosis technique based on boolean resubstitution	12th Workshop on Synthesis and System Integration of Mixed Information Technologies (SASIMI2004), , 339-344(2004)	B
T. Iida, T. Sugane, T. Iwasaki, H. Inoue, N. Kuroki, M. Numa, and K. Yamamoto	Extraction of subcircuits for incremental synthesis based on error diagnosis	12th Workshop on Synthesis and System Integration of Mixed Information Technologies (SASIMI2004), , 345-350(2004)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
N. Oka, N. Kuroki, M. Numa, and K. Yamamoto	Triple density error diffusion for medical monochrome LCDs and evaluation of its performance	11th International Display Workshops (IDW2004), , 1643-1645 (2004)	B
塚本 昌彦, 門林 理恵子*	CLNP ネットワークにおける広域移動体通信プロ トコル	情報処理学会論文誌, Vol. 36, No. 8, pp. 2007-2018 (Aug. 1995)	A
柳沢 豊*, 塚本 昌彦, 劉 渤江*, 西尾 章治郎*	知識ベース独立のための演繹オブジェクト指向 プログラミング	人工知能学会誌, Vol. 10, No. 5, pp. 761-768 (Sept. 1995)	A
柳沢 豊*, 小田 真義*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	演繹オブジェクト指向プログラミングによる知 識ベース独立の実現	尾内理紀男(編): オブジェクト指 向コンピューティングIII(論文選集) , レクチャーノート/ソフトウェ ア学 11, 近代科学社, pp. 63-70 (Dec. 1995)	A
Rieko Kadobayashi*, and Masahiko Tsukamoto	Traffic-based Performance Comparison of Mobile Support Strategies	Mobile Networks and Nomadic Applications (NOMAD) : Topical Journal on Mobility of Systems, Users, Data and Computing, ACM-Baltzer, Vol. 1, No. 1, pp. 57-65 (1996)	A
門林 理恵子*, 塚本 昌彦	移動体サポート方式のトラヒック量比較	情報処理学会論文誌, Vol. 37, No. 1, pp. 123-132 (Jan. 1996)	A
西尾 章治郎*, 塚本 昌彦	広帯域ネットワークにおけるマルチメディア情 報ベース	電子情報通信学会和文論文誌 D-II, Vol. J79-D-II, No. 4, pp. 460-467 (Apr. 1996) [招待論文]	A
門林 理恵子*, 塚本 昌彦	移動体通信のための適応的ルーティング方式	情報処理学会論文誌, Vol. 37, No. 5, pp. 770-778 (May 1996)	A
村田 顕宏*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	インタードメインルーチングプロトコル(IDRP) のための経路制御ポリシー記述言語	電子情報通信学会和文論文誌 B-I, Vol. J79-B-I, No. 5, pp. 338-345 (May 1996)	A
塚本 昌彦, 岩室 元典*, 門林 理恵子*, 西尾 章治郎*	推論機構によるグループの動的構成手法を用い たメール分配システム	人工知能学会誌, Vol. 11, No. 5, pp. 735-743 (Sept. 1996)	A
柳沢 豊*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	演繹オブジェクト指向プログラミングにおける 知識ベースを用いたソフトウェア動作制御	電子情報通信学会和文論文誌 D-I, Vol. J79-D-I, No. 10, pp. 635-643 (Oct. 1996)	A
春本 要*, 塚本 昌彦, 劉 渤江*, 西尾 章治郎*	OODBMSを用いたASN. 1データベースの実現とその 評価	電子情報通信学会和文論文誌 D-I, Vol. J79-D-I, No. 11, pp. 975-983 (Nov. 1996)	A
Chien-Le Goh*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Knowledge Discovery in Deductive Databases with Large Deduction Results: The First Step	IEEE Transactions on Data and Knowledge Engineering, Vol. 8, No. 6, pp. 952-956 (Dec. 1996)	A
村田 顕宏*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	実例に基づく Q 学習アルゴリズム	コンピュータソフトウェア(日本ソ フトウェア科学会論文誌) , Vol. 14, No. 1, pp. 25-29 (Jan. 1997)	A
原 隆浩*, 春本 要*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ATMネットワークにおけるデータベース移動のた めのデータベース位置管理手法	電子情報通信学会和文論文誌D-I, Vol. J80-D-I, No. 2, pp. 137-145 (Feb. 1997)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
柴田 一*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	複数の移動体に対する問合せ処理方式	電子情報通信学会和文論文誌 B-I, Vol. J80-B-I, No. 5, pp. 191-199 (May 1997)	A
原 隆浩*, 春本 要*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	データベース移動を用いたATMネットワークにおけるトランザクション処理	電子情報通信学会和文論文誌 D-I, Vol. J80-D-I, No. 6, pp. 505-513 (June 1997)	A
柴田 一*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	移動体に対する適応型問合せ処理方式について	電子情報通信学会和文論文誌 B-I, Vol. J80-B-I, No. 7, pp. 533-541 (July 1997)	A
Hajime Shibata*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Performance Analysis of an Adaptive Query Processing Strategy for Mobile Databases	IEICE Transactions on Communications, Vol. E80-B, No. 8, pp. 1208-1213 (Aug. 1997)	A
Masahiko Tsukamoto and Shojiro Nishio*	An Inheritance System with Regular Expressions and IS-A relation	Journal of Systems Integration, Kluwer Academic Publishers, Vol. 7, pp. 349-379 (Sept. 1997)	A
Budiarto*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, Shojiro Nishio*, and Tetsuya Takine*	On Strategies for Allocating Replicas of Mobile Databases	IEICE Transactions on Information and Systems, Vol. E80-D, No. 1, pp. 37-46 (Jan. 1998)	A
上田 宏高*, 門林 理恵子*, 萩野 浩明*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	知識ベースシステムを用いた分散型メール配送システムMILD	情報処理学会論文誌, Vol. 39, No. 2, pp. 414-423 (Feb. 1998)	A
高田 一雄*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ソフトウェア自動運用のためのポリシー記述言語	人工知能学会誌, Vol. 13, No. 3, pp. 444-451 (May 1998)	A
Toru Murase*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Active Mobile Database Systems for Mobile Computing Environments	IEICE Transactions on Informations and Systems, Vol. E81-D, No. 5, pp. 427-433 (May 1998)	A
原 隆浩*, 春本 要*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	データベース移動に基づく分散データベースシステムとその並行処理制御機構	電子情報通信学会和文論文誌 D-I, Vol. J81-D-I, No. 6, pp. 819-828 (June 1998)	A
Takahiro Hara*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Database Migration: A New Architecture for Transaction Processing in Broadband Networks	IEEE Transactions on Knowledge and Data Engineering, Vol. 10, No. 5, pp. 839-854 (Sept./Oct. 1998)	A
矢島 悦子*, 原 隆浩*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	相関性をもつデータ間の放送時間間隔について	情報処理学会論文誌, Vol. 40, No. 1, pp. 188-196 (Jan. 1999)	A
仲秋 朗*, 柴田 一*, 村瀬 亨*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	移動体環境におけるデータベースビューの維持手法	電子情報通信学会誌 D-I, Vol. J82-D-I, No. 1, pp. 281-290 (Jan. 1999)	A
Budiarto*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	On Relocation Decision Policies of Mobile Databases	IEICE Transactions on Information and Systems, Vol. E82-D, No. 2, pp. 412-421 (Feb. 1999)	A
秋山 豊和*, 原 隆浩*, 春本 要*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	アクセス情報に基づくデータベース移動を用いたデータベース再配置手法	情報処理学会論文誌, Vol. 40, No. 6, pp. 2765-2775 (June 1999)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
原 隆浩*, 春本 要*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*, 奥井 順*	広帯域ネットワーク上のデータベース移動に基づく動的複製配置法	電子情報通信学会和文論文誌D-I, Vol. J82-D-I, No. 8, pp. 1049-1058 (Aug. 1999)	A
矢島 悦子*, 原 隆浩*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	データ間の相関性を考慮した放送データのスケジューリング法およびキャッシング法	情報処理学会論文誌, Vol. 40, No. 9, pp. 3577-3585 (Sept. 1999)	A
原 隆浩*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	WAN環境におけるデータベース移動のスケジューリング手法	電子情報通信学会和文論文誌D-I, Vol. J82-D-I, No. 12, pp. 1369-1378 (Dec. 1999)	A
相坂 一樹*, 塚本 昌彦, 春本 要*, 西尾 章治郎*	知識獲得を用いたデータベース圧縮のためのルール選択方法について	電子情報通信学会論文誌D-I, Vol. J83-D-I, No. 2, pp. 273-281 (Feb. 2000)	A
萩野 浩明*, 新谷 剛*, 原 隆浩*, 塚本 昌彦, 春本 要*, 西尾章治郎*	移動体計算環境における連続メディア配送のための通信方式	情報処理学会論文誌, Vol. 41, No. 2, pp. 363-372 (Feb. 2000)	A
西澤 正稔*, 萩野 浩明*, 原 隆浩*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	アドホックネットワークにおける片方向リンクを考慮したルーティング方式	情報処理学会論文誌, Vol. 41, No. 3, pp. 783-791 (Mar. 2000)	A
Toyokazu Akiyama*, Takahiro Hara*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Access Skew Detection for Dynamic Database Relocation	Int'l Journal of Computing and Informatics (Informatica), Vol. 24, No. 1, pp. 21-25 (Mar. 2000)	A
Djoni Tjung*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Aglet-Voyager Converter: An Approach for Mobile Agent Systems Integration	情報処理学会論文誌, Vol. 41, No. 7, pp. 2027-2039 (July 2000)	A
Takefumi Ogawa*, and Masahiko Tsukamoto	Tools for Constructing Psude-3D Space on the WWW Using Images	Next Generation Computing, Vol. 18, No. 4, pp. 391-407, Ohmsha, Ltd. and Springer-Verlag (Sept. 2000)	A
萩野 浩明*, 原 隆浩*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	アドホックネットワークのための蓄積型フラッシングプロトコル	情報処理学会論文誌, Vol. 41, No. 9, pp. 2445-2454 (Sept. 2000)	A
上向 俊晃*, 萩野 浩明*, 原 隆浩*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	リモートディスプレイ環境におけるWWWブラウジングシステム	情報処理学会論文誌, Vol. 41, No. 9, pp. 2364-2373 (Sept. 2000)	A
萩野 浩明*, 原 隆浩*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ルータのグループ化を用いた移動体位置管理方式	情報処理学会論文誌, Vol. 41, No. 9, pp. 2638-2650 (Sept. 2000)	A
寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	アクティブデータベースを用いた地理情報システム	情報処理学会論文誌, Vol. 41, No. 11, pp. 3103-3113 (Nov. 2000)	A
酒井 仁*, 海貝 明道*, 秋山 豊和*, 原 隆浩*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	データベース移動に基づく分散データベースシステムDB-MAN α の設計と実装	情報処理学会論文誌, Vol. 41, No. 11, pp. 3092-3102 (Nov. 2000)	A
寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	放送型データ受信のためのアクティブデータベースシステムの設計と実装	電子情報通信学会論文誌D-I, Vol. J83-D-I, No. 12, pp. 1272-1283 (Dec. 2000)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
上田 宏高*, 柳沢 豊*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	電子メールの傾向分析への知識獲得手法の適用	情報処理学会論文誌, Vol. 41, No. 12, pp. 3285-3294 (Dec. 2000)	A
上田 宏高*, Wooi-Ghee Wang*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	Devora: 電子メールを用いたユーザ位置管理システム	情報処理学会論文誌, Vol. 41, No. 12, pp. 3295-3306 (Dec. 2000)	A
中村 聡史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	2つのマウスを用いたウインドウ操作機構の設計と実装	ヒューマンインタフェース学会論文誌, Vol. 2, No. 4, pp. 309-321 (Dec. 2000)	A
Etsuko Yajima*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Scheduling Strategies of Correlated Data in Push-Based Systems	Information Systems and Operational Research (INFOR), Vol.39, No.2, pp.152-173 (May 2001)	A
Etsuko Yajima*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Scheduling and Caching Strategies for Correlated Data in Push-based Information Systems	ACM Applied Computing Review (ACM ACR), Vol.9, No.1, pp.22-28 (July 2001)	A
Yin-Huei Loh*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Concurrent Database Updates during Disconnection in Mobile Computing Environments	情報処理学会論文誌, Vol.42, No.7, pp.1945-1956 (July 2001)	A
上向 俊晃*, 原 隆浩*, 塚本 昌彦, 萩野 浩明*, 西尾 章治郎*	リモートディスプレイ環境における複数ユーザの同時利用のためのアクセス制御機構	情報処理学会論文誌, Vol. 43, No. 2, pp. 543-554 (Feb. 2002)	A
内田 渉*, 原 隆浩*, 塚本 昌彦, 矢島 悦子*, 西尾 章治郎*	データの相関性とアクセス頻度を考慮した放送スケジューリング	情報処理学会論文誌: データベース, Vol. 43, No. SIG 2, pp. 146-157 (Mar. 2002)	A
Budiarto*, Shojiro Nishio*, and Masahiko Tsukamoto	Data management Issues in Mobile and Peer-to-Peer Environments	Data & Knowledge Engineering, Vol.41, No.2&3, pp. 183-204 (June 2002)	A
Yin-Huei Loh*, Takefumi Ogawa*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	An Inter-Space Avatar Programming Language in a Virtual Space on the WWW	情報処理学会論文誌, Vol.43, No.8, pp. 2797-2809 (Aug. 2002)	A
Wooi-Ghee Wang*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	An AODV Compatible Routing Protocol Using Pseudo Control Packets in Ad-hoc Networks	情報処理学会誌, Vol. 43, No. 8, pp. 2871-2833 (Sept. 2002)	A
中尾 太郎*, 小川 剛史*, 宮前 雅一*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	W@nderland: 参加者によるWWW上での構築が可能な画像ベースの仮想空間	情報処理学会論文誌, Vol.43, No.9, pp. 2903-2913 (Sept. 2002)	A
澤井 里枝*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, Yin-Huei Loh*, 西尾 章治郎*	情報フィルタリングの関数的性質について	電子情報通信学会論文誌D-I, Vol. J85-D-I, No.10, pp. 939-950 (Oct. 2002)	A
小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	静止画を用いたWWW上でのコミュニケーション支援システム	情報処理学会論文誌, Vol. 43, No. 11, pp. 3364-3374 (Nov. 2002)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	移動体計算環境におけるアクティブデータベースの動的トリグラフ構築機構の設計と実装	情報処理学会論文誌: データベース, Vol.43, No. SIG12 (TOD16), pp. 52-63 (Dec. 2002)	A
村瀬 亨*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	移動体計算環境におけるアクティブデータベースの安全性解析手法	情報処理学会誌, Vol. 43, No. 12, pp. 3785-3793 (Dec. 2002)	A
澤井 里枝*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 西尾 章治郎*	フィルタリング関数におけるセレクションとランキングについて	情報処理学会論文誌: データベース, Vol.43, No. SIG12 (TOD16), pp.80-91 (Dec. 2002)	A
中尾 太郎*, 小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	共有仮想空間間でのオブジェクトの移動を実現するプロトコル	情報処理学会論文誌, Vol. 44, No. 1, pp. 176-186 (Jan. 2003)	A
中尾 太郎*, 小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	携帯空間: モバイル計算環境での共有3次元仮想空間システム	情報処理学会論文誌, Vol. 44, No. 2, pp. 276-284 (Feb. 2003)	A
寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	アクティブデータベースを用いたカラオケの背景作成システム	情報処理学会論文誌, Vol. 44, No. 2, pp. 235-244 (Feb. 2003)	A
寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	2つのPDAを用いた携帯型エレキベースの設計と実装	情報処理学会論文誌, Vol. 44, No. 2, pp. 266-275 (Feb. 2003)	A
義久 智樹*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	データの分割に関する制約を考慮した連続メディアデータ放送におけるスケジューリング手法	情報処理学会論文誌: データベース, Vol.44, No. SIG3 (TOD17), pp. 33-42 (Mar. 2003)	A
澤井 里枝*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 西尾 章治郎*	合成フィルタリング関数の性質について	情報処理学会論文誌: データベース, Vol.44, No. SIG3 (TOD17), pp. 43-53 (Mar. 2003)	A
澤井 里枝*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 西尾 章治郎*	情報フィルタリングの実行順序に関する関数的性質について	情報処理学会論文誌: データベース, Vol.44, No. SIG3 (TOD17), pp. 54-64 (Mar. 2003)	A
庄司 武*, 中村 聡史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ウェアラブル環境における音声データのハイパーリンク型ナビゲーションシステム	情報処理学会論文誌, Vol. 44, No. 5, pp. 1380-1391 (May 2003)	A
加下 雅一*, 寺田 努*, 原 隆浩*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	データベース放送システムのためのサーバと移動型クライアントによる協調型問合せ処理方式	情報処理学会論文誌: データベース, Vol. 44, No. SIG8 (TOD 18), pp. 92-104 (June 2003)	A
義久 智樹*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	連続メディアデータ放送における待ち時間短縮のための分割放送方式	情報処理学会論文誌, Vol. 44, No. 6, pp. 1558-1569 (June 2003)	A
早川 敬介*, 塚本昌彦*, 寺田 努*, 義久 智樹*, 岸野 泰恵*, 柏谷 篤*, 坂根 裕*, 西尾 章治郎*	ユビキタスコンピューティングのためのルールに基づく入出力制御デバイス	ヒューマンインタフェース学会論文誌, Vol. 5, No. 3, pp. 341-354 (Aug. 2003)	A
澤井 里枝*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 西尾 章治郎*	フィルタリング関数の和積について	情報処理学会論文誌: データベース, Vol. 44, No. SIG12 (TOD 19), pp. 86-97 (Sept. 2003)	A
岸野 泰恵*, 塚本 昌彦, 坂根 裕*, 西尾 章治郎*	ウェアラブル環境のためのLEDを用いたビジュアルマーカ	情報処理学会論文誌, Vol. 44, No. 9, pp. 2334-2343 (Sept. 2003)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
庄司 武*, 中村 聡史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ウェアラブルコンピューティング向け音声情報 システムの操作性に関する評価	情報技術レターズ, pp. 319-320 (Sept. 2003)	A
田中 孝浩*, 中尾 太郎*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	大規模なユビキタスセンサネットワークにおけ るデータ収集・管理システムの設計	情報技術レターズ, pp. 325-326 (Sept. 2003)	A
小寺 拓也*, 澤井 里枝*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	数学的性質を利用した処理方法最適化機構をも つ情報フィルタリングシステム	日本データベース学会Letters, Vol. 2, No. 2, pp. 53-56 (Oct. 2003)	A
岸野 泰恵*, 塚本 昌彦, 坂根 裕*, 西尾 章治郎*	コンピュータディスプレイとカメラを用いた拡 張現実感のための位置登録方式	情報処理学会論文誌, Vol. 44, No. 12, pp. 3188-3196 (Dec. 2003)	A
中村 聡史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	コンテンツ流通制御を考慮したウェブコンテン ツ共有システムの実現	情報処理学会論文誌, Vol. 45, No. 1, pp. 74-83 (Jan. 2004)	A
小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	仮想空間内でのユーザの移動速度を考慮した放 送型仮想空間システムの提案	情報処理学会論文誌, Vol. 45, No. 1, pp. 279-288 (Jan. 2004)	A
義久 智樹*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	連続メディアデータ放送における複数データの 分割放送型スケジューリング手法	情報処理学会論文誌, Vol. 45, No. 2, pp. 487-497 (Feb. 2004)	A
義久 智樹*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	早送りを考慮した連続メディアデータ放送にお けるスケジューリング手法	情報処理学会論文誌: データベース , Vol. 45, No. SIG7 (TOD 22), pp. 179-188 (June 2004)	A
中村 聡史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	P2P 型ウェブコンテンツ共有における相関性を 考慮したキャッシングシステムの実現	日本データベース学会Letters, Vol. 3, No. 1, pp. 9-12 (June 2004)	A
義久 智樹*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	連続メディアデータ放送におけるデータの細分 割による効率的なスケジューリング手法	電子情報通信学会和文論文誌D-I, Vol. J87-D-I, No. 12, pp. 1079-1088 (Dec. 2004)	A
沼田 哲史*, 板生 知子*, 小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	動的なグリッド環境における効率的でセキュア なリソース利用のためのモバイルエージェント システムJa-Net on Grid	情報処理学会論文誌: データベース , Vol. 45, No. SIG14(TOD 24), pp. 1-11 (Dec. 2004)	A
宮前 雅一*, 寺田 努*, 塚本 昌彦*, 西尾 章治郎*	ウェアラブルコンピューティング環境のための 状況依存アクセス制御機構	電子情報通信学会和文論文誌D-I, Vol. J88-D-I, No. 3, pp. 617-628 (Mar. 2005)	A
宮前 雅一*, 寺田 努*, 岸野 泰恵*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ウェアラブル環境のためのイベント駆動型ナビ ゲーションプラットフォーム	情報処理学会論文誌, Vol. 46, No. 3, pp. 694-703 (Mar. 2005)	A
田中 孝浩*, 中尾 太郎*, 小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	大規模な街角センサネットワークにおけるデー タ収集・管理システムの設計	情報処理学会論文誌: データベース , Vol. 46, No. SIG5 (TOD 25), pp. 1-11 (Mar. 2005)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
沼田 哲史*, 板生 知子*, 小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 草治郎*	Ja-Net on Grid におけるホスト利用の信頼性を 向上させるためのモバイルエージェントのマイ グレーション手法	情報処理学会論文誌: データベース , Vol. 46, No. SIG5 (TOD 25), pp. 84-91 (Mar. 2005)	A
Rieko Kadobayashi*, and Masahiko Tsukamoto	Performance Comparison of Mobile Support Strategies	Proc. of the First Annual Int'l Conf. on Mobile Computing and Networking, pp.218-225, Berkeley, CA, U. S. A. (Nov. 1995)	B
Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Inheritance Reasoning by Regular Sets in Knowledge-base with Dot Notation	Proc. of Fourth Int'l Conf. on Deductive and Object-Oriented Databases (DOOD' 95) (Deductive and Object-Oriented Databases, Lecture Notes in Computer Science 1013, Springer-Verlag), pp.247-264, Singapore (Dec. 1995)	B
Yutaka Yanagisawa*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Deductive Object-Oriented Programming for Knowledge-base Independence	Proc. of Fourth Int'l Conf. on Deductive and Object-Oriented Databases (DOOD' 95) (Deductive and Object-Oriented Databases, Lecture Notes in Computer Science 1013, Springer-Verlag), pp.345-362, Singapore (Dec. 1995)	B
Chien-Le Goh*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Discovering Characteristic Rules from Deductive Databases	Proc. of the DOOD' 95 Post-Conf. Workshops (Knowledge Discovery and Temporal Reasoning in Deductive and Object-Oriented Databases), pp.50-57, Singapore (Dec. 1995)	B
Budiarto*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	On Transaction Management for Mobile Clients and Servers	Proc. of the Second Int'l Workshop on Multi-Dimensional Mobile Communications (MDMC' 96), pp.402-406, Seoul, Korea (July 1996)	B
Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Design and Implementation of an Information Repository for ASN.1-based Distributed Applications	Proc. of the 1996 Int'l Technical Conf. on Circuits/Systems, Computers and Communications (ITC-CSCC' 96), pp.681-684, Seoul, Korea (July 1996)	B
Budiarto*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, Shojiro Nishio*, and Tetsuya Takine*	Replica Allocation Strategies in Mobile Computing Environment	Proc. of the 1996 Int'l Technical Conf. on Circuits/Systems, Computers and Communications (ITC-CSCC' 96), pp.99-102, Seoul, Korea (July 1996)	B
Yutaka Yanagisawa*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	On Distributed Computing using Deductive Object-Oriented Programming	Proc. of the 1996 Int'l Technical Conf. on Circuits/Systems, Computers and Communications (ITC-CSCC' 96), pp.661-664, Seoul, Korea (July 1996)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Go Shintani*, Masahiko Tsukamoto, Kaname Harumoto*, and Shojiro Nishio*	Network and Transport Mechanisms for Continuous Media Communication in Mobile Computing Environments	Proc. of the Third Int'l Workshop on Protocols for Multimedia Systems (PROMS'96), pp.381-392, Madrid, Spain (Oct. 1996)	B
Toru Murase*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	A System Platform for Mobile Computing based on Active Databases	Proc. of Int'l Symp. on Cooperative Database Systems for Advanced Applications (CODAS'96), pp.422-425, Kyoto, Japan (Dec. 1996)	B
Takahiro Hara*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Database Migration for Transaction Processing in ATM Networks	Proc. of the Eleventh Int'l Conf. on Information Networking (ICOIN-11), pp.1B.4.1-1B.4.10, Taipei, Taiwan (Jan. 1997)	B
Takahiro Hara*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Location Management Methods of Migratory Data Resources in ATM Networks	Proc. of the 1997 ACM Symp. on Applied Computing (ACM SAC'97) (Special Track on Database Technology), pp.123-130, San Jose, CA, U.S.A. (Feb. 1997)	B
Shojiro Nishio, and Masahiko Tsukamoto	Arictectural Issues of Database Systems in Advanced Computer Networks	Proc. of the Worldwide Computing and Its Applications '97 (WWCA 97), pp.B.4.2.1-B.4.2.16, Tsukuba, Japan (Mar. 1997) [Invited Paper]	B
Budiarto*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Position Locking: Handling Location Dependent Queries in Mobile Computing Environment	Proc. of the Worldwide Computing and Its Applications '97 (WWCA97), pp.C.3.2.1-C.3.2.15, Tsukuba, Japan (Mar. 1997)	B
Takahiro Hara*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, Shojiro Nishio*, and Jun Okui*	A Main Memory Database System for Supporting Database Migration	Proc. of 1997 IEEE Pacific Rim Conf. on Communications, Computers and Signal Processing (PACRIM'97), pp.231-234, Victoria, Canada (Aug. 1997)	B
Hajime Shibata*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Performance Analysis of an Adaptive Query Processing Strategy for Mobile Computing	Proc. of 1997 IEEE Pacific Rim Conf. on Communications, Computers and Signal Processing (PACRIM'97), pp.235-238, Victoria, Canada (Aug. 1997)	B
Yutaka Yanagisawa*, Yutaka Sakane*, Masahiko Tsukamoto, Shojiro Nishio*, and Jun Okui*	Design and Implementation of an Animation System using Deductive Object-Oriented Programming	Proc. of 1997 IEEE Pacific Rim Conf. on Communications, Computers and Signal Processing (PACRIM'97), pp.239-242, Victoria, Canada (Aug. 1997)	B
Hiroaki Hagino*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, Shojiro Nishio*, and Jun Okui*	A Location Management Method using Network Hierarchies	Proc. of 1997 IEEE Pacific Rim Conf. on Communications, Computers and Signal Processing (PACRIM'97), pp.243-246, Victoria, Canada (Aug. 1997)	B
Takefumi Ogawa*, Yutaka Sakane*, Yutaka Yanagisawa*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Design and Implementation of a Communication Support System based on Projection of Real Space on Virtual Space	Proc. of 1997 IEEE Pacific Rim Conf. on Communications, Computers and Signal Processing (PACRIM'97), pp.247-250, Victoria, Canada (Aug. 1997)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Budiarto*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Relocation Decision Policies for Mobile Replicas	Proc. of Int'l Symp. on Digital Media Information Base (DMIB'97), pp.285-294, Nara, Japan (Nov. 1997)	B
Takahiro Hara*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	DB-MAN: A Distributed Database System based on Database Migration in ATM Networks	Proc. of the 14th IEEE Int'l Conf. on Data Engineering (ICDE'98), Orlando, FL, U.S.A. (Feb. 1998)	B
Masahiko Tsukamoto	Mobile Computing for Integrating Real Space and Virtual Space	Proc. of the 3rd Workshop on Personal Wireless Communications, IFIP TC6, pp.191-198, Tokyo (Apr. 1998)	B
Masahiko Tsukamoto	Integrating Real Space and Virtual Space in the 'Invisible Person' Communication Support System	Proc. of the 1st Int'l Conf. on Advanced Multimedia Content Processing, Osaka, pp.62-77, Osaka (Nov. 1998)	B
Takahiro Hara*, Etsuko Yajima*, Masahiko Tsukamoto, Shojiro Nishio*, and Jun Okui*	A Scheduling Strategy of a Broadcast Program for Correlative Data	Proc. ISCA Int'l Conf. on Computer Applications in Industry and Engineering(CAINE'98), LA, U.S.A, pp.141-145 (Nov. 1998)	B
Chien-Le Goh*, Kazuki Aisaka*, Masahiko Tsukamoto, Kaname Harumoto*, and Shojiro Nishio*	Database Compression with Data Mining Methods	Proc. 5th Int'l Conf. on Foundations of Data Organization (FODO'98), Kobe (Nov. 1998)	B
Chien-Le Goh*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Fast Methods with Magic Sampling for Knowledge Discovery in Deductive Databases with Large Deduction Results	Proc. Data Warehousing and Data Mining (DWD'98), Singapore (Nov. 1998)	B
Toyokazu Akiyama*, Takahiro Hara*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Database Migration Based on Access Skew Detection	Proc. of Int'l Symp. on Database, Web, and Cooperative Systems (DWACOS'99), pp. 65-72, Baden-Baden, Germany (Aug. 1999)	B
Budiarto*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Performance Evaluation of Two Step Locking Protocol for Location Databases in Mobile Environment	Proc. of 1999 IEEE Pacific Rim Conf. on Communications, Computers and Signal Processing (PACRIM'99), pp. 254-257, Victoria, B.C, Canada (Aug. 1999)	B
Masahiko Tsukamoto	Image-based Pseudo-3D Visualization of Real Space on WWW	Proc. of Digital City Meeting, Springer LNCS (Sept. 1999)	B
Somnuk Sanguantrakul*, Tsutomu Terada*, Masahiko Tsukamoto, Shojiro Nishio*, Kouji Miura*, Satoshi Matsuura*, and Takeshi Imanaka*	A User Customized Selection and Categorization for Broadcast Data	Proc. of 1999 IEEE Int'l Workshops on Multimedia Network Systems(MMNS), pp. 596-601, Aizu-Wakamatsu, Fukushima, Japan (Sep. 1999)	B
Djoini Tjung*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	A Converter Approach for Mobile Agent System Integration: A Case of Aglet to Voyager	Proc. of First Int'l Workshop on Mobile Agents for Telecommunication Applications (MATA'99), Ottawa, Ontario, Canada, pp.179-195 (Oct. 1999)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	A Scheduling Method of Database Migration for WAN Environments	Proc. of XIV Brazilian Symp. on Databases (SBBD' 99), Florianopolis, Santa Catarina, Brazil, pp.125-136 (Oct. 1999)	B
Masatoshi Nishizawa*, Hiroaki Hagino*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	A Routing Method Using Uni-directional Link in Ad Hoc Networks	Int'l Conf. on Advanced Computing and Communications (ADCOM' 99), University of Roorkee, Roorkee, India, pp.78-82 (Dec. 1999)	B
Yin-Huei Loh*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	A Hybrid Method for Concurrent Updates on Disconnected Databases in Mobile Computing Environments	Proc. 2000 ACM Symp. on Applied Computing (SAC2000), Vol. 2, pp. 563-565, Villa Olmo, Como, Italy (Mar. 2000)	B
Takahiro Hara*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Dynamic Replica Allocation Using Database Migration in Broadband Networks	Proc. Int'l Conf. on Distributed Computing Systems (ICDCS 2000), Taipei, Taiwan, R.O.C, pp. 376-384 (Apr. 2000)	B
Hiroataka Ueda*, Masahiko Tsukamoto, Shojiro Nishio*	W-MAIL: An Electronic Mail System for Wearable Computing Environments	In Proceedings of the 6th Annual Interanational Conf. on Mobile Computing and Networking (MobiCom 2000), Boston, Massachussetts, pp. 284-291 (Aug. 2000)	B
Shojiro Nishio*, Katsumi Tanaka*, Yasuo Ariki*, Shinji Shimojo*, Masahiko Tsukamoto, Masatoshi Arikawa*, Keishi Tajima*, and Kaname Harumoto*	An Advanced Processing Environment for Managing the Continuous and Semistructured Features of Multimedia Content	Proc. of ADBIS-DASFAA Symp. on Advances in Databases and Information Systems, LNCS Vol. 1884, Springer-Verlag, pp. 1-20, Prague, Czech Republic (Sept. 2000)	B
Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Database Migration in WAN Environments: How Can It Earn Good Performance?	Proc. of Int'l Conf. on Database and Expert Systems Applications (DEXA 2000), London, UK, pp. 79-91 (Sept. 2000)	B
Etsuko Yajima*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Interval Optimization of Correlated Data Items in Data Broadcasting	Proc. of Int'l Conf. on Advances in Information Systems (ADVIS 2000), Izmir, Turkey, pp. 127-136 (Oct. 2000)	B
Hiroaki Hagino*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	A Packet Routing Protocol for Frequently Changing Topology with Ad-Hoc Networks	Proc. of Int'l Conf. on Advances in Information Systems (ADVIS 2000), Izmir, Turkey, pp. 137-146 (Oct. 2000)	B
Yin-Huei Loh*, Takefumi Ogawa*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Avatar Programming in a Virtual Space on the World Wide Web	Proc. of Sixth Int'l Workshop on Multimedia Information Systems (MIS 2000), Chicago, U.S.A, pp. 42-51 (Oct. 2000)	B
Hiroaki Hagino*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Mr. G: Mobile Routing Method for Group Migration	Proc. of Asian Int'l Mobile Computing Conf. (AMOC 2000), Penang, Malaysia, pp. 123-130 (Oct. 2000)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Toshiaki Uemukai*, Hiroaki Hagino*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	A Remote WWW Display Environment Using a Cellular Phone WWW Service	Proc. of Asian Int'l Mobile Computing Conf. (AMOC 2000), Penang, Malaysia, pp. 131-139 (Oct. 2000)	B
Yutaka Sakane*, Masahiko Tsukamoto, Shojiro Nishio*	The Extended Desktop System for Real World Computing using Camera Images	Proc. of the 2001 Symp. on Applications and the Internet (SAINT-2001), San Diego, California, pp. 195-204 (Jan. 2001)	B
Hiroaki Hagino*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Location Management of Mobile Hosts by Grouping Routers	Proc. of ACM Symp. on Applied Computing (ACM SAC 2001), Las Vegas, Nevada, U.S.A, pp. 373-380 (Mar. 2001)	B
Etsuko Yajima*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Scheduling and Caching Strategies for Broadcasting Correlated Data	Proc. ACM Symp. on Applied Computing (ACM SAC 2001), Las Vegas, Nevada, U.S.A, pp. 504-509 (Mar. 2001)	B
Tsutomu Terada*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Active GIS: A Geographic Information System Using Active Database Systems	Symp. on ASIA GIS 2001 (June 2001)	B
Toshiaki Uemukai*, Hiroaki Hagino*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	An Access Control Mechanism in a Remote Display Environment	Proc. of IASTED Int'l Conf. on Advances in Communications (AIC2001), pp. 178-183 (July 2001)	B
Taro Nakao*, Masahiko Tsukamoto, Takefumi Ogawa*, Yin-Huei Loh*, Masakazu Miyamae*, and Shojiro Nishio*	W@nderland: Image-Based Constructable Virtual Space on the WWW	The Second IEEE Workshop on Internet Applications (WIAPP '01), San Jose, CA, U.S.A, pp.20-29 (July 2001)	B
Taro Nakao*, Takefumi Ogawa*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Realizing External Avatar's Action Control on WWW-based Pseudo-3D Space	2001 IEEE Pacific Rim Conf. on Communications, Computers and Signal Processing (PACRIM '01), Victoria, Canada, Vol.1, pp.208-211 (Aug. 2001)	B
Rie Sawai*, Masahiko Tsukamoto, Yin-Huei Loh*, Tsutomu Terada*, and Shojiro Nishio*	Functional Properties of Information Filtering	Proc. of 27th Int'l Conf. on Very Large Data Bases (VLDB2001), Roma, Italy, pp. 511-520 (Sep. 2001)	B
Satoshi Nakamura*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	A Method of Key Input with Two Mice	Proc. of 5th Int'l Symp. on Wearable Computers (ISWC 2001), pp.13-20 (Oct. 2001)	B
Satoshi Nakamura*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Design and Implementation of the Double Mouse System for a Window Environment	Proc. Pacific Rim Conf. on Communications, Computers and Signal Processing (PACRIM 2001), pp.204-207 (Aug. 2001)	B
Wooi-Ghee Wang. *, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	AODV Compatible Routing with Extensive Use of Cache Information in Ad-hoc Networks	Proc. of ACM Symp. on Applied Computing (ACM SAC 2002), Madrid, Spain, pp.852-859 (Mar. 2002)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Toshiaki Uemukai*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	A Remote Display Environment: An Integration of Mobile and Ubiquitous Computing Environments	Proc. of IEEE Wireless Communications and Networking Conf. (IEEE WCNC 2002), Vol. 2, pp. 618-624 (Mar. 2002)	B
Tsutomu Terada*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	A Portable Electric Bass Using Two PDAs	Proc. of Int'l Workshop on Entertainment Computing (IWEC2002), pp. 286-293 (May 2002)	B
Norman Su*, Yutaka Sakane*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Rajicon: Remote PC GUI Operations via Constricted Mobile Interfaces	Proc. of Int'l Conf. on Mobile Computing and Networking (MobiCom 2002), pp. 251-262 (Sept. 2002)	B
Tsutomu Terada*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	An Active Database System for Receiving Broadcast Data	Proc. of Int'l Conf. on Information Systems and Databases (ISDB2002), pp. 122-128 (Sept. 2002)	B
Masakazu Kashita*, Tsutomu Terada*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	A Collaborative Query Processing Method for a Database Broadcasting System	Proc. of IASTED Int'l Conf. on Communications, Internet and Information Technology (CIIT2002), pp. 60-66 (Nov. 2002)	B
Takefumi Ogawa*, Masahiko Tsukamoto, Yin-Huei Loh*, Taro Nakao*, and Shojiro Nishio*	An Image-Based Approach for Human Communication on the WWW	IASTED Int'l Conf. on Communications, Internet and Information Technology (CIIT 2002), Virgin Islands, U.S.A, pp. 472-478 (Nov. 2002)	B
Rie Sawai*, Masahiko Tsukamoto, Tsutomu Terada*, and Shojiro Nishio*	Composition of Filtering Functions	Proc. of 8th Int'l Conf. on Database Systems for Advanced Applications (DASFAA2003) (Mar. 2003)	B
Tsutomu Terada*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	A System for Presenting Background Scenes of Karaoke Using an Active Database System	Proc. of ISCA 18th Int'l Conf. on Computers and Their Applications (CATA 2003), pp. 160-165 (Mar. 2003)	B
Masakazu Kashita*, Tsutomu Terada*, Takahiro Hara*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	An Adaptive Query Processing Method according to System Environments in Database Broadcasting Systems	Proc. of ISCA 18th Int'l Conf. on Computers and Their Applications (CATA 2003), pp. 174-179 (Mar. 2003)	B
Yasue Kishino*, Masahiko Tsukamoto, Yutaka Sakane*, and Shojiro Nishio*	Realizing a Visual Marker Using LEDs for Wearable Computing Environment	Proc. of Int'l Workshop on Smart Appliances and Wearable Computing (IWSAWC 2003), pp. 314-319 (May 2003)	B
Tomoki Yoshihisa*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Scheduling Methods Based on Data Division for Continuous Media Data Broadcast	Proc. of IEEE Pacific Rim Conf. Communications, Computers and Signal Processing (PACRIM 2003), CD-ROM (Aug. 2003)	B
Tsutomu Terada*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Dynamic Construction Mechanism of a Trigger Graph on Active Databases in Mobile Computing Environments	Proc. of Int'l Workshop on Database and Expert Systems Applications (DEXA 2003), pp. 936-941 (Sept. 2003)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Tsutomu Terada*, Masahiko Tsukamoto, Tomoki Yoshihisa*, Yasue Kishino*, Shojiro Nishio*, Keisuke Hayakawa*, and Atsushi Kashitani*	Rule-based I/O Control Device for Ubiquitous Computing	Proc. of Int'l Conf. on Ubiquitous Computing (UbiComp 2003) Poster Session, pp. 213-214 (Oct. 2003)	B
Tomoki Yoshihisa*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Scheduling Methods for Broadcasting Multiple Continuous Media Data	Proc. of ACM Int'l Workshop on Multimedia Databases (MMDB 2003), pp. 40-47 (Nov. 2003)	B
Masahiko Tsukamoto	Wearable Computing in Daily Life	Proc. of IPSJ SAINT 2004 Workshops, pp.291-292 (Jan. 2004)	B
Rie Sawai*, Masahiko Tsukamoto, Tsutomu Terada*, and Shojiro Nishio*	Composition Order of Filtering Functions for Information Filtering	Proc. of Int'l Conf. on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU 2004), pp. 166-171 (Jan. 2004) .	B
Rie Sawai*, Masahiko Tsukamoto, Tsutomu Terada*, and Shojiro Nishio*	Union and Intersection of Filtering Functions for Information Filtering	Proc. of Int'l Conf. on Database Systems for Advanced Applications (DASFAA 2004), pp. 738-749 (Mar. 2004) .	B
Naoki Miura*, Masakazu Miyamae*, Tsutomu Terada*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Aware-Mail: an Event-driven Mail System for Wearable Computing Environments	Proc. of Int'l Workchop on Smart Appliances and Wearable Computing (IWSAWC 2004), pp. 402-407 (Mar. 2004)	B
Taro Nakao*, Takefumi Ogawa*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	KEITAI-Space: Photo-Based Shared Virtual Space on Cellular Phones	Proc. of Int'l Conf. on Advanced Information Networking and Applications (AINA 2004) (Mar. 2004)	B
Tsutomu Terada*, Masahiko Tsukamoto, Keisuke Hayakawa*, Tomoki Yoshihisa*, Yasue Kishino*, Shojiro Nishio*, and Atsushi Kashitani*	Ubiquitous Chip: a Rule-based I/O Control Device for Ubiquitous Computing	Proc. of 2nd Int'l Conference on Pervasive Computing (Pervasive 2004), pp. 238-253 (Apr. 2004)	B
Yasue Kishino*, Masahiko Tsukamoto, Yutaka Sakane*, and Shojiro Nishio*	A Visual Marker using Computer Displays for Real Space Applications	Advances in Pervasive Computing (A Collection of Contrivutions Presented at Pervasive 2004), pp.273-278 (Apr. 2004)	B
Tomoki Yoshihisa*, Masahiko Tsukamoto, Shojiro Nishio*	A Scheduling Scheme to Enable Fast-Forward for Continuous Media Data Broadcasting	Proc. of Int'l Conf. on Multimedia Expo (ICME 2004) (July 2004)	B
Masakazu Miyamae*, Tsutomu Terada*, Masahiko Tsukamoto, Shojiro Nishio*	Design and Implementation of an Extensible Rue Processing System for Wearable Computing	Proc. of the 1st Annual Int'l Conf. on Mobile and Ubiquitous Systems (MoviQuitous 2004), pp.392-400 (Aug. 2004)	B
Tomoki Yoshihisa*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	An Effective Scheduling Method with Finer DataDivision for Continuous Media Data Broadcasting	Proc. Int'l Conf. on Computer Communications and Networks (ICCCN 2004), pp. 415-420 (Oct. 2004)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Masakazu Miyamae*, Tutomu Terada*, Masahiko Tsukamoto, Keisuke Hiraoka*, Takahito Fukuda*, and Shojiro Nishio*	An Event-Driven Wearable System for Supporting Motorbike Racing Teams	Proc. of IEEE Int'l Symp. on Wearable Computers (ISWC 2004), pp. 70-76 (Oct. 2004)	B
Yasue Kishino*, Hiroyuki Fujiwara*, Toshiyuki Tanaka*, Atsushi Shimosuka*, Tomoki Yoshihisa*, Masahiko Tsukamoto, Tomoko Itao*, Mizuko Oe*, and Shojiro Nishio*	Bloom Accessory: Accessories Using LEDs with Remote Control	Proc. of IEEE Int'l Symp. on Wearable Computers (ISWC 2004), pp. 180-181 (Oct. 2004)	B
Takuya Koder*, Rie Sawai*, Tutomu Terada*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	An Information Filtering System that Optimizes the Processing Method Based on Mathematical Properties	Proc. of IASTED Int'l Conf. on Communications, Internet, and Information Technology (CIIT 2004), pp. 274-279 (Nov. 2004)	B
Takefumi Ogawa*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Virtual Space Broadcasting based on the Speed of Avatar Movement	Proc. of IASTED Int'l Conf. on Internet and Multimedia Systems and Applications (EuroIMSA 2005), pp. 311-317 (Feb. 2005)	B
田川聖治, 小西健太, 井上克巳	アフォーダンス理論による人工技能への接近: 記憶と身体性	日本ロボット学会誌, 22(7), 892-900 (2004)	A
Kiyoharu Tagawa, Toru Ohtani, Tutomu Igaki*, Syunichi Seki*	Robust optimum design of SAW filters by using penalty function method	Proceedings of the 2004 IEEE International Conference on Industrial Technology, CD-ROM (2004)	B
Hidenori Kuwakado, Hatsukazu Tanaka	Size-Reduced Visual Secret Sharing Scheme	IEICE Trans. on Fundamentals, .E87-A(5), 1193-1197, (2004)	A
Hidenori Kuwakado, Hatsukazu Tanaka	Signature Scheme Suitable for Related Files	Proceedings of ISITA2004, 134-139, (2004)	C
Minoru Kuribayashi, Hatsukazu Tanaka	A Novel Fingerprinting Protocol Based on Key Management	Proceedings of ISITA2004, 646-651, (2004)	C
Noboru Abe, Sumio Masuda and Kazuaki Yamaguchi	Placement of vertex labels in a graph drawing	IEICE Trans. on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, E87-A(10), 2774-2779 (2004)	A
Kazuaki Yamaguchi, Yoshie Sakakibara and Sumio Masuda	A method to extend an algorithm for the maximum clique problem to an algorithm for the maximum weighted clique problem	Proc. 2004 International Technical Conf. on Circuits/Systems, Computers and Communications (2004)	B
Hojo, H.*, Shimamura, A.*, Uchida, N.*, Yasaka, Y., Mase, A.*	Surface Wave Analysis with Plasma Resonance	Journal of Plasma and Fusion Research, 80 (9), 719-720 (2004)	A
Y. Tomita*, Y. Yasaka, H. Takeno, M. Ishikawa*, T. Nemoto*	Experimental and Computational Study on the CUSP-DEC and TWDEC for Advanced Fueled Fusion	Transactions of Fusion Science and Technology, 47 (1T), 43-48 (2005)	A
Kenichi Kaieda and Shigeo Abe	KPCA-Based Training of a Kernel Fuzzy Classifier with Ellipsoidal Regions	International Journal of Approximate Reasoning, 37(3), 189-217 (2004)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
廣川洋一, 阿部重夫	関数近似用サポートベクトルマシンの最急上昇法による学習	電気学会論文誌C, 124-C(10), 2064-2071 (2004)	A
Shigeo Abe	Fuzzy LP-SVMs for Multiclass Problems	Proc. 12th European Symposium on Artificial Neural Networks (ESANN 2004), 429-434 (2004)	B
Daisuke Tsujinishi, Yoshiaki Koshiba, and Shigeo Abe	Why Pairwise Is Better than One-against-All or All-at-Once	Proc. International Joint Conference on Neural Networks (IJCNN 2004), 1, 693-698 (2004)	B
Tao Ban and Shigeo Abe	Spatially Chunking Support Vector Clustering Algorithm	Proc. International Joint Conference on Neural Networks (IJCNN 2004), 1, 413-418 (2004)	B
Manabu Kotani*, Seiichi Ozawa	Detection of Gas Leakage Sound Using Modular Neural Network for Unknown Environments	Neurocomputing, 62C, 427-440 (2004)	A
岡本圭介*, 小澤誠一, 阿部重夫	ラジアル基底関数ネットの高速追加学習アルゴリズム	計測自動制御学会論文集, 40(12), 1228-1236 (2004)	A
Shaoning Pang*, Seiichi Ozawa, Nikola Kasabov*	One-pass Incremental Membership Authentication by Face Classification	Biometric Authentication, D. Zhang and A. K. Jain (Eds.), Lecture Notes in Computer Science, Springer-Verlag, 155-161 (2004)	B
Seiichi Ozawa, Kenji Tsumori*	A Memory-based Neural Network Model for Efficient Adaptation to Dynamic Environments	Proc. of IEEE International Conference on Fuzzy Systems (2004)	B
Seiichi Ozawa, Shaoning Pang*, Nikola Kasabov*	A Modified Incremental Principal Component Analysis for On-line Learning of Feature Space and Classifier	PRICAI 2004: Trends in Artificial Intelligence, C. Zhang, H. W. Guesgen, and W. K. Yeap (Eds.), Lecture Notes in Artificial Intelligence, Springer-Verlag, 231-240 (2004)	B
Manabu Kotani*, Hiroki Takabatake*, Seiichi Ozawa	Supervised Independent Component Analysis with Class Information	Neural Information Processing, N. R. Pal, N. Kasabov, R. K. Mudi, S. Pal, and S. K. Parui (Eds.), Lecture Notes in Computer Science, Springer-Verlag, 1052-1057 (2004)	B
Shinji Kita*, Satoshi Maekawa*, Seiichi Ozawa, Shigeo Abe	Boosting Kernel Discriminant Analysis with Adaptive Kernel Selection	Proc. of 7th International Conference on Adaptive and Natural Computing Algorithm (2004)	B
Makoto Murata*, Seiichi Ozawa	A Memory-based Reinforcement Learning Model Utilizing Macro-Actions	Proc. of 7th International Conference on Adaptive and Natural Computing Algorithm (2004)	B
Hiroki Yamamoto*, Motohide Yoshimura*, Shigeo Abe	Evolutionary Segmentation of Texture Image by Using Perturbation Optimization	Proc. of 5th International Conference on Simulated Evolution And Learning, CD-ROM (2004)	B

学術論文(レフェリー無し)(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
T. Kita, Y. Masuda, H. Seki, T. Mori, and O. Wada	Temperature -Optimized Nitridation of Self-Assembled InAs/GaAs Quantum Dots for Long-Wavelength Emission	Abstr. 3rd International Conference on Semiconductor Quantum Dots, THP8, Banff, May 10-13, 2004
P. Jayavel, H. Tanaka, M. Uchigami, T. Kita, O. Wada, Y. Nakata, *T. Akiyama, *H. Ebe, *M. Sugawara, *J. Tatebayashi, and *Y. Arakawa	Capping Layer Induced Optical Polarization Control of InAs/GaAs Quantum Dots	Abstr. 3rd International Conference on Semiconductor Quantum Dots, TP15, Banff, May 10-13, 2004
T. Kita, K. Kou, and O. Wada	Narrow Bandwidth Photoluminescence Lines from Nitrogen Doped GaAs Grown by Atomically Controlled Doping	Abstr. European Material Research Society, Strasburg, 1337, May 25-27, 2004
T. Kita, S. Nagahara, R. Naganuma, Y. Harada, O. Wada, *L. Marsal, and *H. Mariette	Hole-Spin Reorientation in (CdTe)0.5(CdMnTe)0.5 Tilted Superlattices Grown on CdMgTe(001) Visinal Surface	Abstr. 27th International Conference on the Physics and Semiconductors, Flagstaff, Arizona, J5-67, July 26-30, 2004
K. Yamashita, K. Oe, T. Kita, O. Wada, Y. Wang, *C. Geng, *F. Scholz, and *H. Schweizer	Order-Parameter Dependence of Spontaneous Electron Accumulation at GaInP/GaAs Studied by Raman-Scattering and Photoluminescence	Abstr. 27th International Conference on the Physics and Semiconductors, Flagstaff, Arizona, H5-95, July 26-30, 2004
T. Kita, S. Nagahara, R. Naganuma, Y. Harada, O. Wada, *L. Marsal, and *H. Mariette	Anisotropic Exchange Interaction caused by Hole-Spin Reorientation in (CdTe)0.5(CdMnTe)0.5 Tilted Superlattices Grown on CdMgTe(001) Visinal Surface	Abstr. 14th International Conference on Crystal Growth, Grenoble, T02-1-4, August 9-13, 2004
P. Jayavel, T. Kita, O. Wada, *H. Ebe, *M. Sugawara, *Y. Nakata, *T. Akiyama, *J. Tatebayashi, and *Y. Arakawa	Optical Polarization Properties of InAs/GaAs Quantum Dot Semiconductor Optical Amplifier	Extended Abstr. 2004 International Conference on Solid State Device and Materials, Tokyo, P7-3, September 15-17, 2004
Y.C. Zhang, T. Kita, O. Wada, *Y. Nakata, *H. Ebe, *M. Sugawara, and *Y. Arakawa	Thermal Carrier Activation Process in InGaAs Capped InAs Quantum Dots	Extended Abstr. International Symposium on Quantum Dots and Photonic Crystal 2005, Tokyo, P22, March 7-8, 2005
T. Kita, K. Matsushita, M. Kikuno, T. Inoue, T. Mori, H. Seki, and O. Wada, *H. Mori, *T. Sakata, and H. Yasuda	Emission-Wavelength Extension in Nitrided InAs/GaAs Self-Assembled Quantum Dots	Extended Abstr. International Symposium on Quantum Dots and Photonic Crystal 2005, Tokyo, P4, March 7-8, 2005
Yasaka, Y., Takeno, H., Ishikawa, M.*, Ohnishi, M.*, Sato, K.*, Tomita, Y.*	Characteristics of Charge Separation in a Slanted Cusp Field for Direct Energy Conversion	Annual Report of National Institute for Fusion Science April2003-March2004, 220 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
J. Tabayashi, N. Nishikawa, S. Nakamoto, H. Takeno, Y. Yasaka, M. Tsuji*, K. Ohno*, H. Namiki*, K. Urabe*	Efficient Destruction of Easy-break Concrete by Microwave Irradiation Using Heat at the Contact Point of Conducting Materials	Proceedings of The 2nd International Symposium on Sustainable Energy System, 147 (2004)

学術著書(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術著書名	発行所 (年)	備考
門林 理恵子*, 塚本 昌彦 (共訳)	オープンシステムネットワーク	Piscitello and Chapin (共著), ソフトバンク (1995)	
塚本 昌彦	11章「データベース・システムの今後の展開」	ポイント図解式『実践SQL教科書』(西尾 章治郎 監修), (株) アスキー, pp. 263-288 (June 1996)	
Masahiko Tsukamoto, Rieko Kadobayashi*, and Shojiro Nishio*	Strategies for Query Processing in Mobile Computing	Imielinski and Korth (Eds) : Mobile Computing, Kluwer Academic Publishers, pp. 595-620 (1996)	
塚本 昌彦, 春本 要 (共訳) *	次世代TCP/IP技術解説	Thomas著, 日経BP (Jan. 1997)	
Shojiro Nishio*, and Masahiko Tsukamoto	Arictectural Issues of Database Systems in Advanced Computer Networks	Worldwide Computing and Its Applications, Lecture Notes in Computer Science 1274, Springer-Verlag, pp. 237-252 (Aug. 1997) (revised version of a paper appeared in Proc. WWCA' 97)	
Budiarto*, Kaname Harumoto*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Position Locking: Handling Location Dependent Queries in Mobile Computing Environment	Worldwide Computing and Its Applications, Lecture Notes in Computer Science 1274, Springer-Verlag, pp. 363-378 (Aug. 1997) (revised version of a paper appeared in Proc. WWCA' 97)	
塚本 昌彦 (編)	第9回データ工学ワークショップ (DEWS' 98) 論文集	電子情報通信学会データ工学研究専門委員会 (Mar. 1998)	
Chien-Le Goh*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Techniques and Applications of Data Mining and Deductive Databases	Knowledge Engineering, Systems, Techniques and Applications, Academic Press (1999)	
塚本 昌彦 (分担執筆)	相互の理解 1章「バーチャルスペースにおける相互の理解」	マルチメディア情報学12, 岩波書店 (Nov. 1999)	
塚本 昌彦 (分担執筆)	社会基盤としてのインターネット 第5章「モバイル環境とインターネット」	岩波講座インターネット第6巻, 岩波書店 (Sept. 2001)	
Chien-Le Goh*, Masahiko Tsukamoto, and Shojiro Nishio*	Data Mining and Deductive Databases (Chapter 14)	Leondes (Ed.) : Knowledge-Based Systems, Techniques and Applications, Academic Press, Vol. 2, pp. 409-433 (2000)	
塚本 昌彦	モバイルコンピューティング	岩波科学ライブラリー, 岩波書店 (Dec. 2000)	

著者名 (*は学外研究者)	学術著書名	発行所 (年)	備考
塚本 昌彦 (共著)	私の整理術	岩波アクティブ新書, 岩波書店, pp. 119-140 (Aug. 2003)	
Jagath C. Rajapakse*, Lipo Wang*	Neural Information Processing: Research and Development	Springer-Verlag (2004)	Chapter分担執筆 (Seiichi Ozawa, Shigeo Abe, ``A Memory-based Reinforcement Learning Algorithm to Prevent Unlearning in Neural Networks'', 238-255)

学術報告(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
林真至	表面プラズモンポラリトンと近接場光学, 「正しい理解と応用」	0 plus E, Vol. 24, pp. 378-384, 2004年4月
森脇和幸, 林真至, 藤井稔	光導波路アンプ開発	神戸大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー年報2004, Vol. 9 pp. 70-77, 2004年12月
K. Moriwaki, K. Kanda*, S. Matsui* and M. Itoh*	SR Induced Refractive-Index Change in GeO_2 -doped SiO_2 Glass	LASTI Annual Report Vol. 6, p. 101, (2004)
森脇和幸, 井藤幹隆*, 神田一浩*, 松井真二*	光通信用ガラス膜の放射光誘起屈折率変化	NEW GLASS, Vol. 20, No. 1, pp. 43-47, (2005)
小川真人	量子輸送理論によるナノ構造デバイス汎用シミュレータの開発	NIKKEI MICROELECTRONICS特別編集版, 56-57 (2005); STARCニュース, 23, 4-5 (2005)
喜多隆, 和田修	フォトニクスマテリアル量子ナノ構造におけるスピン制御	神戸大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー年報, Vol. 9, pp. 6-13, 2004
喜多隆	半導体量子ナノ構造のスピンエレクトロニクス応用	神戸大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー年報, Vol. 9, pp. 102-107, 2004
喜多隆, 和田修, *中田義昭	形状制御した量子ドットによる偏光無依存吸収端の実現	日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(B)(2), 平成16年度研究実績報告書, 2005年3月
和田修, 喜多隆, *中田義昭	多元制御量子ドットと超高速光機能デバイス応用	日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(B)(2), 平成16年度研究実績報告書, 2005年3月
和田修, 喜多隆, *中田義昭	偏光制御量子ドット材料とサブバンド間遷移面発光デバイスへの応用	日本学術振興会科学研究費補助金・萌芽研究, 平成16年度研究実績報告書, 2005年3月
宇野 裕史*, 塚本 昌彦	赤外線データ通信技術とIrDA標準規格	インターフェース, CQ出版, Vol. 21, No. 8, pp. 164-174 (Aug. 1995)
塚本 昌彦, 今井 明*	赤外線データ通信技術の動向	情報処理(情報処理学会誌), Vol. 36, No. 9, pp. 874-880 (Sept. 1995)
宇野 裕史*, 塚本 昌彦	赤外線によるデータ伝送方式	インターフェース, CQ出版, Vol. 21, No. 10, pp. 159-167 (Oct. 1995)
宇野 裕史*, 中村 真*, 塚本 昌彦	データリンク層と赤外線通信コントローラ	インターフェース, CQ出版, Vol. 21, No. 11, pp. 127-133 (Nov. 1995)
塚本 昌彦, 宇野 裕史*	赤外線データ通信のデータリンク層プロトコル	インターフェース, CQ出版, Vol. 21, No. 12, pp. 174-188 (Dec. 1995)
塚本 昌彦, 宇野 裕史*	赤外線通信のためのソフトウェア(前編): 赤外線データ通信のプロトコル	インターフェース, CQ出版, Vol. 22, No. 2, pp. 166-171 (Mar. 1996)
塚本 昌彦, 宇野 裕史*	赤外線通信のためのソフトウェア(後編): 赤外線通信によるアプリケーションの可能性	インターフェース, CQ出版, Vol. 22, No. 3, pp. 139-143 (Apr. 1996)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
塚本 昌彦	透明人間: 仮想空間と実空間を統合するコンピューティング環境	シミュレーション(日本シミュレーション学会誌), Vol. 16, No. 1, pp. 20-27 (Mar. 1997)
塚本 昌彦	モバイルコンピューティングを支えるシステム技術『通信ネットワーク・インフラストラクチャ』	電子情報通信学会誌, Vol. 80, No. 4, pp. 338-343 (Apr. 1997)
西尾 章治郎*, 塚本 昌彦	高度ネットワーク環境とデータベースシステム	Computer Today, サイエンス社, No. 79, pp. 9-14 (May 1997)
塚本 昌彦	モバイルコンピューティング研究のすすめ --- 「いつでもどこでもコンピューティング」の繰り広げる未来にむけて	情報処理(情報処理学会誌), Vol. 39, No. 2, pp. 158-162 (Feb. 1998)
小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	携帯端末とインターネットによる新しい対話システム	画像ラボ, 日本工業出版, Vol. 9, No. 8, pp. 7-10 (Aug. 1998)
塚本 昌彦	モバイル先進アプリケーション	bit, 共立出版, Vol. 31, No. 1, pp. 31-38 (1999)
塚本 昌彦	モバイルコンピューティング	特集「21世紀を目指す映像情報メディア」, 映像情報メディア学会誌, Vol. 54, No. 1, pp. 37-42 (2000)
塚本 昌彦	モバイルデータベース	bit, 共立出版, Vol. 32, No. 8, pp. 33-40 (Aug. 2000)
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティング	基礎講座ユビキタスコンピューティング第3回, ヒューマンインタフェース, Vol. 5, No. 1, pp. 27-32 (Jan. 2003)
塚本 昌彦, 西尾 章治郎*, 宮原 秀夫*	ユビキタスネットワーク	電子情報通信学会誌小特集「インターネットの歴史と将来展望」, Vol. 86, No. 3, pp. 180-185 (Mar. 2003)
塚本 昌彦	ウェアラブルな生活	映像情報メディア学会誌「ウェアラブルコンピューティング」小特集, Vol. 57, No. 3, pp. 345-347 (Mar. 2003)
塚本 昌彦	エンタテインメント用ウェアラブル・ユビキタスコンピューティング	情報処理, Vol. 44, No. 8, pp. 811-814 (Aug. 2003)
塚本 昌彦, 板生 知子*	ウェアラブルコンピューティングとユビキタスサービス	オペレーションズ・リサーチ, Vol. 49, No. 4, pp. 210-216 (Apr. 2004)
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティングのためのルール処理エンジン「A-WEAR」	日本のデータベース研究最前線, DBマガジン2005.01月号 (Feb. 2005)
田川聖治	生態学的アプローチによる反表象主義の知能モデルに関する研究	K通信, (財) 栢森情報科学振興財団, 15, 14-15 (2004)
桑門秀典	暗号システムの安全性を向上させる暗号化モードに関する研究	電気通信普及財団研究調査報告書, 19, 242-251 (2004)
栗林稔	データハイディングの諸技術とその機能	MAGE, 26(34), 3-8 (2005)
竹野裕正	Efficient Destruction of Easy-break Concrete by Microwave Irradiation Using Heat at the Contact Point of Conducting Materials	Rokko Research Wind of Engineering October-December 2004, 1 (3), 22 (2005)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
八坂保能	GAMMA10における直接エネルギー変換の基礎研究	核融合科学研究所 双方向型共同研究成果報告書(平成16年度), 5 (2005)
竹野裕正	RF/DC電場によるタンデムミラーの閉じ込め改善に関する研究	核融合科学研究所 双方向型共同研究成果報告書(平成16年度), 12 (2005)
八坂保能	LHDにおけるアドバンス燃料核融合のための直接エネルギー変換	核融合科学研究所 LHD計画共同研究成果報告書(平成16年度), 35-37 (2005)
阿部重夫	論文の書き方と発表の仕方	電気学会論文誌C, 125-C (1), 1-6 (2005)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
Minoru Fujii	Photoluminescence Properties of Rare-earth Ions and/or Shallow Impurity Doped Silicon Nanocrystals	E-MRS 2004 Spring Meeting, May 24-28, 2004, Strasbourg, France
Minoru Fujii, Motofumi Usui, and Shinji Hayashi	Photosensitization of Organic Molecules by Silicon Nanocrystals	E-MRS 2004 Spring Meeting, May 24-28, 2004, Strasbourg, France. A1-Pl.33
E. D. Obratsova*, M. Fujii, S. Hayashi, A. S. Lobach*, A. V. Osadchy*, K. Imakita, K. Matsumoto, and M. Usui	Complex Optical Diagnostics of Single-wall Carbon Nanotubes Grown and Treated by Different Techniques	E-MRS 2004 Spring Meeting, May 24-28, 2004, Strasbourg, France
E. D. Obratsova*, M. Fujii, S. Hayashi, and A. S. Lobach*	Resonant Character of Raman Scattering in Single-wall Carbon nanotubes Confirmed by Photoluminescence Measurements	The 20th General Conference of the Condensed Matter Division European Physical Society, Prague, July 19-23, 2004, Abstract p.157
A. Osadchy*, E. D. Obratsova*, M. Fujii, S. Hayashi, K. Imakita, and K. Matsumoto	Curvature Influence on Carbon Nanotube Electronic Structure: Modelling and Photoluminescence Experiments	The 20th General Conference of the Condensed Matter Division European Physical Society, Prague, July 19-23, 2004, Abstract p.126
Shinji Hayashi	Enhanced Raman Scattering Mediated by Metallic Surface-Particle Gap Modes	2nd Int. Nanophotonics Symposium Handai, July 26-28, 2004, Osaka, Abstract p.35
S. Hayashi and T. Konishi	Direct Observation of SERS caused by particle-surface gap Modes	8th Int. Conf. on Near-field Nano Optics and Related Techniques (NFO-8), September 5-9, 2004, Seoul, Abstract p.138
Toshihiro Nakamura, Shinji Hayashi	Enhancement of dye fluorescence by gold particles: analysis of the particle size dependence	8th Int. Conf. on Near-field Nano Optics and Related Techniques (NFO-8), September 5-9, 2004, Seoul, Abstract p.144
Minoru Fujii, Motofumi Usui, Shinji Hayashi, Egon Gross*, Dmitri Kovalev*, Nicolai Kuenzner*, Joachim Diener*, and Victor Yu. Timoshenko*	Singlet Oxygen Formation by the Energy Transfer from Si Nanocrystals	12th International Symposium on Small Particles and Inorganic Clusters (ISSPIC), September 6-10, 2004, Nanjing, China, Abstract A-II-8
Kimihisa Matsumoto, Kenji Imakita, Minoru Fujii, and Shinji Hayashi	Optical properties of Er and Si-nanocrystal co-doped SiO ₂ films at high Er concentration regime	12th International Symposium on Small Particles and Inorganic Clusters (ISSPIC), September 6-10, 2004, Nanjing China, Abstract A-IV-5
Kenji Imakita, Kei Watanabe*, Minoru Fujii, and Shinji Hayashi	The mechanism of energy transfer from Si nanocrystal to erbium ions in SiO ₂	12th International Symposium on Small Particles and Inorganic Clusters (ISSPIC), September 6-10, 2004, Nanjing China, Abstract A-IV-6

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
Hiroshi Tabata, Minoru Fujii, and Shinji Hayashi	Synthesis of polyynes by laser ablation of diamond nanoparticles suspended in solution	12th International Symposium on Small Particles and Organic Clusters (ISSPIC), September 6-10, 2004, Nanjing China, Abstract B-VII-6
Elena Obratsova*, Minoru Fujii, Shinji Hayashi, Kenji Imakita, Kimihisa Matsumoto, Ferenc Simon*, and Hans Kuzmany*	Complex Optical Characterization of Carbon Peapod	Nanotech 2004, Batz sur Mer, France
Minoru Fujii	Generation of Singlet Oxygen at Room Temperature Mediated by Energy Transfer from Si Nanocrystals	2004 MRS fall meeting, Symposium F, November 29-December 3, 2004, Boston, USA, Abstract p.172
Minoru Fujii	Control of Photoluminescence Properties of Si Nanocrystals by Simultaneously Doping n and p type Impurities	2004 MRS fall meeting, Symposium F "Group IV Semiconductor nanostructures", November 29-December 3, 2004, Boston, USA, Abstract p.173
Minoru Fujii	Photoluminescence properties of Rare-earth ions and/or Shallow impurities doped Si nanocrystals	2004 MRS fall meeting, Symposium F, November 29-December 3, 2004, Boston, USA, Abstract p.175
Minoru Fujii	Energy Exchange between Si Nanocrystals and Er ions	2005 MRS spring meeting, Symposium V, March 28- April 1, 2005, San Francisco, USA, Abstract p.510
Toshihiro Nakamura, Minoru Fujii, and Shinji Hayashi	Control of energy transfer from Si nanocrystals to Er ions by altering photonic mode density	2005 MRS spring meeting, March 28- April 1, 2005, San Francisco, USA, Abstract p.510
松本公久, 水野久義, 藤井稔, 林真至	高Er濃度Er/Si/SiO ₂ 混合膜の発光特性	ナノ学会第2回大会, 学術総合センター・一橋記念講堂, 2004年5月9日～5月11日, 予稿集p. 72
田畑博史, 林真至	ダイヤモンドナノ粒子の液相中レーザーアブレーションによるポリインの合成	ナノ学会第2回大会, 学術総合センター・一橋記念講堂, 2004年5月9日～5月11日, 予稿集p. 76
中村俊博, 林真至	金微粒子による色素分子の蛍光増強: 粒径依存性の解析	ナノ学会第2回大会, 学術総合センター・一橋記念講堂, 2004年5月9日～5月11日, 予稿集p. 131
今北健二, 藤井稔, 林真至	Siナノ結晶によるEr ³⁺ の光増感作用	第19回希土類討論会, 大阪大学, 2004年5月23日～5月24日, 予稿集 2A-02
田畑博史, 赤松雅哲, 藤井稔, 林真至	Preparation of an aqueous colloidal solution of fullerenes by laser ablation in water	第27回フラーレン・ナノチューブ総合シンポジウム, 東京大学, 2004年7月28日～7月30日, 予稿集p. 165
松本公久, 今北健二, 藤井稔, 林真至	ErとSiナノ結晶を同時ドーブしたSiO ₂ 薄膜の高Er濃度領域における発光特性	第15回光物性研究会, 京都大学, 2004年12月3日～12月4日, 予稿集 p. 157
井上尚吉, 林真至	SiC微粒子中のfree-carrierと赤外吸収に関する研究	第15回光物性研究会, 京都大学, 2004年12月3日～12月4日, 予稿集 p. 61

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
真名垣暢人, 福島正憲, 藤井稔, 柳久雄, 林真至	Auナノ結晶によるEr ³⁺ ドープSiO ₂ sol-gel薄膜の発光増強	第15回光物性研究会, 京都大学, 2004年12月3日～12月4日, 予稿集 p. 65
山口泰弘, 二宮啓一, 藤井稔, 林真至	不純物ドーピングによるSiナノ結晶の発光特性制御	第15回光物性研究会, 京都大学, 2004年12月3日～12月4日, 予稿集 p. 153
釜口祥治, 藤井稔, 林真至	シリコンナノ結晶を光増感剤とした一重項酸素生成の高効率化に関する研究	第15回光物性研究会, 京都大学, 2004年12月3日～12月4日, 予稿集p. 345
美濃部晋吾, 藤井稔, 林真至, D. Kovalev*	ポーラスシリコンによる一重項酸素生成メカニズムに関する研究	第15回光物性研究会, 京都大学, 2004年12月3日～12月4日, 予稿集 p. 349
藤井稔, 美濃部晋吾, 釜口祥治, 林真至, Egon, Gross*, Joachim Diener*, Dmitri Kovalev*	Siナノ結晶の光増感作用を利用した一重項酸素の生成	第15回日本MRS学術シンポジウム, 日本大学, 2004年12月23日～12月24 日, 予稿集p. 165
藤井稔	Siナノ結晶をベースとする一重項酸素生成光増感剤の開発- 発生メカニズムの解明及び, 化学, 生物, 食品分野への応用 の探求	独立行政法人新エネルギー・産業技 術開発機構, 平成16年度研究助成事 業成果報告会, 東京国際フォーラム , 2005年1月18日～1月19日, 予稿集 pp. 74-79
柏木陽介, 森脇和幸, 神田一浩, 松井真二, 渡辺啓*	放射光照射による石英系光導波路膜の屈折率変化	ニュースバルセミナー2005, イーグ レ姫路, 2005年3月7日
藤井稔, 林真至	Siナノ結晶の光物性と光機能性	神戸大学研究活性化シンポジウム, 神戸大学, 2005年3月9日～3月10日
田畑博史, 林真至	ダイヤモンド粒子の液相中レーザーブレーション	第52回応用物理学関係連合講演会, 埼玉大学, 2005年3月29日～4月1日, 予稿集第3分冊p. 1282
神吉要介, 中村俊博, 林真至	表面プラズモンを介した有機分子間のエネルギー移動	第52回応用物理学関係連合講演会, 埼玉大学, 2005年3月29日～4月1日, 予稿集第3分冊p. 1175
松本公久, 今北健二, 辻路也, 藤井稔, 林真至	窒素をドーピングしたナノSi/SiO ₂ 薄膜の発光特性	第52回応用物理学関係連合講演会, 埼玉大学, 2005年3月29日～4月1日, 予稿集第3分冊p. 1638
三浦智, 今北健二, 藤井稔, 林真至	Siナノ結晶からErイオンへの共鳴エネルギー移動過程	第52回応用物理学関係連合講演会, 埼玉大学, 2005年3月29日～4月1日, 予稿集第3分冊p. 1631
武田英治, 今北健二, 藤井稔, 林真至	AlとSiとEr ³⁺ を含むSiO ₂ 薄膜の光学特性	第52回応用物理学関係連合講演会, 埼玉大学, 2005年3月29日～4月1日, 予稿集第3分冊p. 1631
西村直樹, 福島正憲, 真名垣暢人, 藤井稔, 林真至	NH ₃ ガス処理によるEr ドープSiO ₂ Sol-Gel薄膜の発光増強	第52回応用物理学関係連合講演会, 埼玉大学, 2005年3月29日～4月1日, 予稿集第3分冊p. 1631
小川真人, 籠谷直明, 三好旦六	量子力学的手法に基づくsub-10nmデバイスモデリング	応用物理学会分科会 シリコンテク ノロジー (2004年)
小川真人	量子輸送理論によるナノ構造デバイス汎用シミュレータの開 発	半導体理工学研究センター (STARC) シンポジウム, 201-208 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
浅沼昭彦, 土屋英昭, 三好旦六	ナノスケールMOSFETの電流雑音特性	第65回応用物理学会学術講演会 (2004年)
土屋英昭, 三好旦六	擬似バリスティック輸送下におけるMOSFETの電流駆動力	第65回応用物理学会学術講演会 (2004年)
土屋英昭, 堀野元気, 浅沼昭彦, 三好旦六	ナノスケールDG-MOSFETの擬似バリスティック量子輸送特性	応用物理学会分科会 シリコンテク ノロジー (2004年)
土屋英昭, 高木信一*, 三好旦六	擬似バリスティック輸送下におけるMOSFETの電流駆動力ー電 子電子散乱の影響ー	第52回応用物理学関係連合講演会 (2005年)
土屋英昭, 小田梓, 山根崇史, 小川真人, 三好旦六	量子補正モンテカルロ・分子動力学法による速度飽和の電子 濃度依存性解析	第52回応用物理学関係連合講演会 (2005年)
寺谷佳之, 安藤智宏, 土屋英昭, 三好旦六	第一原理計算によるナノスケールシリコン薄膜の電子状態解 析	第52回応用物理学関係連合講演会 (2005年)
土屋英昭, 小田梓, 三好旦六	ナノスケールMOSFETの電流雑音特性(2)	第52回応用物理学関係連合講演会 (2005年)
T. Kobayashi, A. Nagata, A.D. Prins*, Y. Homma, K. Uchida*, J. Nakahara*	Low Temperature Photoluminescence of GaAs/GaN _P Heterostructures Measured under Hydrostatic Pressure	27th International Conference on the Physics of Semiconductors, H5.182, Flagstaff (2004)
A.D. Prins*, Y. Ishibashi*, S. Sasahara*, J. Nakahara*, M. A. Lourenco*, R. M. Gwilliam*, T. Kobayashi, A. Nagata, K. P. Homewood*	Silicon-Based Light Emitting Diode Material Studied under High Pressure	11th International Conference on High Pressure Semiconductor Physics, MP10, Berkeley (2004)
A.D. Prins*, J.L. Sly*, D.J. Dunstan*, A. Nagata, C. Haslam*, T. Kobayashi	Determination of Ordering Effects on GaInP Pressure Coefficients	11th International Conference on High Pressure Semiconductor Physics, W3.5, Berkeley (2004)
A. Nagata, T. Kobayashi, A.D. Prins*, Y. Homma, K. Uchida*, J. Nakahara*	Excitation and Pressure Effects on Low Temperature Photoluminescence from GaAs/GaN _P Heterostructures	11th International Conference on High Pressure Semiconductor Physics, Th1.6, Berkeley (2004)
永田篤史, Andrew D. Prins*, 小林利彦, 本間康浩	GaAs/秩序構造GaInPヘテロ構造における低温下の発光特性と その励起光と圧力の効果	第45回高圧討論会 1B19 (2004)
石橋康彦*, 笹原真吾*, 永田篤史, 杉本敏和, Andrew D Prins*, 小林利彦, 中原純一郎*	ボロンをイオン注入したシリコンデバイス材料の近赤外発光 と圧力効果	第45回高圧討論会 1P17 (2004)
本間 康浩, 中野 美紀(*)	予習・復習も可能とする電子メールによる成績自動通知シス テムの運用	日本物理学会2004年秋季大会

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
本間康浩, 喜家村裕宣, 緒方岳, 大町千尋, 宇田純郎, 杉本拓也, 一宮亮, 石井恒次, 蔵重久弥, 野崎光昭, 越智敦彦, 武田廣, 石野雅也(*), 竹下徹(*), 大下秀敏(*), 岩崎博行(*), 田中秀治(*), 横山千秋(*)	神戸大学におけるTGC検査の現状	日本物理学会第60回年次大会
R. Naganuma, Y. Harada, T. Kita, O. Wada, *L. Marsal, and *H. Mariette	Anisotropic Magneto-Optical Effects in CdTe/CdMnTe Tilted Superlattices Grown on CdTe _{0.74} Mg _{0.26} Te(001) Vicinal Surface	23th Electronic Materials Symposium, Izu, July 2004
T. Mori, Y. Masuda, H. Seki, K. Matsushita, T. Kita, and O. Wada	1.3 micro-m Emission from Nitridized InAs Quantum Dot	23th Electronic Materials Symposium, Izu, July 2004
長濱崇裕, 高一邦, 喜多隆, 和田修	GaAs(001)に挿入した窒素原子層の創るisoelectronic trap からの狭線幅発光	第65回応用物理学会学術講演会, 1a-P1-3, 2004. 9
森孝嘉, 関浩行, 菊野美緒, 松下和征, 喜多隆, 和田修	原子層窒化によるInAs量子ドット発光の長波長化を波長制御	第65回応用物理学会学術講演会, 1a-P2-4, 2004. 9
関浩行, 森孝嘉, 菊野美緒, 松下和征, 喜多隆, 和田修, *中田義昭, *秋山知之, *江部広治, *菅原充, *荒川泰彦	InAs量子ドット表面の窒化による成長界面の制御	第65回応用物理学会学術講演会, 1a-P2-6, 2004. 9
喜多隆	InAs量子ドット成長のその場RDS評価と界面制御	第65回応用物理学会学術講演会, シ ンポジウム「量子ドットの将来像と 実現のためのマイルストーン」, 2004. 9
永沼良太, 原田幸弘, 喜多隆, 和田修, *L. Marsal, *H. Mariette	CdTe/CdMnTe量子細線における励起子磁気ポーラロンの異方 的なエネルギー緩和特性	日本物理学会2004年秋季大会, 14aYC-3, 2004. 9. 12-9. 15
菊野美緒, 森孝嘉, 関浩行, 松下和征, 水野博司, 清水範彦, 井上知也, 喜多隆, 和田修	原子層窒化によるInAs/GaAs量子ドット発光の長波長化一量 子ドット発光の窒化条件依存性一	第52回応用物理学関係連合講演会, 30a-ZM-1, 2005. 3
松下和征, 井上知也, X. Z. Shang, 森孝嘉, 関浩行, 菊野美緒, 喜多隆, 和田修, *森博太郎, *坂田孝夫, 保田英洋	原子層窒化InAs/GaAs量子ドットの長波長発光メカニズム	第52回応用物理学関係連合講演会, 30a-ZM-3, 2005. 3
田村暢啓, 喜多隆, 和田修, *江部広治, *菅原充, *荒川泰彦, *中田義昭	InAs/GaAsコラヌ量子ドットの発光強度の積層数依存性	第52回応用物理学関係連合講演会, 30a-ZM-8, 2005. 3

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
藤井俊輔, 河井康史, 日野大輔, 柳久雄, 喜多隆, 和田修	低温成長AlNを用いた有機電界放出発光素子	第52回応用物理学関係連合講演会, 30a-YL-12, 2005. 3
福岡憲治, 江川正哲, 浦野俊夫, 本郷昭三	Gs吸着CVDダイヤモンド表面からの電界電子放出特性	第65回応用物理学学会学術講演会 (2004年9月)
近藤謙治, 坂口宗司, 松尾隆司, 本郷昭三, 浦野俊夫	Fe/Si (111) のLEEDパターンの観察とI-V曲線の解析	第45回真空に関する連合講演会 (2004年10月)
谷野博, 香川唯信, 本郷昭三, 浦野俊夫	RHEEDによるSi (111) 面上のFeシリサイド薄膜の観察	第52回応用物理学関係連合講演会 (2005年3月)
近藤謙治, 坂口宗司, 松尾隆司, 本郷昭三, 浦野俊夫	Si (111) 面上におけるFe吸着構造のLEED I-V曲線の解析	第52回応用物理学関係連合講演会 (2005年3月)
中西将之, 小島久輝, 小林 中, 沼 昌宏	OFDM復調用FFTの回路面積削減	DAシンポジウム2004, 221-224 (2004)
飯田貴行, 菅根利文, 岩崎隆広, 井上 宏, 沼 昌宏	機能仕様におけるドントケア条件を考慮した論理診断手法	DAシンポジウム2004, 247-252 (2004)
井上 宏, 菅根利文, 飯田貴行, 沼 昌宏	ブール再代入に基づく論理診断手法	DAシンポジウム2004, 253-258 (2004)
濱田健司, 飯島正章, 福岡一樹, 沼 昌宏, 多田 章	フローティングSOIに対応したリーク電力・面積削減手法	DAシンポジウム2004, 319-324 (2004)
福岡一樹, 飯島正章, 濱田健司, 沼 昌宏, 多田 章	Dual-VDDを用いた低消費電力SOIレイアウト方式	DAシンポジウム2004, 325-330 (2004)
福岡一樹, 飯島正章, 濱田健司, 沼 昌宏, 多田 章	クロック・ゲーティング機構を対象とするリーク電力削減手法	情報処理学会関西支部大会, C-04, 155-158 (2004)
神崎 映光*, 上向 俊晃*, 原 隆浩*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	アドホックネットワークにおける端末数の増減を考慮した TDMAスロット割り当て手法	情報処理学会シンポジウムシリーズ マルチメディア, 分散, 協調とモバ イルシンポジウム(DICOM02002) 論 文集, Vol. 2002, No. 9, pp. 89-92 (July 2002)
中尾 太郎*, 小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	携帯電話上で利用できる仮想空間コミュニケーション支援シ ステム	情報処理学会シンポジウムシリーズ マルチメディア, 分散, 協調とモバ イルシンポジウム(DICOM02002) 論 文集, Vol. 2002, No. 9, pp. 217-220 (July 2002)
岸野 泰恵*, 塚本 昌彦, 坂根 裕*, 西尾 章治郎*	ウェアラブル環境のためのLEDを用いたビジュアルマーカの 実現	情報処理学会シンポジウムシリーズ マルチメディア, 分散, 協調とモバ イルシンポジウム(DICOM02002) 論 文集, Vol. 2002, No. 9, pp. 293-296 (July 2002)
中村 聡史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	DoubleRing: ウェアラブルコンピューティングのためのポイ ンティングデバイス	情報処理学会シンポジウムシリーズ マルチメディア, 分散, 協調とモバ イルシンポジウム(DICOM02002) 論 文集, Vol. 2002, No. 9, pp. 301-304 (July 2002)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
義久 智樹*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	連続メディアデータ放送における単一チャネルを用いた複数データのスケジューリング手法	情報処理学会シンポジウムシリーズマルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム(DICOM02002) 論文集, Vol. 2002, No. 9, pp. 511-514 (July 2002)
早川 敬介*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 義久 智樹*, 岸野 泰恵*, 柏谷 篤*, 坂根 裕*, 西尾 章治郎*	ユビキタスコンピューティングのための入出力制御デバイス	日本ソフトウェア科学会第10回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ(WISS2002), pp. 127-132 (Dec. 2002)
中村 聡史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	コンテンツ流通制御機能をもつウェブコンテンツ共有システム	電子情報通信学会データ工学ワークショップ(DEWS 2003) 論文集(Mar. 2003)
澤井 里枝*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 西尾 章治郎*	フィルタリング関数の和積とその性質	電子情報通信学会データ工学ワークショップ(DEWS 2003) 論文集(Mar. 2003)
義久 智樹*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	再生単位となるデータサイズを考慮したスケジューリング手法	電子情報通信学会データ工学ワークショップ(DEWS 2003) 論文集(Mar. 2003)
小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	放送型サイバースペースにおけるアバタの移動速度を考慮した放送スケジューリング手法	情報処理学会マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム(DICOM0 2003) 論文集, Vol. 2003, No. 9, pp. 325-328 (June 2003)
寺田 努*, 塚本昌彦*, 西尾章治郎*	ウェアラブル生活を豊かにするルールベース環境音楽システム	情報処理学会マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム(DICOM0 2003) 論文集, Vol. 2003, No. 9, pp. 389-392 (June 2003)
中尾 太郎*, 小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	モバイル環境における現実世界に基づく仮想空間の構築フレームワーク	情報処理学会マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム(DICOM0 2003) 論文集, Vol. 2003, No. 9, pp. 489-492 (June 2003)
中村 聡史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ウェブ共有システムにおけるコンテンツ流通制御のための監視機構	情報処理学会マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム(DICOM0 2003) 論文集, Vol. 2003, No. 9, pp. 725-728 (June 2003)
寺田 努*, 塚本 昌彦, 宮前 雅一*, 西尾 章治郎*	ウェアラブル環境のためのルールベースBGMプレーヤについて	日本ソフトウェア科学会第11回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ(WISS 2003) 論文集, pp. 25-30 (Dec. 2003)
中村 聡史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	P2P型ウェブコンテンツ共有における相関性を考慮したキャッシングシステムの実現	電子情報通信学会データ工学ワークショップ(DEWS 2004) 論文集 (Mar. 2004)
澤井 里枝*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 西尾 章治郎*	フィルタリングSQLにおけるフィルタリングの合成と和積について	電子情報通信学会データ工学ワークショップ(DEWS 2004) 論文集 (Mar. 2004)
宮前 雅一*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ウェアラブルコンピューティングのための状況依存アクセス制御機構について	電子情報通信学会データ工学ワークショップ(DEWS 2004) 論文集 (Mar. 2004)
岸野 泰恵*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 西尾 章治郎*	ビジュアルマーカとイベント駆動型小型デバイスによるユビキタス環境の構築について	電子情報通信学会データ工学ワークショップ(DEWS 2004) 論文集 (Mar. 2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
田中 孝浩*, 中尾 太郎*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	街角センサネットワークのデータ収集・管理システムにおける蓄積能力の平均化機構について	電子情報通信学会データ工学ワークショップ(DEWS 2004) 論文集 (Mar. 2004)
三浦 直樹*, 宮前 雅一*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾章治郎*	ウェアラブルコンピューティング環境におけるメールを用いたP2P 型情報共有システム	情報処理学会マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム (DICOMO 2004) 論文集, Vol. 2004, No. 7, pp. 489-492 (July 2004)
小寺 拓也*, 澤井 里枝*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	情報フィルタリングシステムにおける待ちデータ数を考慮した処理方法変換方式	情報処理学会マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム (DICOMO 2004) 論文集, Vol. 2004, No. 7, pp. 539-542 (July 2004)
義久 智樹*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	放送型配信における連続メディアデータのプリフェッチを考慮したスケジューリング手法	情報処理学会マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム (DICOMO 2004) 論文集, Vol. 2004, No. 7, pp. 543-546 (July 2004)
ファン ガ ベト*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ウェアラブル計算環境における会話連動型ウェブ検索システム	ヒューマンインタフェースシンポジウム2004 論文集 (Oct. 2004)
田中 孝浩*, 小川 剛史*, 沼田 哲史*, 板生 知子*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	カメラセンサネットワークにおけるモバイルエージェントを用いた適応的手法選択型人物追跡システムの設計と実装	情報処理学会グループウェアとネットワークサービスワークショップ 2004 論文集, pp. 15-20 (Nov. 2004)
竹川 佳成*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	音域分割機能をもつ小型鍵盤楽器モバイルクラヴィーアIIIの設計と実装	インタラクティブシステムとソフトウェアXII: 日本ソフトウェア科学会WISS2004, pp. 65-70 (Dec. 2004)
義久 智樹*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	プリフェッチを伴う連続メディアデータ放送における放送帯域を考慮したスケジューリング手法	電子情報通信学会データ工学ワークショップ(DEWS 2005) 論文集 (Feb./Mar. 2005)
宮前 雅一*, 中村 聡史*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ウェアラブルコンピューティングのための拡張可能なルール処理システム	情報処理学会研究報告(情報家電コンピューティング研究グループ 2002-IAC-3), pp. 41-46 (June 2002)
澤井 里枝*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 西尾 章治郎*	フィルタリング関数の合成順序について	情報処理学会研究報告(データベースシステム研究会 2002-DBS-128), Vol. 2002, No. 67, pp. 335-342 (July 2002)
塚本 昌彦, 寺田 努*, 早川敬介*, 柏谷 篤*	ルールに基づく入出力制御によるユビキタスコンピューティング	ヒューマンインターフェースシンポジウム(HIS 2002) 論文集, pp. 327-330 (Sept. 2002)
寺田 努*, 塚本 昌彦, 坂根 裕*, 義久 智樹*, 岸野 泰恵*, 早川敬介*, 柏谷 篤*, 西尾 章治郎*	ユビキタスコンピューティングのための入出力制御デバイスの動作記述方式	ヒューマンインターフェースシンポジウム(HIS 2002) 論文集, pp. 331-334 (Sept. 2002)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
早川 敬介*, 柏谷 篤*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 義久 智樹*, 岸野 泰恵*, 坂根 裕*, 西尾 章治郎*	ユビキタスコンピューティングのための入出力デバイスの設計と実装	ヒューマンインターフェースシンポジウム(HIS 2002) 論文集, pp. 335-358 (Sept. 2002)
柳瀬 康宏*, 森田 和延*, 青木 功介*, 釣 裕美*, 高木 越子*, 山本 光穂*, 堀 雅和*, 黒田 卓*, 山西 潤一*, 寺田 努*, 塚本 昌彦	ウェアラブルコンピュータを使用した野外学習支援システムの開発	平成14年度電気関係学会北陸支部連合大会予稿集, p. 229 (Sept. 2002)
義久 智樹*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	早送りを考慮した放送型配信における待ち時間短縮のためのスケジューリング手法	情報処理学会データベースシステム研究会第 129 回, 放送コンピューティング研究グループ第 4 回合同研究発表会研究報告, pp. 57-64 (Jan. 2003)
澤井 里枝*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 西尾 章治郎*	フィルタリング関数の合成と実システムへの適用について	情報処理学会データベースシステム研究会第 129 回, 放送コンピューティング研究グループ第 4 回合同研究発表会研究報告, pp. 75-82 (Jan. 2003)
小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	放送帯域幅と仮想空間内でのユーザの移動速度を考慮した放送型仮想空間システムの提案	情報処理学会研究報告(データベースシステム研究会2003-DBS-129・放送コンピューティング研究グループ2003-BCCgr-4 合同研究発表会), pp. 49-56 (Jan. 2003)
加下 雅一*, 寺田 努*, 原 隆浩*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	放送型データベースシステムにおける適応的問い合わせ処理方式	情報処理学会研究報告(データベースシステム研究会2003-DBS-129・放送コンピューティング研究グループ2003-BCCgr-4 合同研究発表会), pp. 57-64 (Jan. 2003)
中尾 太郎*, 小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	実世界に基づいた仮想空間のモバイル環境での利用について	日本バーチャルリアリティ学会研究報告(サイバースペースと仮想都市研究会), Vol. 8, No. 2, pp. 7-12 (May 2003)
中村 聡史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ウェブコンテンツ共有システムにおけるコンテンツの改ざん防止について	電子情報通信学会データ工学研究会(DE2003-1), Vol. 103, No. 104, pp. 35-40 (2003年6月)
板生 知子*, 塚本 昌彦	ウェアラブル社会プロジェクト: ウェアラブル機器を用いた学会の社会進行	情報処理学会研究報告(ヒューマンインタフェース研究会2003-HI-104), Vol. 2003, No. 69, pp. 5-12 (July 2003)
澤井 里枝*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 西尾 章治郎*	セレクション関数とランキング関数の和積について	情報処理学会研究報告(放送コンピューティング研究グループ2003-BCCgr-5), Vol. 2003, No. BCCgr-5, pp. 33-40 (July 2003)
寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	アクティブデータベースを用いた放送型データ処理システムについて	情報処理学会研究報告(放送コンピューティング研究グループ2003-BCCgr-5), Vol. 2003, No. BCCgr-5, pp. 41-48 (July 2003)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
義久 智樹*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	使用可能なチャネル数を考慮した放送型配信におけるスケジューリング手法	情報処理学会研究報告(データベースシステム研究会2003-DBS-131(I)), pp. 375-381 (July 2003)
澤井 里枝*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 西尾 章治郎*	情報フィルタリングのためのユーザ要求記述言語 FilteringSQLについて	情報処理学会研究報告(データベースシステム研究会2003-DBS-131(I)), pp. 451-458 (July 2003)
小寺 拓也*, 澤井 里枝*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	数学的性質を利用した処理方法最適化機構をもつ情報フィルタリングシステム	情報処理学会研究報告(データベースシステム研究会2003-DBS-131(I)), pp. 459-466 (July 2003)
中尾 太郎*, 小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	実世界に基づいた仮想空間のモバイル環境での利用について	日本バーチャルリアリティ学会研究報告(サイバースペースと仮想都市研究会第6回シンポジウム), 招待論文, Vol. 8, No. 4, pp. 41-46 (Dec. 2003)
義久 智樹*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	データの細分割による効率的な放送スケジュールの作成手法	情報処理学会研究報告(データベースシステム研究会2004-DBS-132・放送コンピューティング研究グループ2004-BCCgr-7 合同研究発表会), Vol. 2004, No. 3, pp. 25-32 (Jan. 2004)
中村 聡史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ウェブ共有環境におけるコンテンツ間の相関性を考慮したキャッシングについて	情報処理学会研究報告(データベースシステム研究会2004-DBS-132・放送コンピューティング研究グループ2004-BCCgr-7 合同研究発表会), Vol. 2004, No. 3, pp. 65-72 (Jan. 2004)
澤井 里枝*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 西尾 章治郎*	フィルタリングSQLにおけるランキングについて	情報処理学会研究報告(データベースシステム研究会2004-DBS-132・放送コンピューティング研究グループ2004-BCCgr-7 合同研究発表会), Vol. 2004, No. 3, pp. 73-80 (Jan. 2004)
庄司 武*, 中村 聡史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ウェアラブル計算環境における環境の変化を考慮した入力インタフェースの構築	情報処理学会研究報告(モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会2004-MBL-28), Vol. 2004, No. 21, pp. 39-46 (Mar. 2004)
竹川 佳成*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	鍵盤を用いたPC用入力インタフェースの設計と実装	情報処理学会研究報告(音楽情報科学研究会 2004-MUS-55), Vol. 2004, No. 41, pp. 27-32 (May 2004)
宮前 雅一*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 平岡 圭介*, 福田 登仁*, 西尾 章治郎*	バイクレース支援のためのイベント駆動型ウェアラブルシステム	情報処理学会研究会報告(モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会2004-MBL-29), Vol. 2004, No. 44, pp. 53-58 (May 2004)
板生 知子*, 塚本 昌彦, 大江 瑞子*	ウェアラブルコンピューティングとファッションの融合に向けた取り組み	情報処理学会研究会報告(モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会2004-MBL-29), Vol. 2004, No. 44, pp. 59-64 (May 2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
岸野 泰恵*, 藤原 礼征*, 田中 敏之*, 下須賀 滋穂*, 義久 智樹*, 塚本 昌彦, 板生 知子*, 大江 瑞子*, 西尾 章治郎*	遠隔制御可能なLEDを用いたアクセサリの実現	情報処理学会研究会報告(モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会2004-MBL-29), Vol. 2004, No. 44, pp. 65-70 (May 2004)
岸野 泰恵*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 義久 智樹*, 早川 敬介*, 柏谷 篤*, 西尾 章治郎*	イベント駆動型入出力制御デバイスのためのネットワークポロジ発見手法	情報処理学会研究報告(ユビキタスコンピューティングシステム研究会2004-UBI-5), Vol. 2004, No. 66, pp. 49-56 (June 2004)
竹川 佳成*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	追加黒鍵をもつ小型鍵盤楽器モバイルクラヴィーアII の設計と実装	情報処理学会研究報告(音楽情報科学研究会2004-MUS-56), Vol. 2004, No. 56, pp. 83-88 (Aug 2004)
宮前 雅一*, 岸野 泰恵*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 平岡 圭介*, 福田 登仁*, 西尾 章治郎*	ウェアラブルコンピュータを用いた万博記念公園ナビゲーションシステムの設計と実装について	情報処理学会研究報告(モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会2004-MBL-30), Vol. 2004, No. 95, pp. 1-8 (Sept. 2004)
宮前 雅一*, 寺田 努*, 岸野 泰恵*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ウェアラブル環境のためのイベント駆動型ナビゲーションプラットフォームについて	” 情報処理学会研究報告(ユビキタスコンピューティングシステム研究会2004-UBI-6), Vol. 2004, No. 112, pp. 51-58 (Nov. 2004)
竹川 佳成*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	歌唱機能をもつ黒鍵追加型小型鍵盤楽器モバイルクラヴィーアIV の設計と実装	” 情報処理学会研究報告(音楽情報科学研究会2004-MUS-57), Vol. 2004, No. 57, pp. 101-106 (Nov. 2004)
沼田 哲史*, 板生 知子*, 小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	Ja-Net on Grid における信頼できないホストのリソース利用を考慮したモバイルエージェントのセキュリティ機構の設計と実装	情報処理学会研究報告(データベースシステム研究会2005-DBS-135・放送コンピューティング研究グループ2005-BCCgr-10 合同研究発表会), Vol. 2005, No. 6, pp. 47-54 (Jan. 2005)
藤井 裕樹, 塚本 昌彦, 義久 智樹*, 西尾 章治郎*, 板生 知子*	複数のウェアラブルカメラの制御システムの設計と実装	ウェアラブルコンピューティング研究会研究報告, 特定非営利活動法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構, Vol. 1, No. 1, pp. 1-8 (Mar. 2005)
宮前 雅一*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ウェアラブルコンピューティングのための拡張可能なイベント駆動型プラットフォーム	ウェアラブルコンピューティング研究会研究報告, 特定非営利活動法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構, Vol. 1, No. 1, pp. 42-49 (Mar. 2005)
竹川 佳成*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 大江 瑞子*, 西尾 章治郎*	小型鍵盤楽器を用いた新たな演出の試み	ウェアラブルコンピューティング研究会研究報告, 特定非営利活動法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構, Vol. 1, No. 1, pp. 52-59 (Mar. 2005)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
青木 泰人, 塚本 昌彦, 義久 智樹*, 西尾 章治郎*	ロータリーエンコーダを用いたポインティング方式の設計と実装	ウェアラブルコンピューティング研究会研究報告, 特定非営利活動法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構, Vol. 1, No. 1, pp. 60-67 (Mar. 2005)
岸野 泰恵*, 宮前 雅一*, 塚本 昌彦, 大江 瑞子*, 西尾 章治郎*	筆と連携するウェアラブルファッションの実現	ウェアラブルコンピューティング研究会研究報告, 特定非営利活動法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構, Vol. 1, No. 1, pp. 68-73 (Mar. 2005)
小川 樹幸, 塚本 昌彦, 義久 智樹*, 西尾 章治郎*	カメラと加速度センサを用いたポインティング方式の設計と実装	ウェアラブルコンピューティング研究会研究報告, 特定非営利活動法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構, Vol. 1, No. 1, pp. 78-85 (Mar. 2005)
塚本 昌彦, 寺田 努*, 早川敬介*, 柏谷 篤*	ユビキタスコンピューティングを実現するためのルールに基づく入出力デバイス	情報科学技術フォーラム (FIT 2002) 論文集第4分冊, pp. 195-196 (Sept. 2002)
寺田 努*, 塚本 昌彦, 坂根 裕*, 義久 智樹*, 岸野 泰恵*, 早川敬介*, 柏谷 篤*, 西尾 章治郎*	ユビキタスコンピューティングのための入出力制御デバイスの動作記述言語	情報科学技術フォーラム (FIT 2002) 論文集第4分冊, pp. 197-198 (Sept. 2002)
早川敬介*, 柏谷 篤*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 義久 智樹*, 岸野 泰恵*, 西尾 章治郎*	ユビキタスコンピューティングのための入出力制御デバイスのハードウェアアーキテクチャ	情報科学技術フォーラム (FIT 2002) 論文集第4分冊, pp. 199-200 (Sept. 2002)
義久 智樹*, 塚本 昌彦, 坂根 裕*, 寺田 努*, 岸野 泰恵*, 早川敬介*, 柏谷 篤*, 西尾 章治郎*	ユビキタスコンピューティングのための入出力制御デバイスのソフトウェアアーキテクチャ	情報科学技術フォーラム (FIT 2002) 論文集第4分冊, pp. 201-202 (Sept. 2002)
岸野 泰恵*, 義久 智樹*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 坂根 裕*, 早川敬介*, 柏谷 篤*, 西尾 章治郎*	ユビキタスコンピューティングのための入出力デバイスのPC統合環境	情報科学技術フォーラム (FIT 2002) 論文集第4分冊, pp. 203-204 (Sept. 2002)
塚本 昌彦, 寺田 努*, 堀 雅和*	ウェアラブルコンピューティングのためのシステム基盤	情報科学技術フォーラム (FIT 2002) 論文集第4分冊, pp. 213-214 (Sept. 2002)
宮前 雅一*, 中村 聡史*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 橋本隆之*, 青木功介*, 堀 雅和*, 西尾 章治郎*	ウェアラブルコンピューティングのためのルール処理システムの設計と実装	情報科学技術フォーラム (FIT 2002) 論文集第4分冊, pp. 215-216 (Sept. 2002)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
中村 聡史*, 宮前 雅一*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 柳瀬 康宏*, 釣 博美*, 堀 雅和*, 西尾 章治郎*	ウェアラブルコンピューティングのためのルール処理システムを用いたサービス	情報科学技術フォーラム (FIT 2002) 論文集第4分冊, pp. 217-218 (Sept. 2002)
岸野 泰恵*, 塚本 昌彦, 義久 智樹*, 西尾 章治郎*	ファッション・コミュニケーションのためのLED を用いた装着型デバイス	情報処理学会 第65回全国大会論文集, Vol. 5, pp.191-194 (Mar. 2003)
三浦 直樹*, 宮前 雅一*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	Aware-Mail: ウェアラブルコンピューティング環境のためのイベント駆動型メールシステム	情報処理学会 第65回全国大会論文集, Vol. 5, pp.207-210 (Mar. 2003)
中尾 太郎*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 宮前 雅一*, 庄司 武*, 岸野 泰恵*, 義久 智樹*, 西尾 章治郎*	ウェアラブル型ルールベースシステムを用いた農作業支援システム	情報処理学会 第65回全国大会論文集, Vol. 5, pp.211-214 (Mar. 2003)
塚本 昌彦	エンタテインメント型ウェアラブル・ユビキタス環境	電子情報通信学会総合大会 (Mar. 2003)
宮前 雅一*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	ウェアラブルコンピューティング環境におけるイベント駆動型サービスの開発支援環境	情報科学技術フォーラム (FIT 2003) 論文集, Vol. 4, pp. 69-70 (Sept. 2003)
早川 敬介*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 義久 智樹*, 岸野 泰恵*, 柏谷 篤*, 西尾 章治郎*	イベント駆動型のユビキタスシステムへのアプローチ	情報科学技術フォーラム (FIT 2003) 論文集, Vol. 4, pp. 247-248 (Sept. 2003)
板生 知子*, 塚本 昌彦, 山本 淳*, 田中 聡*	高度ユビキタス環境のためのJa-Netアーキテクチャ	電子情報通信学会2004年総合大会通信講演論文集1, p. 488 (Mar. 2004)
義久 智樹*, 板生 知子*, 岸野 泰恵*, 沼田 哲史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	小型センシングデバイス制御のためのMicro Ja-Netプロトコル	電子情報通信学会2004年総合大会通信講演論文集1, p. 490 (Mar. 2004)
岸野 泰恵*, 義久 智樹*, 沼田 哲史*, 板生 知子*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	高度ユビキタス環境のためのマイクロジャネットデバイス	電子情報通信学会2004年総合大会通信講演論文集1, p. 491 (Mar. 2004)
沼田 哲史*, 板生 知子*, 小川 剛史*, 塚本 昌彦, 西尾 章治郎*	動的なグリッド環境における適応的なリソース配分のためのモバイルエージェントシステム Ja-Net on Grid	電子情報通信学会2004年総合大会通信講演論文集1, p. 491 (Mar. 2004)
寺田 努*, 塚本 昌彦, 祐成 光樹*, 田口 大悟*	ユビキタス環境構築のためのイベント駆動型小型デバイス AhroD	電子情報通信学会2005 年総合大会基礎・境界講演論文集, p. 358 (Mar. 2005)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
祐成 光樹*, 義久 智樹*, 田口大悟*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 柏谷 篤*, 西尾 章治郎*	イベント駆動型小型デバイス AhroD のためのBluetooth 無線通信ユニットの開発	電子情報通信学会2005 年総合大会 基礎・境界講演論文集, p. 359 (Mar. 2005)
義久智樹*, 塚本 昌彦, 寺田 努*, 岸野 泰恵*, 祐成 光樹*, 田口 大悟*, 西尾 章治郎*	イベント駆動型小型デバイスAhroD によるストリームデータ 処理手法	電子情報通信学会2005 年総合大会 基礎・境界講演論文集, p. 360 (Mar. 2005)
岸野 泰恵*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 義久 智樹*, 祐成 光樹*, 田口 大悟*, 西尾 章治郎*, 柏谷 篤*	イベント駆動型小型デバイスAhroD のための通信エラーを考 慮したトポロジ発見手法	電子情報通信学会2005 年総合大会 基礎・境界講演論文集, p. 361 (Mar. 2005)
相良 亮平*, 義久 智樹*, 岸野 泰恵*, 寺田 努*, 塚本 昌彦, 祐成 光樹*, 田口 大悟*, 西尾 章治郎*	イベント駆動型小型デバイスAhroD のためのアプリケーショ ン開発環境	電子情報通信学会2005 年総合大会 基礎・境界講演論文集, p. 362 (Mar. 2005)
塚本 昌彦	実践的ウェアラブルコンピューティングの取り組み	ACM SIGMOD日本支部 第21回大会 「 モバイルコンテンツとウェアラブル コンピューティング」および「 ICDE2002国際会議報告」, 学術総合 センター, 東京 (Apr. 4, 2002)
塚本 昌彦	SmartSpace	電子情報通信学会関西支部専門講習 会「ユビキタス・シームレスネット ワークの最新動向」, 中央電気倶楽 部, 大阪 (Sept. 9, 2002)
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティングとGIS	東京大学空間情報科学研究センター 第5回シンポジウム, 東京大学山上 会館, 東京 (Sept. 20, 2003)
塚本 昌彦	ウェアラブルとユビキタスの統合に向けて	大阪大学イノベーション創出セミナ ー, 大阪大学先導的研究オープンセ ンター, 大阪 (Nov. 12, 2002)
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティングの実践	ウェアラブルコンピュータ&HMD体感 セミナー, 島津製作所東京支社, 東 京 (Nov. 28, 2002)
塚本 昌彦	ウェアラブル・ユビキタスコンピューティング	近畿経済産業局KISS最先端技術セミ ナー (Dec. 17, 2002)
塚本 昌彦	ウェアラブルとユビキタスの統合	豊中商工会議所地域産業情報化研究 会, 豊中商工会議所, 大阪 (Jan. 30, 2003)
塚本 昌彦	コンピュータを着て暮らす	日本印刷技術協会 PAGE2003 基調講 演, 池袋サンシャインシティプリ ンホテル, 東京 (Feb. 25, 2003)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
塚本 昌彦	コミュニケーション研究の新しい流れ - エンターテインメントコンピューティング	電子情報通信学会総合大会 ヒューマンインタフェース部会 招待講演, 東北大学川内キャンパス, 宮城 (Mar. 19, 2003)
塚本 昌彦	実践的ウェアラブルコンピューティング	イメージ情報科学研究所 第11回ウェアラブルコンピュータ実利用化研究会, 大阪産業創造館, 大阪 (Mar. 15, 2003)
塚本 昌彦	ウェアラブルに向かうユビキタス時代の携帯端末	日本能率学会 第5次後期MC&C研究会, pp. 1-9, 東京プリンスホテル, 東京 (Mar. 22, 2003)
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティング急展開の可能性	関西市民情報文化研究会 (Apr. 9, 2003)
塚本 昌彦	ウェアラブルケータイ・ウェアラブルカーナビ	日本人間工学会 ケータイ・カーナビの利用性と人間工学, 大阪大学コンベンションセンター, 大阪 (Apr. 24, 2003)
塚本 昌彦	総論	電子情報通信学会関西支部「情報通信基礎講座」 第一回ユビキタスネットワークを支える基盤技術とその応用コース, 中央電気倶楽部, 大阪 (May 10, 2003)
塚本 昌彦	ユビキタス情報社会に対応したウェアラブル情報端末と利用APの動向	日立ITユーザ会 インターネットビジネス分科会 (May 27, 2003)
塚本 昌彦	ウェアラブルライフによって見えてきたウェアラブルケータイの可能性	MCF (Mobile Contents Forum) セミナー 「テレマティックスとウェアラブルケータイの可能性」 (May 27, 2003)
塚本 昌彦	服コンピュータ最新動向	大阪産業創造館 2003年第一回服コンピュータラボ研究会 (July 22, 2003)
塚本 昌彦, 寺田 努*	ユビキタス社会とウェアラブルコンピューター	大阪YMCAミーティング (Aug. 2003)
塚本 昌彦	ゲームプロデュースのための基礎知識 ～人工知能の限界からウェアラブル・ユビキタスゲームの可能性まで～	コンピュータエンターテイメント協会 CESA DEVELOPERS CONF. (CEDEC 2003), 明治大学 リバティタワー, 東京 (Sept. 5, 2003)
塚本 昌彦	コンピュータを着る時代がやってくる	大阪大学開放講座, 大阪大学Σホール, 大阪 (Oct. 21, 2003)
岸野 文郎*, 塚本 昌彦	日常生活を豊かに面白くするコンピュータ技術	生産技術振興協会 ハイテク推進セミナー 日常生活を豊かにするコンピュータ技術, 大阪大学銀杏会館, 大阪 (Oct. 22, 2003)
塚本 昌彦	ユビキタス社会を支えるウェアラブルコンピューティング	センシング技術応用セミナー センシングが支えるユビキタス社会, インテックス大阪 コスモスクエア国際交流センター, 大阪 (Oct. 22, 2003)
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティングによる近未来生活革命 ～ユビキタス社会をいざどる機能とファッションのフュージョン～	全国IBMユーザー研究会連合会The 14th iSUC in Sapporo IMAGINE 君とつながる世界 オープニング基調講演, 札幌コンベンションセンター, 札幌 (Nov. 12, 2003)

著者名（*は学外研究者）	学術講演題目	講演会名（年）
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティングとユビキタスコンピューティング	先端技術普及セミナー・京都先端技術研究会特別講演会 ウェアラブルコンピューティングとユビキタスコンピューティング ～空気のように、当たり前コンピューターのある社会を実現～，京都市，京都先端技術研究会 主催，京都市産業技術研究所工業技術センター，京都（Nov. 25, 2003）
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティング：装着型コンピュータによって変わる現場	第21回日本麻酔・集中治療テクノロジー学会 特別講演，千里ライフサイエンスセンター，大阪（Dec. 6, 2003）
塚本 昌彦	歩行者用ITSシステムとウェアラブルコンピューティング	平成15年度第3回KIPA「ITSセミナー」，関西ITS推進協議会（KIPA），社団法人関西経済連合会 主催，関西経済連合会会議室 中之島センタービル，大阪（Dec. 17, 2003）
塚本 昌彦	ユニバーサル・ユビキタスサービスのためのウェアラブルコンピューティング	2004年情報学シンポジウム 招待講演，日本学術会議講堂，東京（Jan. 16, 2004）
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティングの産業立ち上げについて	大阪大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 平成15年度第2回VBL公開教育セミナー 君たちも未来の企業家，大阪大学先導的研究オープンセンター，大阪（Jan. 21, 2004）
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティングの現状と将来の可能性	マルチメディア振興センター Eジャパン協議会 ユビキタスサービス研究会 講演，関西電力会議室，大阪（Feb. 12, 2004）
塚本 昌彦	ユビキタス社会の本格化とそれに伴うコンテンツ流通の重要性並びにコンテンツ流通市場の可能性について	データベース振興センター gコンテンツ流通概要説明会 特別講演，TEPIAホール，東京（Mar. 5, 2004）
塚本 昌彦	ユビキタスとウェアラブルの統合する世界	読売新聞社 読売ITフォーラム 「ブロードバンドが変える私たちの社会」，朝日生命ホール，東京（Mar. 2, 2004）
塚本 昌彦	ウェアラブルは今年立ち上『げ』る	関西IT共同体 The IT Cluster Forum 2004 情報系クラスター振興プロジェクト総集編とお気軽交流会，ホテルニューオータニ大阪，大阪（Mar. 8, 2004）
塚本 昌彦	PDA新時代の幕開け～ウェアラブル・ユビキタス時代に向けて～	Windows Mobile Fan Festa 2004，東京ファッションタウン，有明（Apr. 10, 2004）
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティングの現状と未来	第11回KNS産業クラスター研究会，Mebic扇町会議室，大阪（Apr. 28, 2004）
塚本 昌彦	ウェアラブル・ユビキタス社会の展望	関西IBMユーザー研究会 「IT研究会フォーラム」，大阪産業創造館（May 11, 2004）

著者名（*は学外研究者）	学術講演題目	講演会名（年）
塚本 昌彦	総論	情報通信技術基礎講座第2回ユビキタスネットワークを支える基盤技術とその応用コース，中央電気倶楽部（May 15, 2004）
塚本 昌彦	ウェアラブル・ユビキタス時代の音楽利用	日本サウundsケープ協会 シンポジウム「ユビキタス社会のサウundsケープ」，キャンパスプラザ京都（May 30, 2004）
塚本 昌彦	ウェアラブルとユビキタスの統合による新しい社会と生活	つくばスマートコリドール構想推進協議会情報提供事業，つくば国際会議場中ホール，筑波（July 6, 2004）
塚本 昌彦	ウェアラブル・ユビキタス時代の到来	日本航空宇宙工業会関西支部総会，島津製作所，京都（July 10, 2004）
塚本 昌彦	ウェアラブルで行こう！	PiTaPa グーパス記念講演会，ヒルトンホテル大阪，大阪（July 27, 2004）
塚本 昌彦	ユビキタス関西の実現に向けて	ユビキタス関西平成16年度「関西IT合同会議」プログラム基調講演，兵庫県民会館，兵庫（Sept. 2, 2004）
塚本 昌彦	ウェアラブルで行こう！～暮らしを変えるコンピュータの新しい使い方～	第16回NSUGシンポジウム，（財）機械産業記念事業財団TEPIA，東京（Sept. 3, 2004）
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティングが開く障害者の未来	大阪府ITステーション推進委員会，大阪府ITステーション，大阪（Sept. 14, 2004）
塚本 昌彦	小さなコンピュータがもたらす大きな未来	大阪府「第2回共に生きる障害者展」文化芸術展，国際障害者交流センター，大阪（Sept. 25, 2004）
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティングのためのルール処理エンジンA-WEAR	イノベーションジャパンビジネスプレゼンテーション，東京国際フォーラム，東京（Sept. 30, 2004）
塚本 昌彦	ユビキタスサービスの展望	日本OR学会2004年度第2回ORセミナー『ユビキタス・サービス』，（株）構造計画研究所本所新館地下一階レクチャールーム，東京（Nov. 9, 2004）
塚本 昌彦	ウェアラブルで行こう～ウェアラブルとユビキタスの統合による新しい文化創造に向けて～	国立民族学博物館共同研究会「ユビキタス社会の物と家庭にかんする研究会」，国立民族学博物館，吹田（Dec. 4, 2004）
塚本 昌彦	暮らしの中のユビキタスセンシングとウェアラブルコンピューティングについて	計測展2004 OSAKA，グランキューブ大阪，大阪（Dec. 10, 2004）
塚本 昌彦	ウェアラブルで行こう～ウェアラブルとユビキタスによる生活大革命～	東北大学電気通信研究所共同プロジェクト研究「ユビキタス共有空間のための知的コミュニケーションに関する研究」研究会，東北大学電気通信研究所，仙台（Dec. 22, 2004）

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
塚本 昌彦	ウェアラブル・ユビキタス時代のビジネスチャンス	神戸大学ベンチャービジネスラボラトリ「平成16 年度成果報告会」, 神戸大学瀧川記念学術交流会館大会議室 (2 階), 神戸 (Jan. 14, 2005)
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピュータによるネットワーク利用	JGNシンポジウム2005 in 大阪, 大阪国際会議場, 大阪 (Jan. 17, 2005)
塚本 昌彦	LBCS とウェアラブル	北海道経済産業局全国キャラバン北海道講演会, 北海道経済産業局, 北海道 (Feb. 3, 2005)
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティングの可能性	情報通信ネットワーク産業協会ウェアラブル調査研究ワーキンググループ, 東京サンケイビル大手町, 東京 (Feb. 8, 2005)
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピュータ	自動車技術会マルチメディア部門委員会, 自動車会館ビル小会議室, 東京 (Feb. 25, 2005)
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューターの歴史と未来について	防衛庁生物兵器対処セミナー, 防衛庁本庁, 東京 (Mar. 14, 2005)
塚本 昌彦	チームつかもとウェアラブルコンピュータ安全性検討委員会報告	第1 回ウェアラブルコンピューティング研究会, 特定非営利活動法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構, 上田安子服飾専門学校, 大阪市 (Mar. 16, 2005)
塚本 昌彦	ウェアラブルコンピューティングの過去・現在・そして未来	関西IT 共同体平成16 年度情報系クラスター振興プロジェクト成果報告会, 関西発近未来のIT, セッション「夢のウェアラブルコンピューティング」, 帝国ホテル, 大阪市 (Mar. 17, 2005)
田川聖治, 山本哲也, 井垣努*, 関俊一*	今西進化論に基づく遺伝的アルゴリズムによる弾性表面波フィルタの最適設計	平成16年度電気学会電子・情報・システム部門大会 (2004)
高橋健太, 田川聖治, 井上克己	大規模最適化問題に対する分割局所探索法	第48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
井ノ口鉦三, 牛越大輔, 田川聖治, 井上克己	神経回路網の構造最適化	第48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
Hidenori Kuwakado, Hatsukazu Tanaka	Secure of the Length-Preserving All-or-Nothing Transform	Computer Security Symposium 2004 (2004)
Hidenori Kuwakado, Hatsukazu Tanaka	Fail-Stop Signature Scheme Based on the One-Way Permutaion	27th Symposium on Information Theory and its Applications (2004)
Minoru Kuribayashi, Hatsukazu Tanaka	A Key Generation Method for Broadcasting System with Expiration Date	27th Symposium on Information Theory and its Applications (2004)
Minoru Kuribayashi, Hatsukazu Tanaka	On the Generation of Cyclic Sets from Cyclic Codes	27th Symposium on Information Theory and its Applications (2004)
久永隆治, 栗林稔, 田中初一	幾何学的歪み補正を用いた電子透かし検出能力の改善法	第27回情報理論とその応用シンポジウム (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
新名麗, 栗林稔, 田中初一	分散サーバを利用したコンテンツの不正配布立証可能な電子指紋方式	第27回情報理論とその応用シンポジウム (2004)
浜英樹, 田中初一	Viterbiアルゴリズムと階層構造を併用した原始二元BCH符号の軟判定復号法	第27回情報理論とその応用シンポジウム (2004)
Minoru Kuribayashi, Hatsukazu Tanaka	Key Generation Scheme for Broadcast Encryption Exploiting Chaotic Sequences	2005 Symposium on Cryptography and Information Security (2005)
Hatsukazu Tanaka	Identity-Based Non-Interactive Key Sharing Equivalent to RSA Deciphering	2005 Symposium on Cryptography and Information Security (2005)
藤井隆志, 栗林稔, 田中初一	DCT係数の大きさに応じた電子透かし方式	2005年電子情報通信学会総合大会 (2005)
Minoru Kuribayashi, Hatsukazu Tanaka	Fingerprinting Protocol Based on Key Management	2005 IEICE General Conference (2005)
山口一章, 榊原芳恵, 増田澄男	Comparability supergraph を用いた最大重みクリーク問題の厳密解法	電子情報通信学会コンピュータシミュレーション研究会 (2004)
舟川国男, 阿部昇, 山口一章, 増田澄男	地点の消去を許す場合の地図ラベル配置アルゴリズム	平成16年度情報処理学会関西支部支部大会 (2004)
伊吉邦章, 山口一章, 増田澄男	二次元点パターンマッチング問題に対する一手法の提案	平成16年電気関係学会関西支部連合大会 (2004)
牟禮幸雄, 山口一章, 増田澄男	グラフの構造の簡略化による最短経路探索問題の解法の高速度化	平成16年電気関係学会関西支部連合大会 (2004)
榊原芳恵, 山口一章, 増田澄男	Comparability subgraph の抽出に関する一考察	平成16年電気関係学会関西支部連合大会 (2004)
山田岳志, 増田澄男, 山口一章	複数の位置からの頂点移動を行うグラフ描画アルゴリズム	平成16年電気関係学会関西支部連合大会 (2004)
大森和貴, 増田澄男, 山口一章	引出し線を用いた地図ラベル配置アルゴリズム	電子情報通信学会コンピュータシミュレーション研究会 (2005)
阿部昇, 増田澄男, 山口一章	優先度付き地図ラベル配置問題に対するラベル候補作成法	2005年電子情報通信学会総合大会 (2005)
浅田信浩, 増田澄男, 山口一章	グラフ描画アルゴリズムに基づいたデフォルメ路線図作成法	2005年電子情報通信学会総合大会 (2005)
阪本聡良, 増田澄男, 山口一章	頂点がグループ分けされた階層的グラフの描画法	2005年電子情報通信学会総合大会 (2005)
熊野達夫, 山口一章, 増田澄男	地理データに対する領域管理手法の実験的評価	2005年電子情報通信学会総合大会 (2005)
所 憲, 山口一章, 増田澄男	類似検索手法TLAESAの改良	2005年電子情報通信学会総合大会 (2005)
上田晃平, 増田澄男, 山口一章	グラフ描画アルゴリズムにおける頂点移動方法の改良	電子情報通信学会関西支部第10回学生会研究発表講演会 (2005)
岩田香代, 山口一章, 増田澄男	候補の絞り込みによる画像検索手法の高速度化	電子情報通信学会関西支部第10回学生会研究発表講演会 (2005)
頭師賢太郎, 山口一章, 増田澄男	分数彩色を用いた最大クリーク問題の近似解法	電子情報通信学会関西支部第10回学生会研究発表講演会 (2005)
並木宏徳*, 日下貴之*, 竹野裕正, 卜部啓*, 緒方雄二*, 大野一樹*	Easy-break Concrete におけるマイクロ波照射による炭素繊維加熱特性	日本材料学会第53期学術講演会 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
竹野裕正, 田林準史, 中本聡, 八坂保能, 並木宏徳*	Easy-break Concrete における導電材混入効果の解析実験	日本材料学会第53期学術講演会 (2004)
並木宏徳*, 日下貴之*, 竹野裕正, ト部啓*, 緒方雄二*, 大野一樹*	Easy-break Concrete におけるマイクロ波照射による起爆特性	平成16年度土木学会関西支部年次学術講演会 (2004)
竹野裕正, 栄敦司, 田林準史, 西尾英剛, 中本聡, 並木宏徳*	Easy-break Concrete における導電材の混入条件の最適化	平成16年度土木学会関西支部年次学術講演会 (2004)
竹野裕正, 西川徳光, 田林準史, 中本聡, 八坂保能, 辻正哲*, ト部啓*, 並木宏徳*	赤外線サーモグラフィ法へのマイクロ波加熱の適用に関する基礎研究	土木学会第59回年次学術講演会 (2004)
小林祐紀*, 宮野雄一朗*, 辻正哲*, 並木宏徳*, 竹野裕正	赤外線サーモグラフィ法による欠陥・鉄筋探査へのマイクロ波加熱の適用性に関する研究	土木学会第59回年次学術講演会 (2004)
並木宏徳*, 日下貴之*, 竹野裕正, ト部啓*, 緒方雄二*	Easy-break Concrete におけるマイクロ波照射による微小領域の爆破	土木学会第59回年次学術講演会 (2004)
竹野裕正, 辻正哲*, 並木宏徳*, 大野一樹*	マイクロ波照射による材料の欠陥検出	日本材料学会 複合材料部門委員会 「寿命制御コンクリート」平成16年 度第1回研究会 (2004)
八坂保能, 切山勇介, 山本宗, 杉原康平, 竹野裕正	カスプ型直接エネルギー変換における粒子分離模擬実験II	プラズマ・核融合学会第21回年会 (2004)
竹野裕正, 杉原康平, 山本宗, 切山勇介, 八坂保能	進行波型直接エネルギー変換の模擬実験IX	プラズマ・核融合学会第21回年会 (2004)
竹中昌弘, 竹野裕正, 辻正哲*	マイクロ波照射によるコンクリート内部の欠陥検出の基礎実験	日本材料学会 複合材料部門委員会 「寿命制御コンクリート」平成16年 度第2回研究会 (2004)
田林準史, 竹野裕正	マイクロ波照射時の導電材接触点の加熱機構解析	日本材料学会 複合材料部門委員会 「寿命制御コンクリート」平成16年 度第2回研究会 (2004)
杉原康平, 山本宗, 切山勇介, 竹野裕正, 八坂保能	進行波型直接エネルギー変換の模擬実験における高調波の抑制	平成16年電気関係学会関西支部連合 大会 (2004)
栄敦司, 玉井陽一郎, 宮本雄次, 八坂保能, 大門克也*, 林亜美*	プロセス用プラズマ源の開発のためのFDTD法による電磁界解析	平成16年電気関係学会関西支部連合 大会 (2004)
西川徳光, 田林準史, 竹野裕正, 八坂保能, 辻正哲*, 並木宏徳*	マイクロ波照射によるコンクリート内部の欠陥探索法の物理機構解析	平成16年電気関係学会関西支部連合 大会 (2004)
山本宗, 杉原康平, 切山勇介, 八坂保能, 竹野裕正	カスプ型直接エネルギー変換における荷電粒子分離の模擬実験	平成16年電気関係学会関西支部連合 大会 (2004)
木村周作, 吉村源, 米森秀登, 八坂保能	超高速MOSFETを用いた高周波インバータの試作とスイッチング特性	パワーエレクトロニクス学会創設記 念大会 (2004)
吉村源, 米森秀登, 八坂保能	高周波インバータの試作実験と超高速MOSFETのスイッチング特性	平成16年電気関係学会関西支部連合 大会 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
川上雄, 福田博也, 米森秀登, 八坂保能	並列多重化3レベルインバータのデジタル予見最適制御による電流リプル低減法	電気学会半導体電力変換研究会 (2005)
門屋章之, 本多正徳, 米森秀登, 八坂保能	SMESを併用するPEFC分散電源の実用化についての検討-実測デマンド値を用いたシミュレーション	電気学会半導体電力変換研究会 (2005)
竹野裕正, 西川徳光, 田林準史, 八坂保能, 小林祐紀*, 辻正哲*, 大野一樹*, 並木宏徳*, 三谷友彦*, 篠原真毅*, 橋本弘藏*	マイクロ波照射によるコンクリート内部の欠陥及び鉄筋の検出基礎実験	電子情報通信学会 第8回 宇宙太陽発電時限研究専門委員会研究会 (2005)
竹野裕正, 辻正哲*, 並木宏徳*, 大野一樹*	マイクロ波照射によるコンクリート内部の欠陥検出の基礎実験II	日本材料学会 複合材料部門委員会「寿命制御コンクリート」平成16年度第3回研究会 (2005)
西川徳光, 竹中昌弘, 竹野裕正, 八坂保能, 辻正哲*, 小林祐紀*, 並木宏徳*, 大野一樹*	マイクロ波照射によるコンクリート内欠陥検出法の基礎研究	平成17年電気学会全国大会 (2005)
桧垣浩之*, 市村真*, 中込賢一郎*, 山口裕資*, 柿本真吾*, 井出幸平*, 井上大輔*, 根本健樹*, 北條仁士*, 長照二*, 竹野裕正, 八坂保能	高イオン温度ミラープラズマにおける電子ドリフト波の特性	日本物理学会 第60回年次大会 (2005)
嶋村亮宏*, 北條仁士*, 内田直人*, 八坂保能, 間瀬淳*	不均一プラズマにおける表面波励起シミュレーション	日本物理学会 第60回年次大会 (2005)
北條仁士*, 嶋村亮宏*, 内田直人*, 八坂保能, 間瀬淳*	表面波はどこで強く励起されるのか?	第52回応用物理学関係連合講演会 (2005)
片桐慎也, 阿部重夫	超円を用いたサポートベクトルマシンによる追加学習	第48回システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集, 427-428 (2004)
山崎哲也, 阿部重夫	高速カーネル主成分分析を用いた特徴抽出	第48回システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集, 429-430 (2004)
松岡幹泰, 小澤誠一, 阿部重夫	RBFネットワークを用いたメモリベース強化学習アルゴリズム	48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
小田梓, 小澤誠一, 阿部重夫	特徴空間のオンライン学習に関する研究	48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
木村星介, 小澤誠一, 阿部重夫	追加学習可能な顔認識システムとその性能改善	48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
小澤誠一	ニューラルネットの追加学習とその応用	平成15年度電気関係学会関西支部連合大会 (2004)
村田真*, 小澤 誠一	マクロアクション生成機能をもつメモリベース強化学習アルゴリズム	第17回自律分散システム・シンポジウム (2005)
喜多伸次*, 前川聡*, 小澤誠一, 阿部重夫	カーネルパラメータの選択メカニズムをもつブースティングカーネル判別分析法	第32回知能システムシンポジウム (2005)
山本裕樹, 吉村元秀, 阿部重夫	摂動最適化によるテクスチャ画像の進化的領域分割手法の開発	48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)

著者名（*は学外研究者）	学術講演題目	講演会名（年）
川村典明, 吉村元秀, 阿部重夫	スケール変化に柔らかな画像パターン検索手法	第10回画像センシングシンポジウム

3.3 機械工学科

教 授

蔦原道久, 竹中信幸, [藤井照重], [平澤茂樹], 富山明男, 富田佳宏,
中井善一, 保田英洋, 大前伸夫, 大須賀公一, 神吉 博, 森脇俊道,
白瀬敬一, 田浦俊春

助教授・講師

片岡 武, 浅野 等, 能登勝久, 細川茂雄, 長谷部忠司, 屋代如月,
田中 拓, 田中章順, 藤居義和, 田川雅人, 深尾隆則, 安達和彦,
松田光正, 柴坂敏郎, 鈴木浩文, 大倉和博

助 手

田中隆治, 宋 明良, 日和千秋, 塩澤大輝, 木之下博, 川西通裕,
中本圭一, 阪口龍彦

機械工学科で行うべき教育・研究分野は、産業構造や社会構造の大幅な変化に呼応して飛躍的に拡大すると同時に先鋭化している。生産方式においては、労働力主体型から知能・技術・設備主体型への移行、宇宙・深海・大深度地下などへの人間の居住空間の拡大、高齢化に伴う高福祉社会への移行に即した新技術分野の開発、地球環境問題に対応した新エネルギーシステム技術の開発、さらにはバイオ工学・マイクロマシン・医療工学の分野、電気・電子工学、システム技術、情報処理工学、知能化技術等への機械工学の応用も急速に進みつつある。

機械工学科は、創造性および国際性豊かな研究者・技術者を育成するため、(1)流体エネルギーおよび熱エネルギーの生成機構と輸送メカニズムを解明するとともに、環境を考えた広い立場から教育研究を行う“熱流体講座(応用流体力学、混相熱流体力学、エネルギー変換工学、エネルギー環境工学研究分野)”, (2)固体の構造、組成、力学特性等を理論的及び実験的に解明し、その機能・強度・安定性の評価を行うとともに、表面及び界面の機能を設計するための教育研究を行う“材料物理講座(固体力学、破壊制御学、材料物性学、表面・界面工学研究分野)”, (3)持続可能で活力のある次世代型社会システムの構築に必要な技術基盤を、人工物の設計・生産・運用・再利用の観点から確立する教育研究を行う“設計生産講座(複雑系機械工学、機械ダイナミックス、コンピューター統合生産工学、知能システム創成学、創造設計工学研究分野)”から成り立っている。

機械工学科の研究者の主要研究活動は上記の分野を網羅しており内外の機械工学、材料学、生産工学、計算力学、自動制御、システム工学、ロボット工学、新素材の開発・解析、熱流体、航空、精密機械、製造、燃焼等に関連した、合計60以上の学会で指導的役割を果たしている。さらに、研究成果を社会に還元することを目的とした社会活動としては、各種、国、地方自治体の委員会において、委員長あるいは委員として活躍している。一方、創造的な研究活動を支えるための主要な研究設備として、機械構造・流体連成不安定化力測定装置、高分解能分析電子顕微鏡、超高真空表面X線散乱装置、各種原子間力顕微鏡、レーザ顕微鏡、走査型電子顕微鏡、X線マイクロCT、コンピューター制御油圧サーボ疲労試験機、低軌道宇宙環境シミュレータ、X線光電子分光装置、オージェ電子分光装置、二相流衝撃実験装置、レーザー熱流動診断装置、コンピューター制御式万能試験機、極超音速ガン・タンネル、固気液三相流実験装置、走査型電子顕微鏡によるマイクロ切削直接観察装置、3次元カラーCCD運動解析装置、超精密加工機、超精密超音波楕円振動切削装置、パラレル機構マシニングセンター、5軸マシニングセンター、超微小硬度計、知能ロボット、レスキューロボット、各種高性能ワークステーションなどがある。

大学院博士前期課程(修士課程)へは、卒業生100名のおおよそ70%が進学し、さらに博士後期課程へは毎年数名進学している。留学生は大学院、学部あわせて約30名在籍している。

以下に、機械工学科に所属する教官の、平成16年4月から平成17年3月までの研究業績を、学術論文、学術著書、学術報告、学術講演に分類し掲載する。新任の教員については、学術論文・学術著書・学術報告は過去10年分、学術講演は過去3年分を掲載した。

学術論文(レフェリー付き)(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文分類

A: 学術論文誌(国際会議等で、通常の査読過程を経て発刊された学術論文誌等の特集号を含む)および、国際会議のSelected Paper

B: Full Paperの査読により掲載が決定した国際会議のProceedings

C: Abstractの査読のみで掲載が決定した国際会議のProceedings(ただし、Abstractのみを掲載した予稿集を除く)

D: 大学、研究機関等の紀要

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
髙原道久, 四方憲治, 片岡武, 田村明紀	差分格子ボルツマン法によるエッジトーンの直接計算	計算数理工学論文集Vol. 4, 37-42 (2004)	A
Takeshi Kataoka, Michihisa Tsutahara, Kazuhiko Ogawa, Yoshifumi Yamamoto, Masakazu Shoji and Yoshihide Sakai	Knudsen pump and its possibility of application to satellite control	Theoretical and applied mechanics Japan, 53, 155-161 (2004)	A
Minoru Watari and Michihisa Tsutahara	Possibility of constructing a multispeed Bhatnagar-Gross-Krook thermal model of the lattice Boltzmann method	Physical Review E, 70, 016703-1-9 (2004)	A
Michihisa Tsutahara, Takeshi Kataoka and Kenji Shikata	Direct simulations of aerodynamic sound by the finite difference Lattice Boltzmann Method	Computational Mechanics, WCCM VI in conjunction with APCOM' 04, Beijing, China, 1-11 (2004)	B
Takeshi Kataoka and Michihisa Tsutahara	Lattice Boltzmann method for the compressible Euler Equations	Physical Review E, 69, 056702-1-14 (2004)	A
Takeshi Kataoka and Michihisa Tsutahara	Instability of solitary wave solutions to long-wavelength transverse perturbations in the generalized Kadomtsev-Petviashvili equation with negative dispersion	Physical Review E, 70, 016604-1-9 (2004)	A
片岡武, 髙原道久, 後藤隆宏	回転二重同心円筒内流体の吸込みわき出し流れ	日本機械学会論文集(B編), 70 (699), 2681-2688 (2004)	A
Akinori Tamura and Michihisa Tsutahara	Direct simulation of sound wave emitted from a rotating body by the finite difference lattice Boltzmann model with ALE method	The 6th KSME-JSME Thermal and Fluids Engineering Conference, CD-ROM (2004)	B
Hokeun Kang*, Michihisa Tsutahara, Kenji Shikata, Yutaek Kim* and Youngho Lee*	Application of the Finite Difference Lattice Boltzmann Method with Internal Degree of Freedom to Flow-Induced Noise	The 6th KSME-JSME Thermal and Fluids Engineering Conference, CD-ROM (2004)	B
Takeshi Kataoka and Michihisa Tsutahara	Transverse instability of surface solitary waves	Journal of Fluid Mechanics, 512, 211-221 (2004)	A
Takeshi Kataoka and Michihisa Tsutahara	Transverse instability of surface solitary waves	ICTAM04 CD-ROM Proceedings, ISBN 83-89687-01-1, published by IPPT PAN, Warsaw, FM26_11746 (2004)	C
Takaharu Tanaka	An Investigation on Definition of Theoretical Head Produced by Impeller Blade in Centrifugal Pump	The 3rd International Conference on Heat Transfer, Fluid Mechanics, and Thermodynamics, HEFAT 2004, at Cape Town, South Africa, on June 21-24, Proceedings of the conference, Paper No. TT1 (2004)	B
Takaharu Tanaka and Chao Liu*	Interrelation between Fluid Particles Rotational Motion in Rotating Flow Passage of Centrifugal Pump and Overall Efficiency	The US ASME-JSME Joint Fluids Engineering Division Summer Meeting at Charlotte, North Carolina, USA on July 11-15, ASME paper FEDSM2004-56534 (2004)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Takaharu Tanaka and Chao Liu*	An Investigation on Velocity Triangle Applied to Fluid Particle at Rotating Flow Passage of Impeller Blade in Centrifugal Pump	The 7th Biennial ASME Conference on Engineering Systems Design And Analysis (ESDA 2004) at The University of Manchester, Manchester, United Kingdom, on July 19-22, ASME paper. ESDA2004/ATF-066 (2004)	B
Takaharu Tanaka	Theoretical Investigation on Flow Rate at the Maximum Efficiency Point in the Design of Impeller Blade in Centrifugal Pump	The ASME Pressure Vessels and Piping Conference at La Jolla, San Diego, California, USA on July 25--29, 2004, Proceedings of the conference entitled "Risk and Reliability and Evaluation of Components and Machinery" ASME PVP-Vol. 488, PVP2004-3012, 111-117 (2004)	B
Takaharu Tanaka	An Investigation on Theoretical Head Produced by Centrifugal Pump and Water Turbine Blades	The Third International Symposium on Fluid Machinery and Fluid Engineering (3rd ISFMFE), on December 1-3, proceedings of the conference, 278-286 (2004)	B
H. K. Kang*, M. Tsutahara, K. Shikata, E.R. Kim*, Y.T. Kim* and Y. H. Lee*	Computation of Aerodynamic Sound at Low Mach Numbers Using Finite Difference Lattice Boltzmann Method	Journal of Computational Fluids Engineering, 10(1), 8-15 (2005)	A
N. Takenaka, Y. Nakagawa, D. Onojima, Y. Kiyanagi*, M. Kawai*, M. Furusaka*	Thermal Hydraulic Design and Safety Considerations of a Solid Target for an Intense Proton Beam	Proc. 4th Japan-Korea Symp. on Nuclear Thermal Hydraulics and Safety, NTHAS-4, 249-256 (2004).	B
N. Takenaka, S. Hosokawa, M. Hase, D. Onojima, N. Nakamura*, T. Oomura*	Investigation of Flow Structure and Temperature Fluctuation in a Closed Branch Pipe Connected to High Velocity and High Temperature Flow in a Main Pipe	Proc. 4th Japan-Korea Symp. on Nuclear Thermal Hydraulics and Safety, NTHAS-4, 43-50 (2004).	B
Nobuyuki Takenaka, Akira Inada, Yusuke Nakagawa	Pressure Drop Modeling of Subcooled Boiling Two-Phase Flow	Proc. 5th Int. Conf. on Multiphase Flow on CD-Rom, Paper No. 474 (2005).	C
Nobuyuki Takenaka, Yusuke Nakagawa, Keisuke Kawakita	Effects of Wettability on Gas-Mercury Two-Phase Flow Heat Transfer	Proc. 5th Int. Conf. on Multiphase Flow on CD-Rom, Paper No. 473 (2005).	C
Nobuyuki Takenaka, Satoshi Kawano, Atsushi Matsumoto	Void Fraction Distribution of Gas-Liquid Two-Phase Flow in a Rod Bundle by Neutron Radiography	Proc. 5th Int. Conf. on Multiphase Flow on CD-Rom, Paper No. 472 (2005).	C
Shuji Furui*, Hiasashi Umekawa*, Yoshihiro Ohnishi*, Masashi Okura*, Mamoru Ozawa*, Nobuyuki Takenaka	Segregation Process of Binary Mixture in a Gas-Solid Fluidized Bed	Proc. 5th Int. Conf. on Multiphase Flow on CD-Rom, Paper No. 590 (2004)	C
N. Takenaka, K. Kawabata, T. Nakazawa*, Y. Kawabata*, I. C. Lim*, C. M. Cim*	Cavitation Phenomena in a Real Metallic Fuel Injection Nozzle of Diesel Engine	Proc. Japan-US Seminar on Two-Phase Flow Dynamics, 1, 237-244 (2004)	C

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Y. Kawabata*, T. Nakano*, M. Hino*, H. Sunohara*, U. Matsushima*, N. Takenaka	High Contrast Neutron Radiography with Optical Devices in Kyoto University Reactor	Nuclear Instruments and Methods in Physics Research A, 529, 238-242 (2004).	A
Nobuyuki Takenaka, Youichi Tagami, Hitoshi Asano	Measurement Uncertainty of Gas-Liquid Two-Phase Flow by Neutron Radiography	Neutron Radiography (7), Edited by P. Chirico and R. Rosa, 479-486 (2005).	A
N. Takenaka, S. Kawano, A. Matsumoto	Quantitative Measurement of Void Fraction Distributions in Gas-Liquid Two-Phase Flow by Neutron Radiography	Key Engineering Materials, 270-273, 1356-1360 (2004)	A
N. Takenaka, T. Kadowaki, K. Tohara, K. Kawabata, Y. Kawabata*, I. C. Lim*, C. M. Sim*	Towards the Visualization of Fuel Cavitation in a Nozzle of a Diesel Engine by Neutron Radiography	Key Engineering Materials, 270-273, 1349-1355 (2004)	A
Nobuyuki Takenaka, Hitoshi Asano	Quantitative Void Fraction Measurement Method by Neutron Radiography and Some Applications	Experimental Thermal and Fluid Science, 29(3), 393-402 (2005)	A
Mamoru Ozawa*, Hisashi Umekawa*, Shuji Furui*, K. Hayashi*, Nobuyuki Takenaka	Quantitative Flow Visualization of Fluidized-Bed Heat Exchanger by Neutron Radiography	Applied Radiation and Isotopes, 61(4), 715-724 (2004)	A
藤井照重, 和田賢宣, 成田啓圭, 浅野等, 杉本勝美, 遠山伸一*, 川崎春夫*	潜熱利用流体ループ式排熱システムの動特性解 析と実験結果の比較	日本機械学会論文集(B編), 70 (699), 2928-2934 (2004)	A
浅野等, 藤井照重, 竹中信幸, 前田憲男	プレート熱交換器内気液二相流の流動特性に関 する研究 (単一流路内の流動挙動の可視化及び ボイド率分布の計測)	日本機械学会論文集(B編), 70(700), 3136-3141 (2004)	A
藤井照重, 和田賢宣, 成田啓圭, 浅野等, 杉本勝美, 遠山伸一*, 川崎春夫*	潜熱利用流体排熱システムにおける蒸気弁操作 による温度制御	日本機械学会論文集(B編), 71(703), 908-913 (2005)	A
Hitoshi Asano, Nobuyuki Takenaka, Terushige Fujii, Eiji Nakamatsu, Youichi Tagami, Keishi Takeshima*	Image Processing Methods to Obtain Symmetrical Distribution from Projection Image	Applied Radiation and Isotopes, 61, 625-630 (2004)	A
Hitoshi Asano, Nobuyuki Takenaka, Terushige Fujii, Norio Maeda	Visualization and Void Fraction Measurement of Gas Liquid Two-Phase Flow in Plate Heat Exchanger	Applied Radiation and Isotopes, 61, 707-713 (2004)	A
Hitoshi Asano, Nobuyuki Takenaka, Terushige Fujii, Hidenori Hayashi, Toshiaki Wakabayashi	Visualization and Void Fraction Measurement of Gas-Liquid Two-Phase Flow in a Commercial Plate Heat Exchanger by Thermal Neutron Radiography	Neutron Radiography (7), Edited by P. Chirico and R. Rosa, 487-495 (2005)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Hitoshi Asano, Nobuyuki Takenaka, Terushige Fujii, Eiji Nakamatsu, Youichi Tagami, Keishi Takeshima*	Image Processing Methods to Obtain Cross-Sectional Void Fraction Distribution of Gas-Liquid Two-Phase Flow from a Projection Image by Neutron Radiography	Neutron Radiography (7), Edited by P. Chirico and R. Rosa, 789-798 (2005).	A
S.Furui*, H.Umekawa*, K.Hayashi*, M.Ozawa*, N.Takenaka	Flow Visualization of Segregation Process in a Fluidized-Bed by Neutron Radiography	IEEE Trans. on Nuclear Science, 52(1), 295-298 (2005)	A
Hitoshi Asano, Nobuyuki Takenaka, Terushige Fujii, Hidenori Hayashi, Toshiaki Wakabayashi	Visualization and Void Fraction Measurement of Gas-Liquid Two-Phase Flow in a Commercial Plate Heat Exchanger by Thermal Neutron Radiography	IEEE Trans. on Nuclear Science, 52(1), 280-284 (2005)	A
Hitoshi Asano, Nobuyuki Takenaka, Terushige Fujii, Toshiaki Wakabayashi	Adiabatic Gas-Liquid Two-Phase Flow Characteristics in a Commercial Plate Heat Exchanger	Proc. 5th Int. Conf. on Multiphase Flow on CD-Rom, Paper No.172 (2005).	C
Hitoshi Asano, Nobuyuki Takenaka, Terushige Fujii, Toshiaki Wakabayashi	Adiabatic Gas-Liquid Two-Phase Flow Characteristics in a Plate Heat Exchanger	Proc. Japan-US Seminar on Two-Phase Flow Dynamics, 1, 207-215 (2004)	C
川崎春夫*, 藤井照重	宇宙用潜熱利用排熱ループシステムのアキュム レータ制御特性実験	日本機械学会論文集(B編), 71(705), pp.1414-1423 (2005)	A
杉本勝美, 藤井照重	エクセルギーコストの最小評価手法に関する研 究	神戸大学大学院自然科学研究科 紀要, 23-B, 21-26 (2005)	D
Gian Piero Celata*, Maurizio Cumo*, Francesco D'Annibale*, Akio Tomiyama	The Wake Effect on Bubble Rising Velocity in One-Component Systems	Int. J. Multiphase Flow, 30, pp.939-961 (2004).	A
Shigeo Hosokawa, Akio Tomiyama	Turbulence modification in gas-liquid and solid- liquid dispersed two-phase pipe flows	International Journal of Heat and Fluid Flow, 25-3, pp. 489-498 (2004).	A
Shigeo Hosokawa, Akio Tomiyama	Molecular tagging velocimetry based on photobleaching reaction and its application to flows around single fluid particles	Multiphase Science and Technology, 16-4, pp. 335-353 (2004).	A
宋 明良, 林 公祐, 富山明男	界面を含む流れの体積追跡法 (界面再構築法の 改良)	日本機械学会論文集(B編), 70-698, pp. 2538-2544 (2004).	A
玉井秀定*, 富山明男	三次元One-Way気泡追跡法に基づく未発達気泡・ スラグ流の予測(第1報: モデル及び計算例)	日本機械学会論文集(B編), 70-692, pp. 880-887 (2004).	A
玉井秀定*, 富山明男	三次元One-Way気泡追跡法に基づく未発達気泡・ スラグ流の予測(第2報: 実験結果と計算結果の 比較)	日本機械学会論文集(B編), 70-692, pp. 888-895 (2004).	A
高田尚樹*, 富山明男	統計熱力学的界面モデルを用いたせん断流中 における液滴挙動の数値シミュレーション	日本機械学会論文集(B編), 70-699, pp. 2712-2720 (2004).	A
高田尚樹*, 富山明男	PHASE-FIELD MODELに基づく二相流数値計算法	日本機械学会論文集(B編), 71-701, pp. 117-124 (2004).	A
島田直樹*, 富山明男	流体密度の温度・圧力依存性を考慮した気液二 相流の数値解法	化学工学論文集, 31-1, pp. 15-24 (2005).	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
細川茂雄, 富山明男	鉛直円管内低粒子濃度気二相流の乱流変動に及ぼす相間相対速度の影響	混相流, 18-3, pp. 255-262 (2004).	A
Gian Piero Celata*, Francesco D'Annibale*, Paolo Di Marco*, Walter Grassi*, Gianluca Memori*, Akio Tomiyama	Bubble Rising Velocity in One and Two-Component Systems	42nd European Two-Phase Flow Group Meeting, Genova, Italy (2004).	B
Gian Piero Celata*, Maurizio Cumo*, Francesco D'Annibale*, Paolo Di Marco*, Akio Tomiyama, Chiara Zovini*	Effect of Gas Injection Mode and Purity of Liquid on Bubble Rising in Two-Component Systems	42nd European Two-Phase Flow Group Meeting, Genova, Italy, pp.1-15 (2004).	B
Gian Piero Celata*, Maurizio Cumo*, Francesco D'Annibale*, Akio Tomiyama	The Wake Effect on the Rising Velocity of Small Bubbles	42nd European Two-Phase Flow Group Meeting, Genova, Italy, pp.1-10 (2004).	B
Akio Tomiyama	Drag, Lift and Virtual Mass Forces acting on a Single Bubble	3rd Int. Symp. on Two-Phase Flow Modelling and Experimentation (CD-ROM), Pisa, Italy, pp.1-10 (2004).	B
Akio Tomiyama, Kenichi Sakoda, Gian Piero Celata*, Iztok Zun*	A Simple Method for Evaluating Fluctuating Bubble Velocity and Its Application to a Hybrid Bubble Tracking Method	3rd Int. Symp. on Two-Phase Flow Modelling and Experimentation (CD-ROM), Pisa, Italy, pp.1-10 (2004).	B
Hisashi Ninokata*, Michio Sadatomi*, Tomio Okawa*, Akimi Serizawa*, Kaichiro Mishima*, Seiichi Koshizuka*, Akio Tomiyama, Yasushi Yamamoto*, Yoshiro Kudo*, Akitoshi Hotta*, Koji Nishida*, Noriyuki Shirakawa*	Current Status of Generalized Boiling Transition Model Development Applicable to a Wide Variety of Fuel Bundle Geometry	Proc. 6th Int. Conf. on Nuclear Thermal Hydraulics, Operations and Safety (CD-ROM), Nara, Japan, P-ID:N6P363, pp.1-18 (2004).	B
Akio Tomiyama, Kenichi Sakoda, Kosuke Hayashi, Akira Sou, Naoki Shimada*, Shigeo Hosokawa	Modeling and Hybrid Simulation of Bubbly Flow (Keynote Lecture)	Proc. 6th US-Japan Seminar on Two-Phase Flow Dynamics, 1, pp. 1-16 (2004).	B
Akira Sou	Numerical Simulation of Electrostatic Micro-jet (Invited Lecture)	Proc. 2004 Int. Microprocesses and Nanotechnology Conf., (2004).	B
Munenori Maekawa*, Akio Tomiyama, M. Kageyama*, Satoru Yoshida, Akira Sou and Iztok Zun*	Effect of Bubble Size on a Bubble Plume and Bubbly Flow in a Bubble Column	3rd Int. Symp. on Two-Phase Flow Modelling and Experimentation (CD-ROM), Pisa, Italy, (2004).	B
Shigeo Hosokawa, Akio Tomiyama	An image processing method for evaluating interface curvature and its application to gas-liquid bubble flows in a vertical pipe	Proc. 6th US-Japan Seminar on Two-Phase Flow Dynamics, 1, pp. 199-205 (2004).	C

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Akira Sou, Akio Tomiyama, Shigeo Hosokawa, Shinji Nigorikawa, Yoichiro Matsumoto*	Cavitation and Internal Flow in a Two-Dimensional Injector Nozzle	Proc. 6th US-Japan Seminar on Two-Phase Flow Dynamics, 1 pp. 217-225 (2004).	C
Gian Piero Celata*, Maurizio Cumo*, Francesco D'Annibale*, Paolo Di Marco*, Akio Tomiyama, Chiara Zovini*	Effect of Gas-Injection Mode and Purity of Liquid on Bubble Rising in Two-Component Systems	Proc. 5th Int. Conf. on Multiphase Flow (CD-ROM), pp. 1-12 (2004).	C
Akira Sou, Akio Tomiyama, Shigeo Hosokawa, Shinji Nigorikawa, Yoichiro Matsumoto*	Visualization of Cavitation in a Two-Dimensional Nozzle and Liquid Jet	Proc. 5th Int. Conf. on Multiphase Flow (CD-ROM), Paper No. 479 (2004).	C
能登勝久・藤本享右	正浮力後流の三次元熱流動解析(第2報: 等温後流の三次元構造)	日本機械学会論文集, B編, 70(693), 1300-1307 (2004)	A
能登勝久・藤本享右	正浮力後流の三次元熱流動解析(第3報: 三次元構造に与える正浮力の影響)	日本機械学会論文集, B編, 70(693), 1308-1315 (2004)	A
能登勝久・杉村 聡	円柱冷却によって低レイノルズ数で発生する冷却渦列(第1報: 流れ分布の変化)	日本機械学会論文集, B編, 70(693), 1316-1324 (2004)	A
能登勝久・杉村 聡	円柱冷却によって低レイノルズ数で発生する冷却渦列(第2報: 冷却後流の渦度構造と冷却渦列の発生メカニズム)	日本機械学会論文集, B編, 70(693), 1325-1333 (2004)	A
能登勝久・近藤俊二	安定成層内のサーマルブルームの三次元熱流動(温度場の特徴)	日本機械学会論文集, B編, 70(699), 2967-2975 (2004)	A
能登勝久・中井慶吾	サーマルブルームの乱流遷移と乱流の数値解析(定式化と数値解析法)	日本機械学会論文集, B編, 71(703), 922-930 (2005)	A
Katsuhisa Noto and Satoshi Mitsunashi	Temperature Field with Thermal Cylinders in Buoyant Flow in Stably Stratified Air	Numerical Heat Transfer, Part A, 47(4), 763-785 (2005)	A
K. Yashiro, M. Oho and Y. Tomita	ab initio study on the lattice instability of silicon and aluminum under [001] tension	Computational Materials Science, 49(4), 397-406 (2004)	A
Y. Tomita, W. Lu, Y. Furutani	Micro- to Macroscopic Deformation Behavior of Carbon Black-filled Rubber under Monotonic and Cyclic Straining	Proc. CIMTEC 2004 Part B 121-132, CD-ROM (2004)	B
屋代如月, 田端康史, 富田佳宏	Ni基超合金 γ/γ' 界面における刃状転位とらせん転位挙動の違い: 分子動力学による検討	日本機械学会論文集A編, 70(693), 690-695 (2004)	A
屋代如月, 伊藤智啓, 富田佳宏	ポリマーの結晶/非晶界面における分子鎖変形挙動の分子動力学解析	日本機械学会論文集A編, 70(693), 696-702 (2004)	A
W. Lu and Y. Tomita	Computational simulation of mechanical behavior of rubber-blended polymer with size dependence	Proc. ICCES2004, Advances in Computational & Experimental Engineering & Science, 1479-1484, CD-ROM, Tech Science Press (2004)	B
Makoto Uchida and Yoshihiro Tomita	Computational Simulation of Mesoscopic Deformation Behavior of Semi-Crystalline Polymer	Proc. ICCES2004, Advances in Computational & Experimental Engineering & Science, 1568-1573, CD-ROM, Tech Science Press (2004)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
安達泰治*, 河野雄二, 富田佳宏	骨再生シミュレーションを用いたポーラスカフォールドの設計手法の提案	日本機械学会論文集, 70A(697), 1201-1207 (2004)	A
Y. Tomita, W. LU, Y. Furutani	Numerical Evaluation of Micro- to Macroscopic Mechanical Behavior of Carbon Black-filled Rubber	Key Engineering, Vols. 274-276, 19-24, Trans Tech Publications (2004)	A
Tomohiro Takaki, Toshimichi Fukuoka and Yoshihiro Tomita	Adaptive Finite Element Simulation during Directional Solidification of a Binary Alloy using Phase-Field Method	Proc. WCCM VI, The 2004 Sixth World Congress on Computational Mechanics (2004) CD version	C
Wei LU, Yoshihiro TOMITA	Numerical Evaluation of Debonding Behavior in Carbon Black-filled Rubber	Proc. WCCM VI, The 2004 Sixth World Congress on Computational Mechanics (2004) CD version	C
Naghi Esmaeili K. Wei Lu and Yoshihiro Tomita	Effects of Interphase Properties on the Mechanical Behavior of Ternary Polymer-Based Composites	Proc. WCCM VI, The 2004 Sixth World Congress on Computational Mechanics (2004) CD version	C
Naghi Esmaeili K., Wei Lu and Yoshihiro Tomita	Characterization of Micro- to Macroscopic Responses of Ternary Polymer-Based Composite System	Key Engineering, Vols. 274-276, 313-318, Trans Tech Publications (2004)	A
内田真, 富田佳宏	非晶性高分子材料の微視組織の不均一性が変形挙動に及ぼす影響	日本機械学会論文集, 70A(698), 1484-1490 (2004)	A
山本裕介, 高木知弘, 富田佳宏	Phase Field法による多結晶金属の結晶粒成長シミュレーション	日本機械学会論文集, 70A(699), 1551-1557 (2004)	A
Tadashi HASEBE	Field Theoretical Multiscale Polycrystal Plasticity	Trans. MRS-J, 29(8), 3619-3624 (2004)	A
屋代如月, 金井雅之, 富田佳宏	AFM内曲げ試験によるポリエチレンラメラ組織の変形挙動観察	材料, 53(12), 1359-1364 (2004)	A
K. Mizukami* T. Hasebe T. Katayama* Y. Nakamura* Y. Imaida*	Study of the Impact Energy Absorption Characteristics of Environmental-Friendly FRP	High Performance Structures & Materials 2004, Ed. C. A. Brebbia, 451-460, WIT Press (2004)	A
安達泰治*, 西海征志, 富田佳宏	ラット海綿骨の欠損モデルの作成と再生骨の力学特性評価	日本臨床バイオメカニクス学会誌, 25, 25-29 (2004)	A
S. V. Dmitriev*, T. Kitamura*, J. Li*, Y. Umeno*, K. Yashiro and N. Yoshikawa*	Near-Surface Lattice Instability in 2D Fiber and Half-Space	Acta Materialia, 53, 1215-1224 (2005)	A
屋代如月, 山上勝也, 久保圭佑, 富田佳宏	NiおよびNi3Al単結晶の第一原理格子不安定解析	日本機械学会論文集, 71A(702), 213-218 (2005)	A
Naghi Esmaeili and Y. Tomita	Computational Characterization of Micro- to Macroscopic Mechanical Behavior of Ternary Polymer-based Composit	Proc. Plasticity 2005 Dislocations, Plasticity, Damage and Metal Forming: Material Response and Multiscale Modeling, Editors: Akhtar S. Kan and Amir R. Khoei, Neat Press, 511-513 (2005)	C
Y. Tomia, Lu Wei and Y. Furutani	Computational Characterization of Carbon Black Filled Rubber Under Monotonic and Cyclic Deformation	Proc. Plasticity 2005 Dislocations, Plasticity, Damage and Metal Forming: Material Response and Multiscale Modeling, Editors: Akhtar S. Kan and Amir R. Khoei, Neat Press, 526-528 (2005)	C

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
斉藤賢司, 池田周之*, 横井浩一*, 赤水宏*, 富田佳宏	低C-TRIP鋼のひずみ速度及び温度依存性塑性変形挙動	日本機学会論文集, 71A(703), 465-471 (2005)	A
横井真, 桐村剛, 長谷部忠司, 今井田豊	密閉型水中放電成形法によるアルミニウム箔の深絞り成形に関する実験的研究	材料, 44(500), 602-607 (1995)	A
河原敏彦*, 長谷部忠司, 今井田豊*	線爆溶射に関する基礎的研究 -溶射皮膜層に及ぼす放電特性の影響-	材料, 45(7), 817-822 (1996)	A
艦将孝*, 落合由敬*, 長谷部忠司, 今井田豊*	水中衝撃波フォーカシングに関する基礎的研究 -非線形反射とフォーカシング効果について-	材料, 45(10), 1151-1156 (1996)	A
M. Kanda*, M. Sakane*, M. Ohnami*, T. Hasebe	High Temperature Multiaxial Low Cycle Fatigue of CMSX-2 Ni-Base Single Crystal Superalloy	Trans. ASME, J. Engng. Mater. Technol., 119(2), 153-160 (1997)	A
長谷部忠司, 今井田豊*, 芝原顕*	FCC金属における転位相互作用のモデル化と非比例繰返し負荷への適用	材料, 46(5), 475-480 (1997)	A
T. Hasebe, S. Kumai*, Y. Imaida*	Impact Compression Behavior of FCC Metals with Pre-Torsion Behavior	J. Mater. Process. Technol., 85, 184-187 (1998)	A
T. Hasebe, Y. Takenaga*, H. Kakimoto*, Y. Imaida*	High Strain Rate Forming Using Underwater Shock Wave Focusing Technique	J. Mater. Process. Technol., 85, 194-197 (1998)	A
長谷部忠司, 今井田豊*, 中元均*	FCC金属の衝撃圧縮挙動に及ぼすねじり予ひずみの影響	材料, 47(1), 26-32 (1998)	A
T. Hasebe, Y. Imaida*	Construction of Quantum Field Theory of Dislocations based on the Non-Riemannian Plasticity	Acta. Metall. Sinca, 11(6), 405-411 (1998)	A
K. Horiuchi*, M. Ishiyama*, T. Hasebe, K. Yukimura*, Y. Imaida*	A Fundamental Study of Excimer Laser Ablation using Experimental and MD Simulation Method	Mater. Chem. Phys., 54, 201-204 (1998)	A
T. Hasebe, Y. Imaida*	Gauge Field Theory of Dislocations and the Non-Riemannian Plasticity	Progress in Mechanical Behavior of Materials, Vol. III, Eds. F. Ellyn, J.W. Provan, 1077-1082 (1999)	A
長谷部忠司	場の理論と結晶塑性理論	材料, 48(7), 963-970 (1999)	A
K. Mizukami*, T. Hasebe, T. Katayama*, Y. Nakamura*, Y. Imaida*	Study of the Impact Energy Absorption Characteristics of GFRTP and JFRTP Deep-Drawn Products	High Performance Structure and Composite, 107-116, WIT Press (2003)	A
K. Mizukami*, T. Hasebe, T. Katayama*, Y. Nakamura*, Y. Imaida*	Design of Impact Energy Characteristics of FRP Deep-Drawn Product	Materials Science Forum Vols. 465-466 Trance, 43-48, Tech Publications (2004)	A
T. Hasebe	Continuum Description of Inhomogeneously Deforming Polycrystalline Aggregate based on Field Theory	Meso-Scale Simulation and Modeling of Strength and Fracture of Materials, Eds. H. Kitagawa, and Y. Shibutani, Kluwer (2003)	A
M. Kanda*, M. Sakane*, M. Ohnami*, T. Hasebe	High Temperature Multiaxial Low Cycle Fatigue of Ni-base Single Crystal Superalloy	Proc. Thermal Stress '95, 481-484 (1995)	C

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
T. Hasebe, S. Kumai*, Y. Imaida*	Flow Stress of FCC Metals under Unsteady Transient Loadings	Dynamic Plasticity and Structural Behaviors, 825-828, Gordon and Breach Publishers (1995)	C
T. Hasebe, Y. Imaida*, M. Yokoi*	Flat-Headed Cylindrical Deep Drawing of Aluminum Foil by Hydro Spark Forming Method	Dynamic Plasticity and Structural Behaviors, 991-994, Gordon and Breach Publishers (1995)	C
T. Hasebe, Y. Imaida*	Hardening Behavior of FCC Crystals under Non-proportional Loadings	Proc. 1995 Japan-Sino Bilateral Symp. on High Temperature Strength of Materials, 135-140 (1995)	C
T. Hasebe, Y. Imaida*	Strain Rate and Strain History Effects on Hardening Behavior of FCC Metals under Dynamic Loading -Constitutive Modelling based on the Crystalline Plasticity-	Proc. AEPA '96, 375-362 (1996)	C
T. Hasebe, S. Shima*, Y. Imaida*	On Flexible Drawing by Incremental Hammering	Proc. AEPA '96, 715-720 (1996)	C
T. Hasebe, Y. Imaida*	High Strain Rate Deep Drawing by Hydro-Spark Forming. Method	Proc. NUMISHEET '96, 372-379 (1996)	C
T. Hasebe, Y. Imaida*, M. Yokoi*	Effect of Blank Holder Force on Limiting Drawing Height in Hydro-Spark Forming	Proc. 5th ICTP, 797-800 (1996)	C
T. Hasebe, S. Shima*, Y. Imaida*	Deformation Analysis in Incremental Hammering	Proc. 5th ICTP, 951-954 (1996)	C
T. Hasebe, Y. Imaida*	Modelling of Strain Rate-Strain History Coupling Effect	Proc. SMIRT 14, 13-20 (1997)	C
T. Hasebe, Y. Imaida*	General Framework of Field Theory of Dislocations	Proc. 3rd. Sino-Japan Bilateral Symp. High Temperature Strength of Materials, 30-37 (1998)	C
T. Hasebe, Y. Imaida*	Dislocation Pileup Model for Back Stress Evolution in Crystalline Plasticity	Proc. SMIRT 15, pp.801-808 (1999)	C
T. Hasebe, Y. Imaida*	Crystal Plasticity Modeling based on Field Theory of Dislocations and Plasticity	Proc. Japan-Korea 1st Symp. on Eng. Mech., 50-54 (2000)	C
T. Hasebe	Hardening Behavior of Materials under Impact Loading	Proc. THERMECH 2000, 162-165 (Invited) (2000)	C
T. Hasebe	Cross Hardening Effect of IF Steels	Proc. Int. Forum Properties and Appl. IF Steels, 128-138 (Invited) (2003)	C
T. Hasebe	Gauge Field Theoretical Approach to Cell Formation Process	Proc. IUMRS-ICAM2003, 256-262 (Invited) (2003)	C
K. Mizukami*, T. Hasebe, T. Katayama*, Y. Nakamura*, Y. Imaida*	Design of Impact Energy Characteristics of FRP Deep-Drawn Product	Proc. 1st. ESHP Symp (2004)	C
Yoshikazu NAKAI	Evaluation of Fatigue Damage of Metals by Means of Atomic Force Microscopy	Fracture Damage of Structural Parts, edited by Zdenek Buzek and Bohumir Strnadel, pp.173-180, Vydavatelstvi VSB (2004).	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Yoshikazu Nakai, Manabu Kishimoto, and Shohei Hosomi	Characterization of fatigue crack initiation condition of steels with AFM	Proc. ICF 11 (2005) (CD-ROM)	B
中井善一, 橋本晃久, 竹谷彰彦	金属細線の疲労試験法の開発と疲労強度の寸法 効果	材料, 第54巻, 第3号, pp. 284-289, (2005)	A
塩沢大輝, 久保司郎*, 阪上隆英*, 奥野康輔*	ピエゾ材料を用いた受動型電気ポテンシャルCT 法によるき裂同定に関する実験的検討	材料, 51巻(8号), pp. 926-931, (2002)	A
Daiki Shiozawa, Shiro Kubo*, Takahide Sakagami*	Identification of Delamination Defect in Laminated Composites by Passive Electric Potential CT Method	Inverse Problems in Engineering Mechanics IV Masataka Tanaka(Editor), Elsevier Science, pp.195-203, (2003)	A
Daiki Shiozawa, Shiro Kubo*, Takahide Sakagami*	Passive Electric Potential CT Method Using Piezoelectric Material for Crack Identification	Inverse Problems in Engineering, Vol.12, No.1, pp.71-79, (2004).	A
Daiki Shiozawa, Shiro Kubo*, Takahide Sakagami*	An Experimental Study on Applicability of Passive Electric Potential CT Method to Crack Identification	JSME International Journal, Vol.47, No.3, pp.419-425, (2004)	A
H. Yasuda, H. Mori* and J. G. Lee*	Electron-irradiation-induced phase separation in GaSb nanoparticles, H. Yasuda, H. Mori and J. G. Lee, Phys. Rev. B, 70 (2004) 214105-1-214105-6. Electron-irradiation-induced phase separation in GaSb nanoparticles	Phys. Rev. B, 70, 214105-1-214105-6, (2004)	A
H. Yasuda, H. Mori* and J. G. Lee*	Effect of electron energy on the phase separation induced by electronic excitation in GaSb particles	Proc. 13th European Microscopy Congress, 17-218, (2004)	C
H. Yasuda, H. Mori* and J. G. Lee*	Frontiers of phase formation and control in nanoparticles by in-situ TEM	Proc. Asia Pasific Nanotechnology Forum (2004)	B
A. Tanaka, A. Chainani*, T. Miura*, T. Takahashi*, T. Miyazaki*, S. Hasegawa*, T. Mori*	Synchrotron-radiation photoemission study of in-situ synthesized DCNQI (N,N'-dicyanoquinonediimine)-Cu salts	Solid States Commun. 93, 1-5 (1995)	A
A. Tanaka, A. Chainani*, T. Yokoya*, T. Takahashi*, T. Miyazaki*, S. Hasegawa*, T. Mori*	Electronic structure of the quasi-one-dimensional organic conductors DCNQI (N,N'-dicyanoquinonediimine)-Cu salts	Phys. Rev. B 52, 7951-7959 (1995)	A
T. Arai*, A. Tanaka, K. Matsuishi*, S. Onari*, Y. Maruyama*, M. Ishikawa*	Femtosecond pump-probe studies of CdSe microcrystals embedded in a germanium dioxide glass matrix	SPIE 2362, 304-311 (1995)	A
A. Tanaka, A. Chainani*, T. Yokoya*, T. Takahashi*, T. Miyazaki*, S. Hasegawa*, T. Mori*	Electron spectroscopic studies of organic conductors DCNQI (N,N'-dicyanoquinonediimine)-Cu salts	J. Electron Spectrosc. Relat. Phenom. 78, 469-472 (1996)	B
T. Takahashi*, T. Yokoya*, A. Chainani*, A. Tanaka, H. Kumigashira*, O. Akaki*, R. Kato*	High-resolution photoemission study of deutrated dimethyl-dicyanoquinonediimine-Cu compounds; (DMe-DCNQI) ₂ Cu	J. Electron Spectrosc. Relat. Phenom. 78, 441-444 (1996)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
A. Tanaka, K. Takahashi*, M. Hatano*, K. Tamura*, S. Suzuki*, S. Sato*	Photoemission study of quantum confinement effects on noble-metal nanofilms	J. Surf. Anal. 3, 468-472 (1997)	B
A. Tanaka, K. Tamura*, K. Takahashi*, M. Hatano*, T. Okane*, S. Suzuki*, S. Sato*, S. Kunii*, A. Harasawa*, A. Kimura*, A. Kakizaki*	Resonant photoemission study of single crystalline NdB_6 clean surface	Physica B 240, 123-127 (1997)	A
A. Tanaka, K. Tamura*, H. Tsunematsu*, K. Takahashi*, M. Hatano*, S. Suzuki*, S. Sato*, S. Kunii*, A. Harasawa*, A. Kimura*, A. Kakizaki*	Surface electronic structure of the NdB_6 (110) clean surface studied by angle-resolved photoemission spectroscopy	Phys. Rev. B 56, 7660-7664 (1997)	A
A. Tanaka, S. Onari*, T. Arai*	Low-frequency Raman scattering from CdS microcrystals embedded in a germanium dioxide glass matrix	Phys. Rev. B 56, 9977-9977 (1997)	A
A. Tanaka, K. Tamura*, H. Tsunematsu*, K. Takahashi*, M. Hatano*, S. Suzuki*, S. Sato*, S. Kunii*	Angle-resolved photoemission study of surface electronic structure on NdB_6 (110) clean surface	J. Electron Spectrosc. Relat. Phenom. 88-91, 637-641 (1998)	B
K. Takahashi*, A. Tanaka, M. Hatano*, H. Sasaki*, S. Suzuki*, S. Sato*	Angle-resolved photoemission study of quantized electronic structures on Ag nanofilms	J. Electron Spectrosc. Relat. Phenom. 88-91, 347-351 (1998)	B
A. Tanaka, M. Hatano*, K. Takahashi*, H. Sasaki*, S. Suzuki*, S. Sato*	Bulk and surface electronic structures of the semimetal Bi studied by angle-resolved photoemission spectroscopy	Phys. Rev. B 59, 1786-1791 (1999)	A
S. Fujimori*, Y. Saito*, M. Seki*, K. Tamura*, M. Mizuta*, K. Yamaki*, K. Sato*, A. Tanaka*, N. Sato*, S. Suzuki*, S. Sato*, T. Okane*, T. Komatsubara*, Y. Tezuka*, S. Shin*, T. Ishii*	Absence of U 5f band states in resonant photoemission spectra of UPd_2Al_3	Phys. Rev. B 59, 10469-10472 (1999)	A
H. Tsunematsu*, M. Aita*, A. Tanaka, S. Suzuki*, S. Sato*, Y. Gotoh*	RHEED observation and ARUPS study of Ni on $\text{Mo}(110)$ surface	J. Electron Spectrosc. Relat. Phenom. 101-103, 281-285 (1999)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
S. Fujimori*, Y. Saito*, K. Yamaki*, M. Seki*, K. Tamura*, M. Mizuta*, T. Okane*, K. Sato*, A. Tanaka, Y. Tezuka*, S. Shin*, N. Sato*, T. Komatsubara*, S. Suzuki*, S. Sato*	The U 5f states in the heavy-fermion uranium compound UPd_2Al_3 studied by resonant and x-ray photoelectron spectroscopy	J. Electron Spectrosc. Relat. Phenom. 101-103, 439-442 (1999)	B
A. Tanaka, K. Takahashi*, H. Sasaki*, W. Gondo*, S. Suzuki*, S. Sato*, M. Tsuchiko*, Y. Takahashi*, K. Ohshima*	Temperature dependence of photoemission spectra and x-ray diffraction of Ag nanofilm	Jpn. J. Appl. Phys. 38, 336-339 (1999)	A
A. Tanaka, H. Hatano*, K. Takahashi*, H. Sasaki*, S. Suzuki*, S. Sato*	Growth and angle-resolved photoemission studies of bismuth epitaxial films	Surf. Sci. 433-435, 647-651 (1999)	B
K. Takahashi*, A. Tanaka, H. Sasaki*, H. Hatano*, S. Suzuki*, S. Sato*	Electron-phonon interaction of quantum-well states on Ag nanofilms studied by temperature-dependent photoemission spectroscopy	Surf. Sci. 433-435, 873-877 (1999)	B
A. Tanaka	Quantized electronic structure in mesoscopic metal-nanofilms studied by angle-resolved photoemission spectroscopy	Proc. 1st UK-JAPAN International Seminar of Application of Synchrotron Radiation to the Studies of Nano-Structured Materials, 23-29 (1999)	B
A. Tanaka, H. Sasaki*, K. Takahashi*, W. Gondo*, S. Suzuki*, S. Sato*	Photoemission study of Ag nanofilm grown on pseudomorphic fcc Fe(100)	J. Phys. Chem. Solids 60, 1995-1999 (1999)	A
K. Takahashi*, A. Tanaka*, H. Sasaki*, W. Gondo*, S. Suzuki*, S. Sato*	Temperature-dependent angle-resolved photoemission study for quantum-well states in Ag nanofilms	Phys. Rev. B 60, 8748-8752 (1999)	A
A. Tanaka, H. Sasaki*, K. Takahashi*, W. Gondo*, S. Suzuki*, S. Sato*	Growth and photoemission studies of Ag nanofilms on pseudomorphic fcc Fe(100)	Appl. Surf. Sci. 169-170, 168-171 (2001)	B
K. Takahashi*, A. Tanaka, H. Sasaki*, W. Gondo*, S. Suzuki*, S. Sato*	Angle-resolved photoemission study of double Ag-nanofilm structures	Appl. Surf. Sci. 169-170, 164-167 (2001)	B
H. Sasaki*, A. Tanaka, K. Takahashi*, W. Gondo*, S. Suzuki*, S. Sato*	Electronic coupling of quantized states in Ag nanofilms with fcc Fe(100) substrates	Appl. Surf. Sci. 169-170, 496-499 (2001)	B
S. K. Hong*, T. Hanada*, H. Makino*, H. J. Ko*, Y. Chen*, T. Yao*, A. Tanaka, H. Sasaki*, S. Sato*, D. Imai*, M. Shinohara*	ZnO epilayers on GaN templates: polarity control and valence band offset	J. Vac. Sci. Technol. B 19, 1429-1433 (2001)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
A. Tanaka, K. Takahashi*, H. Sasaki*, S. Suzuki*, S. Sato*	Electronic structure of Ag/Cu/Ag/Cu(111) double nanofilm structures studied by angle-resolved photoemission spectroscopy	Mat. Res. Soc. Symp. Proc. 648, P3. 36.1-P3. 36.6 (2001)	B
S. K. Hong*, T. Hanada*, H. Makino*, Y. Chen*, H. J. Ko*, T. Yao*, A. Tanaka, H. Sasaki*, S. Sato*	Band alignment at a ZnO/GaN(0001) heterointerface	Appl. Phys. Lett. 78, 3349-3351 (2001)	A
T. Nagasawa*, A. Tanaka, H. Sasaki*, Y. Kuriyama*, S. Suzuki*, S. Sato*, T. Sekine*	Photoemission study of thiol-capped gold nanoparticles	Mat. Res. Soc. Symp. Proc. 704, 319-324 (2002)	B
A. Tanaka, T. Nagasawa*, Y. Takeda*, N. J. Watkins*, Y. Gao*	Time-resolved two-photon photoemission study of dodecanethiolate-passivated Ag nanoparticles	J. Phys. Soc. Jpn. 71, 3098-3099 (2002)	A
H.-Y. Lee*, H. Makino*, T. Yao*, A. Tanaka*	Si-based omnidirectional reflector and transmission filter optimized at a wavelength of 1.55 μm	Appl. Phys. Lett. 81, 4502-4504 (2002)	A
A. Tanaka, Y. Takeda*, T. Nagasawa*, S. Sato*	Dynamic final-state nanoparticle-substrate interaction in the photoemission of dodecanethiolate-passivated Ag nanoparticles on graphite substrates	Phys. Rev. B 67, 033101-1-033101-4 (2003)	A
A. Tanaka, Y. Takeda*, T. Nagasawa*, S. Sato*	Dynamic final-state nanoparticle-substrate interaction in the photoemission of dodecanethiolate-passivated Ag nanoparticles on graphite substrates	Virtual J. Ultrafast Sci. 2, issue 2 (2003)	A
A. Tanaka, N. J. Watkins*, Y. Gao*	Hot-electron relaxation in layered semiconductor 2H-MoS ₂ studied by time-resolved two-photon photoemission spectroscopy	Phys. Rev. B 67, 113315-1-113315-4 (2003)	A
A. Tanaka, N. J. Watkins*, Y. Gao*	Hot-electron relaxation in layered semiconductor 2H-MoS ₂ studied by time-resolved two-photon photoemission spectroscopy	Virtual J. Ultrafast Sci. 2, issue 4 (2003)	A
A. Tanaka, Y. Takeda*, T. Nagasawa*, K. Takahashi*	Chemical states of dodecanethiolate-passivated Au nanoparticles: Synchrotron-radiation photoelectron spectroscopy	Solid State Commun. 126, 191-196 (2003)	A
A. Tanaka, K. Takahashi*, H. Sasaki*, W. Gondo*, S. Suzuki*, S. Sato*	Electronic coupling of quantum-well states in double Ag nanofilm structures	J. Phys. Soc. Jpn. 72, 879-883 (2003)	A
A. Tanaka, Y. Takeda*, T. Nagasawa*, H. Sasaki*, Y. Kuriyama*, S. Suzuki*, S. Sato*	Photoemission study of metallic nanoparticles passivated by dodecanethiolates: Silver nanoparticles	Surf. Sci. 532-535, 281-286 (2003)	B
A. Tanaka, Y. Takeda*, M. Imamura, S. Sato*	Femtosecond nanoparticle-substrate interaction in the photoemission final-state of surface-passivated metallic nanoparticles on graphite substrates	Trans. Mat. Res. Soc. Jpn. 28, 919-922 (2003)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
A. Tanaka, Y. Takeda*, M. Imamura, S. Sato*	Dynamic final-state effect on the Au 4f core-level photoemission of dodecanethiolate-passivated Au nanoparticles on graphite substrates	Phys. Rev. B 68 195415-1-195415-5 (2003)	A
H. Sasaki*, A. Tanaka, Y. Kuriyama*, T. Nagasawa*, S. Suzuki*, S. Sato*, T. Nagase*	Angle-resolved photoemission study of CoSi ₂ nanofilms grown on Si(111) substrates	Solid State Commun. 129, 91-95 (2004)	A
A. Tanaka*, Y. Takeda*, M. Imamura, S. Sato*	Femtosecond dynamic final-state effect in photoemission of surface-passivated metallic nanoparticles on graphite substrates	Appl. Surf. Sci. 237, 537-542 (2004)	B
A. Tanaka, Y. Takeda*	X-ray photoemission study of dodecanethiolate-passivated Ag nanoparticles	J. Phys. Soc. Jpn. 73, 1543-1546 (2004)	A
H. Sasaki*, A. Tanaka, S. Suzuki*, S. Sato*	Comparative angle-resolved photoemission study of Ag nanometer films grown on fcc Fe(111) and bcc Fe(110)	Phys. Rev. B. 70, 115415-1-6 (2004)	A
H. Sasaki*, A. Tanaka, S. Ogasawara*, S. Suzuki*, S. Sato*	Angle-resolved photoemission study of Ag nanofilms grown on fcc transition-metal(111) substrates	Solid State Commun. 132, 719-724 (2004)	A
Yoshikazu FUJII, Takenori NAKAYAMA*, Kentaro YOSHIDA	Roughness Estimation of Polycrystalline Iron Surface under High Temperature by Small Glancing Angle X-ray Scattering	ISIJ International, Vol.44 (2004), pp.1549-1553	A
木之下博, 酒向智也, 田川雅人, 大前伸夫, 小宮広志*	円周走査型原子間力顕微鏡の開発	トライボロジスト, 49(11), 886-893 (2004)	A
Tagawa M., Yokota K., Ohmae N., Matsumoto K.*, Suzuki M.*	Hyperthermal atomic oxygen interaction with MoS ₂ lubricants relevance to space environmental effects in low earth orbit - atomic oxygen-induced oxidation	Tribology Letters, 17(4), 859-865 (2004)	A
Tagawa M., Ikemura M., Nakayama Y., Ohmae N.	Effect of water adsorption on the microtribological properties of hydrogenated diamond-like carbon film	Tribology Letters, 17(3) 575-580 (2004)	A
Tagawa M., Yokota K., Ohmae N	Synergistic study on atomic oxygen-induced erosion of polyethylene with 172 nm vacuum ultraviolet	Journal of Spacecraft and Rockets, 41(3), 345-349 (2004)	A
Minton T. K.*, Tagawa M., Nathanson G. M.*	Energy accommodation in hyperthermal gas-surface collisions: relevance to aerobraking in planetary atmosphere	Journal of Spacecraft and Rockets, 41(3), 389-396 (2004)	A
Tagawa M., Yokota K., Ohki Y., Ohmae N.	Spatially resolved wettability control of polymer surfaces using laser detonation hyperthermal atom beams	Journal of Adhesion Science and Technology, 18(2), 243-260 (2004)	A
Yokota K., Ohmae N., Tagawa M.,	Effect of relative intensity of 5 eV atomic oxygen and 172 nm vacuum ultraviolet in the synergism of polyimide erosion	High Performance Polymers, 16(2), 221-234 (2004)	A
Yokota K., Seikyu S., Tagawa M., Ohmae N.	Enhancement of Atomic Oxygen-Induced Erosion of Polyimide under Simultaneous Vacuum Ultraviolet Exposure Conditions: A Quantitative Study	Proceedings of the 24th International Symposium on Space Technology and Science, Paper No.2004-c-38, (2004).	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Sogo C., Tsumamoto S., Yokota K., Tagawa M., Ohmae N.,	Ellipsometric Study on the Oxidation of Silicon by Atomic Oxygen in Space Environment	Proceedings of the 24th International Symposium on Space Technology and Science, Paper No. 2004-h-02 (2004).	B
Seikyu S., Yokota K., Tagawa M., Ohmae N.,	Surface Reaction of Atomic Oxygen with Spin-Coated Polyimide Films: Temperature Dependence of the Reaction Efficiency	Proceedings of the 24th International Symposium on Space Technology and Science, Paper No. 2004-c-39 (2004).	B
Doi H., Yokota K., Tagawa M., Ohmae N.,	A Computer Simulation of the Surface Scattering Event of Energetic Atomic Oxygen for Developing Atomic Oxygen	Proceedings of the 24th International Symposium on Space Technology and Science, Paper No. 2004-h-03 (2004).	B
H. Kinoshita, I. Kume, M. Tagawa, and N. Ohmae	High friction of vertically aligned carbon nanotube film in microtribology	Applied Physics Letters	A
H. Kinoshita, I. Kume, M. Tagawa, and N. Ohmae H. Kinoshita, I. Kume, H. Sakai, M. Tagawa, N. Ohmae	High growth rate of vertically aligned carbon nanotubes using a plasma shield in microwave plasma-enhanced chemical vapor deposition	Carbon, 42(12-13) 2753-2455 (2004)	A
H. Kinoshita, I. Kume, M. Tagawa, and N. Ohmae	High friction of vertically aligned carbon nanotube film in microtribology	Applied Physics Letters, 85(14) 2780-2781 (2004)	D
木之下博, 酒向智也, 田川雅人, 大前伸夫, 小宮広志*	円周走査型原子間力顕微鏡の開発	トライボロジスト, 49(11), 886-893 (2004)	A
Ohmae, N.	Atomic Oxygen Effects on Tribology of Molybdenum Disulfide and Diamond-like Carbon	Proc. 4th AIMETA International Tribology Conference, Rome, Italy, pp. 743-750 (2004)	A
大須賀 公一, 久保 仁*, 水瀬 雄樹*, 上島 和郎*, 中村 陽一*	パラレルマニピュレータのヤコビ行列の特性を 活かした順運動学計算法と制御系の提案および 安定性解析	日本ロボット学会誌, Vol. 22, No. 5, pp. 106-113, (2004)	A
S. Ashida*, K. Osuka	Master slave control of two-armed-rescue-manipulator with self-lock mechanism	Proc. of IEEE Int. Workshop on Safety, Security, and Rescue Robotics, (2004)	B
Y. Sugimoto*, K. Osuka	Walking Control of Quasi Passive Dynamic Walking Robot Quartet III based on Continuous Delayed Feedback Control	Proc. of IEEE International Conference on Robotics and Biomimetics (Robio2004), Shenyang, China, (2004)	B
R. Haraguchi*, K. Osuka, T. Sugie*	Development of Output Coupling Mechanisms Using the harmonic drive	IROS 2004, Sendai International Center, Sendai, Japan (2004)	B
K. Osuka, Y. Sugimoto*	Nonlinear Dynamics and Control of Walking Robot	Proc. 2004 International Symposium on Nonlinear Theory and its Applications, Fukuoka, Japan, (2004)	B
Y. Iwano, K. Osuka, H. Amano*	Proposal of a Rescue Robot System in Nuclear-Power Plants—Rescue Activity via Small Vehicle Robots—	Proceedings of 2004 IEEE International Conference on Robotics and Biomimetics, Shenyang China, No. 268, (2004)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Y. Iwano, K. Osuka, H. Amano*	Development of Stretcher Component Robots for Rescue Activity	Proceedings of 2004 IEEE Conference on Robotics, Automation and Mechatronics, Singapore, pp.915-920, (2004)	B
杉本 靖博*, 大須賀 公一	ポアンカレマップ内に存在するフィードバック 構造に着目した受動的歩行の安定解析	第10回ロボティクス・シンポジア, pp.127-132, (2005)	A
岩野 優樹, 大須賀 公一, 天野 久徳*	原子力施設災害における救助活動用担架構成ロ ボットの開発	第10回ロボティクス・シンポジア予 稿集, pp.441-446, (2005)	A
原口 林太郎*, 大須賀 公一, 牧田 忍*, 田所 諭	瓦礫内探索ロボットM0IRA2	第10回ロボティクス・シンポジア予 稿集, pp.423-428, (2005)	A
Takanori Fukao and Norihiko Adachi*	Observer-based Adaptive Control of Nonlinear Systems	計測自動制御学会論文集, Vol.31, No.9, pp. 1351-1357 (1995)	A
T. Fukao, H. Kashima* and N. Adachi*	Robust Adaptive Control of Large-Scale Systems with Unmodeled Dynamic Interconnections	In Proc. of 2nd Asian Control Conference (2nd ASCC), pp. 1-5 (1997)	B
深尾 隆則, 稲山 典克*, 足立 紀彦*	正則化理論を用いた連続的状態と行動を扱う強 化学習	システム制御情報学会論文誌, Vol.11, No.11, pp. 593-599 (1998)	A
T. Fukao, H. Nakagawa*, H. Wang* and N. Adachi*	Adaptive control of a nonholonomic mobile robot using adaptive backstepping	In Proc. of International Symposium on Intelligent Robotic Systems, (1998)	B
T. Fukao, T. Sumitomo*, N. Ineyama* and N. Adachi*	Q-learning Based on Regularization Theory to Treat the Continuous States and Actions	In Proc. of 1998 IEEE International Joint Conference on Neural Networks, pp. 1057-1062 (1998)	B
T. Fukao, H. Kashima* and N. Adachi*	Decentralized Adaptive Control of Dynamic Interconnected Systems with Improved Performance	In Proc. 8th IFAC Symposium on Large Scale Systems: Theory and Applications, pp. 138-143 (1998)	B
H. Wang*, T. Fukao and N. Adachi*	Adaptive tracking control of nonholonomic mobile robots: A backstepping approach	In Proc. of 1998 Japan-USA Symposium on Flexible Automation, pp. 1093-1096 (1998)	B
T. Fukao, A. Yamawaki* and N. Adachi*	Adaptive Control of Partially Known Systems Using Backstepping	In Proc. of 37th IEEE Conference on Decision and Control, pp. 481-486 (1998)	B
Takanori Fukao, Hisashi Kashima* and Norihiko Adachi*	Decentralized Adaptive Control with Improved Transient Performance	計測自動制御学会論文集, Vol.35, No.7, pp. 869-878 (1999)	A
H. Wang*, T. Fukao, and N. Adachi*	An adaptive tracking control approach for nonholonomic mobile robot	In Proc. 1999 IFAC World Congress, pp. 509-515 (1999)	B
Takanori FUKAO, Masafumi YAMAGUCHI* and Norihiko ADACHI*	Backstepping Design For Attitude Control of a Spacecraft	In Proc. IASTED International Conference Robotics and Applications 1999, pp. 300-305 (1999)	B
Takanori FUKAO, Akira YAMAWAKI* and Norihiko ADACHI*	Nonlinear and H _∞ Control of Active Suspension Systems with Hydraulic Actuators	In Proc. 38th IEEE Conference on Decision and Control, pp. 5125-5128 (1999)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Takanori Fukao, Hiroshi Nakagawa* and Norihiro Adachi*	Adaptive Tracking Control of a Nonholonomic Mobile Robot	IEEE Trans. Robotics and Automation, Vol.16, No.5, pp.609-615 (2000)	A
Takanori FUKAO, Akira YAMAWAKI* and Norihiko ADACHI*	Adaptive Control for Active Steering of Cars	In Proc. of Third Asian Control Conference (3rd ASCC), pp. 973-978 (2000)	B
深尾 隆則, 山口 真史*, 足立 紀彦*	スペースクラフトのバックステッピング法による 姿勢追従制御	日本機械学会論文集, C編 Vol.67, No.653, pp.131-137 (2001)	A
王 輝宇*, 深尾 隆則, 足立 紀彦	非ホロノミック移動ロボットの適応トラッキング 制御	日本ロボット学会誌, Vol.19, No.2, pp.123-128 (2001)	A
深尾 隆則, 大村 亮祐*, 足立 紀彦*	Q-learning における状態空間の適応的分割法	計測自動制御学会論文集, Vol.37, No.3, pp.242-249 (2001)	A
深尾 隆則, 足立 紀彦*	倒立振子・台車系の部分的適応制御	システム制御情報学会論文誌, Vol.14, No.5, pp.259-264 (2001)	A
深尾 隆則, 山脇 明*, 足立 紀彦*	H ∞ 制御と非線形適応制御機構を有するアクティ ブサスペンション	計測自動制御学会論文集, Vol.37, No.11 pp. 1034-1039 (2001)	A
H. Wang*, S. Itani*, T. Fukao, and N. Adachi*	Image-based visual adaptive tracking control of nonholonomic mobile robot	IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems, pp. 1-6 (2001)	B
Takanori FUKAO, Shogo MIYASAKA*, Kenji MORI*, Norihiko ADACHI* and Koichi OSUKA	Active Steering Systems Based on Model Reference Adaptive Nonlinear Control	In Proc. of IEEE 4th International Conference on Intelligent Transportation Systems, pp. 504-509 (2001)	B
Takanori FUKAO, Kenji MORI*, Shogo MIYASAKA*, Norihiko ADACHI* and Koichi OSUKA	Automated Steering Systems Based on Model Reference Control	In Proc. of IEEE Intelligent Vehicles Symposium 2001, pp. 195-200 (2001)	B
Huiyu Wang*, Takanori Fukao and Norihiko Adachi*	Adaptive tracking control of nonholonomic systems with unknown parameters	Journal of Advanced Robotics of the RSJ, Vol.16, No.2, pp.175-190 (2002)	A
Takanori Fukao, Akira Yamawaki* and Norihiko Adachi*	Adaptive Control of Partially Known Systems and Application to Active Suspensions	Asian Journal of Control, Vo.4, No.2, pp.199-205 (2002)	A
Takanori Fukao, Kazushi Fujitani* and Takeo Kanade*	An autonomous blimp for a surveillance system	In Proc. of 2003 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS2003), pp. 1820-1825 (2003)	B
Takanori Fukao, Kazushi Fujitani* and Takeo Kanade*	Image-based tracking control of a blimp	In Proc. 42nd IEEE Conference on Decision and Control, pp. 5414-5419 (2003)	B
Takanori Fukao, Shogo Miyasaka*, Kenji Mori*, Norihiko Adachi*, and Koichi Osuka	Active Steering Systems Based on Model Reference Adaptive Nonlinear Control	Vehicle System Dynamics, Vol.42, No.5, pp.301-318 (2004)	A
Takanori Fukao	Inverse Optimal Tracking Control of a Nonholonomic Mobile Robot	In Proc. of 2004 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS2004), pp. 1475-1480 (2004)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
深尾 隆則, 足立 紀彦*	適応制御に基づくスペースクラフトのランデブ・ドッキング	日本機械学会論文集, C編 Vol. 71, No. 702, pp. 573-580 (2005)	A
梶井紳一郎*, 安田千秋*, 山下敏夫*, 安部浩*, 神吉博	振動増幅装置の同期制御手法の開発 (実機とシミュレーションによる性能検証)	日本機械学会論文集, 70巻(696号)C編, 1889-1896(2004)	A
Hiroshi Kanki, Yoshichika Sato, Takayuki Ueshima	Development of standard damper bearing for small and medium sized rotating machinery	Proc. IMech.E Rotor Dynamics Conference (2004)	B
Takuzo Iwatsubo*, Kazuhiko Adachi, Tomoaki Aoki*, Masahide Onuki*, and Hidetsugu Kakiuchi*	A study of the 2D dynamic simulation model for the golf swing	The Engineering of Sport 5, Volume 2 of 2, 389-395(2004)	B
Kazuhiko Adachi, and Kinya Sakota*	Model Based Damage Detection Method by using Time-reversal Processing	Proceedings of the 15th International Conference on Adaptive Structures and Technologies, CD-ROM(2004)	C
Kazuhiko Adachi, Yoshifumi Awakura*, and Takuzo Iwatsubo*	Hybrid Piezoelectric Damping for Structural Vibration Suppression	Journal of Intelligent Material Systems and Structures, 15(11), 795-801(2004)	A
Aneta Nicoleta Suciu*, Takuzo Iwatsubo*, Mitsumasa Matsuda, Takashi Nishino*	A Study upon Durability of the Artificial Knee Joint with PVA Hydrogel Cartilage	JSME International Journal, Series C, 47(1), 199-208(2004)	A
Aneta Nicoleta Suciu*, Takuzo Iwatsubo*, Mitsumasa Matsuda, Takashi Nishino*	Wear Characteristics of a Novel Bearing System for Artificial Knee Joint (Micro-Pocket-Covered Femoral Component and Tibial Poro-Elastic-Hydrated Cartilage)	JSME International Journal, Series C, 47(1), 209-217(2004)	A
Michihiro Kawanishi, Masanori Ukibune	Unfalsified PID Controller Design for Active Magnetic Actuators Based on Direct Measured Data and L2 Gain Criterion	Proc. of the 9th International Symposium on Magnetic Bearings(2004)	B
Takuzo Iwatsubo*, Kazuhiko Adachi, Tomoaki Aoki*, Masahide Onuki*, and Hidetsugu Kakiuchi*	A study of the 2D dynamic simulation model for the golf swing	The Engineering of Sport 5, Volume 2 of 2, 389-395, 2004	B
Kazuhiko Adachi, and Kinya Sakota*	Model Based Damage Detection Method by using Time-reversal Processing	Proceedings of the 15th International Conference on Adaptive Structures and Technologies, CD-ROM, 2004	C
Kazuhiko Adachi, Yoshifumi Awakura*, and Takuzo Iwatsubo*	Hybrid Piezoelectric Damping for Structural Vibration Suppression	Journal of Intelligent Material Systems and Structures, 15(11), 795-801, 2004	A
東義隆*, 川野常夫*, 浜田隆史*, 岩木直*, 北川貴博*, 森脇俊道	携帯電話による会話と自動車運転の同時処理における意味的および空間的情報の干渉	日本機械学会論文集(C編), 70(693), 1341-1347(2004)	A
Toshimichi MORIWAKI, Young Chan SONG, Hirofumi SUZUKI	Ultra Precision Diamond Cutting of Plastic Materials by Applying Elliptical Vibration Cutting	Proceedings of the 4th International Conference of the European Society for Precision Engineering and Nanotechnology, 141-142(2004)	C

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Hirofumi SUZUKI, Ryota KAWAMORI, Tadashi OKINO, Toshimichi MORIWAKI, Mitsuru MIYABARA*, Hideo SHIBUTANI*	Ultra Precision Finishing of Micro Aspherical Surface by Ultrasonic Assisting Polishing	Proceedings of the 4th International Conference of the European Society for Precision Engineering and Nanotechnology, 213-214 (2004)	C
Keiichi SHIRASE, Keiichi NAKAMOTO, Eiji ARAI*, Toshimichi MORIWAKI	Digital Copy Milling - Autonomous Milling Process Control without NC Program -	Proceedings of the 14th International Conference on Flexible Automation & Intelligent Manufacturing, 1145-1152 (2004)	C
Toshimichi MORIWAKI, Keiichi SHIRASE	Intelligent Machine Tools - Current Status and Future Direction -	Proceedings of the 14th International Conference on Flexible Automation & Intelligent Manufacturing, 10-17 (2004)	C
Keiichi SHIRASE, Keiichi NAKAMOTO, Eiji ARAI*, Toshimichi MORIWAKI	Digital Copy Milling to Achieve Real-time Five-axis Milling Control	Proceedings of the 3rd International Conference and Exhibition on Design and Production of Dies and Molds, 45-49 (2004)	C
Keiichi NAKAMOTO, Keiichi SHIRASE, Hidefumi WAKAMATSU*, Akira TSUMAYA*, Eiji ARAI*	NC Program-less Direct Machining to Realize Autonomous Machine Tool	Proceedings of the 2004 JAPAN-U.S.A. Symposium on Flexible Automation, CD-ROM JL027 (2004)	B
Toshimichi MORIWAKI, Eiji Shamoto*, Young Chan SONG, Seido KOHDA*	Development of Elliptical Vibration Milling Machine	Annals of the CIRP, 53(1), 341-344 (2004)	A
Toshimichi MORIWAKI, Toshiro SHIBASAKA, Somkiat TANGJITSITCAROEN	Development of In-Process Tool Wear Monitoring System for CNC Turning	JSME International Journal Series C, 47(3), 933-938 (2004)	A
千田治光*, 佐藤礼士*, 森脇俊道	量産を目的とした工作機械の主軸熱変位推定-(第1報)主軸温度と主軸熱変位の関係-	日本機械学会論文集(C編), 70(698), 2961-2965 (2004)	A
白瀬敬一, 中本圭一, 荒井栄司*, 森脇俊道	NCプログラムを必要としない自律型工作機械-工程設計および作業設計の自動化によるダイレクトマシニング-	精密工学会誌, 70(11), 1449-1454 (2004)	A
Yoshitaka AZUMA*, Tsuneo KAWANO*, Toshimichi MORIWAKI	Evaluation Method for Driving Performance Using a Driving Simulator under the Condition of Drunk Driving or Talking Driving with a Cell Phone	Proceedings of the 5th International Conference on Machine Automation, 273-278 (2004)	C
Chunxiang MA*, Eiji SHAMOTO*, Toshimichi MORIWAKI, Lijiang WANG*	Study of Machining Accuracy in Ultrasonic Elliptical Vibration Cutting	International Journal of Machine Tool & Manufacture, 44, 1305-1310 (2004)	A
Yuji Yamamoto, Hirofumi SUZUKI, Tadashi OKINO, Yoshio HIJIKATA, Toshimichi MORIWAKI	Ultra Precision Grinding of Micro Aspherical Surface - Development of a Three-Axes Controlled Single Point Inclined Grinding Method -	Proceedings of the American Society for Precision Engineering, 558-561 (2004)	C

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Chunxiang MA*, Eiji SHAMOTO*, Toshimichi MORIWAKI	Study on the Thrust Cutting Force in Ultrasonic Elliptical Vibration Cutting	Materials Science Forum, 471-472, 396-400(2004)	C
H. Narita*, K. Shirase, E. Arai*, K. Namamoto, L. Y. Chen*, H. Fujimoto*	Proposal of a Concept of Future Oriented Machine Tools for Advanced Manufacturing System	International Journal of Production Research, 42(17), 3657-3673 (2004)	A
白瀬敬一, 中本圭一, 荒井栄司*, 森脇俊道	NCプログラムを必要としない自律型工作機械 - 工程設計および作業設計の自動化によるダイレクトマシニング-	精密工学会論文集, 70(11), 1449-1454 (2004)	A
J. B. M. Goossenaerts*, E. Arai*, K. Shirase, J. Mills*, F. Kimura*	Enhancing Knowledge and Skill Chains in Manufacturing and Engineering	Knowledge and Skill Chains in Engineering and Manufacturing -Information Infrastructure in the Era of Global Communications-, Published by Springer, 1-10 (2004)	A
J. Yagi*, E. Arai*, K. Shirase	Logics of Becoming in Scheduling : Logical Movement behind Temporality	Knowledge and Skill Chains in Engineering and Manufacturing -Information Infrastructure in the Era of Global Communications-, Published by Springer, 111-118 (2004)	A
H. Narita*, L. Y. Chen*, H. Fujimoto*, K. Shirase, E. Arai*	Proposal of Modification Strategy of NC Program in the Virtual Manufacturing Environment -Information Infrastructure in the Era of Global Communications-	Knowledge and Skill Chains in Engineering and Manufacturing, Published by Springer, 277-284 (2004)	A
K. Shirase, S. Honjou*, H. Wakamatsu*, A. Tsumaya*, E. Arai*	Dynamic Co-operative Scheduling Based on HLA	Knowledge and Skill Chains in Engineering and Manufacturing -Information Infrastructure in the Era of Global Communications-, Published by Springer, 285-292 (2004)	A
T. Moriwaki, K. Shirase	Intelligent Machine Tools - Current Status and Future Direction -	Proceedings of the 14th International Conference on Flexible Automation and Intelligent Manufacturing, 10-17 (2004), [Keynote Paper]	B
K. Shirase, K. Nakamoto, E. Arai*, T. Moriwaki	Digital Copy Milling - Autonomous Milling Process Control without NC Program -	Proceedings of the 14th International Conference on Flexible Automation and Intelligent Manufacturing, 1145-1152 (2004)	B
K. Nakamoto, K. Shirase, H. Wakamatsu*, A. Tsumaya*, E. Arai*	NC Programm-less Direct Machining to Realize Autonomous Machine Tool	Proceedings of the 2004 JAPAN-USA Symposium on Flexible Automation, JL027, CD-ROM (2004)	B
H. Watanabe*, A. Tsumaya*, H. Wakamatsu*, K. Shirase, E. Arai*	Dynamic Scheduling System with Variable Lot Size Approach Using Parts and Packets	Proceedings of the 2004 JAPAN-USA Symposium on Flexible Automation, JS038, CD-ROM (2004)	B
K. Takeuchi*, A. Tsumaya*, H. Wakamatsu*, K. Shirase, E. Arai*	Extensibility for Integrated Model of Geometrical and International Information	Proceedings of the 2004 JAPAN-USA Symposium on Flexible Automation, JL013, CD-ROM (2004)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
G. Han*, H. Wakamatsu*, A. Tsumaya*, E. Arai*, K. Shirase	Flexible Process Planning System Considering Design Intentions	Proceedings of the 5th International Conference on Machine Automation, 137-142 (2004)	C
谷水義隆*, 阪口龍彦, 杉村延広*	遺伝的アルゴリズムを用いたリアクティブスケジューリング (第1報, 作業の遅延に対する生産スケジュールの変更)	日本機械学会論文集C編, 69(685), 234-239 (2003)	A
Y. Tanimizu*, T. Sakaguchi, K. Harada*, N. Sugimura*	Genetic algorithm based reactive scheduling in multi-layered manufacturing system	Proc. of 2002 Japan - USA symposium on flexible automation, 2, 951-958 (2002)	B
Y. Tanimizu*, T. Sakaguchi, N. Sugimura*	Reactive scheduling for unscheduled changes in manufacturing systems	Current trends in production management, European series in industrial management, 6, 80-86 (2003)	B
Y. Tanimizu*, T. Sakaguchi, N. Sugimura*	Genetic algorithm based reactive scheduling for emergent jobs	Proc. of 2004 Japan - USA symposium on flexible automation, CD-ROM (2004)	B
Y. Tanimizu*, T. Sakaguchi, N. Sugimura*	Reactive scheduling system for unforeseen delays of manufacturing processes	Proc. of 7th international pacific conference on manufacturing & management, 2, 714-719 (2002)	C
T. Sakaguchi, Y. Tanimizu*, N. Sugimura*	Genetic algorithm based reactive scheduling for emergent jobs	Proc. of the 2nd international conference on leading edge manufacturing in 21st century, 725-728 (2003)	C
Y. Tanimizu*, T. Sakaguchi, N. Sugimura*, K. Iwamura*	A study on reactive scheduling system based on genetic algorithm	Proc. of 5th international workshop on emergent synthesis, 85-89 (2004)	C
T. Sakaguchi, Y. Tanimizu*, K. Harada*, K. Iwamura*, N. Sugimura*	Genetic algorithm based reactive scheduling in manufacturing systems - Advanced crossover method for tardiness minimization problems -	Proc. of international conference on machine automation, 347-352 (2004)	C
田浦俊春, 飛田州亮	設計空間の形成メカニズムに関する研究-空間写像の前後における距離の保存則の役割-	デザイン学研究, Vol.51, No. 4, 29-34 (2004)	A
田浦俊春, 中山嘉人	評価関数による抽象的形状特徴の表現方法に関する研究-進化的計算手法による形状生成のための評価関数の獲得-	デザイン学研究, Vol.51, No. 4, 35-44 (2004)	A
A. Lengyel, K. Ueda and T. Taura	Multi-objective optimization in job shop manufacturing systems based on Emergent	Proceedings of the 37th CIRP international Seminar on Manufacturing, Budapest, Hungary, 205-212 (2004)	B
Min. An and Toshiharu. Taura	Interactive Behavioral Design between Autonomous Behavioral Criteria Learning System and Human	Proceedings of The 5th International Conference on Machine Automation, (ICMA), 261-266 (2004)	B
片田喜章, 大倉和博, 上田完次*	Neutral Networksを含む適応度景観における遺伝的アルゴリズムの進化ダイナミクス	システム制御情報学会論文誌 Vol.17, No. 5, 187-195 (2004)	A
Yoshiaki Katada, Kazuhiro Ohkura and Kanji Ueda*	The Nei's Standard Genetic Distance in Artificial Evolution	Proceedings of The 2004 Congress on Evolutionary Computation (CEC2004), 1233-1239 (2004)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Ming Chang, Kazuhiro Ohkura and Kanji Ueda*, Masaharu Sugiyama*	Modeling Coevolutionary Genetic Algorithms on Two-Bit Landscapes: Partnering Strategies	Proceedings of The 2004 Congress on Evolutionary Computation (CEC2004), 2349-2356 (2004)	B
Yoshiaki Katada, Kazuhiro Ohkura and Kanji Ueda*	An Approach to Evolutionary Robotics Using a Genetic Algorithm with a Variable Mutation Rate Strategy	Proceedings of The 8th Parallel Problem Solving from Nature (PPSN VIII), 952-961 (2004)	B
Toshiyuki Yasuda, Kazuhiro Ohkura and Toshiharu Taura	Autonomous Role Assignment in Homogeneous Multi-Robot Systems	Proceedings of The 4th International Conference on the Advanced Mechatronics (ICAM' 04), 589-594 (2004)	B
Kazuhiro Ohkura and Ryota Washizaki	Robust Instance-Based Reinforcement Learning for Multi-Robot Systems	Proceedings of The 4th International Conference on the Advanced Mechatronics (ICAM' 04), 583-588 (2004)	B
Kazuhiro Ohkura and Kanji Ueda*	AUTONOMOUS SPECIALIZATION: AN APPROACH TO DYNAMIC ROLE ALLOCATION FOR A MULTI-ROBOT SYSTEM	Proceedings of The 5th International Workshop on Emergent Synthesis (IWES' 04), 133-138 (2004)	C
Yoshiaki Katada, Kazuhiro Ohkura and Kanji Ueda*	An Approach to Evolutionary Robotics Problems from The Genetic Algorithm with the Variable Mutation Rate Strategy	Proceedings of the 5th International Workshop on Emergent Synthesis (IWES' 04), 117-124 (2004)	C
Toshiyuki Yasuda, Kazuhiro Ohkura and Kanji Ueda*	A HOMOGENEOUS MOBILE ROBOT TEAM THAT IS FAULT-TOLERANT	Proceedings of The 5th International Workshop on Emergent Synthesis (IWES' 04), 139-146 (2004)	C
Toshiyuki Yasuda, Kazuhiro Ohkura and Toshiharu Taura	On the Performance of Reinforcement Learning for a Multi-Robot Team	Proceedings of The Fourth International Symposium on Human and Artificial Intelligence Systems (HART' 04), 354-358 (2004)	C

学術論文(レフェリー無し)(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
N. Takenaka, T. Kadowaki, Y. Kawabata*, I. C. Lim*, C. M. Sim*	Neutron Radiography as a Tool for Cavitation Phenomena Research in a Injection Nozzle of Diesel Engine	Proc. of the 1st Int. Forum on Heat Transfer, GS2-13 on CD-Rom (2004).
Nobuyuki Takenaka	Effect of Wettability on Mercury Heat Transfer	Proc. of the 1st Int. Forum on Heat Transfer, GS6-11 on CD-Rom (2004).
Shuji Furui*, Hisashi Umekawa*, Masakazu Tsuzuki*, Mamoru Ozawa*, Nobuyuki Takenaka	Fluidized-Bed Heat Transfer in Vertical Tube Banks	Proc. of the 1st Int. Forum on Heat Transfer, GS6-02 on CD-Rom (2004).
Shuji Furui*, Hisashi Umekawa*, Masakazu Tsuzuki*, Masashi Ohkura*, Mamoru Ozawa*, Nobuyuki Takenaka	Characteristics of Heat Transfer and Bed Material Movement around Vertical Tube in Fluidized Bed	Thermal Science and Engineering, 12(49), 103-104 (2004)
Seiichi Kubokawa*, Terushige Fujii, Hitoshi Asano	Development of New Heat Supply Unit Using Latent Heat (Prediction of the high capacity heat exchanger characteristic with PCM)	Proc. of the 1st Int. Forum on Heat Transfer, GS2-22 on CD-Rom (2004).
Hitoshi Asano, Terushige Fujii, Kenji Akita	Nucleate Boiling Heat Transfer Enhancement by Micro Structure by Thermal Spraying	Proc. of the 1st Int. Forum on Heat Transfer, GS6-12 on CD-Rom (2004)
Hitoshi Asano, Terushige Fujii, Yoshinori Hisazumi*, Tetsuo Abiko*, Toshihiro Hori*	Development of Heat Supply Unit Using Phase Change Materials for the Neighboring Communities Co-generation System	Thermal Science and Engineering, 12(49), 97-98 (2004)
H. Yasuda, H. Mori* and J. G. Lee*	Nonlinear responses of electronic-excitation-induced phase transformations in GaSb nanoparticles	Virtual Journal of Nanoscale Science & Technology, 9 (2004)
田中章順, 永澤鶴美*, 武田唯一*, N. J. Watkins*, Y. Gao*	表面修飾Agナノ粒子のフェムト秒2光子光電子分光	第13回光物性研究会論文集 181-184 (2002)
松本康司*, 秋山正雄*, 岸克宏*, 田川雅人	低軌道宇宙環境に曝露した固体潤滑剤のトライボロジー特性評価	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 第2回 総合技術研究本部 公開研究発表会 前刷集, 127-130 (2004)
田川雅人	レーザーデトネーションを用いた超高強度原子ビームの創成とその工学的応用	倉田奨学金研究報告, 34, 33-34 (2004)
田川雅人	宇宙環境と表面分析	イオン工学ニュース, 57, 12-13 (2004)
横田久美子, 大前伸夫, 田川雅人	低地球軌道上の原子状酸素によるシリコン酸化膜形成とその特徴	第20回宇宙利用シンポジウム講演予稿集, 308-311 (2004)
田川雅人, 横田久美子, 大前伸夫	低地球軌道上の原子状酸素環境利用に向けての収束化技術の開発 (2	第20回宇宙利用シンポジウム講演予稿集, 312-315 (2004)

学術著書(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術著書名	発行所 (年)	備考
編集 石井淑夫*, 他3名, 執筆 石井淑夫*, 竹中信幸, 他49名	泡のエンジニアリング	テクノシステム (2005)	第3章 泡をみる: 混相流の 可視化 第5節 中性子線計 測 pp. 259-266 を執筆
細川茂雄, 富山明男	混相流ハンドブック	朝倉書店 (2004)	分担執筆
富田佳宏	機械工学便覧 基礎編 α 3 材料力学 6.1円板	日本機械学会 (2005)	分担執筆
今井田豊*, 長谷部忠司	最新塑性加工要覧 日本塑性加工学 会編, 放電成形 (13. 8), 放電エネル ギーによる粉末成形 (13. 12. 2) (13. 高エネルギー速度加工)	日本塑性加工学会 (2000)	分担執筆
上野明*, 遠藤正浩*, 小川武史*, 杵渕雅男*, 黒島義人*, 菅田淳*, 田中和人*, 中井善一, 西川出*, 星出敏彦*, 山本三幸*	初心者のための疲労設計法	日本材料学会疲労部門委員 会編 (2004)	
中井善一, 田中 拓, ほか40名	材料強度学	日本材料学会編	
日和千秋	生分解性プラスチックによる生体用 複合材料の開発と骨構造体としての 機能評価	(2005)	平成14年-16年度科研費補助 金研究成果報告書
田中章順, 他*	放射光科学入門	東北大学出版 (2004)	分担執筆
Ohmae N., Tagawa M.	Adhesion and friction of hydrogenated DLC films with adsorbed water studied by in-situ AFM/FFM	Elsevier B. V. (2004)	
Nobuo Ohmae, Jean Michel Martin, Shigeyuki, Mori	Micro and Nanotribology	ASME Press, NY (2005)	
大前伸夫ほか98名	機械工学便覧 デザイン編 β 4 機械要素・トライボロジー	日本機械学会編 (2005)	
岩壺卓三*, 神吉博ほか	ISO基準に基づく機械設備の状態監 視と診断 (振動カテゴリー・T)	振動技術研究会編 (2004)	
岩壺卓三*, 神吉博ほか	ISO基準に基づく機械設備の状態監 視と診断 (振動カテゴリー・U)	振動技術研究会編 (2004)	
Fritz KLOKE*, Gunter PRITSCHON*, Toshimichi MORIWAKI	Autonome Produktion	Springer (2004)	分担執筆
庄司克雄*, 鈴木浩文, ほか	超精密加工と非球面加工	エヌティーエス (2004)	分担執筆 160-165, 276-292, 364-367

学術報告(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
片岡武, 葛原道久	二層流体中を伝播する内部孤立波の横方向攪乱に対する安定性	京都大学数理解析研究所研究集会”非線形波動現象の数理とその応用”(講演は2003) 講究録, 205-212 (2004)
藤井照重, 浅野等, 杉本勝美, 成田啓圭, 青木宏介	冷媒循環式衛星熱制御デバイスの信頼性向上・評価の研究Ⅰー潜熱利用流体ループ式排熱システムの動特性及び制御に関する研究ー	(独)宇宙航空研究開発機構平成16年度共同研究成果報告書, (2005)
藤井照重, 浅野等, 杉本勝美, 北畑慶之	冷媒循環式衛星熱制御デバイスの信頼性向上・評価の研究Ⅱー宇宙用排熱ループにおけるアキュムレーター制御特性に関する研究ー	(独)宇宙航空研究開発機構平成16年度共同研究成果報告書, (2005)
藤井照重, 浅野等, 杉本勝美, 岡田雄介	冷媒循環式衛星熱制御デバイスの信頼性向上・評価の研究Ⅲーキャピラリーポンプループの性能向上に関する研究ー	(独)宇宙航空研究開発機構平成16年度共同研究成果報告書, (2005)
浅野等, 藤井照重	ワックス系蓄熱材の蓄熱特性に関する研究	日本精蠟(株)平成16年度共同研究成果報告書, (2005)
浅野等, 藤井照重, 杉本勝美	潜熱蓄熱器の評価研究	大阪ガス(株), (株)ノーリツ, 住友精密工業(株)平成16年度共同研究成果報告書, (2005)
藤井照重	管内気液二相流の過渡現象(気泡流、スラグ流)	ターボ機械 2005年3月号, (2005)
宋 明良	ノズル内キャビテーション流れモデル	日本機械学会「RC197 エンジンの燃焼モデリングに関する調査研究分科会(フェーズ2)」最終報告書, pp. 448-461 (2004).
宋 明良	界面追跡法と気泡追跡法のハイブリッド手法(ノズル内キャビテーション流れと液体噴流の数値解析)	日本機械学会「RC203 微粒化における標準データベースの構築に関する調査研究分科会」最終報告書, pp. 118-127. (2004).
Akira Sou	Report on 3rd International Symposium on Two-Phase Flow Modelling and Experimentation	23rd issue of Int. Information Center for Multiphase Flow (ICeM) Newsletter, pp. 12-13 (2004).
長谷部忠司	結晶塑性理論と場の理論としての非リーマン塑性論	同志社大学工学会報, 39, 25-46 (1995)
堀内一男*, 石山正文*, 長谷部忠司, 今井田豊*, 行村建*	レーザーアブレーションの分子動力学シミュレーション	プラズマ研究会資料, 資料番号E P-97-38, 1-6 (1997)
外本和幸*, 山下実, 橋本成一, 長谷部忠司, 井山裕文	高エネルギー速度加工(年間展望) ～放電成形～	塑性と加工, 45(523), 645-648 (2004)
村越庸一*, 佐藤裕久*, 長谷部忠司, 外本和幸*, 張海*	高エネルギー速度加工(年間展望) ～放電成形～	塑性と加工, 38(439), 748-750 (1997)
加藤和典*, 後藤学*, 長谷部忠司, 磯邊邦夫*, 栗山慎鋒*	塑性力学(年間展望) ～離散化解法～	塑性と加工, 39(451), 775-789 (1998)
外本和幸*, 佐藤裕久*, 長谷部忠司, 吉良章夫*	高エネルギー速度加工(年間展望) ～放電成形～	塑性と加工, 44(511), 865-868 (2003)
後藤学*, 長谷部忠司, 早川邦夫*, 澤田采夫*	塑性力学(年間展望) ～構成式～	塑性と加工, 44(511), 775-781 (2003)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
長谷部忠司, 山下実*, 外本和幸*, 張守彬*	高エネルギー速度加工(年間展望) ～放電成形～	塑性と加工, 43(499), 747-751 (2002)
井関日出男*, 北澤君義*, 近藤一義*, 島進*, 田中一繁*, 長谷部忠司, 松田文憲*, 松原茂夫*	21世紀のインクリメンタルフォーミング	塑性と加工, 42(489), 984-989 (2001)
外本和幸*, 佐藤裕久*, 長谷部忠司, 張守彬*	高エネルギー速度加工(年間展望) ～放電成形～	塑性と加工, 42(487), 812-815 (2001)
外本和幸*, 長谷部忠司, 張守彬*	高エネルギー速度加工(年間展望) ～放電成形～	塑性と加工, 41(475), 820-823 (2000)
村越庸一*, 佐藤裕久*, 長谷部忠司, 外本和幸*, 長海博文*	高エネルギー速度加工(年間展望) ～放電成形～	塑性と加工, 40(463), 780-783 (1999)
加藤和典*, 長谷部忠司, 呉屋守章*, 吉原正一郎*, 田中繁一*	塑性力学(年間展望) ～基礎理論～	塑性と加工, 40(463), 701-715 (1999)
村越庸一*, 内田幸彦*, 長谷部忠司, 外本和幸*, 長海博文*	高エネルギー速度加工(年間展望) ～放電成形～	塑性と加工, 39(451), 852-855 (1998)
中井善一	マイクロマテリアルの疲労寿命と疲労損傷評価	日本材料学会・疲労部門委員会・マ イクロマテリアル部門委員会合同委 員会(2004. 5)
中井善一	金属材料の疲労損傷評価の現状と、高輝度放射光を利用した 技術への期待	SPring-8利用推進協議会・研究開発 委員会・第13回SPring-8産業利用研 究会(2004. 10. 4)
中井善一	原子間力顕微鏡を用いた金属材料における疲労き裂発生条件 の解明	関西原子力懇談会・第3回 長期供用 下における原子力構造物の信頼性評 価と維持技術に関する調査委員会 (2004. 11. 29)
中井善一	SPring-8による疲労損傷評価の可能性について	日本材料学会・疲労部門委員会・高 輝度放射光による疲労損傷評価技術 研究分科会(2004. 12. 24)
中井善一, 細見昭平, 関 誠, 澤田義裕	金属ガラスの疲労	文部科学省科学研究費・特定領域研 究[金属ガラスの材料科学] A04班 金属ガラスの 変形・破壊のメカニ クス勉強会, 神戸大学(2005. 1. 14)
保田英洋, 藤居義和, 藤井稔	GaSbナノ粒子の電子励起誘起相転移における非線形応答	神戸大学ベンチャー・ビジネス・ラ ボラトリー年報, 9, 50-53 (2004)
A. Tanaka, A. Chainani*, T. Miura*, T. Takahashi*, T. Miyazaki*, S. Hasegawa*, T. Mori*	Synchrotron-radiation photoemission study of in-situ synthesized DCNQI (N,N'-dicyanoquinonediimine)-Cu salts	UVSOR Activity Report 22, 208-209 (1995)
田中章順, 高橋和敏*, 田村好司*, 鈴木章二*, 佐藤繁*	金属超薄膜における量子サイズ効果：光電子分光	文部省科学研究費補助金総合研究 (A)「固体の広エネルギー領域光物 性」研究成果報告書 (1996)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
S. Fujimori*, Y. Saito*, M. Seki*, K. Tamura*, M. Mizuta*, K. Sato*, T. Okane*, A. Tanaka*, N. Sato*, T. Komatsubara*, S. Suzuki*, S. Sato*, Y. Tezuka*, S. Shin*, T. Ishii*	Resonant photoemission study of $U_xLa_{1-x}Pd_2Al_3$	Activity Report of Synchrotron Radiation Laboratory 1995, 48-49 (1996)
A. Tanaka, K. Tamura*, K. Takahashi*, M. Hatano*, T. Okane*, S. Suzuki*, S. Sato*, S. Kunii*, A. Harasawa*, A. Kimura*, A. Kakizaki*	Resonant photoemission study of single crystalline NdB6 clean surface	Photon Factory Activity Report, 14, 384-384 (1996)
A. Tanaka, K. Tamura*, K. Takahashi*, M. Hatano*, T. Okane*, S. Suzuki*, S. Sato*, S. Kunii*, A. Harasawa*, A. Kimura*, A. Kakizaki*	Resonant photoemission study of single crystalline NdB6 clean surface	Activity Report of Synchrotron Radiation Laboratory 1996, 68-69 (1997)
田中章順	メゾスコピック系物質の光電子分光	KEK Proceedings 1998 (1998)
田中章順	メゾスコピック系ナノ物質の光電子分光	物性研だより 38, 20-21 (1998)
田中章順	新規電子機能開拓を目指した金属量子ナノ構造における励起電子ダイナミクスの解明	新世代研究所研究報告 9, 41-44 (2002)
A. Tanaka, Y. Takeda*, T. Nagasawa*, M. Imamura, K. Takahashi*	Synchrotron-radiation photoemission study of dodecanethiolate-passivated Au nanoparticles	UVSOR Activity Report 30, 180-181 (2003)
A. Tanaka, Y. Takeda*, M. Imamura, S. Sato*	Dynamic final-state effect on the core-level photoemission of surface-passivated Au nanoparticles on the graphite substrates	UVSOR Activity Report 31, 85 (2004)
藤居義和	正倉院宝庫における金属表面試料腐食調査報告	正倉院調査報告書 第39報 (2004)
田川雅人	Young-Dupreの式	トライボロジスト, 49(6) 499-500 (2004).
田川雅人	私たちの暮らしを守る宇宙技術の向上をめざして	平成16年度 第22回神戸大学工学部公開講座, 57-62 (2004)
大前伸夫	高配向カーボンナノチューブの高速成長	金属, 74(11), 1194-1196 (2004)
大須賀 公一	ヘビ型ロボットによる狭空間探索-大大特「ヘビ型ロボットグループ」の研究紹介-	日本ロボット学会誌, Vol. 22 No. 05, pp. 12-15, (2004)
深尾 隆則, 足立 紀彦*	部分的適応制御	計測と制御, Vol. 40, No. 10, pp. 711-716 (2001)
増田 士朗*, 水野 直樹*, 山本 透*, 水本 郁郎*, 深尾 隆則	電気油圧シリンダに対する適応制御用ベンチマーク問題の作成-SICE制御部門適応学習制御調査研究会活動報告-	計測と制御, Vol. 40, No. 10, pp. 758-763 (2001)
深尾 隆則	画像情報に基づく制御システム-Research and Life in Carnegie Mellon University-	システム／制御／情報, Vol. 48, No. 8, pp. 315-320 (2004)
神吉博	特別講義(2)「機械の状態監視」v-BASE講習会, 事例に学ぶ振動・騒音トラブルの予防と対策	日本機械学会[No. 04-111]講習会教材, 91-97(2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
森脇俊道	産学連携への期待	Toyoda with you 豊田工業株式会社, 53, 3(2004)
森脇俊道, 増沢隆久*	超精密・微細加工技術に関する最近の動向	日本機械学会講習会 生産加工・工作機械部門「超精密・微細部品の市場性と機械加工技術の最新動向」, 04-75, 1-20(2004)
鈴木浩文	複雑形状の非球面光学部品の超精密加工における形状計測の現状とその動向	日本機械学会講習会 生産加工・工作機械部門「加工を支える計測技術-超精密の世界における新展開-」, 04-75, 1-10(2004)
森脇俊道, 柴坂敏郎, 鈴木浩文, 中本圭一	研究室紹介-神戸大学工学部機械工学科コンピューター統合生産工学	砥粒加工学会誌, 48(12), 691-693(2004)
鈴木浩文	複雑形状化する超精密微細加工技術	機械技術, 52(9), 26-30(2004)
鈴木浩文	超音波振動を利用したマイクロ非球面形状の超精密研磨	トライボロジー, 3(211), 28-30(2005)
白瀬敬一	NCプログラムが不要な次世代スキルレス工作機械の試作	平成13年度～15年度科学研究費補助金[基盤研究(B)(2)]研究成果報告書
白瀬敬一, 荒井栄司*, 杉村延広*, 藤井 進	ITがもたらす生産システムの新展開	精密工学会誌, 70(8), 1022-1027(2004)
田浦俊春	設計における概念生成過程と創造性	デザイン学研究特集号, Vol. 12, No. 3, 28-35(2005)

学術講演(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
田村明紀, 葛原道久, 片岡武, 四方憲治, 近藤崇匡	差分格子ボルツマン法によるスリット及び穴あき円柱から生じる空力音の直接計算	日本流体力学会年会2004 (2004)
葛原道久, 片岡武, 田村明紀, 四方憲治	差分格子ボルツマン法によるエッジ音の直接計算	日本機械学会2004年度年次大会 (2004)
渡利寛*, 葛原道久	3次元FDLBMモデルによる超音速流シミュレーション	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
田嶋正和, 葛原道久, 小川和彦*, 坂本雅彦*, 横山広樹, 田尻慎介	高圧ガスを直接の駆動源とする船舶用推進ノズル内流れに関する実験的研究	日本機械学会流体工学部門講演会 (2004)
葛原道久, 小川和彦*, 三島大輔, 大谷公二, 森田浩太郎	ボール弁まわりの非定常流れに関する研究	日本機械学会流体工学部門講演会 (2004)
田尻慎介, 葛原道久, 小川和彦*, 坂本雅彦*, 田嶋正和, 横山広樹	高圧ガスを直接の駆動源とする船舶用推進ノズル内流れに関する数値的研究	日本機械学会流体工学部門講演会 (2004)
田村明紀, 葛原道久	ALE法を用いた差分格子ボルツマン法による移動物体から生じる空力音の直接計算	第41回日本航空宇宙学会中部・関西 支部合同秋期大会 (2004)
水谷聡, 葛原道久	差分格子ボルツマン法における数値誤差の影響	第41回日本航空宇宙学会中部・関西 支部合同秋季大会 (2004)
田村明紀, 葛原道久	差分格子ボルツマン法による移動物体から生じる空力音の直接計算	第24回流力騒音シンポジウム (2004)
田村明紀, 葛原道久	ALE法を用いた差分格子ボルツマン法による移動物体から生じる空力音の直接計算	第18回数値流体力学シンポジウム (2004)
桜井貴夫, 葛原道久, 榎村真一*, 張曉峰*, 篠原康彦, 植原一平	狭い間隙内の高せん断流れによる粒子の微粒化に関する研究	日本機械学会関西支部第80期定時総 会講演会 (2004)
葛原道久, 片岡武, 後藤隆宏	回転二重同心円筒内流体の吸い込み湧き出し流れ	日本機械学会関西支部第80期定時総 会講演会 (2004)
葛原道久, 片岡武, 高橋裕司	二層流体中を伝播する内部孤立波の線形安定性に関する研究	日本機械学会関西支部第80期定時総 会講演会 (2004)
田尻慎介, 葛原道久, 小川和彦, 坂本雅彦, 田嶋正和, 横山広樹	船舶用推進ノズル内の気液二相流シミュレーションに関する研究	日本機械学会第80期定時総会講演会 (2005)
Shuji Furui*, Hisashi Umekawa*, Masakazu Tsuzuki*, Masashi OKURA*, Mamoru Ozawa*, Nobuyuki Takenaka	Visualization of Fluidized Bed Heat Exchanger in Upward/Downward Flow Condition by Neutron Radiography	5th Int. Topical Meeting on Neutron Radiography, (2004).
Hisashi Umekawa*, Shuji Furui*, Yoshihiro Oshima*, Masashi Okura*, Mamoru Ozawa*, Nobuyuki Takenaka	Quantitative Measurement of Segregation Phenomena in a Binary Mixture Fluidized Bed by Neutron Radiography	5th Int. Topical Meeting on Neutron Radiography, (2004).
古井秀治*, 梅川尚嗣*, 都築雅和*, 大倉正詞*, 小澤守*, 竹中信幸	流動層垂直管熱交換器の伝熱特性に対する層材挙動と空隙率の影響	第41回日本伝熱シンポジウム (2004).

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
Hitoshi Asano, Nobuyuki Takenaka, Toshiaki Wakabayashi, Terushige Fujii	Visualization and Void Fraction Distribution of Downward Gas-Liquid Two-Phase Flow in a Plate Heat Exchanger by Neutron Radiography	5th Int. Topical Meeting on Neutron Radiography, (2004).
Hitoshi Asano, Takehiko Nakajima, Nobuyuki Takenaka, Terushige Fujii	Visualization of Hygroscopic Water Distribution in an Adsorbent Bed by Neutron Radiography	5th Int. Topical Meeting on Neutron Radiography, (2004).
竹島敬志*, 浅野等, 藤井照重, 中松英志, 竹村洋平*	ワイヤーコイル挿入による垂直管内沸騰伝熱促進とそのメカ ニズム	第41回日本伝熱シンポジウム (2004)
浅野等, 藤井照重, 秋田賢二	マイクロストラクチャによる核沸騰伝熱促進	第41回日本伝熱シンポジウム (2004)
浅野等, 藤井照重, 久角喜徳*, 安孫子哲男*, 堀紀弘*	相変化材を利用したコジェネレーション用熱供給ユニットの 開発	第41回日本伝熱シンポジウム (2004)
藤井照重, 和田賢宣, 成田啓圭, 浅野等, 杉本勝美, 遠山伸一*, 川崎春夫*	潜熱利用流体ループ式排熱システムにおける弁操作による温 度制御に関する研究	第41回日本伝熱シンポジウム (2004)
北畑慶之, 藤井照重, 浅野等, 杉本勝美, 遠山伸一*, 川崎春夫*	宇宙用潜熱利用排熱システムにおけるアキュムレータ制御特 性	第41回日本伝熱シンポジウム (2004)
岡田雄介, 藤井照重, 浅野等, 杉本勝美	キャピラリーポンプループの性能特性に関する研究	第41回日本伝熱シンポジウム (2004)
菅谷正則, 藤井照重, 浅野等, 杉本勝美	ミニチャネル内の熱流動特性に関する研究	第41回日本伝熱シンポジウム (2004)
浅野等	冷凍空調分野における応用	中性子ラジオグラフィ専門研究会 (2004)
川崎春夫*, 大田治彦*, 藤井照重	マイクロチャンネルを用いた宇宙用単相熱制御システムの重 量検討	日本混相流学会 年会講演会 (2004)
北畑慶之, 藤井照重, 浅野等, 杉本勝美, 遠山伸一*, 川崎春夫*	宇宙用二相排熱ループにおける熱式アキュムレータの制御特 性	日本混相流学会 年会講演会 (2004)
竹島敬志*, 浅野等, 藤井照重	ワイヤーコイル挿入による垂直管内沸騰伝達と液膜挙動の 関係	日本混相流学会 年会講演会 (2004)
浅野等	溶射皮膜による核沸騰伝熱促進	日本伝熱学会関西支部講演討論会 (2004)
浅野等	集合住宅用コジェネレーションシステムへの取り組み	化学工学会関西支部 「環境・廃棄 物研究会」・「資源・エネルギー研 究会」合同研究会 (2005)
林公祐, Win Myint, 宋 明良, 富山明男	改良SCA法による流体粒子の界面追跡計算	日本混相流学会年会講演会2004 (2004)
藤埴哲平, 細川茂雄, 富山明男	鉛直円管内気液二相気泡乱流における気泡運動に関する研究	日本混相流学会年会講演会2004 (2004)
嶋 敏秀, 白井正貴, 富山明男, 細川茂雄, 宋 明良	二酸化炭素-水系鉛直管内気泡流に関する研究	日本混相流学会年会講演会2004 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
濁川慎司, 宋 明良, 富山明男, 細川茂雄, 松本洋一郎*	インジェクタのノズル内キャビテーションと液体噴流の可視化	日本混相流学会年会講演会2004 (2004)
Win Myint, Daisuke Matsumoto, Akira Sou, Shigeo Hosokawa, Akio Tomiya	Terminal Velocities of Single Drops rising through Stagnant Liquids	日本混相流学会年会講演会2004 (2004)
細川茂雄, 今井健二郎, 富山明男	2波長の光強度勾配を用いた3次元粒子画像流速計の開発	第32回可視化情報シンポジウム (2004)
細川茂雄	気泡乱流	日本機械学会関西支部第5回秋季技 術交流フォーラム (2004)
西本幸司, 宋 明良	神戸大学における学生フォーミュラへの取り組み	日本機械学会関西支部第5回秋季技 術交流フォーラム (2004)
宋明良, 濁川慎司, 富山明男, 細川茂雄, 松本洋一郎*	ズル内キャビテーション流れの可視化とLDV 計測	第13回微粒化シンポジウム (2004)
宋 明良	ノズル内キャビテーションと液体噴流微粒化過程の数値解析 (招待講演)	次世代ゼロエミッション・エネルギー 変換システム噴霧燃焼講演会 (2004)
屋代如月, 山上勝也, 富田佳宏	Ni/Ni3Al単結晶の第一原理格子不安定性解析	第9回分子動力学シンポジウム (2004)
藤田武孝, 中村達彦, 長谷部忠司, 富田佳宏	マルチスケール多結晶塑性モデリングにおける結晶粒の集団 挙動の取り扱いに関する一考察	日本材料学会第53期通常総会・学術 講演会 (2004)
内田真, 富田佳宏	メゾ領域における結晶性高分子材料の変形挙動のモデル化	日本材料学会第53期通常総会・学術 講演会 (2004)
安達泰治*, 鍋島弘樹, 富田佳宏	ポーラスScaffoldの構造寸法が再生骨梁構造に及ぼす影響	第43回日本ME学会大会 (2004)
内藤正登*, 村岡清繁*, 白石正貴*, 吉永寛*, 富田佳宏	有限要素シミュレーションによるフィラー充てんゴムの力学 特性の検討	第53回高分子学会年次大会 (2004)
Yoshihiro Tomita, Lu Wei and Yasuhiro Furutani	Micro- to Macroscopic Deformation Behavior of Carbon Black Filled Rubber under Monotonic and Cyclic Straining	3rd Int. Conf. Computational Modeling and Simulation of Materials (2004)
Y. Tomita and M. Uchida	Computational Modelling of Micro- to Macroscopic Deformation Behavior of Amorphous Polymer	ICHMM-2004 International Conference on Heterogeneous Material Mechanics Chongqing Univ. Yangtze River/Three Gorges (2004)
Makoto UCHIDA and Yoshihiro TOMITA	Computational Simulation of Mesoscopic Deformation Behavior of Semi-Crystalline Polymer	ICCES' 04, International Conference on Computational & Experimental Engineering and Sciences, Madeira, Portugal (2004)
Wei LU, Yoshihiro TOMITA	On Micromechanical Behavior of Glassy Polymer Blended with Different Sized Rubber Particles	ICCES' 04, International Conference on Computational & Experimental Engineering and Sciences, Madeira, Portugal (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
Kisaragi Yashiro, Yasushi Tabata, Fumiharu Kurose, Yoshihiro Tomita and Hussein M. Zbib*	Molecular Dynamics / Discrete Dislocation Dynamics Simulations on the Dislocation Behavior in Ni-Based Superalloys	ICCES' 04, International Conference on Computational & Experimental Engineering and Sciences, Madeira, Portugal (2004)
Y. Tomita, Wei Lu, Y. Furutani	Computational Characterization of micro- to macroscopic mechanical behavior of carbon black-filled rubber	21st ICTAM Prenominated Session on Material Instabilities (2004)
Naghi ESMAEILI Kelishomi, Wei LU, Yoshihiro TOMITA	Effects of Interphase Properties on the Mechanical Behavior of Ternary Polymer-Based Composites	WCCM VI, The 2004 Sixth World Congress on Computational Mechanics (2004)
Wei LU, Yoshihiro TOMITA	Numerical Evaluation of Debonding Behavior in Carbon Black-filled Rubber	WCCM VI, The 2004 Sixth World Congress on Computational Mechanics (2004)
Tomohiro Takaki Toshimichi Fukuoka and Yoshihiro Tomita	Adaptive Finite Element Simulation during Directional Solidification of a Binary Alloy using Phase-Field Method	WCCM VI, The 2004 Sixth World Congress on Computational Mechanics (2004)
西島尚吾, 佐藤克也, 安達泰治*, 富田佳宏	培養骨芽細胞におけるストレスファイバー構造再形成過程の 観察	日本機械学会2004年度年次大会 (2004)
児山欣典, 安達泰治*, 富田佳宏	海綿骨欠損内の骨梁構造形成に及ぼす周囲環境因子の影響	日本機械学会2004年度年次大会 (2004)
久保圭佑, 屋代如月, 富田佳宏	第三元素を添加したNi/Ni3Al結晶格子の第一原理計算による 構造解析	日本機械学会2004年度年次大会 (2004)
屋代如月, 古田淳嗣, 富田佳宏	ポリエチレン単結晶へのナノインデンテーション (分子動力 学による検討)	日本機械学会2004年度年次大会 (2004)
黒瀬史治, 屋代如月, 富田佳宏, Hussein M. Zbib*	γ/γ' の格子ミスフィットに起因した転位挙動: 離散転位動 力学法による検討	日本機械学会2004年度年次大会 (2004)
長谷部忠司	転位セル組織のユニバーサリティー ~単軸から多軸, 静的 から衝撃, 低温から高温, 比例から非比例まで~	日本機械学会2004年度年次大会 (2004)
Masato Naito*, Tetsuo Mizoguchi*, Hiroshi Yoshinaga*, Yoshihiro Tomita	Finite Element Analysis of Microscopic Mechanical Properties of Filled Rubber	International Rubber Conference 2004 (2004)
Y. Tomita, W. Lu, Y. Furutani, M. Naito	Numerical simulation of micro- to macroscopic mechanical behavior of CB filled rubber	AEPA' 04, The 7th Asia-Pacific Symposium on Engineering Plasticity and Its Application (2004)
Naghi ESMAEILI Kelishomi, Wei LU, Yoshihiro TOMITA	Characterization of Micro- to Macroscopic Response of Ternary Polymer-Based Composite System	AEPA' 04, The 7th Asia-Pacific Symposium on Engineering Plasticity and Its Application (2004)
Kenji SAITO, Koichi MAKII*, Syushi IKEDA*, Hiroshi AKAMIZU*, Yoshihiro TOMITA	Computational Evaluation of Micro- to Macroscopic Mechanical Characteristics of Low-Carbon TRIP Steel Under Different Conditions	APCFS2004 The Asian Pacific Conference for Fracture and Strength (2004)
Makoto UCHIDA and Yoshihiro TOMITA	Mesosopic Modeling of Deformation Behavior of Semi-Crystalline Polymer	APCFS2004 The Asian Pacific Conference for Fracture and Strength (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
Kisaragi Yashiro, Atsushi Furuta and Yoshihiro Tomita	Molecular dynamics simulation of nanoindentation on folded chain crystal of polyethylene	APCFS2004 The Asian Pacific Conference for Fracture and Strength (2004)
K. Yashiro, F. Kurose, Y. Tabata, Y. Tomita and H. M. Zbib*	MD / DDD Study on Dislocation Behaviors at Matrix-Precipitate Interface in Nickel-Based Superalloys	2nd International Conference on Multiscale Materials Modeling (2004)
Taiji Adachi*, Hiroki Nabeshima, Yoshihiro Tomita, Scott J. Hollister*	A Computational Study of the Effect of Porous Scaffold Design on Regenerated Trabecular Bone	BMES 2004 Annual Fall Meeting (2004)
Katsuya Sato, Taiji Adachi*, Mamoru Matsuo, Yoshihiro Tomita	Threshold magnitude of axial strain that induces stress fiber reorganization in osteoblastic cells	BMES 2004 Annual Fall Meeting (2004)
Kisaragi Yashiro, Yasushi Tabata, Fumiharu Kurose, Yoshihiro Tomita and Hussein M. Zbib*	Dislocation Behaviors at Matrix-Precipitate Interface in Nickel-Based Superalloys: Molecular Dynamics and Discrete Dislocation Dynamics Study	Joint US-Japan Workshop on Materials and Coatings for High Temperature Environment (2004)
東 規雄, 佐藤克也, 安達泰治*, 富田佳宏	マイクロパーティクルを用いた局所変形負荷に伴う培養骨芽細胞のカルシウム応答発生起点の観察	第15回バイオフィロンティア講演会 (2004)
長谷部忠司	液中放電成形法によるマイクロフォーミングとその可能性	第12回機械材料・材料加工技術講演会 (2004)
樋口洋平, 安達泰治*, 富田佳宏	骨再生用ポーラスScaffold型の造形プロセスの検討	第15回バイオフィロンティア講演会 (2004)
長谷部忠司	バイオインスパイアードメカニクスの提案	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
長谷部忠司, 屋代如月, 富田佳宏	転位セル詳細構造に関する離散転位動力学シミュレーション	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
長谷部忠司	場のゆらぎとGlassy Solidの数値モデリング	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
長谷部忠司	転位のゲージ場理論とその数値構造	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
長谷部忠司, 藤田武孝, 富田佳宏	場の理論に基づく複相多結晶のマルチスケールモデリング	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
古田淳嗣, 屋代如月, 富田佳宏	分子動力学法によるポリエチレン単結晶へのナノインデンテーション (分子鎖方向の影響)	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
本間義規, 安達泰治*, 手塚建一*, 富田佳宏	力学環境下における海綿骨欠損内部の骨梁再生シミュレーション (反応拡散系によるモデル化)	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
徳田秀一, 高木知弘, 富田佳宏	アダプティブフェーズフィールド法による多結晶体への凝固シミュレーション	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
高木知弘, 長谷部忠司, 富田佳宏	応力誘起界面不安定性のフェーズフィールドシミュレーション	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
斉藤賢司, 池田周之*, 槇井浩一*, 山本浩平, 富田佳宏	低C-TRIP鋼の組織形態依存性塑性変形挙動のシミュレーション	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
山本浩平, 斉藤賢司, 富田佳宏	複相TRIP鋼の変形挙動に及ぼす残留 γ 相の微視構造形態の影響	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
長野晋哉, 長谷部忠司, 富田佳宏	多結晶金属の変形挙動に及ぼす結晶粒サイズ分布の影響に関するマルチスケールアナリシス	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
内田真, 富田佳宏	結晶性高分子材料のメゾ組織の変形挙動のマルチスケールモデリング	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
古谷泰大, 陸偉, 内藤正登, 富田佳宏	分子鎖網目モデルによるカーボンブラック充填ゴムの粘弾性変形挙動シミュレーション	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
鍋島弘樹, 安達泰治*, 富田佳宏	海綿骨欠損部における骨再生シミュレーションを用いた Scaffoldの内部構造寸法の決定	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
陸偉, Naghi ESMAEILI, 富田佳宏	三相構造を有するポリマーベース複合材の機械的特性の数値シミュレーション	日本機械学会第17回計算力学講演会 (2004)
長谷部忠司	放電成形法によるシンプルかつロバストなマイクロフォーミング	マイクロ加工・第15回研究委員会 (2004)
川上仁英*, 長谷部忠司, 今井田豊*	衝撃荷重下における鋼薄板材の交差効果	第55回塑性加工連合講演会 (2004)
水上和宏*, 長谷部忠司, 今井田豊*, 中村康範*, 片山博生*	容器形状を有する低環境負荷FRPの衝撃エネルギー吸収特性	第55回塑性加工連合講演会 (2004)
田中宣行*, 長谷部忠司, 今井田豊*	衝撃荷重下におけるBCC金属のBauschinger効果に関する研究	第55回塑性加工連合講演会 (2004)
木村尚寛*, 長谷部忠司, 今井田豊*	SHPB法の原理を用いた新しい薄板衝撃試験方法の提案	第55回塑性加工連合講演会 (2004)
本田泰三*, 長谷部忠司, 今井田豊*	水中放電成形法による1 μ オーダーのマイクロ転写加工に関する研究	第55回塑性加工連合講演会 (2004)
国藤太亮*, 長谷部忠司, 今井田豊*	水中衝撃圧力波による金属薄板のマイクロ穴あけ加工における放電諸条件によるだれ抑制効果	第55回塑性加工連合講演会 (2004)
端山雅文*, 長谷部忠司, 今井田豊*	ECAP加工した銅材の引張特性	第55回塑性加工連合講演会 (2004)
長谷部忠司	パイオインスパイヤードメカニクスに基づくマルチスケール多結晶塑性モデリングについて	第55回塑性加工連合講演会 (2004)
井上正史*, 長谷部忠司, 今井田豊*	フェーズフィールドモデルによる自己組織化量子ドットの成長シミュレーション	第55回塑性加工連合講演会 (2004)
玉田英輝*, 長谷部忠司, 今井田豊*	場の理論に基づく二相材のマルチスケール多結晶塑性モデリングに関する研究	第55回塑性加工連合講演会 (2004)
山田康弘*, 長谷部忠司, 今井田豊*	ひずみ勾配を考慮した結晶塑性構成式の定式化とマルチスケール多結晶塑性アナリシス	第55回塑性加工連合講演会 (2004)
後藤智*, 長谷部忠司, 今井田豊*	離散転位動力学に基づく転位セル壁の詳細構造と力学特性に関するマルチスケールアナリシス	第55回塑性加工連合講演会 (2004)
藤田大輔*, 長谷部忠司, 今井田豊*	インクリメンタルハンマリングによる半球形における絞り成形	第55回塑性加工連合講演会 (2004)
横田耕治*, 長谷部忠司, 今井田豊*	転位セル組織の発展を考慮した二相多結晶モデルのマルチスケールアナリシス	第55回塑性加工連合講演会 (2004)
T. Hasebe	Phase-field approach to grain sub-division modeling	New Cross-Over Project International Workshop (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
Masahiro SASAKI*, Takeshi IWAMOTO*, Tadashi HASEBE and Toshiyuki SAWA*	Experimental Study on Impact Deformation and Transformation Behaviors of TRIP Steel by Split Hopkinson Pressure Bar Method under Liquid Environment	Plasticity '05 (2005)
Naghi Esmaeili K. and Yoshihiro Tomita	Computational Characterization of Micro- to Macroscopic Mechanical Behavior of Ternary Polymer-Based Composite	Plasticity '05 (2005)
Tadashi HASEBE	Field Theory of Plasticity and Its Application to Trans-scale Polycrystalline Plasticity Modeling	Plasticity '05 (2005)
Yoshihiro Tomita and Yasuhiro Furutani	Computational Characterization of Carbon Black Filled Rubber Under Monotonic and Cyclic Deformation	Plasticity '05 (2005)
K. Yashiro, F. Kurose, Y. Tomita and H. M. Zbib*	Discrete Dislocation Dynamics Study on Dislocation Behavior in the Gamma/Gamma-Prime Microstructure of Ni-Based Superalloy: Effect of Residual Stress due to Lattice Misfit	Plasticity '05 (2005)
屋代如月	アモルファス材料の微視的変形挙動：分子動力学による検討	特定領域研究「金属ガラスの材料科学」A04班「金属ガラスの変形・破壊メカニクス」勉強会 (2005)
長谷部忠司	場の理論に基づく金属ガラスの塑性変形挙動のモデリングについて	特定領域研究「金属ガラスの材料科学」A04班「金属ガラスの変形・破壊メカニクス」勉強会 (2005)
鍋島弘樹, 安達泰治*, 富田佳宏	海綿骨欠損部再生のためのScaffold内部構造の設計支援シミュレーション	日本機械学会第17回バイオエンジニアリング講演会 (2005)
東 規雄, 佐藤克也, 安達泰治*, 富田佳宏	力学刺激に対する培養骨芽細胞のカルシウム応答発生機構の検討 (鉛直断面内の経時的観察)	日本機械学会第17回バイオエンジニアリング講演会 (2005)
佐藤克也, 西島尚吾, 安達泰治*, 富田佳宏	アクチン細胞骨格再構成時におけるストレスファイバー形成過程の評価	日本機械学会第17回バイオエンジニアリング講演会 (2005)
本間義規, 安達泰治*, 児山欣典, 手塚建一*, 富田佳宏	反応拡散系を用いた骨梁再生の力学シミュレーション (ラット大腿骨モデル実験との比較)	日本機械学会第17回バイオエンジニアリング講演会 (2005)
高木知弘, 長谷部忠司, 富田佳宏	自己組織化量子ドットのパターン形成シミュレーション	第54回理論応用力学講演会 (2005)
高木知弘, 富田佳宏	フェーズフィールド凝固シミュレーションへのアダプティブ有限要素法の適用	第54回理論応用力学講演会 (2005)
中島裕介, 黒瀬史治, 屋代如月, 富田佳宏	Ni基超合金 γ/γ' 界面の転位網に関する離散転位動力学シミュレーション	日本機械学会関西支部平成16年度卒業研究発表講演会 (2005)
金井泰寛, 屋代如月, 富田佳宏	ナノインデンテーション試験によるポリエチレンラメラ構造の力学状態評価	日本機械学会関西支部平成16年度卒業研究発表講演会 (2005)
東圭佑, 古谷泰大, 内田真, 富田佳宏	分子鎖網目理論に基づくゴムの粘弾性挙動シミュレーション	日本機械学会関西支部平成16年度卒業研究発表講演会 (2005)
西村正臣, 田端康史, 屋代如月, 長谷部忠司, 富田佳宏	分子動力学法による金属ガラスの変形挙動シミュレーション	日本機械学会関西支部平成16年度卒業研究発表講演会 (2005)
藤野佑一, 長谷部忠司, 富田佳宏	BCC金属多結晶体のマルチスケール塑性モデリング	日本機械学会関西支部平成16年度卒業研究発表講演会 (2005)
山中晃徳, 齊藤賢司, 富田佳宏	鉄鋼のベイナイト変態と炭素拡散挙動に関する研究	日本機械学会関西支部平成16年度卒業研究発表講演会 (2005)
川崎美生, 屋代如月, 長谷部忠司, 富田佳宏	ナノインデンテーションによるUFGおよび金属ガラス材の表面力学特性の評価	日本機械学会関西支部平成16年度卒業研究発表講演会 (2005)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
仙波愛弓, 長谷部忠司, 屋代如月, 富田佳宏	離散転位動力学法を用いた転位絡み構造の力学特性に関する研究	日本機械学会関西支部平成16年度卒業研究発表講演会 (2005)
高木知弘, 富田佳宏	結晶粒成長過程のアダプティブPhase-fieldシミュレーション	日本機械学会関西支部第80期定時総会講演会 (2005)
高木知弘, 富田佳宏	結晶粒成長過程のアダプティブPhase-fieldシミュレーション	日本機械学会関西支部第80期定時総会講演会 (2005)
長谷部忠司	放電成形法による高ひずみ速度板材成形における成形性と成形品の構造強度	日本塑性加工学会 高エネルギー速度加工分科会平成14年度技術懇談会 (2002)
長谷部忠司	高ひずみ速度板材成形法とその成形品の衝撃エネルギー吸収特性	日本塑性加工学会 塑性力学分科会第76回 研究会・シンポジウム(公開) (2002)
中井 善一, 橋本 晃久, 竹谷 彰彦	金属細線の疲労損傷の交流電位差法による検出とその実体のデジタルマイクロスコープによる観察	第2回マイクロマテリアルシンポジウム (2004)
中井善一, 橋本晃久, 河田 隆行	金属細線の疲労強度におよぼす環境の影響	第2回マイクロマテリアルシンポジウム (2004)
田中拓, 中井善一, 棕本高聡	SMAワイヤ複合材料を用いたアクチュエータの創製と破壊制御への応用	第48回日本学術会議材料研究連合講演会 (2004)
Yoshikazu NAKAI	Nano-scale Observations of Slip-bands and Cracks in Fatigue of Metals by Means of Atomic-Force Microscopy (Plenary Lecture)	Chinese 12th National Conference on Fatigue and Fracture, Xiamen, China (2004)
岸本 学, 細見昭平, 中井 善一	オーステナイト系ステンレス鋼における疲労き裂発生過程のAFMによる観察	日本材料学会 第27回疲労シンポジウム (2004)
安藤弘治, 牧坂光浩, 中井善一	金属薄膜の疲労き裂過程のAFMによる観察	日本機械学会関西支部・第80期定時総会講演会 (2005)
粟津崇之, 中村祐希, 日和千秋, 中井善一	GF-PP短繊維複合材料の疲労に及ぼす温度の影響	日本機械学会関西支部・第80期定時総会講演会 (2005)
野口省吾, 岸本学, 中井善一	ステンレス鋼における疲労き裂発生過程のAFMによる観察	日本機械学会関西支部学生員卒業研究発表講演会 (2005)
河合 徹, 田中 拓, 中井善一	金属材料における疲労き裂発生過程の結晶弾塑性シミュレーション	日本機械学会関西支部学生員卒業研究発表講演会 (2005)
澤田義裕, 関 誠, 中井善一	金属ガラスにおける疲労き裂伝ば	日本機械学会関西支部学生員卒業研究発表講演会 (2005)
田中宏樹, 沖添晃政, 日和千秋, 中井善一, 安達泰治	PLA樹脂複合材料のスcaffoldingの開発と生分解評価	日本機械学会関西支部学生員卒業研究発表講演会 (2005)
津司和哉, 棕本高聡, 田中 拓, 中井善一	形状記憶合金を用いた複合材料アクチュエータの開発と破壊阻止システムへの応用	日本機械学会関西支部学生員卒業研究発表講演会 (2005)
福本真示, 吉村 亮, 田中 拓, 中井善一	光造形法によるマイクロ材料の創製と評価	日本機械学会関西支部学生員卒業研究発表講演会 (2005)
牧坂光浩, 安藤弘治, 中井善一	黄銅極微細結晶粒薄膜材の疲労過程のAFMによる観察	日本機械学会関西支部学生員卒業研究発表講演会 (2005)
中井善一, 岸本 学	SUS304鋼における疲労き裂発生過程のAFMによる観察	日本鉄鋼協会第149回春季講演大会講演論文集[材料とプロセス] (2005)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
田中宏樹, 沖添晃政, 日和千秋, 中井善一, *安達泰治	PLA樹脂複合材料のスcaffoldingの開発と生分解評価	日本機械学会関西支部卒業研究発表 講演会 (2005)
沖添晃政, 日和千秋, 中井善一, *安達泰治	PLA/PCL樹脂複合材料による組織再生用足場の開発	日本機械学会第17回バイオエンジニ アリング講演会 (2005)
日和千秋	生体吸収性樹脂複合材料による骨再生用スcaffoldingの開 発	第41回バイオサイエンス研究会 (2005)
塩澤 大輝, 久保 司郎*, 阪上 隆英*	圧電弾性練成問題の境界要素逆解析によるピエゾ材料を用い た接触圧力分布の推定	M&M2004材料力学カンファレンス (2004)
塩澤 大輝, 久保 司郎*, 阪上 隆英*, 岡崎 俊介, 中谷 健作	受動型電気ポテンシャルCT法による複合材内はく離状欠陥の 同定およびモニタリング	第3回評価・診断に関するシンポジ ウム
塩澤 大輝, 久保 司郎*, 阪上 隆英*	受動型電気ポテンシャルCT法によるき裂同定および欠陥モニ タリング	M&M信州スプリングシンポジウム (2005. 3)
塩澤 大輝, 久保 司郎*, 阪上 隆英*	受動型電気ポテンシャルCT法によるき裂同定	日本機械学会関西支部材力談話会 (2005)
保田英洋, 森博太郎*, 李正九*	GaSbナノ粒子の電子励起誘起相転移におよぼす電子線強度の 効果	ナノ学会第2回大会 (2004)
H. Yasuda, H. Mori* and J. G. Lee*	Electron irradiation effects in III-V compound nanoparticles	8th Asia-Pacific Conference on Electron Microscopy (2004)
保田英洋, 拝野真己, 堤健雄, 森博太郎*	格子欠陥を含むAu表面原子ダイナミクスのUHV-TEM観察	日本物理学会2004年秋期大会 (2004)
保田英洋, 中橋宏明, 押田麻衣子, 森博太郎*, 李正九*	化合物ナノ粒子における電子励起相分離の電顕内その場観察	日本物理学会2004年秋期大会 (2004)
保田英洋, 森博太郎*	電子励起によるGaSbナノ粒子のアモルファス化と相分離	日本金属学会2004年秋期大会 (2004)
保田英洋, 拝野真己, 堤健雄, 森博太郎*	格子欠陥が導入されたAu表面原子ダイナミクスのUHV-TEMそ の場観察	日本金属学会2004年秋期大会 (2004)
保田英洋, 森博太郎*	III-V化合物の電子照射誘起相転移に及ぼす弾き出し効果と 電子励起効果	日本金属学会2004年秋期大会 (2004)
H. Yasuda, H. Mori* and J. G. Lee*	Effect of electron energy on the phase separation induced by electronic excitation in GaSb particles	13th European Microscopy Congress (2004)
保田英洋, 中橋宏明, 押田麻衣子, 森博太郎*	電子励起によって誘起されるGaSb化合物ナノ粒子の相分離と その電子ビーム強度依存性	第15回日本MRS学術シンポジウム (2004)
今村真幸, 田中章順, 保田英洋	高温化学処理により合成したアルカンチオレート表面修飾金 ナノ粒子の光電子分光	第15回日本MRS学術シンポジウム (2004)
H. Yasuda, A. Tanaka and H. Mori*	Electron dose rate dependence of the electronic- excitation- induced phase transformations in GaSb compound nanoparticles	International Symposium on Characterization of real materials and real processing by transmission electron microscopy (2005)
今村真幸, 西塔亮, 田中章順, 保田英洋	単分散アルカンチオレート表面修飾Auナノ粒子の光電子分光	日本物理学会第60回年次大会 (2005)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
渡邊大祐, 小笠原俊, 小岸圭太, 田中章順, 保田英洋	高分解干渉型時間分解2光子光電子分光装置の建設	日本物理学会第60回年次大会 (2005)
保田英洋, 中橋宏明, 森博太郎*	GaSbナノ粒子の電子励起誘起相転移におよぼす励起エネルギーの効果	日本金属学会2005年春期大会 (2005)
今村真幸, 田中章順, 保田英洋	単分散アルカンチオレート表面修飾Auナノ粒子の光電子分光	神戸大学研究基盤センター若手フロンティア研究会2004 (2004)
西塔亮, 今村真幸, 田中章順, 保田英洋	アルカンチオレート表面修飾Auナノ粒子の光電子分光	神戸大学ベンチャービジネスラボラトリ平成16年度成果報告会 (2005)
渡邊大祐, 小笠原俊, 小岸圭太, 田中章順, 保田英洋	量子ナノ構造体における光励起ダイナミクス観測用高分解能干渉型時間分解2光子光電子分光装置の建設	神戸大学ベンチャービジネスラボラトリ平成16年度成果報告会 (2005)
横島康平, 石地耕太郎, 保田英洋	GaAs/Si (110) ヘテロ界面構造解析	神戸大学ベンチャービジネスラボラトリ平成16年度成果報告会 (2005)
保田英洋, 中橋宏明, 押田麻衣子	III-V族化合物ナノ粒子における電子励起誘起構造相転移のその場観察	神戸大学ベンチャービジネスラボラトリ平成16年度成果報告会 (2005)
田中章順, Li Yan*, Neil J. Watkins*, Yongli Gao*	銅フタロシアニン薄膜のフェムト秒時間分解2光子光電子分光	日本物理学会第57回年次大会 (2002年)
佐々木洋征*, 田中章順*, 栗山要助*, 永澤鶴美*, 武田唯一*, 鈴木章二*, 佐藤繁	Agナノ薄膜 / Cr系の角度分解光電子分光	日本物理学会第57回年次大会 (2002年)
武田唯一*, 田中章順, 永澤鶴美*, 佐々木洋征*, 栗山要助*, 鈴木章二*, 佐藤繁*	表面修飾金属ナノ粒子の光電子分光	日本物理学会第57回年次大会 (2002年)
佐々木洋征*, 田中章順, 栗山要助*, 永澤鶴美*, 武田唯一*, 鈴木章二*, 佐藤繁	Si (111) 基板上に成長させたGoSi ₂ (111) ナノ薄膜表面の角度分解光電子分光	日本物理学会2002年秋季大会 (2002年)
武田唯一*, 田中章順, 佐々木洋征*, 鈴木章二*, 佐藤繁*, 高橋和敏*	表面修飾Auナノ粒子の放射光光電子分光	日本物理学会2002年秋季大会 (2002年)
田中章順, 永澤鶴美*, 武田唯一*, Neil J. Watkins*, Yongli Gao*	表面修飾Agナノ粒子のフェムト秒2光子光電子分光	第13回光物性研究会 (2002年)
田中章順, 武田唯一*, 今村真幸, 佐藤繁*	グラファイト基板上表面修飾金属ナノ粒子の光電子放出終状態におけるフェムト秒ナノ粒子-基板相互作用 (Femtosecond nanoparticle-substrate interaction in the photoemission final-state of surface-passivated metallic nanoparticles on graphite substrates)	第14回日本MRS学術シンポジウム (2002年)
A. Tanaka, Y. Takeda*, T. Nagasawa*, H. Sasaki*, Y. Kuriyama*, S. Suzuki*, S. Sato*	Photoemission study of metallic nanoparticles passivated by dodecanethiolates: Silver nanoparticles	7th International Conference on Nanometer-scale Science and Technology, 21st European Conference on Surface Science (2002)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
A. Tanaka, T. Nagasawa*, Y. Takeda*, N. J. Watkins*, Y. Gao*	Femtosecond two-photon photoemission study of silver nanoparticles passivated by dodecanethiolate	International Symposium on Technologies and Applications of Photoelectron Micro-Spectroscopy with Laser-based VUV Sources (2002)
田中章順	低次元ナノ構造電子状態	極紫外軟X線放射光源計画検討会議研究会「極紫外・軟X線高輝度光源実現にむけて」 (2002年)
田中章順	金属低次元ナノ構造体の光電子分光	第9回UVSORワークショップビームライン高度化(第9回)「固体の低エネルギー光電子分光とナノサイエンスの可能性を探る」(2002年)
田中章順	新規電子機能開拓を目指した金属量子ナノ構造における励起電子ダイナミクスの解明	第9回(平成13年度)財団法人新世代研究所研究成果助成報告会 (2002年)
田中章順	光電子分光で見た金属ナノ構造体の量子物性	東北大学ナノテクノロジーフォーラム第4回研究会 (2002年)
今村真幸, 田中章順*, 武田唯一*, 鈴木章二*, 佐藤繁*	表面修飾金属ナノ粒子の光電子分光 II	日本物理学会第58回年次大会 (2003年)
牧野久雄*, 陳平平*, 金正鎮*, 田中章順, 八百隆文*	3d遷移金属をドーブしたGaN薄膜の電子構造と磁気的性質	2003年春季第50回応用物理学関係連合講演会 (2003年)
田中章順, 今村真幸, 恩田健*, Hrvoje Petek*	表面修飾Agナノ粒子のフェムト秒コヒーレント時間分解2光子光電子分光	日本物理学会2003年秋季大会 (2003年)
今村真幸, 田中章順, 武田唯一*, 佐藤繁*	表面修飾金属ナノ粒子の光電子分光 III	日本物理学会2003年秋季大会 (2003年)
A. Tanaka, Y. Takeda*, M. Imamura*, S. Sato*	Femtosecond nanoparticle-substrate interaction of surface-passivated metallic nanoparticles on graphite substrates	39th IUVESTA Workshop on Ultrafast Surface Dynamics (2003)
A. Tanaka, Y. Takeda*, M. Imamura, S. Sato*	Femtosecond dynamic final-state effect in photoemission of surface-passivated metallic nanoparticles on graphite substrates	7th International Conference on Atomically Controlled Surfaces, Interfaces, and Nanostructures (2003)
A. Tanaka	Quantum phenomena in metallic nanostructures studied by photoemission spectroscopy	Seminar, Department of Physics and Astronomy, University of Pittsburgh (2003)
田中章順	光電子分光プローブで見た金属量子ナノ構造体に発現する量子物性	セミナー, 千葉大学工学部物質工学科 (2003年)
田中章順	光電子分光プローブ低次元金属ナノ構造体の量子現象	東北大学金属材料研究所研究会「東北大学放射光計画の新展開」 (2003年)
今村真幸, 田中章順, 武田唯一*, 佐藤繁*	表面修飾金属ナノ粒子の光電子分光	第17回日本放射光学会・放射光科学合同シンポジウム (2004年)
佐々木洋征*, 田中章順, 鈴木章二*, 佐藤繁*	遷移金属基板上Agナノ薄膜の角度分解光電子分光	日本物理学会第59回年次大会 (2004年)
今村真幸, 田中章順, 佐藤繁*	高温化学処理により単分散化したアルカンチオレート表面修飾Auナノ粒子の光電子分光	日本物理学会第59回年次大会 (2004年)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
小笠原俊, 田中章順, 恩田健*, Hrvoje Petek*	表面修飾Agナノ粒子のフェムト秒コヒーレント時間分解2光子光電子分光II	日本物理学会第59回年次大会 (2004年)
田中章順, 小笠原俊, 恩田健*, Hrvoje Petek*	表面修飾Agナノ粒子のフェムト秒干渉型時間分解2光子光電子分光	ナノ学会第2回大会 (2004年)
佐々木洋征*, 田中章順, 鈴木章二*, 佐藤繁*	遷移金属基板上Agナノ薄膜の量子化電子状態	ナノ学会第2回大会 (2004年)
田中章順	光電子分光で見た表面修飾金属ナノ粒子における量子物性 (Quantum phenomena in surface-passivated metallic nanoparticles studied by photoelectron spectroscopy)	第15回日本MRS学術シンポジウム (2004年)
A. Tanaka, S. Ogasawara, K. Onda*, H. Petek*	Interferometric time-resolved two-photon photoemission study of surface-passivated Ag nanoparticles	16th International Vacuum Congress, 12th International Conference on Solid Surfaces, 8th International Conference on Nanometer-scale Science and Technology, 17th Vacuum National Symposium (2004)
A. Tanaka, L. Yan*, N. J. Watkins*, Y. Gao*	Femtosecond time-resolved two-photon photoemission study of copper phthalocyanine film	14th International Conference on Vacuum Ultraviolet Radiation Physics (2004)
田中章順	有機分子表面修飾金属ナノ粒子の光子場励起ダイナミクス	文部省科学研究費補助金特定領域研究「強レーザ光子場における分子制御」第5回全体会議 (2004年)
田中章順	有機分子表面修飾金属ナノ粒子の光電子分光	ランチセミナー, 分子科学研究所 UVSOR (2004年)
田中章順	高エネルギー分光で見た金属ナノ構造材料の量子物性	神戸大学工学振興会機械クラブ講演会「若手教官は今」 (2004年)
田中章順, 恩田健*, Hrvoje Petek*, 藤井正光*, 原口雅宣*	表面修飾Agナノ粒子のフェムト秒コヒーレント時間分解2光子光電子分光III	日本物理学会第60回年次大会 (2005年)
A. Tanaka, K. Onda*, H. Petek*	Interferometric time-resolved two-photon photoemission study of surface-passivated Ag nanoclusters	International Symposium on Atoms, Molecules, and Clusters in Intense Laser Fields 2 (2005)
田中章順	光電子分光による金属ナノ構造体の量子物性解析	神戸大学研究活性化シンポジウム 量子ビーム理工学研究最前線-その現状と今後の展望- (2005年)
田中章順	光電子分光で見た表面修飾金属ナノ粒子の光子場励起ダイナミクス	文部省科学研究費補助金特定領域研究「強レーザ光子場における分子制御」第6回全体会議 (2005年)
Y. Fujii, E. Yanase*, K. Arai*	Depth Profiling of the Strain Distribution in the Surface Layer using X-ray Diffraction at Small Glancing Angle of Incidence	ICSFS-12(12th Intr. Conf. on Solid Films and Surfaces); June21-25, 2004, Hamamatsu, Japan
Y. Fujii	CHARACTERIZATION OF SURFACE ROUGHNESS BY X-RAY SCATTERING AT SMALL GLANCING ANGLE USING A COMPACT UHV X-RAY DIFFRACTOMETER	IVC16(16th Intr. Vacuum Cong.); June28-July2, 2004, Venice, Italy
藤居義和, 中山武典*	微小角入射X線散乱による真空中の純鉄表面粗さの温度変化測定	第45回真空に関する連合講演会; 2004年10月27-29日, 大阪

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
藤居義和, 中山武典*	微小角入射X線散乱による表面近傍結晶粒構造解析	第24回表面科学講演大会; 2004年11月8-10日, 東京
横田久美子, 大前伸夫, 田川雅人	低地球軌道上の原子状酸素によるシリコン酸化膜形成とその特徴	第20回宇宙利用シンポジウム (2004)
田川雅人, 横田久美子, 大前伸夫	低地球軌道上の原子状酸素環境利用に向けての収束化技術の開発 (2)	第20回宇宙利用シンポジウム (2004)
田川雅人, 土井洋明, 横田久美子, 大前伸夫	コンピューターシミュレーションによるホーン型原子状酸素収束器の最適化	第51回応用物理学関係連合講演会 (2004)
十河千恵, 裾本晋之助, 横田久美子, 田川雅人, 大前伸夫, 寺岡有殿	超熱原子状酸素ビームにより形成したSi (001) 極薄酸化膜のXPS解析	第51回応用物理学関係連合講演会 (2004)
横田久美子, 田川雅人, 清久慎右, 大前伸夫	超熱原子状酸素ビームによる高分子材料のガス化反応 — 温度依存性について —	第51回応用物理学関係連合講演会 (2004)
木之下博, 久米一平, 酒井洋和, 田川雅人, 大前伸夫	垂直配向カーボンナノチューブ薄膜のマイクロトライボロジー	第51回応用物理学関係連合講演会 (2004)
久米一平, 酒井洋和, 木之下博, 田川雅人, 清久慎右, 大前伸夫	プラズマCVD法により作製したカーボンナノチューブの配向制御	第51回応用物理学関係連合講演会 (2004)
大西優輝, 大前伸夫, 田川雅人, 塩田忠	Si (111) 表面からのアルカリ金属イオン放出	第65回応用物理学学会学術講演会 (2004)
田川雅人, 十河千恵, 横田久美子, 大前伸夫, 寺岡有殿	Si (001) の超熱原子状酸素ビーム酸化における酸化曲線	第65回応用物理学学会学術講演会 (2004)
横田久美子, 清久慎右, 大前伸夫, 田川雅人	超熱原子状酸素ビームによる高分子材料のガス化反応 — 高温での温度依存性について —	第65回応用物理学学会学術講演会 (2004)
田川雅人, 土井洋明, 横田久美子, 大前伸夫	原子状酸素収束器の開発 (3)	第48回宇宙科学技術連合講演会 (2004)
横田久美子, 清久慎介, 田川雅人, 大前伸夫	低軌道宇宙環境におけるポリイミドの表面劣化 (3) — 原子状酸素と紫外線の複合照射における定量化	第48回宇宙科学技術連合講演会 (2004)
田川雅人, 松本康司*, 秋山正雄*	MoS ₂ 焼成膜の宇宙環境曝露での劣化特性について — SM-SEED 軌道上 1 年曝露 —	第48回宇宙科学技術連合講演会 (2004)
木之下博, 田川雅人, 大前伸夫	円周走査型走査原子間力顕微鏡による曲面形状の精密測定	トライボロジー会議2004秋 (2004)
久米一平, 岡田晋作, 木之下博, 田川雅人, 大前伸夫	mN荷重域でのカーボンナノチューブ薄膜のトライボロジー特性	トライボロジー会議2004秋 (2004)
木之下博, 久米一平, 大島民生, 田川雅人, 大前伸夫	カーボンナノチューブ薄膜のマイクロトライボロジー特性におよぼす摩擦相手材の影響	トライボロジー会議2004秋 (2004)
鈴木宏樹, 木之下博, 田川雅人, 大前伸夫	Si基板上に成長させたC60薄膜のナノトライボロジー特性	トライボロジー会議2004秋 (2004)
松本康司*, 鈴木峰男*, 小原新吾*, 田川雅人	二硫化モリブデン被膜に及ぼす原子状酸素と紫外線の複合効果 — 第2報 —	トライボロジー会議2004秋 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
十河千恵, 横田久美子, 大前伸夫, 田川雅人, 吉越章隆*, 寺岡有殿*	超熱原子状酸素ビームによるSiO ₂ 極薄膜の形成	第45回真空に関する連合講演会 (2004)
前田健一, 横田久美子, 大前伸夫, 田川雅人	超熱原子状フッ素ビームの形成と評価	第45回真空に関する連合講演会 (2004)
浅田秀俊, 横田久美子, 大前伸夫, 田川雅人	熱電子原子ビームによる炭素系薄膜作成の試み	第45回真空に関する連合講演会 (2004)
土井洋明, 横田久美子, 大前伸夫, 田川雅人	低地球軌道上における高効率原子状酸素収束化技術の開発 (2)	第41回日本航空宇宙学会 中部関西 支部合同秋期大会 (2004)
清久慎右, 横田久美子, 大前伸夫, 田川雅人	原子状酸素誘起高分子材料劣化における表面帯電の影響	第41回日本航空宇宙学会 中部関西 支部合同秋期大会 (2004)
横田久美子, 田川雅人	表面帯電時における原子状酸素誘起高分子エロージョン	第1回宇宙環境シンポジウム (2004)
木之下博, 久米一平, 田川雅人, 大前伸夫	カーボンナノチューブ薄膜のマイクロトライボロジーー走 査電子顕微鏡組込みマイクロトライボメーターによる観察ー	トライボロジー会議2004春 (2004)
木之下博, 久米一平, 田川雅人, 大前伸夫	走査電子顕微鏡組込みマイクロトライボメーターによる垂直 配向カーボンナノチューブ薄膜のマイクロトライボロジーの 解明	第65回応用物理学会学術講演会 (2004)
開純也, *田口英次, 木之下博, 大前伸夫, *森博太郎	ダイヤモンドナノ粒子への電子ビーム照射効果ーその場観察	第65回応用物理学会学術講演会 (2004)
杉本 靖博*, 大須賀 公一	連続型DFCによる準受動的歩行ロボットQuartetIIIの歩行実 験	ロボティクス・メカトロニクス講演 会 (2004)
原口 林太郎*, 大須賀 公一	瓦礫内探査ロボットM01RA2の開発	ロボティクス・メカトロニクス講演 会 (2004)
岩野 優樹, 大須賀 公一, 天野 久徳*	小型牽引ロボット群による救助活動のための動作計画につい てー人体姿勢マニピュレーションハンドの改良ー	ロボティクス・メカトロニクス講演 会 (2004)
杉本靖博*, 大須賀 公一	受動的動歩行に内在するフィードバック構造に関する一考察	第33回 制御理論シンポジウム (2004)
原口 林太郎*, 大須賀 公一, 牧田 忍*, 田所 諭	瓦礫内探査ロボットM01RA2の開発	第5回SICE SI部門講演会 (2004)
山口 真史*, 深尾 隆則, 足立 紀彦*	スペースクラフトの適応姿勢制御とランデブ・ドッキングへ の応用	計測自動制御学会制御部門大会, (2002)
宮坂 匠吾*, 森 堅史*, 深尾 隆則, 足立 紀彦*, 大須賀 公一	モデル規範型D*制御を用いたアクティブ操舵と自動操舵シス テム	計測自動制御学会制御部門大会, (2002)
Yu Chen*, Takanori Fukao, and Norihiko Adachi*	Automatic generation of macro actions	第17回人工知能学会全国大会, (2003)
深尾 隆則	画像情報に基づく制御システムと飛行船ロボットへの応用	計測自動制御学会適応学習制御調査 研究会, (2003)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
井上 博介*, 森 堅吏*, 宮坂 匠吾*, 深尾 隆則, 足立 紀彦*	速度およびスリップ率追従のためのブレーキのハイブリッド制御	第8回運動と振動の制御シンポジウム, (2003)
森 堅吏*, 井上 博介*, 宮坂 匠吾*, 深尾 隆則, 足立 紀彦*	操縦性向上のためのステアリングとブレーキのモデル規範型適応制御	第8回運動と振動の制御シンポジウム, (2003)
深尾隆則, 金出武雄*	2段階特徴点追従アルゴリズム	情報処理学会 第141回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会 (2003)
深尾隆則, 金出武雄*	オクルージョンに対してロバストな2段階特徴点追従アルゴリズム	情報処理学会 第141回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会 (2003)
深尾, 藤谷*, 金出*	飛行船ロボットの画像情報に基づく制御	計測自動制御学会 システムインテグレーション部門 SI2003 (2003)
深尾 隆則	非線形適応制御のメカニカルシステムへの応用	計測自動制御学会 システムインテグレーション部門SI2003 (2003)
生越*, 十河*, 深尾, 足立*	学習制御による非線形非最小位相系の出力トラッキング	第4回適応学習制御シンポ (2004)
深尾, 藤谷*, 金出*	飛行船ロボットによる監視システム	第9回ロボティクスシンポジア (2004)
深尾 隆則	自動車の運動性能向上における非線形適応制御の持つ可能性	自動車技術会車両運動性能部門委員会, (2004)
深尾 隆則, 森 堅吏*, 井上 博介*, 宮坂 匠吾*, 足立 紀彦*	モデル規範型非線形適応制御に基づくアクティブステアリングとアクティブブレーキ	計測自動制御学会制御部門大会 (2004)
深尾 隆則	画像情報を利用した劣駆動飛行船ロボットの制御	計測自動制御学会力学系・生物系の本質から制御を考える調査研究会 (2004)
宮坂 匠吾*, 深尾 隆則, 足立 紀彦*	アクティブステアリングのためのハイブリッド制御系設計法	Dynamics and Design Conference 2004 (2004)
松田光正	頸椎症による脊髄圧迫および脊柱管拡大に関する研究	ANSYS Conference (2004)
山田晴隆*, 神吉博	回転ねじりバランシング	平成16年度関西学生会学生員 卒業研究発表講演会
Mohd. Hasnan*, 神吉博	振動コンベヤーの防振設計に関する研究	平成16年度関西学生会学生員 卒業研究発表講演会
山根雅行, 松田光正, 神吉博, 三浦寿一, 吉矢晋一, 黒坂昌弘	頸椎症による脊髄圧迫および脊柱管拡大術による脊髄除圧効果に関する研究	平成16年度関西学生会学生員 卒業研究発表講演会
前田健太, 神吉博, 坂東慎之介	回転円板の振動に関する研究	平成16年度関西学生会学生員 卒業研究発表講演会
柴田義也, 川西通裕	Beowulfクラスタを用いた双線形行列不等式数値最適化法の並列化とCADシステムの構築	第48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
浮舟正倫, 川西通裕	非反証法による磁気浮上系のPID制御	第48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
川西通裕, 浮舟正倫	実験データの非反証性評価に基づくPID補償器の設計法 とその応用	計測自動制御学会第4回制御部門大会 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
浮舟正倫, 川西通裕	実験データに基づく電磁気アクチュエータの非反証PID 制御	日本機械学会第16回電磁力関連のシンポジウム (2004)
平山明延, 川西通裕, 生山裕	LMI緩和予測及び単峰性正規分布交叉法を用いた 並列GAに基づくBMI最適化	第47回自動制御連合講演会 (2004)
結城正紘, 鈴木浩文, 森脇俊道, 沖野正, 土方祥雄	超精密二次元フライカットにおけるバリ生成機構の実験的検討	精密工学会2004年関西地方定期学術講演会 (2004)
山本雄士, 鈴木浩文, 沖野正, 土方祥雄, 森脇俊道, 福田将彦*, 西岡昌彦*, 古嶋洋一*	同時3軸制御の研削点固定傾斜軸研削法によるマイクロ非球面研削ー研削点固定斜軸研削法の提案とその可能性検証ー	2004年度精密工学会秋季大会学術講演会 (2004)
鈴木浩文, 宮原充*, 河守良太, 沖野正, 土方祥雄, 山本雄士, 森脇俊道	超音波援用マイクロ非球面研磨に関する研究 (第4報)ー研磨工具の微小化による形状補正能力の向上ー	2004年度精密工学会秋季大会学術講演会 (2004)
水垣純二, 前保義人, 森脇俊道, 鈴木浩文	超音波楕円振動切削加工法による難削材の超精密切削加工	2004年度精密工学会秋季大会学術講演会 (2004)
前保義人, 水垣純二, 森脇俊道, 鈴木浩文, 東保男*, 社本英二*	超音波楕円振動切削加工法を用いた難削材の超精密加工	2004年度砥粒加工学会学術講演会 (2004)
村松明, 鈴木浩文, 森脇俊道, 沖野正, 土方祥雄	単結晶ダイヤモンドバイトを用いた3軸制御シェーパ加工	2004年度砥粒加工学会学術講演会 (2004)
結城正紘, 鈴木浩文, 森脇俊道, 沖野正, 土方祥雄	フライカットによる自由曲面の超精密切削に関する研究	2004年度砥粒加工学会学術講演会 (2004)
木村剛之, 鈴木浩文, 森脇俊道, 沖野正, 土方祥雄, 後藤勇*, 後藤隆司*, 小野孝*, 後藤勇二*, 高橋信行*, 磯野秀一*	微小回転工具を用いた高硬度材のマイクロフライス加工	2004年度砥粒加工学会学術講演会 (2004)
鈴木浩文, 山本雄士, 沖野正, 土方祥雄, 森脇俊道, 福田将彦*, 西岡昌彦*, 古嶋洋一*	マイクロ非球面研削に関する研究ークロス方式の斜軸研削における研削点固定制御方式の提案とその精度評価ー	2004年度砥粒加工学会学術講演会 (2004)
河守良太, 鈴木浩文, 宮原充*, 沖野正, 土方祥雄, 森脇俊道	超音波援用マイクロ非球面研磨に関する研究ー第2報: 研磨工具の微小化による軸対象非球面研磨の微小化の試みー	2004年度砥粒加工学会学術講演会 (2004)
山本雄士, 渋谷秀雄*, 高橋洋一*, 堀内宰*, 鈴木浩文, 森脇俊道	ゲル状アルギン酸カルシウムを結合材とした粒状化砥石の開発	2004年度砥粒加工学会学術講演会 (2004)
山本雄士, 渋谷秀雄*, 高橋洋一*, 堀内宰*, 鈴木浩文, 森脇俊道	ゲル状アルギン酸カルシウムを結合材とした粒状化砥石の開発	日本機械学会2004年度年次大会 (2004)
鈴木浩文, 山本雄士, 沖野正, 土方祥雄, 森脇俊道, 福田将彦*, 西岡昌彦*, 古嶋洋一*	マイクロ非球面研削に関する研究ークロス方式の斜軸研削における研削点固定制御方式の提案とその精度評価ー	日本機械学会2004年度年次大会 (2004)

機械工学科

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
鈴木浩文, 木村剛之, 沖野正, 土方祥雄, 森脇俊道, 磯野秀一*, 高橋信行*, 後藤勇二*, 小野孝*, 後藤隆司*, 後藤勇*	マイクロフライス工具を用いた焼入れステンレス鋼の鏡面切削	日本機械学会 第5回生産加工・工作機械部門講演会 (2004)
宋詠燦, 森脇俊道	楕円振動切削加工法による光学用プラスチックのマイクロ加工	日本機械学会 第5回生産加工・工作機械部門講演会 (2004)
森下明範, 白瀬敬一, 中本圭一, 森脇俊道	5軸制御機械加工のための実時間工具経路生成法	日本機械学会 第5回生産加工・工作機械部門講演会 (2004)
山形豊*, 鈴木浩文, 樋口俊郎*, 大森整*, 飯田克彦*, 吉田和史*, 牧野俊清*	非軸対称複雑非球面形状加工のための6軸超精密加工装置の開発	2005年度精密工学会春季大会学術講演会 (2005)
鈴木浩文, 河守良太, 沖野正, 山本雄士, 土方祥雄, 森脇俊道, 宮原充*	超音波援用マイクロ非球面研磨に関する研究(第5報)ー各種型材の研磨特性の検討ー	2005年度精密工学会春季大会学術講演会 (2005)
鈴木浩文, 村松明, 沖野正, 山本雄士, 土方祥雄, 森脇俊道, 戸崎康成*, 浅野良直*, 星谷清春*, 山口哲弘*	精密ガラス成形に関する研究(第1報)ー基本的成形特性の実験的検討ー	2005年度精密工学会春季大会学術講演会 (2005)
山本雄士, 鈴木浩文, 沖野正, 馬越聖剛, 土方祥雄, 森脇俊道, 星谷清春*, 山口哲弘*, 澁谷秀雄*	マイクロレンズアレイ成形型の超精密加工(第2報)ーオフセット研削法による高精度化ー	2005年度精密工学会春季大会学術講演会 (2005)
鈴木浩文, 結城正紘, 山形豊*, 樋口俊郎*, 大森整*, 澁谷秀雄*, 中川文, 森脇俊道, 牧野俊清*, 吉田和史*	マイクロ非軸対称非球面のフライカットに関する研究	2005年度精密工学会春季大会学術講演会 (2005)
鈴木浩文, 木村剛之, 山本雄士, 沖野正, 土方祥雄, 森脇俊道, 後藤勇*, 後藤隆司*, 小野孝*, 後藤勇二*, 岡田浩一*, 高橋信行*, 磯野秀一*	マイクロフライス工具を用いた高硬度材の鏡面切削	2005年度精密工学会春季大会学術講演会 (2005)
中本圭一, 森治樹, 森脇俊道	PKM形工作機械による高速加工を実現するための工具軌跡生成に関する研究ー工具軌跡を評価するためのストラット挙動シミュレータの開発ー	2005年度精密工学会春季大会学術講演会 (2005)
犬伏伸之*, 妻屋 彰*, 若松栄史*, 荒井栄司*, 白瀬敬一	加工順序に柔軟性を持つ分権型生産システム	第48回システム制御情報学会研究発表講演会, 209-210 (2004)
長屋隆之*, 寺本一成*, 桑野義正*, 尾曾由紀夫*, 沖田俊之*, 白瀬敬一	Web分散処理を活用したCAM自動化統合加工システム	2004年度精密工学会秋季大会学術講演会, A46 (2004)
渡邊紘和*, 妻屋 彰*, 若松栄史*, 白瀬敬一, 荒井栄司*	工程間でのロット再構成を含む動的スケジューリングシステムの提案	2004年度精密工学会秋季大会学術講演会, D69 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
成田浩久*, 加藤 聡*, 陳 連怡*, 藤本英雄*, 白瀬敬一, 荒井栄司*	ボールエンドミル加工における精度予測の試み	第5回生産加工・工作機械部門講演 論文会, No04-3, 257-258 (2004)
韓 剛*, 白瀬敬一, 若松栄史*, 妻屋 彰*, 荒井栄司*	切削加工の目的や環境の変動に柔軟に対応できる工程設計支 援システムの開発	第5回生産加工・工作機械部門講演 論文会, No04-3, 299-300 (2004)
阪口龍彦, 谷水義隆*, 杉村延広*	遺伝的アルゴリズムを用いたリアクティブスケジューリング - ジョブの追加に対する対応 -	精密工学会秋季大会 (2002)
阪口龍彦, 谷水義隆*, 杉村延広*	ジョブの追加に対するリアクティブスケジューリングの適用	第2回サイバネティック・フレキシ ブル・オートメーションシンポジウ ム (2002)
阪口龍彦, 谷水義隆*, 杉村延広*	遺伝的アルゴリズムを用いたリアクティブスケジューリング - 分岐限界法に基づくジョブの追加 -	精密工学会秋季大会 (2003)
阪口龍彦, 谷水義隆*, 杉村延広*	遺伝的アルゴリズムを用いたリアクティブスケジューリング - ジョブの追加に対する初期個体の生成 -	第3回サイバネティック・フレキシ ブル・オートメーションシンポジウ ム (2003)
阪口龍彦, 谷水義隆*, 杉村延広*	遺伝的アルゴリズムを用いたリアクティブスケジューリング	第48回システム制御情報学会研究発 表講演会 (2004)
前田剛志, 田浦俊春	消費者の多様な価値創造による循環型社会形成	日本機械学会生産システム部門講演 会2004 (2004)
橋本恵太, 田浦俊春	循環型社会形成のための潜在機能に着目した人工物評価法	精密工学会2004関西地方定期学術講 演会 (2004)
田中慎二, 田浦俊春	創造的設計のための概念構造に関する研究-概念の合成にお ける概念間の距離の役割-	Design Symposium2004講演会 (2004)
田中慎二, 田浦俊春	創概念合成による創造的設計の方法論の研究-概念間の距離 , 創造性, 思考レベルの抽象度の関係-	精密工学会秋季大会学術講演会 (2004)
安民, 田浦俊春	A Study on Behavioral Design through Interactive between Autonomous behavioral Criteria Learning System and Human	精密工学会春季大会学術講演会 (2005)
片田喜章, 大倉和博, 上田完次*	可変突然変異戦略を用いたGAによる進化ロボティクスへの アプローチ	第48回システム制御情報学会研究発 表講演会 (2004)
伍賀正典, 大倉和博, 田浦俊春	進化的マルチエージェントシステムにおける タスク依存コ ミュニケーションの発生	第48回システム制御情報学会研究発 表講演会 (2004)
足立昌彦, 片田喜章, 大倉和博, 田浦俊春	Neutral networks環境下における steady state GAの進化ダ イナミクス	第48回システム制御情報学会研究発 表講演会 (2004)
松浦芳樹, 大倉和博, 田浦俊春	強化学習によるマルチロボットシステムの群行動獲得実験	第48回システム制御情報学会研究発 表講演会 (2004)
谷口友紀, 大倉和博, 田浦俊春	社会性エージェント群の進化的生成シミュレーション	日本機械学会生産システム部門講演 会2004 (2004)
篠原一真, 大倉和博, 田浦俊春	確率ネットワークを用いた学習エージェント の獲得戦略の 保存と適用に関する一考察	日本機械学会生産システム部門講演 会2004 (2004)
高崎真也, 片田喜章, 大倉和博, 田浦俊春	オンラインモデル更新を用いた自律移動ロボットの進化に関 する基礎研究	ロボティクス・メカトロニクス講演 会' 04 (ROBOMECS' 04) (2004)
宮川竜治, 大倉和博, 田浦俊春	強化学習を用いた飛行船ロボットの自律行動獲得	ロボティクス・メカトロニクス講演 会' 04 (ROBOMECS' 04) (2004)
横田英二, 大倉和博, 田浦俊春	強化学習を用いた自律マルチロボットシステ ムの協調行動 獲得 -ロボット台数の増減に関する一考察-	ロボティクス・メカトロニクス講演 会' 04 (ROBOMECS' 04) (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
大倉和博, 岩波悟史, 植田直樹	共生・共進化型マルチロボットー構造進化人工神経回路網の適用	日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門2004年度年次大会 (MECJ 04) (2004)
高崎真也, 片田喜章, 大倉和博, 田浦俊春	進化型自律移動ロボットのオンラインモデル更新に関する一手法	第47回自動制御連合講演会 (2004)
足立昌彦, 片田喜章, 大倉和博, 田浦俊春	Neutral Networks を含む適応度景観におけるsteady-state GAのパフォーマンスと集団の多様性	第47回自動制御連合講演会 (2004)
伍賀正典, 大倉和博, 田浦俊春	生態学的手法を用いたマルチエージェントシステムの解析と構築に関する基礎研究	第5回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2004) 1 (2004)
片田喜章, 高崎真也, 大倉和博	可変突然変異率戦略を用いたGAによる進化ロボティクスへのアプローチーハンターロボットの進化的行動獲得への適用ー	第17回自律分散システム・シンポジウム (2005)
保田俊行, 大倉和博, 田浦俊春	マルチロボットシステムのための頑健な強化学習法: 環境変動の認識と適応に関する一考察	第17回自律分散システム・シンポジウム (2005)
保田俊行, 大倉和博, 田浦俊春	マルチロボットシステム環境における強化学習の頑健性向上のための一手法	2005年度精密工学春季大会学術講演会 (2005)
岩波悟史, 大倉和博	進化マルチロボットシステムにおけるANNの進化形態に関する一考察	2005年度精密工学春季大会学術講演会 (2005)

3.4 応用化学科

教 授

上田裕清, 出来成人, [竹内 寛], [西野 孝], 竹内俊文, 大久保政芳,
鶴谷 滋, [大村直人], 薄井洋基, 福田秀樹, 近藤昭彦, 加藤滋雄,
[松山秀人]

助教授・講師

[柳 久雄], [水畑 穰], 岡田悦治, 神鳥安啓, 成相裕之, [南 秀人],
[新森英之], 西山 覚, 今駒博信, [安岡弘陽], 大野 弘, 鈴木 洋,
[山地秀樹], 松尾成信

助 手

梶並昭彦, 市 忠顕, [小寺 賢], 牧 秀志, 市橋祐一, [久保田克之],
南原興二, [菰田悦之], 勝田知尚

近年の科学技術の急速な進歩は、精密かつ高度な機能を有する物質、素材、材料の研究開発とその高度生産技術に支えられている。この基盤技術とも言える材料関連の研究開発は、今日まで主として化学研究者・技術者が担って来ており、今後も我国の産業発展には、不可欠な研究開発分野として、高度な研究者・技術者の養成が強く望まれる。また、人類共栄の命題のもとに、今後解決すべき重要な問題とされる地球環境と、それを考慮したエネルギー問題は、主として物質変換過程を取り扱う化学及びその工学に携わる多くの、より広い視野を持った研究者・技術者の貢献無くしては解決を見ないであろう。

このような、社会情勢の変化と要請に応じ、基盤技術を支えかつ科学技術発展の牽引学問分野であるとの自負の下に、応用化学科は、化学の基礎学問分野の研究・教育を担当してきた工業化学科と、その応用的学問分野の研究・教育を担当してきた化学工学科を、新たな規範で縦横に有機的に統合すると共に、生物物質工学を組み込んだ新しい学問・教育体系を構築した。本学科は化学物質の分子オーダーからナノ・オーダーのミクロな構造・物性の解析と、高度な機能を有する物質並びに素材の創製、生物機能応用技術を含むバイオ素材の開発及びバイオリアクタの開発、化学技術、生産技術、分離・精製技術の高度化と全体的なプロセス・システムの解析にいたる研究と教育を行い、ますます多様化する社会的ニーズに幅広く応え得る有為な人材の育成に努めている。この目的達成のため、平成17年4月に大学院自然科学研究科および環境管理センターからの兼任教員を加え、以下の4つの講座編成に改組を行い、基礎から応用までの総合的な開発研究に対応できるように、必要に応じて講座を越えた研究プロジェクト・チームを組んで活発な研究活動を行える体制を確立している。

- 1) 応用物質基盤講座：応用物理化学、応用無機化学、応用有機化学、応用高分子化学の各教育研究分野からなり、物質に関する様々な現象を体系的にとらえるとともに無機系、有機系、高分子系等にわたる様々な材料の合成とその構造や物性の解析を通して、精密なあるいは高度な機能を有する物質の合成や材料創製の基盤となる材料化学に関する教育研究を行う。
- 2) 機能物質材料講座：機能分析化学、機能コロイド、機能分子化学の各教育研究分野からなり、物質の構造と物性の解析からその機能の応用と新しい機能の発現、並びに原子、分子レベルでの情報に基づいた機能性材料の設計と製造に関する基礎と応用の教育研究を行う。
- 3) 化学工学基礎講座：触媒反応工学、移動現象工学、プロセスシステム工学、粒子流体工学の各教育研究分野からなり、環境に配慮しながら資源・エネルギーを有効利用して、高度な機能を有する材料を工業的に生産する化学プロセスについての教育研究を行う。

4) 生物・材料化学工学講座：生物化学工学、生物プロセス工学、材料プロセス工学の各教育研究分野からなり、生物の有する巧妙な反応とその制御機構の研究に基づき、機能性材料やクリーンエネルギーの効率的生産プロセス、特異的な生体認識法とバイオ分離法、生物機能の遺伝子工学的変換および環境、エネルギー問題解決のため、新規材料やその生産プロセスに関する教育研究を行う。

応用化学科の研究者の主要研究活動は、基礎化学から材料化学、薬学、医学、化学工学にとどまらず、システム工学、応用物理学、電気・電子工学等まで、ほとんど全ての分野に及んでおり、構成教員の学会活動も国内外の化学、化学工学、高分子、電気化学、有機合成化学、応用物理学、材料化学、高圧化学、触媒化学、医学、生体材料工学等と非常に広範囲で活発に、且つ指導的役割を果たしている。さらに得られた研究成果を社会に還元する目的で、国や地方自治体等の委員会にて役割を果たすと共に、講演、出版、高校生等を対象とした出張講義等を通じての社会貢献にも活発である。また、これら研究・教育活動を支えるために、X線回折、NMR、GCMS、FT-IR、AFM、TEM、元素分析装置、熱分析装置、表面積測定装置、細孔径分布測定装置をはじめとする各種分析機器、熱、高圧、電気、光等の各種物性測定機器、ワークステーションなどの各種コンピューターを揃えている。

卒業生に関しては、本学・他大学をあわせた大学院博士前期課程へ75%以上が進学し、さらに博士後期課程には毎年数名が進学している。また、各国からの留学生も積極的に受け入れを行っている。

以下に、応用化学科に所属する教員の平成16年4月から平成17年3月までの研究業績を、学術論文、学術著書、学術報告、学術講演に分類して掲載する。新任の教員については、学術論文・学術著書・学術報告は過去10年分、学術講演は過去3年分を掲載した。

学術論文(レフェリー付き)(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文分類

A: 学術論文誌(国際会議等で、通常の査読過程を経て発刊された学術論文誌等の特集号を含む)および、国際会議のSelected Paper

B: Full Paperの査読により掲載が決定した国際会議のProceedings

C: Abstractの査読のみで掲載が決定した国際会議のProceedings(ただし、Absreactのみを掲載した予稿集を除く)

D: 大学、研究機関等の紀要

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Masahiro Misaki, Yasukiyo Ueda, Shuichi Nagamatsu*, Yuji Yoshida*, Nobutaka Tanigaki*, Kiyoshi Yase*	Formation of Single-Crystal-like Poly(9,9-dioctylfluorene) Thin film by the Friction-Transfer Technique with Subsequent Thermal Treatments	Macromolecules., 37, 6926-6931 (2004)	A
Hiroki Kihara, Yasukiyo Ueda, Akira Unno*, Tadahiko Hirai*	FABRICATION AND FIELD EFFECT TRANSISTOR CHARACTERISTICS OF ORIENTATION-CONTROLLED PENTACENE FILM	Mol. Cryst. Liq. Cryst., 424, 195-202 (2004)	A
Naofumi Aoki, Yasukiyo Ueda	ORIENTATION-CONTROL OF LIQUID CRYSTAL MOLECULES BY PHOTOCROMISM OF AZOBENZENE	Mol. Cryst. Liq. Cryst., 425, 159-166 (2004)	A
Masahiro Misaki, Masayuki Chikamatsu*, Nobutaka Tanigaki*, Masafumi Yamashita*, Yasukiyo Ueda, Kiyoshi Yase*	Polymer-Supported Anisotropic Sub-Micro-Patterned Electrodes for Displays	Adv. Mater., 17, 297-301 (2005)	A
K. Ishikawa*, F. Sasaki*, S. Kobayashi*, H. Yanagi, S. Hotta*, Y. Taniguchi*	Spectrally Narrowed Emission in Single Crystals of 2,5-Bis(4-biphenyl)thiophene	J. Luminescence 108, 127-130 (2004)	A
Hisao Yanagi, Atsutoshi Yoshiki	Stimulated Resonance Raman Scattering from Epitaxial Crystals of Biphenyl-capped Thiophene	Appl. Phys. Lett. 84 (23), 4783-4785 (2004)	A
Hisao Yanagi, Atsutoshi Yoshiki, Shu Hotta*, Shunsuke Kobayashi*	Mirrorless Lasing from Thiophene/Phenylene Co-oligomer Crystals Based on Stimulated Resonance Raman Scattering	J. Appl. Phys. 96 (8), 4240-4244 (2004)	A
Hisao Yanagi, Yasufumi Kawai	Organic Field Effect Transistor with Narrow Channel Fabricated by Focused Ion Beam	J. Jpn. Appl. Phys. 43 (12B), L1575 - L1577 (2004)	A
K. Nakayama*, J. Tokuhito*, K. Saitoh*, S. Shichijyo*, H. Yanagi	Alignment Control of Organic Thin Films by Re-crystallization under Laser Heating	Tran. Mater. Res. Soc. Jpn, 30 (1), 127-130 (2005)	C
Minoru Mizuhata, Yasushi Sumihiro, and Shigehito Deki	Structure, and the conductive behaviour of hydrate melt coexisting with porous solid materials - α - Al_2O_3 powder/ ZnCl_2 hydrate coexisting system-	Physical Chemistry Chemical Physics, 6(8), 1944-1951(2004.4)	A
Jörn Kanzow*, Vladimir Zaporozhtchenko*, Hideki Nabika, Minoru Mizuhata, ShigehitoDeki, and Franz Faupel*	In situ investigations on the cross-linking process of the epoxy resin system DGEBA-DETA by means of positron annihilation lifetime spectroscopy in comparison with infrared spectroscopy	Positron Annihilation, ICPA-13, Proceedings Materials Science Forum, 445(4), 313-315(2004.4)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Minoru Mizuhata, Yasuyuki Harada, Guemuju Cha, Alexis Bienvenu Béléké, and Shigehito Deki	Physicochemical Properties of Molten Alkali Metal Carbonates Coexisting with Inorganic Powder	Journal of Electrochemical Society, 151(5), E179 – E185 (2004. 5)	A
Shigehito Deki, Sachihiko Iizuka, Asako Horie, Minoru Mizuhata, and Akihiko Kajinami	Liquid phase infiltration (LPI) process for fabrication of highly nano ordered material	Chemistry of Materials, 16(9), 1747-1750 (2004. 5)	A
Lin Li, Hideki Nabika, Minoru Mizuhata, Akihiko Kajinami, and Shigehito Deki	Synthesis, and properties of the inorganic/organic hybrid composite thin film by liquid-phase deposition method	Journal of Ceramic Society of Japan, Supplement 112-1, PasRim5 Special Issue, 112(5), S88-S93 (2004. 5)	A
Shigehito Deki, Heisuke Nishikawa, and Minoru Mizuhata	Fabrication of Pt Nanoparticles-Polypyrrole Composite for Electrocatalyst	Electrochemistry, 72(6), 415-417 (2004. 6)	A
Shigehito Deki, Akiyoshi Nakata, and Minoru Mizuhata	Fabrication of Metal-oxide Nanoparticles by the Liquid Phase Deposition Method in the Heterogeneous System	Electrochemistry, 72(6), 452-454 (2004. 6)	A
Shigehito Deki, Kentaro Kuratani, Masayasu Uemura, Kensuke Akamatsu, Minoru Mizuhata, and Akihiko Kajinami	Aqueous solution-based synthesis of rare earth-doped metal oxide thin films	Thin Solid Films, 460(1-2), 83-86 (2004. 7)	A
Yasuhiko Iwadate*, Kazuko Fukushima*, Arihira Seki*, Keiji Ito*, Toshiharu Fukunaga*, Masakatsu Misawa*, Haruaki Matsuura*, Akihiko Kajinami, Norikazu Ohtori*, Norimasa Umesaki, Hirohide Kofuji*, and Munetaka Myouchin*	Structural approach to nanoscience: a case study of complex, and cluster formation in $\text{ZnBr}_2\text{-ZnCl}_2$ melts	Science, and Technology of Advanced Materials, 5(5-6), 683-687 (2004. 9)	A
Lin Li, Minoru Mizuhata, Akihiko Kajinami, and Shigehito Deki	Different effects of alkyl sulfate, and alkylbenzene sulfonate surfactants on the synthesis, and properties of CuPc/TiO_2 composite films by Liquid-Phase Deposition Method (LPD) method	Synthetic Metals, 146(1), 17-27 (2004. 10)	A
Shingo Ikeda*, Kensuke Akamatsu*, Hidemi Nawafune*, Takashi Nishino, and Shigehito Deki	Formation, and Growth of Copper Nanoparticles from Ion-Doped Precursor Polyimide Layers	Journal of Physical Chemistry B, 108(40), 15599-15607 (2004. 10)	A
Suman K. Sharma*, Vladimir Zaporojtchenko*, Jurgita Zekonyte*, Angela Büttner*, Shigehito Deki, and Franz Faupel*	Effect of thermal annealing of thin film of $\text{Fe}_{40}\text{Ni}_{38}\text{Mo}_4\text{B}_{18}$ in ultrahigh vacuum (UHV)	Journal of Material Science, 39(20), 6291-6297 (2004. 10)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Kentaro Suzuya*, Keiji Itoh*, Akihiko Kajinami, and Chun-Keung Loong*	The structure of binary zinc phosphate glasses	Journal of Non-Crystalline Solids, 345-346, 80-87(2004. 10)	A
Shigehito Deki, Sachihiko Iizuka, Asako Horie, Minoru Mizuhata, and Akihiko Kajinami	Nanofabrication of Metal Oxide Thin Films, and Nano-Ceramics from Aqueous Solution	Journal of Materials Chemistry, 14(21), 3127-3132(2004. 11)	A
青井芳史*, 神林久栄*, 小林小百合*, 上條栄治*, 出来成人	液相析出法による3次元規則構造を有する多孔質酸化チタンの合成とその物性	材料, 53(12), 1313-1317(2004. 12)	A
Yoshifumi Aoi*, Tomoe Deguchi*, Eiji Kamiyo*, and Shigehito Deki	Synthesis of Mesoscopic Ceramic Hollow Particles by the Liquid Phase Deposition Method	Proceedings of the 21st International Korea-Japan Seminar on Ceramics, 219-223(2004. 12)	B
Lin Li, Minoru Mizuhata, and Shigehito Deki	Preparation, and characterization of alkyl sulfate, and alkylbenzene sulfonate surfactants / TiO ₂ hybrid thin films by the liquid phase deposition (LPD) method	Applied Surface Science, 239(3-4), 292-301(2005. 1)	A
Haruaki Matsuura*, Soh Watanabe*, Toshihiro Kanuma*, Hiroshi Akatsuka*, Tetsuo Honma*, Norimasa Umesaki*, Akihiko Kajinami, Ashok Kumar Adya*, and Reiko Fujita*	Short Range Structure of Lanthanum Chloride Oxychloride Determined by EXAFS	Physica Scripta B, T115, 294-296(2005. 1)	A
Akihiko Kajinami, Shigehito Deki, and Katsumi Handa*	Structural Analysis of Manganese Borate Glasses by XAFS Measurement	Physica Scripta B, T115, 477-479(2005. 1)	A
Shigehito Deki, Sachihiko Iizuka, Kensuke Akamatsu*, Minoru Mizuhata, and Akihiko Kajinami	Fabrication, and Structural Control of Fe/Ti Oxide Thin Films with Graded Compositional Profiles by Liquid Phase Deposition	Journal of American Ceramics Society, 88(3), 731-736(2005. 3)	A
Takashi Nishino, Akiko Nozawa, Masaru Kotera, Katsuhiko Nakamae	In situ AFM Observation of Surface Deformation of Polyimide Film	日本レオロジー学会誌, 32(4), 211-214, (2004)	A
Takashi Nishino, Ikuyo Matsuda, Koichi Hirao	All-Cellulose Comoposite	Macromolecules, 37(20), 7683-7687, (2004)	A
Takashi Nishino, Yoshimasa Urushihara, Masashi Meguro, Katsuhiko Nakamae	Surface properties and structures of diblock and random copolymers with perfluoroalkyl side chains	Journal of Colloid and Interface Science, 279, 364-369, (2004)	A
西野 孝, 廣富 賢	超高分子量ポリエチレン準稀薄溶液中でのグラフト重合と超延伸フィルムの接着性	日本接着学会誌, 41(2), 49-53, (2005)	A
Takashi Nishino, Yoshimasa Urushihara, Masashi Meguro, Katsuhiko Nakamae	Surface properties and structures of diblock copolymers and homopolymer with perfluoroalkyl side chains	Journal of Colloid and Interface Science, 283, 533-538, (2005)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Hiroaki Onoda*, Kazuo Kojima*, Hiroyuki Nariai	Mechanochemical effects on formation and properties of various copper phosphates	Phosphorus Res. Bull., 18, 37-46 (2005)	A
Hiroaki Onoda*, Kei Yokouchi*, Kazuo Kojima*, Hiroyuki Nariai	Addition of rare earth cation on formation and properties of various cobalt phosphates	Mater. Sci. Eng. B, 116, 189-195 (2005)	A
Hideko Inoue*, Hirokazu Nakayama*, Mitsutomo Tsuchioka*, Hideshi Maki, Hiroyuki Nariai, Taro Eguchi*	Phosphorylation of methylamine with inorganic monoimido-cyclo-triphosphate	Phosphorus Res. Bull., 17, 170-173 (2004)	A
M. Okada, M. Okubo, T. Matoba	Influence of nonionic emulsifier included inside carboxylated polymer particles on the formation of multihollow structure by the alkali/cooling method	Colloid Polym. Sci., 282, 193-197 (2004)	A
Syuji Fujii, Hideto Minami, Masayoshi Okubo	Production of poly(methyl methacrylate) particles by dispersion polymerization with mercaptopropyl terminated poly(dimethylsiloxane) stabilizer in supercritical carbon dioxide	Colloid Polym. Sci., 282, 569-574 (2004)	A
Masayoshi Okubo, Hideto Minami, Jian Zhou	Preparation of block copolymer by atom transfer radical seeded emulsion polymerization	Colloid Polym. Sci., 282, 747-752 (2004)	A
Masayoshi Okubo, Akihiro Tanaka, Hiroshi Yonehara	Reconstruction of morphology of micron-sized, monodisperse composite polymer particles by the solvent-absorbing/releasing method	Colloid Polym. Sci., 282, 646-650 (2004)	A
M. Okubo, R. Takekoshi, N. Saito	Formation mechanism of an onion-like multilayered structure by reconstruction of morphology of micron-sized, monodisperse, poly(methyl methacrylate)/polystyrene composite particles with the solvent-absorbing/releasing method	Colloid Polym. Sci., 282, 1192-1197 (2004)	A
Masayoshi Okubo, Yasuyuki Kagawa, Mitsuo Matsuda, Akinori Terada	Preparation of polymer particles having ethyleneurea groups at their surfaces by emulsifier-free seeded emulsion polymerization and wet adhesion of its emulsion film	Colloid Polym. Sci., 282, 88-91 (2004)	A
Masayoshi Okubo, Mayuko Inoue, Toyoko Suzuki, Masaya Kouda	Effect of hydrophilicity of polymer particles on their glass transition temperatures in the emulsion state	Colloid Polym. Sci., 282, 1150-1154 (2004)	A
Hideto Minami, Yasuyuki Kagawa, Shintaro Kuwahara, Junji Shigematsu, Syuji Fujii, Masayoshi Okubo	Dispersion atom transfer radical polymerization of methyl methacrylate with bromo-terminated poly(dimethylsiloxane) in supercritical carbon dioxide	Designed monomers and polymers, 7, 553-562 (2004)	A
Hiroyuki Ohshima, Hiroko Sato, Hiroki Matsubara, Atsushi Hyono, Masayoshi Okubo	A theory of adsorption kinetics with time delay and its application to overshoot and oscillation in the surface tension of gelatin solution	Colloid Polym. Sci., 282, 1174-1178 (2004)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
M. Yu. Pusty'nik, V. M. Torchinskii, V. I. Molotkov, A. G. Khrapak, A. V. Chernyshev, O. F. Petrov, V. E. Fortov, M. Okubo, K. Yoshino	Excitation of Dust-Acoustic Waves in a DC Glow-Discharge Dusty Plasma by Means of Pulsed Gasdynamic Simulation	Russian Academy of Sciences and Springer Science, 42, 659-666 (2004)	A
Ikegami T., Lee, W.-S., Nariai, H., Takeuchi, T.	Synthetic Polymers Adsorbing Bisphenol A and Its Analogues Prepared by Covalent Molecular Imprinting Using Bisphenol A Dimethacrylate as a Template Molecule	Anal. Bioanal. Chem. , 378, 1898-1902 (2004)	A
Ikegami, T., Lee, W.-S., Nariai, H., Takeuchi, T.	Covalent Molecular Imprinting of Bisphenol A Using Its Diesters Followed by the Reductive Cleavage with LiAlH ₄	J. Chromatogr. B, 804, 197-201 (2004)	A
Takeuchi, T., Ugata, S., Masuda, S., Matsui, J., Takase, M.	Atrazine Transformation Using Synthetic Enzymes Prepared by Molecular Imprinting	Org. Biomol. Chem., 2, 2563-2566 (2004)	A
Takeuchi, T., Seko, A., Mukawa, T.	Molecularly Imprinted Polymers with Signaling Function Based on the UV-Vis Spectral Change by Diastereoselective Binding Events	Bull. Chem. Soc. Jpn., 78, 356-360 (2005)	A
Takase, M., Nakajima, A., Takeuchi, T.	Synthesis of an Extended Hexagonal Molecule as a Highly Symmetrical Ligand	Tetrahedron Lett., 46, 1739-1742 (2005)	A
Kubo, H., Yoshioka, N., Takeuchi, T.	Fluorescent Imprinted Polymers Prepared with 2-Acrylamidoquinoline as a Signaling Monomer	Org. Lett., 7, 359 - 362 (2005)	A
Sho-ta Yamaguchi, Shingo Sumimoto, Yuichi Ichihashi, Satoru Nishiyama, Shigeru Tsuruya	Liquid-Phase Oxidation of Benzene over V-Substituted Heteropolyacid Catalysts	Ind. Eng. Chem. Res., 44, 1-7 (2005)	A
Takahiro Ikeda, Naohisa Misawa, Yuichi Ichihashi, Satoru Nishiyama, Shigeru Tsuruya	Liquid-Phase Oxidative Coupling of 2-Naphthol by Vanadium Catalysts Supported on MCM-41	J. Mol. Catal. A: Chemical, 231/1-2, 235-240 (2005)	A
Ryohei, Yamamoto, Yo-suke Sawayama, Hiroshi Shibahara, Yuichi Ichihashi, Satoru Nishiyama, Shigeru Tsuruya	Promoted Partial Oxidation of Supported Ag Catalysts in the Gas-Phase Catalytic Oxidation of Benzyl Alcohol	J. Catal., 234, 308-317 (2005)	A
Kouji Takata, Sho-ta Yamaguchi, Satoru Nishiyama, Shigeru Tsuruya	Cu Precipitate Formed During the Benzene Oxidation Catalyzed by Supported Cu in the Presence of Ascorbic Acid and O ₂	J. Mol. Catal. A: Chemical, 225, 125-130 (2005)	A
Takahiro Kitamura, Hiroshi Kanzaki, Rei Hamada, Satoru Nishiyama, Shigeru Tsuruya	Liquid-Phase Oxidation of Benzene to Phenol by Copper Catalysts in Aqueous Solvent with High Acetic Acid Concentration	Canadian J. Chem., 82, 1597-1605 (2004)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Noriyuki Okuyama, Nobuyuki Komatsu*, Takuo Shigehisa*, Takao Kaneko*, Shigeru Tsuruya	Hyper-Coal Process to Produce the Ash-Free Coal	Fuel Processing Tech., 85, 947-967 (2004)	A
Yonghao Li, Daisuke Nakashima, Yuichi Ichihashi, Satoru Nishiyama, Shigeru Tsuruya	Promotion Effect of Alkali Metal Added to Impregnated Cobalt Catalysts in the Gas-Phase Catalytic Oxidation of Benzyl Alcohol	Ind. Eng. Chem. Res., 43, 6021-6026 (2004)	A
Masaya Furukawa, Yoko Nishikawa, Satoru Nishiyama, Shigeru Tsuruya	Effect of Alkali Metal Added to Supported La Catalysts on the Catalytic Activity in the Gas-Phase Catalytic Oxidation of Benzyl Alcohol	J. Mol. Catal. A: Chemical, 211, 219-226 (2004)	A
Hiroshi Kanzaki, Takahiro Kitamura, Rei Hamada, Satoru Nishiyama, Shigeru Tsuruya	Activities for Phenol Formation Using Cu Catalysts Supported on Al ₂ O ₃ in the Liquid-Phase Oxidation of Benzene in Aqueous Solvent with High Acetic Acid Concentration	J. Mol. Catal. A: Chemical, 208, 203-211 (2004)	A
Takayuki Seiki, Asako Nakato, Satoru Nishiyama, Shigeru Tsuruya	Effect and Role of Alkali Metals Added to Cobalt Ion-Exchanged X and Y Zeolite Catalysts in the Gas-Phase Catalytic Oxidation of Benzyl Alcohol	Phys. Chem. Chem. Phys., 5, 3818-3826 (2003)	A
M. P. Kapoor, Y. Ichihashi, T. Nakamori, and Y. Matsumura	Chemical Promotional Effect of Gold Added to Palladium Supported on Cerium oxide in Catalytic Methanol Decomposition.	J. Mol. Catal. A, 213, pp.251-255 (2004)	A
W. J. Shen, Y. Ichihashi, and Y. Matsumura	Low Temperature Methanol Synthesis from Carbon Monoxide and Hydrogen over Ceria Supported copper Catalyst	Appl. Catal. A, 282, pp.221-226 (2005)	A
Naoto Ohmura, Mohamed Nabil Noui-Mehidi*, Kenji Sasaki, Kazuhiro Kitajima, Kunio Kataoka*	Mixing Characteristics in a Conical Taylor-Couette Flow System at Low Reynolds Numbers	Journal of Chemical Engineering of Japan, Vol. 37(4), 546-550 (2004)	A
Naoto Ohmura, Tadashi Aoki, Hirokazu Okamoto, Kunio Kataoka*	Time-Dependent Flow Properties in Doubly Periodic and Weakly Turbulent Wavy Vortex Flows in a Taylor-Couette Flow System	Journal of Chemical Engineering of Japan, Vol. 37(4), 572-576 (2004)	A
Mohamed Nabil Noui-Mehidi*, Naoto Ohmura, Kunio Kataoka*	Gap Effect on Taylor Vortex Size Between Rotating Conical Cylinders	Proceedings of the 15th Australasian Fluid Mechanics Conference (2004) on CD-ROM	C
Naoto Ohmura, Manabu Nagamitsu, Kentaro Kondo, Takeshi Yano, Hiromoto Usui	Emulsion Polymerization of Vinyl Acetate in a System of Two CSTR in Series	Proceedings of the 10th APPCChE (2004), Paper No. 0193 on CD-ROM	B
今駒博信, 吉田正道*, 宮原稔*, 大村直人	表面物質移動抵抗をもつ多孔平板のregular regimeと乾燥特性関数	化学工学論文集, 30(3), 368-371 (2004)	A
Katsuyuki Kubota, Ryosuke Nishitani, Midori Sakamoto, Hironobu Imakoma	A Study of Dynamic Adsorption Characteristics of Chlorinated Organic Solvents onto the Activated Carbon Particles: Chloroform and/or 1,2-Dichloropropane-Activated Carbon Systems	Journal of Chemical Engineering of Japan, 37(4), 483-489(2004)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Manabu Kano*, Shinji Hasebe*, Iori Hashimoto*, Hiromu Ohno	Evolution of Multivariate Statistical Process Control: Application of Independent Component Analysis and External Analysis	Computers & Chemical Engineering, Vol.28, No.6-7, pp.1157-1166 (2004)	A
Koichi Fujiwara*, Manabu Kano*, Shinji Hasebe*, Hiromu Ohno	Data-Driven Approach for Improving Product Yield	The 10th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCCChE), CD-ROM, 3E-04, Kitakyushu, Japan, Oct. 17-21 (2004)	B
Koichi Fujiwara*, Manabu Kano*, Shinji Hasebe*, Hiromu Ohno	Data-Driven Approach for Product Quality/Yield Improvement: How to Specify Target of Qualitative Quality Variables	AIChE Annual Meeting, paper 429c, Austin, TX, Nov. 7-12 (2004)	C
Manabu Kano*, Koichi Fujiwara*, Shinji Hasebe*, Hiromu Ohno	Product Quality Improvement Using Multivariate Data Analysis	Preprints of the 16th IFAC World Congress, CD-ROM, Tu-M03-TP/22, Prague, Czech Republic, Jul. 3-8 (2005)	B
Manabu Kano*, Shinji Hasebe*, Iori Hashimoto*, Hiromu Ohno	Data-Driven Quality Improvement: Handling Qualitative Variables	IFAC Symposium on Dynamics and Control of Process Systems (DYCOPS), CD-ROM, Cambridge, July 5-7 (2004)	B
Koichi Fujiwara*, Manabu Kano*, Sunghyun Lee*, Shinji Hasebe*, Hiromu Ohno	Hierarchical Control and Monitoring System for Product Quality Improvement	Proceedings of International Symposium on Design, Operation and Control of Chemical Plants (PSE Asia 2005), pp.381-386, Seoul, Korea, Aug. 17-19 (2005)	B
Hiromoto USUI, Toshimitsu KAMADA, Hiroshi SUZUKI	Surfactant Drag Reduction Caused by a Cationic Surfactant with Excess Addition of Counter-ions	Journal of Chemical Engineering Japan, 37(10), 1232-1237 (2004)	A
Poly R. Modak, Hiromoto Usui, Hiroshi Suzuki, Takaaki Inada*	Effect of Cetylmethylbetaine Molecules on Agglomeration and Growth of Ice	Chemistry Letters, 33(12), 1558-1559 (2004)	A
Hiroshi Suzuki, Hong-Phuc Nguyen, Tomoe Nakayama, Hiromoto Usui	Development Characteristics of Fluctuating Velocity Field of Drag-reducing Surfactant Solution Flow in a Duct	Rheologica Acta 44, 457-464 (2005)	A
Datin F. Umar, Bukin Daulay*, Hiromoto Usui, Tetsuya Deguchi*, Satoru Sugita*	Characterization of Upgraded Brown Coal (UBC)	Coal Preparation Journal, 25, 31-45 (2005)	A
Hiroshi Suzuki, Gerald G. Fuller*, Tomoe Nakayama, Hiromoto Usui	Development Characteristics of Drag-reducing Surfactant Solution Flow in a Duct	Rheologica Acta, 41, 232-239 (2004)	A
Hiromoto Usui, Mahidin, Datin F. Umar	Upgrading by Kobe University Process and Control of Spontaneous Combustion of Low Rank Coals	21st Annual International Pittsburgh Coal Conference, Osaka, Japan Sept. 13-17 Paper No. 27-4 (2004)	B
Datin F. Umar, Bukin Daulay*, Hiromoto Usui	Reducing Moisture Content by Hot Water Drying Method	21st Annual International Pittsburgh Coal Conference, Osaka, Japan Sept. 13-17, Paper No. 41-3 (2004)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Hiromoto Usui, Daisuke Aozai, Koji Kitamura*, Kazuhiro Nakashima, Hiroshi Suzuki	Effect of the Rheology of Fluorescent Particle Suspension on the Characteristics of Coated Thin Membrane	Proceeding of 14th International Congress on Rheology, Seoul, Korea, August 22-27, (2004)	B
Tetsu Itotagawa, Hiroshi Suzuki, Hiromoto Usui	Viscosity of Clathrate Hydrate Slurries with Drag-Reducing Surfactants	Proceedings of the 14th International Conference on Rheology, (2004), Paper #NU18, Seoul.	B
Hiroshi Suzuki, Tomoe Nakayama and Hiromoto Usui	Development Characteristics of Surfactant Solution Flow Fluctuation in a Duct	Proceedings of the 14th International Conference on Rheology, (2004), Paper #NF07, Seoul.	B
Hiroshi Suzuki, Sayaka Yamada and Hiromoto Usui	Numerical Study on Visco-Elastic Fluid Flow and Heat Transfer Characteristics in a Cavity	Proceedings of the First International Forum on Heat Transfer, Kyoto, 245-246(2004)	C
Yoshiyuki Komoda, *Yoshiro Inoue and *Yushi Hirata	Mixing performance by reciprocating disk in cylindrical vessel	Journal of Chemical Engineering Japan, 33(6), 879-885(2000)	A
Yoshiyuki Komoda, *Yoshiro Inoue and *Yushi Hirata	Characteristics of laminar flow induced by reciprocating disk in cylindrical vessel	Journal of Chemical Engineering Japan, 34(7), 919-928(2001)	A
Yoshiyuki Komoda, *Yoshiro Inoue and *Yushi Hirata	Characteristics of turbulent flow induced by reciprocating disk in cylindrical vessel	Journal of Chemical Engineering Japan, 34(7), 929-935(2001)	A
Yasuya Fujita, Junji Ito, Mitsuyoshi Ueda*, Hideki Fukuda, Akihiko Kondo	Synergistic Saccharification and Direct Fermentation to Ethanol of Amorphous Cellulose by Use of an Engineered Yeast Strain Codisplaying Three Types of Cellulolytic Enzyme	Applied and Environmental Microbiology, 70(2), 1207-1212 (2004)	A
Akihiko Kondo, Mitsuyoshi Ueda*	Yeast Cell Surface Display-Application of Molecular Display	Applied Microbiology and Biotechnology, 64, 28-40 (2004)	A
Jiro Kohda*, Tadanori Yamada, Takao Yoshida*, Tadashi Maruyama*, Masafumi Yohda*, Hideki Fukuda, Akihiko Kondo	Refolding of Proteins by Hexadecamers and Monomers of the α and β Subunits of Group II Chaperonin from the Hyperthermophilic Archaeum Thermococcus Strain KS-1	Biochemical Engineering Journal, 18, 73-79 (2004)	A
Hisayori Shigechi, Yasuya Fujita, Jun Koh, Mitsuyoshi Ueda*, Hideki Fukuda, Akihiko Kondo	Energy-Saving Direct Ethanol Production from Low-Temperature-Cooked Corn Starch Using a Cell-Surface Engineered Yeast Strain Co-Displaying Glucoamylase and α -Amylase	Biochemical Engineering Journal, 18, 149-153 (2004)	A
Takeshi Matsumoto, M Ito*, Hideki Fukuda, Akihiko Kondo	Enantioselective Transesterification Using Lipase-Displaying Yeast Whole-Cell Biocatalyst	Applied Microbiology and Biotechnology, 64, 481-485 (2004)	A
Junji Ito, Yasuya Fujita, Mitsuyoshi Ueda*, Hideki Fukuda, Akihiko Kondo	Improvement of Cellulose-Degrading Ability of a Yeast Strain Displaying Trichoderma Reesei Endoglucanase II by Recombination of Cellulose-Binding Domains	Biotechnology Progress, 20, 688-691 (2004)	A
Hiroko Shibamoto, Takeshi Matsumoto, Hideki Fukuda, Akihiko Kondo	Molecular Engineering of Rhizopus oryzae Lipase Using a Combinatorial Protein Library Constructed on the Yeast Cell Surface	Journal of Molecular Catalysis B, 28(4-6), 235-239 (2004)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Ying Lin*, Seizaburo Shiraga, Takeshi Tsumuraya*, Takeshi Matsumoto, Akihiko Kondo, Ikuo Fujii*, Mitsuyoshi Ueda*	Comparison of Two Forms of Catalytic Antibody Displayed on Yeast-Cell Surface	Journal of Molecular Catalysis B, 28(4-6), 241-246 (2004)	A
Shinji Hama, Hideki Yamaji, Masaru Kaieda, Mitsuhiro Oda, Akihiko Kondo, Hideki Fukuda	Effect of fatty acid membrane composition on whole-cell biocatalysts for biodiesel-fuel production	Biochem. Eng. J., 21(2), 155-160 (2004)	A
Tadanori Yamada, Masaharu Senoo*, Akihiko Kondo, Mitsuyoshi Ueda*, Katsuyuki Tanizawa*, Syunnichi Kuroda*	中空バイオナノ粒子を用いたピンポイントドラッグデリバリーシステム	高分子論文集, 61, 606-612 (2004)	A
Hideki Yamaji, Kentaro Sakai, Tsukasa Joho, Hideki Fukuda	Cell cycle analysis of Chinese hamster ovary cells stimulated by phosphatidic acid in serum-free culture	J. Biosci. Bioeng., 98(6), 487-489 (2004)	A
Kazuki Machi*, Masayuki Azuma*, Koichi Igarashi*, Takeshi Matsumoto, Hideki Fukuda, Akihiko Kondo, Hiroshi Ooshima*	Rot1p of <i>Saccharomyces Cerevisiae</i> is a Putative Membrane Protein Required for Normal Levels of the Cell Wall β -1, 6-Glucan	Microbiology (UK), 150, 3163-3173 (2004)	A
Masaru Kaieda, Masayuki Nagayoshi, Shinji Hama, Akihiko Kondo	Enantioselective Transesterification Using Immobilized <i>Aspergillus oryzae</i> Overexpressing Lipase	Applied Microbiology and Biotechnology, 65, 301-305 (2004)	A
Satoshi Katahira, Yasuya Fujita, Atsuko Mizuike, Hideki Fukuda, Akihiko Kondo	Construction of Yeast Strain for Xylan Fermentation through Co-Display of Xylanolytic Enzymes on Cell Surface of Xylose-Utilizing <i>Saccharomyces Cerevisiae</i>	Applied and Environmental Microbiology, 70(9), 5407-5414 (2004)	A
Hisayori Shigechi, Jun Koh, Yasuya Fujita, Takeshi Matsumoto, Youhei Bito, Mitsuyoshi Ueda*, Eiichi Satoh*, Hideki Fukuda, Akihiko Kondo	Direct Production of Ethanol from Raw Corn Starch via Fermentation by Using of a Novel Surface-Engineered Yeast Strain Codisplaying Glucoamylase and α -Amylase	Applied and Environmental Microbiology, 70(8) 5037-5040 (2004)	A
Chiaki Ogino, Masayuki Kanemasu, Yasuhiro Hayashi, Akihiko Kondo, Noriaki Shimizu*, Shinji Tokuyama*, Y. Tahara*, Syunichi Kuroda*, Katsuyuki Tanizawa*, Hideki Fukuda	Over-expression system for secretory phospholipase D by <i>Streptomyces lividans</i>	Applied Microbiology and Biotechnology, 64, 823-828 (2004)	A
Tadanori Yamada, Masakazu Ueda*, Masaharu Seno*, Akihiko Kondo, Katsuyuki Tanizawa*, Shun'ichi Kuroda*	Novel Tissue and Cell Type-specific Gene/Drug Delivery System Using Surface Engineered Hepatitis B Virus Nano-particles	Current Drug Targets, 4(2), 163-167 (2004)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Junya Narita, Saori Nakahara, Hideki Fukuda, Akihiko Kondo	Production of L-(+)-Lactic Acid from Raw Starch by <i>Streptococcus bovis</i> 148	Journal of Bioscience and Bioengineering, 97(6), 423-425 (2004)	A
Takanori Tanino, Takeshi Matsumoto, Hideki Fukuda, Akihiko Kondo	Construction of System for Localization of Target Protein in Yeast Periplasm Using Invertase	Journal of Molecular Catalysis B, 28(4-6), 259-264 (2004)	A
Takeshi Matsumoto, Shinya Ishikawa, Hideki Fukuda, Akihiko Kondo	Construction of Ethanol-Tolerant Yeast Strains with Combinatorial Library-Selected Peptides	Journal of Molecular Catalysis B, 28(4-6), 253-257 (2004)	A
Ying Lin*, Seizaburo Shiraga*, Takeshi Tsumuraya*, Ikuo Fujii*, Takeshi Matsumoto, Akihiko Kondo, Mitsuyoshi Ueda*	Isolation of Novel Catalytic Antibody Clones from Combinatorial Library Displayed on Yeast-Cell Surface	Journal of Molecular Catalysis B, 28(4-6), 247-251 (2004)	A
Toshitaka Manabe, Akinori Kitaura, Hideki Yamaji, Hideki Fukuda	Efficient protein production by insect cells immobilized within porous support particles	The 10th APCChE Congress Conference Proceedings, 3P-01-086 (2004)	B
Mitsuhiro Oda, Masaru Kaieda, Shinji Hama, Hideki Yamaji, Akihiko Kondo, Eiji Izumoto*, Hideki Fukuda	Facilitatory effect of immobilized isopase-producing <i>Rhizopus oryzae</i> cells on acyl migration in biodiesel-fuel production	Biochem. Eng. J., 23(1), 45-51 (2005)	A
Jaruwan Maneesri*, Masayuki Azuma*, Yumiko Sakai*, Koichi Igarashi*, Takeshi Matsumoto, Hideki Fukuda, Akihiko Kondo, Hiroshi Ooshima	Deletion of MCD4 Involved in Glycosylphosphatidylinositol(GPI) Anchor Synthesis Leads to an Increase in β -1,6-Glucan Level and a Decrease in GPI-anchored protein and Mannan Levels in the Cell Wall of <i>Saccharomyces cerevisiae</i>	Journal of Bioscience and Bioengineering, 99(4), 354-360 (2005)	A
Dongwei Yu*, Chie Amano*, Takayuki Fukuda*, Tadanori Yamada*, Shunichi Kuroda*, Katsuyuki Tanizawa*, Akihiko Kondo, Masakazu Ueda*, Hidenori Yamada*, Hiroko Tada*, Masaharu Seno*	The Specific Delivery of Proteins to Human Liver Cells by Engineered Bio-Nanocapsules	FEBS Journal, 272, 3651-3660 (2005)	A
Tomohisa Katsuda, Reza Yegani, Nobuaki Fujii, Keisuke Igarashi, Satoshi Yoshimura, Shigeo Katoh	Effects of Light Intensity Distribution on Growth of <i>Rhodobacter capsulatus</i>	Biotechnology Progress, 20(3), 998-1000 (2004)	A
Tomohisa Katusda, Abdolmajid Lababpour, Kazumichi Shimahara, Shigeo Katoh	Astaxanthin Production by <i>Haematococcus pluvialis</i> under Illumination with LEDs	Enzyme and Microbial Technology, 35(1), 81-86 (2004)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Yoichi Kumada, Masumi Maehara, Shigeo Katoh	Characteristics of Micro-Blotting Assay Utilizing Immunoliposomes	Journal of Bioscience and Bioengineering, 98(8), 129-131 (2004)	A
Takako Yasuda, Naofumi Shiomi*, Saori Iwasaki, Yutaka Yamaguchi, Tomohisa Katsuda, Shigeo Katoh	Neutralization of Acids by Microorganisms Co-Immobilized with <i>Bacillus subtilis</i> in Shallow Layer of Model Soil	Journal of Chemical Engineering of Japan, 37(12), 1445-1452 (2004)	A
Abdolmajid Lababpour, Keishi Hada, Kazumichi Shimahara, Tomohisa Katsuda, Shigeo Katoh	Effect of Nutrient Supply Methods and Illumination with Blue LEDs on Astaxanthin Production by <i>Haematococcus pluvialis</i>	Journal of Bioscience and Bioengineering, 98(12), 452-456 (2004)	A
Daisuke Nohara*, Daisuke Kondo*, Ei-Ichiro Suzuki*, Shigeo Katoh	High Performance in Protease Refolding by Application of a Continuous System Using Immobilized Inhibitor	Journal of Bioscience and Bioengineering, 98(12), 482-486 (2004)	A
Yoichi Kumada, Masao Nogami, Naoki Minami, Masumi Maehara, Shigeo Katoh	Application of Protein-Coupled Liposomes to Effective Affinity Screening from Phage Library	Journal of Chromatography A, 1080(1), 22-28 (2005)	A
Tomohisa Katsuda, Ken Nishijima, Mitumasa Kamura, Zakir Hossain, Shigeo Katoh	Detection of SNPs Using Oligonucleotide Immobilized Capillary Chromatography	Conference Proceedings of 10th The APCChE Congress, 1P-01-009 (2004)	B
Abdolmajid Lababpour, Keishi Hada, Kazumichi Shimahara, Tomohisa Katsuda, Shigeo Katoh	Effects of Medium Replacement on Cell Density and Astaxanthin Accumulation in <i>H. pluvialis</i> Illuminated by LED Lamps	Conference Proceedings of 10th The APCChE Congress, 3L-07 (2004)	B
Reza Yegani, Satoshi Yoshimura, Tomohisa Katsuda, Shigeo Katoh	Relationship between Light Intensity Distribution and Growth Rate of Photosynthetic Cells	Conference Proceedings of 10th The APCChE Congress, 3P-01-085 (2004)	B
Yoichi Kumada, Masao Nogami, Shigeo Katoh	Application of Protein-Coupled Liposomes to Effective Affinity Screening from Phage Library	Conference Proceedings of 10th The APCChE Congress, 1P-01-002 (2004)	B
A. Azis*, H. Matsuyama, M. Teramoto	Dissociation Rates of Various Heavy Rare Earth Metal-diethylenetriaminepentaacetic Acid Complexes	J. Chem. Eng. Japan, 28(3), 334-339 (1995)	A
A. Azis*, H. Matsuyama, M. Teramoto	Equilibrium and Non-equilibrium Extraction Separation of Rare Earth Metals in Presence of Diethylenetriaminepentaacetic Acid in Aqueous Phase	J. Chem. Eng. Japan, 28(5), 601-608 (1995)	A
H. Matsuyama, A. Azis*, M. Fujita*, M. Teramoto	Analysis of Extraction Rate and Selectivity of Pr/Nd Separation by Solvent Extraction in the Presence of Diethylenetriaminepentaacetic Acid in Aqueous Phase	J. Chem. Eng. Japan, 28(6), 830-836 (1995)	A
H. Matsuyama, A. Azis*, M. Fujita*, M. Teramoto	Enhancement in Extraction Rates by Addition of Organic Acids to Aqueous Phase in Solvent Extraction of Rare Earth Metals in Presence of Diethylenetriaminepentaacetic Acid	J. Chem. Eng. Japan, 29(1), 126-133 (1996)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
M. Teramoto, K. Nakai*, N. Ohnishi*, Q. F. Huang*, T. Watari*, H. Matsuyama	Facilitated Transport of Carbon Dioxide through Supported Liquid Membranes of Aqueous Amine Solutions	Ind. Eng. Chem. Res., 35(2), 538-545 (1996)	A
H. Matsuyama, Y. Miyamoto*, M. Teramoto, M. Goto*, F. Nakashio*	Selective Separation of Rare Earth Metals by Solvent Extraction in the Presence of New Hydrophilic Chelating Polymers Functionalized with Ethylenediaminetetraacetic Acid. I. Development of New Chelating Polymers and Their Adsorption Properties for Rare Earth Metals	Separation Sci. Technol., 31(5), 687-704 (1996)	A
H. Matsuyama, Y. Miyamoto*, M. Teramoto, M. Goto*, F. Nakashio*	Selective Separation of Rare Earth Metals by Solvent Extraction in the Presence of New Hydrophilic Chelating Polymers Functionalized with Ethylenediaminetetraacetic Acid. II. Separation Properties by Solvent Extraction	Separation Sci. Technol., 31(6), 799-810 (1996)	A
H. Matsuyama, M. Teramoto, H. Sakakura*	Selective Permeation of CO ₂ through Poly[2-(N,N-dimethyl)aminoethyl methacrylate] Membrane Prepared by Plasma-graft Polymerization Technique	J. Membrane Sci., 114(2), 193-200 (1996)	A
M. Teramoto, H. Matsuyama, K. Nakai*	Separation of Ethyl Ester of Eicosapentaenoic Acid by Circulating Liquid Membranes Using Silver Nitrate as Carrier. Uphill Transport by Use of Temperature and Solvent Dependencies of Distribution Ratio	Separation Sci. Technol., 31(14), 1953-1969 (1996)	A
M. Teramoto, H. Nishibue*, H. Ogawa*, T. Kozono*, K. Morita*, H. Matsuyama	Effect of Addition of Water-soluble Cationic Polymers on Thermal Stability and Activity of Glucose Dehydrogenase	Colloid and Surfaces B: Biointerfaces, 7(2), 165-171 (1996)	A
H. Matsuyama, M. Teramoto, H. Sakakura*, K. Iwai*	Facilitated Transport of CO ₂ through Various Ion Exchange Membranes Prepared by Plasma Graft Polymerization	J. Membrane Sci., 117(1-2), 251-260 (1996)	A
H. Matsuyama, M. Teramoto, M. Tsuchiya*	Percolation Permeability in Styrene-methacrylic Acid Ionomers	J. Membrane Sci., 118(2), 177-184 (1996)	A
M. Teramoto, H. Matsuyama, N. Ohnishi*	Uphill Transport of Polyunsaturated Fatty Acids Ethyl Ester through Liquid Membranes Containing Silver Nitrate as a Carrier	Proc. of International Solvent Extraction Conference (ISEC' 96), 2, 917-922 (1996)	C
H. Matsuyama, M. Teramoto, T. Uesaka*	Membrane Formation and Structure via the Dry-cast Process	Proc. of International Congress on Membranes and Membrane Processes, 94-95 (1996)	C
H. Matsuyama, M. Teramoto, M. Tsuchiya*	Percolation Permeability in Ionomer Membrane	Proc. of International Congress on Membranes and Membrane Processes, 130-131 (1996)	C
M. Teramoto, Q. Huang*, T. Watari*, H. Matsuyama	Facilitated Transport of CO ₂ through Aqueous Amine Membranes. Effects of Amine Species and Support Membrane	Proc. of International Congress on Membranes and Membrane Processes, 586-587 (1996)	C
H. Matsuyama, M. Teramoto, H. Urano*	Protein Transport Characteristics through Poly(vinyl alcohol) Gel	Proc. of International Congress on Membranes and Membrane Processes, 834-835 (1996)	C

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
M. Teramoto, N. Ohyagi*, H. Matsuyama	Facilitated Transport of Olefin through Water-swollen Membranes Containing Silver Ion	Proc. of International Congress on Membranes and Membrane Processes, 1066-1067 (1996)	C
M. Teramoto, Q. F. Huang*, T. Watari*, Y. Tokunaga*, R. Nakatani*, T. Maeda*, H. Matsuyama	Facilitated Transport of CO ₂ through Supported Liquid Membranes of Various Amine Solutions. Effect of Rate and Equilibrium of Reaction between CO ₂ and Amine	J. Chem. Eng. Japan, 30(2), 328-335 (1997)	A
H. Matsuyama, M. Teramoto, H. Urano*	Analysis of Solute Diffusion in Poly(vinyl alcohol) Hydrogel Membrane	J. Membrane Sci., 126(2), 151-160 (1997)	A
H. Matsuyama, M. Teramoto, K. Suzuki*	Simulation of Solute Diffusion through Porous Media	Separation Sci. Technol., 32(14), 2349-2366 (1997)	A
H. Matsuyama, M. Teramoto, T. Uesaka*,	Membrane Formation and Structure Development by Dry-cast Process	J. Membrane Sci., 135(2), 271-288 (1997)	A
H. Matsuyama, S. Berghmans*, M. T. Batarseh*, D. R. Lloyd*	Effects of Thermal History on Anisotropic and Asymmetric Membranes Formed by Thermally Induced Phase Separation	J. Membrane Sci., 142(1), 27-42 (1998)	A
H. Matsuyama, S. Berghmans*, D. R. Lloyd*	Formation of Hydrophilic Microporous Membranes via Thermally Induced Phase Separation	J. Membrane Sci., 142(2), 213-224 (1998)	A
T. Kakoi*, M. Goto*, F. Kubota*, F. Nakashio*, S. Furusaki*, H. Matsuyama, M. Teramoto	Silver-mediated Separation of Polyunsaturated Fatty Acids by Oil-in-water Emulsion Liquid Membranes	Membrane, 23(4), 204-212 (1998)	A
北村吉朗*, 三嶋章浩*, 松山秀人, 松葉頼重*	親水性膜と疎水性膜を併用した膜抽出法による不飽和脂肪酸メチルエステルの相互分離	化学工学論文集, 24(5), 797-802 (1998)	A
H. Matsuyama, M. Teramoto, T. Uesaka*, M. Goto*, F. Nakashio*	Kinetics of Droplet Growth in the Metastable Region in Cellulose Acetate/Acetone/ Nonsolvent System	J. Membrane Sci., 152(2), 227-234 (1999)	A
Y. Kitamura*, H. Matsuyama, A. Nakabuchi*, N. Matsuba*	Separation of Ethyl Ester of Docosahexaenoic Acid by Facilitated Transport Membrane with High Stability	Separation Sci. Technol., 34(2), 277-288 (1999)	A
H. Matsuyama, S. Berghmans*, D. R. Lloyd*	Formation of Anisotropic Membranes via Thermally Induced Phase Separation	Polymer, 40(9), 2289-2301 (1999)	A
H. Matsuyama, Y. Kitamura*, Y. Naramura*	Diffusive Permeability of Ionic Solutes in Charged Chitosan Membrane	J. Appl. Polym. Sci., 72(3), 397-404 (1999)	A
H. Matsuyama, Y. Kitamura*, Y. Doi*, Y. Matsuba*	Influence of Solvents on Facilitated Transport of Ethyl Ester of Docosahexaenoic Acid	J. Membrane Sci., 159(1-2), 1-10 (1999)	A
M. Teramoto, Q. Huang*, T. Maki*, H. Matsuyama	Facilitated Transport of SO ₂ through Supported Liquid Membrane Using Water as a Carrier	Separation Purif. Technol., 16(2), 109-118 (1999)	A
H. Matsuyama, T. Tamura*, Y. Kitamura*	Permeability of Ionic Solutes in a Polyamphoteric Membrane	Separation Purif. Technol., 16(2), 181-187 (1999)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
H. Matsuyama, Y. Kitamura*, Y. Doi*, S. Ohtsuka*, Y. Matsuba*, T. Okihara*	Facilitated Transport of Ethyl Docosaheptaenoate through Solution-cast Perfluorosulfonated Ionomer Membranes	J. Appl. Polym. Sci., 73(6), 961-968 (1999)	A
H. Matsuyama, H. Shiraishi*, Y. Kitamura*	Effect of Membrane Preparation Conditions on Solute Permeability in Chitosan Membrane	J. Appl. Polym. Sci., 73(13), 2715-2725 (1999)	A
H. Matsuyama, M. Teramoto, R. Nakatani*, T. Maki*	Membrane Formation via Phase Separation Induced by Penetration of Nonsolvent from Vapor Phase. I. Phase Diagram and Mass Transfer Process	J. Appl. Polym. Sci., 74(1), 159-170 (1999)	A
H. Matsuyama, M. Teramoto, R. Nakatani*, T. Maki*	Membrane Formation via Phase Separation Induced by Penetration of Nonsolvent from Vapor Phase. II. Membrane Morphology	J. Appl. Polym. Sci., 74(1), 171-178 (1999)	A
H. Matsuyama, A. Terada*, T. Nakagawara*, Y. Kitamura*, M. Teramoto	Facilitated Transport of CO ₂ through Polyethyleneimine/ Poly(vinyl alcohol) Blend Membrane	J. Membrane Sci., 163(2), 221-227 (1999)	A
H. Matsuyama, K. Matsui*, Y. Kitamura*, T. Maki*, M. Teramoto	Effects of Membrane Thickness and Membrane Preparation Condition on Facilitated Transport of CO ₂ through Ionomer Membrane	Separation Purif. Technol., 17(3), 235-241 (1999)	A
H. Matsuyama, S. Kudari*, Y. Kitamura*	Light Scattering Study of Kinetics of Pore Formation in TIPS Process	Proc. of the 5th International Symposium on Separation Technology between Korea and Japan, 731-734 (1999)	C
H. Matsuyama, M. Yuasa*, Y. Kitamura*, D. R. Lloyd*	Formation of Anisotropic Membrane Structure via TIPS Process	Proc. of the 8th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCCHE), 3, 1913-1916 (1999)	C
寺本正明, 松山秀人, 大西宣昭*	ミキサーセトラを用いる乳化液膜によるフェ ノールの除去	膜, 25 (2), 86-92 (2000)	A
H. Matsuyama, S. Kudari*, H. Kiyofuji*, Y. Kitamura	Kinetic Studies of Thermally Induced Phase Separation in Polymer-diluent System	J. Appl. Polym. Sci., 76(7), 1028-1036 (2000)	A
H. Matsuyama, M. Nishiguchi*, Y. Kitamura*	Phase Separation Mechanism during Membrane Formation by Dry-cast Process	J. Appl. Polym. Sci., 77(4), 776-782 (2000)	A
H. Matsuyama, M. Teramoto, M. Kuwana*, Y. Kitamura*	Formation of Polypropylene Particles via Thermally Induced Phase Separation	Polymer, 41(24), 8673-8679 (2000)	A
M. Teramoto, Y. Sakaida*, S. S. Fu*, N. Ohnishi*, H. Matsuyama, T. Maki*, T. Fukui*, A. Arai*	An Attempt for the Stabilization of Supported Liquid Membrane	Separation Purif. Technol., 21(1-2), 137-144 (2000)	A
H. Matsuyama, M. Yuasa*, Y. Kitamura*, M. Teramoto, D. R. Lloyd*	Structure Control of Anisotropic and Asymmetric Polypropylene Membrane Prepared by Thermally Induced Phase Separation	J. Membrane Sci., 179(1-2), 91-100 (2000)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
H. Matsuyama, T. Iwatani*, Y. Kitamura*, M. Teramoto, N. Sugoh*	Formation of Porous Poly(ethylene-co-vinyl alcohol) Membrane via Thermally Induced Phase Separation	J. Appl. Polym. Sci., 79(13), 2449-2456 (2001)	A
H. Matsuyama, T. Iwatani*, Y. Kitamura*, M. Teramoto, N. Sugoh*	Solute Rejection by Poly(ethylene-co-vinyl alcohol) Membrane Prepared by Thermally Induced Phase Separation	J. Appl. Polym. Sci., 79(13), 2456-2463 (2001)	A
M. Teramoto, N. Takeuchi*, T. Maki*, H. Matsuyama	Gas Separation by Liquid Membrane Accompanied by Permeation of Membrane Liquid through Membrane. Physical Transport	Separation Purif. Technol., 24(1-2) 101-112 (2001)	A
H. Matsuyama, M. Teramoto, K. Matsui*, Y. Kitamura*	Preparation of Poly(acrylic acid)/Poly(vinyl alcohol) Membrane for the Facilitated Transport of CO ₂	J. Appl. Polym. Sci., 81(4), 936-942 (2001)	A
H. Matsuyama, M. Teramoto, S. Kudari*, Y. Kitamura*	Effect of Diluents on Membrane Formation via Thermally Induced Phase Separation	J. Appl. Polym. Sci., 82(1), 169-179 (2001)	A
H. Matsuyama, K. Kobayashi*, T. Maki*, M. Teramoto, H. Tsuruta*	Effect of Ethylene Content of Poly(ethyl-co-vinyl alcohol) on the Formation of Microporous Membranes via Thermally Induced Phase Separation	J. Appl. Polym. Sci., 82(10), 2583-2589 (2001)	A
牧泰輔*, 松山秀人, 寺本正明	高分子溶液のスピンノーダル分解にともなう非対称構造成長のシミュレーション	化学工学論文集, 27(6), 742-748 (2001)	A
H. Matsuyama, H. Yano*, T. Maki*, M. Teramoto, K. Mishima*, K. Matsuyama*	Formation of Porous Flat Membrane by Phase Separation with Supercritical CO ₂	J. Membrane Sci., 194(2), 157-163 (2001)	A
M. Teramoto, N. Takeuchi*, T. Maki*, H. Matsuyama,	Gas Separation by a Novel Facilitated Transport Membrane Accompanied by Permeation of Carrier Solution	Proc. of Engineering with Membranes, 2, 459-464 (2001)	C
H. Matsuyama, M. Kakemizu*, T. Maki*, M. Teramoto, K. Mishima*, K. Matsuyama*	Preparation of Porous Poly (oxylmethylen) Membrane with High Durability against Solvents by a Thermally Induced Phase-Separation Method	J. Appl. Polym. Sci., 83(9), 1993-1999 (2002)	A
M. Teramoto, N. Takeuchi*, T. Maki*, H. Matsuyama,	Facilitated Transport of CO ₂ through Liquid Membrane Accompanied by Permeation of Carrier Solution	Separation Purif. Technol., 27(1), 25-31 (2002)	A
H. Matsuyama, H. Okafuji*, T. Maki*, M. Teramoto, T. Tsujioka*	Membrane Formation via Thermally Induced Phase Separation in Polypropylene/Polybutene/ Diluent System	J. Appl. Polym. Sci., 84(9), 1701-1708 (2002)	A
H. Matsuyama, A. Yamamoto*, H. Yano*, T. Maki*, M. Teramoto, K. Mishima*, K. Matsuyama*	Effect of Organic Solvents on Membrane Formation by Phase Separation with Supercritical CO ₂	J. Membrane Sci., 204(1-2) 81-87 (2002)	A
H. Matsuyama, T. Maki*, M. Teramoto, K. Asano*	Effect of Polypropylene Molecular Weight on Porous Membrane Formation by Thermally Induced Phase Separation	J. Membrane Sci., 204(1-2), 323-328 (2002)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
H. Matsuyama, M. M. Kim*, D. R. Lloyd*	Effect of Extraction and Drying on the Structure of Microporous Polyethylene Membranes Prepared via Thermally Induced Phase Separation	J. Membrane Sci., 204(1-2), 413-419 (2002)	A
M. Teramoto, N. Takeuchi*, T. Maki*, H. Matsuyama	Ethylene/ethane Separation by Facilitated Transport Membrane Accompanied by Permeation of Aqueous Silver Nitrate Solution	Separation Purif. Technol., 28(2), 117-124 (2002)	A
H. Matsuyama, Y. Takida*, T. Maki*, M. Teramoto	Preparation of Porous Membrane by Combined Use of Thermally Induced Phase Separation and Immersion Precipitation	Polymer, 43(19), 5243-5248 (2002)	A
H. Matsuyama, T. Tachibana*, T. Maki*, M. Teramoto	Light Scattering Study on Porous Membrane Formation by Dry-cast Process	J. Appl. Polym. Sci., 86(13), 3205-3209 (2002)	A
H. Matsuyama, H. Yano*, T. Maki*, M. Teramoto	Formation of Porous Membrane by Phase Separation with Supercritical CO ₂	Proc. of the 1st Conference of Aseanian Membrane Society, 46-47 (2002)	C
M. Teramoto, T. Takeuchi*, N. Ohnishi*, H. Matsuyama	Removal of Carbon Dioxide by Novel Tubular-type Gas Absorber	Proc. Of 15th International Congress of Chemical and Process Engineering, 60-61 (2002)	C
M. Teramoto, N. Takeuchi*, N. Ohnishi*, H. Matsuyama	Absorption of CO ₂ into Aqueous Amine Solutions Using Capillary Tubes and Capillary Membranes	Proc. of the 6th International Symposium on Separation Technology between Japan and Korea, 697-700 (2002)	C
K. Nakagawa*, H. Matsuyama, T. Maki*, M. Teramoto	Preparation of Mesoporous Silica Thin Films by Solvent Evaporation Methods	Proc. of the 6th International Symposium on Separation Technology between Japan and Korea, 841-844 (2002)	C
S. Togano*, H. Matsuyama, T. Maki*, M. Teramoto	Preparation and Characterization of Porous Polysulfone/Clay Hybrid Membrane	Proc. of the 6th International Symposium on Separation Technology between Japan and Korea, 845-848 (2002)	C
K. Kochi*, T. Maki*, H. Matsuyama, M. Teramoto	Computer Simulation of Asymmetric Structure Formation via Thermally Induced Phase Separation	Proc. of the 6th International Symposium on Separation Technology between Japan and Korea, 945-948 (2002)	C
M. Shang*, H. Matsuyama, T. Maki*, M. Teramoto	Preparation and Characterization of Poly(ethylene-co-vinyl alcohol) Membrane via Thermally Induced Liquid-liquid Phase Separation	Proc. of the 6th International Symposium on Separation Technology between Japan and Korea, 949-952 (2002)	C
M. Shang*, H. Matsuyama, T. Maki*, M. Teramoto, D. R. Lloyd*	Preparation and Characterization of Poly(ethylene-co-vinyl alcohol) Membrane Via Thermally Induced Liquid-liquid Phase Separation Preparation and Characterization of Poly(ethylene-co-vinyl alcohol) Membrane Via Thermally Induced Liquid-liquid Phase Separation	J. Appl. Polym. Sci., 87(5), 853-860 (2003)	A
M. Shang*, H. Matsuyama, T. Maki*, M. Teramoto, D. R. Lloyd*	Effect of Crystallization and Liquid-liquid Phase Separation on Phase-separation Kinetics in Poly(ethyl-co-vinyl alcohol)/Glycerol Solution	J. Polym. Sci., Part B Polym. Phys., 41(2), 215-227 (2003)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
M. Teramoto, N. Ohnishi*, N. Takeuchi*, S. Kitada*, H. Matsuyama, N. Matsumiya*, H. Mano*	Separation and Enrichment of Carbon Dioxide by Capillary Membrane Module with Permeation of Carrier Solution	Separation Purif. Technol., 30(3), 215-227 (2003)	A
K. Matsuyama*, K. Mishima*, K. Hayashi*, H. Matsuyama	Microencapsulation of TiO ₂ Nanoparticles with Polymer by Rapid Expansion of Supercritical Solution	J. Nanoparticle Research, 5(1-2), 87-95 (2003)	A
K. Matsuyama*, K. Mishima*, K. Hayashi*, H. Ishikawa*, H. Matsuyama, T. Harada*	Formation of Microcapsules of Medicines by the Rapid Expansion of a Supercritical Solution with a Nonsolvent	J. Appl. Polym. Sci., 89(3), 742-752 (2003)	A
H. Matsuyama, K. Ouga*, M. Teramoto, S. Nakatsuka*	Porous Cellulose Acetate Membrane Prepared by Thermally Induced Phase Separation	J. Appl. Polym. Sci., 89(4), 3951-3955 (2003)	A
H. Matsuyama, H. Okafuji*, T. Maki*, M. Teramoto, N. Kubota*	Preparation of Polyethylene Hollow Fiber Membrane via Thermally Induced Phase Separation	J. Membrane Sci., 223(1-2), 119-126 (2003)	A
高地健太*, 牧泰輔*, 松山秀人, 寺本正明	熱誘起相分離法を用いた高分子濃度勾配に基づく非対称性膜の作製と構造成長のシミュレーション	化学工学論文集, 29(5), 673-679 (2003)	A
H. Matsuyama, K. Nakagawa*, T. Maki*, M. Teramoto	Studies on Phase Separation Rate in Porous Polyimide Membrane Formation by Immersion Precipitation	J. Appl. Polym. Sci., 90(1), 292-296 (2003)	A
H. Matsuyama, T. Maki*, M. Teramoto, K. Kobayashi*	Effect of PVP Additive on Porous Polysulfone Membrane Formation by Immersion Precipitation Method	Separation Sci. Technol., 38(14), 3447-3456 (2003)	A
S. S. Fu*, H. Matsuyama, M. Teramoto, D. R. Lloyd*	Preparation of Microporous Polypropylene Membrane via Thermally Induced Phase Separation as Support of Liquid Membranes Used for Metal Ion Recovery	J. Chem. Eng. Japan, 36(11), 1397-1404 (2003)	A
M. Shang*, H. Matsuyama, M. Teramoto, D. R. Lloyd*, N. Kubota*	Preparation and Membrane Performance of Poly(ethylene-co-vinyl alcohol) Hollow Fiber Membrane via Thermally Induced Phase Separation	Polymer, 44(24), 7441-7447 (2003)	A
S. P. Kusumocahyo*, T. Kanamori*, K. Sumaru*, T. Shinbo*, H. Matsuyama, M. Teramoto	Facilitated Ion Transport through Cellulose Triacetate-based Polymer Inclusion Membranes: A Promising Method for Treatment of Nuclear Wastewater	Proc. of the Second Conference of Aseanian Membrane Society, 43-46 (2004)	C
H. Matsuyama, M. Shang*, M. Teramoto	Preparation of Poly(ethylene-co-vinyl alcohol) Membrane via Thermally Induced Phase Separation	Proc. of the Second Conference of Aseanian Membrane Society, 74-77 (2004)	C
R. Kuwaki*, H. Matsuyama, M. Teramoto	Preparation and Performance of PVDF Hollow Fiber Membrane via Thermally Induced Phase Separation	Proc. for the 10th APCChE Congress, 1P-12-017 (2004)	B
X. Fu*, H. Matsuyama, M. Teramoto, H. Nagai*	Preparation of Poly(vinyl butyral) Hollow Fiber Membrane via Thermally Induced Phase Separation	Proc. for the 10th APCChE Congress, 1P-12-017 (2004)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
S. P. Kusumocahyo*, T. Kanamori*, K. Sumaru*, T. Shinbo*, H. Matsuyama, M. Teramoto	Development of Polymer Inclusion Membranes Potentially Applicable for the Treatment of Radioactive Wastewater	Proc. for the 10th APCChE Congress, 2F-05 (2004)	B
M. Teramoto, S. Kitada*, S. Shimizu*, N. Ohnishi*, H. Matsuyama, N. Matsumiya*	Gas Separation by Hollow Fiber Facilitated Transport Membranes with Permeation of Carrier Solution	Proc. for the 10th APCChE Congress, 2F-06 (2004)	B
H. Matsuyama, N. Kawamura*, M. Teramoto	Formation of PMMA Microspheres Including TiO_2 Nanoparticle by Polymerization in Supercritical CO_2	Proc. for the 10th APCChE Congress, 3P-07-096 (2004)	B
N. Kawahara*, H. Matsuyama, M. Teramoto	Enzyme Immobilization in Ordered Mesoporous Silica Materials and Catalytic Activity	Proc. for the 10th APCChE Congress, 3P-12-048 (2004)	B
S. S. Fu*, M. Teramoto, H. Matsuyama	Uphill Transport of Ce(III) by Supported Liquid Membranes Containing Octyl(phenyl)-N, N-diisobutylcarbamoylmethylphosphine Oxide in 2-Nitrophenyl Octyl Ether	Separation Sci. Technol., 39(3), 517-538 (2004)	A
牧泰輔*, 南裕己*, 上山友秀*, 前一広*, 松山秀人, 寺本正明	マイクロ流路への適用を考えた金属担持炭素膜触媒の作製法の検討とその評価	化学工学論文集, 30(2), 122-128 (2004)	A
S. S. Fu*, H. Matsuyama, M. Teramoto	Ce(III) Recovery by Supported Liquid Membrane Using Polyethylene Hollow Fiber Prepared via Thermally Induced Phase Separation	Separation Purif. Technol., 36(1), 17-22 (2004)	A
M. Teramoto, S. Kitada*, N. Ohnishi*, H. Matsuyama, N. Matsumiya*	Separation and Concentration of CO_2 by Capillary-type Facilitated Transport Membrane Module with Permeation of Carrier Solution	J. Membrane Sci., 234 (1-2), 83-94 (2004)	A
H. Matsuyama, K. Hayashi*, T. Maki*, M. Teramoto, N. Kubota*	Effect of Polymer Density on Polyethylene Hollow Fiber Membrane Formation via Thermally Induced Phase Separation	J. Appl. Polym. Sci., 93(1), 471-474 (2004)	A
H. Matsuyama, K. Ohga*, T. Maki*, M. Teramoto	The Effect of Polymer Molecular Weight on the Structure of a Honeycomb Patterned Thin Film Prepared by Solvent Evaporation	J. Chem. Eng. Japan, 37(5) 588-591 (2004)	A
S. P. Kusumocahyo*, T. Kanamori*, K. Sumaru*, S. Aomatsu*, H. Matsuyama, M. Teramoto, T. Shinbo*	Development of Polymer Inclusion Membranes Based on Cellulose Triacetate: Carrier-Mediated Transport of Cerium (III)	J. Membrane Sci., 244 (1-2), 251-257 (2004)	A
松宮紀文*, 真野弘*, 原谷賢治*, 松山秀人, 寺本正明	促進輸送膜による燃焼排ガスからの CO_2 分離の経済性試算	化学工学論文集, 30(6), 752-757 (2004)	A
M. Shang*, H. Matsuyama, M. Teramoto, J. Okuno*, D. R. Lloyd*	Effect of Diluent on Poly(ethylene-co-vinyl alcohol) Hollow Fiber Membrane Formation via Thermally Induced Phase Separation	J. Appl. Polym. Sci., 95(2), 219-225 (2005)	A
松宮紀文*, 松藤茂雄*, 岡部和弘*, 真野弘*, 松山秀人, 寺本正明	2,3アミノプロピオン酸をキャリアとするゲル塗布膜による CO_2 の促進輸送	膜, 30(1), 46-51 (2005)	A

学術論文(レフェリー無し)(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
柳 久雄, 福島正憲, 林 真至	金ナノ粒子による色素分散ガラス薄膜の発光制御	化学工業, 55 (10), 42-46 (2004)
柳 久雄	走査型トンネル顕微鏡による金属表面の分子ダイナミクス	顕微鏡, 40 (1), 2-6 (2005)
Yoshiyuki Komoda, *Yoshiro Inoue and *Yushi Hirata	Mixing performance by reciprocating a disk in a cylindrical vessel	Proceedings of 3rd international symposium on mixing in industrial process, Osaka, 265-271 (1999)
Yoshiyuki Komoda, *Yoshiro Inoue and *Yushi Hirata	Flow and mixing pattern induced by reciprocating a disk in a cylindrical vessel	CD-ROM Proceedings of 4th international symposium on mixing in industrial process, Toulouse, 17 (2001)
Yoshiyuki Komoda, *Yoshiro Inoue and *Yushi Hirata	Flow and mixing characteristics in cylindrical vessel with reciprocating disk	CD-ROM Proceedings of 6th world congress of chemical engineering, Fluid mechanics, Melbourne, (2001)
松山秀人, 上阪 努*, 寺本正明	ミクロ相分離を利用したDryプロセスによる多孔膜の構造形成	化学工学シンポジウムシリーズ, 54, 111-117 (1996)
松山秀人	金属抽出 (希土類元素)	化学工学シンポジウムシリーズ, 60, 25-34 (1997)
松山秀人, 北村吉朗*, 松葉頼重*	銀イオンを担持した新しい形態の液膜によるDHAの選択的分離	化学工学シンポジウムシリーズ, 63, 54-61 (1998)
松山秀人, 久多里俊輔*, 清藤寿也*, 北村吉朗*	熱誘起相分離法による多孔膜構造形成における相分離挙動	化学工学シンポジウムシリーズ, 66, 16-21 (1999)
松山秀人, 寺本正明, 松井謙次*, 北村吉朗*	促進輸送膜によるCO ₂ 分離 — 支持イオン交換膜の影響 —	化学工学シンポジウムシリーズ, 71, 37-41 (2000)

学術著書 (2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術著書名	発行所 (年)	備考
出来成人, 水畑 穰	第5版 実験化学講座27「機能性材料」 日本化学会編	丸善 (2004. 9)	5. 機能性材料の合成1. 機能薄膜材料6. セラミック薄膜 p393-408を分担執筆
出来成人, 水畑 穰	<分野別>ナノ粒子・ナノペースト～蛍光体・ディスプレイ・化粧品・発色材料etc. ～	情報機構 (2004. 11)	第4章 ナノ粒子・ナノペーストを用いた各応用事例 第3節 ナノ粒子・ペーストとセラミックス材料-熱緩和分散法によるナノ粒子調製とその機能性材料への展開- p143-163を分担執筆
出来成人, 水畑 穰	溶融塩の科学 伊藤靖彦 監修	アイ・ピー・シー (2005. 1)	第4章 溶融塩の分光學 P. 87-144 を分担執筆
西野 孝	第3版 繊維便覧	丸善株式会社 (2004)	1-3-11 界面特性 p132-135 分担執筆
西野 孝	実力養成化学スクール 実用高分子化学	丸善株式会社 (2005)	4章 高性能高分子 p. 65-95 分担執筆
Takashi Nishino	Green Composites	Woodhead Publishing Ltd (2004)	Chapter 4 p49-80 分担執筆
西野 孝	第5版 実験化学講座4 基礎編Ⅳ	丸善株式会社 (2004)	4. 13～16節 p271-296 分担執筆
田中庸裕・山下弘巳 編, 西山寛・市橋祐一 分担執筆	固体表面キャラクタリゼーションの実際	講談社 (2005年)	
今駒博信 他215名	化学工学辞典 改訂4版	丸善 (2005)	「乾燥」に関する術語を分担執筆。
今駒博信 他116名	機械工学便覧 応用システム編 γ1 産業機械・装置	丸善 (2005)	2. 5 調湿・冷水・乾燥装置を分担執筆。
今駒博信 他9名	役にたつ化学シリーズ8 化学工学	朝倉書店 (2005)	3. 5吸着および3. 7乾燥を分担執筆。
*長瀬洋一・薄井洋基	濾過脱水・スラリー処理技術	2004	第1章 基礎編 pp. 1-21 を分担執筆
*野村正勝・*三浦孝一・*鈴木俊光・薄井洋基	21世紀を担うクリーンコールテクノロジー	2004	第三章第1節 pp. 71-96 を分担執筆
近藤昭彦, 片平悟史, 谷野孝徳	コンビナトリアルエンジニアリングの最前線	シーエムシー出版 (2004)	
植田充美*, 杉影*, 近藤昭彦, 藤井郁雄*	抗体エンジニアリングの最前線	シーエムシー出版 (2004)	
松山秀人, 松本道明*, 吉塚和治*, 平田 誠*, 梶 隆彦*	最近の化学工学4 7 抽出	化学工業社 (1995)	4章 基礎研究における抽出系一覧 (pp. 137-192) を分担執筆
松山秀人	抽出技術集覧	化学工業社 (1997)	1 章 抽出の基礎 (pp. 19-20) を分担執筆

学術報告(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
三崎 雅裕, 上田 裕清, 永松 秀一*, 吉田 郵司*, 谷垣 宣孝*, 八瀬 清志*	摩擦転写法と後熱処理によるポリフルオレン単結晶様薄膜の作製	電子情報通信学会技術研究報告, OME, 2004-60, 57-62 (2004)
上田 裕清	分子配列制御有機薄膜の作製とその光・電子物性-高分子摩擦転写膜を利用した分子配向の低次元化-	Material Stage 14, 14-21 (2004)
上田 裕清, 小柴康子	有機薄膜による新規高密度記録媒体創成への探索	神戸大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー年報 9, 42-49 (2004)
柳 久雄	サブフタロシアニン吸着アレイの単分子スイッチング機構の解明	神戸大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー年報, 9, 14-20 (2004)
福島正憲, 柳 久雄, 林 真至	金属微粒子ドーピングによる色素分散ガラス薄膜からのASE発光の制御	神戸大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー年報, 8, 21-27 (2004)
Haruaki Matsuura*, Sou Watanabe*, Naohisa Kitamura*, Masahiko Hatcho*, Kuniyuki Suzuki*, Keiichi Takase*, Tomoya Uruga*, Tetsuo Honma*, Norimasa Umesaki, Akihiko Kajinami, and Ashok Kumar Adya*	Short-range structure analysis of molten salts containing caesium for pyrochemical reprocessing of spent nuclear fuel	SPring-8 User Experiment Report, 12 (2003B), p10(2004.7)
Haruaki Matsuura*, Sou Watanabe*, Naohisa Kitamura*, Masahiko Hatcho*, Kuniyuki Suzuki*, Keiichi Takase*, Tetsuo Homma*, Norimasa Umesaki, Akihiko Kajinami, Ashok Kumar Adya*, Reiko Fujita*, and Hirohide Kofuji*	Chemical form, and short-range structure of rare-earth compounds in pyro-reprocessing of nuclear oxide fuel	SPring-8 User Experiment Report, 12 (2003B), p96(2004.7)
Akihiko Kajinami, Hirokazu Onishi, Yousuke Onishi, Norimasa Umesaki*, Masugu Satou*, Keiichi Takase*, and Munetaka Myochin*	Investigation of deposited materials on carbon electrodes in molten salt by in-situ X-ray diffraction measurements	SPring-8 User Experiment Report, 12 (2003B), p100(2004.7)
Akihiko Kajinami, Munetaka Myochin*, Hirohide Kofuji*, Norimasa Umesaki, Masugu Satou*, Haruaki Matsuura*, and Keiichi Takase*	Investigation of deposited materials in carbon container by in-situ X-ray diffraction measurements	SPring-8 User Experiment Report, 12 (2003B), p235(2004.7)
倉谷健太郎, 出来成人	155-54-A-2: 液相析出法による各種希土類元素含有酸化物薄膜の合成と析出挙動	日本学術振興会フッ素化学第155委員会研究発表資料集(平成15年度), 23-24(2004.7)
出来成人	Liquid-Phase Infiltration 法による金属酸化物表面ナノ構造体の構築	(社)表面技術協会第2回『ナノテク部会』研究会資料, 1-8(2004.7)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
出来成人	金属酸化物の湿式ファブリケーション技術からみた光電気化学	電気化学会関西支部第44回電気化学セミナー「光電気化学の最新展開を鳥瞰する-可視光を利用する光触媒と色素増感型太陽電池-」テキスト, 40-50(2004. 7)
宇井幸一*, 上田幹人*, 萩原理加*, 水畑 穰	熔融塩(Molten salt)とイオン液体(Ionic liquid)の定義についての考察	熔融塩および高温化学, 47(3), 114-123(2004. 10)
水畑 穰	物性とイオン伝導	第1回低温熔融塩・イオニックリキッドセミナー資料, 17-36(2004. 11)
出来成人	技術最前線-液相析出(LPD)法を用いた水溶液からのナノサイズの微細構造を持った酸化物薄膜の開発	ひょうご経済戦略, 25(12), P17(2004. 12)
出来成人, 水畑 穰	固液界面近傍の物性と構造	日本表面科学会関西支部&表面技術協会関西支部合同研究会2004-電極表面の科学とナノテクノロジー, 39-48(2005. 1)
出来成人, 大岡幸代, 飯塚幸彦, 水畑 穰, 梶並昭彦	155-59-A-3:コロイド結晶をテンプレートとしたLPI法(液相充填法)によるフッ化物水溶液からの高次構造セラミックスの合成	日本学術振興会フッ素化学第155委員会研究発表資料集(平成16年度), 24-25(2005. 2)
梶並昭彦	X線回折を用いた熔融塩の構造解析(2)	核燃料サイクル開発機構研究委託内容報告書, 全61p(2005. 2)
水畑 穰	疑似固体型イオン伝導体の電気伝導制御と固体表面物性との相関	平成16年度KRF助成研究報告書, 56-61(2005. 3)
出来成人, 水畑 穰, 梶並昭彦, 大前伸夫, 田川雅人, 横田久美子, 竹内俊文, 石川 博*, 蔡 奎千*, 前川 享*, 前田浩一*, 齊藤靖弘*, 関口幸成*, 小林哲彦, 木内正人*, 桜井宏昭*, 山中直樹*, 山口寿一*	LPI法によるナノ形状セラミックスの高感度ガスセンサへの適用	地域新生コンソーシアム研究開発事業 平成16年度成果報告書, 全24p(2005. 3)
出来成人, 並河英紀	金属超微粒子による希土類錯体の表面増強発光	平成14年度~平成16年度科学研究費補助金基盤研究(B)(1)「希土類資源とその有効利用」研究成果報告書, 付p. 13-p. 16(2005. 3)
漆原 良昌, 西野 孝	パーフルオロアルキル鎖を有する高分子を用いた表面の低エネルギー化	コンバーテック, 33(4), 102-103(2005)
西野 孝	表面・界面解析のためのX線回折	繊維学会誌(繊維と工業), 61(3), 58-62(2005)
西野 孝	セルロース/セルロース複合材料	Cellulose Commun, 12(1), 18-22(2005)
鶴谷滋	平成13年度(第一次補正予算)即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業(委託者:近畿経済産業局)	「新防汚塗料三級カルボン酸の簡易合成法の研究開発」成果報告書平成15年3月第3章本論(2)p58-p69を分担執筆
鈴木洋	界面活性剤添加による氷スラリーの凝集防止・抵抗低減効果	冷凍, 80(928), 34-39(2005)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
Hideo INABA*, Takaaki INADA*, Akihiko HORIBE*, Hiroshi SUZUKI and Hiromoto USUI	Preventing Agglomeration and Growth of Ice Particles in Water with Suitable Additives	International Journal of Refrigeration, 28, 20-26 (2005)
山地秀樹	プロテオーム解析による新規細胞培養技術の開発	平成14年度～平成15年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)(2)) 研究成果報告書 (2004)
近藤昭彦	アーミング技術を用いた微生物によるバイオマス変換の高効率化	グリーンプラジャーナル, 12, 10-13 (2004)
近藤昭彦, 大西徳幸*	熱応答性高分子を利用した磁性ナノ粒子の新しい分離法	化学と生物, 485, 212-216 (2004)
大西徳幸*, 近藤昭彦	熱応答性磁性ナノ粒子の開発とポストゲノムシーケンスへの応用	バイオインダストリー, 21(8), 31-38 (2004)
大西徳幸*, 近藤昭彦	熱応答性磁性ナノ粒子 (Therma-Max) の開発とそのバイオ領域への応用	工業材料, 52, 57-61 (2004)
大西徳幸*, 近藤昭彦	熱応答性磁性ナノ粒子 (Therma-Max) の開発とそのバイオ領域への応用	MATERIAL ATAGE, 4(5), 54-57 (2004)
山地秀樹, 福田秀樹	昆虫細胞とバキュロウイルスのアプリケーション 特集によせて	生物工学会誌, 82(12), 579 (2004)
山地秀樹, 福田秀樹	昆虫細胞のバイオリクター技術	生物工学会誌, 82(12), 589-591 (2004)
近藤昭彦	生物プロセス	化学工学, 68, 564-565 (2004)
近藤昭彦	多彩な細胞表層ディスプレイシステム	生物工学会誌, 82, 454 (2004)
近藤昭彦	中空バイオナノ粒子によるピンポイントDDS	ファルマシア, 40, 1013-1017 (2004)
黒田俊一*, 山田忠徳*, 妹尾昌治*, 近藤昭彦, 上田政和*, 谷澤克行*	中空バイオナノ粒子が拓く新しい医療技術	化学工業, 40, 936-942 (2004)
荻野千秋*, 福田秀樹	ホスホリパーゼDの生産とリン脂質合成への適用	バイオサイエンスとインダストリー, 62(12), 809-812 (2004)
福田秀樹	酵素法による医薬中間体の生産技術	ファインケミカル, 33(9), 9-17 (2004)
山地秀樹	遺伝子治療用アデノウイルスベクター	生物工学会誌, 83(2), 91 (2005)
近藤昭彦	ピンポイントデリバリー用バイオナノキャリアの開発とがん遺伝子治療への応用	厚生労働科学研究費補助金萌芽的先端医療技術推進研究事業平成16年度研究報告書 (2005)
福田秀樹, 近藤昭彦, 山地秀樹	植物油製造過程で発生する脱酸廃棄物からバイオ燃料の実用化生産	平成16年度地域新生コンソーシアム研究開発事業成果報告書 (2005)
塩見尚史*, 加藤滋雄	微生物を利用した土壌汚染浄化法	ケミカルエンジニアリング, 49(5), 368-373 (2004)
松山秀人, 寺本正明	イオン交換膜を用いたガス分離用促進輸送膜の設計と機能	分離技術, 26(1), 9-12 (1996)
松山秀人	プラズマグラフト重合法を用いる新規なCO ₂ 高選択的促進輸送膜の作製と透過機構の解明に関する研究 ²	膜, 22(5), 278-284 (1997)
松山秀人	熱誘起相分離法 (TIPS法) による高分子多孔膜の作製	ケミカルエンジニアリング, 43(6), 453-464 (1998)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
松山秀人	低動力消費型CO ₂ 回収プロセスのための新規な生体機能模倣促進輸送膜の開発	岩谷直治記念財団研究報告書, 21, 95-97 (1998)
松山秀人	高分子多孔膜の構造形成と構造制御	ケミカルエンジニアリング, 44(5), 352-358 (1999)
松山秀人	地球温暖化抑制を目指した固体電解質を用いる次世代型促進輸送膜によるCO ₂ 分離回収	近畿地方発明センター研究助成成果報告書, pp. 1-4 (2000)
松山秀人	発展途上国での適用を目指した生体機能模倣促進輸送膜によるガソリン低ベンゼン化プロセスの開発	昭和シェル石油環境研究助成財団助成研究成果報告書, pp. 73-74 (2000)
松山秀人	熱誘起相分離法による多孔膜の作製と微細構造制御	膜, 26(3), 116-123 (2001)
松山秀人	ポリオレフィン限外ろ過膜の創製を目指した熱誘起相分離法による傾斜構造膜の構築	向科学技術振興財団助成研究成果集, 2, 21-24 (2001)
松山秀人	熱誘起相分離法による多孔膜の作製と微細構造制御	第41回液膜研究会研究講演要旨集, pp. 23-36 (2001)
松山秀人	熱誘起相分離法を用いた高分子微粒子の創製	ホソカワ粉体工学振興財団年鑑, 9, 45-48 (2001)
松山秀人	新規血液透析膜の創製を目指した熱誘起相分離法による傾斜構造膜の構築	テルモ科学技術振興財団一般研究助成研究実施報告集, pp. 11-19 (2001)
松山秀人	熱誘起相分離法による多孔膜の作製と構造形成のシミュレーション	繊維学会誌, 59(8), 259-263 (2003)

学術講演(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
上田裕清	化学って何なの？どこがおもしろいの？-形や性質を変える不思議なマジック-	日本化学会第60回高等学校出前講演会 (2004. 4)
姜海光, 宋学方, 郭慶江, 上田裕清, 吉野英武*, 柴田洋志*	水酸アパタイト (HAp) 充填熱可塑性エラストマーの力学特性	日本ゴム協会2004年年次大会 (2004. 5)
宋学方, 郭慶江, 姜海光, 上田裕清, 吉野英武*, 柴田洋志*	炭酸カルシウム充填熱可塑性エラストマーの力学特性(1) - 炭酸カルシウムへの液状ゴム処理法の影響-	日本ゴム協会2004年年次大会 (2004. 5)
三崎雅裕, 永松秀一*, 吉田郵司*, 谷垣宣孝*, 八瀬清志*, 上田裕清	ポリフルオレン摩擦転写膜の構造	第53回高分子学会年次大会 (2004. 5)
上田裕清	高分子フリクション膜を利用した有機分子の配列制御- 低次元光・電子デバイスの創成を目指して -	近畿化学協会エレクトロニクス部会講演会 (2004. 6)
三崎雅裕, 永松秀一*, 吉田郵司*, 谷垣宣孝*, 表和彦*, 八瀬清志*, 上田裕清	液晶性高分子ポリフルオレン高配向膜のその場GXRD観察	Photon Factory 研究会 (2004. 7)
青木直文, 上田裕清	AFMによる局所ラビングを用いたp-sexiphenylの配向制御	第65回応用物理学会学術講演会 (2004. 9)
宮地宏昭, 三崎雅裕, 上田裕清	フルオレン蒸着膜の構造と光物性	第65回応用物理学会学術講演会 (2004. 9)
村山彰, 上田裕清	前駆体を用いた一軸配向ポリパラフェニレンビニレン薄膜の作製	第65回応用物理学会学術講演会 (2004. 9)
新居田恭弘, 上田裕清	LB法による一軸配向ポリジアセチレン膜の作製	第65回応用物理学会学術講演会 (2004. 9)
三崎 雅裕, 上田 裕清, 永松 秀一*, 吉田 郵司*, 谷垣 宣孝*, 八瀬 清志*	摩擦転写法と後熱処理によるポリフルオレン単結晶様薄膜の作製	電子情報通信学会有機エレクトロニクス研究会(OME)講演会 (2004. 9)
KOUJI MATSUMOTO, TAKASHI SHINOHARA, YASUKO KOSHIBA, YASUKIYO UEDA, ZHENGUO JI*	J-aggregate Formation of Spiropyran Derivatives in LB and Vapor-deposited Thin Films	Korea-Japan Joint Forum 2004(Naha) (2004. 11)
KENJI KINASHI, YASUKIYO UEDA	Synthesis and Photochromic Behavior of Bi-functional Photochromic Compound	Korea-Japan Joint Forum 2004(Naha) (2004. 11)
NAOFUMI AOKI, YASUKO KOSHIBA, YASUKIYO UEDA	MOLECULAR REARRANGEMENT AND CHANGE OF OPTICAL PROPERTIES OF P-SEXIPHENYL IN VACUUM-DEPOSITED FILM WITH RUBBING TECHNIQUE	Korea-Japan Joint Forum 2004(Naha) (2004. 11)
K. Kawamura*, N. Yoshimoto*, J. Ackermann*, C. Videlot*, A. El Kassimi*, F. Fages*, Y. Ueda	Epitaxial relationships of vapor deposited thin films of octithiophene on KBr {001}	Korea-Japan Joint Forum 2004(Naha) (2004. 11)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
Masahiro Misaki, Shuichi Nagamatsu*, Yuji Yoshida*, Nobutaka Tanigaki*, Kazuhiko Omote*, Kiyoshi Yase*, Yasukiyo Ueda	Surface morphology, molecular orientation and optical properties of friction-transferred polyfluorene thin films by thermal treatments	Korea-Japan Joint Forum 2004(Naha) (2004. 11)
宋学方, 姜海光, 上田裕清, 吉野英武, 柴田洋志*, 長谷朝博*	炭酸カルシウム充填熱可塑性エラストマーの力学特性(2)-エラストマーの構造および組成の影響-	第17回エラストマー討論会 (2004. 12)
姜海光, 宋学方, 上田裕清, 吉野英武, 柴田洋志*, 長谷朝博*	反応性HApの合成と熱可塑性エラストマーへの補強効果	第17回エラストマー討論会 (2004. 12)
M. Misaki, S. Nagamatsu*, M. Chikamatsu*, Y. Yoshida*, N. Tanigaki*, K. Omote*, K. Yase* , Y. Ueda	Anisotropic Properties of Friction-Transferred Poly(9,9-dioctylfluorene) Thin films	第15回日本MRS学術シンポジウム (2004. 12)
青木直文, 村山彰, 上田裕清	AFMナノラビングを用いた π 共役系発光材料の配向制御	神戸大学研究基盤センター若手フロンティア研究会2004 (2004. 12)
青木直文, 村山彰, 上田裕清	AFMナノラビングを用いた π 共役系発光材料の配向制御	平成16年度神戸大学ベンチャービジネスラボラトリ 成果報告会 (2005. 1)
木梨憲司, 上田裕清	新規フォトクロミック化合物の創成と高密度記録媒体への応用	平成16年度神戸大学ベンチャービジネスラボラトリ 成果報告会 (2005. 1)
新居田恭弘, 森良平*, 上田勉*, 李雷*, 山口幸一*, 中前勝彦*, 上田裕清	色素増感太陽電池の性能に及ぼす酸化チタンペーストの影響	第52回応用物理学関係連合講演会 (2005. 3)
三崎雅裕, 永松秀一*, 吉田郵司*, 谷垣宣孝*, 表和彦*, 八瀬清志*, 上田裕清	ポリフルオレン摩擦転写膜のGIXD評価	第52回応用物理学関係連合講演会 (2005. 3)
木梨憲司, 原田靖久, 上田 裕清	スピロベンゾピラン-アゾベンゼン誘導体の光反応制御	第52回応用物理学関係連合講演会 (2005. 3)
神田琴美, 宮地宏昭, 三崎雅裕, 永松秀一*, 吉田郵司*, 谷垣宣孝*, 八瀬清志*, 上田裕清	摩擦転写法によるフルオレン誘導体配向膜の作製	第52回応用物理学関係連合講演会 (2005. 3)
H. Yanagi, K. Ikuta, H. Mukai and T. Shibutani	Scanning Tunneling Microscopy for Supramolecular Dynamics on Metal Surface	8th Asia-Pacific Conference on Electron Microscopy (2004)
柳 久雄	有機FETの性能向上に向けて-結晶化, 微小化, N型化-	有機半導体講習会 -立ち上がり始めた有機トランジスター&メモリ- (2004)
柳 久雄	分子ナノテクノロジー -光と分子の世界-	平成16年度第22回神戸大学工学部公開講座・ひょうご講座 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
S. Kobayashi*, F. Sasaki*, H. Yanagi, S. Hotta*, M. Ichikawa*, Y. Taniguchi*	Spectrally Narrowed Emission in 2,5-Bis(4-biphenyl)-thiophene Crystals Pumped by fs Laser Pulse	6th International Conference on Excitonic Process in Condensed Matter (2004)
M. Fukushima, N. Managaki, M. Fujii, S. Hayashi, H. Yanagi	Enhancement of 1.53 μm Emission from Er-SiO ₂ Film by Doping Au Nanoparticles	12th International Symposium on Small Particles and Inorganic Clusters (2004)
柳 久雄, 向井裕子, Meenakshi Nair	サブフタロシアニン自己組織化膜のSTM発光測定	第65回応用物理学会学術講演会 (2004)
齊藤公彦*, 徳弘淳*, 飯田健二*, 中山健太郎*, 七条司郎*, 柳久雄	レーザ照射による有機薄膜結晶配向制御	第65回応用物理学会学術講演会 (2004)
小林俊介*, 佐々木史雄*, 柳久雄, 堀田収*, 市川結*, 谷口彬雄*	超短光パルスによるBP1T結晶発光の2本の狭帯域化スペクトル	第65回応用物理学会学術講演会 (2004)
柳 久雄	低次元分子配列システムの構築による分子機能の発現	名古屋大学「有機・分子エレクトロニクスの拠点形成」研究会 (2004)
柳 久雄	有機FETの配向結晶化, 短チャンネル化, N型化	情報科学用有機材料第142委員会「有機光エレクトロニクス部会第3回研究会」 (2004)
K. Yamane, T. Ohya, H. Yanagi, G. Schnurpfeil*, D. Wöhrle*, D. Schlettwein*	N-type Carrier Transport in Organic Field Effect Transistors with Perylene-tetracarboxylic Diimide Derivatives	The International Symposium on Super-Functionality Organic Devices (2004)
Hisao Yanagi, Hiroko Mukai, Meenakshi Nair	Characterization of Light Emission from Subphthalocyanine Monolayers Using Scanning Tunneling Microscopy	The 6th International Conference on Nanomolecular Electronics (2004)
K. Nakayama*, J. Tokuhiko*, K. Saitoh*, S. Shichijyo*, H. Yanagi	Alignment Control of Organic Thin Films by Re-crystallization under Laser Heating	日本MRS学術シンポジウム (2004)
河井康史, 柳 久雄	集束イオンビームを用いて微小チャンネル形成した有機電界効果型トランジスター	神戸大学ベンチャービジネスラボラトリー成果報告会 (2005)
山根和彦, 大谷貴之, 柳 久雄	ペリレン誘導体分子を用いたN型有機電界効果型トランジスター特性	神戸大学ベンチャービジネスラボラトリー成果報告会 (2005)
柳 久雄, 生田和也, 向井裕子, Meenakshi Nair	サブフタロシアニンの単分子スイッチング現象とSTM発光特性	神戸大学ベンチャービジネスラボラトリー成果報告会 (2005)
Kazuhiko Yamane, Hisao Yanagi, Shu Hotta*	Ambipolar Field Effect Transistors with Heterojunction Organic Semiconductors	Third International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics (2005)
Isao Sakata, Hisao Yanagi, Shu Hotta*, Shunsuke Kobayashi*	Polarization Dependence of Stimulated Resonance Raman Scattering from a Single-Crystal of Biphenyl-Capped Thiophene	Third International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics (2005)
曲尾 章*, 野口 徹*, 清水 修一*, 別府 潤一*, 関 正幸*, 柳 久雄, 康 燕生*, 川崎 亮*	CNT周辺補強相の構造と複合材の物性	日本金属学会2005年度春期大会 (2005)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
藤本修平, 坂田勇男, 福島正憲, 柳 久雄, 山下兼一*, 尾江邦重*	色素分散ポリマー薄膜の可視および近赤外光増幅特性	第52回応用物理学関係連合講演会 (2005)
藤井俊輔, 河井康史, 日野大輔, 柳 久雄, 喜多隆, 和田修	低温成長AlN薄膜を用いた有機電界放出型発光素子	第52回応用物理学関係連合講演会 (2005)
山根和彦, 柳 久雄, 堀田収	有機半導体ヘテロ接合膜の電界効果型トランジスタ特性	第52回応用物理学関係連合講演会 (2005)
佐々木史雄*, 小林俊介*, 柳 久雄, 堀田 収*, 市川結*, 谷口彬雄*	チオフェンフェニレンコオリゴマーの時間分解高密度発光	日本物理学会第60回年次大会 (2005)
Sachihiko Iizuka, Minoru Mizuhata, Akihiko Kajinami, and Shigehito Deki	Fabrication of graded thin films with highly ordered structures by the Liquid Phase Infiltration (LPI) Method	International Conference on Fluorine Chemistry '04(2004. 5)
Kentaro Kuratani, Minoru Mizuhata, Akihiko Kajinami, and Shigehito Deki	Preparation, and Fluorescence Property of Eu^{3+} -doped ZrO_2 Thin Films from Aqueous Metal-Fluoro Complex Solution by the Liquid Phase Deposition (LPD) method	International Conference on Fluorine Chemistry '04(2004. 5)
Minoru Mizuhata, Maki Kitamura, Satoshi Inagaki, and Shigehito Deki	Nanopore Effect on Ionic Conduction of Non-aqueous Lithium Electrolyte Solution Coexisting with Porous Solid Materials	205th Meeting of The Electrochemical Society(2004. 5)
倉谷健太郎, 水畑 穰, 梶並昭彦, 出来成人	液相析出法により作製されたEu 含有酸化ジルコニウム薄膜の発光特性	第21回希土類討論会(2004. 5)
出来成人	ナノテクノロジーと材料化学	第141回神戸生産技術研究会 (2004. 6)
Minoru Mizuhata, Fumio Ito, and Shigehito Deki	Transport properties of non-aqueous lithium electrolyte coexisting with porous solid materials	12th International Meeting on Lithium Batteries(2004. 6)
太田健一郎*, 出来成人, 桑畑 進*	電気化学エネルギー変換の疑似三次元界面設計	第5回「資源循環・エネルギーミニ マム型システム技術」公開シンポジ ウム「エネルギーミニマム型社会へ のブレークスルー」電池によるエネ ルギー変換とそのシステム(2004. 7)
出来成人	Liquid-Phase Infiltration 法による金属酸化物表面ナノ構造体の構築	(社)表面技術協会第2回『ナノテク 部会』研究会(2004. 7)
出来成人	形状・組成制御材料のファブリケーション	第53回兵庫産学交流会 (HIX)(2004. 7)
出来成人	金属酸化物の湿式ファブリケーション技術からみた光電気化学	電気化学会関西支部第44回電気化学 セミナー「光電気化学の最新展開を 鳥瞰する-可視光を利用する光触媒 と色素増感型太陽電池-」(2004. 7)
飯塚幸彦, 水畑 穰, 梶並昭彦, 出来成人	LPD法による高次ナノ構造を有する金属酸化物薄膜の作製	第38回マテリアルズ・テーラリング 研究会「ナノ構造エネルギー変換デ バイスのためのマテリアルズプロセ シング」(2004. 7)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
倉谷健太郎, 水畑 穰, 梶並昭彦, 出来成人	LPD法による希土類イオンを含有した金属酸化物薄膜の作製	第38回マテリアルズ・テーラリング研究会「ナノ構造エネルギー変換デバイスのためのマテリアルズプロセッシング」(2004. 7)
Minoru Mizuhata, and Shigehito Deki	Conductivity, and physicochemical properties of molten carbonate coexisting with porous solid materials	Gordon Research Conference on High Temperature Materials, Processes, and Diagnostics(2004. 8)
水畑 穰, 八十和夫, 出来成人	無機粉体共存系と共存するイオン性液体の物理化学的物性に対する固相の影響	第57回コロイドおよび界面化学討論会(2004. 9)
Shigehito Deki, Asako Horie, Sachihiko Iizuka, Minoru Mizuhata, and Akihiko Kajinami	Nanofabrication of Metal Oxide Thin Film, and Nano-Ceramics from Aqueous Solution	Materials Discussion 7 -From Molecules to Materials-(2004. 9)
梶並昭彦, 出来成人, 梅咲則正*, 佐藤真直*, 高瀬桂一*	溶融塩中のニッケル析出黒鉛容器のその場X線回折測定	日本原子力学会2004年秋の大会(2004. 9)
青井芳史*, 神林久栄*, 出口朋枝*, 上條栄治*, 出来成人	液相析出法によるサブマイクロメートルオーダーの構造を有する金属酸化物の合成	日本セラミックス協会第17回秋季シンポジウム(2004. 9)
Shigehito Deki, Sachihiko Iizuka, Minoru Mizuhata, and Akihiko Kajinami	Direct synthesis of metal oxide thin films with compositionally graded profiles by the LPD method	55th Annual Meeting of International Society of Electrochemistry(2004. 9)
Shigehito Deki, Heisuke Nishikawa, Hiroki Takahashi, Kayo Yoshida, and Minoru Mizuhata	Novel Fabrication Method of Pt Nanoparticles Dispersed in Conductive Materials	55th Annual Meeting of International Society of Electrochemistry(2004. 9)
Shigehito Deki, Sachihiko Iizuka, Sachiyo Ooka, and Minoru Mizuhata	Fabrication of nano-structured materials from aqueous solution by the liquid phase deposition method	5th International Symposium on Electrochemical Micro & Nano System Technologies (EMT2004)(2004. 9)
Kentaro Kuratani, Minoru Mizuhata, Akihiko Kajinami, and Shigehito Deki	Preparation, and luminescence property of transparent $\text{Eu}^{3+}/\text{ZrO}_2$ thin films by the liquid phase deposition(LPD) method	2004 Joint International Meeting-206th Meeting of The Electrochemical Society, Inc., 2004 Fall Meeting of The Electrochemical Society of Japan with technical cosponsorship of The Japan Society of Applied Physics, The Korean Electrochemical Society, and the Electrochemistry Division of the Royal Australian Chemical Institute(2004. 10)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
Sachihiko Iizuka, Minoru Mizuhata, Akihiko Kajinami, and Shigehito Deki	Fabrication of two-dimensional arrays of graded oxide thin films by LPI method	2004 Joint International Meeting-206th Meeting of The Electrochemical Society, Inc., 2004 Fall Meeting of The Electrochemical Society of Japan with technical cosponsorship of The Japan Society of Applied Physics, The Korean Electrochemical Society, and the Electrochemistry Division of the Royal Australian Chemical Institute (2004. 10)
Shigehito Deki, Hiroki Takahashi, Minoru Mizuhata, and Susumu Kuwabata*	Catalytic Activity of Pt/PPy Composite Prepared from Direct Reduction Process through Polymerization of Polypyrrole	2004 Joint International Meeting-206th Meeting of The Electrochemical Society, Inc., 2004 Fall Meeting of The Electrochemical Society of Japan with technical cosponsorship of The Japan Society of Applied Physics, The Korean Electrochemical Society, and the Electrochemistry Division of the Royal Australian Chemical Institute (2004. 10)
Minoru Mizuhata, Shinsuke Suganuma, and Shigehito Deki	Anomalous Properties of Molten Carbonates Coexisting with Porous Inorganic Powder	2004 Joint International Meeting-206th Meeting of The Electrochemical Society, Inc., 2004 Fall Meeting of The Electrochemical Society of Japan with technical cosponsorship of The Japan Society of Applied Physics, The Korean Electrochemical Society, and the Electrochemistry Division of the Royal Australian Chemical Institute (2004. 10)
Haruaki Matsuura*, Sou Watanabe*, Hiroshi Akatsuka*, Tetsuo Honma*, Norimasa Umesaki*, Akihiko Kajinami, Keiichi Takase*, Norikazu Ohtori*, Yasuhiko Iwadate*, Reiko Fujita*, Ashok Kumar Adya*, Hirohide Kofuji*, and Munetaka Myochin*	Short Range Structure of Molten CsCl-NaCl Mixtures Obtained by XAFS Analysis	2004 Joint International Meeting-206th Meeting of The Electrochemical Society, Inc., 2004 Fall Meeting of The Electrochemical Society of Japan with technical cosponsorship of The Japan Society of Applied Physics, The Korean Electrochemical Society, and the Electrochemistry Division of the Royal Australian Chemical Institute (2004. 10)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
Akihiko Kajinami, Toru Matsuo, Shigehito Deki, Masugu Sato*, Norimasa Umesaki*, Haruaki Matsuura*, Keiichi Takase*, Norikazu Ohtori*, Yasuhiko Iwadate*, Hirohide Kofuji*, and Munetaka Myochin*	Investigation of Deposited Materials on Carbon Electrodes in Molten Salts by in-situ X-ray Diffraction Measurements	2004 Joint International Meeting-206th Meeting of The Electrochemical Society, Inc., 2004 Fall Meeting of The Electrochemical Society of Japan with technical cosponsorship of The Japan Society of Applied Physics, The Korean Electrochemical Society, and the Electrochemistry Division of the Royal Australian Chemical Institute (2004. 10)
出来成人, 大岡幸代, 飯塚幸彦, 水畑 穰, 梶並昭彦	コロイド結晶をテンプレートとしたLPI法 (液相充填法) によるフッ化物水溶液からの高次構造セラミックスの合成	日本学術振興会フッ素化学第155委員会第59回研究会 (2004. 10)
Yoshifumi Aoi*, Tomoe Deguchi*, Eiji Kamijo*, and Shigehito Deki	Synthesis of Mesoscopic Ceramic Hollow Particles by the Liquid Phase Deposition Method	The 21st International Korea-Japan Seminar on Ceramics (2004. 11)
Shigehito Deki, Kentaro Kuratani, Minoru Mizuhata, and Akihiko Kajinami	Synthesis, and luminescence property of $\text{Eu}^{3+}/\text{ZrO}_2$ thin film by the liquid phase deposition method	Rare Earths '04 (2004. 11)
Akihiko Kajinami, Masanori Nakamura, Shigehito Deki	Composition Dependence of Local Structure in Lanthanoborate Glasses	Rare Earths '04 (2004. 11)
Yasuhiko Iwadate*, Kuniyuki Suzuki*, Naoki Onda*, Kazuko Fukushima*, Sou Watanabe*, Haruaki Matsuura*, Akihiko Kajinami*, Keiichi Takase*, Norikazu Ohtori*, Norimasa Umesaki*, Hirohide Kofuji*, Munetaka Myochin*	Local structure of molten LaCl_3 analyzed by X-ray diffraction, and La-L_{III} absorption-edge XAFS technique	Rare Earths '04 (2004. 11)
出来成人, 倉谷健太郎, 水畑 穰, 梶並昭彦	液相析出法による希土類系物質のパノスコピック形態制御と材料機能の高度発現—液相析出法により合成された $\text{Eu}^{3+}/\text{ZrO}_2$ 薄膜の発光挙動—	科学研究費補助金特定領域研究「希土類系物質のパノスコピック形態制御と高次機能設計」第1回全体会議 (2004. 11)
水畑 穰	物性とイオン伝導	第1回低温溶融塩・イオニックリキッドセミナー (2004. 11)
Akihiko Kajinami, Shigehito Deki, Norimasa Umesaki, Masugu Sato*, and Munetaka Myochin*	In-situ X-ray Diffraction Measurement of Electrodeposition Process in Molten Salts	International Conference on New Frontiers of Process Science, and Engineering in Advanced Materials (2004. 11)
水畑 穰, 菅沼慎介, 出来成人	金属酸化物粉体/ LiKCO_3 共存系のラマンスペクトルとその共存固相の影響	第36回溶融塩化学討論会 (2004. 11)
梅咲則正*, 松浦治明*, 梶並昭彦, 岩館泰彦*, 大鳥範和*, 藤田玲子*, 小藤博英*, 明珍宗孝*	溶融塩電解共析法を用いた乾式再処理技術開発—溶融塩の構造解析及び電解シミュレーション—	第36回溶融塩化学討論会 (2004. 11)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
梶並昭彦, 出来成人, 岩館泰彦*, 梅咲則正*, 明珍宗孝*, 小藤博英*	熔融塩電解共析法を用いた乾式再処理技術開発－X線回折によるNaCl-CsCl系融体の構造解析－	第36回熔融塩化学討論会(2004. 11)
岩館泰彦*, 福島和子*, 松浦治明*, 梶並昭彦, 大鳥範和*, 梅咲則正*, 藤井俊行*, 山名元*, 小藤博英*, 明珍宗孝*	熔融塩電解共析法を用いた乾式再処理技術開発－高温ラマン分光を用いた熔融塩の構造解析－	第36回熔融塩化学討論会(2004. 11)
水畑 穰, 伊藤文緒, 出来成人	粘土鉱物に含浸した非水系リチウム電解質溶液の輸送現象	第45回電池討論会(2004. 11)
Shigehito Deki, and Minoru Mizuhata	Heterophase Effects in Liquid-Solid Coexisting Systems	The 4th Japanese-German Workshop of Electrochemistry(2004. 11)
出来成人	水溶液を用いる薄膜形成法とナノ構造制御	神戸大学工学フォーラム2004 -出会いと連携- (2004. 12)
出来成人	緩和分散法による金属ナノ粒子の調製とその応用	神戸大学工学フォーラム2004 -出会いと連携- (2004. 12)
出来成人, 水畑 穰	固液共存効果とエネルギー変換デバイス	神戸大学工学フォーラム2004 -出会いと連携- (2004. 12)
出来成人, 水畑 穰	電気化学エネルギー変換の疑似三次元界面設計	神戸大学工学フォーラム2004 -出会いと連携- (2004. 12)
道井知輝*, 岩館泰彦*, 福島和子*, 福永俊晴*, 伊藤恵司*, 三沢正勝*, 大鳥範和*, 梅咲則正*, 梶並昭彦, 松浦治明*	パルス中性子回折によるXCl-NaCl (X:Cs, Rb, Li) 系融体の局所構造解析	日本中性子科学会第4回年会(2004. 12)
鈴谷賢太郎*, 伊藤恵司*, 梶並昭彦	バナジウム・リン酸塩ガラスの構造解析	第18回日本放射光学会年会 放射光科学合同シンポジウム(2005. 1)
出来成人	固液界面近傍の物性と構造	日本表面科学会関西支部&表面技術協会関西支部合同研究会2004-電極表面の科学とナノテクノロジー(2005. 1)
出来成人	PEFCの触媒設計条件と電解質膜中への触媒粒子分散抑制効果に関する研究開発	NEDO先導的基礎技術研究開発事前発表会(2005. 2)
出来成人, 小谷友規, 水畑 穰	液相析出法によるタングステン酸化物の製膜	日本化学会第85春季年会(2005. 3)
水畑 穰, 滝沢 力, 出来成人	メソポーラス材料共存下における電解質溶液の電気伝導度	日本化学会第85春季年会(2005. 3)
梅咲則正*, 松浦治明*, 梶並昭彦, 岩館泰彦*, 大鳥範和*, 小藤博英*, 明珍宗孝*	熔融塩電界共析法を用いた乾式再処理技術開発 (1)・熔融塩の構造解析及び電解シミュレーション	日本原子力学会2005年春の年会(2005. 3)
梶並昭彦, 出来成人, 岩館泰彦*, 梅咲則正*, 小藤博英*, 明珍宗孝*	熔融塩電界共析法を用いた乾式再処理技術開発 (3)・X線回折によるNaCl・CsCl系融体の構造解析	日本原子力学会2005年春の年会(2005. 3)
岩館泰彦*, 松浦治明*, 梶並昭彦, 大鳥範和*, 梅咲則正*, 小藤博英*, 明珍宗孝*	熔融塩電界共析法を用いた乾式再処理技術開発 (4)・高温ラマン分光を用いた熔融塩の構造解析	日本原子力学会2005年春の年会(2005. 3)
神鳥安啓, 関山友子	含フッ素オキサジアジン誘導体より含フッ素イミダゾールへの変換反応	日本化学会第85春季年会(2005年)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
Etsuji Okada, Hidehiko Myoken, Terukazu Terauchi, Ozie Fadzula, Maurice Medebielle*, Norio Ota	A New Fluorine-Containing Building Block, 1-Amino-2-trifluoroacetylnaphthalene. A Convenient Synthetic Method for Benzoquinazolines and Benzoquinolines Having a Single Trifluoromethyl Group	The 17th French-Japanese Symposium on Medicinal and Fine Chemistry (2004)
太田規央*, 藺田篤, 河野浩之, 芝田大, 岡田悦治	含フッ素3, 4-ジヒドロピラン類を用いる芳香族化合物のトリフルオロアセチルビニル化反応	第34回複素環化学討論会 (2004)
森田康治, Maurice Medebielle*, 岡田悦治	N-プロパルギル-2-トリフルオロアセチル-1-ナフチルアミンと活性メチレン化合物との反応: 含トリフルオロメチルベンゾキノリン類の簡便合成	日本化学会第85回春季年会 (2005)
太田規央, 友田建久, 岡田悦治	β , β -ビストリフルオロアセチルビニルエーテル類と1, 2-フェニレンジアミン類との反応—新規含フッ素ジヒドロベンゾ[b][1, 4]ジアゼピン類の簡便合成	日本化学会第85回春季年会 (2005)
芝田大, Maurice Medebielle*, 岡田悦治	N-プロパルギル-5, 7-ビストリフルオロアセチル-8-キノリルアミンと各種アミン類との反応—含フッ素1, 10-フェナントロリン類の簡便合成	日本化学会第85回春季年会 (2005)
市忠顕, 竹内千晶, 福井隆雅, 山本了一	ヘテロ芳香族ジカチオン: 4-アルキル-2-アリール-3-オキソ-2H-1, 4-ベンゾチアジン-2-イリウム 陽イオンの生成	日本化学会第85回春季年会 (2005)
西野 孝, 中井 綾, *安田 光伸, *増田 昭博, *大塚 祐二	ポリビニルアルコール系ナノコンポジットの創製・構造・機能	第12回複合材料界面シンポジウム (2004)
漆原 良昌, 西野 孝, 目黒 将司, 中前 勝彦	含フッ素鎖を有するポリメタクリレートジブロック共重合体の表面性質	第53回高分子学会年次大会 (2004)
漆原 良昌, 西野 孝, 目黒 将司, 中前 勝彦	含フッ素鎖を有するポリメタクリレートジブロック共重合体の表面性質—キャスト溶媒と熱処理の影響—	第53回高分子学会年次大会 (2004)
西野 孝, 齊藤 允彦, 中前 勝彦	微小角入射X線回折によるアイソタクチックポリプロピレン表面での結晶化挙動の評価	第53回高分子学会年次大会 (2004)
西野 孝, 中井 綾, 中前 勝彦	ポリビニルアルコール/クレイナノコンポジットの延伸挙動および耐水性	第53回高分子学会年次大会 (2004)
西野 孝, 伊寿 隆幸, 中前 勝彦	極低温におけるポリ(p-フェニレンテレフタルアミド)の結晶弾性率	第53回高分子学会年次大会 (2004)
西野 孝, 北村 菜穂, 中前 勝彦	ポリエチレン表面へのイソプロペニルアルコールのグラフト化	第53回高分子学会年次大会 (2004)
西野 孝, 西口 泰子, 中前 勝彦	二次元で負の熱膨張係数を有する高分子複合材料の創製	第53回高分子学会年次大会 (2004)
西野 孝, 信澤 果那子, 中前 勝彦	原子間力顕微鏡を用いたトランスクリスタルの引張変形挙動の解析	第53回高分子学会年次大会 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
小寺 賢*, 西野 孝, 伊寿 隆幸, 中井 綾, 齊藤 允彦, 西口 泰子, 井上 健太郎, 岡本 泰一, 川野 悦裕, 中前 勝彦	SPRing-8放射光を用いたポリ(p-フェニレンテレフタルアミド)単繊維の結晶弾性率測定	第53回高分子学会年次大会(2004)
西野 孝, 伊寿 隆幸, 櫻井 浩志	極低温におけるポリエステルおよびポリアミドの結晶弾性率	平成16年度繊維学会年次大会(2004)
Takashi Nishino, Takayuki Izu, Hiroshi Sakurai	Cryogenic Crystal Modulus of Polymers	40th International Symposium on Macromolecules World Polymer Congress MACRO2004(2004)
Takashi Nishino, Naho Kitamura	High Pressure Synthesis and Biocompatibility of Poly(isopropenyl alcohol)	40th International Symposium on Macromolecules World Polymer Congress MACRO2004(2004)
Yoshimasa Urushihara, Takashi Nishino, Katsuhiko Nakamae	Self-assembly and Surface Properties of Diblock Copolymer with Perfluoroalkyl Side Chains	40th International Symposium on Macromolecules World Polymer Congress MACRO2004(2004)
西野 孝, 岡本 泰一, 中前 勝彦	ポリトリメチレンテレフタレート延伸フィルムの力学物性	第50回高分子研究発表会(神戸)(2004)
西野 孝, 河崎 元子, 中前 勝彦	ポリエチレンオキシド鎖の表面偏析を利用した環境応答性表面の接着性	第50回高分子研究発表会(神戸)(2004)
西野 孝, 有本 典子, 中前 勝彦	繊維の部分溶解を利用した全セルロース複合材料の創製	第50回高分子研究発表会(神戸)(2004)
Takashi Nishino	New Trends of Eco Composites	Fifth Joint CANADA-JAPAN Workshop on Composites (2004)
Takashi Nishino, Kanako Nobusawa	AFM Investigations on the Mechanical properties of Transcrystalline Regions of Composite	Fifth Joint CANADA-JAPAN Workshop on Composites (2004)
西野 孝, 中井 綾, 阪上 由香利	ポリビニルアルコール系ナノコンポジットの配向挙動	第53回高分子討論会(2004)
西野 孝, 有本 典子	繊維の部分溶解により作製した全セルロース複合材料	第53回高分子討論会(2004)
Takashi Nishino	X-ray diffraction studies on the surface structure of polymers	'2004 Beijing International Bonding Technology Symposium (2004)
西野 孝	ポリビニルアルコール系ナノコンポジットの創製・構造・物性	日本材料科学会 第3回講演会 ポリマー系複合材料の最近の動向(2004)
西野 孝	高分子の撥水性と接着性の限界を見極める	大阪産業創造館 第14回事業化へ向けたアカデミーからの技術研究発表会(2004)
西野 孝	含フッ素ポリメタクリレートの構造制御と表面物性	日本学術振興会 繊維・高分子機能加工第120委員会 第125回合同分科会研究報告会(2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
Yoshimasa Urushihara, Takashi Nishino, Katsuhiko Nakamae	SELF-ASSEMBLY AND SURFACE PROPERTIES OF DIBLOCK COPOLYMER WITH PERFLUOROALKYL SIDE CHAINS	Harima International Forum "Smart Polymer and Smart Surface in Medicine and Industry" (2005)
Takashi Nishino, Aya Nakai, Yukari Sakagami	Preparation Structure and Properties of Poly(vinyl alcohol) Eco- and Nano-Composite	Third International Workshop on Green Composites (2005)
Takashi Nishino, Noriko Arimoto	Preparation of All-Cellulose Composite through Partial Dissolving of Fibers	Third International Workshop on Green Composites (2005)
漆原 良昌, 西野 孝, 中前 勝彦	極性基を導入したフッ素エラストマー表面の力学応答挙動	第17回エラストマー討論会 (2004)
西野 孝	エキゾチックな高分子複合材料	兵庫県発明協会記念講演会 (2005)
西野 孝	高分子表面・界面とX線回折	高分子学会 第22回高分子表面研究 会講座 (2004)
西野 孝, 中井 綾, 阪上由香利	ポリビニルアルコール系ナノコンポジットの創製と物性	第125回 ポパール会 (2004)
西野 孝, *高野 聖史, 河崎 元子, 三浦 響子, 中前 勝彦	パーフルオロアルキル基とPEO鎖を利用した環境応答型表面 改質	高分子学会 第11回高分子表面研究 討論会 (2005)
西野 孝	高分子材料の界面・力学的生体適合性	第41回 神戸バイオサイエンス研究 会 (2005)
丸石尚平, 成相裕之, 牧 秀志	大環状デカリン酸塩の合成と熱挙動	日本化学会第85春季年会(2005)
井上秀子, 中山尋量, 津波古充朝, 牧 秀志, 成相裕之	モノイミドシクロ三リン酸塩を用いた二糖類のリン酸化反応	日本化学会第85春季年会(2005)
村瀬敦郎, 務川高史, 牧秀志, 竹内俊文	モレキュラーインプリンティングと化学修飾を組み合わせた ドーパミン認識高分子の合成	第19回生体機能関連化学シンポジウ ム(2004)
斎藤直彦, 大久保 政芳, 竹厚 流	溶剤放出法による玉ねぎ場多層構造を有する複合高分子微粒 子の作製	第53回高分子学会年次大会(2004)
大久保 政芳, 大島 由照, 的場 拓巳	乳化共重合により作製したカルボキシル基含有高分子微粒 子へのノニオン性界面活性剤の吸蔵化	第53回高分子学会年次大会(2004)
大久保政芳, 井上麻由子, 鈴木登代子	アルカリ中和カルボキシル基含有高分子微粒子の吸水状態の 評価	第53回高分子学会年次大会(2004)
大久保政芳, 的場拓巳, 大島由照	乳化重合により作製したポリスチレン粒子中へのノニオン性 界面活性剤の吸蔵化	第53回高分子学会年次大会(2004)
M. Okubo, M. Okada	Effect of stirring state in batchwise emulsion copolymerization of styrene and methacrylic acid on the distribution of carboxyl groups within the particle	International Symposium on Polymers in Dispersed Media (PDM 2004)
H. Minami, Y. Oshima, M. Okubo	Production of cured epoxy resin particles having one hollow by polyaddition reaction	International Symposium on Polymers in Dispersed Media (PDM 2004)
Y. Kagawa, H. Minami, J. Zhou, M. Okubo	Preparation of block copolymer particles by two-step atom transfer radical polymerization in aqueous medium	International Symposium on Polymers in Dispersed Media (PDM 2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
N. Saito, R. Takekoh, M. Okubo	Control of morphology of PS/PMMA composite particles using poly(styrene-block-methyl methacrylate)	International Symposium on Polymers in Dispersed Media (PDM 2004)
N. Saito, R. Takekoh, M. Okubo	機能性高分子の創製	はりま産学交流会[第5回一日神戸大学]-環境と新エネルギー (2004)
南 秀人	ミクロンサイズの単分散な中空高分子微粒子の合成	第53回高分子学会年次大会 (2004)
香川靖之, 大久保政芳, 南 秀人, 周 健	水媒体不均一系制御/リビングラジカル重合による異相構造を有する高分子微粒子の合成	第53回高分子学会年次大会 (2004)
大久保政芳	異形高分子微粒子の創製	大阪工研協会セミナー[微粒子・薄膜材料と新素材?ナノテクノロジーと工業材料の接点?] (2004)
Masayoshi Okubo	Inclusion of nonionic emulsifier inside polymer particles in emulsion polymerization	40th IUPAC International Symposium on Macromolecules World Polymer Congress Macro 2004 (2004)
Toyoko Suzuki, Mayuko Inoue, Masayoshi Okubo	Estimation of swelling state of polymer particles containing neutralized carboxyl groups	40th IUPAC International Symposium on Macromolecules World Polymer Congress Macro 2004 (2004)
大久保 政芳, 斎藤直彦, 明松佳美	複合高分子微粒子の異相構造形成に及ぼす乳化剤の影響	第50回高分子研究発表会(神戸) (2004)
大久保 政芳, 藤林輝久, 山田将弘	シード分散重合法を利用したダルマ状複合高分子微粒子の合成	第50回高分子研究発表会(神戸) (2004)
大久保 政芳, 南 秀人, 小林 博	単中空高分子微粒子のシェル層形成に及ぼす乳化剤の影響	第50回高分子研究発表会(神戸) (2004)
大久保 政芳, 香川 靖之, 佐野 有香	水媒体不均一系における制御リビングラジカル重合を用いた高分子乳化剤の合成	第50回高分子研究発表会(神戸) (2004)
大久保 政芳, 香川 靖之, 重松 淳二, 桑原 伸太郎	超臨界二酸化炭素媒体における制御リビングラジカル重合を用いた高分子微粒子の合成	第50回高分子研究発表会(神戸) (2004)
数内直哉, 大塚周幸, 柏原章雄, 石川勝清, 大久保政芳	分散重合法による顔料内包化粒子の合成	第50回高分子研究発表会(神戸) (2004)
大久保政芳	高分子微粒子の合成とその機能	第57回次代の高分子研究者のための講演・見学会(2004)
M. Okubo, M. Okada	Influence of Stirring in Emulsion Copolymerization of Styrene and Methacrylic Acid on the Formation of Multihollow Polymer Particles by the Alkali/Cooling Method	Asia Polymer Symposium (APOSYM/2004) (2004)
H. Minami, M. Okubo, H. Kobayashi	Influence of Emulsifier on Shell Formation of Hollow Polymer Particles by SAPSeP Method	Asia Polymer Symposium (APOSYM/2004) (2004)
大久保政芳	インテリジェント微粒子材料創製技術の開発	第178回産学官技術交流懇談会「こうベテクノサロン」(2004)
大久保 政芳, 嶋 拓巳, 大島 由照	乳化重合過程でのポリスチレン粒子中へのノニオン性界面活性剤の吸蔵化	第13回高分子ミクロスフェア討論会(2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
大久保 政芳, 大島 由照, 的場 拓巳	乳化共重合過程でのカルボキシル化高分子微粒子中へのノニオン性界面活性剤の吸蔵化	第13回高分子ミクロスフェア討論会 (2004)
南 秀人, 大久保 政芳, 庵原 直也	ミニエマルジョン重合法による磁性高分子微粒子の合成	第13回高分子ミクロスフェア討論会 (2004)
香川 靖之, 大久保 政芳, 南 秀人	水媒体不均一系制御／リビングラジカル重合法を用いたブロックコポリマー微粒子の合成における銅粉及び重合温度の影響	第13回高分子ミクロスフェア討論会 (2004)
斎藤 直彦, 大久保 政芳, 竹厚 流, 小林 博	溶剤放出法によるタマネギ状多層構造粒子のモルフォロジに与える安定剤の影響	第13回高分子ミクロスフェア討論会 (2004)
大久保 政芳, 重松 淳二, 南 秀人, 藤井 秀司	超臨界二酸化炭素を重合媒体とするシード重合による複合高分子微粒子の合成とその異相構造	第13回高分子ミクロスフェア討論会 (2004)
大久保 政芳, 藤林 輝久, 寺田 明紀	シード分散重合を利用したミクロンサイズの単分散円盤状高分子微粒子の合成	第13回高分子ミクロスフェア討論会 (2004)
大久保 政芳, 岡部 淳, 鈴木 登代子, 岡田 正弘	種々のモノマー添加法を用いる乳化共重合によるカルボキシル化高分子微粒子の作製とその粒子内分布評価	第13回高分子ミクロスフェア討論会 (2004)
大久保 政芳	機能性高分子微粒子	2004年度 日本画像学会技術研究会 (2004)
大久保政芳, 南 秀人, 鈴木登代子, Per B. Zetterlund	環境適応型微粒子材料の創製技術の開発	工学フォーラム2004 (2004)
大久保政芳	機能性高分子微粒子の創製と応用	高分子学会高分子同友会「高分子に関する最新の技術及び市場を勉強する会」(2004)
南 秀人	「中空高分子微粒子の創製とその応用」 -インテリジェント化の追求-	機能分子化学教室 新化学セミナー(第16回) (2004)
Hideto Minami, Hiroyuki Kanamori, Masayoshi Okubo	Preparation of micron-sized, cured epoxy resin capsules by polyaddition reaction using the SaPSeP method	第2回ミクロスフェア国際討論会 2005 (2004)
Toyoko Suzuki, Naoki Tsuda, Masayoshi Okubo	Estimation of distribution state of carboxyl groups in carboxylated polymer particle with isothermal titration calorimeter	第2回ミクロスフェア国際討論会 2005 (2004)
Naohiko Saito, Ryu Takekoh, Masayoshi Okubo	Effect of surfactant on preparation of onion-like multilayered PS-b-PMMA particles	第2回ミクロスフェア国際討論会 2005 (2004)
Teruhisa Fujibayashi, Akinori Terada, Masayoshi Okubo	Production of micron-sized, monodisperse polymer particles of disc-like and polyhedral shapes by seeded dispersion polymerization	第2回ミクロスフェア国際討論会 2005 (2004)
Yasuyuki Kagawa, Hideto Minami, Masayoshi Okubo	Effect of Copper Powder Concentration on Atom Transfer Radical Polymerization in Aqueous Media	第2回ミクロスフェア国際討論会 2005 (2004)
Masayoshi Okubo	Emulsion Polymerization with Block Copolymer Emulsifier Prepared in Heterogeneous Aqueous Medium	第2回ミクロスフェア国際討論会 2005 (2004)
P. B. Zetterlund, M. N. Alam, H. Minami, M. Okubo	Nitroxide-Mediated Controlled/Living Free Radical Copolymerization of Styrene and Divinylbenzene in Aqueous Miniemulsion	第2回ミクロスフェア国際討論会 2005 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
竹内俊文	モレキュラーインプリンティング：分子鑄型の合成戦略	第62回高分子若手研究会(平成16年)
竹内俊文	モレキュラーインプリンティングでナノ空間をデザインする	一日神戸大学第3回ナノテクを活用した機能性材料の創製(平成16年)
竹内俊文	モレキュラーインプリント機能性ナノ空間創製	高分子学会九州支部有機材料研究会セミナー(平成16年)
明田佳奈, 高瀬雅祥, 竹内俊文	アゾベンゼン骨格をもつインプリントポリマーの光機能制御	第53回高分子学会年会(平成16年)
中嶋篤志, 高瀬雅祥, 竹内俊文	ポルフィリン金属錯体の軸配位性を利用したハニカム型構造体の構築	第53回高分子学会年会(平成16年)
池上貴史, LEE Woo-Sang, 成相裕之, 竹内俊文	共有結合型モレキュラーインプリンティングによるビスフェノールA認識ポリマーの合成	第53回高分子学会年会(平成16年)
村上幸子, 高瀬雅祥, 竹内俊文	認識場の再構築が可能なインプリントポリマーの開発	第53回高分子学会年会(平成16年)
Lee Woo-Sang, 竹内俊文	シリカテンプレートを用いたビスフェノールA認識インプリントポリマー	第53回高分子学会年会(平成16年)
後藤大輔, 竹内俊文	タンパク質認識インプリントポリマー	第53回高分子学会年会(平成16年)
久保裕之, 成相裕之, 竹内俊文	蛍光性モレキュラーインプリントポリマー	第53回高分子学会年会(平成16年)
村瀬敦郎, 務川高志, 牧秀志, 竹内俊文	モレキュラーインプリンティングと化学修飾を組み合わせたドーパミン認識高分子の合成	第19回生体機能関連化学シンポジウム(平成16年)
Lee Woo-Sang, 竹内俊文	シリカ固定化テンプレートを用いたビスフェノールAのモレキュラーインプリンティング	第15回クロマトグラフィー科学会議(平成16年)
湊裕二, 竹内俊文	モレキュラーインプリンティングによるハロゲン結合性分子認識部位の構築	日本化学会第85春季年会(平成17年)
田辺博章, Lee Woo-Sang, 竹内俊文	固定化テンプレートを用いたビスフェノールAインプリントポリマー	日本化学会第85春季年会(平成17年)
宮崎志洋, 竹内俊文	分子鑄型を有するセンサー素子の開発	日本化学会第85春季年会(平成17年)
久保裕之, 吉岡伸行, 竹内俊文	2-アクリルアミドキノリンを機能性モノマーとして用いた蛍光性インプリントポリマー	日本化学会第85春季年会(平成17年)
家根武久, 竹内俊文	ポストインプリント処理を用いた新規アトラジン分解ポリマーの設計と合成	日本化学会第85春季年会(平成17年)
中島大輔, 李勇浩, 市橋祐一, 西山覚, 鶴谷滋	Co担持触媒によるベンジルアルコールの部分酸化反応	第94回触媒討論会(2004年)
谷屋啓太, 岸田昌浩, 市橋祐一, 西山覚, 鶴谷滋	Sn修飾シリカ包接Pt触媒上でのクロトンアルデヒドの選択的水素化	第94回触媒討論会(2004年)
村上義隆, 市橋祐一, 西山覚, 鶴谷滋	担持Pt-Sn触媒上での γ -ブチロラク톤の水素化	第94回触媒討論会(2004年)
福井栄治, 植田貴広, 柴田悠介, 市橋祐一, 西山覚, 鶴谷滋	ベンゼンの気相接触酸化反応におけるCu/HZSM-5触媒のK添加効果	第37回酸化反応討論会(2004年)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
大鹿雅史, 原美幸, 市橋祐一, 西山覚, 鶴谷滋	担持Sn触媒上でのシクロヘキサノンの酸化反応	第37回酸化反応討論会 (2004年)
砂田浩志, 市橋祐一, 西山覚, 鶴谷滋	Fe担持触媒によるベンジルアルコールの気相接触酸化反応	第37回酸化反応討論会 (2004年)
泉亜紀子, 高木啓司, 市橋祐一, 西山覚, 鶴谷滋	グラフト法で調製したZr-MCM-41触媒上でのアセトフェノンの還元反応	第34回石油・石油化学討論会 (2004年)
谷口智彦, 厚見尚志, 天野紘美, 市橋祐一, 西山覚, 鶴谷滋	担持La触媒上でのベンゼンからフェノールへの液相酸化反応	石油学会関西支部第13回研究発表会 (2004年)
田中千晶, 住本進悟, 市橋祐一, 西山覚, 鶴谷滋	V触媒を用いたベンゼンの液相酸化反応によるフェノール合成	第95回触媒討論会 (2005年)
山口めぐみ, 市橋祐一, 西山覚, 鶴谷滋	種々の金属担持酸化チタン光触媒によるメタンの光水蒸気改質反応	第95回触媒討論会 (2005年)
S. Nishiyama, and K. Takagi, H. Izumida, Y. Ichihashi, and S. Tsuruya	Hydrogen Transfer Activity of Tin-Incorporated Meso Porous Silica.	10th the Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (2004)
K. Kida, E. Takano, Y. Ichihashi, S. Nishiyama, and S. Tsuruya	Enhanced Hydrogenation Activity of ZnO Catalyst Thermally Treated under UHV Atmosphere.	10th the Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (2004)
M. Kuwajima, Y. Ichihashi, S. Nishiyama, and S. Tsuruya	Synthesis of Lactone from Cyclic Ketone over Sn Supported Catalyst	10th the Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (2004)
S. Sumimoto, S. Yamaguchi, Y. Ichihashi, S. Nishiyama, and S. Tsuruya	Liquid-Phase Oxidation of Benzene over Vanadium Incorporated Heteropolyacid.	10th the Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (2004)
大村直人, 末益智久, 浅村勇一	連続型テイラー渦流反応装置の流動パターン	化学工学会第69年会 (2004)
大村直人, 遠藤公高, 安藤康喜, 長光 学, 矢野武史	構成論的モデルによる連続乳化重合の粒子径自励振動現象の解析	化学工学会第70年会 (2005)
NGUYEN Hong-Phuc, 山内怜子, 鈴木洋, 薄井洋基	過剰に対イオンを添加したカチオン系界面活性剤溶液の抵抗低減流動特性	化学工学会第69年会 (2004)
山田紗矢香, 鈴木洋, 薄井洋基	キャビティ内を掃引する粘弾性流体の熱流動に関する数値計算	第41回日本伝熱シンポジウム (2004)
鈴木洋, NGUYEN Hong-Phuc, 山内怜子, 薄井洋基	過剰に対イオンを添加した界面活性剤溶液流の発達様式	日本流体力学会年会2004 (2004)
鈴木洋, 山田紗矢香, 薄井洋基	キャビティ内を掃引する粘弾性流体の流動特性に関する数値計算	日本流体力学会年会2004 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
鈴木洋, NGUYEN Hong-Phuc, 中山友絵, 薄井洋基	抵抗低減化界面活性剤溶液流の非定常流動特性	第52回レオロジー討論会(2004)
鈴木洋, 薄井洋基	界面活性剤添加による抵抗低減現象に関する管径効果の簡易推定法	化学工学会山口下関大会(2004)
鈴木洋	超小型MGT/SOFCハイブリッドシステム対応多重効用吸収冷凍機の最適設計指針	「超小型ガスタービン・高度分散エネルギーシステム」第3回公開研究発表会(2005)
吉谷誠人, 鈴木洋, 菰田悦之, 薄井洋基	界面活性剤溶液に分散した水和物微粒子の潜熱に関する研究	第7回化学工学会学生発表会(西日本地区)(2005)
照井健太, 鈴木洋, 菰田悦之, 薄井洋基	界面活性剤添加による抵抗低減現象に対する対イオン濃度の影響	第7回化学工学会学生発表会(西日本地区)(2005)
南将史, 鈴木洋, 久保健二*, 小路克利*, 菰田悦之, 薄井洋基	スタティックミキサーを用いた高粘性流体の混合特性	化学工学会 第70年会(2005)
菰田悦之, 中嶋一博, 鈴木洋, 薄井洋基	気固二相系におけるサスペンションの粘度評価手法	化学工学会 第70年会(2005)
加柴敏男, 鈴木洋, 菰田悦之, 薄井洋基	界面活性剤を添加した氷スラリーの潜熱特性	化学工学会 第70年会(2005)
廣瀬直行, Nguyen Hong-Phuc, 鈴木洋, 薄井洋基	対イオンを過剰に添加した界面活性剤溶液の緩和特性	化学工学会 第70年会(2005)
Hiromoto USUI, Mahidin and Datin F. UMAR	Upgrading by Kobe University Process and Control of Spontaneous Combustion of Low Rank Coals	21st Annual International Pittsburgh Coal Conference, Osaka (2004)
Datin F. UMAR, *Bukin DAULAY and Hiromoto USUI	Reducing Moisture Content by Hot Water Drying Method	21st Annual International Pittsburgh Coal Conference, Osaka, (2004)
Hiromoto USUI, Daisuke AOZAI, *Koji KITAMURA, Kazuhiro NAKASHIMA and Hiroshi SUZUKI	Effect of the Rheology of Fluorescent Particle Suspension on the Characteristics of Coated Thin Membrane	14th International Congress on Rheology, Seoul, (2004)
Tetsu Itotagawa, Hiroshi Suzuki and Hiromoto Usui	Viscosity of Clathrate Hydrate Slurries with Drag-Reducing Surfactants	14th International Conference on Rheology, Seoul, (2004)
Hiroshi Suzuki, Tomoe Nakayama and Hiromoto Usui	Development Characteristics of Surfactant Solution Flow Fluctuation in a Duct	14th International Conference on Rheology, Seoul, (2004)
Hiroshi Suzuki, Sayaka Yamada and Hiromoto Usui	Numerical Study on Visco-Elastic Fluid Flow and Heat Transfer Characteristics in a Cavity	First International Forum on Heat Transfer, Kyoto, (2004)
藤田靖也, 伊藤純二, 福田秀樹, 近藤昭彦	セルラーゼ表層提示酵母によるセルロースからのオリゴ糖生産	化学工学会第69年会(2004)
美藤洋平, 高潤, 佐藤英一*, 植田充美*, 福田秀樹, 近藤昭彦	グルコアミラーゼ及び α -アミラーゼ表層提示酵母を用いた生デンプンからの直接エタノール発酵	化学工学会第69年会(2004)
水池敦子, 藤田靖也, 片平悟史, 福田秀樹, 近藤昭彦	キシロース代謝系を組み込んだ酵母による混合糖からのエタノール発酵	化学工学会第69年会(2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
長谷川絵美, 松本健史, 福田秀樹, 近藤昭彦	コンビナトリアルペプチド表層提示によるエタノール耐性酵母の育種	化学工学会第69年会 (2004)
中村由利絵, 松本健史, 野本史樹*, 福田秀樹, 近藤昭彦	<i>Phizopus oryzae</i> lipase (ROL) 表層提示酵母の高活性化と光学分割反応への応用	化学工学会第69年会 (2004)
西野年昭, 村岡優, 上田政和*, 妹尾昌治*, 多田宏子*, 谷澤克行*, 黒田俊一* 近藤昭彦, 福田秀樹	中空バイオナノ粒子を用いた外来タンパク質の肝細胞への特異的導入法の開発	化学工学会第69年会 (2004)
真鍋利孝, 北浦明法, 山地秀樹, 福田秀樹	固定化昆虫細胞による組換えタンパク質の生産	化学工学会第69年会 (2004)
真鍋利孝, 渡壁慶三, 山地秀樹, 藤井郁雄*, 福田秀樹	昆虫細胞を用いた抗体Fabフラグメントの生産	化学工学会関西支部第2回最先端バイオテクノロジー公開セミナー (2004)
近藤昭彦	磁性ナノ粒子の開発とバイオ領域への応用	第1回微粒子ナノテクノロジー分科会 (2004)
近藤昭彦	細胞表層工学を用いたバイオ燃料や化学化合物生産のための細胞工場	コンビナトリアル・バイオエンジニアリング国際会議 (2004)
近藤昭彦	細胞表層ディスプレイ法によるコンビナトリアルバイオエンジニアリング	第62回高分子若手研究会 (2004)
成田純也, 岡野憲司, 瀬脇智満*, 成文喜*, 福田秀樹, 近藤昭彦	PgsA アンカータンパク質を用いた大腸菌細胞表層への大分子量タンパク質の提示	日本生物工学会大会 (2004)
村岡優, 西野年昭, 上田政和*, 妹尾昌治*, 多田宏子*, 谷澤克行*, 黒田俊一*, 福田秀樹, 近藤昭彦	ピンポイントドラッグデリバリーを目指したバイオナノ粒子の開発	日本生物工学会大会 (2004)
谷野孝徳, 福田秀樹, 近藤昭彦	FL01 由来アンカーを用いた <i>Pichia pastoris</i> を宿主細胞とした酵母細胞表層提示技術の開発	日本生物工学会大会 (2004)
石井純, 松村静香*, 立松健司*, 黒田俊一*, 近藤昭彦, 福田秀樹	酵母シグナル伝達によるリガンド検出システム	日本生物工学会大会 (2004)
長谷川絵美, 松本健史, 福田秀樹, 近藤昭彦	コンビナトリアルペプチド表層提示によるエタノール耐性酵母の育種	日本生物工学会大会 (2004)
道田晴仁, PATEL H. M*, 近藤昭彦, 福田秀樹	シリアルで培養した乳酸菌の胃液・胆汁耐性の評価	日本生物工学会大会 (2004)
真鍋利孝, 山地秀樹, 藤井郁雄*, 福田秀樹	組換え昆虫細胞を用いた抗体Fab フラグメントの生産	日本生物工学会大会 (2004)
山地秀樹, 福田秀樹	Efficient recombinant protein production in insect cell culture	YABEC 2004
近藤昭彦, 大西徳幸*	Application of Thermo-Responsive Magnetic Nanoparticles to Immobilization of Biomolecules and Bioaffinity Separation	The 2nd International Conference on Bioseparation Engineering (2004)
福田秀樹, 近藤昭彦, 野田秀夫*	Biodiesel Fuel Production using Fungus- and Yeast-Whole Cell Biocatalysts	The 10th APCCHe Congress (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
近藤昭彦, 藤田靖也, 福田秀樹	Efficient Production of Ethanol from Biomass by Cell Surface Engineered Yeast Strains	The 10th APCChE Congress (2004)
真鍋利孝, 北浦明法, 山地秀樹, 福田秀樹	Efficient protein production by insect cells immobilized within porous support particles	The 10th APCChE Congress (2004)
近藤昭彦, 村岡優	バイオナノ粒子を用いたピンポイントDDSシステムの開発	第13回日本バイオイメージング学会 学術集会 (2004)
近藤昭彦	セルロース及びキシロース発酵性アーミング酵母の育種	バイオマス部会・研究会 第4回合 同交流会 (2004)
近藤昭彦	Bioethanol Production from Cellulosic Materials by Cell Surface Engineered Yeast Strains	The 2nd International Symposium on Sustainable Energy System (2004)
近藤昭彦	細胞表層工学の展開	化学工学会バイオ部会 (2004)
近藤昭彦	New pinpoint drug delivery system using hollow nanoparticles of hepatitis B virus envelope L protein	Photonics WEST (2004)
福田秀樹	Effective Biofuel Production by Whole-Cell Biocatalysts	The 4th International Symposium (2004)
近藤昭彦	A New Pinpoint Drug Delivery System Using Hollow Nanoparticles of Hepatitis B Virus Envelope L protein	The 5th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology (2004)
近藤昭彦	アーミング微生物によるバイオマスからの燃料、化学品製造	日本化学会 岡山地区化学講演会
近藤昭彦	ピンポイントデリバリー用バイオナノキャリアの開発とがん遺伝子治療への応用	ナノメディシン研究成果発表会 (2004)
鈴木優八, 濱真司, 福田秀樹	バイオディーゼル燃料生産を目的としたリパーゼ生産系状菌の創製	第7回化学工学会学生発表会 (2005)
阪本真, 真鍋利孝, 山地秀樹, 福田秀樹	昆虫細胞-バキュロウイルス系による抗体Fabフラグメントの生産	第7回化学工学会学生発表会 (2005)
若松司*, 芝崎誠司*, 片平悟史, 近藤昭彦, 植田充美*	<i>C. boidinii</i> キシロース代謝関連遺伝子の探索	第7回化学工学会学生発表会 (2005)
伊藤環, 片平悟史, 近藤昭彦, 福田秀樹	糖トランスポーターの発現による酵母のエタノール生産能力の向上	化学工学会 第70年会 (2005)
岡野憲司, 成田純也, 瀬脇智満*, 成文喜*, 福田秀樹, 近藤昭彦	PgsAタンパク質を用いた大腸菌および乳酸菌細胞表層提示システムの開発	化学工学会 第70年会 (2005)
谷野孝徳, 福田秀樹, 近藤昭彦	FL01由来アンカーを用いた <i>Pichia pastoris</i> を宿主細胞とした酵母細胞表層提示技術の開発	化学工学会 第70年会 (2005)
濱真司, 近藤昭彦, 福田秀樹	Whole-cell biocatalyst における糸状菌リパーゼの局在解析	化学工学会 第70年会 (2005)
成田純也, 中西弘嗣, 瀬脇智満*, 成文喜*, 福田秀樹, 近藤昭彦	リパーゼ表層提示大腸菌を用いた光学分割反応	化学工学会 第70年会 (2005)
穴戸卓矢, 村岡優, 上田政和*, 妹尾昌治*, 多田宏子*, 谷澤克行*, 黒田俊一*, 福田秀樹, 近藤昭彦	昆虫細胞を用いたバイオナノ粒子の効率的生産	化学工学会 第70年会 (2005)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
真鍋利孝, 山地秀樹, 藤井郁雄*, 福田秀樹	組換え昆虫細胞を用いた抗体Fabフラグメントの分泌発現	化学工学会 第70年会 (2005)
成田純也, 岡野憲司, 瀬脇智満*, 成文喜*, 福田秀樹, 近藤昭彦	α - アミラーゼ表層提示乳酸菌を用いたデンプンからの乳酸生産	日本農芸化学会2005年度大会 (2005)
Shigeo Katoh	Efficient Refolding of Proteins by using Affinity Ligand	3rd Asian-Europe Biorecognition Engineering Symposium (2004)
Shigeo Katoh	Application of Protein-Coupled Liposomes to Effective Affinity Screening from Phage-Displayed Libraries	International Symposium on the Separation of Proteins, Peptides and Polynucleotides (2004)
Yoichi Kumada, Masao Nogami, Naoki Minami, Masumi Maehara, Shigeo Katoh	Application of Protein-Coupled Liposomes to Effective Affinity Screening from Phage Library	The 2nd International Conference on Bioseparation Engineering (2004)
Tomohisa Katsuda, Ken Nishijima, Mitumasa Kamura, Zakir Hossain, Shigeo Katoh	Development of Oligonucleotide Immobilized Capillary Chromatography	The 2nd International Conference on Bioseparation Engineering (2004)
Abdolmajid Lababpour, Tomohisa Katsuda, Shigeo Katoh	Induction of Astaxanthin Accumulation in <i>H. pluvialis</i> by Illumination with LED Lamps and Fed Batch Addition of Nutrients	YABEC' 04 Symposium (2004)
Reza Yegani, Satoshi Yoshimura, Kazunori Moriya, Tomohisa Katsuda, Shigeo Katoh	Instability of Growth Rate in Dense Culture of Photosynthetic Cells	YABEC' 04 Symposium (2004)
Yoichi Kumada, Masumi Maehara, Naoki Minami, Masao Nogami, Shigeo Katoh	High Sensitive Immunoassays and Effective Affinity Screening Methods Utilizing Liposomes	YABEC' 04 Symposium (2004)
Abdolmajid Lababpour, Tomohisa Katsuda, Shigeo Katoh	Astaxanthin Production by <i>H. pluvialis</i> in Sequential Batch Followed by Fed-Batch Culture Illuminated by LED Lamps	2004 AIChE Annual Meeting (2004)
山口 豊, 中井裕章, 藤田朋子, 塩見尚史*, 加藤滋雄	微生物の自己固定化能力を利用した農薬汚染土壌の浄化	日本生物工学会平成16年度大会 (2004)
イエガニ レザ, 吉村誠司, 森谷一徳, 勝田知尚, 加藤滋雄	フォトバイオリクターにおける光強度分布と増殖速度安定性の工学的検討	日本生物工学会平成16年度大会 (2004)
南 直樹, 熊田陽一, 加藤滋雄, 野上昌男	ペプチド融合膜タンパク質を利用した機能性リボソームの開発	日本生物工学会平成16年度大会 (2004)
熊田陽一, 川崎朋美, 加藤滋雄	1本鎖抗体のペプチドリンカーが抗原結合に及ぼす影響	日本生物工学会平成16年度大会 (2004)
西島 研, 嘉村光真, 勝田知尚, 加藤滋雄	オリゴDNA固定化担体を用いた一塩基多型 (SNP) の検出法の検討	日本生物工学会平成16年度大会 (2004)
富岡寛治*, 梶原健太郎*, 井上真由子*, 熊田陽一, 加藤滋雄	PCR増幅を利用したELISAの高感度化	日本生物工学会平成16年度大会 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
吉田阿礼, 松本偉大, 仲野篤史, 李 春然, 塩見尚史*, 加藤滋雄	メタノール資化酵母による異種タンパク質の効率的生産方法 の検討	化学工学会第69年会 (2004)
山口 豊, 中井裕章, 安田多賀子, 岩崎沙織, 塩見尚史*, 加藤滋雄	難分解性農薬汚染土壌のバイオレメディエーション	化学工学会第69年会 (2004)
南 将史, 神野一也, 宇高太郎, 加藤滋雄	アフィニティーリガンドを用いた連続リフォールディング操 作の最適化	化学工学会第69年会 (2004)
熊田陽一, 野上昌男, 加藤滋雄	プロテオリポソームを用いる機能性ペプチドの効率的スクリ ーニング	化学工学会第69年会 (2004)
Lababpour Abdolmajid, 羽田圭司, 嶋原一道, 勝田知尚, 加藤滋雄	Growth and Astaxanthin Accumulation in <i>H. pluvialis</i> Cultures Illuminated by LED Lamps	化学工学会第69年会 (2004)
中川敬三*, 松山秀人, 牧泰輔*, 寺本正明	溶媒蒸発法によるメソポーラスシリカ薄膜の作製と膜厚によ る影響	日本膜学会第24年会 (2002)
梶野真也*, 松山秀人, 牧泰輔*, 寺本正明	ポリスルホン/クレイハイブリッド多孔膜の作製と膜特性評 価	日本膜学会第24年会 (2002)
H. Matsuyama, T. Maki*, M. Teramoto	Membrane Formation via Thermally Induced Phase Separation in Polypropylene/ Polybutene/ Diluent System	Proc. of International Congress on Membranes and Membrane Processes, p.12 (2002)
K. Nakagawa*, H. Matsuyama, T. Maki*, M. Teramoto	Light Scattering Study on Porous Polyimide Membrane Formation by Immersion Precipitation	Proc. of International Congress on Membranes and Membrane Processes, p.17 (2002)
M. Shang*, H. Matsuyama, T. Maki*, M. Teramoto	Preparation and Characterization of Poly(ethylene-vinyl alcohol) Membrane via Thermally Induced-Liquid Liquid Phase Separation	Proc. of International Congress on Membranes and Membrane Processes, p.18 (2002)
S. Kitada*, M. Teramoto, H. Matsuyama, T. Maki*	Preparation of Porous Sulfonated Poly(ether ether ketone) Membrane	Proc. of International Congress on Membranes and Membrane Processes, p.21 (2002)
H. Yano*, H. Matsuyama, T. Maki*, M. Teramoto	Formation of Porous Membrane by Phase Separation with Supercritical CO ₂	Proc. of International Congress on Membranes and Membrane Processes, p.27 (2002)
S. Togano*, T. Maki*, H. Matsuyama, M. Teramoto	Effect of Atmospheric Pressure Glow Discharge Plasma on Chemical Structure of Plastic Membranes and the Elution of Endocrine Disrupter	Proc. of International Congress on Membranes and Membrane Processes, p.51 (2002)
K. Nakagawa*, H. Matsuyama, T. Maki*, M. Teramoto	Preparation of Mesoporous Silica Thin Films by Solvent Evaporation Methods	Proc. of International Congress on Membranes and Membrane Processes, p.108 (2002)
S. Aomatsu*, M. Teramoto, T. Maki*, H. Matsuyama	Separation and Concentration of Metal Ions by Plasticized Polymer Membranes Containing Carrier	Proc. of International Congress on Membranes and Membrane Processes, p.313 (2002)
北田智史*, 竹内直生*, 大西宣昭*, 松山秀人, 寺本正明	キャリアー溶液の透過を伴う促進輸送膜によるCO ₂ の分離・ 濃縮	化学工学会第35回秋季大会 (2002)
梶野真也*, 松山秀人, 寺本正明, 牧泰輔*	クレイ層間挿入法を用いた有機・無機ハイブリッド多孔膜の 作製	化学工学会第35回秋季大会 (2002)
松山秀人, 岡藤源*, 林健太郎*, 寺本正明, 牧泰輔*, 久保田昇*	熱誘起相分離法により作製されたポリエチレン中空系多孔膜 の構造と膜特性	化学工学会第35回秋季大会 (2002)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
付生生*, 松山秀人, 寺本正明	熱誘起相分離法により作製した支持膜を用いた含浸液膜によるCeの分離濃縮	化学工学会第35回秋季大会 (2002)
中川敬三*, 松山秀人, 牧泰輔*, 寺本正明	溶媒蒸発法による薄膜型メソポーラスシリカの作製に及ぼす各種実験条件の影響	化学工学会第35回秋季大会 (2002)
大賀一弘*, 松山秀人, 寺本正明, 牧泰輔*	溶媒蒸発によるハニカム状マイクロパターン構造の形成	化学工学会第35回秋季大会 (2002)
寺本正明, 大西宣昭*, 竹内直生*, 北田智史*, 松山秀人	キャピラリー膜モジュールを用いるキャリアー溶液の透過を伴うCO ₂ の分離濃縮	膜シンポジウム2002 (2002)
小川真輔*, 松山秀人, 寺本正明	メソポーラス多孔材料を用いた分子ふるい作用に基づくタンパク質分離	化学工学会第68年会 (2003)
松山秀人, 尚孟弦*, 寺本正明, D. R. Lloyd*	熱誘起相分離法によるポリエチレンービニルアルコール共重合体中空糸膜の作製と性能評価	化学工学会第68年会 (2003)
林健太郎*, 松山秀人, 寺本正明, 久保田昇*	熱誘起相分離法によるポリエチレン中空糸多孔膜の作製に及ぼす無機物添加効果	化学工学会第68年会 (2003)
高地健太*, 松山秀人, 牧泰輔*, 寺本正明	熱誘起相分離法による非対称性多孔構造の形成と構造形成のシミュレーション	化学工学会第68年会 (2003)
南裕己*, 松山秀人, 他4名	イオン交換したポリイミド膜から作製した炭素膜の構造とガス分離特性	化学工学会第68年会 (2003)
松山秀人, 原田俊英*, 寺本正明	超臨界CO ₂ を非溶媒として用いる相分離法による多孔膜の作製	日本膜学会第25年会 (2003)
小川真輔*, 松山秀人, 寺本正明	メソポーラスシリカを用いたタンパク質の分子ふるい吸着における速度論的検討	分離技術会年会2003 (2003)
川原直美*, 松山秀人, 寺本正明	タンパク質の分子ふるい吸着を目的とした中性界面活性剤を用いたメソポーラスシリカの合成	分離技術会年会2003 (2003)
青松智志*, 松山秀人, 寺本正明	相分離法を利用した無機中空糸膜の作製と膜特性評価	分離技術会年会2003 (2003)
松山秀人	熱誘起相分離法による多孔膜の作製と構造制御	化学工学会第36回秋季大会 (展望講演) (2003)
尚孟弦*, 松山秀人, 奥野純平*, 寺本正明	熱誘起相分離法による中空糸多孔膜の作製及ぼす溶剤添加効果	化学工学会第36回秋季大会 (2003)
中川敬三*, 松山秀人, 川原直美*, 寺本正明	スピンコーティング法を用いたメソポーラスシリカ薄膜の作製とナノろ過特性	化学工学会第36回秋季大会 (2003)
青松智志*, 松山秀人, 寺本正明	相分離法を利用したセラミック中空糸多孔膜の作製及び特性評価	化学工学会第36回秋季大会 (2003)
北田智史*, 松山秀人, 大西宣昭*, 寺本正明*, 松宮紀文*	キャピラリー膜モジュールを用いるキャリアー溶液の透過を伴うCO ₂ の分離・濃縮	化学工学会第36回秋季大会 (2003)
小川真輔*, 松山秀人, 川原直美*, 寺本正明	種々のメソポーラスシリカを用いたタンパク質の分子ふるい吸着特性の評価	化学工学会第36回秋季大会 (2003)
松山秀人, 尚孟弦*, 寺本正明	熱誘起相分離法によるエチレンービニルアルコール共重合体多孔膜の作製に及ぼす各種条件の影響	第52回高分子討論会 (2003)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
M. Teramoto, S. Kitada*, N. Ohnishi*, H. Matsuyama, N. Matsumiya*	Simultaneous Separation and Enrichment of CO ₂ by Novel Capillary Membrane Module with Permeation of ² Carrier Solution-Hybrid of Gas Absorption, Stripping and Membrane Permeation in Single Membrane Contactor	Proc. of the Membrane Science and Technology Conference of the Visegrad Countries with Wider International Participation, p.162 (2003)
松山秀人, 高地健太*, 牧泰輔*, 寺本正明	熱誘起相分離法による非対称性構造形成のシミュレーション	膜シンポジウム2003 (2003)
寺本正明, 松山秀人, 北田智史*, 大西宣昭*, 松宮紀文*	キャリアー溶液の透過を伴う中空糸促進輸送膜モジュールによるガス分離	膜シンポジウム2003 (2003)
川村奈月*, 松山秀人, 寺本正明	超臨界CO ₂ を用いたチタニアナノ粒子含有高分子マイクロスフェアの作製	化学工学会京都大会 (2003)
田中雄介*, 松山秀人, 寺本正明	機能化メソポーラス材料による環境ホルモンおよび金属イオンの吸着分離	化学工学会京都大会 (2003)
桑木亮輔*, 松山秀人, 寺本正明	熱誘起相分離法によるPVDF多孔膜の作製と膜特性評価	化学工学会69年会 (2004)
付句瑤*, 松山秀人, 寺本正明	熱誘起相分離法によるポリビニルブチラール中空糸多孔膜の作製及び膜特性評価	化学工学会69年会 (2004)
川原直美*, 松山秀人, 寺本正明	メソポーラス材料への酵素の吸着特性の評価と酵素反応特性	化学工学会69年会 (2004)
松山秀人, 青松智志*, 寺本正明	相分離法を利用したチタニア中空糸多孔膜の作製と膜特性評価	日本膜学会第26年会 (2004)
H. Matsuyama, T. Maki*, M. Teramoto	Simulation of Asymmetric Structure Formation via Thermally Induced Phase Separation Based on Polymer Concentration Gradient	Proc. of 15th Annual Meeting of North American Membrane Society 11 (2004)
S. Shimizu*, M. Teramoto, H. Matsuyama	Ethylene/ethane Separation by Hollow Fiber Ultrafiltration Membrane Module with Permeation of Silver Nitrate Solution	Proc. of 15th Annual Meeting of North American Membrane Society 228 (2004)
N. Kawahara*, H. Matsuyama, M. Teramoto	Preparation of mesoporous Silica Thin Membranes by Solvent Evaporation Method	Proc. of 15th Annual Meeting of North American Membrane Society 277 (2004)
K. Kawaguchi*, H. Matsuyama, M. Teramoto	Preparation and Characterization of Polysulfone-clay Hybrid Hollow fiber Membrane by Immersion Precipitation Method	Proc. of 15th Annual Meeting of North American Membrane Society 312 (2004)
R. Kuwaki*, H. Matsuyama, M. Teramoto	Preparation and Performance of PVDF Hollow Fiber Membrane via Thermally Induced Phase Separation	Proc. of 15th Annual Meeting of North American Membrane Society 322 (2004)
X. Fu*, H. Matsuyama, M. Teramoto, H. Nagai*	Preparation of Microporous Poly(vinyl butyral) Membrane via Thermally Induced Phase Separation	Proc. of 15th Annual Meeting of North American Membrane Society 323 (2004)
A. Yamasaki*, H. Matsuyama, M. Shang*	Preparation of Poly(ethylene-co-vinyl alcohol) Membrane via Thermally Induced Phase Separation	Proc. of 15th Annual Meeting of North American Membrane Society 324 (2004)
松山秀人	水環境の健全な維持に貢献する多孔膜の作製と構造制御	第11回関西地区分離技術見学討論会 (2004)
松山秀人, 牧泰輔*, 寺本正明	熱誘起相分離法による濃度勾配および温度勾配に基づく非対称性構造形成のシミュレーション	化学工学会下関大会 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
清水久栄, 齊藤祐樹, 曾谷知弘, 松尾成信, 田中嘉之	超臨界メタノールによるポリカーボネートの分解	第44回高圧討論会 (2004)
尚孟弦, 松山秀人, 寺本正明	EV0H中空糸膜作製における熱誘起相分離法および非溶媒誘起相分離法の比較検討	膜シンポジウム2004 (2004)
船橋弘靖, 高木利治, 曾谷知弘, 松尾成信	HFE-143m圧縮液体中の音速と蒸気圧	第25回日本熱物性シンポジウム (2004)
中村吉宏, 松山秀人	メソポーラス材料のナノプールを用いたナノ微粒子の作製	第7回化学工学会学生発表会 (2005)
川口敬司*, 松山秀人, 寺本正明	ポリスルホン/TiO ₂ ハイブリッド中空糸膜の作製と膜劣化特性の評価	化学工学会第70年会 (2005)
付旬揺, 松山秀人, 寺本正明	熱誘起相分離法によるポリビニルブチラール/ポリエチレンビニルアルコールブレンド中空糸膜の作製	化学工学会第70年会 (2005)
桑木亮輔*, 松山秀人, 寺本正明	熱誘起相分離法による液-液相分離に基づくPVDF中空糸膜の作製	化学工学会第70年会 (2005)
清水諭*, 松山秀人, 寺本正明	メソポーラス材料を含む高分子膜によるガス分離特性の評価	化学工学会第70年会 (2005)
山崎彩子*, 松山秀人, 寺本正明	種々のメソポーラス材料への薬剤の吸着および徐放特性	化学工学会第70年会 (2005)
川原直美*, 松山秀人, 寺本正明	メソポーラス材料内での酵素反応特性の評価	化学工学会第70年会 (2005)
S., P. Kusumohyo*, 金森敏幸*, 新保外志夫*, 須丸公雄*, 松山秀人, 寺本正明	Fabrication of flat and hollow fiber polymer inclusion membrane (PIMs) and investigation on the membrane stability	化学工学会第70年会 (2005)
付生生*, 松山秀人, 寺本正明, D.R.Lloyd*	Preparation of microporous polypropylene membrane via thermally induced phase separation as support of liquid membranes used for metal ion recovery	化学工学会第70年会 (2005)

3.5 情報知能工学科

教 授

[瀧 和男], 南部隆夫, [林 晋], 中桐信一, 賀谷信幸, 上原邦昭, 吉村武晃, 藤井 進, 角田 譲, 新井敏康, 太田有三, 小島史男, 多田幸生, 吉本雅彦, 貝原俊也, [田村直之], [鳩野逸生], [有木康雄], [大川剛直], [桔梗宏孝]

助教授・講師

永田 真, 内藤雄基, 垣内逸郎, [荻原剛志], 太田 能, [田畑 稔], [田所 諭], 石堂正弘, 的場 修, 菊池 誠, ブレンドル・ヤーク, 藤崎泰正, 玉置 久, 花原和之, 安村禎明, 小林 太, [滝口哲也], [熊本悦子], [伴 好弘], [番原睦則], [白川 健]

助 手

鎌田十三郎, 岩下真士, 浦久保孝光, 森 耕平, 鈴木 晃, 指尾健太郎, 仁田功一, [尾崎知伸], [川口 博]

近年、日本の社会構造は大きく変革をとげ、急速に高度情報化社会へと移行しつつある。このような社会の変化に対応するためには、高性能化、高知能化した情報システムに精通し、高度情報化社会に対処できる人材の育成が不可欠である。また、計算機を中心とした情報システム技術、情報の計測およびパターン認識などの情報認識技術、システム技術と人工知能技術を統合した知的システム技術など、幅広い分野の教育・研究が必要となっている。

情報知能工学科は、このような時代の要請に応えるために、情報知能技術者として身につけておくべき分野の教育と研究を行うことを目的として、(1)計算機システムのハードウェアとソフトウェアに関する基幹技術、計算機システムの高度応用技術、人間とコンピュータの接点となるヒューマンインタフェースなどを学ぶ「情報システム講座（計算機アーキテクチャ、計算機システム、データ数理工学、言語工学、ソフトウェア工学、ヒューマンインタフェース）」、(2)情報工学の数理的基礎、情報の獲得、獲得した情報の処理・認識、マルチメディア情報の表現と処理などを学ぶ「情報認識講座（情報数理、情報計測、認識工学、メディア工学、情報計測デバイス）」、(3)情報工学、システム工学を基盤として、システムの効率的構築のためのシステム計画、知能を機械化するための人工知能、知的システムの規範となる知的制御や生体情報工学などを学ぶ「知的システム講座（システム計画、システム数理、知的制御、生体情報工学、人工知能、知能ロボット）」の3つの講座から構成されている。情報知能工学科の研究者の主要研究活動は広範多岐にわたり、上記全ての研究分野を網羅しており、内外の情報処理、人工知能、メディア工学、システム工学、センシング、計測工学、制御工学、エネルギー工学、機械工学、ロボティクス、数理工学、医用工学、生体工学・人間工学・生体情報処理等に関連した多数の学会で指導的役割を果たしている。さらに、社会活動としては、国、地方自治体の各種委員会において、委員長あるいは委員として活躍している。一方、創造的な研究活動を支えるための情報設備として、高速なネットワークに接続された高機能ワークステーション群、高性能並列計算機システム等がある。

高機能ワークステーションは高い計算能力と、動画や音声の操作が容易なマルチメディア機能を提供し、学科内でのテレビ会議やインターネットを通じての情報交換に活用されている。情報知能工学科演習室には、MacOSやWindows XPを搭載したパーソナルコンピュータ合計95台が設置されており、学生はこれらを自由に使うことができるようになっている。さらに主要な研究設備として、マイクロマシン用アライナー、高性能レーザー、3次元運動解析装置、超高性能グラフィックス・コンピュータ Power Onyx、高機能ワークステーション等がある。

大学院自然科学研究科博士前期課程（修士課程）には、卒業生の70%近くが進学し、さらに

大学院後期課程（博士課程）に毎年数名進学している。また、留学生は大学院と学部あわせて27名在籍し、大学院後期課程にも複数名が在籍している。

以下に、情報知能工学科に所属する教官の、平成16年4月から平成17年3月までの研究業績を、学術論文、学術著書、学術報告、学術講演に分類し掲載する。

学術論文(レフェリー付き)(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文分類

A: 学術論文誌(国際会議等で、通常の査読過程を経て発刊された学術論文誌等の特集号を含む)および、国際会議のSelected Paper

B: Full Paperの査読により掲載が決定した国際会議のProceedings

C: Abstractの査読のみで掲載が決定した国際会議のProceedings(ただし、Absreactのみを掲載した予稿集を除く)

D: 大学、研究機関等の紀要

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
N. Kaya, M. Iwashita, S. Nakasuka*, L. Summerer*, J. Mankins*	Rocket Experiment on Construction of Huge Transmitting Antenna for the SPS using Furoshiki Satellite System with Robots	Proc. of the 4th International Conference on Solar Power from Space, SP-567, 231-235, 2004	A
O. Matoba and B. Javidi	Secure three-dimensional data transmission and display	Applied Optics, Vo. 43, pp. 2285-2291 (2004).	A
O. Matoba and B. Javidi	Secure holographic memory by double random polarization encryption	Applied Optics, Vol. 43, No. 14, pp. 2915-2919 (2004).	A
K. Nitta, T. Sumiyoshi, O. Matoba, and T. Yoshimura	Microscope OCT system with controllable longitudinal resolution	Technical Digest of ICO' 04 International Conference Optics & Photonics in Technology Frontier, pp. 45-46 (2004).	B
B. Javidi and O. Matoba	Three-dimensional information processing using computational holographic imaging	Technical Digest of ICO' 04 International Conference Optics & Photonics in Technology Frontier, pp. 91-92 (2004). (Invited Papers)	B
T. Li, T. Karanishiki, O. Matoba, and T. Yoshimura	A needle-fiber OCT system	Technical Digest of ICO' 04 International Conference Optics & Photonics in Technology Frontier, pp. 133-134 (2004).	B
T. Motoyama, T. Matsumoto, O. Matoba, and T. Yoshimura	Dynamic range of detected signal by optical spatial filtering in full-field OCT system	Technical Digest of ICO' 04 International Conference Optics & Photonics in Technology Frontier, pp. 135-136 (2004).	B
Y. Takizawa, Y. Kitagawa, O. Matoba, T. Yoshimura	Holographic optical elements for input device based on eye-gaze detection in home information appliance	Technical Digest of ICO' 04 International Conference Optics & Photonics in Technology Frontier, pp. 153-154 (2004).	B
K. Nitta, K. Mio, O. Matoba, and T. Yoshimura,	Theoretical Derivation of Weight Function in Diffuse Optical Tomography	Technical Digest of ICO' 04 International Conference Optics & Photonics in Technology Frontier, pp. 311-312 (2004).	B
O. Matoba, T. Miyake, K. Nitta, and T. Yoshimura	Theoretical DerThree-dimensional Secure Display System by Use of Phase-only Information from Digital Hologramivation of Weight Function in Diffuse Optical Tomography	Technical Digest of 2004 ICO International Conference Optics & Photonics in Technology Frontier, pp. 457-458 (2004).	B
Y. Yokohama, O. Matoba, and T. Yoshimura	Shift-multiplexed reflection-type holographic memory with optical security	Technical Digest of ICO' 04, pp. 495-496 (2004).	B
O. Matoba and B. Javidi, ~3D digital holographic display	Shift-multiplexed reflection-type holographic memory with optical security	Technical digest of IEEE LEOS 2004, pp. 188-189 (2004). (Invited Paper)	B
O. Matoba, Y. Yokohama, K. Nitta, and T. Yoshimura	Random phase encryption in reflection-type holographic memory	Technical digest of IEEE LEOS 2004, pp. 346-347 (2004).	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
B. Javidi, O. Matoba, Y. Frauel, and E. Tajahuerce	Passive nad active optical sensing for three-dimensional image recognition	Proc. SPIE, VOL. 5816, 1-9, (2005)	B
榊原一紀, 玉置 久, 村尾 元, 北村新三	フレキシブルショップ・スケジューリング問題の数理計画モデルに基づくハイブリッド解法	システム制御情報学会論文誌, 17 (6), 257-263 (2004)	A
Harald Galda, Hajime Murao, Hisashi Tamaki, Shinzo Kitamura	Dermoscopic Image Segmentation by a Self-Organizing Map and Fuzzy Genetic Clustering	IEICE Transactions on Information and Systems, E87-D (9), 2195-2203 (2004)	A
Kiyohiro Omori, Hisashi Tamaki, Hajime Murao, Shinzo Kitamura, Satoshi Maekawa*	Parallelization of Genetic Algorithm with Sexual Selection	Electrical Engineering in Japan, 150 (1), 42-49 (2005)	A
Kazutoshi Sakakibara, Hisashi Tamaki, Hajime Murao, Shinzo Kitamura	Metaheuristics Approach for Rule Acquisition in Flexible Shop Scheduling Problems	Metaheuristics: Progress as Real Problem Solvers, 243-258 (2005)	A
Kazutoshi Sakakibara, Hisashi Tamaki, Shinzo Kitamura, Hajime Murao	Composition and Acquisition of Rules for Flexible Shop Scheduling Problems	Proceedings of the International Symposium on Scheduling 2004, 174-179 (2004)	B
Hisashi Tamaki, Hajime Murao, Shinzo Kitamura	Numerical Study of a Metaheuristic-Based Solution for Parallel Machine Scheduling with Earliness/Tardiness Penalty	Proceedings of the 2004 Japan-USA Symposium on Flexible Automation, CD-Paper JL023 (2004)	B
Hisashi Tamaki, Kazutoshi Sakakibara, Hajime Murao, Shinzo Kitamura	Optimization Model and Simulation-Based Solution for a Class of Crane Scheduling Problems	Proceedings of the 2004 IEEE Conference on Control Applications, 902-905 (2004)	B
Hisashi Tamaki, Hajime Murao, Shinzo Kitamura	Simulation-Based Optimization Model and Metaheuristic Solution of Multiple Crane Scheduling Problems	Proceedings of the 2004 IEEE International Conference on Systems, Man and Cybernetics, 1469-1474 (2004)	B
松本卓也, 玉置 久, 村尾 元, 北村新三	資源循環システムのダイナミクスに関する基礎的考察	神戸大学大学院自然科学研究科紀要, 23-B, 1-12 (2005)	D
永吉雅人, 玉置 久, 村尾 元, 北村新三	モジュール型強化学習における適応的状態空間構成法	神戸大学大学院自然科学研究科紀要, 23-B, 13-20 (2005)	D
Fumio Kojima, Katsuyuki Ara*, Seiki Takahashi*	Identification of Material Degradation for Nonlinear Electromagnetic Problem	Studies in Applied Electromagnetics and Mechanics, Electromagnetic Nondestructive Evaluation (VIII), IOS Press, 24, 85-92 (2004)	A
Fumio Kojima, Kazufumi Ito*	Reconstruction of magnetic charge densities using regularization of bounded variations under noisy observations	International Journal of Applied Electromagnetics and Mechanics, IOS Press, 19, 309-313 (2004)	A
Fumio Kojima, Toshiyuki Takagi*, Tetsuya Matui*	Inverse methodology for eddy current testing using transmitter-receiver coil probes	Review of Progress in Quantitative Nondestructive Evaluation, 23, 643-650 (2004)	A
Fumio Kojima, Kazufumi Ito*	Inverse analysis of magnetic charge densities using discrete Fourier transform with Thikhonov regularization	Vietnam Journal of Mathematics, 32, 49-52 (2004)	A
小島史男, 河合信弘	境界要素・有限要素併用法を用いた渦電流探傷法による自然き裂の同定手法	境界要素法論文集, 16, 13-18 (2004)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Fumio Kojima, Futoshi Kobayashi, Akira Nihsimizu*, Masahiro Koike*, Tetsuya Matsui*	Development of remote diagnosis system for power plants using electromagnetic inverse analysis	Proc. of the International Symposium on Dynamic and Control, Hanoi, 97-105 (2004)	B
S. Sakamoto*, T. Fukuda*, H. Yui*, Y. Abe*, Y. Hasegawa*, F. Kobayashi, F. Arai	Study on In-Pipe Corrosion Diagnosis System -Estimation of Corrosion on Screw Parts Using a Surface SH Probe-	Journal of Robotics and Mechatronics, 16(1), 61-70 (2004)	A
S. Sakamoto*, T. Fukuda*, H. Yui*, Y. Abe*, Y. Hasegawa*, F. Kobayashi, F. Arai	Study on In-Pipe Corrosion Diagnosis System -Corrosion Estimation Using Wavelet Transform and Two-dimensional Information-	Journal of Robotics and Mechatronics, 16(1), 71-79 (2004)	A
小林太, 安田裕二*, 小島史男	自律搬送システムにおける統計的手法による戦略決定	システム制御情報学会論文誌, 17(5), 202-210 (2004)	A
福田敏男*, 油井拓紀*, 酒本晋太郎*, 阿部靖則*, 長谷川泰久*, 小林太, 新井史人	配管腐食診断システムの研究 (ウェーブレット変換および平面情報を用いた腐食推定)	日本機械学会論文集(C編), 70(696), 2322-2328 (2004)	A
F. Kobayashi, D. Masumoto, F. Kojima	Sensor Selection based on Fuzzy Inference for Sensor Fusion	Proc. of IEEE International Conference on Fuzzy Systems (FUZZ-IEEE2004), CD-ROM (2004)	B
S. Hashimoto*, F. Kojima, N. Kubota*	A Sensory Network for Fault Tolerance of An Intelligent Robot	Proc. of Joint 2nd International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 5th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS & ISIS 2004), CD-ROM (2004)	B
貝原俊也, 藤井進, 大家健司	複雑系経済学に基づく人工市場に関する研究	システム制御情報学会論文誌, Vol. 17, No. 4, p. 170-177 (2004)	A
貝原俊也, 藤井進, 吉村徳泰	ワルラス型仮想市場の均衡解に対するパレート最適性の検証	システム制御情報学会論文誌, Vol. 17, No. 10, pp. 444-450 (2004)	A
二上範之, 藤井進	G型フーリエ記述子による二次元CAD図形表現の基礎研究	精密工学会誌, vol. 70, No. 7, p. 929-935 (2004)	A
Xiaoming Zhang, Susumu Fujii, Toshiya Kaihara	Evaluation of Tool Allocation Strategies in Flexible Manufacturing System	Series C, JSME International Journal, Vol. 48, No. 1, p. 37-45 (2005)	A
Koichi Sakurai, Susumu Fujii and Toshiya Kaihara	A Basic Study on a Defect Inspection Method for ASIC Manufacturing Line (Second report: Inspection Parameter Dependence on Yield and Cleaning Cycle)	Electrical Engineeris in Japan, Vol. 147, No. 2, pp. 53-62 (2004)	A
Kentaro Sashio, Susumu Fujii and Toshiya Kaihara	A Study on Data Handling Mechanism of a Distributed Virtual Factory	Knowledge and skill chains in Engineering and Manufacturing, Springer, New York, pp. 293-300 (2005)	A
B. M. Keserci, D. Asami, Y. Yamamoto, D. Kokuryo, A. A. Khankan, D. Harada, E. Kumamoto, K. Kuroda	Three Dimensional MR Guided Temperature Imaging Feedback System for Microwave Liver Ablations in an Open MRI	2004Proceedings of ISMRM 12th Scientific Meeting, CD-ROM, (2004)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
D. Kokuryo, K. Kuroda, D. Harada, Y. Yamamoto, B. Keserci, Y. Matsuoka, E. Kumamoto, S. Fujii	Optimization of Complex Field Estimation in the Self-Reference Temperature Imaging Method	2004Proceedings of ISMRM 12th Scientific Meeting, CD-ROM, (2004)	B
K. Kuroda, D. Kokuryo, D. Harada, Y. Yamamoto, E. Kumamoto, B. Keserci, S. Fujii	Self-referenced Temperature Imaging based on Complex Image Estimation and Target Tracking Slab	2004Proceedings of ISMRM 12th Scientific Meeting , CD-ROM, (2004)	B
S.Fujii, T.Kaihara, T.Utsunomiya, K.Sashio	A Study on Self-Organization Functions for Agile Manufacturing in Square Arrayed Machining Centers	Proc. Of 2004 Japan-USA Symposium on Flexible Automation, CD-ROM, (2004)	B
T.Kaihara, S.Fujii	Supply Chain Management for Virtual Enterprises with Adaptive Multi-agent Mechanism	Proc. Of 2004 Japan-USA Symposium on Flexible Automation, CD-ROM, (2004)	B
H. Suwa, S.Fujii	Rule Acquisition for Rolling Horizon Heuristics in Parallel Machine Dynamic Scheduling	Proc. Of 2004 Japan-USA Symposium on Flexible Automation, CD-ROM, (2004)	B
Toshiya Kaihara, Susumu Fujii	Enterprise Negotiation Algorithm with Walrasian Virtual Market	Virtual Enterprise and Collaborative Networks, Kluwer Academic Publishers, Boston, p. 227-234 (2004)	A
Toshiya Kaihara, Susumu Fujii	Multi-agent based robust scheduling for agile manufacturing	Emerging Solutions for Future Manufacturing Systems, Springer, New York, p. 201-208 (2004)	A
Kentaro Sashio, Susumu Fujii, Toshiya Kaihara	A STUDY ON COST ORIENTED SCHEDULING - EXPERIMENTS WITH A DISTRIBUTED VIRTUAL FACTORY -	Proc. of the 5th EUROSIM Congress on Modeling and Simulation, (2004)	C
Susumu Fujii, Toshiya Kaihara, Kentaro Sashio, Takuma Utsunomiya	A STUDY ON SELF-ORGANIZATION ALGORITHM IN AGILE MANUFACTURING SYSTEM WITH SQUARE ARRAYED MACHINING CENTERS	Proc. Of the IFIP WG 5.7 International Working Conference on Integrated Concept in Manufacturing Technology, Information Technology and People, p. 147-160 (2004)	B
Kentaro Sashio, Toshiya Kaihara, Susumu Fujii, Mitsuhiro Sugimori	Distributed Virtual Factory under E-Business Environment	EXPERIENCES FROM THE FUTURE (ASIM 2004), P. 451-460 (2004)	B
T. Kaihara and S. Fujii	A Study on Pareto Optimality of Walrasian Virtual Market	Proceedings of The Third International Workshop on Agent-based Approaches in Economic and Social Complex Systems, pp.17-24 (2004)	B
X. Zhang, S. Fujii and T. Kaihara	Evaluation of tool allocation strategies in Flexible Manufacturing System	Proceedings of International Symposium on Scheduling 2004, pp. 214-219 (2004)	B
K. Sahio, S. Fujii and T. Kaihara	A basic study on cost based scheduling	Proc. of the 5th International Conference on Machine Automation 2004, pp. 353-356 (2004)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
T. Kaihara and S. Fujii	A Study on Virtual Market for Pareto Optimal Mediation	The Proceedings of the International Conference Experiments in Economic Sciences: New Approaches to Solving Real-world Problems, pp. 494-499 (2004)	B
Etsuko Kumamoto, K. Ono, K. Saito, Y. Matsuoaka, B. Keserci, H. Abe, K. Kuroda, Y. Matsui, H. Mitsuhashi, S. Fujii	Marking Technique for Bamboo Tracking Catheter in MR Guided Intervention	Proc. on Intl. Soc. Mag. Reson. Med., 12, , pp2689 (2004)	B
Daisuke Kokuryo, Kagayaki Kuroda, Kyohei Suzuki, Bilgin Keserci, Etsuko Kumamoto, Susumu Fujii	Optimization of the Self-Referenced Temperature Imaging Method	Proc. of 5th Interventional MRI Symposium, 57 (2004)	B
Pu Fang, Fan Yu-bo*, Yukio Tada and Yumi Takaki	A Novel System for Constructing Voxel-Based Finite Element Models of Dental Implant and Jaw-Bone (in Chinese)	Space Medicine & Medical Engineering, 17(3), p.210-213 (2004-6)	A
Yoshiyuki Kagiya, Masahiko Nakamoto*, Masaki Takao*, Yoshinobu Sato*, Nobuhiko Sugano*, Hideki Yoshikawa*, Yukio Tada and Shinichi Tamura*	Automated Preoperative 3D Planning of Acetabular Cup Positioning and Size Selection in Total Hip Arthroplasty Using CT Data	Proceedings of The Fourth Annual Conference of the International Society for Computer Assisted Orthopaedic Surgery, p.312-313 (2004-6)	C
Yukio Tada and Hidenori Matsushita*	Robot Arm Control with Visual Information	Proceedings of the 2004 Japan-USA Symposium on Flexible Automation, JS025, p.1-4 (2004-7)	C
Kenji Okuma, Takateru Urakubo and Yukio Tada	Lyapunov Control of a Two Wheeled Mobile Robot in the Presence of Obstacles	Proceedings of the 2004 Japan-USA Symposium on Flexible Automation, JS026, p.1-4 (2004-7)	C
Yoshimasa Takashima and Yukio Tada	A Method of Face Detection in Color Images with Low Performance MPU	Proceedings of the 2004 Japan-USA Symposium on Flexible Automation, JS028, p.1-4 (2004-7)	C
Shigeki Takase, Kazuyuki Hanahara and Yukio Tada	Generating Robot Arm Motion by Observing Human Arm Motion (An Inverse-Problem Approach)	Proceedings of the 2004 Japan-USA Symposium on Flexible Automation, JS032, p.1-4 (2004-7)	C
Takateru Urakubo, Kenji Okuma and Yukio Tada	Feedback Control of a Two Wheeled Mobile Robot with Obstacle Avoidance Using Potential Functions	Proceedings of 2004 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems, p.2428-2433 (2004-9)	B
Takateru Urakubo, Kazuo Tsuchiya* and Katsuyoshi Tsujita*	Attitude Control of a Spacecraft with Two Reaction Wheels	Journal of Vibration and Control, 10(9), pp.1291-1311 (2004-9)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Yoshihiro Yoshida, Kazuyuki Hanahara and Yukio Tada	Multi-Criteria Optimal Design of Robot Arm with Discrete Design Variables (A Knowledge-Oriented Approach to Combinatorial Problem)	Proceedings of The Third China-Japan-Korea Joint Symposium on Optimization of Structural and Mechanical Systems, p. 601-606 (2004-11)	C
Yukio Tada and Hiroshi Kitamura	Simultaneous Optimum Design of Structural and Control Systems in 2-Link Flexible Arm	Proceedings of The Third China-Japan-Korea Joint Symposium on Optimization of Structural and Mechanical Systems, p. 607-612 (2004-11)	C
Yukio Tada and Jun Yamazaki*	Simultaneous Optimum Design of Structural and Control Systems with Consideration of Location of Sensor/Actuator	Papers of The Fifth World Congress of Structural and Multidisciplinary Optimization, The International Society of Structural and Multidisciplinary Optimization, No. 008, p. 1-6 (2005-2)	B
Kazuyuki Hanahara and Yukio Tada	Variable Geometry Truss Actuated by Wire Members (Basic Consideration on Practical Actuation Mechanism)	CD ROM Proceedings of 15th International Conference on Adaptive Structures and Technologies, Hanahara.pdf, p1-12, (2005-3)	B
北村 亘, 藤崎泰正	有界外乱のもとでの不確かなシステムのミニマ ックス推定	計測自動制御学会論文集, 41(2), 111-117 (2005)	A
小林洋二*, 藤崎泰正, 池田雅夫*	変位出力を用いた厳密にプロパーなコントロー ラによる大型宇宙構造物の近似DVDFB制御	計測自動制御学会論文集, 41(2), 135-141 (2005)	A
Yasumasa Fujisaki, Yasuaki Oishi*, Roberto Tempo*	Characterizations of Fixed Order Stabilizing Controllers	Proceedings of the 43rd IEEE Conference on Decision and Control, 5308-5309 (2004)	B
Yasumasa Fujisaki, Takahiko Nakai	Connective Stability of Large Scale Systems: Revisited	Preprints of the 10th IFAC/IFORS/IMACS/IFIP Symposium on Large Scale Systems: Theory and Applications, 413-416 (2004)	B
Yohji Kobayashi*, Yasumasa Fujisaki, Masao Ikeda*	Robust Decentralized Control of Large Space Structures by Strictly Proper Approximation of DVDFB	Preprints of the 10th IFAC/IFORS/IMACS/IFIP Symposium on Large Scale Systems: Theory and Applications, 142-148 (2004)	C
Yasumasa Fujisaki, Yiran Duan, Masao Ikeda*	System Representation and Optimal Control in Input-Output Data Space	Preprints of the 10th IFAC/IFORS/IMACS/IFIP Symposium on Large Scale Systems: Theory and Applications, 197-202 (2004)	C
Yasumasa Fujisaki, Yasuaki Oishi*	Guaranteed Cost Regulator Design: Probabilistic Solution and Randomized Algorithm	Proceedings Sixteenth International Symposium on the Mathematical Theory of Networks and Systems, CD-ROM (2004)	C
Shirin Nezamfafi, Kohei Mori, Yuzo Ohta	Simplex-Algorithm Based Method for Controller Design via Piecewise Linear Lyapunov Functions	Proceedings of the 2005 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits and Signal Processing, CD-ROM, pp. 431-434 (2004)	C

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Y. Ohta, N. Fukuta	Nonlinear Robust Servo Systems Using Switching of Control Gains and Reference Inputs	Preprints of of the 10th IFAC/IFORMS/IMACS/IFIP Symposium on Large Scale Systems: Theory and Applications, pp.483-488 (2004)	B
Y. Ohta, M. Nagahara	On the Computation of Value Sets of Multi-Linear Functions	Proceedings of the 2004 IEEE Conference on Computer Aided Control Systems Design, pp.161-166 (2004)	B
中村雅之, 野宮浩揮, 上原邦昭	重み更新規則の修正によるBoostingアルゴリズムの改善について	情報処理学会論文誌, Vol. 45, No. 3, pp.1001-1013 (2004)	A
Yuya Matsuo, Kimiaki Shirahama, Kuniaki Uehara	Mining Semantic Structure in Movies	Proceedings of 15th International Conference on Applications of Declarative Programing and Knowledge, pp.229-240 (2004)	B
Biplab Kumer Sarker, Anil Kumar Tripathi*, Deo Prakash Vidyarthi*, Laurence T. Yang*, Kuniaki Uehara	Allocation of Tasks in a DCS Using a Different Approach with A* Considering Load	IEICE Transactions on Information and System, Vol.E87-D, No. 7, pp.1859-1866 (2004)	A
Masayuki Nakamura, Hiroki Nomiya, Kuniaki Uehara	Improvement of Boosting Algorithm by Modifying the Weighting Rule	Annals of Mathematics and Artificial Intelligence, Vol.41, pp.95-109 (2004)	A
Kimiaki Shirahama, Kazuhisa Iwamoto, Kuniaki Uehara	Video Data Mining: Rhythms in a Movie	Proceedings of the 2004 IEEE International Conference on Multimedia and Expo (ICME' 2004) (2004)	B
Kuniaki Uehara, Miki Amano, Yasuo Arika, Masahito Kumano	Video Shooting Navigation System by Real-Time Useful Shot Discrimination Based on Video Grammar	Proceedings of the 2004 IEEE International Conference on Multimedia and Expo (ICME' 2004) (2004)	B
Hiroki Nomiya, Kuniaki Uehara	Visual Learning by Set Covering Machine with Efficient Feature Selection	Proceedings of 16th European Conference on Artificial Intelligence (ECAI 2004), pp.525-529 (2004)	B
Lucian Andrei Gheorghe, Yoshihiro Ban, Kuniaki Uehara	Exploring Interactions Specific to Mixed Reality 3D Modeling Systems	Proceedings of International Workshop on Human-Computer Interaction 2004 (HCI 2004), pp.117-128 (2004)	B
Lucian Andrei Gheorghe, Yoshihiro Ban, Kuniaki Uehara	MRdit:Mixed Reality 3D Model Design	Proceedings of Japan-USA Symposium on Flexible Automation, JL032 (2004)	B
安村禎明, 折本勝則*, 馬場口登*, 北橋忠宏*	超二次関数を用いた三次元物体形状の定量的・定性的モデルの獲得	人工知能学会誌, Vol. 13, No. 1, pp.75-82 (1998).	A
安村禎明, 折本勝則*, 馬場口登*, 北橋忠宏*	部品構成モデルの自動生成による三次元物体の部部分割	情報処理学会論文誌, Vol. 39, No. 6, pp.1944-1952 (1998).	A
湯浅将英*, 安村禎明, 新田克己*	心理的要素を用いた交渉戦略	システム制御情報学会論文誌, Vol. 14, No. 9, pp.436-446 (2001).	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
新田克己*, 柴崎真人*, 安村禎明, 長谷川隆三*, 藤田博*, 越村三幸*, 井上克己*, 白井康之*, 小松弘*	ダイアグラムに基づく法的論争支援システム	人工知能学会論文誌, Vol. 17, No. 1, pp. 32-43 (2002).	A
安村禎明, 秋山英久*, 小口邦彦*, 新田克己*	モノポリーゲームにおける交渉エージェント	情報処理学会論文誌, Vol. 43, No. 10, pp. 3048-3055 (2002).	A
安村禎明, 中原典男*, 新田克己*	エージェントによるクラスタリングに基づく3次元物体モデルの獲得	人工知能学会論文誌, Vol. 18, No. 2, pp. 57-65 (2003).	A
安村禎明, 鈴木佐知子*, 新田克己*	XML表現に基づくCBRを用いた日常業務支援システム	人工知能学会論文誌, Vol. 18, No. 4, pp. 183-192 (2003).	A
安村禎明, 武市雅司*, 新田克己*	論文からのプレゼンテーション資料の作成支援	人工知能学会論文誌, Vol. 18, No. 4, pp. 212-220 (2003).	A
湯浅将英*, 安村禎明, 新田克己*	ベイジアンネットを用いた交渉エージェントの表情表出	情報処理学会論文誌, Vol. 44, No. 11, 2710-2717 (2003).	A
Y. Yasumura, K. Orimoto*, N. Babaguchi*, T. Kitahashi*	Inductive Learning of 3D Shapes with Superquadrics Representation	Proceedings of Second Asian Conference on Computer Vision, ACCV'95, Vol. 3, pp. 310-314 (1995).	B
Y. Yasumura, K. Orimoto*, N. Babaguchi*, T. Kitahashi*	Acquisition of an Object Structural Model of a Class	Proceedings of Seventh European-Japanese Conference on Information Modeling and Knowledge Bases, Vol. 1, pp. 69-74 (1997).	B
K. Nitta*, M. Shibasaki*, A. Yamazaki*, Y. Yasumura	A legal negotiation support system	Proceedings of International Conference on AI and Law 1999: pp. 132-133 (1999).	B
K. Nitta*, Y. Yasumura	Learning Compromise Strategy	Proceedings of INFORMS-KOREMS2000, pp. 1419-1423 (2000).	B
M. Yuasa*, Y. Yasumura, K. Nitta*	Giving Advice in Negotiation using Physiological Information	Proceedings of IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics 2000, pp. 248-253, (2000).	C
M. Yuasa*, Y. Yasumura, K. Nitta*	Negotiation Support Tool Using Emotional Factors	Proceedings of IFSA-NAFIPS 2001, (2001).	B
Y. Yasumura, K. Oguchi*, K. Nitta*	Negotiation Strategy of Agents in the MONOPOLY Game	Proceedings of IEEE International Symposium on Computational Intelligence in Robotics and Automation 2001, pp. 277-281 (2001).	B
Y. Yasumura, S. Suzuki*, K. Nitta*	An Agent System that assists User's Work Using Case Based-Reasoning	Proceedings of Pacific Asian Conference on Intelligent Systems 2001, pp. 164-168 (2001).	B
K. Nitta*, Y. Yasumura, M. Yuasa*, T. Tanaka*	An Online Moot Court System Mediated by a Agent	Proceedings of International Conference on AI and Law 2003, pp. 101-102 (2003).	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
K. Nitta*, Y. Yasumura, M. Yuasa*, T. Tanaka*	An Online Discussion Support System which Promotes Creativity of Legal Minds	Proceedings of the Special Workshop 'Artificial Intelligence in Law', The IVR World Congress 2003, pp.29-32 (2003).	B
M. Yuasa*, Y. Yasumura, K. Nitta*	A Tool for Animated Agents in Network-Based Negotiation	Proceedings of 12th IEEE International Workshop on Robot and Human Interactive Communication RO-MAN' 2003, pp.259-264 (2003).	B
D. Katagami*, H. Ohmura*, Y. Yasumura, K. Nitta*	Human Agent Interaction toward Social Interaction	Proceedings of the Fourth International Symposium on Human and Artificial Intelligence Systems (HART 2004), (2004).	B
*Kenji Shimazaki, Makoto Nagata, Takeshi Okumoto, *Shouzou Hirano, *Hiroyuki Tsujikawa	Dynamic Power-Supply and Well Noise Measurement and Analysis for High Frequency Body-Biased Circuits	2004 Symposium on VLSI Circuits Digest of Technical Papers, pp. 94-97, June 2004.	B
Takeshi Okumoto, Makoto Nagata, Kazuo Taki	A Built-in Technique for Probing Power-Supply Noise Distribution within Large-Scale Digital Integrated Circuits	2004 Symposium on VLSI Circuits Digest of Technical Papers, pp. 98-101, June 2004.	B
Yohei Fukumizu, Shuji Ohno, Makoto Nagata, Kazuo Taki	A Design of Transponder IC for Highly Collision Resistive RFID Systems	Proceedings of 2004 IEEE Asia-Pacific Conference on Advanced System Integrated Circuits, pp.438-439, Aug. 2004.	B
Yohei Fukumizu, Shuji Ohno, Makoto Nagata, Kazuo Taki	Design of RFID Front-end Circuitry Enabling CDMA-based Collision Resistance	Extended Abstracts of the 2004 International Conference on Solid-State Devices and Materials 2004, pp.400-401, Sept. 2004.	B
*Shen Lin, Makoto Nagata, Kenji Shimazaki, *Kazuhiro Satoh, *Masaya Sumita, *Hiroyuki Tsujikawa, *Andrew T. Yang	Full-chip Vectorless Dynamic Power Integrity Analysis and Verification Against 100uV/100ps-Resolution Measurement	Proceedings of the IEEE 2004 Custom Integrated Circuits Conference, pp. 509-512, Oct. 2004.	B
Makoto Nagata, Mitsuya Fukazawa, *Naoyuki Hamanishi, *Masazumi Shiochi, *Tetsuya Iida, *Junichiro Watanabe, *Yoshitaka Murasaka, *Atsushi Iwata	Substrate Integrity beyond 1 GHz	2005 IEEE International Solid-State Circuits Conference Digest of Technical Papers, pp. 266-267, Feb. 2005.	B
Koichiro Noguchi, Makoto Nagata	On-Chip Multi-Channel Waveform Monitoring for Diagnostics of Mixed-Signal VLSI Circuits	Proceedings of the Design Automation and Test in Europe 2005, Volume1-2C1, pp. 146-151, Mar. 2005.	B
鎌田 十三郎, 森本 昌治, ニッ森 大介	モード切替機構をもつ分散環境向け Java 集合ライブラリの提案	情報処理学会論文誌プログラミング, Vol 46, No. SIG1 (PR024), pages 97-109, Jan. (2005)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
新村 健治, 山中 真和, 鎌田 十三郎	要求駆動型XML計算環境Nanafusiの実装と評価	情報処理学会論文誌: コンピューティングシステム (ACS), Vol 45, No. SIG 11 (ACS 7), pp 238-247, Oct. (2004)	A
泉 勝, 神前 宏樹, 鎌田 十三郎	差分ベースのバイトコード変換と命令再定義機構	In Proc. of SACSIS2004, pages 61-68, May (2004)	B
新村 健治, 山中 真和, 鎌田 十三郎	要求駆動型XML計算環境Nanafusiの実装と評価	In Proc. of SACSIS04, pp.343-351, May (2004)	B
Chikara Ohta, *Zihui Ge, *Yang Guo, and *Jim Kurose	Index-Server Optimization for P2P File Sharing in Mobile Ad Hoc Networks	Proceedings of IEEE GLOBECOM2004, (2004)	A
Jun-hong Ha* and Shin-ichi Nakagiri	Optimal control problems for nonlinear hyperbolic distributed parameter systems with damping terms	Funkcial. Ekvac. 47-1, 1-23 (2004)	A
Jun-hong Ha* and Shin-ichi Nakagiri	Identification problems for systems governed by nonlinear damped second order equations	J. Korean Math. Soc., 41-3, 435-459 (2004)	A
Jun-hong Ha* and Shin-ichi Nakagiri	Identification problems for the damped Klein-Gordon equations	J. Math. Anal. Appl., 289, 77-89 (2004)	A
Shin-ichi Nakagiri and Jun-hong Ha*	Constant parameter identification problems of coupled sine-Gordon equations	Inverse Problems and Spectral Theory, Contemporary Mathematics, 348 Amer. Math. Soc. Publications, 77-91 (2004)	A
Jin-Soo Hwang and Shin-ichi Nakagiri	Optimal control for semilinear first order Volterra integro-differential equations in Hilbert space	Mem. Grad. School Sci. ¥& Technol., Kobe Univ., 23-A, 1-17 (2005)	D
T. Nambu	Boundary stabilization for linear parabolic systems with boundaries of the first kind	SICE Trans., 40(1), 80 - 87 (2004).	A
T. Nambu	An $L^2(\Omega)$ -based algebraic approach to boundary stabilization for linear parabolic systems	Quarterly of Applied Mathematics, 62 (4), 711 - 748 (2004) .	A
T. Nambu	A new algebraic method of boundary stabilization for a class of linear parabolic systems	SICE Trans., 41(1), 61 - 66 (2005)	A
T. Nambu	A new algebraic approach to stabilization for boundary control systems of parabolic type	J. Differential Equations (to appear)	A
Yuki Naito	Non-uniqueness of solutions to the Cauchy problem for semilinear heat equations with singular initial data	Math. Ann. 329, 161-196 (2004)	A
Yuki Naito and Takashi Suzuki*	Self-similar solutions to a nonlinear parabolic-elliptic system	Taiwanese J. Math. 8, 43-55 (2004)	A
Ken Shirakawa, Akio Ito*, Noriaki Yamazaki* and Nobuyuki Kenmochi*	Asymptotic stability for evolution equations governed by subdifferentials	<i>Recent Development in Domain Decomposition Methods and Flow Problems</i> , GAKUTO Internat. Ser. Math. Sci. Appl., 11, Gakkotosho, Tokyo, 287-310 (1998)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Ken Shirakawa, Akio Ito*, Noriaki Yamazaki* and Nobuyuki Kenmochi*	Asymptotic stability for evolution systems associated with phase transitions	<i>Progress in partial differential equations, Vol. 2 (Pont-a-Mousson, 1997)</i> , Pitman Res. Notes Math. Ser., 384, Longman, Harlow, 104-115 (1998)	A
Ken Shirakawa	Attractors for doubly nonlinear evolution equations governed by subdifferentials	<i>Proceedings of International Conference on Dynamical Systems and Differential Equations</i> , Journal of Shanghai Jiaotong Univ., Vol. E-3, Sup. (I), Shanghai Jiaotong University Press, 136-141 (1998)	A
Ken Shirakawa	Large time behavior for doubly nonlinear systems generated by subdifferentials	Adv. Math. Sci. Appl., 10, no. 1, 415-440 (2000)	A
Ken Shirakawa and Noriaki Yamazaki*	Time-dependent attractors of bounded systems associated with doubly nonlinear equations	<i>Free Boundary Problems: Theory and Applications</i> , GAKUTO Internat. Ser. Math. Sci. Appl., 13, Gakkotosho, Tokyo, 298-313 (2000)	A
Nobuyuki Kenmochi* and Ken Shirakawa	A variational inequality for total variation functional with constraint	Nonlinear Anal., 46, no. 3, Ser. A: Theory Methods, 435-455 (2001)	A
Nobuyuki Kenmochi* and Ken Shirakawa	Stability for a parabolic variational inequality associated with total variation functional	Funkcialaj Ekvacioj, 44, no. 1, 119-137 (2001)	A
Ken Shirakawa	Parabolic variational inequality associated with the total variation functional	<i>Proceedings of the Third World Congress of Nonlinear Analysts, Part 5 (Catania, 2000)</i> . Nonlinear Anal., 47, no. 5, 3195-3206 (2001)	A
Ken Shirakawa	Stability for a solid-liquid phase transition model in a mesoscopic scale	<i>Mathematical Aspects of Modelling Structure Formation Phenomena</i> , GAKUTO Internat. Ser. Math. Sci. Appl., 17, Gakkotosho, Tokyo, 130-143 (2002)	A
Takanobu Okazaki*, Atsushi Kadoya* and Ken Shirakawa	Some numerical simulations for the asymptotic convergence of phase transition models	<i>Mathematical Aspects of Modelling Structure Formation Phenomena</i> , GAKUTO Internat. Ser. Math. Sci. Appl., 17, Gakkotosho, Tokyo, 306-322 (2002)	A
Ken Shirakawa	Asymptotic convergence of p-Laplace equations with constraint as p tends to 1	Math. Methods Appl. Sci., 25, no. 9, 771-793 (2002)	A
Ken Shirakawa	Structure of the solution flow for steady-state problems of one-dimensional Frémond models of shape memory alloys,	<i>Elliptic and parabolic problems (Rolduc/Gaeta, 2001)</i> , World Sci. Publishing, River Edge, NJ, 263-273 (2002)	A
Nobuyuki Kenmochi* and Ken Shirakawa	Stability for a phase field model with the total variation functional as the interfacial energy	Nonlinear Anal., 53, no. 3-4, 425-440 (2003)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Ken Shirakawa	Asymptotic stability for dynamical systems associated with the one-dimensional Frémond model of shape memory alloys	<i>Dynamical systems and differential equations (Wilmington, NC, 2002)</i> . Discrete Contin. Dyn. Syst., 798-808 (2003)	A
Ken Shirakawa and Ulisse Stefanelli*	Structure result for steady-state solutions of a one-dimensional Frémond model of SMA	Phys. D, 190, no. 3-4, 190-212 (2004)	A
Ken Shirakawa	Stability for steady-state solutions of a nonisothermal Allen-Cahn equation generated by a total variation energy	<i>Nonlinear partial differential equations and their applications</i> , GAKUTO Internat. Ser. Math. Sci. Appl., 20, Gakkotosho, Tokyo, 289-304 (2004)	A
Pierluigi Colli* and Ken Shirakawa	Attractors for the one-dimensional Frémond model of shape memory alloys	Asymptot. Anal., 40, no. 2, 109-135 (2004)	A
T. Arai	Proof theory for theories of ordinals I: Π_3 -Reflection	Annals of Pure and Applied Logic, 129, 39-92 (2004)	A
T. Arai	Wellfoundedness proofs by means of non-monotonic inductive definitions I: Π^0_2 -operators	Journal of Symbolic Logic, 69, 830-850 (2004)	A
T. Arai and G. Moser*	A note on a term rewriting characterization of PTIME	Journal of Symbolic Logic, 69, 830-850 (2004)	C
Hiroataka Kikyo and Saharon Shelah*	The strict order property and generic automorphisms	Journal of Symbolic Logic, 67(1), 214-126 (2002)	A
Hiroataka Kikyo and Anand Pillay*	The definable multiplicity property and generic automorphisms	Annals of Pure and Applied Logic, 106(1-3), 263-273 (2000)	A
Hiroataka Kikyo	Model companions of theories with an automorphism	Journal of Symbolic Logic, 65(3), 1215-1222 (2000)	A
Hiroataka Kikyo	On the groups with homogeneous theory	Tsukuba Journal of Mathematics, 22(2), 551-557 (1998)	A
Hiroataka Kikyo and Akito Tsuboi*	On reduction properties	Journal of Symbolic Logic, 59(3), 1215-1222 (1994)	A
Hiroataka Kikyo	On generic predicates and the amalgamation property for automorphisms	Proc. Sch. Sci., Tokai Univ, 40, 19-24 (2005)	D
桔梗宏孝, 板井昌典*, 大矢建正*, 花澤正純*	差分パズル	東海大学教育研究所紀要, 10, 1-14 (2003)	D
Jorg Brendle and Shunsuke Yatabe	Forcing indestructibility of MAD families	Annals of Pure and Applied Logic, 132(2-3), 271-312 (2005)	A
Shunsuke Yatabe	A note on Hajek, Paris and Shepherdson's theorem	Logic Journal of IGPL, 13(2), 261-266 (2005)	A
Miki, H*, Kakuda, Y. and Kikuchi, M	Mathematical Analysis of Information Flows in Design and Education	Proceedings of International Design Conference - Design 2004 (2004)	B
三木大史*, 菊池誠, 角田譲	教育方法論の2つの系譜に対応する2種類の設計論について	Design Symposium 講演論文集, 169-172 (2004)	C
Jorg Brendle	Recent developments in iterated forcing theory	Classical and New Paradigms of Computation and their Complexity Hierarchies, Trends in Logic (Kluwer) (132), 47-60 (2005)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
J. Brendle, L. Halbeisen* and B. Lowe*	Silver measurability and its relation to other regularity properties	Mathematical Proceedings of the Cambridge Philosophical Society, 138, 135-149 (2005)	A

学術論文(レフェリー無し)(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
貝原俊也, 藤井進	分散型仮想工場を用いたコストベース生産管理の一提案	電気学会情報システム研究会資料, IS-04-53, pp. 19-24 (2004)
貝原俊也	システム工学を活用した物流/SCMの最適化, 第一回: 物流/SCMとシステム工学との関わり	ロジスティクス クロニクル, 第58号 (2004年3/15号), (2004)
貝原俊也	システム工学を活用した物流/SCMの最適化, 第二回: サプライチェーンと計算機シミュレーション	ロジスティクス クロニクル, 第60号 (2004年4/5号), (2004)
貝原俊也	システム工学を活用した物流/SCMの最適化, 第三回: シミュレーションによる特性解析と運用支援	ロジスティクス クロニクル, 第62号 (2004年4/26号), (2004)
平林直樹*, 貝原俊也	編集後記「本総合特集号を企画して」	システム制御情報学会, Vol. 48, No. 6, pp. 226 (2004)
貝原俊也	解説論文「新生産システム」	日本機械学会誌, Vol. 107, No. 1029, pp. 646-647 (2004)
貝原俊也	解説論文「サプライチェーンにおける企業間交渉戦略へのマルチエージェント技術の適用」	人工知能学会誌, Vol. 19, No. 5, pp. 579-586 (2004)
Hiroataka Kikyo	On generic predicates and automorphisms	数理解析研究所講究録1390, 1-8 (2004)
桔梗宏孝, 坪井明人*, Ehud Hrushovski*	PAPAをもたない理論	数理解析研究所講究録1344, 11-15 (2003)
桔梗宏孝	不安定構造のGeneric自己同型写像	数理解析研究所講究録1213, 19-27 (2001)
Jorg Brendle	There is an independent splitting family	数理解析研究所講究録1360, 81-87 (2004)

学術著書 (2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術著書名	発行所 (年)	備考
玉置 久	オペレーションズ・リサーチ	オーム社 (2004)	分担執筆 (第2章, 第6章, 第7章)
Toshiya Kaihara, Susumu Fujii	Virtual Enterprise Integration	IDEA GROUP PUBLISHING (2005)	分担執筆 (第13章)
Toshiya Kaihara	Evolution of Supply Chain Management - Symbiosis of Adaptive Value Networks and ICT	Kluwer Academic Publishers (2005)	分担執筆 (Part 4)
貝原俊也	オペレーションズ・リサーチ - シス テムマネジメントの科学 -	オーム社 (2004)	編著者
Ken Shirakawa	Stability theory for phase transition models	Chiba University (2001)	学位論文: 博士 (理学)
難波完爾*, 土居範久*監訳, 飯島正*, 小野寺民也*, 桔梗 宏孝, 志村立矢*, 高橋真 訳	コンピュータのための数学 論理的 アプローチ	(株) 日本評論社 (2001)	(分担翻訳) 第1～5章を担当
桔梗宏孝	応用論理 (情報数学講座1)	共立出版(株) (1996)	

学術報告(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
吉村武晃, 的場 修	光コヒーレンス・トモグラフィーと麻酔針の位置決めへの応用	O plus E, Vol. 27, No. 1, pp. 36-41 (2005).
玉置 久	情報場におけるインタラクションをベースとした創発的問題解決システムに関する研究	科学研究費補助金(基盤研究(C), 平成15-16年度)研究成果報告書(2005)
藤井進	ものづくりにおける企業競争力—IT化とコスト指向性	システム/制御/情報 生産システムの新たな展開特集号, ()
藤井進, 貝原俊也, 宇都宮拓真, 村木俊之	変種変量生産システムの構築・運用方法の研究開発—矩形配置機械群の自律的運用機能—	2004年度IMS研究成果講演論文集, p. 115-118 (2004)
藤井進 他	生産方式の変革とそれに対応する個別加工技術の高度化に関する動向調査 報告書	日本機械工業連合会, 日本産業技術振興協会, (2005)
貝原俊也	マルチエージェントによる企業間商取引システムの一提案	電気学会技術報告書: 最適化手法の新展開とその産業応用, 第983号, pp. 140-146 (2004)
共著(貝原俊也, 他)	電気学会技術報告書983号 最適化手法の新展開とその産業応用	(社)電気学会, (2004)
貝原俊也, 藤井進	複雑系経済学に基づく人工市場に関する研究	精密工学会総合生産システム専門委員会2003年度活動報告書, pp. 15-28, (2004)
貝原俊也, 渡部透	サイバネティック・フレキシブル・オートメーション(CFA)研究分科会2003年度活動報告	システム制御情報学会誌, Vol. 48, No. 7, pp. 276 (2004)
貝原俊也	複雑系仮想市場を用いた企業間商取引の一方法論に関する研究	平成14~16年度科学研究補助費(基盤研究C(2))研究成果報告書, (2005)
鍵山善之, 中本将彦*, 高尾正樹*, 佐藤嘉伸*, 菅野伸彦*, 吉川秀樹*, 田村進一*, 赤澤堅造*, 多田幸生	CTデータを用いた自動人工股関節手術計画システム "AutoImPlan"における臼蓋カップサイズと設置位置の自動決定	電子情報通信学会技術研究報告, 104-88, p. 7-12 (2004-5)
浦久保孝光, 土屋和雄*	一次可制御構造を持つ非ホロノミックシステムの制御	システム/制御/情報, 49(1), p. 20-25 (2005-1)
花原和之, 多田幸生	ワイヤ駆動VGTのアクチュエータ配置について	宇宙構造・材料シンポジウム(第20回), 宇宙航空研究開発機構, p. 62-65 (2005-3)
藤崎泰正	現代制御 — 状態空間表現に基づくシステム解析と制御系設計	システム制御情報チュートリアル講座 2004 テキスト, 状態空間表現に基づく制御 - 現代制御からロバスト制御まで, 1-30 (2004)
藤崎泰正	ロバスト制御系設計のためのランダム化ドアルゴリズム - 確率的勾配法と確率的楕円体法	日本鉄鋼協会計測・制御・システム工学部会シンポジウムテキスト, プロセス制御理論の新潮流, 25-34 (2004)
藤崎泰正	入出力データ空間におけるシステム表現と制御方式	計測と制御, 44(2), 92-96 (2005)
平田敏也, 上原邦昭	負荷分散機構を導入した時系列マルチストリームの並列データマイニング	情報処理学会, ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム(HPCS2005), pp. 9-16 (2005).

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
小林清孝, 伴好弘, 上原邦昭	ウェアラブルARシステムのための自立型位置追跡装置と二次元マーカとを併用した三次元位置軌跡取得手法	電子情報通信学会技術研究報告 vol. 104 No. 572 PRMU2004, pp. 25-30 (2005).
寺前雄亮, 伴好弘, 上原邦昭	複合現実感を利用した机上コラボレーションシステムの開発	電子情報通信学会技術研究報告 vol. 104 No. 572 PRMU2004, pp. 1-6 (2005).
安村禎明, 折本勝則*, 馬場口登*, 北橋忠宏*	超二次曲面による三次元形状の帰納学習に関する一考察	電子情報通信学会技術研究報告, PRU94-122 (1995).
折本勝則*, 安村禎明, 馬場口登*, 北橋忠宏*	三次元物体を対象とするクラス共通の分割法	電子情報通信学会技術研究報告, PRU95-177 (1995).
折本勝則*, 安村禎明, 馬場口登*, 北橋忠宏*	全周型レンジデータからの物体部品構成モデルの獲得	電子情報通信学会技術研究報告, PRU96-158 (1997).
新田克己*, 山崎亮*, 鬼頭隆*, 安村禎明	ネットワーク環境における交渉支援ツール	電子情報通信学会技術研究報告, OFS98-19, AI98-28 (1998).
山崎亮*, 鬼頭隆*, 安村禎明, 新田克己*	交渉支援システムの手段選択のための評価法について	情報処理学会研究報告, ICS-114 (1998).
鬼頭隆*, 増塩智宏*, 安村禎明, 新田克己*	状態遷移モデルを用いた交渉会話のシミュレーション	情報処理学会研究報告, ICS-117-3 (1999).
増塩智宏*, 安村禎明, 新田克己*	エージェント間交渉におけるグループ編成の学習	人工知能学会研究会資料, SIG-FAI-9903-5 (1999).
佐藤陽一*, 安村禎明, 新田克己*	ゲーム理論に基づく交渉支援システムのエージェント化	人工知能学会研究会資料, SIG-FAI-9903-6 (1999).
湯浅将英*, 安村禎明, 新田克己*	交渉における生理情報の分析	人工知能学会研究会資料, SIG-FAI-9903-13 (1999).
安村禎明, 新田克己*	モノポリーゲームにおける交渉エージェントに関する一考察	MACC' 99 (1999).
新田克己*, 山田誠二*, 安村禎明	契約を支援する交渉エージェントの基本機能	人工知能学会研究会資料, SIG-KBS-9903-8 (2000).
新田克己*, 安村禎明	交渉支援ツールによる多面交渉の実現	人工知能学会研究会資料, SIG-KBS-A001-4 (2000).
小口邦彦*, 湯浅将英*, 安村禎明, 新田克己*	モノポリーにおける交渉のシミュレーション	人工知能学会研究会資料, SIG-FAI-A003-14 (2000).
鈴木佐知子*, 安村禎明, 新田克己*	事例を用いた秘書業務の支援システム	人工知能学会研究会資料, SIG-KBS-A003-6 (2000).
中務保志*, 安村禎明, 新田克己*	ネット上の交渉を支援するエージェント	人工知能学会研究会資料, SIG-KBS-A003-7 (2000).
中原典男*, 安村禎明, 新田克己*	エージェントによる3次元部品構成のモデル生成	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2000-138 (2000).
湯浅将英*, 安村禎明, 新田克己*	擬人化エージェントを用いた交渉戦略	人工知能学会研究会資料, SIG-KBS-A004-16 (2001).
武市雅司*, 安村禎明, 新田克己*	論文からのプレゼンテーション資料の作成支援	人工知能学会研究会資料, SIG-FAI/KBS-J-28 (2001).
村松正彦*, 安村禎明, 新田克己*	判決文の論理構造のタグ付けツール	人工知能学会研究会資料, SIG-KBS-A104-01 (2002).
湯浅将英*, 安村禎明, 新田克己*	交渉エージェントのための表情表出アーキテクチャ	情報処理学会研究報告, 2002-ICS-130-12 (2002).

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
越智啓之*, 安村禎明, 新田克己*	分析問題作成支援システム	情報処理学会研究報告, GE-67-12 (2002).
徐劍鋒*, 安村禎明, 新田克己*	生物DB統合のためのオントロジーと統合検索システムの試作	電子情報通信学会技術研究報告, KBSE2002-26 (2003).
田中貴紘*, 安村禎明, 新田克己*	仲介エージェントを用いた論争支援システム	電子情報通信学会技術研究報告, KBSE2002-39 (2003).
湯浅将英*, 安村禎明, 新田克己*	交渉における擬人化エージェントの表情戦略	人工知能学会研究会資料, 第62回 知識ベースシステム研究会 (SIG-KBS) 合同エージェントワーク ショップ&シンポジウム 2003 (JAWS-2003), (2003).
安村禎明, 湯浅将英*, 新田克己*	オンライン調停における調停者エージェントの表情表出	ベジアンネット 세미나 2003 (BN2003), (2003).
山本浩司*, 安村禎明, 片上大輔*, 新田克己*, 相場亮*, 宮城政雄*, 桑田仁*	投稿情報に基づく地図 上の情報推薦システム	電子情報通信学会スマートインフォ メディアシステム研究会, 日本知 能情報ファジィ学会ヒューマンイン タフェース研究部会, (2004).
片上大輔*, 大村英史*, 安村禎明, 新田克己*	ヒューマンエージェント インタラクションにおける社会性 の実現に向けて	合同エージェントワー クショップ & シンポジウム (Joint Agent Workshops & Symposium (JAWS)), (2004).
島崎健二, 永田真, 奥本健, *平野将三, *辻川洋行	高速ウェル制御回路のダイナミック電源・ウェルノイズの測 定および解析方法	電子情報通信学会技術報告 ICD2004-103, pp. 35-40, 2004. 09.
大野修治, 福水洋平, 永田真, 瀧和男	TD-CDMAによる輻輳制御を用いたRFID向けトランスポンダの IC設計と評価	電子情報通信学会技術報告 ICD2004-138, pp. 19-24, 2004. 12.
森本薫夫, 永田真, 瀧和男	非対称な信号遷移を用いた高速論理回路方式	電子情報通信学会技術報告 ICD2004-139, pp. 25-30, 2004. 12.
Chikara Ohta, *Zihui Ge, *Yang Guo, and *Jim Kurose	Index-Server Optimization for P2P File Sharing in Mobile Ad Hoc Networks	2004
春木 茂*, 中桐 信一	Partial difference functional equations arising from the Cauchy-Riemann equations	数理解析研究所講究録, 1372, 90-96 (2004)
Jito Vanualailai* and Shin-ichi Nakagiri	Exponential and non-exponential convergence of solutions in some classes of nonlinear systems with application to neural networks	数理解析研究所講究録, 1372, 144-150 (2004)
Shin-ichi Nakagiri and Junhong Ha*	Identification problems for nonlinear perturbed sine-Gordon equations	数理解析研究所講究録, 1372, 169-175 (2004)
Junhong Ha*, Jito Vanualailai* and Shin-ichi Nakagiri	A collision avoidance and attraction problem of a vehicle	数理解析研究所講究録, 1372, 176-182 (2004)
Shin-ichi Nakagiri and Jinsoo Hwang	Optimal control problems for semilinear second order Volterra integro-differential equations in Hilbert space	Proceedings of the 8th Int. Conf. on NFAA, 52-54 (2004)
Jinsoo Hwang and Shin-ichi Nakagiri	Boundary control problems for viscoelastic systems with long memory	数理解析研究所講究録, 1372, 183-189 (2004)
Sigeru Haruki* and Shin-ichi Nakagiri	ペキンダー化された波動型偏差分関数方程式と関連する関数 方程式	京都大学数理解析研究所集会「関数 方程式と複雑系」予稿集, 7-10 (2005).

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
Jinsoo. Hwang and Shin-ichi Nakagiri	Optimal control problems for the equation of motion of membrane with strong viscosity	日本数学会2005年春季総会 応用数学科分科会講演報告報告集, 176-179 (2005)
Jinsoo. Hwang and Shin-ichi Nakagiri,	長期の非線形記憶を持つ粘弾性体方程式に対する最適制御問題	京都大学数理解析研究所集会「関数方程式と複雑系」予稿集, 10-12 (2005).
白川 健, 伊藤 昭夫*, 山崎 教昭*, 剣持 信幸*	Asymptotic stability for evolution equations generated by time dependent subdifferentials	第19回発展方程式若手セミナー報告集, 48-54 (1998)
白川 健, 剣持 信幸*	Attractors for phase separation models with viscosity term	第20回発展方程式若手セミナー報告集, 92-97, (1998)
白川 健	Doubly nonlinear asymptotically periodic systems and some applications	第24回発展方程式研究会報告集, 1-4 (1999)
白川 健, 剣持 信幸*	相転移問題に現れる変分問題と解の構造	変分問題とその周辺, 98-118, 京都大学数理解析研究所講究録, 1117 (1999)
白川 健, 剣持 信幸*	相転移現象の定常問題に現れる変分問題とその解の構造	第21回発展方程式若手セミナー報告集, 92-97 (1999)
白川 健, 剣持 信幸*	有界変分汎関数の劣微分作用素を含む放物型発展方程式の安定性	非線形発展方程式とその応用, 91-109, 京都大学数理解析研究所講究録, 1135 (2000)
白川 健, 剣持 信幸*	2重非線型力学系のアトラクターとその構造	第25回発展方程式研究会報告集, 1-4 (2000)
白川 健, 剣持 信幸*	ある相転移問題の解の安定性	第22回発展方程式若手セミナー報告集, 89-95 (2000)
岡崎 貴宣*, 角谷 敦*, 白川 健	p-ラプラシアンを含む楕円型方程式の数値計算とその極限の考察	第22回発展方程式若手セミナー報告集, 75-81 (2000)
岡崎 貴宣*, 角谷 敦*, 白川 健	Some numerical simulations for the asymptotic convergence of phase transition model	第26回発展方程式研究会報告集, 1-4 (2001)
白川 健, 木村 正人*	全変動汎関数に支配される放物型方程式に対する局所安定性	第24回発展方程式若手セミナー報告集, 48-67 (2003)
Ken Shirakawa	Interfacial energies in two dimensional phase field models and related variational problems	<i>Variational Problems and Related Topics</i> , Surikaiseikikenkyusho Kokyuroku, 1347, 73-95 (2003)
白川 健	全変動流を含む非等温系相転移モデルと2次元定常解の安定性	第25回発展方程式若手セミナー報告書, 191-197 (2004)
桔梗宏孝	ACFAとManin-Mumford予想	数理解析研究所講究録1283, 21-26 (2002)
桔梗宏孝	複素多様体のモデル理論	数理解析研究所講究録1213, 55-61 (2001)
桔梗宏孝	Geometric Mordell-Lang Conjecture ロジックと代数幾何—モデル・ラング予想をめぐって—	平成10年~12年度文部省科学研究費基盤研究(A)(2) 報告書, 37-48 (2000)
桔梗宏孝	モデルと構造	数学セミナー(日本評論社)1996年4月号~ 1997年3月号連載

学術講演(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
Liang Jing, Nobuyuki Kaya	Power Distributions on Transmitting Antenna of SPS in Consideration for Side Lobe Levels	4th International Conference on Solar Power from Space, 2004
Masashi Iwashita, Nobuyuki Kaya	The Total Working Model of the Sandwich SPS	4th International Conference on Solar Power from Space, 2004
N. Kaya, M. Iwashita, S. Nakasuka*, L. Summerer*, J. Mankins*	Crawling Robots on Large Web in Rocket Experiment on Furoshiki Deployment	55th International Astronautical Congress, 2004
的場 修, 仁田功一, 吉村武晃	デジタルホログラフィーによる3次元物体の高速記録・位相情報再生	第65回応用物理学会学術講演会講演予稿集p. 901(2004).
大松雄次, 曾原健吾, 峯本 工, 黒田 輝, 千田道雄, 的場 修, 吉村武晃	相関関数四量子化法ならびに位相相関法を用いた画質の異なる画像間でのレジストレーション	第32回日本磁気共鳴医学会大会講演抄録集, p. 276 (2004).
唐錦 健, 仁田功一, 的場 修, 吉村武晃, 藤浪芳子	共焦点型光ファイバー蛍光センサ	日本光学会年次学術講演会 講演予稿集, pp. 118-119 (2004).
斉藤琢磨, 的場 修, 仁田功一, 吉村武晃	量子情報処理に基づく物体認識	日本光学会年次学術講演会 講演予稿集, pp. 224-225 (2004).
横浜由二, 的場 修, 仁田功一, 吉村武晃	空間シフト多重記録とランダム位相多重記録とによる反射型ホログラフィックメモリ	第52回応用物理学関係連合講演会予稿集, p. 1143 (2005).
瀧澤由佳子, 北川洋一, 田代尚平, 的場 修, 吉村武晃	視線入力デバイスのための透過型ホログラフィック光学素子の結像特性	第52回応用物理学関係連合講演会講演予稿集, p. 1146 (2005).
仁田功一, 斉藤琢磨, 的場 修, 吉村武晃	量子情報処理に基づくノイズを含む文字認識	第52回応用物理学関係連合講演会講演予稿集, p. 1147 (2005).
村田純一, 玉置 久, 村尾 元, 北村新三	シミュレーションに基づくクレーン操業計画問題のメタヒューリスティック解法	第48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
鈴木智之, 村尾 元, 玉置 久, 北村新三	二足歩行ロボットの転倒回避動作に基づく歩行運動の実現	第48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
永吉雅人, 村尾 元, 玉置 久, 北村新三	状態のフィルタリングを考慮した強化学習方式	第48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
高口雄介, 稲元 勉, 玉置 久, 村尾 元, 北村新三	遺伝的機械学習に基づくエレベータ運行ルールの獲得方法	第48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
森石寛之, 玉置 久, 村尾 元, 北村新三	遺伝的機械学習による自走型模型自動車の操舵ルールの獲得	第48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
井本考亮, 榊原一紀, 玉置 久, 村尾 元, 北村新三	プロダクトミックス最適化問題の数理モデル化と解法	第48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
谷垣啓太, 村尾 元, 玉置 久, 北村新三	強化学習による三次元モデルでのRCヘリコプタの制御	第48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
杉江朋実, 村尾 元, 玉置 久, 北村新三	AIBOの歩行パターン設計への強化学習の適用	第48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
永吉雅人, 村尾 元, 玉置 久, 北村新三	高次元連続状態空間の強化学習における状態フィルタの適応的獲得	平成16年電気学会電子・情報・システム部門大会 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
榊原一紀*, 野一色 学*, 渡辺真也*, 西川郁子*, 玉置 久	Pickup and Delivery 問題の数理計画モデルとメタヒューリスティック・アプローチ	第4回システム制御情報学会 CFAシンポジウム (2004)
玉置 久, 榊原一紀, 北村新三, 梅田豊裕*	プロダクトミックス最適化問題の線形計画モデルー定式化と解法ー	第4回システム制御情報学会CFAシンポジウム (2004)
玉置 久, 榊原一紀, 北村新三, 梅田豊裕*	プロダクトミックス最適化問題の数理計画モデルー線形計画問題への定式化と解法ー	スケジューリング・シンポジウム 2004 (2004)
松本卓也, 玉置 久, 村尾 元, 北村新三, 前田和男*	高速道路交通の自律分散型シミュレーション・モデルと意思決定	第17回計測自動制御学会自律分散システム・シンポジウム (2005)
永吉雅人, 村尾 元, 玉置 久, 北村新三	強化学習における状態フィルタの適応的獲得ーマルチエージェント問題への適用	第17回計測自動制御学会自律分散システム・シンポジウム (2005)
榊原一紀*, 野一色 学*, 渡辺真也*, 西川郁子*, 玉置 久	Pickup and Delivery問題の数理モデル化と遺伝的アルゴリズムに基づく解法	第32回計測自動制御学会知能システム・シンポジウム (2005)
劉 瑜, 稲元 勉, 玉置 久, 村尾 元, 北村新三	自己組織化マップと遺伝的機械学習に基づくエレベータ運行ルールの構成・獲得方法	第32回計測自動制御学会知能システム・シンポジウム (2005)
小林太, 新納啓輔, 福井航, 小島史男	階層型ファジィ推論を用いた知的移動ロボットのためのセンサ融合システム	第48回システム制御情報学会研究発表講演会 (2004)
小林太, 松井洋, 小島史男	ロボット遠隔操作のための環境変化に対応した環境提示システム	ロボティクス・メカトロニクス講演会2004 (2004)
橋本節雄*, 小島史男, 久保田直行*	疑似生態系におけるエージェントの進化	KES国際会議日本支部主催講演会 (2004)
藤井進, 貝原俊也, 指尾健太郎, 杉森光洋, 梅田豊裕	大規模工場における生産スケジューリング法のコスト指標に基づく性能評価	第48回システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集 (2004)
指尾健太郎, 藤井進, 貝原俊也	製品コストを指標とする生産システムの運用法に関する基礎研究	第48回システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集 (2004)
He Bai, Susumu Fujii, Toshiya Kaihara	A Study on Implementing Automated Model Updating for Manufacturing System Simulation	第48回システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集 (2004)
藤井進, 貝原俊也, 関俊哉	格子型機械配置生産システムにおける専用化・汎用化による自律的ライン再構成に関する研究	第48回システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集 (2004)
貝原俊也, 藤井進, 吉村徳泰	市場規模の動的変化を考慮した市場指向プログラミングの特性評価	第48回システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集 (2004)
張小明, 藤井進, 貝原俊也	工具室を考慮したFMSにおける工具計画法に関する研究ー工具衝突削減法に対する考察ー	第48回システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集 (2004)
貝原俊也, 藤井進, 高木正仁	不完全競争市場における市場指向プログラミングの特性評価ー完全競争市場との比較	日本機械学会生産システム部門講演会2004講演論文集 (2004)
貝原俊也, 藤井進	環境適応型知的人工システムの構築に向けて ～企業間商取引・SCMと複雑系システム	日本機械学会生産システム部門講演会2004講演論文集 (2004)
張小明, 藤井進, 貝原俊也	バッファ制約を考慮したFMSにおけるスケジューリング手法に関する研究	日本機械学会生産システム部門講演会2004講演論文集 (2004)
指尾健太郎, 藤井進, 貝原俊也	製品コストに着目した生産システム運用法の試みー分散仮想工場における基礎実験	日本機械学会生産システム部門講演会2004講演論文集 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
藤井進, 貝原俊也, 藤本智子	格子型機械配置生産システムにおける自律的レイアウト創生に関する研究—レイアウト創生機能の性能評価—	精密工学会2004年度関西地方定期学術講演会講演論文集(2004)
国領大介, 黒田輝, 鈴木恭平, Keserci Bilgin, 熊本悦子, 藤井進	自己参照型差分法を用いた温度計測の定量性	第32回日本磁気共鳴医学会大会抄録集(2004)
Keserci Bilgin, 国領大介, 熊本悦子, 松岡雄一郎, 黒田輝	Self-Referenced based MR Temperature Imaging Feedback System for liver Thermal Ablations	第32回日本磁気共鳴医学会大会抄録集(2004)
杉森光洋, 藤井進, 貝原俊也, 指尾健太郎, 梅田豊裕	分解型生産システムにおける生産管理のコスト基準特性評価	2004 年度精密工学会秋季大会学術講演会講演論文集(2004)
指尾健太郎, 藤井進, 貝原俊也	コスト基準スケジューリングに関する基礎研究	2004 年度精密工学会秋季大会学術講演会講演論文集(2004)
関俊哉, 藤井進, 貝原俊也, 指尾健太郎	格子型機械配置生産システムにおける自律的ライン再構成に関する研究	2004 年度精密工学会秋季大会学術講演会講演論文集(2004)
松岡雄一郎, 黒田輝, 熊本悦子, 斉藤明人, 峯 泰治, 柴崎隆男, 森康洋, Bilgin Keserci	病変組織深達度診断のための内視鏡-MRシステム	第32回日本磁気共鳴医学会大会抄録集(2004)
森康洋, 松岡雄一郎, 黒田輝, 熊本悦子, Bilgin Keserci, 藤井進	傾斜磁場を用いたMR内視鏡位置姿勢検出法の基礎検討	第32回日本磁気共鳴医学会大会抄録集(2004)
貝原俊也, 藤井進	社会科学型マルチエージェントシステムによるパレート最適解導出への取り組み	平成16年電気学会産業応用部門大会講演論文集(2004)
指尾健太郎, 藤井進, 貝原俊也	コスト指標スケジューリングの効用に関する研究	スケジューリングシンポジウム2004講演論文集(2004)
貝原俊也, 藤井進, 高木正仁	資源配分問題に対する不完全競争市場を用いた均衡解導出法の一提案～資源集約型産業を対象に	第四回サイバネティック・フレキシブル・オートメーション・シンポジウム講演論文集(2004)
張小明, 藤井進, 貝原俊也	FMSにおける工具・ジョブ配分計画法及びスケジューリング手法に関する研究—需要変化に対する特性評価	第四回サイバネティック・フレキシブル・オートメーション・シンポジウム講演論文集(2004)
貝原俊也, 藤井進, 浜口賢一	市場規模が変動する完全競争市場を対象とした市場指向プログラミングの適用	計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会2004講演論文集(2004)
指尾健太郎, 藤井進, 貝原俊也	グローバル生産環境下におけるコストベーススケジューリングに関する研究	自動制御連合講演会(2004)
貝原俊也, 藤井進, 酒井唯史	Particle Swarm Optimization の基本特性解析～速度パラメータと最適性	SICE関西支部学生研究発表会講演論文集(2005)
藤井進, 貝原俊也, 岡田勇樹, 彦坂充宏	セット受注製品の効率的生産方式に関する基礎研究	SICE関西支部学生研究発表会講演論文集(2005)
貝原俊也, 藤井進, 松永祐樹	市場指向プログラミングの生産スケジューリング問題への適用	SICE関西支部学生研究発表会講演論文集(2005)
杉森光洋, 藤井進, 貝原俊也, 指尾健太郎, 梅田豊裕 (神戸製鋼所)	生産システム運用効率のコスト基準評価に関する実験的考察—分散型生産に対する押し出し型管理法の適用—	2005年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集(2005)
指尾健太郎, 藤井進, 貝原俊也	分散仮想工場を用いたAPS方式の特性評価に関する研究	2005年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集(2005)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
貝原俊也, 藤井進, 高木正仁	資源分配問題のマルチエージェント型仮想市場を用いた一解法～寡占市場的アプローチ	2005年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集(2005)
貝原俊也, 藤井進, 高木正仁	寡占環境下における仮想市場の一提案	第35回 SICEシステム工学会研究会「エージェントベース社会システム科学の創出」(2005)
関俊哉, 藤井進, 貝原俊也, 指尾健太郎	格子型機械配置生産システムのオークションベース運用法—AGV, パレットの運用—	2005年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集(2005)
貝原俊也	グローバル生産環境下における生産管理のための意思決定プラットフォーム	SICE/JSME共催 統合知能メカトロニクス講演会・見学会(2004)
貝原俊也	社会的なエージェント集団による最適化への一試み～仮想市場	電気学会産業応用部門最適化手法の新展開とその産業応用調査専門委員会(2004)
貝原俊也	グローバル生産環境下における企業経営～SCM・VE	鳥取大学MOT実践プログラム(第7回)(2005)
国領大介, 黒田輝, 鈴木恭平, Keserci Bilgin, 熊本悦子, 藤井進	自己参照型差分法を用いた温度計測の定量性	日本磁気共鳴医学会雑誌(2004)
熊本悦子, 西藤和夫, 安部久志, 松岡雄一郎, Bilgin Keserci, 黒田輝, 松井洋介, 三橋浩, 藤井進	Gd-DTPA錯体ポリマー組成物によるIVR用MRマーカの開発	日本磁気共鳴医学会雑誌(2004)
鍛冶鉄兵, 黒田輝, 竹井直行, 熊本悦子, 藤井進	前立腺鑑別診断支援のためのMRスペクトル解析プログラムの開発	第13回日本コンピュータ外科学会第14回コンピュータ支援画像診断学会大会合同論文集(2004)
多田幸生, 川田佑介	文字かすれに注目する古典毛筆文字の解析	第48回システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集, p. 537-538 (2004-5)
浦久保孝光, 大熊賢治, 多田幸生	障害物回避を含む二輪移動ロボットのフィードバック制御	計測自動制御学会第4回制御部門大会, p. 561-566 (2004-5)
Yoshiyuki Kagiya, Masahiko Nakamoto*, Masaki Takao*, Yoshinobu Sato*, Nobuhiko Sugano*, Hideki Yoshikawa*, Yukio Tada, Shinichi Tamura*	Automated Preoperative 3D Planning of Acetabular Cup Positioning and Size Selection in Total Hip Arthroplasty Using CT Data	The Fourth Annual Conference of the International Society for Computer Assisted Orthopaedic Surgery, CAOS-2004, Chicago, USA, Poster83, (2004-6)
Kenji Okuma, Takateru Urakubo and Yukio Tada	Lyapunov Control of a Two Wheeled Mobile Robot in the Presence of Obstacles	The 2004 Japan-USA Symposium on Flexible Automation, Denver, USA, (2004-7)
Shigeki Takase, Kazuyuki Hanahara and Yukio Tada	Generating Robot Arm Motion by Observing Human Arm Motion (An Inverse-Problem Approach)	The 2004 Japan-USA Symposium on Flexible Automation, Denver, USA, (2004-7)
Yukio Tada and Hidenori Matsushita*	Robot Arm Control with Visual Information	The 2004 Japan-USA Symposium on Flexible Automation, Denver, USA, (2004-7)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
Yoshimasa Takashima and Yukio Tada	A Method of Face Detection in Color Images with Low Performance MPU	The 2004 Japan-USA Symposium on Flexible Automation, Denver, USA, (2004-7)
鍵山善之, 中本将彦*, 高尾正樹*, 佐藤嘉伸*, 菅野伸彦*, 赤澤 堅造*, 吉川秀樹*, 多田幸生, 田村進一*	3次元自動手術計画システムにおける臼蓋形状に基づくカッブ自動設置	第23回医用画像工学会大会 (JAMIT ANNUAL Meeting 2004), 第23回医用画像工学会大会抄録集, P1-31, p. 1-9 (2004-8)
花原和之	「抽象と具象」「ソフトウェアとハードウェア」の実験・演習教育	日本機械学会関西支部第5回秋季技術交流フォーラム, (2004-10)
花原和之, 多田幸生	ワイヤ駆動VGTのアクチュエータ配置について	第20回宇宙構造・材料シンポジウム, (2004-10)
高島善政, 多田幸生	ハードウェア化に適したラベリング処理の一手法	システム制御情報学会第4回サイバネティック・フレキシブル・オートメーション・シンポジウム講演論文集, p. 47-50 (2004-10)
Kazuyuki Hanahara and Yukio Tada	Variable Geometry Truss Actuated by Wire Members: Basic Consideration on Practical Actuation Mechanism	The 15th International Conference on Adaptive Structures & Technologies, ICAST 2004, Bar Harbor, Maine, USA, (2004-10)
Takateru Urakubo, Kenji Okuma and Yukio Tada	Feedback Control of a Two Wheeled Mobile Robot with Obstacle Avoidance Using Potential Functions	2004 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems, Conference Digest IROS 2004, p. 134 FP2-C1, (2004-10)
浦久保孝光, 土屋和雄*, 多田幸生	一次可制御な非ホロノミックシステムのフィードバック制御—4入力系の可制御性と安定化—	第33回制御理論シンポジウム, p. 363-366 (2004-11)
大野智士, 花原和之, 多田幸生	自己相似トラス構造の再帰的最適設計～プロセッサグループ分割法による並列計算～	日本機械学会第17回計算力学講演会, 日本機械学会講演論文集, No. 04-40, p. 251-252 (2004-11)
鍵山善之, 中本将彦*, 高尾正樹*, 佐藤嘉伸*, 菅野伸彦*, 吉川秀樹*, 多田幸生, 赤澤堅造*, 田村進一*	3D-CT画像を用いた骨形状に基づく人工股関節手術計画自動立案システム” AutoImPlan”	日本機械学会第14回設計工学・システム部門講演会, 日本機械学会講演論文集, No. 04-38, p. 302-305 (2004-11)
花原和之, 多田幸生	トラス構造物の再帰的最適設計における座屈の考慮について	日本機械学会第14回設計工学・システム部門講演会, 日本機械学会講演論文集, No. 04-38, p. 93-94 (2004-11)
鍵山善之, 中本将彦*, 高尾正樹*, 佐藤嘉伸*, 菅野伸彦*, 吉川秀樹*, 赤澤堅造*, 多田幸生, 田村進一*	人工股関節全置換術における脚長を考慮した自動手術計画立案システム	第13回日本コンピュータ外科学会大会 第14回コンピュータ支援画像診断学会大会 合同論文集, p. 207-208 (2004-12)
高瀬茂樹, 多田幸生, 花原和之	人間らしい動作を規範としたロボットアームによる腕の動作の模倣	第1回NCPフォーラム, (2005-1)
花原和之	評価あれこれ	第1回NCPフォーラム, (2005-1)
多田幸生	両端固定柱の最適化(重根モードの場合の検討)	第1回NCPフォーラム, (2005-1)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
多田幸生, 俣野卓巳	不静定ばりの剛性に関する最適化について	日本機械学会関西支部第80期定時総会講演会関西学生会学生員卒業研究発表講演会, 同講演前刷集, p. r2-2 (2005-3)
多田幸生, 浦久保孝光, 岡本和久	2つの軸周りのトルクを用いた宇宙機の姿勢制御	日本機械学会関西支部第80期定時総会講演会関西学生会学生員卒業研究発表講演会, 同講演前刷集, p. r7-3 (2005-3)
多田幸生, 浦久保孝光, 田島宏史	2つの軸対称剛体からなる宇宙ロボットの姿勢制御 —制御則構成に適した姿勢表現の導入—	日本機械学会関西支部第80期定時総会講演会関西学生会学生員卒業研究発表講演会, 同講演前刷集, p. r7-7 (2005-3)
苅谷圭一, 花原和之, 多田幸生	JPEG画像圧縮における画質を考慮した量子化テーブルの構築	日本機械学会関西支部第80期定時総会講演会関西学生会学生員卒業研究発表講演会, 同講演前刷集, p. r8-10 (2005-3)
藤谷奈々子, 花原和之, 多田幸生	根性最適化の特性評価と知識抽出の試み	日本機械学会関西支部第80期定時総会講演会関西学生会学生員卒業研究発表講演会, 同講演前刷集, p. r18-11 (2005-3)
北野健太, 多田幸生	自律性を備えた福祉用移動装置の設計と制御	日本機械学会関西支部第80期定時総会講演会講演会, 日本機械学会講演論文集, No. 054-1, p. 14-27~14-28 (2005-3)
花原和之, 吉田幸弘	離散変数を考慮に入れたロボットアームの多目的最適設計 (知識指向アプローチの適用)	日本機械学会関西支部第80期定時総会講演会講演会, 日本機械学会講演論文集, No. 054-1, p. 4-27~4-28 (2005-3)
花原和之	情報知能工学科におけるモノ作り教育(デジタル回路からロボットまで)	平成16年度工学・工業教育研究講演会講演論文集, p. 383-384 (2004-7)
藤崎泰正, 大石泰章*	コスト保証型レギュレータ設計: 確率的解とランダムイズドアルゴリズム	計測自動制御学会第4回制御部門大会 (2004)
北村亘, 藤崎泰正	有界外乱のもとでの不確かなシステムのミニマックス推定	計測自動制御学会第4回制御部門大会 (2004)
甲斐卓文, 藤崎泰正	入出力データ空間における多入出力系のデッドビート最適追従制御	計測自動制御学会第33回制御理論シンポジウム (2004)
北村亘, 藤崎泰正	外乱とパラメータ不確かさのもとでのメンバシップ集合の確率的性質	第47回自動制御連合講演会 (2004)
藤崎泰正, 森井 辰輔	計測と制御の統合化設計への双凸行列不等式アプローチ	第47回自動制御連合講演会 (2004)
上田健太郎*, 森耕平	定数スケーリング H_{∞} 制御系設計問題が凸問題となるための一条件	第48回システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集, pp. 117/118 (2004)
福田大, 太田有三	区分的線形リヤプノフ関数を用いた離散時間非線形サーボ系の設計	第48回システム制御情報学会研究発表講演会, pp. 59-60 (2004)
辻正明, Shirin Nezamfafi, 太田有三	区分的線形リヤプノフ関数を用いた非線形システムの安定解析と安定領域の拡大	第4回制御部門大会資料, pp. 291-294 (2004)
三塩亮一, 太田有三, 福田直輝, 西馬和哉	参照入力集合の連結による非線形サーボ系の設計 — LMI を用いる場合	第33回制御理論シンポジウム, pp. 407-410 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
辻正明, 太田有三	区分的線形リヤプノフ関数を用いた非線形制御系の設計	計測自動制御学会関西支部 学生研究発表会講演論文集
上原 邦昭, 田中 良季, 巻尾 晃輔	動作データからのモチーフの発見について	第18回人工知能学会全国大会, 3D3-01 (2004).
土山瞳, 伴好弘, 上原邦昭	ウェアラブルコンピュータのための簡易トラッキング	日本バーチャルリアリティ学会第9 回大会論文集, pp211-212 (2004).
福澤朋裕, 伴好弘, 上原邦昭	机上型MRシステムのためのネットワーク共有手法に関する 研究	日本バーチャルリアリティ学会第9 回大会論文集, pp. 13-14 (2004).
上領貴彦, 安村禎明, 上原邦昭	多属性商品を対象にした交渉戦略に関する一考察	電子情報通信学会総合大会 D-8-2 (2005).
坂野大作, 安村禎明, 上原邦昭	Web上の評判情報の信頼性評価に関する一検討	電子情報通信学会総合大会 D-5-10 (2005).
野宮浩揮, 上原邦昭	重み付きマッチング法を用いた特徴構成法による視覚的学習	電子情報通信学会総合大会 D-12-96 (2005).
安村禎明, 折本勝則*, 馬場口登*, 北橋忠宏*	サブクラスや例外を考慮した三次元形状のクラス記述の獲得	情報処理学会第51回全国大会 (1995).
安村禎明, 折本勝則*, 馬場口登*, 北橋忠宏*	三次元物体形状の定量的・定性的モデルの獲得	人工知能学会全国大会 (第10回) (1996)
増塩智宏*, 安村禎明, 新田克己*	マルチエージェント環境における交渉戦略の獲得	人工知能学会全国大会 (第13回) (1999).
湯浅将英*, 安村禎明, 新田克己*	マルチモーダル情報の交渉戦略支援への応用	人工知能学会全国大会 (第13回) (1999).
鈴木佐知子*, 安村禎明, 新田克己*	事例に基づく業務支援エージェント	人工知能学会全国大会 (第14回) (2000).
中務保志*, 安村禎明, 新田克己*	契約交渉を法的に支援するエージェント	人工知能学会全国大会 (第14回) (2000).
村松正彦*, 安村禎明, 新田克己*	判決文の論理構造の表現法	人工知能学会全国大会 (第15回) (2001).
湯浅将英*, 安村禎明, 新田克己*	心理的要素を用いた交渉戦略	人工知能学会全国大会 (第15回) (2001).
井川尚紀*, 安村禎明, 新田克己*	細胞内シグナル伝達ネットワークの構築支援の研究	電子情報通信学会総合大会 (2002).
田中貴紘*, 安村禎明, 新田克己*	契約トラブルの仲裁・調停支援を行うエージェント	人工知能学会全国大会 (第16回) (2002).
田中貴紘*, 西原国義*, 安村禎明, 新田克己*	事例を用いた模擬裁判支援システム	人工知能学会全国大会 (第17回) (2003).
湯浅将英*, 安村禎明, 新田克己*	確率モデルを用いた擬人化エージェントの表情表出	人工知能学会全国大会 (第17回) (2003).
M. Yuasa*, T. Tanaka*, Y. Yasumura, K. Nitta*	An Online ADR System Using a Tool for Animated Agents	SICE Annual Conference 2003 (2003).
山本浩司*, 安村禎明, 片上大輔*, 新田克己*, 相場亮*, 宮城政雄*, 桑田仁*	ユーザの投稿情報に基づく経路ナビゲーション	人工知能学会全国大会 (第18回) (2004).
江越裕紀*, 安村禎明, 片上大輔*, 新田克己*	判例の構造を利用した判例文書検索の試み	人工知能学会全国大会 (第18回) (2004).

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
田中貴紘*, 安村禎明, 片上大輔*, 新田克己*	オンライン模擬調停の事例解析	人工知能学会全国大会(第18回) (2004).
秋山英久*, 片上大輔*, 安村禎明, 新田克己*	アドバイスによって動的環境へ適応するチームモデルの設計	人工知能学会全国大会(第18回) (2004).
市川学*, 秋山英久*, 片上大輔*, 安村禎明, 新田克己*	RoboCupサッカーにおける協調的な守備戦略の実現	人工知能学会全国大会(第18回) (2004).
大村英史*, 片上大輔*, 安村禎明, 新田克己*	ロボットとのインタラクションにおけるユーザの嗜好の類似性を用いた行動学習	人工知能学会全国大会(第18回) (2004).
野口宏一朗, 永田真	オンチップ信号モニタ回路の構成と評価	STARCシンポジウム, 2004. 9
永田真, 植村俊文	デジタルLSIにおける電源ノイズノイズの評価とモデリング	電子情報通信学会 ソサエティ大会, 2004. 9.
永田真	高性能LSIのためのデジタル電源ノイズノイズ低減化設計及び診断技術の開発	イノベーション・ジャパン2004, 2004. 9.
永田真	アナログLSIチップ開発ノウハウ	映像情報メディア学会 若手研究者 のためのイメージセンサLSI設計フ ォーラム, 2004. 10.
深澤光弥, 野口宏一朗, 永田真, 瀧和男	デジタルLSIの埋め込み型電源ノイズ検出手法	第8回システムLSIワークショップ, 2004. 11.
永田真	基板ノイズのオンチップ測定とモデル化手法	シリコン超集積化システム学振第 165委員会, 2005. 01.
永田真	デジタルLSIの電源系ノイズ評価技術と適用事例	Electronic Design and Solution Fair 2005, 2005. 01.
永田真	デジタルLSIにおける電源ノイズノイズの評価とモデリング	第19回エレクトロニクス実装学術講 演大会, 2005. 3.
永田真	SoCにおけるデジタルノイズ	電子情報通信学会 総合大会, 2005. 3.
鎌田 十三郎, 森本 昌治, ニッ森 大介	モード切替機構をもつ分散環境向け Java 集合ライブラリの提案	情報処理学会プログラミング研究会 SWoPP, Aug. (2004)
川上 祐介, 鎌田 十三郎	パターンマッチに基づくバイトコード変換とその型安全性	情報処理学会プログラミング研究会 March. (2005)
Shin-ichi Nakagiri and Jinsoo Hwang	Optimal control problems for semilinear second order Volterra integro-differential equations in Hilbert space (Special invited lecture)	The 8th International Conference on "Nonlinear Functional Analysis and Applications", Kyungnam University and Gyeongsang National University, Korea (2004, August)
Shin-ichi Nakagiri, Junhong Ha and Hiroki Tanabe	Gateaux differentiability of solution mappings for semilinear second-order evolution equations	Seminar on "Partial Differential Equations and Its Applications", Pukyong National University, Korea (2004, August)
Jinsoo. Hwang and Shin-ichi Nakagiri	Optimal control problems for second order Volterra integro-differential equations with nonlinear integral kernels in Hilbert space	Seminar on "Partial Differential Equations and Its Applications", Pukyong National University, Korea (2004, August)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
中桐 信一, 河 準洪*	Gateaux differentiability of solution mappings for semilinear parabolic systems with applications to identification problems,	関数微分方程式研究集会 (神戸大学) (2004年11月)
春木 茂*, 中桐 信一	Pexiderized wavelike partial difference functional equations and certain related functional equations	関数微分方程式研究集会 (神戸大学) (2004年11月).
黄 ジン守, 中桐 信一	強い粘性を持つ膜の運動方程式に対する最適制御問題	関数微分方程式研究集会 (神戸大学) (2004年11月)
春木 茂*, 中桐 信一	ペキシダー化された波動型偏差分関数方程式と関連する関数方程式	関数方程式と複雑系 (京都大数理解析研究所) (2005年3月)
黄 ジン守, 中桐 信一	長期の非線形記憶を持つ粘弾性体方程式に対する最適制御問題	関数方程式と複雑系 (都大数理解析研究所) (2005年3月).
黄 ジン守, 中桐 信一	Optimal control problems for the equation of motion of membrane with strong viscosity	日本数学会春季総会 (日本大学) (2005年3月)
南部	境界制御系に対する安定化の新しい代数的方法	愛媛大学における微分方程式セミナー (平成16年9月)
南部	放物形境界制御系の安定化とその周辺: 代数的方法	学習院大学スペクトル理論セミナー (第67回) (平成16年10月)
南部	Stability analysis of linear parabolic systems and removal of singularities in substructure: Static feedback	早稲田大学7階セミナー (第55回) (平成17年1月)
Yuki Naito	Self-similar solutions for a semilinear heat equation with critical Sobolev exponent	Workshop on Reaction-Diffusion Equations and Related Topics, NTCS, Taiwan (2004)
Yuki Naito	A variational approach to self-similar solutions for semilinear heat equations	The 29th Sapporo Symposium on Partial Differential Equations (2004)
Yuki Naito	An ODE approach to the multiplicity of self-similar solutions of semilinear heat equations	The first Euro-Japanese Workshop on Blow-up, Comenius Univ., Slovakia (2004)
内藤 雄基	On the structure of selfo-similar solutions for semilinear heat equations	熊本大学応用解析セミナー (2004)
内藤 雄基	臨界指数放物型方程式の解の爆発	第4回偏微分方程式ワークショップ (2004)
Ken Shirakawa	Global attractor for one-dimensional Fremond model of shape memory alloys	The 4 th International Conference on Dynamical Systems and Differential Equations, AIMS, Wilmington, U. S. A. (2002)
Ken Shirakawa and Masato Kimura*	Allen-Cahn type equation generated by the total variation functional	International Conference on Free Boundary Problems: Theory and Applications, Trento, Italy (2002)
白川 健	全変動汎関数に支配される放物型方程式に対する局所安定性	第24回発展方程式若手セミナー (2002)
白川 健	全変動汎関数を界面エネルギーに持つ2次元相転移モデルとその解の漸近安定性	日本数学会2002年度秋季総合分科会, 実関数論分科会 (2002)
白川 健	全変動汎関数から生成される非等温系 Allen-Cahn 方程式の安定性	第28回発展方程式研究会 (2002)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
白川 健	全変動汎関数から生成される非等温系相転移モデルの安定性	日本数学会2002年度春季総合分科会, 実関数論分科会 (2003)
白川 健	2次元相転移現象の界面を特徴付けるエネルギーと関連する変分問題	変分問題とその周辺, 京都大学数理解析研究所 (2003)
白川 健	全変動流を含む非等温系相転移モデルと2次元定常解の安定性	第25回発展方程式若手セミナー (2003)
白川 健	ある退化型オイラー・ラグランジュ方程式の解の幾何学的考察	日本数学会2003年度秋季総合分科会, 実関数論分科会 (2003)
Ken Shirakawa	Stability for a phase field system associated with a total variation interfacial energy	Nonlinear Partial Differential Equations and Their Application, Shanghai, China (2003)
白川 健	二次元相転移を記述する退化放物型発展方程式の定常状態の安定性	第29回発展方程式研究会 (2003)
白川 健	ある退化放物型発展方程式における局所安定性	日本数学会2003年度春季総合分科会, 実関数論分科会 (2004)
Ken Shirakawa	Large-time behavior for solid-liquid phase transition models with anisotropic effects	AIMS' 5 th International Conference on Dynamical Systems and Differential Equations, California, USA (2004)
白川 健	異方性の効果を含む相転移モデルにおける解の漸近挙動	第26回発展方程式若手セミナー (2004)
Ken Shirakawa	Stability for two-dimensional phase field systems involving anisotropic effects	Dissipative Models in Phase Transitions, Cortona, Italy (2004)
白川 健, 伊藤 昭夫*, 角谷 敦*	地域の経済成長を記述する常微分方程式系	日本数学会2004年度秋季総合分科会, 実関数論分科会 (2004)
白川 健	非斉次な表面張力係数を持つ2次元固体・液体相転移モデルにおける安定性解析	有界変動関数と自由境界問題に関する研究会 (2004)
Ken Shirakawa	Stability for steady-state patterns in phase transitions generated by indefinite surface tension coefficients	The Third Polish Japanese Days, Chiba, Japan (2004)
白川 健, 伊藤 昭夫*, 角谷 敦*	地域の経済成長モデルとその近似問題の可解性	第30回発展方程式研究会 (2004)
白川 健, 伊藤 昭夫*, 角谷 敦*	地域の経済成長の力学系を記述する連立偏微分方程式	日本数学会2004年度春季総合分科会, 実関数論分科会 (2005)
新井 敏康	Hilbertの第2問題に関する証明論の展開	平成16年秋季総合分科会 日本数学会総合講演 (2004)
T. Arai	Epsilon substitution method for inductive definitions	An invited talk at ASL Annual meeting, Stanford (2005)
T. Arai and G. Moser*	A note on a term rewriting characterization of PTIME	7th International Workshop on Termination, WST (2004)
T. Arai and G. Moser*	Proofs of the termination of rewrite rules for polytime functions	Logic Colloquium '04-European Meeting of the Association for Symbolic Logic, Torino (2004)
桔梗宏孝	あるgeneric構造の公理について	日本数学会2005年度年会 (2005)
桔梗宏孝	genericな述語と自己同型	日本数学会2004年度年会 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
桔梗宏孝	Generic構造上の generic 自己同型について	京都大学数理解析研究所「Generic構造とその応用」共同研究集会 (2003)
桔梗宏孝	対称群のcentral gap numberについて	日本数学会2003年度秋季総合分科会 (2003)
桔梗宏孝, 坪井明人*, Ehud Hrushovski*	PAPAをもたない理論	京都大学数理解析研究所「モデル理論と代数幾何の交流」共同研究集会 (2003)
桔梗宏孝, 坪井明人*, Ehud Hrushovski*	A theory without PAPA	日本数学会2003年度年会 (2003)
桔梗宏孝	自己同型に関する融合性とGeneric自己同型	日本数学会2002年度秋季総合分科会 (2002)
Hiroataka Kikyo	Generic automorphisms of unstable theories	Generic automorphisms of unstable theories Simpleton 2002 – The Workshop, CIRM (2002)
桔梗宏孝	ACFA と Manin-Mumford 予想	京都大学数理解析研究所「幾何的モデル理論の研究」共同研究集会 (2002)
菊池誠	一般設計学における設計知識の数学的表現について	スキルの科学コロキウム (2005)
Jorg Brendle	Van Douwen's diagram and its relatives	Logic, Algebra and Geometry, St. Petersburg, Russia (invited lecture) (2004)
Jorg Brendle	Cardinal invariants related to partitions	Luminy workshop on Set Theory, France (2004)
Jorg Brendle	$\mathcal{P}(\omega)$ and its friends	Forcing and Large Cardinal Axioms, Kyoto (2004)
Jorg Brendle	Measure and Category in Generalized Cantor Spaces	3rd Japan-Mexico Joint Meeting on Topology and its Applications, Oaxaca, Mexico (invited plenary lecture) (2004)
Akira Suzuki and Yosuke Sato*	Comprehensive Groebner Bases via ACGB	11th International Conference on Applications of Computer Algebra (2004)
Akira Suzuki	Nontrivial elementary embedding with a definable bounding of the universe into itself	Boise Extravaganza in Set Theory (2005)

3.6 都市安全研究センター

教 授

沖村 孝, 田中泰雄, 川谷 健, 有木康雄

助教授・講師

吉田信之, 飯塚敦 (平成16年7月から), 加藤正司 (平成16年8月まで),
滝口哲也 (平成16年10月より), 北後明彦

助 手

鳥居宣之, 上西幸司, 齋藤雅彦

都市は、活力ある生産・経済・文化活動の場として多様で豊富な機能を備え、また潤いのある生活の場として快適で良好な環境でなければならないが、何にもまして安全で安心な場であることが重要である。しかし、都市は人口集中や過密化を伴う自己増殖型システムであり、巨大で複雑であると同時に繊細なシステムである。それゆえ都市は地震、土砂災害、洪水・渇水などの自然災害のみならず、都市活動による環境汚染・破壊などによっても壊滅的な打撃を受け、甚大な人的及び経済的被害が生じる。我々はこのような都市の脆弱性を、兵庫県南部地震によって、多くの尊い犠牲をはらって、あらためて認識した。

神戸大学は、被災した総合大学としての貴重な経験を基礎に、真に安全・安心な都市の創出をめざして、都市ゆえに生じる多種多様な災害についてハード及びソフトの両面から学際的かつ総合的に研究するため「神戸大学都市安全研究センター」を平成8年5月11日に創設した。本センターの目的は、安全かつ快適な都市の理念を構築し、及びそれを実現するための手法、システムについて総合的に教育、研究を行い、もって活力ある都市の創出に寄与することである。センターは当初「都市構成」、「都市基盤」、「都市地震」、「都市安全医学」および「都市行政産業基盤」の5研究分野で発足した。このうち都市構成と都市基盤の2研究分野は、センターの創設とともに工学部附属土地造成工学研究施設が廃止されたのに伴い、その研究成果と知見の継承及び教育・研究のさらなる発展を図って設置されたものである。その後、平成9年度に「都市情報システム」研究分野が、平成10年度に「都市安全マネジメント」研究分野がそれぞれ増設され、現在は7研究分野で活動している。

本センターは学内共同利用教育研究施設であり、都市安全に関する研究の全学的拠点として機能し、工学、理学、医学、社会科学など広範な研究分野の有機的連携によって研究を推進し、所期の目的の達成を期している。工学系研究分野は「都市構成」、「都市基盤」、「都市情報システム」および「都市安全マネジメント」の4つである。

都市の安全と良好な環境を実現するために工学的な面からは、都市を構成する構造物、ライフライン、交通・輸送システム、情報ネットワーク、都市地盤特性、都市施設と地盤の強化、緑地や水辺空間、安全マネジメントなどの計画・設計・施工・維持管理に関する教育と研究指導を、主として建設学科及び情報知能工学科において行っている。また大学院自然科学研究科においても、都市の安全と環境に関する広い視野、深い理解及び高度な能力を持つ人材の養成をめざして教育と研究指導を行っている。また研究成果の着実かつ迅速な社会還元をめざし、地元自治体との連携を積極的に進めている。

以下に、都市安全研究センターに所属する教官の、平成16年4月から平成17年3月までの研究業績を、学術論文、学術報告、学術講演に分類し掲載する。新任の教員については、学術論文・学術著書・学術報告は過去10年分、学術講演は過去3年分を掲載した。

学術論文(レフェリー付き)(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文分類

A: 学術論文誌(国際会議等で、通常の査読過程を経て発刊された学術論文誌等の特集号を含む)および、国際会議のSelected Paper

B: Full Paperの査読により掲載が決定した国際会議のProceedings

C: Abstractの査読のみで掲載が決定した国際会議のProceedings(ただし、Abstractのみを掲載した予稿集を除く)

D: 大学、研究機関等の紀要

著者名(*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Takashi Okimura	Distributive Analysis of Damaged Wooden Structures Using the Geotechnical Database "KOBE JIBANKUN" - 3-D Analysis and Construction of a Fragility Curve -	US-Japan Cooperative Research on Urban Earthquake Disaster Mitigation, Risk Analysis and Advanced Technologies for Infrastructures (Representative Researcher: Takashi Okimura), 47-61 (2004)	B
沖村孝	社会基盤施設のリスク分析と先端技術の応用	文部科学省科学研究費補助金(11209101)等定領域研究(1)「日米共同研究による都市地震災害の軽減」(研究代表者 亀田弘行), 51-56 (2004)	C
沖村孝	土砂災害の危険度予測	基礎工, 32 (9), 10-14 (2004)	A
Kenji Kashiwaya, Yoshikazu Tsuya and Takashi Okimura	Earthquake-Related Geomorphic Environment and Pond sediment Information	Earth Surface Processes and Landforms, 29, 785-793 (2004)	A
沖村孝, 岡田勝也, 杉山友康	斜面災害からの教訓	土と基礎, 53(1), 24-27 (2005)	B
田中博文, 沖村孝, 鳥居宣之	地盤の不均質性が盛土の動的応答特性に与える影響に関する研究	第49回地盤工学シンポジウム平成16年度論文集, 地盤工学会, 423-430 (2004)	A
沖村孝, 鳥居宣之, 田中博文	盛土の動的応答特性に基礎地盤の不均質性が及ぼす影響	建設工学研究所論文報告集, 46, 233-244 (2004)	D
沖村孝, 加藤正司, 鳥居宣之, 下田潤一	地震動が土の強度特性に及ぼす影響に関する個別要素法を用いた検討	建設工学研究所論文報告集, 46, 245-252 (2004)	D
沖村孝, 鳥居宣之, 堀江啓, 毛利篤	木造建造物の地震被災危険度評価に用いる地震力指標に関する一考察	建設工学研究所論文報告集, 46, 253-260 (2004)	D
沖村孝, 鳥居宣之, 豊福亮	地震時の過剰間隙水圧を考慮した盛土斜面の安定性評価手法に関する研究	建設工学研究所論文報告集, 46, 261-268 (2004)	D
沖村孝, 鳥居宣之, 山口章平	台湾集集地震を起因として発生した小規模斜面崩壊地の地形・地質条件の定量的評価	建設工学研究所論文報告集, 46, 269-278 (2004)	D
Nobuyuki Torii and Takashi Okimura	Proposal of risk evaluation method for rain-induced slope failure on road slope	Proceedings of 10th INTERPRAEVENT 2004, 2, IV/241-250 (2004)	B
H. P. Rossmanith, V. Arsic-Hochholdinger and K. Uenishi	On Size and Boundary Effects in Scaled Model Blasts	Science and Technology of Energetic Materials, 65(2), 40-47 (2004)	A
K. Uenishi	Rupture Instability on a Displacement-Softening Interface under Heterogeneous Loading	Proceedings of the Fourth European Congress on Computational Methods in Applied Sciences and Engineering (P. Neittaanmaki, T. Rossi, S. Korotov, E. Onate, J. Periaux and D. Knorzer [editors]), 14 pages, Department of Mathematical Information Technology, University of Jyväskylä, Finland (2004)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
K. Uenishi and J.R. Rice	Three-Dimensional Rupture Instability of a Slip-Weakening Fault under Heterogeneous Loading	Eos Trans. AGU, 85(46), S13E-04 (2004)	C
Yasuo Tanaka, and Koichi Akai	Type-B Approach to the Settlement Prediction of KIA by Means of Reliability Theory	Proc. Of Engineering Practice and Performance of Soft Deposits, IS-Osaka, JGS, 99-104 (2004)	B
Yasuo Tanaka, Tanakunori Arimura, Hiroto Mizoguchi, Satoshi Koishi,	Excessive Vertical Force Exerted on Buried Pipe due to Liquefaction Settlement of Ground	13th World Conference on Earthquake Engineering, CD-ROM, Paper No. 1089 (2004)	B
Yoshihiro MIZOGUCHI, Yasuo TANAKA	Reinforcing of Liquefiable Ground Using Anchored Plastic Board Drain	13th World Conference on Earthquake Engineering, CD-ROM, Paper No. 582 (2004)	B
Yasuo TANAKA, Shigetoshi SUGIMOTO Naoyuki ADACHI	Liquefaction Strength of Coarse-Grained Soils ss Determined By Large Torsional Test and the Membrane Penetration Effect on the Strength	13th World Conference on Earthquake Engineering, CD-ROM, Paper No. 1089 (2004)	B
溝口義弘, 田中泰雄	単純せん断土槽実験に基づくPD群打設工の液状化対策効果の検討	建設工学研究所論文報告集, 46, 293-302 (2004)	D
Yoshida, N. and Hosokawa, K.	Compression and Shear Behavior of Mudstone Aggregates	Journal of Geotechnical and Geoenvironmental Engineering, ASCE, 130 (5), 519-525 (2004)	A
藤原章記*, 佐野正典*, 東山浩士*, 吉田信之, 荒井猛嗣	二層構造を有する排水性舗装に関する研究	土木学会論文集, 774/V-65, 111-121 (2004)	A
Takeshi Kawatani, Masahiko Saito, George. V. Lugomela	Numerical Study on Effect of Pore-air on Infiltration and Groundwater Drainage	Proc. Int. Conf. on Finite Element Models, MODFLOW, and More, 245-248 (2004)	C
川谷健, 宮田和真, ジョージ・ルゴメラ, 齋藤雅彦	降雨浸透・蒸発散・地下水流出現象における間隙空気に影響について	建設工学研究所論文報告集, 46, 1-14 (2004)	D
川谷健, ジョージ・ルゴメラ, 齋藤雅彦	一般廃棄物埋立処分地からの地下水浸出量の予測手法	建設工学研究所論文報告集, 46, 15-26 (2004)	D
Iizuka, A., Kawai, K., Kim, E.R. and Hirata, M.	Modeling of the confining effect due to the geosynthetic wrapping of compacted soil specimens	Journal of Geotextiles and Geomembranes, Elsevier, 22(5), 329-358 (2004)	A
石井武司, 村上章, 飯塚敦	土構造物の維持補修への構成式の応用	地盤工学会 土と基礎, 52 (8) (Ser.No.559), 25-27 (2004)	A
河井克之, 汪偉川, 飯塚敦	既存の不飽和土構成モデルの解釈および水分特性曲線ヒステリシスを考慮したモデルの一般的な表現方法	土木学会 応用力学論文集, 7 (1), 505-513 (2004)	A
Iizuka, A., Hirata, M., Ohta, H., Kawai, K. and Yokota, Y.	The role of numerical simulation for geosynthetic reinforced soil structures - from laboratory tests to full scale structures -	GeoAsia2004, Invited Lecture at ISSMGE TC9 Sponsored Session, Proceedings of the 3rd Asian regional Conference on Geosynthetics, Seoul Korea, 153-172 (2004)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
Kim, E.R., Kim, Y.S., Iizuka, A and Kawai, K.	Modeling of the confining effect due to the geosynthetics wrapping of compacted soil specimen considering suction effect	GeoAsia2004, Proceedings of the 3rd Asian regional Conference on Geosynthetics, Seoul Korea, 707-714 (2004)	C
Iizuka, A., Kawai, K. and Wang, W.	Safety and Symbiosis' from viewpoint of geomechanics	Proc. KU-UW International Symposium #1 on Design Strategy towards Safety and Symbiosis of Urban Space, Seattle USA, June14-15, 81-88 (2004)	D
Iizuka, A., Kawai, K. and Wang, W.	Mechanical behavior of partly saturated ground considering the effect of evaporation and transpiration	The International Symposium on Numerical Simulation of Environmental Problems, Okayama, 2004 October, Journal of the Faculty of Environmental Science and Technology, Okayama University, 203-209 (2005)	D
Iizuka, A., Tachibana, S., Kawai, K. and Ohta, H	The non-coaxiality induced by stress rate on the instantaneous shear modulus of clays	in the book of Dislocations, Plasticity, Damage and Metal Forming: Material Response and Multiscale Modeling, Key-note-lecture, Proc. of PLASTICITY'05: the 11th International Symposium on Plasticity and its Current Applications, edited by A.S.Khan and A.R.Khoei, 265-267 (2005)	B
Ohno, S., Iizuka, A., Kawai, K. and Ohta, H.	Elasto-plastic constitutive equation to describe re-liquefaction phenomenon	Plasticity, Damage and Metal Forming: Material Response and Multiscale Modeling, Proc. of PLASTICITY'05: the 11th International Symposium on Plasticity and its Current Applications, edited by A.S.Khan and A.R.Khoei, 286-288 (2005)	B
Iizuka, A., Kawai, K. and Wang, W., Invited Lecture	The effect of evapo-transpiration through vegetation on unsaturated ground deformation	Proc. of Symposium on Elasto-plasticity, Fukuoka, Feb.28., 2005.2 (in printing)	A
Masahiko SAITO, Takeshi KAWATANI, G.V.Lugomela	Numerical study on rainfall infiltration and seepage processes through multifractal permeability field by using two-phase flow analysis	Proceedings of International conference on Finite Element Models, MODFLOW, and More:, 257-260 (2004)	C
齋藤雅彦, 川谷健	3次元斜面における降雨浸透過程の数値シミュレーション	建設工学研究所論文報告集, 46, 79-88 (2004)	D
齋藤雅彦, 川谷健	移流分散現象における分散長と透水係数の空間分布特性の関係について	水工学論文集, 49(1), 133-138 (2005)	A
有木康雄, 緒方淳, 藤本雅清, 塚田清志	音響・言語モデルの適応処理によるスポーツ実況中継の音声認識	電子情報通信学会論文誌, J87-D-11(6), 1208-1215 (2004)	A
熊野雅仁, 有木康雄, 塚田清志	野球中継のハイライトシーン実時間配信を目的とした特徴のマイニングによるPCシーンの自動検出	映像情報メディア学会誌, 59(1), 77-84 (2005)	A
熊野雅仁, 有木康雄, 塚田清志	ボールと選手に着目したデジタルカメラワークの実現法-デジタルシューティングによるサッカー解説映像生成システムに向けて-	映像情報メディア学会誌, 59(2), 271-278 (2005)	A

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
藤本雅清, 有木康雄	GMMに基づく音声信号推定法と時間領域SVDに基づく音声強調法の併用による雑音下音声認識	電子情報通信学会論文誌, J88-D-11(2), 250-265 (2005)	A
Masakiyo Fujimoto and Yasuo Ariki	ROBUST SPEECH RECOGNITION IN ADDITIVE AND CHANNEL NOISE ENVIRONMENTS USING GMM AND EM ALGORITHM	ICASSP04 (International Conference on Acoustics, Speech and Signal Processing 2004), 1-941-1-944 (2004)	B
M. Kumano, Y. Ariki, K. Tsukada, S. Hamaguchi and H. Kiyose	Automatic Extraction of PC Scenes Based on Feature Mining for a Real Time Delivery System of Baseball Highlight Scenes	Proc. of ICME2004 (International Conference on Multimedia and Expo), CD-ROM (2004)	B
K. Uehara, M. Amano, Y. Ariki, M. Kumano	Video Shooting Navigation System by Real-Time Useful Shot Discrimination Based on Video Grammar	Proc. of ICME2004 (International Conference on Multimedia and Expo), CD-ROM (2004)	B
Atsushi Sako and Yasuo Ariki	Structuring of Baseball Live Games Based on Speech Recognition Using Task Dependant Knowledge	Interspeech 2004 ICSLP, 446-449 (2004)	B
Masahito Kumano, Yasuo Ariki and Kiyoshi Tsukada	A Method of Digital Camera Work Focused on Players and a Ball -- Toward Automatic Contents Production System of Commentary Soccer Video by Digital Shooting --	2004 Pacific-Rim Conference on Multimedia (PCM2004), 466-473 (2004)	B
Atsushi Sako, Yasuo Ariki	STRUCTURING BASEBALL LIVE GAMES BASED ON SPEECH RECOGNITION USING TASK DEPENDENT KNOWLEDGE AND EMOTION STATE RECOGNITION	ICASSP2005, 1049-1052 (2005)	B
滝口哲也, 中村哲*, 鹿野清宏*	雑音と残響のある環境下でのHMM合成によるハンズフリー音声認識	電子情報通信学会論文誌, Vol. J79-D-11, No. 12, pp. 2047-2053 (1996)	A
滝口哲也, 中村哲*, 鹿野清宏*	雑音・残響環境下でのHMM分解・合成法によるモデル適応化	電子情報通信学会論文誌, Vol. J81-D-11, No. 10, pp. 2231-2238 (1998)	A
T. Takiguchi, S. Nakamura*, K. Shikano*	HMM-Separation-Based Speech Recognition for a Distant Moving Speaker	IEEE Transactions on Speech and Audio Processing, Vol. 9, No. 2, pp. 127-140 (2001)	A
O. Ichikawa*, T. Takiguchi, M. Nishimura*	Speech Enhancement by Profile Fitting Method	IEICE Transactions on Information and Systems, Vol. E86-D, No. 3, pp. 514-521 (2003)	A
O. Ichikawa*, T. Takiguchi, M. Nishimura*	Sound Source Localization using a Profile Fitting Method with Sound Reflectors	IEICE Transactions on Information and Systems, Vol. E87-D, No. 5, pp. 1138-1145 (2004)	A
T. Takiguchi, M. Nishimura*	Improved HMM Separation for Distant-Talking Speech Recognition	IEICE Transactions on Information and Systems, Vol. E87-D, No. 5, pp. 1127-1137 (2004)	A
T. Takiguchi, S. Nakamura*, Q. Huo*, K. Shikano*	Adaptation of Model Parameters by HMM Decomposition in Noisy Reverberant Environments	Proc. International Workshop on Robust Speech Recognition for Unknown Communication Channels, pp. 155-158 (1997)	B
T. Takiguchi, S. Nakamura*, Q. Huo*, K. Shikano*	Model Adaptation based on HMM Decomposition for Reverberant Speech Recognition	Proc. IEEE International Conf. on Acoust. Speech and Signal Processing, pp. 827-830 (1997)	B

著者名 (*は学外研究者)	学術論文名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)	論文種別
T. Takiguchi, S. Nakamura*, K. Shikano*, M. Norishima*, T. Isobe*	Evaluation of Model Adaptation by HMM Decomposition on Telephone Speech Recognition	Proc. International Conf. on Spoken Language Processing, pp. 1507-1510 (1998)	B
T. Takiguchi, S. Nakamura*, K. Shikano*	Speech Recognition for a Distant Moving Speaker based on HMM Composition and Separation	Proc. IEEE International Conf. on Acoust. Speech and Signal Processing, pp. 1403-1406 (2000)	B
T. Takiguchi, M. Nishimura*	Recognizaing Overlapping Speech by using HMM Composition	Proc. Seventh Western Pacific Regional Acoustics Conference, pp. 89-92 (2000)	C
T. Takiguchi, M. Nishimura*	Integration of HMM Composition and a Microphone Array for Overlapping Speech Recognition	Proc. International Workshop on Hands-Free Speech Communication, pp. 127-130 (2001)	C
O. Ichikawa*, T. Takiguchi, M. Nishimura*	Sound Source Localization using a Pinna-Based Profile Fitting Method	Proc. International Workshop on Acoustic Echo and Noise Control, pp. 263-266 (2003)	C
T. Takiguchi, M. Nishimura*	Reverberant Speech Recognition using First-Order Linear Prediction	Proc. International Congress on Acoustics, pp. 2829-2830 (2004)	C
T. Takiguchi, M. Nishimura*	Acoustic Model Adaptation using First Order Prediction for Reverberant Speech	Proc. IEEE International Conf. on Acoust. Speech and Signal Processing, pp. 869-872 (2004)	B
崔榮和, 樋口大介, 北後明彦, 室崎益輝	コミュニティ環境が自主防災活動に及ぼす影響に関する研究-震災後の神戸市を事例として-	神戸大学大学院自然科学研究科紀要, 23(B), 61-71 (2005)	D

学術著書(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術著書名	発行所 (年)	備考
沖村孝	地理情報科学事典	朝倉書店 (2004)	16-4地盤防災 (pp. 248-249) を担当
上西幸司	地震学	古今書院 (2004)	定量的アプローチ
齋藤雅彦	不飽和地盤の挙動と評価	社団法人地盤工学会 (2004)	第2章2.4.2, 「水と空気 の二相流問題」を分担執筆, pp. 50-52

学術報告(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
Takashi Okimura	Risk Analysis and Advanced Technologies for Infrastructures	文部科学省科学研究費補助金 (No. 11209208), 特定領域研究(2) 計画研究4-2研究成果報告書, 180, (2004)
沖村孝, 鳥居宣之, 前田佳代	表土層内の飽和度変化を考慮した地下水位算定モデル	神戸大学都市安全研究センター研究報告, 9, 13-27 (2005)
鳥居宣之, 沖村孝, 加藤正司, 下田潤一, 宮崎裕介	繰返し荷重が土のせん断強度に及ぼす影響について (その2)	神戸大学都市安全研究センター研究報告, 9, 29-39 (2005)
沖村孝, 鳥居宣之, 堀江啓	常時微動測定結果に基づく戸建木造住宅の動的耐震性能評価に関する研究	神戸大学都市安全研究センター研究報告, 9, 1-11 (2005)
沖村孝	平成16年台風23号による兵庫県内の土砂災害の特徴と自主避難活動による安全の確保	平成16年度突発災害調査報告書, 1-13 (2005)
鳥居宣之, 沖村孝, 田中博文, 大藪剛士, 中村幸一	2004年新潟県中越地震による斜面災害調査報告	平成16年度突発災害調査報告書, 14-32 (2005)
K. Uenishi and H.P. Rossmanith	On Bench Blasting and Muckpile Formation,	Report of the Research Center for Urban Safety and Security, Kobe University, 8, 49-72 (2004)
田中泰雄, 杉本繁俊, 有村貴紀, 池西康博	2003年十勝沖地震調査報告書 3液状化被害	神戸大学十勝沖地震調査報告書, 5-15 (2004)
高田至郎, 田中泰雄, 山本聡	イラン・バム地震調査報告書 3地盤とアドベの常時微動測定	神戸大学イラン・バム地震調査報告書, 7-11 (2004)
田中泰雄	イラン・バム地震調査報告書 4土木構造物・遺跡の被害	神戸大学イラン・バム地震調査報告書, 12-16 (2004)
高田至郎, 鎌田泰子, 新谷正樹, 田中泰雄, 杉田貴彦, 治部将, 西本宗平	スマトラ沖大地震・津波調査報告書 3タイ沿岸部の津波被害とLiDAR計測	神戸大学スマトラ沖大地震・津波調査報告書, 7-24 (2005)
田中泰雄	スマトラ沖大地震・津波調査報告書 5バンダアチェ地域の地震・津波被害	神戸大学スマトラ沖大地震・津波調査報告書, 45-54 (2005)
Yasuo TANAKA	Summary Report - Science & Engineering Symposium-	International Forum on Constructing Safe and Secure Urban Society for the 21st Century, Kobe University Memorial Event for 10th Anniversary of Great Hanshin-Awaji Earthquake, 13-18 (2005)
田中泰雄, Robert Kayen, 杉本繁俊	新潟県中越地震 地震地盤災害調査報告	平成16年度突発災害調査報告書, 33-44 (2005)
田中泰雄, 竹本正和, 後安康宏	非排水繰返しせん断履歴を受けた御崎公園砂の降伏応力・破壊強度について	神戸大学都市安全研究センター研究報告, 9, 53-61 (2005)
田中泰雄, 有村貴紀, 治部将	液状化地盤における伸縮可とう性継手付き地中埋設管の挙動	神戸大学都市安全研究センター研究報告, 9, 63-71 (2005)
田中泰雄, 沖村孝, 八谷誠, 南部光広	東南海・南海地震における神戸市西部域における地震地盤災害と地震動の評価	神戸大学都市安全研究センター研究報告, 9, 73-81 (2005)

都市安全研究センター

著者名 (*は学外研究者)	学術報告名	発表誌名, 巻(号), 始頁-終頁(年)
吉田信之, 岡本歩, 上見裕康, 千代原正典, 船越寿明*, 井奥哲夫*, 森英一郎*	スラグ路盤系アスファルト舗装内に誘発される原位置水平方向ひずみについて-速報	神戸大学都市安全研究センター研究報告, 9, 91-96 (2005)
吉田信之, 杉田貴彦, 千代原正典	試験舗装区から採取した路床土のレジリエントモジュラス	神戸大学都市安全研究センター研究報告, 9, 83-89 (2005)
飯塚敦	第2回アジア地域不飽和土国際会議開催報告	土と基礎, 52 (4) Ser. No. 555, 37 (2004)
前川太, 飯塚敦	総括, ディスカッションセッション18 土構造物の品質評価-技術的アプローチを探る II	第39回地盤工学研究発表会特集号, 土と基礎, 52 (12) Ser. No. 563, 46 (2004)
飯塚敦, 他11名	地盤工学における継続教育 -G-CPDシステムの活用状況と今後-, 「第3期技術者教育委員会の取り組み」	第39回地盤工学研究発表会 ディスカッションセッション2 地盤工学会, 8-15 (2004)
飯塚敦, 他4名	第3期技術者教育委員会の取り組み, -試案プログラムの実施と国際化教育-	地盤工学会 土と基礎, 52 (12) Ser. No. 563, 115-118 (2004)
椿涼太, 川谷健, 藤田一郎, 齋藤雅彦	航空レーザー測量を用いた氾濫解析を利用した新湊川氾濫シミュレーション	神戸大学都市安全研究センター研究報告, 9, 123-134 (2005)
齋藤雅彦, 椿涼太, 中村有加里, 藤田一郎, 川谷健	表面流を考慮した斜面内降雨浸透課程の3次元解析	神戸大学都市安全研究センター研究報告, 9, 135-142 (2005)
熊野雅仁, 岩本健, 有木康雄, 塚田清志	ボールと選手に着目したデジタルカメラワークの実現法 -デジタルシューティングによるサッカー解説映像生成システムに向けて-	画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2004), SUP-C1-12, II-341-II-346 (2004)
熊野雅仁, 天野美紀, 有木康雄, 上原邦昭	映像文法に基づいた実時間使用可能ショット識別による撮影ナビゲーションシステム	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU, パターン認識・メディア理解, 104 (369), 1-6 (2004)
佐古 淳, 有木 康雄	知識を用いた音声認識による野球実況中継の構造化	第6回音声言語シンポジウム, SP2004-136, 85-90 (2004)
滝口哲也	声を認識する	日本機械学会誌, Vol. 104, No. 991, pp. 360-361 (2001)
T. Takiguchi, S. Nakamura*, Q. Huo*, K. Shikano*	Adaptation of Model Parameters by HMM Decomposition in Reverberant Environments	ATR Technical Report TR-IT-0182 (1996)
滝口哲也, 中村哲*, 鹿野清宏*	加法性雑音、伝達特性による歪みを受けた音声のHMM合成による認識	電子情報通信学会音声研究会, SP95-71 (1995)
滝口哲也, 中村哲*, Q. Huo*, 鹿野清宏*	HMM分解に基づいたパラメータ適応化法による残響環境下での音声認識	電子情報通信学会音声研究会, SP96-88 (1997)
滝口哲也, 中村哲*, 鹿野清宏*	雑音・残響環境下でのHMM分解・合成法によるハンズフリー音声認識	情報処理学会音声言語情報処理研究会, SLP98-20 (1998)
中村哲*, 滝口哲也, 鹿野清宏*	短区間スペクトル分析における残響補正に関する検討	電子情報通信学会音声研究会, SP98-25 (1998)
滝口哲也, 中村哲*, 鹿野清宏*, 森島昌俊*, 磯部俊洋*	電話音声認識におけるHMM分解・合成法の性能評価	電子情報通信学会音声研究会, SP98-28 (1998)
市川治*, 滝口哲也, 西村雅史*	プロファイルフィッティング法による雑音抑圧処理	電子情報通信学会音声研究会, SP2002-21 (2002)

著者名（*は学外研究者）	学術報告名	発表誌名，巻(号)，始頁-終頁(年)
滝口哲也，西村雅史*	残響下音声認識におけるHMM分離法の改良	情報処理学会音声言語情報処理研究会，SLP45-3（2003）
滝口哲也，西村雅史*	雑音・残響下音声認識におけるHMM分離・合成法の改良	電子情報通信学会応用音響研究会，EA2003-2（2003）
北後明彦	イラン・バム地震調査報告書 9 復旧・復興計画	神戸大学イラン・バム地震調査報告書，神戸大学都市安全研究センター・工学部地震工学研究室，41-51（2004）

学術講演(2004年4月1日～2005年3月31日)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
沖村孝	斜面防災を考える	地盤工学会関西支部総会特別講演 (2004)
沖村孝	危険度の高い斜面抽出法	地盤工学会「落石と豪雨時の斜面崩壊に関する講習会」(2004)
沖村孝	東南海・南海地震への対策について	神戸市第43回宅地防災講演会 (2004)
沖村孝, 鳥居宣之, 山口章平, 高本絢也	数量化(Ⅱ)類を用いた台湾集集地震に起因した斜面崩壊発生条件の定量的評価	日本地形学連合2004年春季研究発表会 (2004)
沖村孝, 鳥居宣之, 沖川良太, 前田佳代	表土層内の飽和土変化を考慮した集水モデルによる実測地下水位の再現性	平成16年度砂防学会研究発表会 (2004)
沖村孝, 中山卓*	ローカルエリアにおける地域防災セキュリティシステムの最適なあり方についての研究	土木学会関西支部年次学術講演会 (2004)
沖村孝	土砂災害の事例と対策	人と防災未来センター 平成16年度春期災害対策専門研修 (2004)
Takashi Okimura	Study of damaged wooden structure distribution based on dynamic response analysis	KU-UW International Symposium #1 on Design Strategy towards Safety and Symbiosis of Urban Space (2004)
沖村孝	斜面崩壊予測の課題	地すべり対策技術協会「地すべり防止工士」登録更新講習会 (2004)
沖村孝	高密度地盤データベース「神戸JIBANKUN」の構築と兵庫, 長田の地盤特性	神戸大学COE神戸フィールドスタジオ 安全と共生の都市空間セミナー (2004)
鏡原聖史*, 村上晴茂*, 金子哲朗*, 沖村孝, 荒木繁幸*, 木村裕之	自然斜面を対象とした地震時斜面安定検討方法	第39回地盤工学会研究発表会 (2004)
長谷川信介*, 沖村孝, 久世益充*, 南部光広*	各種解析手法による地震動解析結果の比較	第39回地盤工学会研究発表会 (2004)
沖村孝, 鳥居宣之, 田中博文	盛土の地震時安定性に地盤の不均質性が及ぼす影響に関する研究	第39回地盤工学会研究発表会 (2004)
沖村孝, 鳥居宣之, 玉田和也, 豊福亮	地震時盛土斜面の残留変位量算定における加速度応答スペクトル強度の適用性	第39回地盤工学会研究発表会 (2004)
沖村孝	ため池の防災-南海・東南海地震に備えて-	平成16年度大阪府ため池総合整備推進協議会総会時講演 (2004)
沖村孝	六甲山系の土砂災害と新湊川の地盤特性	湊川隧道保存の会 平成16年度講演会 (2004)
沖村孝	道路のり面危険度評価の一例	フリーフレーム協会近畿支部 フリーフレーム工法技術講習会 (2004)
沖村孝	震災被害のデータベース化から安全な都市づくりに-地理情報システム「神戸JIBANKUN」-	2004 pcカンファレンス (2004)
沖村孝	これからの斜面防災	高大連携講義 (2004)
沖村孝	神戸JIBANKUNの構築とその応用	京都大学防災研究所一般共同研究 16G-12, 地盤情報データベースの高度化と地域防災への貢献に関する研究 (2004)

著者名（*は学外研究者）	学術講演題目	講演会名（年）
沖村孝	大地震と地盤災害	大地震に備える技術士の会（2004）
沖村孝, 鳥居宣之, 田中博文	性能設計における地盤の不均質性を考慮した盛土の地震時安定解析に関する研究	土木学会第59回年次学術講演会（2004）
沖村孝, 鳥居宣之, 田中博文	盛土・基礎地盤の不均質性を考慮した地震時盛土の応答特性	第23回日本自然災害学会学術講演会（2004）
沖村孝, 鳥居宣之, 豊福亮	地震時の過剰間隙水圧を考慮した盛土斜面の安定性評価手法に関する研究	第23回日本自然災害学会学術講演会（2004）
堀江啓, 沖村孝, 鳥居宣之, 牧紀男*, 林春男*	兵庫県南部地震による神戸市域の木造建物を対象とした層破壊発生数の推定	第23回日本自然災害学会学術講演会（2004）
沖村孝	土砂災害の事例と対策	人と防災未来センター災害対策専門研修（2004）
沖村孝	神戸市内で見られる地形とその成り立ち――そこからどのようなことがわかるのか――	地盤工学会平成16年度出張講座 兵庫県立友が丘高等学校（2004）
沖村孝	阪神間西部地域を中心とした地盤震動特性の究明――芦屋, 西宮, 宝塚地区における地盤データの分析・研究と兵庫県南部地震における地震動分布の解明――	阪神・淡路大震災記念協会調査報告会（2004）
沖村孝	南海・東南海地震への備え――防災工学的立場から――	神戸安全ネット会議平成16年度第3回講演会（2004）
沖村孝	社会基盤のリスク分析と先端技術の応用	第19回「大学と科学」公開シンポジウム こもまで進んだ日米の都市地震防災（2004）
沖村孝	土砂災害	第19回「大学と科学」公開シンポジウム こもまで進んだ日米の都市地震防災 新潟県中越地震災害状況速報会（2004）
沖村孝	崩壊発生場・時の予測・危険評価と必要な地盤情報	物理探査学会 第2回交流フォーラムセミナー「斜面における物理探査の応用」（2004）
沖村孝	地盤情報データベースの構築とそれを活用した研究事例	神戸大学震災10周年理工系シンポジウム「震災から10年：安全で安心な社会の構築に向けて」（2004）
沖村孝	台風23号による斜面災害	新潟県中越地震と台風23号災害現地調査緊急報告会（2004）
沖村孝	土砂災害・発生メカニズム・対応	平成16年度ひょうご防災リーダー講座（2004）
沖村孝	河川、海岸、ダム、砂防施設等の整備に向けた取り組み	兵庫県阪神・淡路大震災復興10年総括検証・提言報告会（2005）
沖村孝	震災10年と自然災害	地域防災シンポジウムin神戸実行委員会講演会（2005）
沖村孝	「神戸の地盤・減災研究会」の研究状況と今後の方向性	震災技術展「神戸の地盤・減災研究会」研究報告会（2005）
沖村孝	地震に強い自然斜面工法の開発	兵庫県治山シンポジウム「地震災害と治山」（2005）
沖村孝	地震災害と森林について	治山懇話会第42回治山シンポジウム（2005）
沖村孝	斜面災害の予知と防災	長崎県佐世保市防災講演会（2005）

都市安全研究センター

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
沖村孝	阪神・淡路大震災の教訓の検証と来るべき東南海・南海地震への備え	神戸市・地盤工学会関西支部共催平成16年度市民特別講演会 (2005)
沖村孝	六甲山系における土砂災害の特徴	兵庫県神戸土木事務所土砂災害防災学習会 (2005)
沖村孝	災害時における専門家の役割	和歌山県県土整備部「防災技術講演会」 (2005)
沖村孝	平成16年の自然災害と最近の地震・降雨の傾向	第9回斜面等健全性検討研究委員会 (2005)
沖村孝	神戸の土砂災害について	「こうべまちづくり学校」専修講座Bコース (2005)
沖村孝	復興10年の検証を終えて	兵庫県県土整備部応援職員への感謝の集い (2005)
沖村孝	地盤から見た建物の耐震化の必要性	文部科学省・神戸市共催地震に関するセミナー (2005)
沖村孝	阪神・淡路大震災復興10年とこれからの地震災害への備え	中国新聞社「地震災害から住まいを守る」セミナー (2005)
鳥居宣之, 沖村孝, 久保達也	デジタルビデオ画像を用いた斜面地形計測手法	日本地形学連合2004年春季研究発表会 (2004)
鳥居宣之, 沖村孝, 大西哲史, 下田潤一, 濱澤忠史	地震動が土のせん断強度に及ぼす影響について	平成16年度砂防学会研究発表会 (2004)
上西幸司	断層の動的すべりについて	神戸大学 阪神淡路大震災十周年メモリアルシンポジウム：理工系プレシンポジウム (2004)
K. Uenishi	Wave-Induced Damage to Underground Structures	Institute for Structural Analysis, Graz University of Technology (2004)
K. Uenishi and J. R. Rice*	Three-Dimensional Rupture Instability of a Slip-Weakening Fault under Nonuniform Loading	Proceedings of the 2004 Seismological Society of Japan Fall Meeting, P015, Seismological Society of Japan, Tokyo, Japan (2004)
K. Uenishi and S. Nigoriike	Does Hyperelasticity Govern High-Speed Rupture?	Proceedings of the 2004 Seismological Society of Japan Fall Meeting, P016, Seismological Society of Japan, Tokyo, Japan (2004)
田中泰雄, 中西徹, 竹本正和, 松本梨恵	非排水せん断履歴による土粒子構造及び降伏応力の変化	第39回地盤工学研究発表会 (2004)
田中泰雄, 杉本繁俊, 足立直之, 利根川公司	メンブレン貫入の影響を補正した粗粒土の液状化強度について	第39回地盤工学研究発表会 (2004)
田中泰雄, 中道正人, 中井章, 藤井陽介, 白石悟, 梅木康之	経済的な地盤改良工法 (T型サンドコンパクションパイル工法) を適用した防波堤の設計及び施工	第39回地盤工学研究発表会 (2004)
田中泰雄, 白川和靖, 徳山益成, 岸田浩, 八谷誠, 南部卓也	神戸市域における液状化危険度予測手法について	第39回地盤工学研究発表会 (2004)
杉田貴彦, 川野幸一, 吉田信之	繰返し三軸圧縮試験による各種HMS路盤材のレジリエントモジュラスについて	土木学会平成16年度関西支部年次学術講演会 (2004)

著者名 (*は学外研究者)	学術講演題目	講演会名 (年)
上見裕康, 杉迫泰成, 吉田信之	繰返し平板載荷試験時のHMS路盤を有するアスファルト舗装の挙動について	土木学会平成16年度関西支部年次学術講演会 (2004)
橘伸也, 飯塚敦, 太田秀樹	対数ひずみを用いた有限変形Cam-clayモデルの陰解法アルゴリズム	第39回地盤工学研究発表会 (2004)
大野進太郎, 飯塚敦, 太田秀樹	適用性の高いダイレイタンシーの表現式の提案とそれを用いた土の弾塑性構成式の導出	第39回地盤工学研究発表会 (2004)
西田博文, 飯塚敦, 太田秀樹	関口・太田モデルにおける塑性論的粘塑性論に基づく負荷判定法の適用性	第39回地盤工学研究発表会 (2004)
霜永勝之, 岸本康熙, 汪偉川, 河井克之, 飯塚敦	不飽和地盤に及ぼす植物の吸水作用の影響	土木学会 第59回年次学術講演会 (2004)
高木智哉, 岸本鉄太郎, 飯塚敦, 河井克之, 橘伸也	正規圧密粘土の瞬間せん断剛性の軸圧縮履歴依存性	土木学会 第59回年次学術講演会 (2004)
藤川和彦, 汪偉川, 桜井健一, 河井克之, 飯塚敦	降雨に伴う土槽内の飽和度サクシオン分布の変化	土木学会 第59回年次学術講演会 (2004)
桜井健一, 藤川和彦, 汪偉川, 河井克之, 飯塚敦	初期値境界値問題における地表面水理境界による降雨表現の検討	土木学会 第59回年次学術講演会 (2004)
飯塚敦	不飽和地盤-気圏間の水収支における植生の影響	平成16年度京都大学防災研究所研究集会(一般) 16K-05「流体-不飽和土系ダイナミクスの最近の進歩と環境防災への適用」講演概要集 (2004)
汪偉川, 河井克之, 飯塚敦	蒸発散に伴う地盤の応答	植生学会第9回大会講演概要集 (2004)
齋藤雅彦	3次元斜面における降雨浸透過程の数値解析	平成16年度京都大学防災研究所研究集会(一般) 16K-05「流体-不飽和土系ダイナミクスの最近の進歩と環境防災への適用」講演概要集 (2004)
佐古 淳, 有木 康雄	状態推定音声認識を用いた野球中継の構造化及びイベント検出	日本音響学会 平成16年度秋期研究発表会 (2004)
佐古淳, 滝口哲也, 有木康雄	単語共起に注目した野球実況中継の構造化	日本音響学会平成17年度春季研究発表会 (2005)
大久保俊也, 滝口哲也, 有木康雄	複素スペクトル平面での2chマイクロフォンを用いた雑音除去	日本音響学会平成17年度春季研究発表会 (2005)
滝口哲也, 西村雅史*	ハンズフリー音声認識におけるHMM分離法の改良	日本音響学会春季研究発表会 (2003)
滝口哲也, 西村雅史*	一次線形予測を用いた残響下音声認識	FIT2003情報科学技術フォーラム (2003)
市川治*, 滝口哲也, 西村雅史*	耳介付きプロファイルフィッティング音源位置推定法の残響環境での評価	日本音響学会秋季研究発表会 (2003)
市川治*, 滝口哲也, 西村雅史*	ランクベーススペクトルサブトラクション法によるミュージカルノイズ低減	日本音響学会春季研究発表会 (2004)
滝口哲也, 西村雅史*	音響モデルを利用した2チャンネル音声強調手法	日本音響学会春季研究発表会 (2004)
北後明彦, 室崎益輝	2001年インド・グジャラート地震後の都市部での住宅再建・復興の特徴	2004年地域安全学会梗概集, No. 14, pp. 155-158 (2004)

都市安全研究センター

著者名（*は学外研究者）	学術講演題目	講演会名（年）
森山博，北後明彦， 田中哮義，室崎益輝	火災時の防災要員による対応活動に関する事例研究	平成16年度日本火災学会研究発表会 梗概集，pp. 228-231（2004）
福本一海，室崎益輝， 北後明彦	木造密集市街地の集団防火対策の効果に関する研究	2004年度建築学会近畿支部研究報告 集第44号計画系，pp. 585-588 （2004）
幾代健司，室崎益輝， 北後明彦	建ぺい率許可制度を活用した密集市街地の整備に関する研究 -大阪市における初動的運用実態を通して-	2004年度建築学会近畿支部研究報告 集第44号計画系，pp. 581-584 （2004）
檜原あずさ， 室崎益輝，北後明彦	高齢社会における災害に強いまちづくりに関する研究-防災 福祉一体型コミュニティの事例分析を通じて	2004年度建築学会近畿支部研究報告 集第44号計画系，pp. 353-356 （2004）
松山泰久，室崎益輝， 北後明彦，水上点晴	病院の避難計画と避難安全性能評価に関する研究	2004年度建築学会近畿支部研究報告 集第44号計画系，pp. 357-360 （2004）
馬越泰三，室崎益輝， 北後明彦，水上点晴	共同住宅の避難計画と避難安全性能評価に関する研究	2004年度建築学会近畿支部研究報告 集第44号計画系，pp. 365-368 （2004）
難波美枝，北後明彦， 室崎益輝	重症心身障害者に対応できるグループホームの安全性に関する 研究	2004年度建築学会近畿支部研究報告 集第44号計画系，pp. 221-224 （2004）
安井昇，長谷見雄二， 北後明彦ほか	化粧軒裏の各部仕様が延焼防止性能に与える影響（その1） 研究計画と試験体設計	2004年度建築学会大会学術講演梗概 集A-2防火，pp. 23-24（2004）
上島基英，安井昇， 長谷見雄二， 北後明彦ほか	化粧軒裏の各部仕様が延焼防止性能に与える影響（その2） 実験結果	2004年度建築学会大会学術講演梗概 集A-2防火，pp. 25-26（2004）
清水真理子， 長谷見雄二，安井昇， 北後明彦	木造土壁の防火性能に関する実験的研究（その7）京町家の 実態荷重を考慮した実大木造土壁の載荷加熱実験	2004年度建築学会大会学術講演梗概 集A-2防火，pp. 27-28（2004）
幾代健司，北後明彦， 室崎益輝	建ぺい率許可制度を活用した密集市街地の整備に関する研究 -大阪市における初動的運用実態を通して-	2004年度建築学会大会学術講演梗概 集F-7都市計画，pp. 115-116（2004）
森山博，北後明彦， 田中哮義，室崎益輝	火災時の防災要員による対応活動に関する事例研究	2004年度建築学会大会学術講演梗概 集A-2防火，pp. 257-258（2004）
大友諒香，樋口大介， 北後明彦，室崎益輝	北海道南西沖地震から10年を経た住宅再建・復興の実態	2004年地域安全学会梗概集，No. 15， pp. 155-158（2004）
木本勢也，横山健志， 北後明彦，室崎益輝	雲仙普賢岳噴火災害から13年を経た住宅再建・復興の実態	2004年地域安全学会梗概集，No. 15， pp. 139-142（2004）

4.1 建設学科

博士論文(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文題目	主査、副査	学位
Impacts of Telework on Urban and Residential Environment in the United States	塩崎賢明, 重村力, 三谷勲	工学博士
Psychological and Psysiological Responses for Auditory Environment and the Application for Acoustical Design Using Evolutionary Computation	河村廣, 三谷勲, 森山正和, 松嶋隆二, 谷明勲	博士(工学)
遺伝的アルゴリズムを用いたリカレント建築における生産プロセスの最適化	河村廣, 田淵基嗣, 森山正和, 谷明勲	博士(工学)
鋼・コンクリート合成構造の耐力と変形性能に関する研究		博士(工学) (九州大学)
着衣における水分の移動と蓄積を考慮した人体の熱環境に対する非定常応答		博士(工学) (京都大学)

論文題目	主査、副査
近代鉱山遺構の保存と活用に関する研究	足立裕司, 重村力, 黒田龍二
近代における民家と日本的造形に関する研究	足立裕司, 安田丑作, 黒田龍二
近代建築の保存・再生とその評価に関する研究	足立裕司, 安田丑作, 黒田龍二
生野鉱山における官舎・社宅に関する研究	足立裕司, 塩崎賢明, 黒田龍二
近畿地方における近世浄土宗本堂の彫刻に関する研究	黒田龍二, 足立裕司, 安田丑作
塩飽大工に関する研究	黒田龍二, 足立裕司, 安田丑作
名古屋市を中心とする屋根神の研究	黒田龍二, 足立裕司, 安田丑作
斜面都市における密集市街地整備の現状とその評価に関する研究 ー全国斜面都市連絡協議会加盟都市における事例の分析を通してー	安田丑作, 塩崎賢明, 三輪康一, 末包伸吾
都市型狭小独立住宅作品における内部空間の立体構成に関する研究 ー1990年代後半以降の住宅作品における空間の連続性に着目してー	安田丑作, 重村 力, 三輪康一, 末包伸吾
ラファエル・ソリアノの独立住宅作品における空間構成と架構形式に関する研究	安田丑作, 足立裕司, 三輪康一, 末包伸吾
昭和初期に開発された阪神間郊外住宅地における景観デザイン誘導に関する研究 ー武庫之荘地区における景観シミュレーション分析を通してー	安田丑作, 重村 力, 三輪康一, 末包伸吾
市民まちづくり活動とその組織形態の展開に関する研究 ー神戸市におけるまちづくり組織の事例分析を通してー	安田丑作, 塩崎賢明, 三輪康一, 末包伸吾
斜面地に建つ独立住宅作品における空間構成論とその手法に関する研究 ー第二次世界大戦以降の住宅作品の事例分析を通してー	安田丑作, 足立裕司, 三輪康一, 末包伸吾
広瀬謙二の鉄骨住宅作品「SHシリーズ」における空間構成と架構形式に関する研究	安田丑作, 足立裕司, 三輪康一, 末包伸吾
震災復興再開発地区における入居者の生活実態と意識に関する研究 ー新長田駅南地区を事例としてー	塩崎賢明, 安田丑作, 三輪康一
木造住宅の耐震化事業における建築事業者の役割に関する研究 ー自治体による専門家派遣制度と民間事業者の活動に着目してー	塩崎賢明, 重村力, 北後明彦
高齢者向け住宅改善事業における専門的職能の役割に関する研究	塩崎賢明, 安田丑作, 山崎寿一
非住居系地域における日影規制に関する研究 ー大阪市の準工業地域を事例としてー	塩崎賢明, 安田丑作, 末包伸吾
住宅の地震被害軽減対策の先進事例に関する研究	塩崎賢明, 重村力, 北後明彦
偏心を有する建築構造物の知的アクティブ制御に関する研究	河村廣, 大井謙一, 谷明勲
可変速度型エージェントによる通路空間における人間歩行モデルニューラルネットワークとパラメーターフリー遺伝的アルゴリズムの併用ー	河村廣, 長尾直治, 谷明勲
2層構造物の知的ファジィ最適アクティブ制御に関する実験的研究 ー階層型ニューラルネットワークを用いた制御力加力システムー	谷明勲, 河村廣, 三谷勲

論文題目	主査、副査
多目的GAを用いた太陽光発電モジュールの最適配置システム	河村廣，田淵基嗣， 谷明勲
岸和田城周辺地区における街区構成の変容と継承に関する研究	重村力，安田丑作， 山崎寿一
都市におけるネットワーク居住と住まい方の関係に関する研究－家族の周期段階とネットワークの発達－	重村力，塩崎賢明， 山崎寿一
住生活の現代化過程に関する研究－名古屋の町家における90年の居住実態から－	重村力，塩崎賢明， 山崎寿一
20年を経たコーポラティブ住宅の住まい方に関する研究	重村力，足立裕司， 山崎寿一
大阪市杭全住宅における相隣環境とその変容	重村力，足立裕司， 山崎寿一
学社融合教育プログラムをもつ学校環境に関する研究－習志野市立秋津小学校を事例として－	重村力，安田丑作， 山崎寿一
横山集落計画とその後の空間と社会	重村力，塩崎賢明， 山崎寿一
大阪旧平野郷における環境資産を活かした現代的まちづくり活動に関する研究	重村力，足立裕司， 山崎寿一
建物立地状況を表す指標を用いた建物群背後における騒音予測	森本 政之， 森山 正和， 阪上 公博
微細穿孔板と通気性膜を用いた空間吸音体の吸音特性に関する研究	阪上 公博， 森本 政之， 森山 正和
公共空間における騒音の影響を考慮した拡声音の最適レベル	森本 政之， 森山 正和， 阪上 公博
表面に膜を付加した穿孔板の吸音特性に関する研究	阪上 公博， 森本 政之， 森山 正和
地下鉄駅の騒音の類型化に関する研究－公共空間の音環境デザインに向けて－	森本 政之， 松下 敬幸， 阪上 公博
厨房の調理機器が室内環境に及ぼす影響に関する研究-新しい排気システム及びキッチン形態に関する検討-	松下敬幸，森山正和， 高田暁
床断熱住宅の床下温湿度性状に関する研究-床下1質点解析モデルの妥当性の検討-	松下敬幸，森山正和， 高田暁
露出型柱脚の復元力特性が鋼構造骨組の弾塑性性状に与える影響に関する研究	三谷勲，大井謙一， 大谷恭弘
S C構造における材料界面のプロファイルが相互作用とコンクリートのひび割れ進展に及ぼす影響	三谷勲，田淵基嗣， 大谷恭弘
鋼コンクリート合成部材の抵抗機構と骨組挙動	三谷勲，田淵基嗣， 大谷恭弘
引抜き力を受ける鉄筋界面の微視的観察とひび割れ性状および巨視的付着性状のモデル化	三谷勲，河村廣， 大谷恭弘
日・中S R C構造設計法の比較	三谷勲，長尾直治， 大谷恭弘

論文題目	主査、副査
都市環境気候図の作成とその利用に関する研究	森山正和， 森本政之
都市キャノピーモデルを組み込んだ数値気候モデルによるヒートアイランド対策効果に関する研究	森山正和， 松下敬幸
天気予報を利用した防災用太陽光発電システムの効率的運転方法に関する研究	森山正和， 松下敬幸
屋上緑化及び高反射塗料の熱収支に関する研究	森山正和， 松下敬幸
屋上緑化空間の環境設計手法に関する研究	森山正和， 森本政之， 高田暁
耐震改修から生まれたダブルスキン構造を活用した教室の熱環境改善に関する研究	森山正和， 松下敬幸
大学キャンパスにおけるエネルギー消費の実態と新エネルギー利用システムの導入効果に関する研究	森山正和， 松下敬幸
ライフラインの高精度地震被害と復旧予測に関する研究	高田至郎， 田中泰雄
二層構造管の荷重分担と管厚設計手法の提案	高田至郎， 北村泰寿
ゴム支保を有する高架橋を走行するドライバーの地震時安全性に関する研究	高田至郎， 川谷充郎
鉄筋腐食劣化を考慮したRC橋の安全性評価と最適補強に関する研究	森川英典， 北村泰寿， 川谷充郎
初期欠陥および劣化を考慮したRC橋脚のせん断耐荷機構と橋梁構造系の耐震信頼性に基づく維持管理手法	森川英典， 北村泰寿， 高田至郎
透過性捨石水制群の水理特性について	道奥康治， 川谷健
森林からの有機物が貯水池の物質収支に与える影響	道奥康治， 藤田一郎
深層曝気による貯水池水質浄化システムの施設運用計画	道奥康治， 中山昭彦
背景のブレを考慮した河川表面流の画像計測と実河川への適用	藤田一郎， 川谷健
境界埋め込み法とPIVによる局所流れの解析	藤田一郎， 中山明彦
検査線上の時空間画像を用いた準リアルタイム河川流計測システム	藤田一郎， 道奥康治
明石海峡の強い潮流の影響をうける沿岸域での流動と拡散について	中山昭彦， 藤田一郎

卒業研究(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文題目	指導教官
『平行線』 ―甘美な隔たりを生み出す装置―	足立裕司, 中江研
fruits of desert ―砂漠を植せ!!―	足立裕司, 中江研
connective effect ―urban buildings―	足立裕司, 中江研
MULTI BOX ―職住を含む多機能施設の提案―	足立裕司, 中江研
sand scape ―越ヶ浜の創生―	黒田龍二
初期の鳥居に関する研究 ―山形県庄内地方の遺構と絵画資料を中心に―	黒田龍二
BOX SEAT	黒田龍二
land・bazar ―食文化再考施設―	安田丑作, 栗山尚子
the Joint of green ―京都府立植物園から始まる新しい都市の形―	安田丑作, 栗山尚子
積むニティー歩けード ―水道筋商店街再生―	安田丑作, 栗山尚子
PRIMAL SCENE ―堺文化軸博物館計画―	安田丑作, 栗山尚子
うたを詠う 歌垣を謳う ―能勢の文化を巡る―	三輪康一
harmonica豊作館 ―加古川社宅再生―	三輪康一
unsere Luft atmen ―anytime anyone anywhere condominium in Ebie―	三輪康一
都市の断片 ―つないで拡がる乙仲通―	三輪康一
Spreading Stage ―道頓堀劇場化計画―	末包伸吾
hybridize ―町に融けたキャンパス―	末包伸吾
submerge ―毛馬閘門水害記憶空間―	末包伸吾
経年変化に見る災害復興公営住宅の居住者の属性と生活実態に関する調査と分析	塩崎賢明, 堀田祐三子
阪神・淡路大震災の被災市街地における自力仮設住宅に関する研究―継続・消滅実態に着目して―	塩崎賢明, 堀田祐三子
仮設住宅及び災害復興公営住宅における孤独死の実態と住環境との関係	塩崎賢明, 堀田祐三子
きづくこと きづくこと	塩崎賢明, 堀田祐三子
遺伝的アルゴリズムを用いたリカレント建築の設計システム	河村廣, 山邊友一郎
RFIDを用いた建築情報マネジメントシステム	河村廣, 山邊友一郎
マルチエージェントシステムを用いた震災救助シミュレーション	河村廣, 山邊友一郎
GAを用いた都市計画デザインシステム	河村廣, 山邊友一郎
RC建物の構造要素最適配置システム	谷明勲
トラス構造屋根の形状最適化システム	谷明勲
アクチュエーターのストロークを考慮した建築構造物のファジィアクティブ制御システム	谷明勲
Composition : 奈良街道暗峠 -furnishings for landscape-	重村力
風紋、甦る。 -人間と自然の相克を超えて-	重村力
街のキオク 街のユクエ -神戸・長田の10年をこえて-	重村力
OPEN THE CANAL-SCAPE -水際の地域交流-	重村力

論文題目	指導教官
CONTRAST -横山光輝記念館-	重村力
七口の出会い -大阪・大正島-	山崎寿一
NADA NODE -JR灘駅改修計画-	山崎寿一
下地によって支持された微細穿孔板の吸音特性に関する研究	阪上 公博
かわどけい-武庫川創造空間-	阪上 公博
周期構造物周辺の音場解析に関する基礎的考察-周期境界条件に対するGreen関数を用いた境界積分方程式による音場解析-	阪上 公博
公共空間の環境音の空間特性に関する基礎的研究-両耳間相関度の分析-	森本 政之
住宅における残響が会話のしにくさに与える影響-聴き手に着目した場合-	森本 政之
騒音場における音声の到来方向が聴き取りにくさに及ぼす影響	森本 政之
公共空間におけるアナウンスの親密度に関する基礎的研究-世代による親密度の差の検討と現状調査-	森本 政之
集合縦ダクト方式の押出排煙ダクト設計法に関する研究	松下敬幸
エレベータ利用避難のための加圧煙制御における給気量決定法に関する研究	松下敬幸
地下空間における煙流動性状に関する研究-地下8層の模型実験-	松下敬幸
間接接合部の強度・剛性評価に関する研究 -コンクリートとモルタルに埋め込まれたあと施工アンカーの強度・剛性評価-	大谷恭弘
民間の老朽化建物及び既存不適格建物の耐震改修の現状とその促進における課題の考察	大谷恭弘
床版付半剛接合部における梁端部局所変形の回転剛性への影響に関する実験的研究	大谷恭弘
角形CFT柱の繰返し挙動と単調挙動の比較	三谷勲
柱梁接合部への応力伝達に与えるスラブ内配力筋の影響	三谷勲
戸建住宅における給湯負荷の実態および節約行為に関する調査研究	森山正和
大阪地域の夏季における気温分布に関する研究 -都市環境気候図の作成に向けて-	森山正和
神戸市及びシアトル市におけるヒートアイランド現象と都市構造に関する研究	森山正和
環境配慮型道路舗装面の熱収支に関する研究	森山正和
浴室の断熱効果に関する研究 -解析モデルによる検討-	高田暁
入浴時における体温調節系の過渡的応答特性の解析	高田暁
室内の化学物質濃度およびにおいに及ぼす湿度の影響	高田暁
震度アンケートおよび地震時テレビ挙動解析を用いた加速度推定法の提案	高田至郎
断層変位および長周期地震動を受ける地中管路の挙動シミュレーションと防災対策の提案	高田至郎
費用便益を考慮した病院水道ライフラインの脆弱管路耐震化対策の提案	高田至郎
現場試験およびアンケート調査に基づく塩害劣化RC橋の健全性評価	森川英典
電気化学的パラメータに着目したRC部材の鉄筋腐食モニタリングと局部腐食を考慮した耐荷性能評価	森川英典
局部腐食を有するRC部材のせん断耐荷機構と塩害劣化RC橋のせん断耐荷性能評価	森川英典
捨石護岸を有する開水路流の解析	道奥康治, 宮本仁志
貯水池の富栄養化に伴う鉄・マンガンの形態変化	道奥康治, 宮本仁志

論文題目	指導教官
透過型水制群の配置形態が流れの特性におよぼす影響	道奥康治, 宮本仁志
費用対効果を考慮した深層曝気施設運用の最適化	道奥康治, 宮本仁志
都市雨水排除系における汚濁負荷流出特性とそのモデル化	道奥康治, 宮本仁志
沖積粘土の工学的特性の 一様性に関する実験研究	澁谷啓
東京湾盤洲干潟地盤の工学的性質に関する現場調査	澁谷啓
備中高松城の水攻めに関する研究	藤田一郎
実河川水制周辺流れの現地計測と数値解析	藤田一郎
斜路部を有する側岸凹部流れの構造に関する研究	藤田一郎
一般座標系にのIBMによる複雑地形上気流の解析	中山昭彦, 藤田一郎
水面変動を考慮した限界流近傍開水路乱流のLES	中山昭彦, Jeremy Bricker
大阪湾と琵琶湖における成層化と溶存酸素分布について	中山昭彦, Jeremy Bricker

4.2 電気電子工学科

博士論文(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文題目	主査、副査	学位
低消費電力LSIの回路技術に関する研究	沼 昌宏, 吉本雅彦, 増田澄男	博士(工学)
電子透かし技術とその応用に関する研究	田中初一, 増田澄男, 上原邦昭	博士(工学)
ラベルをもつ無向グラフの描画アルゴリズムに関する研究	増田澄男, 田中初一, 沼昌宏	博士(工学)

修士論文(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文題目	主査、副査
SiC微結晶中のfree carrier制御と赤外吸収に関する研究	林真至, 小川真人
Siナノ結晶とErイオンのエネルギー交換に関する研究	林真至, 小川真人, 藤井稔
表面プラズモン励起に伴う電場増強の近接場光学顕微鏡による観測	林真至, 三好旦六
シリコンナノ結晶を光増感剤とした一重項酸素生成の高効率化に関する研究	林真至, 和田修, 藤井稔
Au微粒子による希土類イオンの発光効率改善に関する研究	林真至, 三好旦六, 藤井稔
ポーラスシリコンから酸素分子へのエネルギー移動メカニズムの解明と応用に関する研究	林真至, 和田修, 藤井稔
不純物ドーピングによるSiナノ結晶の発光特性制御に関する研究	林真至, 小川真人, 藤井稔
第一原理計算によるナノスケールMOS構造の電子状態に関する研究	三好旦六, 小川真人, 土屋英昭
グリーン関数法によるSi MOS構造のリーク電流解析に関する研究	小川真人, 三好旦六
高圧力下のGaAs/秩序構造GaInPヘテロ構造における発光特性の研究	林真至, 小川真人, 小林利彦
DV-X α 分子軌道法によるAlB2構造型ホウ素化合物の電子状態の研究	小川 真人, 三好 旦六, 本間 康浩
原子レベルで制御した量子ドットナノ構造の成長と評価	和田修, 小川真人, 喜多隆
磁性不純物を変調ドーブした量子ナノワイヤにおけるスピン制御と磁気光学特性	和田修, 林真至, 喜多隆
単一原子を利用した狭線幅発光の実現と光源応用	和田修, 小川真人, 喜多隆
低温成長アルミニウムナイトライドによるフィールドエミッションデバイスの作製	和田修, 三好旦六, 喜多隆
原子層窒化による量子ドットのナノ構造制御と光通信帯発光特性	和田修, 林真至, 喜多隆
Cs吸着CVDダイヤモンド表面からの光電子放出に関する研究	和田修, 林真至, 本郷昭三
熱フィラメントCVD法による多結晶ダイヤモンド薄膜の粒径制御及びその表面を利用した電子エミッターの研究	三好旦六, 小川真人, 本郷昭三
RHEEDによるSi(111)面上のFeシリサイド薄膜の観察	和田修, 三好旦六, 浦野俊夫
Fe/Si(111)におけるLEEDパターン観察及び結晶構造の解析	林真至, 和田修, 浦野俊夫
PD-SOIを対象とする低消費電力回路設計手法	沼 昌宏
デジタル放送用QAM復調回路の実現方式に関する研究	沼 昌宏
LSI設計変更コスト削減のための論理再合成手法に関する研究	沼 昌宏
サブピクセル配列を考慮したフラットパネル・ディスプレイの高画質化に関する研究	沼 昌宏

論文題目	主査、副査
赤外線マルチカメラ・システムを用いた車内環境における頭部位置追跡	沼 昌宏
遺伝的アルゴリズムによる神経回路網の形成に関する研究	塚本昌彦, 増田澄男
投機的計算を用いたマルチエージェントシステムにおける実時間意思決定に関する研究	塚本昌彦, 増田澄男
ペナルティ関数法によるSAWフィルタのロバスト最適設計に関する研究	塚本昌彦, 沼昌宏
メッセージ通信を用いた分散型結論発見に関する研究	塚本昌彦, 田中初一
CF帰納法における一般化手法とその実装に関する研究	塚本昌彦, 沼昌宏
暗号の準同型特性を利用した安全なカウンタ用プロトコルに関する研究	田中初一, 増田澄男, 桑門秀典
原始BCH符号の階層構造を利用した軟判定復号法に関する研究	田中初一, 沼昌宏
幾何学的歪み補正による電子透かし検出能力の改善に関する研究	田中初一, 沼昌宏
情報理論的に安全な効率的マルチパーティプロトコルに関する研究	田中初一, 増田澄男, 桑門秀典
グラフ描画アルゴリズムに基づいたデフォルメ路線図作成法	増田澄男, 塚本昌彦
相似三角形による二次元点パターンマッチングアルゴリズムの効率化に関する研究	増田澄男, 阿部重夫
引出し線を用いた地図ラベル配置アルゴリズム	増田澄男, 沼昌宏
Comparability graphの抽出と施設配置問題への応用	増田澄男, 田中初一
階層的なグラフ管理構造を用いた最短経路探索手法の提案	増田澄男, 沼昌宏
SMES併用固体高分子型燃料電池システムにおける利用効率の改善に関する研究	八坂保能
高磁場MRI用並列多重化スイッチング電源の予見最適制御による電流リプル低減法	八坂保能
カスプ磁場を用いた荷電粒子分離と直接エネルギー変換に関する研究	八坂保能
自砕性コンクリート開発のためのマイクロ波照射による導電材の加熱効果に関する基礎研究	竹野裕正, 八坂保能
マルチスロット励起マイクロ波放電における波動伝搬制御及び均一プラズマ生成に関する研究	八坂保能
プラズマプロセスのためのマイクロ波励起プラズマの気相反応に関する研究	八坂保能
多クラスサポートベクトルマシンのモデル選択の高速化	阿部重夫, 八坂保能
摂動最適化を用いたテクスチャ画像の進化的領域分割手法の開発	阿部重夫, 八坂保能
ブースティングカーネル判別分析法とパターン認識への応用	阿部重夫, 八坂保能, 小澤誠一
マクロアクション生成機能をもつ自律エージェントモデル	阿部重夫, 八坂保能, 小澤誠一

卒業研究(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文題目	指導教官
Siナノ結晶とErを共添加した石英系光アンプの損失評価	森脇和幸
放射光照射による石英系ガラス膜の表面改質特性	森脇和幸
Au薄膜によるEr-Yb間のエネルギー移動レート増強に関する研究	藤井稔
Siナノ結晶エレクトロルミネッセンスデバイスに関する研究	藤井稔
光アンプ用リッジ型光導波路の作製	森脇和幸
ErとSiナノ粒子を同時ドーブしたシリカ薄膜へのAl添加効果に関する研究	藤井稔
窒素ドーブシリコンナノ結晶の発光特性に関する研究	藤井稔
金属薄膜近傍におけるSiナノ結晶の励起子再結合過程に関する研究	藤井稔
表面プラズモン励起による増強効果の近接場光学顕微鏡を用いた観察	林真至
Effects of laser irradiation on singlewall carbon nanotubes	林真至
深い閉じ込めを持つ高指数面QWRの光学特性解析に関する研究	小川真人
モンテカルロシミュレーションにおける電極の境界条件に関する研究	土屋英昭, 三好旦六
電子デバイス雑音のコンパクトモデルに関する研究	三好旦六
ナノスケールMOSFETにおける電流雑音の温度依存性に関する研究	土屋英昭, 三好旦六
Arnoldi法による大規模行列の固有値問題解析に関する研究	小川真人
Tri-gate MOS構造の電子状態解析に関する研究	小川真人
ダブルゲート構造MOSFETの3次元モンテカルロシミュレーションに関する研究	土屋英昭, 三好旦六
Si MOS構造におけるリーク電流の量子輸送解析に関する研究	小川真人
半導体的CNTの量子輸送解析に関する研究	小川真人
金属端散乱問題のFDTD解析に関する研究	三好旦六
ナノスケールMOS素子の電流雑音に関する研究	三好旦六
不純物原子の離散的配置を考慮した3次元モンテカルロシミュレーションに関する研究	土屋英昭, 三好旦六
第一原理計算による超薄膜シリコンの電子状態解析に関する研究	土屋英昭, 三好旦六
ボロンをイオン注入したシリコン材料の発光特性の研究	小林利彦
高圧力下の GaAs/GaInP量子井戸構造の発光特性	小林利彦
GaAs/GaInPヘテロ構造の発光特性と励起光の効果	小林利彦
4K電子冷凍機によるn-GaAsのフォトルミネッセンス・アレニウスプロットに関する研究	青木和徳
AlGaAs/GaAsヘテロ界面における自由励起子の強い発光とその発光スペクトルに関する研究	青木和徳
マイクロ波照射により焼結した高温超伝導体YBCOの反磁性測定	本間 康浩
酸化第二銅のマイクロ波吸収特性を利用したダブルペロブスカイト構造物質の焼結	本間 康浩
DV-X α 分子軌道法によるペンタセン薄膜の電子状態の研究	本間 康浩
窒化アルミニウムフィールドエミッションデバイス特性の評価	喜多隆, 和田修
窒素添加 InAs/GaAs量子ドットにおける長波長発光機構	喜多隆, 和田修
InAs/GaAs量子ドット成長の成長中断による発光特性の制御	和田修, 喜多隆

論文題目	指導教官
フォトリフレクタンスによるナイトライド半導体ウエファ評価技術の構築	喜多隆, 和田修
希薄窒素ドーブGaAsにおける束縛励起子の交換相互作用と制御	喜多隆, 和田修
InGaAsキャップ量子ドットにおける励起キャリアの熱活性化プロセス	和田修, 喜多隆
低温成長窒化アルミニウム膜成長の最適化とフィールドエミッション特性	和田修, 喜多隆
窒素添加InAs/GaAs量子ドット発光特性に及ぼす熱アニールの影響	和田修, 喜多隆
シリコン基板上への熱フィラメントCVD法によるナノ結晶ダイヤモンドの作製	本郷昭三
熱フィラメントCVD法によって作製されたナノ結晶ダイヤモンド薄膜の電界電子放出特性に関する研究	本郷昭三
Cs超酸化物吸着CVDダイヤモンド表面からのフォトエミッションの安定性に関する研究	本郷昭三
Fe/Si(111)表面のRHEEDパターンの観察とロッキングカーブの取得	浦野俊夫
Fe/Si(111)表面におけるLEED I-V曲線の取得およびR-factorによる構造変化の検証	浦野俊夫
新しい同軸型超高真空計の提案とコンピュータシミュレーションによる検討	浦野俊夫
複数の信号線欠落誤りに対応した論理診断手法	沼 昌宏
電荷再利用型動的ボディ電位制御による低消費電力化手法	沼 昌宏
生成符号量に着目したMPEGシーケンスにおける同一映像区間検出	沼 昌宏, 黒木修隆
米国地上デジタル放送用復調回路の実現方式に関する研究	沼 昌宏
論理診断に用いる付加回路の規模削減	沼 昌宏
アイモデルに基づく適応型誤差拡散法によるディスプレイの高階調化	沼 昌宏, 黒木修隆
OFDM復調用FFT回路の低消費電力化に関する研究	沼 昌宏
点滅赤外線照明を用いたスポット領域における物体の検出	沼 昌宏, 黒木修隆
複数のウェアラブルカメラの制御システムの構築に関する研究	塚本昌彦
適応型ペナルティ関数法によるSAWフィルタのロバスト最適設計に関する研究	塚本昌彦
制約条件付き関数最適化問題に対する遺伝的アルゴリズムの構成法に関する研究	塚本昌彦
ロータリーエンコーダを用いたポインティングデバイスに関する研究	塚本昌彦
カメラと加速度センサを用いた入力インタフェースの設計と実装に関する研究	塚本昌彦
高速処理可能な64ビットCPU向けハッシュ関数のソフトウェア実装に関する研究	田中初一, 桑門秀典
カオス写像を用いた有効期限付き鍵生成法に関する研究	田中初一, 栗林稔
ストリーム暗号用高速擬似乱数生成器の統計的安全性に関する研究	田中初一, 桑門秀典
視覚復号型秘密分散法における高集積符号化法に関する研究	田中初一, 桑門秀典
光子数分割攻撃に対する量子鍵配送方式の安全性に関する研究	田中初一, 桑門秀典
非線形ランプ型秘密分散法の実現に関する研究	田中初一, 桑門秀典
電子透かし技術を用いたロゴマークの埋め込み方式に関する研究	田中初一, 栗林稔
可逆圧縮画像へのデータハイディング技術に関する研究	田中初一, 栗林稔
線分に対するラベル配置アルゴリズムに関する研究	増田澄男, 山口一章
ラベル配置問題の厳密解法と近似解法に関する研究	山口一章, 増田澄男

論文題目	指導教官
手書きの絵による画像検索における候補画像の絞り込みに関する研究	山口一章, 増田澄男
グラフ描画アルゴリズムにおける頂点移動方法の改良に関する研究	増田澄男, 山口一章
有理数彩色を用いた最大クリーク問題の近似解法に関する研究	山口一章, 増田澄男
領域に対するラベル配置アルゴリズムに関する研究	増田澄男, 山口一章
頂点及び辺の付加に伴うグラフ描画の更新法に関する研究	増田澄男, 山口一章
ある種のグラフにおけるセパレータ抽出手法に関する研究	山口一章, 増田澄男
マイクロ波照射によるコンクリート内部の欠陥及び鉄筋の検出に関する基礎研究	竹野裕正
並列多重化スイッチング電源の電流リプル低減法と高磁場MRI応用に関する研究	八坂保能, 米森秀登
自砕性コンクリート開発における火薬カプセルフィラーに関する基礎研究	竹野裕正
超高速MOS-FETを利用した高周波インバータ回路とプラズマ源への応用に関する実験的研究	八坂保能, 米森秀登
カスプ型直接エネルギー変換器の動作特性解析と大型核融合実験装置への適用性に関する研究	八坂保能, 竹野裕正
マルチスロットアンテナを用いたプロセス用マイクロ波プラズマ源に関する研究	八坂保能
固体高分子型燃料電池を利用する中規模分散電源システムとSMES導入効果に関する研究	八坂保能, 米森秀登
ウェーブレット変換を用いた選択的テクスチャ特徴抽出手法	阿部重夫
カーネルクラス間分離度による特徴選択	阿部重夫
単体法と分割法を用いた線形計画サポートベクトルマシンの高速学習法	阿部重夫
クラスタリングによるサポートベクトルマシンの高速学習法	阿部重夫
サポートベクトルマシンからの知識抽出法	阿部重夫
パターン認識におけるマルチタスク学習に関する研究	小澤誠一, 阿部重夫
顔認識システムの試作 (IV)	小澤誠一, 阿部重夫
Committee Machineの追加学習に関する研究	小澤誠一, 阿部重夫
局所近似型ニューラルネットを用いた強化学習モデル	小澤誠一, 阿部重夫

4.3 機械工学科

博士論文 (2004年4月1日～2005年3月31日)

論文題目	主査、副査	学位
潜熱蓄熱槽の蓄放熱動特性に関する研究	藤井照重, 竹中信幸, 大村直人, 浅野等	博士 (工学)
蒸気、ガスサイクルプラントのエクセルギー評価に関する研究	藤井照重, 薦原道久, 神吉博, 保田英洋	博士 (工学)
骨芽細胞の力覚機構におけるアクチン細胞骨格の役割およびその構造再構築に関するバイオメカニクス	富田佳宏, 白瀬敬一, 齋藤尚亮, 州崎敏伸, 安達泰治	博士 (工学)
プラント施設内における救助活動用小型ロボット群に関する研究	大須賀 公一, 神吉 博, 小島 史男	博士 (学術)
Development of In-Process Cutting Condition Monitoring System for CNC Turning	森脇俊道, 檜崎博司, 白瀬敬一, 柴坂敏郎	博士 (工学)
Artificial Evolution on Fitness Landscapes with Neutral Networks	T. Taura, K. Ohkura, K. Ueda*, F. Kojima, H. Sawai	博士 (工学)

修士論文(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文題目	主査、副査
プランジャーポンプにおけるボール弁周りの非定常流れに関する研究	神吉博, 浅野等
回転二重同心円筒内流体の吸い込み湧き出し流れ	富山明男, 能登勝久
希薄気体における温度勾配による流れの工学的応用に関する研究	竹中信幸, 細川茂雄
狭い間隙内の高せん断流れによる粒子の微粒化に関する研究	竹中信幸, 細川茂雄
二層流体中を伝播する内部孤立波の線形安定性に関する研究	富山明男, 能登勝久
高圧空気を用いた船舶用推進ノズル内流れに関する数値的研究	藤井照重, 浅野等
高圧空気を用いた船舶用推進ノズル内流れに関する実験的研究	藤井照重, 浅野等
無限静止液中における単一気泡の運動に関する研究	竹中信幸, 富山明男, 細川茂雄
気泡の3次元画像計測法の開発と鉛直円管内気液二相気泡流への適用	竹中信幸, 藤井照重, 細川茂雄
高エネルギー加速器固体ターゲットにおける沸騰熱伝達および圧力損失特性	竹中信幸, 藤井照重, 能登勝久
中性子ラジオグラフィによるロッドバンドル内気液二相流計測とモデリング	竹中信幸, 富山明男, 浅野等
粒子画像計測法に基づく流速ベクトルの3次元分布計測法の開発	竹中信幸, 蔦原道久, 細川茂雄
フォトブリーチング分子タグ法による流速・歪み計測法の開発	竹中信幸, 蔦原道久, 細川茂雄
宇宙用排熱ループにおけるアキュムレーターの制御特性に関する研究	藤井照重, 富山明男, 浅野等
キャピラリーポンプの性能向上に関する研究	藤井照重, 富山明男, 能登勝久
蒸気利用熱交換器における性能向上に関する研究	藤井照重, 竹中信幸, 細川茂雄
エクセルギーコストの最小評価法に関する研究	藤井照重, 竹中信幸, 能登勝久
ミニチャネル内の熱流動特性に関する研究	藤井照重, 蔦原道久, 細川茂雄
A Study on the Leading Edge Structure of Laminar Methane/Air Diffusion Flames	富山 明男, 竹中 信幸, 細川 茂雄
鉛直管内二酸化炭素気泡流における気泡溶解過程に関する研究	富山 明男, 藤井 照重, 浅野 等
密度成層場における噴流と液滴挙動に関する研究	富山 明男, 蔦原 道久, 能登 勝久
サーマルブルームの乱流遷移と乱流の直接数値シミュレーション(DNS)に関する研究	富山 明男, 蔦原 道久, 能登 勝久
スワールインジェクタの噴霧特性に関する研究	富山 明男, 藤井 照重, 浅野 等

論文題目	主査、副査
ロッドバンドル内気液二相流流動様式の定量的判定に関する研究	富山 明男, 竹中 信幸, 細川 茂雄
ロッドバンドル内気液二相流の流動様式に関する研究	富山 明男, 竹中 信幸, 浅野 等
気泡塔内非均質気泡流動の数値予測手法に関する研究	富山 明男, 蔦原 道久, 細川 茂雄
A Study on Terminal Velocities of Fluid Particles in Stagnant Liquids	富山 明男, 竹中 信幸, 細川 茂雄
Ni基超合金微細析出構造中における転位挙動の離散転位動力学解析	富田佳宏, 大前伸夫, 屋代如月
Ni基超合金 γ/γ' 界面における転位挙動の分子動力学解析	富田佳宏, 保田英洋, 屋代如月
マルチスケール多結晶塑性モデリングにおける結晶粒径分布の役割に関する研究	富田佳宏, 森脇俊道, 長谷部忠司
海綿骨再生シミュレーションを用いたScaffold内部構造の設計手法の提案	富田佳宏, 大須賀公一, 安達和彦
培養骨芽細胞の力学応答特性に及ぼすアクチン細胞骨格量の影響	富田佳宏, 白瀬敬一, 田中拓
局所変形負荷に対する培養骨芽細胞のカルシウム応答発生起点の観察	富田佳宏, 田浦俊春, 田川雅人
繰り返し変形を受けるカーボンブラック充填ゴムの履歴現象のモデル化とシミュレーション	富田佳宏, 中井善一, 田中章順
反応拡散系を用いた骨梁再生の力学シミュレーション -ラット大腿骨の欠損モデル実験との比較-	富田佳宏, 富山明男, 長谷部忠司
Si基板上に結晶成長したIII-V族化合物の断面観察	保田英洋, 大前伸夫, 田中章順
Au表面における原子ダイナミクスのその場観察	保田英洋, 富田佳宏, 田中章順
低地球軌道環境に曝露した固体潤滑剤被膜の表面解析	大前伸夫, 神吉博, 田川雅人
超熱原子状酸素ビームにより室温形成したSiO ₂ 極薄膜の評価	大前伸夫, 保田英洋, 田川雅人
原子状酸素誘起高分子材料劣化における複合環境効果	大前伸夫, 森脇俊道, 田川雅人
急冷却時における固体表面からのイオン放出現象とその応用	大前伸夫, 保田英洋, 田中章順
高効率原子状酸素収束化技術の開発	大前伸夫, 神吉博, 田川雅人
高速原子分子ビーム装置の特性評価およびビーム励起表面界面反応の 放射光光電子分光分析	大前伸夫, 富田佳宏, 田川雅人, 田中章順
カーボンナノチューブの作製とトライボロジー特性に関する研究	大前伸夫, 富田佳宏, 屋代如月

論文題目	主査、副査
Si基板上に成長させたC60薄膜のナノトライボロジー特性に関する研究	大前伸夫, 中井善一, 長谷部忠司
オニオンライクカーボンの作製とその生成メカニズムに関する研究	大前伸夫, 保田英洋, 田中拓
スポーツ用具・プレーヤー連成系の動的解析に関する研究	大須賀 公一, 神吉 博, 深尾 隆則
セルオートマトン法による地盤液状化現象のシミュレーションに関する研究	大須賀 公一, 田浦 俊春, 大倉 和博
ゴルフスイングにおけるグリップの境界条件同定に関する研究	大須賀 公一, 白瀬 敬一, 深尾 隆則
内側膝蓋大腿靱帯の最適再建部位に関する研究	大須賀 公一, 富田 佳宏, 松田 光正
時間反転鏡を用いた構造物の損傷検出に関する研究	大須賀 公一, 神吉 博, 安達 和彦
自己組織化マップを用いた回転機械の異常診断に関する研究	大須賀 公一, 神吉 博, 安達 和彦
セルオートマトン法による流体中の構造物の運動シミュレーションに関する研究	大須賀 公一, 蔦原 道久, 大倉 和博
回転機械の最適メンテナンスに関する研究	神吉 博, 白瀬敬一
自動車用フライホイール式エネルギー回生システムの研究	神吉 博, 大須賀公一, 松田光正
冗長自由度を有するパラレルリンクロボットシステムに関する研究	神吉 博, 森脇俊道
双線形行列固有値遺伝的最適化手法の分散並列化と制御に関する研究	神吉 博, 大須賀公一, 深尾隆則
磁気軸受の同定・制御に関する研究	神吉 博, 大須賀公一, 深尾隆則
ロータのつりあわせ合理化に関する研究	神吉 博, 森脇俊道
波力発電システムの浮体ダイナミクスに関する研究	神吉 博, 蔦原道久
フローティングリングシールの自励振動に関する研究	神吉 博, 蔦原道久, 安達和彦
配管の流れによるダイナミクスの影響に関する研究	神吉 博, 蔦原道久, 安達和彦
回転機械の最適メンテナンスに関する研究	神吉 博, 白瀬敬一
自動車用フライホイール式エネルギー回生システムの研究	神吉 博, 大須賀公一, 松田光正
冗長自由度を有するパラレルリンクロボットシステムに関する研究	神吉 博, 森脇俊道
双線形行列固有値遺伝的最適化手法の分散並列化と制御に関する研究	神吉 博, 大須賀公一, 深尾隆則
磁気軸受の同定・制御に関する研究	神吉 博, 大須賀公一, 深尾隆則
ロータのつりあわせ合理化に関する研究	神吉 博, 森脇俊道
波力発電システムの浮体ダイナミクスに関する研究	神吉 博, 蔦原道久

論文題目	主査、副査
フローティングリングシールの自励振動に関する研究	神吉 博, 蔦原道久, 安達和彦
配管の流れによるダイナミクスの影響に関する研究	神吉 博, 蔦原道久, 安達和彦
超音波楕円振動切削加工法を用いた難削材の超精密切削加工に関する研究	森脇俊道, 大前伸夫, 鈴木浩文
マシニングセンタの熱変形推定に関する基礎的研究	森脇俊道, 白瀬敬一, 柴坂敏郎
Development of a Circular Vibration Milling Attachment for Elliptical Vibration Cutting	森脇俊道, 神吉博, 柴坂敏郎
構造進化人工神経回路網を用いたマルチロボットシステムの構築	田浦俊春, 大須賀公一, 大倉和博
受注生産システムにおける需要予測の誤差を考慮したスケジューリング手法に関する研究	田浦俊春, 白瀬敬一, 柴坂敏郎
生産システムにおける作業分担の自己組織化に関する研究	田浦俊春, 森脇俊道, 鈴木浩文
オンラインモデル更新を用いた進化型自律移動ロボットの構築に関する研究	田浦俊春, 神吉博, 大倉和博

卒業研究 (2004年4月1日～2005年3月31日)

論文題目	指導教官
差分格子ボルツマン法によるタンデム配置された二円柱における空力音の直接計算	蔦原道久
高圧空気を用いた船舶推進ノズル内流れに関する研究	蔦原道久
ブランジャーポンプにおけるボール弁周りの非定常流れに関する数値的研究	蔦原道久
希薄気体における熱による流れの工学的応用に関する研究	蔦原道久
ブランジャーポンプにおけるボール弁周りの非定常流れに関する実験的研究	蔦原道久
狭い間隙内の高せん断流れによる粒子の微粒化についての研究	蔦原道久
差分格子ボルツマン法に対するLarge-EddySimulationの適用に関する研究	蔦原道久
高エネルギー加速器固体ターゲットにおける沸騰熱伝達および圧力損失特性	竹中信幸
中性子ラジオグラフィーによるインジェクターノズル内流れの可視化	竹中信幸
粒子画像計測法に基づく流速ベクトルの3次元分布計測法の開発	竹中信幸
静止液中単一気泡の運動に関する研究	竹中信幸
鉛直円管内気液二相気泡乱流に関する研究	竹中信幸
細管におけるトムズ効果に関する研究	竹中信幸
中性子ラジオグラフィによるロッドバンドル内気液二相流計測とモデリング	竹中信幸
鉛直管内気液二相流における液相乱れに関する研究	竹中信幸
相変化材を利用した蓄熱器の性能特性に関する研究	藤井照重
潜熱利用流体排熱システムの性能特性に関する研究	藤井照重
集合住宅用コージェネレーションシステム対応熱供給システムに関する研究	藤井照重
細管内気液二相流の分岐特性に関する研究	藤井照重
宇宙用排熱ループにおけるアキュムレータの動特性に関する研究	藤井照重
単原子分子群の希薄気体流れの分子挙動に関する研究	富山 明男
ロッドバンドル内気液二相流の流動様式に関する研究	富山 明男
鉛直管内二酸化炭素気泡流の気泡溶解過程に関する研究	富山 明男
非加熱気泡塔内の気泡径評価に関する研究	富山 明男
メタン空気拡散火炎のすす生成の自発光計測	富山 明男
2次元ノズル内キャビテーション流れの可視化と速度計測	富山 明男
安定成層内の燃焼ブルームの統計的性質に関する研究	富山 明男
ナノインデンテーション試験によるポリエチレンラメラ構造の力学状態評価	富田佳宏
分子動力学法による金属ガラスの変形挙動シミュレーション	富田佳宏
分子鎖網目理論に基づくゴムの粘弾性挙動シミュレーション	富田佳宏
ナノインデンテーションによるUFGおよび金属ガラス材の表面力学特性の評価	富田佳宏
離散転位動力学法を用いた転位絡み構造の力学特性に関する研究	富田佳宏
Ni基超合金 γ/γ' 界面の転位網に関する離散転位動力学シミュレーション	富田佳宏
BCC金属多結晶体のマルチスケール塑性モデリング	富田佳宏

論文題目	指導教官
鉄鋼のベイナイト変態と炭素拡散挙動に関する研究	富田佳宏
GaAs/Siヘテロ界面の微細構造解析	保田英洋
アルキル基表面修飾Siナノ粒子の合成	保田英洋
デンドリマー内包Auナノクラスターの光物性	保田英洋
フェムト秒干渉型時間分解2光子光電子分光装置の開発	保田英洋
GaSbナノ粒子の電子励起誘起相転移のその場観察	保田英洋
Fe系形状記憶合金の形状回復効果と微細組織	保田英洋
カーボンナノチューブの観察のためのAP-FIMの開発	大前伸夫
低地球軌道における高分子材料劣化の複合環境効果	大前伸夫
極細試料円周部の垂直力・摩擦力測定	大前伸夫
カーボンナノチューブの形状制御に関する研究	大前伸夫
ダイヤモンド表面への酸素およびフッ素原子線照射効果	大前伸夫
HOPG表面上のC60ナノストラクチャー形成	大前伸夫
超熱原子状酸素ビームにより室温形成したSiO ₂ 極薄膜の放射光光電子分光による評価	大前伸夫
宇宙環境におけるアラミド繊維の機械的特性変化	大前伸夫
外科手術における術前と術後の医用画像の重ね合わせに関する研究	大須賀 公一
アクティブステアリングにおける非線形規範モデルの設計法	大須賀 公一
画像情報に基づく飛行船ロボット	大須賀 公一
アクチュエータの特性を考慮したセミアクティブサスペンションシステムの設計法	大須賀 公一
群移動体のハーネシングに関する研究	大須賀 公一
X線CTおよびMRガイド下で使用可能な能動カテーテル開発に関する基礎研究	大須賀 公一
ねじり加振実験による弾性ロータのつりあわせ	神吉博
振動コンベヤーの防振設計に関する研究	神吉博
小型無人ヘリコプターのモデリングと制御	神吉博
周波数応答集合に基づくQFT制御とその応用	神吉博
ジャイロ効果による波力発電システムの研究	神吉博
回転円板の振動に関する研究	神吉博
摩擦ブレーキ鳴きの解析に関する研究	神吉博
頸椎症による脊髄圧迫および脊柱管拡大術による脊髄除圧効果に関する研究	神吉博
液柱共鳴式波力発電システムに関する研究	神吉博
マイクロダイヤモンドホイールの超精密成形に関する研究	森脇俊道
楕円振動切削加工による光学用プラスチックの超精密切削	森脇俊道
アルミニウム切削における溶着機構の実験的検討	森脇俊道
超精密超音波楕円振動切削装置の開発	森脇俊道
アルミニウム切削における溶着機構の解析的検討	森脇俊道

論文題目	指導教官
マイクロフライカットによる複雑非球面形状の超精密切削に関する研究	森脇俊道
パラレルメカニズム形工作機械による高速・高精度加工実現に関する研究	森脇俊道
超音波楕円振動切削加工を用いたモリブデンの超精密切削加工	森脇俊道
加工シミュレーションに用いるボクセルモデルの研究	白瀬敬一
産業用ロボットのための分解・組立作業計画	白瀬敬一
ビジュアル・フィードバックによる産業用ロボットの位置誤差補正	白瀬敬一
エンドミル加工の切削力シミュレーション	白瀬敬一
機械学習を用いた切削条件推論システム	白瀬敬一
フレキシブル工程設計支援システムの開発	白瀬敬一
脳波を用いた好み測定	白瀬敬一
多段階生産システムにおける中間製品在庫を考慮したコスト最小化に関する研究	田浦俊春
強化学習における非合理的ルールの抑制による行動空間の探索の効率化に関する研究	田浦俊春
全方位視覚を用いた進化自律ロボットの移動物体識別に関する研究	田浦俊春
強化学習を用いた自律飛行船ロボットによる基本的行動獲得に関する研究	田浦俊春
構造進化型人工神経回路網のパラメータチューニングによる進化挙動解析	田浦俊春
グリッド環境における遺伝的アルゴリズムの計算負荷分散方法に関する研究	田浦俊春
部品の構造に着目した設計手順の生成方法	田浦俊春

4.4 応用化学科

博士論文(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文題目	主査、副査	学位
Studies on Fundamental, and Novel Functional Aspects of Metal Nanoparticles	出来成人, 竹内俊文, 林 真至	博士(理学)
Fabrications, and Characterizations of Metal Oxide Thin Film with Highly Nano-ordered Structure by the Liquid Phase Deposition(LPD) Method	出来成人, 竹内俊文, 林 真至	博士(工学)
Fabrication, and Properties of Rare-Earth Ions Doped Metal Oxide Thin Films by the Liquid Phase Deposition(LPD) Method	出来成人, 竹内俊文, 林 真至	博士(工学)
リチウム電池用合金系負極材料の創製と高性能化に関する研究	境 哲男, 薄井洋基, 小林哲彦, 出来成人	博士(工学)
Surface Properties and Structures of Polymers with perfluoroalkyl Groups	上田 裕清, 大久保 政芳, 大村 直人, 西野 孝	博士(工学)
蛍光性モレキュラーインプリント人工レセプターの合成とその応用に関する研究	竹内俊文, 大久保政芳, 近藤昭彦	博士(工学)
Rheology of Non-spherical Particle Suspension and its Application to Fuel Cell Technology	薄井洋基, 近藤昭彦, 上田裕清	工学博士
熱応答磁性ナノ粒子の開発	福田秀樹, 上田裕清, 近藤昭彦	(工学)博士
Development of Sensitive Immunoassay and Efficient Affinity Screening Methods Utilizing Liposomes (リポソームを利用した高感度免疫測定法および高効率スクリーニング法の開発)	加藤滋雄, 大野青春, 近藤昭彦	博士(工学)
Photobioreactor Design Utilizing LEDs and Production of Carotenoid with Microalga (LEDを用いるフォトバイオリアクター設計と藻類によるカロテノイド生産)	加藤滋雄, 鶴谷 滋, 大村直人	博士(工学)

修士論文(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文題目	主査、副査
AFMおよびラビングクロスを用いた有機分子の配向制御と機能評価に関する研究	上田裕清, 大村直人, 松尾成信
摩擦転写法によるフルオレン化合物の分子配列制御に関する研究	上田裕清, 西野孝, 今駒博信
新規フォトクロミック分子の創成と多重記録媒体への応用に関する研究	上田裕清, 大村直人, 今駒博信
サブフタロシアニン誘導体の電子スペクトル解析と走査型トンネル顕微鏡による分子観察	上田裕清, 松山秀人, 今駒博信
LBおよび蒸着膜を用いたスピロピラン化合物のJ-会合体形成に関する研究	上田裕清, 大村直人, 今駒博信
有機半導体ヘテロ接合膜の電界効果型トランジスター特性に関する研究	上田裕清, 松山秀人, 松尾成信
スピロベンゾピラン誘導体のフォトクロミック特性	上田裕清, 福田秀樹, 神鳥安啓
Short Range Order for Manganese Borate Glass, and Melt	出来成人, 鶴谷 滋, 岡田悦治
Structure, and Properties of Copper Tellurite Glasses	出来成人, 薄井洋基, 西山寛
Selective Deposition of Metal Oxide Thin Film by the LPD Method	出来成人, 薄井洋基, 鈴木 洋
Anomalous Properties of Molten Carbonates Coexisting with Inorganic Powder	出来成人, 鶴谷 滋, 岡田悦治
One-step Synthesis, and Electrochemical Properties of Pt/Polypyrrole Composite	出来成人, 薄井洋基, 西山寛
Preparation of Metal Oxide Nanoparticles by the LPD Method	出来成人, 加藤滋雄, 鈴木 洋
Fabrication of Nanostructured Metal Oxide Thin Film by the LPD Method	出来成人, 薄井洋基, 鈴木 洋
新規な含フッ素合成等価体の開発ー含フッ素3, 4-ジヒドロ-2H-ピランの合成と反応	出来成人, 鶴谷滋, 岡田悦治
抗腫瘍活性機能付与を指向した新規含フッ素1, 4-ベンゾジアゼピン類の簡便合成とその生物活性評価	出来成人, 加藤滋雄, 岡田悦治
生物活性の期待される新規含フッ素キノリン類及びキナゾリン類の簡便合成法の開発	出来成人, 鶴谷滋, 岡田悦治
硫黄原子で安定化された炭素陽イオンを経由するイソベンゾフラン類の新規合成法	出来成人, 加藤滋雄, 岡田悦治
4-アルキル-1, 4-ベンゾチアジン-3-オン誘導体を前駆体とする安定なヘテロ芳香族ジカチオン類の合成	出来成人, 加藤滋雄, 岡田悦治
微小角入射X線回折法による高分子/高分子界面の構造解析	西野 孝, 大村 直人, 今駒 博信
High Pressure Synthesis and Properties of Poly(isopropenyl alcohol)	西野 孝, 松山 秀人, 松尾 成信
二次元で負の熱膨張係数を有する高分子複合材料の創製	西野 孝, 大村 直人, 松尾 成信

論文題目	主査、副査
希土類元素含有リン酸塩の触媒への応用	竹内俊文, 近藤昭彦, 成相裕之
層状酸性トリポリリン酸塩の合成に関する研究	竹内俊文, 近藤昭彦, 成相裕之
大環状シクロデカリン酸塩の合成と熱挙動	竹内俊文, 福田秀樹, 成相裕之
コアセルベート状態でのシクロトリリン酸と各種ヌクレオチドとの反応	竹内俊文, 近藤昭彦, 成相裕之
Incorporation of nonionic emulsifier within polymer particles in emulsion polymerization	大久保政芳
Estimation and control of distribution of carboxyl groups within polymer particles	大久保政芳
Preparation of hollow polymer particles by the SapSep method with polyaddition reaction	大久保政芳
Preparation of composite polymer particles in scCO ₂ and its morphology	大久保政芳, 大村直人, 松尾成信
Preparation of disc-like polymer particles by seeded dispersion polymerization	大久保政芳
タンパク質を認識するモレキュラーインプリント有機材料の創製	竹内俊文, 近藤昭彦, 成相裕之
固定化テンプレートをを用いたビスフェノールAのモレキュラーインプリンティング	竹内俊文, 近藤昭彦, 成相裕之
スズポルフィリンの軸配位を利用した超分子錯体の構築	竹内俊文, 福田秀樹, 成相裕之
モレキュラーインプリンティングによるハロゲン結合性分子認識部位の構築	竹内俊文, 近藤昭彦, 成相裕之
分子鑄型を有するセンサー素子の開発	竹内俊文, 福田秀樹, 成相裕之
スピロピラン型光応答性モノマーを用いたインプリントポリマーの創製	竹内俊文, 近藤昭彦, 成相裕之
超高真空処理したZnO表面のキャラクタリゼーション	鶴谷滋
担持Sn触媒上での過酸化水素を酸化剤とした環状ケトンの選択酸化反応	鶴谷滋
担持Ag触媒によるベンジルアルコールの気相接触酸化反応におけるアルカリ土類金属添加効果	鶴谷滋
Co担持ゼオライト触媒によるベンジルアルコールの気相接触酸化反応	鶴谷滋
La担持HZSM-5触媒を用いたベンゼンからフェノールへの直接液相酸化反応	鶴谷滋
噴流冷却と非定常加熱による薄膜付き基板の熱伝導特性	大村直人, 上田裕清, 今駒博信
酢酸ビニルの連続乳化重合の粒子径自励振動特性	大村直人, 西野 孝, 今駒博信
確率モデルによる連続乳化重合の動的挙動の解析	大村直人, 大久保政芳, 今駒博信
円錐型テイラー渦流系の混合特性	大村直人, 西野 孝, 今駒博信

論文題目	主査、副査
テイラー渦流による微粒子分級特性	大村直人, 大久保政芳, 今駒博信
合流・分岐を有する微小流路内の流動制御	大村直人, 大久保政芳, 今駒博信
ゼラチンを用いたガラス微粒子の固化成形におけるマイクロ波乾燥の最適条件	大村直人, 上田裕清, 今駒博信
フェノールと合成界面活性剤の粒状活性炭による吸着分離	大村直人, 西野 孝, 今駒博信
CFAのスペクトルデータ解析への応用	竹内俊文, 福田秀樹, 大野弘
自己組織化マップを利用した科学データの解析	福田秀樹, 近藤昭彦, 大野弘
SIMUCA法の教師なし分類への拡張	近藤昭彦, 福田秀樹, 大野弘
独立成分分析を用いた検量とスペクトルデータへの応用	竹内俊文, 福田秀樹, 大野弘
固体高分子型燃料電池電極膜のスラリー塗布プロセスに関する研究	薄井洋基, 鈴木洋
界面活性剤を添加した水和物スラリーの流動特性に関する研究	薄井洋基, 鈴木洋
中間廃熱利用型吸収式冷凍機に関する数値解析	薄井洋基, 鈴木洋
シリアルを用いた新規機能性食品の開発	福田秀樹, 竹内俊文, 山地秀樹
糖トランスポーターの発現による酵母のエタノール生産能力の向上	近藤昭彦, 竹内俊文, 神鳥安啓
<i>Rhizopus oryzae</i> lipase 表層提示酵母の高活性化と光学分割への応用	近藤昭彦, 竹内俊文, 山地秀樹
肝細胞へのピンポイントドラッグデリバリーシステムの開発	福田秀樹, 竹内俊文, 神鳥安啓
コンビナトリアルペプチド表層提示によるエタノール耐性酵母の育種	近藤昭彦, 竹内俊文, 山地秀樹
アーミング清酒酵母による生デンプンからのエタノール生産	近藤昭彦, 竹内俊文, 神鳥安啓
組換え昆虫細胞を用いた抗体Fabフラグメントの分泌発現	福田秀樹, 竹内俊文, 山地秀樹
キシロース代謝およびセロビオース分解を付与した酵母による混合糖からのエタノール生産	近藤昭彦, 竹内俊文, 神鳥安啓
大腸菌の新規高効率固定化技術の開発	福田秀樹, 竹内俊文, 山地秀樹
組換えタンパク質を提示した機能性リボソームの開発	加藤滋雄, 出来成人, 西山 寛
DNA固定化ゲルを用いたSNP検出法およびその工学的検討	加藤滋雄, 鶴谷 滋, 西山 寛
トリアジン系農薬汚染土壌のバイオレメディエーション	加藤滋雄, 出来成人, 鈴木 洋
<i>Pichia pastoris</i> を用いた組換えタンパク質生産におよぼす基質および酸素供給の影響	加藤滋雄, 鶴谷 滋, 西山 寛
(1-Octanol + n-Alkane) 系の固液平衡に対する圧力効果	松山秀人, 大久保政芳, 松尾成信

論文題目	指導教官
液晶ポリマーと銅膜の接着に及ぼすプラズマ照射の影響	上田裕清
ドライプロセスによるビスアゾメチン色素の会合体形成	上田裕清
有機半導体薄膜のレーザー配向結晶化に関する研究	上田裕清, 柳久雄
有機半導体ヘテロ接合薄膜のフォトルミネッセンスと光電変換特性	上田裕清, 柳久雄
スピロピラン／シリカハイブリッド膜のフォトクロミズム	上田裕清
レーザー色素をドーブしたポリマー導波薄膜の可視・近赤外光増幅特性	上田裕清, 柳久雄
メロシアニンLB膜のJ-会合体形成に及ぼすアルキル鎖長の影響	上田裕清
水酸アパタイトの色素吸着特性	上田裕清
液相析出 (LPD) 法によるタングステン酸化物薄膜の合成	出来成人
金微粒子表面増強ラマン散乱の形状依存に関する研究	出来成人
X線散乱によるNaCl-CsCl系融体の構造解析	出来成人
リン酸マンガンガラスの構造に関する研究	出来成人
Fe-Co複合酸化物微粒子/ポリアクリロニトリル複合薄膜の作製	出来成人
二元系イオン液体 (TMAPTFSI-LiTFSI) の電気伝導度に及ぼす異相共存場効果	出来成人
液相析出 (LPD) 法による金微粒子分散型酸化チタン傾斜薄膜の合成	出来成人
液相析出 (LPD) 法を用いた酸化物ナノ構造体の合成	出来成人
Si-MCM-41/リチウム電解液共存系の電気伝導度の組成依存性	出来成人
置換1, 3-ジエン及びその類縁体の1, 5-シグマトロピー転位に関する研究	神鳥安啓
新規含フッ素3, 4-ジヒドロ-2H-ピランの合成及びアミン類との反応：面不斉還元反応モデル化合物の合成	岡田悦治
超臨界二酸化炭素を用いたセルロース繊維表面の化学修飾	西野 孝
スキャニングプローブ顕微鏡を用いたアイソタクチックポリプロピレンの力学・熱マイクロ分析	西野 孝
接触媒体を異にする高分子薄膜構造のX線の解析	西野 孝
ポリ乳酸ステレオコンプレックスの結晶弾性率	西野 孝
シクロテトラリン酸リチウムの結晶構造とシクロヘキサリン酸リチウム生成との相関	成相裕之
塩基性コアセルベートによるリン酸化反応の選択性変化	成相裕之
シクロヘキサリン酸塩のコアセルベート生成の最適化	成相裕之
SaPSeP法によるパラフィン含有カプセル粒子の合成	大久保政芳
水媒体不均一系原子移動型制御／リビングラジカル重合	大久保政芳
水媒体不均一系におけるジビニルモノマーのニトロキシル制御／リビングラジカル重合	大久保政芳
水媒体不均一系における有機テルル化合物を用いた制御／リビングラジカル重合	大久保政芳
SR法で作製した雪だるま状高分子微粒子の生成機構	大久保政芳
水媒体不均一系におけるスチレンのニトロキシル制御／リビングラジカル重合	大久保政芳
SaPSeP法による単中空高分子微粒子の合成	大久保政芳

論文題目	指導教官
吸蔵化乳化剤を利用した中空高分子微粒子の合成	大久保政芳
ミクロンサイズの単分散な磁性カプセル粒子の合成	大久保政芳
多環芳香族化合物を認識するインプリントポリマー	竹内俊文
新規インプリントポリマーの合成戦略	竹内俊文
金属ポルフィリンを骨格とした超分子集合体の構築	竹内俊文
Resveratrol認識インプリントポリマーの創製	竹内俊文
シナジェティック分子認識空間の創製	竹内俊文
無機材料を用いたタンパク質のモレキュラーインプリンティング	竹内俊文
金属ポルフィリン錯体を用いた光学異性体の選択的認識	竹内俊文
モレキュラーインプリンティングによる農薬の分子認識	竹内俊文
L a 触媒によるベンゼンの液相酸化反応	鶴谷滋
金属酸化物触媒によるスチレンのエポキシ化反応	鶴谷滋
超高真空処理したZ n O表面上でのエチレン水素化反応	鶴谷滋
グラフト法で調製したZ r -MCM-4 1触媒上でのクロトンアルデヒドの還元反応	鶴谷滋
担持R u -S n触媒による γ -ブチロラク톤の水素化	鶴谷滋
担持A g触媒の部分酸化活性に及ぼすアルカリ金属添加効果	鶴谷滋
V触媒を用いたベンゼンの液相酸化反応によるフェノール合成	鶴谷滋
C u及びT i担持H Z S M-5触媒上でのベンゼンの気相接触酸化反応	鶴谷滋
S nで修飾したシリカ包接P t触媒のクロトンアルデヒド選択水素化活性に及ぼす焼成条件の影響	鶴谷滋
固体酸触媒上でのシクロヘキサノンの酸化反応	鶴谷滋
金属担持酸化チタン光触媒によるメタンの光水蒸気改質反応	鶴谷滋
ゼラチンを用いたガラス微粒子の熱風乾燥による固化成形	今駒博信
「パーフェクトスムーザー」の評価	大野弘
階層的クラスタリングによる鉛鉱石データの解析	大野弘
不等式制約条件を付加したモデル予測制御	南原興二
各種制御則実用性の比較	南原興二
サモン法を用いた多次元データの低次元化法の鉛鉱石データへの応用	大野弘
LBSクラスタリングアルゴリズムによる鉛鉱石データの分類	大野弘
蛍光性微粒子サスペンションの塗布技術に関する研究	薄井洋基
冷却水に水和物スラリーを用いた吸収冷凍機のシステム設計	鈴木洋
界面活性剤添加による抵抗低減現象に対する対イオン濃度の影響	鈴木洋
粘弾性流体によって掃引されるキャビティ内の熱伝達特性に関する実験的研究	鈴木洋
潜熱輸送サスペンションの管内流動に関する研究	薄井洋基
界面活性剤溶液に分散した水和物微粒子の潜熱に関する研究	鈴木洋

論文題目	指導教官
ラマン分光法を用いたグラファイト微粒子ペレットの分散特性評価	鈴木洋
大腸菌による好熱菌 <i>Thermococcus sp.</i> 由来シャペロニン改変体の生産	近藤昭彦
<i>Candida antarctica</i> 由来Lipase B 表層提示酵母の創製	近藤昭彦
コンビナトリアルペプチド表層提示による乳酸耐性酵母の育種	近藤昭彦
酵母細胞表層に提示した麴菌由来 β -グルコシダーゼの機能解析	近藤昭彦
宿主 <i>Aspergillus oryzae</i> によるバイオディーゼル燃料生産	福田秀樹
昆虫細胞とバキュロウイルスを用いたタンパク質提示技術の開発	福田秀樹
昆虫細胞による分泌タンパク質生産に及ぼすシグナルペプチドの影響	福田秀樹
リパーゼ表層提示大腸菌を用いたラセミ化合物の光学分割	近藤昭彦
キシロース代謝酵素の融合による補酵素利用の効率化の検討	近藤昭彦
酵母凝集能を利用したタンパク質間相互作用解析システムの開発	近藤昭彦
293細胞の固定化培養技術の開発	福田秀樹
大腸菌表層ディスプレイを利用した細胞特異的なペプチドスクリーニング法の開発	福田秀樹
一本鎖抗体生産におよぼすポリペプチドリンカーの影響	加藤滋雄
<i>Haematococcus pluvialis</i> によるアスタキサンチン生産におよぼす栄養源供給の影響	加藤滋雄
DNA固定化カラムによるSNP検出におけるDNA解離条件の検討	加藤滋雄
カツオタンパク質消化物中のACE阻害ペプチドの生成と特性解析	加藤滋雄
微生物の自己固定化能力を利用した農薬汚染土壌の浄化	加藤滋雄
抗体結合カラムを用いたタンパク質の高効率リフォールディング	加藤滋雄
光合成微生物の増殖安定性に影響をおよぼす培養環境の検討	加藤滋雄
組換え酵母 <i>Pichia pastoris</i> による一本鎖抗体生産	加藤滋雄
Toluene + Dimethyl carbonate混合系の熱伝導率測定	松尾成信
高圧下におけるHFE-143mの誘電率	松尾成信
高圧下におけるDiethyl ether中の音速測定	松尾成信
1-Octanol + n-Alkane系の固液平衡	松尾成信

4.5 情報知能工学科

博士論文(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文題目	主査、副査	学位
有界外乱のもとでの不確かなシステムの同定に関する研究	太田有三，多田幸生， 大須賀公一，藤崎泰正	博士(学術)
Optimal Control and Identification Problems for Nonlinear Distributed Systems of Volterra Type	主査 中桐信一， 副査 高野恭一， 太田有三，小島忠男	理学

論文題目	主査、副査
類似度を用いた指紋推定方式における基準データの生成・構成方法	藤井 進, 有木康雄, 玉置 久
自律分散型スケジューリングのための数理モデルと解法	藤井 進, 鳩野逸生, 玉置 久
複数ソルバの協調による組合せ最適化問題の解法	藤井 進, 鳩野逸生, 玉置 久
動的学習のための Actor-Critic 型強化学習に関する研究	藤井 進, 小島史男, 玉置 久
自己組織化マップと遺伝的機械学習に基づくエレベータ運行ルールの獲得方法	藤井 進, 上原邦昭, 玉置 久
計算エシ・ェント機能を有する遠隔材料診断技術の開発について	小島史男, 有木康雄
知識構築型電磁場逆解析を用いた原子炉内構造物のき裂形状推定に関する研究	小島史男, 上原邦昭
電気ホ・テンシヤル法を用いた配管腐食探査における近接傷位置の同定に関する研究	小島史男, 多田幸生
水中移動ロボ・ットのための視覚センサを用いた三次元自己位置同定手法に関する研究	小島史男, 藤井進
非線形電磁場逆解析による強磁性材料の劣化評価ハ・ラメータ分布推定	小島史男, 太田有三
動的再編成機能を有するセンサ選択型融合システムに関する研究	小島史男, 貝原俊也
自己参照型差分法によるMR温度分布画像化法に関する研究	藤井進, 多田幸生, 貝原俊也
前立腺疾患の診断のための複素磁気共鳴スペクトルの推定	藤井進, 吉村武晃, 貝原俊也, 熊本悦子
コスト基準生産システム運用効率評価法の仮想工場を用いた実験的研究	藤井進, 太田有三, 貝原俊也
格子型機械配置生産システムの自律的ライン構成・運用に関する研究	藤井進, 多田幸生, 貝原俊也
寡占状態を考慮した市場指向プログラミングの特性解析とその有効性評価	貝原俊也, 藤井進, 小島史男
速度拘束を受ける機械システムに対する強化学習を用いた運動生成	多田幸生, 小島史男
視覚情報を入力としたロボットアームによる, 人の腕の動作の模倣 (逆問題的手法によるアプローチ)	多田幸生, 有木康雄, 花原和之
離散変数を考慮に入れたロボットアームの多目的最適設計 (知識指向アプローチの適用)	多田幸生, 花原和之, 貝原俊也
画像からの物体の運動測定と位置予測	多田幸生, 太田有三
入出力データ空間におけるシステム表現とデッドビート最適追従制御	太田有三, 小島史男, 藤崎泰正
パラメータ依存リアプノフ関数による不確かなシステムのロバスト安定性解析	太田有三, 多田幸生, 藤崎泰正
ネットワークを用いたシステムにおけるロバスト制御	太田有三, 貝原俊也, 藤崎泰正
表情の時系列データからの識別ルール抽出	上原邦昭, 有木康雄
二次元マーカと自立型位置追跡装置を用いた立体的情報提示が可能なウェアラブルARシステム	上原邦昭, 有木康雄, 伴好弘

論文題目	主査、副査
Video Data Mining: Mining Semantic Structures in Movies	上原邦昭, 有木康雄
机上型MRシステムのための直感的操作インタフェースシステム	上原邦昭, 有木康雄, 伴好弘
最大密度グラフによる特徴選択を用いたSemi-supervised学習	上原邦昭, 有木康雄, 増田澄男
並列動的探索手法を用いた時系列マルチストリームのパターンマイニング	上原邦昭, 有木康雄, 荻原剛志
映像文法に基づいた実時間撮影ナビゲーションシステムに関する研究	上原邦昭, 有木康雄
ユーザ間のWeb閲覧情報の共有に基づく協調ナビゲーションシステムに関する研究	上原邦昭, 有木康雄
Discovery of Skills in Motion Data	上原邦昭, 有木康雄, 多田幸生
A Free-hand 3D Modeling and Designing Environment based on Mixed Reality	上原邦昭, 有木康雄, 伴 好弘
超多重RFIDシステム用低誤り率受信機の通信方式の提案と実測評価	吉本雅彦, 賀谷信幸, 永田真
高周波IC設計のための基板インピーダンスの広帯域評価とモデル化手法	永田真, 上原邦昭, 吉本雅彦
バイトコード変換の安全性保証 - パターンマッチに基づく変換と型システム -	上原邦昭, 田村直之, 永田真
要求駆動型XML計算環境と遠隔データに対する適応的機構	上原邦昭, 田村直之, 永田真

論文題目	指導教官
目標速度追従運転における運転者モデルに関する基礎的考察	玉置 久
焼き鈍し法によるCVT変速比の最適値探索	玉置 久
ジャイロを用いた球体ロボットの基礎設計およびシミュレーション	玉置 久
家庭用コジェネレーション・システムのモデル化と運用ルールの獲得	玉置 久
電気インピーダンス法による欠陥復元技術の実験的考察に関する研究	小島史男
Inverse Analysis for Material Degradation using Genetic Algorithm	小島史男
渦電流探傷法における自然き裂のモデリングに関する研究	小島史男
視覚センサによる3次元環境復元に関する研究	小島史男
複数ロボット遠隔操作におけるマルチインターフェースの開発	小島史男
ECT非破壊検査による傷探査ロボットの開発	小島史男
市場指向プログラミングの生産スケジューリング問題への適用	貝原俊也
Particle Swarm Optimization の基本特性解析～速度パラメータと最適性	貝原俊也
企業間交渉における仲介業者の役割に関する研究	貝原俊也
MR勾配磁場を用いた治療デバイスのリアルタイム位置検出に関する基礎研究	藤井進
セット受注製品の効率的生産方式に関する基礎研究	藤井進
コスト基準スケジューリングの実システムへの応用 ― 並列炉工程への適用―	藤井進
オークション方式を用いたセル生産システムの運用に関する基礎研究	藤井進
根性最適化の特性評価と知識抽出の試み	多田幸生, 花原和之
2つの軸周りのトルクを用いた宇宙機の姿勢制御	多田幸生, 浦久保孝光
不静定ばりの剛性に関する最適化について	多田幸生
MRI SEGMENTATION IN THE MAKING OF A 3D MODEL OF THE BRAIN (脳の三次元化におけるMRIセグメンテーション)	多田幸生
JPEG画像圧縮における画質を考慮した量子化テーブルの構築	多田幸生, 花原和之
密度関数に基づく倒立振子の安定化制御	藤崎泰正
変位フィードバックによる大型宇宙構造物の最適制御 ― サブシステムが剛結合している場合	藤崎泰正
離散時間コスト保証型レギュレータの確率的設計	藤崎泰正
制約を離散化した半無限計画問題の誤差解析	森耕平, 太田有三
区分的線形リヤプノフ関数を用いた制御系設計 ― 安定化が不可能な領域の高速推定方法	森耕平, 太田有三
映画における音、動作情報を用いたシーン特徴の発見	上原邦昭
B a g g i n gとB o o s t i n gを統合したアンサンブル学習における学習データへの適応	上原邦昭
音声情報とテキスト情報を用いた擬人化エージェントの表情表出	上原邦昭
近傍データの相互評価を用いた怠惰学習による多重ラベル問題の学習手法の提案	上原邦昭
主要特徴分析による顔表情時系列データの特徴選択	上原邦昭
オンチップ信号モニタのためのサンプルホールド回路の設計と評価	永田真

論文題目	指導教官
デジタルLSIにおける電源雑音のオンチップ／オフチップ評価	永田真
複数のキャッシュモードの切替が可能な分散コレクションの効率的実装と評価	永田真
分散共有メモリへの局面単位キャッシュ機構導入にむけてー変数プロファイラの利用と、その効率的実装ー	永田真
センサネットワークのための前方向転送指向クラスタ型経路制御方式に関する研究	太田 能
センサネットワークのためのデータ集約率を考慮した経路制御方式に関する研究	太田 能
コンジローマの数理疫学モデルによるHPVの感染動向の推定	田畑 稔
クラジミア感染者数変動の数理疫学モデルによる解析	田畑 稔
数理疫学モデルによるNon-G, Non-C性感染症の分析	田畑 稔

4.6 都市安全研究センター

博士論文(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文題目	主査、副査	学位
新生代第三紀堆積岩類の切土に伴う変形と遅れ破壊に関する研究	沖村孝, 田結庄良昭, 田中泰雄	博士 (工学)
土構造物の品質評価手法の開発に関する研究	北村泰寿, 三谷勲, 沖村孝, 田中勉, 道奥康治, 飯塚敦	博士 (工学)
外水位変動による不飽和地盤の応答予測	北村泰寿, 三谷勲, 沖村孝, 田中勉, 道奥康治, 飯塚敦	博士 (工学)
地下水位低下工法における地下水の制御と管理に関する研究	川谷健, 田中勉, 藤田一郎, 沖村孝	博士 (工学)
Numerical Simulation Study on the Effect of Pore-Air on Infiltration, Solute Movement and Groundwater Drainage	川谷健, 田中勉, 藤田一郎, 田中泰雄	博士 (学術)
地域資源と意識構造の把握による防災コミュニティの評価手法に関する研究	塩崎賢明, 三谷勲, 室崎益輝, 北後明彦	博士 (工学)

修士論文(2004年4月1日～2005年3月31日)

論文題目	主査、副査
地震後の降雨を起因とした斜面崩壊発生機構に地震動が及ぼした影響	沖村孝、渋谷啓、 加藤正司
地盤の不均質性を考慮した盛土の地震応答特性評価に関する研究	沖村孝、田中泰雄
地震時の盛土斜面における残留変位量算定のための修正Newmark法の提案	沖村孝、渋谷啓
表層崩壊発生予測のための複数回の降雨に対する地下水位算定モデルに関する研究	沖村孝、藤田一郎
地震動の継続時間と周期特性に着目した木造建造物の被災危険度評価手法に関する研究	沖村孝、田中泰雄
台湾集集地震とその後の降雨により発生した斜面崩壊地の地形的特徴とその発生機構	沖村孝、渋谷啓
軸直角方向加振を受けた地中埋設管の挙動と伸縮可とう性継手の免震効果	田中泰雄、高田至郎、 吉田信之
PD群打設による地盤の側方流動抑止に関する研究	田中泰雄、渋谷啓、 吉田信之
非排水繰返し応力履歴を受けた御崎公園砂の強度・変形特性の変化について	田中泰雄、渋谷啓、 吉田信之
HMS路盤を有するアスファルト舗装の動的応答に関する研究	田中泰雄、沖村孝、 吉田信之
地盤内間隙空気が降雨浸透・地下水浸出・蒸発散に及ぼす影響の研究	川谷健、藤田一郎
植生を含む水循環の影響を考慮した不飽和地盤の浸透・変形挙動予測	飯塚敦、川谷健、 沖村孝
土建造物の品質評価における土/水連成シミュレーション技法の有効性	飯塚敦、川谷健、 沖村孝
阪神・淡路大震災後に復興した地区におけるコミュニティ形成に関する研究	北後明彦、塩崎賢明、 足立裕司
火災リスク評価を用いた街区防災性能評価に関する研究	北後明彦、塩崎賢明、 松下敬幸
大規模地震災害後の住宅復興システムに関する研究	北後明彦、塩崎賢明、 安田忠作
防犯に配慮したまちづくりに関する研究	北後明彦、塩崎賢明、 足立裕司
エレベータ利用を想定した避難誘導方法に関する研究	北後明彦、塩崎賢明、 松下敬幸
街区特性からみた犯罪発生構造に関する研究	北後明彦、塩崎賢明、 安田忠作

論文題目	指導教官
レイリー表面波が斜面肩に与える力学的影響に関する研究	沖村孝
常時微動測定結果に基づく地盤の固有周期と木造構造物被害との関連性に関する研究	沖村孝
表面波により誘起される水平動の力学的特性に関する理論的研究	沖村孝
地震時に発生する過剰間隙水圧を考慮したNewmark法に関する研究	沖村孝
山腹表土層厚推定のための修正斜面土砂移動モデルの提案	沖村孝
不攪乱まさ土を模した石膏混じり供試体の変形強度特性	沖村孝
大型中空ねじり試験による粗粒材の液状化強度曲線の決定	田中泰雄
単純せん断履歴を受けた砂の変形・強度特性	田中泰雄
剛性継手を持つ埋設管の液状化地盤での挙動について	田中泰雄
PD群打設工法を用いた側方流動対策について	田中泰雄
試験舗装における現地発生土のレジリエントモジュラスについて	吉田信之
実路試験舗装の原位置動的応答について	吉田信之
浸透流による物質輸送の数値シミュレーション手法に関する基礎的研究	川谷健
水・空気浸透流の数値シミュレーション手法に関する基礎的研究	川谷健
現地観測に基く廃棄物埋立地からの塩化イオン流出量の予測に関する基礎的研究	川谷健
弾塑性有限要素解析における周期境界の導入	飯塚敦
不飽和地盤への降雨のモデル化	飯塚敦
実験土槽における降雨浸透特性	飯塚敦
埋立地における地盤改良効果を考慮した土構造物の変状予測	飯塚敦
2chマイクロフォンを用いた複素スペクトル平面上での幾何学的処理による雑音除去	有木康雄
音声の高次局所自己相関特徴量を用いたフィッシャー重みマップによる認識	有木康雄
状況認識によるデジタルカメラワークを用いたサッカー映像の自動生成	有木康雄
単語の出現頻度を利用した単一文書セグメンテーション	有木康雄
Haar特徴のAdaboost学習によるAUの検出と顔表情の認識	有木康雄
庄内住み替え計画 -密集市街地の、守り・伝えていくべきものを残す-	北後明彦
縫りみち	北後明彦
アトリウムを有する建築物の避難安全性に関する研究	北後明彦
地下街の防火管理のあり方に関する研究 -管理者の火災安全意識を通して-	北後明彦

2005(平成17)年12月25日 印刷
2005(平成17)年12月25日 発行

編集者
発行者

神戸大学工学部

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町

有限会社モルフィ
